（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設
新 築 工 事

意匠図面　　(計)　・・・計画通知用図書

NO.	図面名称	
A－000	図面リスト－1・2	
A－001	工事範囲区分図	
A－002	工事範囲区分表	
A－003	案内図	(計)
A－004	敷地求積図（事業敷地）	
A－005	敷地求積図（計画通知用敷地）	(計)
A－006	建築・延床面積算定図	(計)
A－007	部屋別面積算定図－1	(計)
A－008	部屋別面積算定図－2	(計)
A－009	平均地盤面算定図	(計)
A－010	防火・防煙区画図	(計)
A－011	日影図・等時間日影図	(計)
A－012	現況図	
A－013	配置図（計画通知用敷地）	(計)
A－014	建物概要表・外部仕上表	(計)
A－015	内部仕上表	(計)
A－016	仕上凡例リスト－1	
A－017	仕上凡例リスト－2	
A－018	ピット階平面図	(計)
A－019	1階平面図	(計)
A－020	2階平面図	(計)
A－021	R階平面図・屋根伏図	(計)
A－022	立面図	(計)
A－023	断面図	(計)
A－024	矩計図－1	(計)
A－025	矩計図－2	(計)
A－026	矩計図－3	
A－027	矩計図－4	
A－028	矩計図－5	
A－029	屋内階段詳細図－1	(計)
A－030	屋内階段詳細図－2	(計)
A－031	屋外階段詳細図	
A－032	風除室詳細図－1	
A－033	風除室詳細図－2	
A－034	1階平面詳細図－1	
A－035	1階平面詳細図－2	
A－036	2階平面詳細図－1	
A－037	2階平面詳細図－2	

NO.	図面名称	
A－038	1階水廻り詳細図	
A－039	2階水廻り詳細図	
A－040	1階展開図－1	
A－041	1階展開図－2	
A－042	1階展開図－3	
A－043	1階展開図－4	
A－044	2階展開図－1	
A－045	2階展開図－2	
A－046	2階展開図－3	
A－047	2階展開図－4	
A－048	2階展開図－5	
A－049	2階展開図－6	
A－050	2階展開図－7	
A－051	2階展開図－8	
A－052	天井伏図	
A－053	断熱範囲図-1	
A－054	断熱範囲図-2	
A－055	建具工事特記仕様書	
A－056	建具キープラン	(計)
A－057	建具表－1	(計)
A－058	建具表－2	(計)
A－059	建具表－3	(計)
A－060	建具表－4	(計)
A－061	建具表－5	(計)
A－062	建具表－6	(計)
A－063	部分詳細図－1	
A－064	部分詳細図－2	
A－065	部分詳細図－3	
A－066	部分詳細図－4	
A－067	部分詳細図－5	
A－068	部分詳細図－6	
A－069	部分詳細図－7	
A－070	部分詳細図－8	
A－071	部分詳細図－9	
A－072	部分詳細図－10	
A－073	部分詳細図－11	
A－074	書架キープラン	
A－075	書架仕様書	

NO.	図面名称	
A－076	書架詳細図－1	(参考図)
A－077	書架詳細図－2	(参考図)
A－078	書架詳細図－3	(参考図)
A－079	書架詳細図－4	(参考図)
A－080	書架詳細図－5	(参考図)
A－081	書架詳細図－6	(参考図)
A－082	書架詳細図－7	(参考図)
A－083	書架詳細図－8	(参考図)
A－084	書架詳細図－9	(参考図)
A－085	書架詳細図－10	(参考図)
A－086	書架詳細図－11	(参考図)
A－087	外構サインキープラン	
A－088	サインキープラン－1	
A－089	サインキープラン－2	
A－090	サイン詳細図－1	(参考図)
A－091	サイン詳細図－2	(参考図)
A－092	昇降機仕様書	(計)
A－093	昇降機詳細図－1	(参考図) (計)
A－094	昇降機詳細図－2	(参考図) (計)
A－095	昇降機詳細図－3	(参考図) (計)
A－096	昇降機詳細図－4	(参考図) (計)
A－097	小荷物昇降機詳細図－1	(参考図) (計)
A－098	小荷物昇降機詳細図－2	(参考図) (計)
A－099	小荷物昇降機詳細図－3	(参考図)
A－100	可動ステージ詳細図	(参考図)
A－101	スライディングウォール詳細図－1	(参考図)
A－102	スライディングウォール詳細図－2	(参考図)
A－103	流し台・カウンター詳細図	(参考図)
A－104	建具詳細図－1	(参考図)
A－105	建具詳細図－2	(参考図)
A－106	建具詳細図－3	(参考図)
A－107	建具詳細図－4	(参考図)
A－108	建具詳細図－5	(参考図)
A－109	1階鋼製床組図	(参考図)
A－110	2階鋼製床組図	(参考図)
A－111	自動ドア仕様書	(参考図)
A－112		
A－113		

NO.	図面名称

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和８　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	図面リスト－1	縮尺	non	図面番号	A－ 000
			特記事項		特記事項		特記事項							

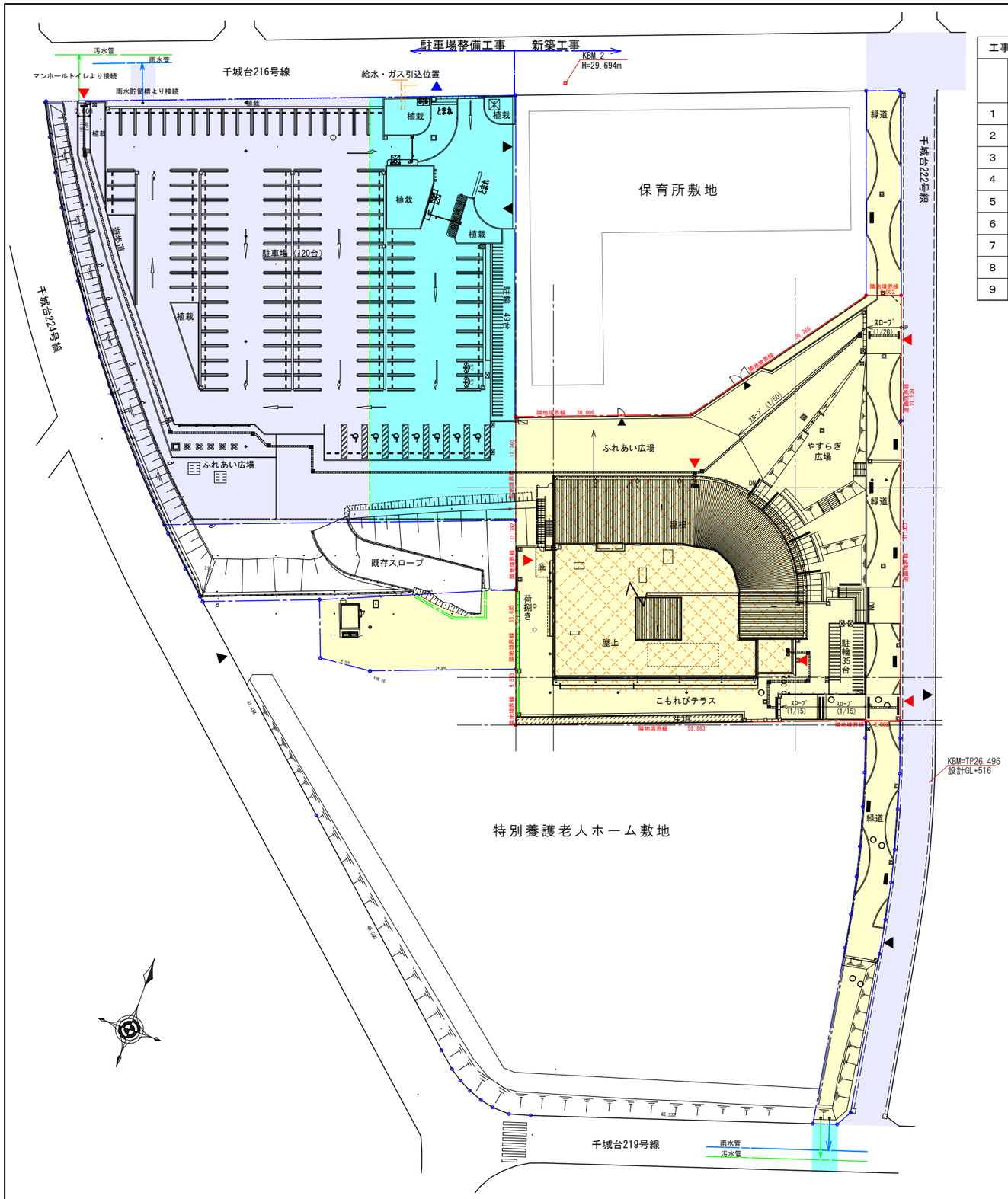
構造図面

NO.	図面名称
Ａ－２０１	全体計画平面図
Ａ－２０２	造成計画平面図
Ａ－２０３	造成計画断面図-1
Ａ－２０４	造成計画断面図-2
Ａ－２０５	排水計画平面図
Ａ－２０６	排水計画縦断図-1
Ａ－２０７	排水計画縦断図-2
Ａ－２０８	排水計画縦断図-3
Ａ－２０９	排水計画縦断図-4
Ａ－２１０	排水計画縦断図-5
Ａ－２１１	側溝展開図
Ａ－２１２	雨水貯留槽Ｂ詳細図
Ａ－２１３	雨水貯留槽Ｃ詳細図
Ａ－２１４	取付管詳細図
Ａ－２１５	舗装計画平面図
Ａ－２１６	縁石・囲障計画平面図
Ａ－２１７	付帯計画平面図
Ａ－２１８	植栽計画平面図
Ａ－２１９	客土計画平面図
Ａ－２２０	構造図-1
Ａ－２２１	構造図-2
Ａ－２２２	構造図-3
Ａ－２２３	構造図-4
Ａ－２２４	構造図-5
Ａ－２２５	構造図-6
Ａ－２２６	擁壁詳細図-1
Ａ－２２７	擁壁詳細図-2
Ａ－２２８	擁壁詳細図-3
Ａ－２２９	擁壁詳細図-4
Ａ－２３０	階段詳細図-1
Ａ－２３１	階段詳細図-2
Ａ－２３２	階段詳細図-3
Ａ－２３３	階段詳細図-4
Ａ－２３４	撤去平面図

NO.	図面名称
Ａ－３００	工事工程・仮設計画図-１　（参考図）
Ａ－３０１	工事工程・仮設計画図-２　（参考図）
Ａ－３０２	工事工程・仮設計画図-３　（参考図）
Ａ－３０３	工事工程・仮設計画図-４　（参考図）
Ａ－３１０	配置図　（バリアフリー法認定図）

NO.	図面名称
Ｓ－００１	構造関係特記仕様書（１）
Ｓ－００２	構造関係特記仕様書（２）
Ｓ－００３	構造関係特記仕様書（３）
Ｓ－００４	構造設計標準仕様
Ｓ－００５	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）
Ｓ－００６	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）
Ｓ－００７	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（３）
Ｓ－００８	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（４）
Ｓ－００９	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（５）
Ｓ－０１０	鉄骨構造標準図（１）
Ｓ－０１１	鉄骨構造標準図（２）
Ｓ－０１２	ハイベースＮＥＯ工法設計施工標準
Ｓ－０１３	ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準
Ｓ－０１４	ボーリング調査位置図、土質柱状図（１）
Ｓ－０１５	土質柱状図（２）
Ｓ－０１６	杭伏図
Ｓ－０１７	１階下部基礎・ピット伏図
Ｓ－０１８	１階床梁伏図
Ｓ－０１９	２階下部基礎・ピット伏図
Ｓ－０２０	２階床梁伏図
Ｓ－０２１	R階床梁伏図
Ｓ－０２２	RSL+2,560床梁伏図
Ｓ－０２３	軸組図（１）
Ｓ－０２４	軸組図（２）
Ｓ－０２５	軸組図（３）
Ｓ－０２６	軸組図（４）
Ｓ－０２７	軸組図（５）
Ｓ－０２８	杭リスト、基礎リスト
Ｓ－０２９	ＭＡＧＮＵＭ－ＢＡＳＩＣ工法　特記仕様書
Ｓ－０３０	Ｆ．Ｔ．Ｐｉｌｅ構法標準図（１）
Ｓ－０３１	Ｆ．Ｔ．Ｐｉｌｅ構法標準図（２）
Ｓ－０３２	１階基礎梁リスト（１）
Ｓ－０３３	１階基礎梁リスト（２）、２階基礎梁リスト
Ｓ－０３４	１階基礎小梁リスト、２階基礎小梁リスト
Ｓ－０３５	柱梁芯線図（１）
Ｓ－０３６	柱梁芯線図（２）
Ｓ－０３７	柱リスト共通事項、各種要領図
Ｓ－０３８	柱リスト

NO.	図面名称
Ｓ－０３９	大梁リスト（１）
Ｓ－０４０	大梁リスト（２）
Ｓ－０４１	小梁リスト
Ｓ－０４２	スラブリスト、片持ちスラブリスト
Ｓ－０４３	壁リスト
Ｓ－０４４	鉄骨部材リスト
Ｓ－０４５	雑詳細図（１）
Ｓ－０４６	雑詳細図（２）
Ｓ－０４７	Ｙ４通り架構配筋詳細図



工事発注区分

	事業担当課				生涯学習振興課　及び中央図書館管理課	工事発注担当課
	工事範囲				工事名称	
1					（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設　新築工事　（昇降機設備工事含む）（建築外構含む）	営繕課
2					（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設　新築電気設備工事	建築設備課
3					（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設　新築給排水設備工事　（緑道内雨水・汚水管敷設工事含む）	
4					（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設　新築空気調和設備工事	
5					（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設　新築外灯設備工事　（その１）	
6					（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設　新築外灯設備工事　（その２）	
7					（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設　駐車場整備工事（一期工事）（219号線雨水汚水管接続工事含む）	道路建設課
8					（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設　駐車場整備工事（二期工事）（222号線歩行者専用道路化工事含む）	
9					（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設　マンホールトイレ整備工事	下水道整備課

- 計画建物
- 計画通知敷地
- 新築工事範囲
- 駐車場整備工事（一期工事）（219号線雨水汚水管接続工事含む）
- 駐車場整備工事（二期工事）（222号線歩行者専用道路化工事含む）
- マンホールトイレ整備工事

工事範囲図

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和８　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	工事範囲区分図	縮尺	1：800	図面番号	A－ 001
		特記事項		特記事項		特記事項							

工事範囲及区分表

各項目とも該当欄に○を付し、不要な項目は ―― にて消去する

工事内容	本工事 建	電	給	空	外灯1	外灯2	駐一	駐二	マンホール			別途	備考
仕上げ・ユニット関係													
カウンター	○												
下駄箱	○												
カーテンボックス・ブラインドボックス	○												
カーテンレール	○												
カーテン												○	
郵便受	○												
表示板・文字	○												
黒　板・ホワイトボード	○												
室名板	○												
洗面化粧台	○												
洗面カウンター	○												
鏡	○												
ペーパーホルダー			○										
洗濯機パン			○										
流し台	○												
コンロ台	○												
館名板	○												
調乳用温水器（シンク一体型）	○												
冷水器	○												
ブックリフト（小荷物昇降機）	○												
ブラインド	○												
スリーブ・構造補強関係													
梁・壁・床貫通スリーブ及び箱入	○	○	○	○									
同上貫通の開口補強	○												
鉄骨梁の貫通スリーブ	○												
同上貫通の開口補強	○												
床貫通スリーブ孔埋補修	○	○	○	○									
地中梁の人孔・連通管・通気管スリーブ	○												
構造図による貫通補強	○												
インサート	○	○	○	○									
仕上関係													
石・タイル・金属・ガラス・プラスチック等の孔開け・補修	○												
スリーブのコーキング	○	○	○	○									
防水補修	○												
照明器具及び設備機器の天井切込・下地補強（※補強を要する天井切込・下地補強は建築工事）	○	○	○	○									
天井附属器具の取付用下地	○												
点検口（天井・カベ・床）	○												
設備関係の吸音・遮音・断熱・防水		○	○	○									
配管・ダクト等の隠蔽ライニング	○												
配管・ダクト等の塗装		○	○	○									
スリーブ等の化粧プレート		○	○	○									
フリーアクセスフロア	○												
昇降機設備関係													
乗場・昇降路内の機器搬入据付	○												
エレベーター三方枠	○												
エレベーター中間ビーム及びファスナー	○												
ＥＶ用インターホン		○											機器支給は建築
同上配管配線		○											
ＥＶ電源、接地線		○											
ＥＶ機械室内吊りフック	○												
インジゲーター、押釦の躯体穴開け工事	○												
マシンビーム受梁、スペーサー	○												
昇降路内及び機械室内煙感知設備		○											
昇降路、煙感知器点検扉	○												

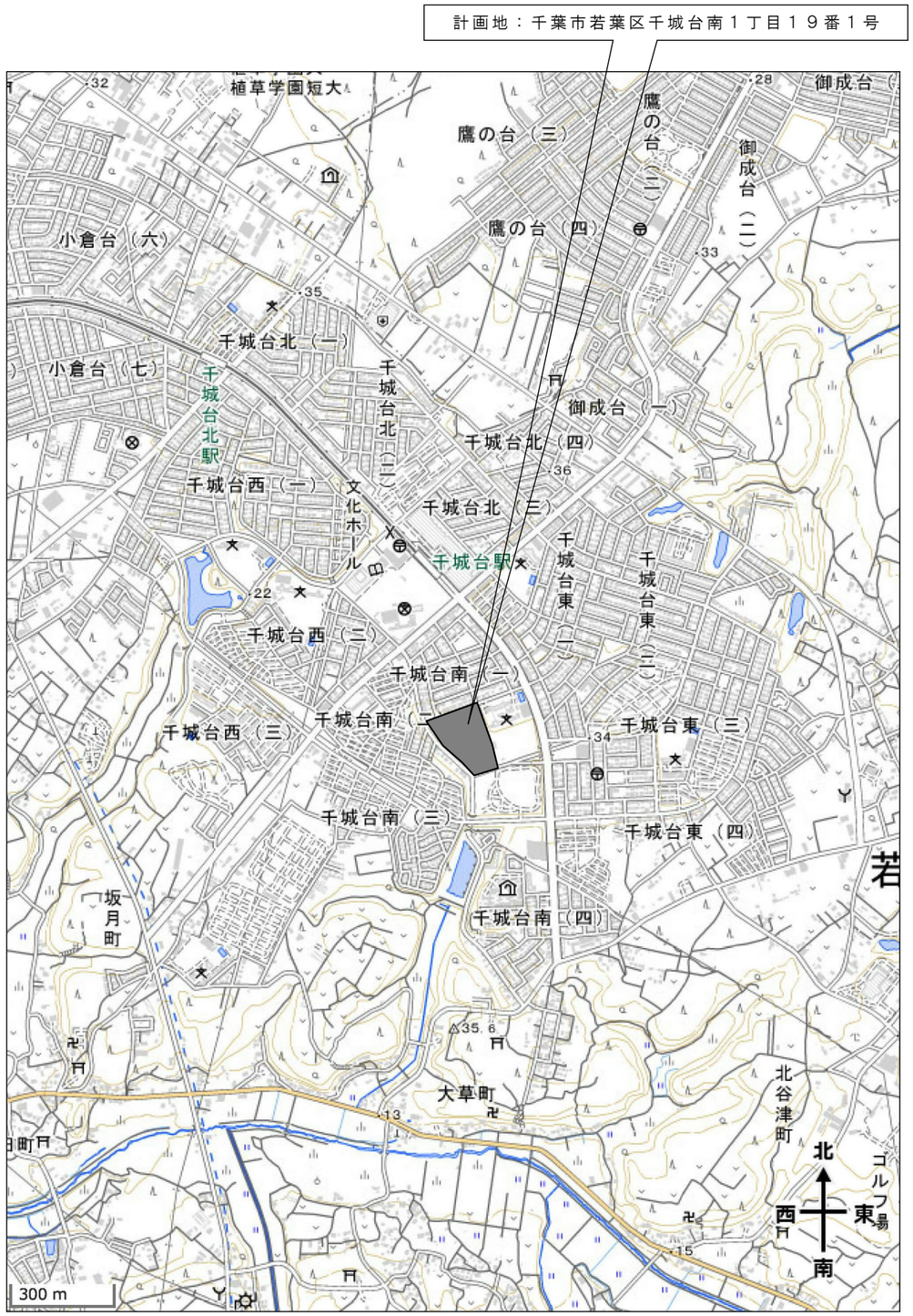
各項目とも該当欄に○を付し、不要な項目は ―― にて消去する

工事内容	本工事 建	電	給	空	外灯1	外灯2	駐一	駐二	マンホール			別途	備考
電気設備関係													
屋外灯		○			○	○							
煙感知連動制御		○											
非常用照明		○											
誘導灯		○											
誘導標識		○											
インターホン		○											
自動火災報知		○											
テレビ・ラジオ共同聴視		○											
キュービクルの基礎	○												
太陽光発電の基礎	○												
テレビアンテナの基礎	○												
電気機器・盤類の防振		○			○	○							
電灯盤・動力制御盤２次側工事		○	○	○	○	○							
煙感連動ｼｬｯﾀｰ用感知器及び自動閉鎖装置への信号供給		○											
同上用自動閉鎖装置以降2次側電気工事(制御盤共)	○												
煙感連動ドア用感知器及びレリーズ間の配管配線		○											
同上レリーズ及び枠欠込	○												
一般照明器具		○											
各所建築化粧照明用照明ボックス及び仕上げ	—												
電動ｼｬｯﾀｰ等への電源供給		○											
同上操作スイッチ及び２次側配線(制御板共)	○												
電気機器、配管類の指定色塗装		○											
ケーブルラック		○											
ネットワーク機器・調整、配線、末端モジュラ設置												○	
同上空配管(呼び線)、電源供給、機器設置スペース		○											
弱電用ケーブルラック		○											
コンピューターネットワーク配線（一部）												○	
フリーアクセスフロア内ｺﾝｾﾝﾄから各端末への電源工事		○											
電話機器(交換機含む)設置・配線・調整		○											
同上用配管		○											
強電・弱電用引込		○											
プロジェクター、TV、DVDプレーヤー等												○	
同上スクリーン及びＢＯＸ	○												
ガス漏れ警報			○										
防犯カメラ及び配線												○	
同上用配管		○											
衛生設備関係													
給水設備（県水・井水）			○										
給湯設備（中央・局所）			○										
排水設備（雑排水・汚水）			○										
排水設備（屋外排水）			○			○	○						
排水設備（建物雨水配管、敷地集水桝、排水溝等）	○					○	○						
加圧給水ポンプユニット制御盤			○										
同上用電源の供給および接続、警報取りだし		○											
増圧給水装置制御盤			○										
同上用電源の供給および接続、警報取りだし		○											
~~消火ポンプユニット制御盤~~													
~~同上用電源の供給および接続、警報取りだし~~													
衛生設備機器の防振装置			○										
ルーフドレイン及び雨水立管	○												
床排水金物			○										
雨水竪樋のＧＬ以下の部分の配管の第一桝への接続	○												
同上第一桝の製作及び設置			○										
はめ込洗面器の切込み			○										
洗面器の鏡	○												
消火器	○												
同上用収納箱	○												
小便器個別感知フラッシュ			○										
同上用電源供給		○											
衛生設備機器、配管類の指定色塗装			○										
トイレユニット・ライニング部下地補強及び仕上げ	○												
同上用器具取り付け及び配管			○										
手摺	○												
同上補強	○												
ガス給湯器用リモコン			○										
同上用配管配線			○										
厨房機器(配管接続が必要なもの)			○										
厨房機器(配管接続が不要なもの)												○	

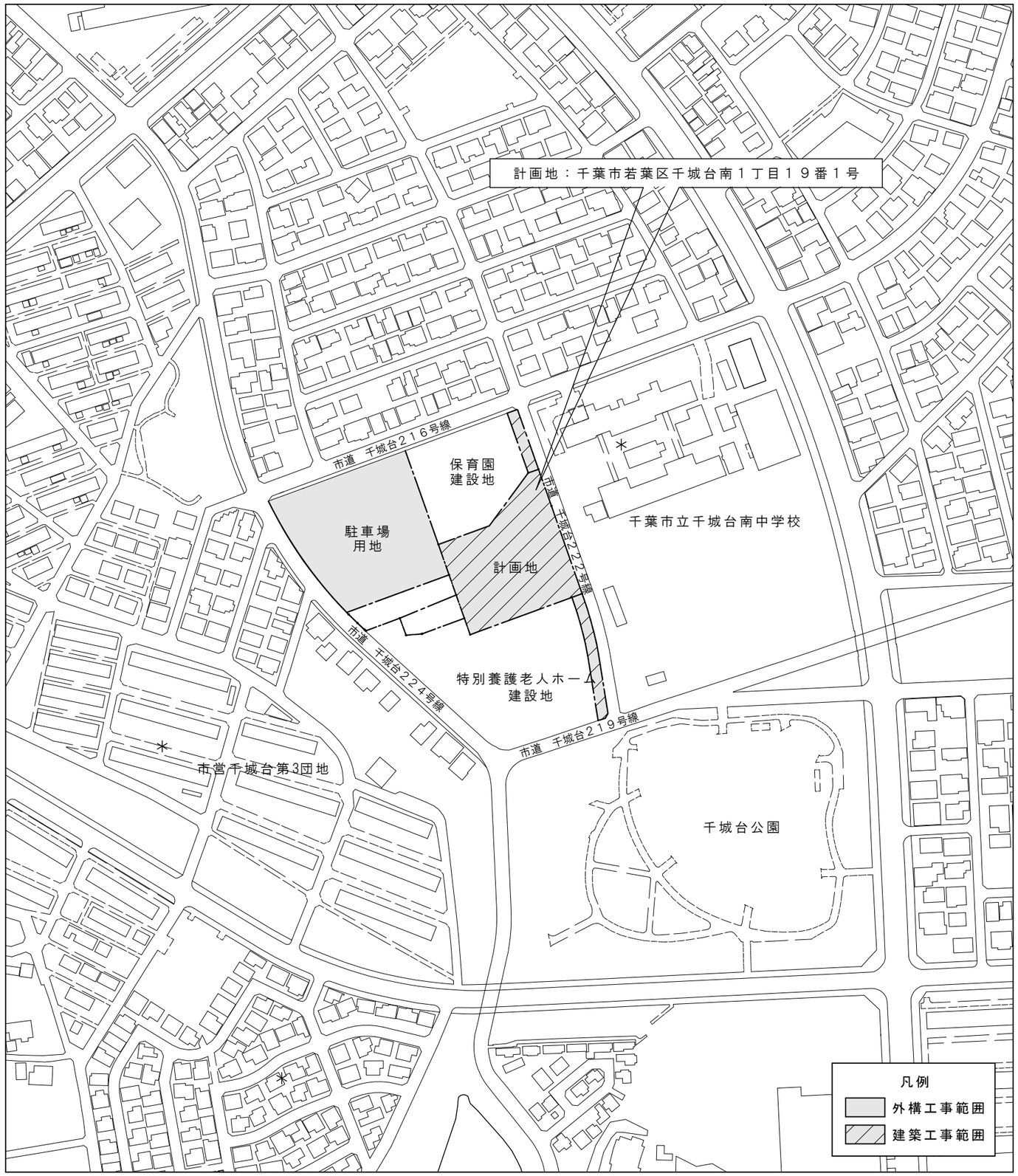
各項目とも該当欄に○を付し、不要な項目は ―― にて消去する

工事内容	本工事 建	電	給	空	外灯1	外灯2	駐一	駐二	マンホール			別途	備考
空調設備関係													
換気扇				○									
同上取付枠				○									
空調機器の防振装置				○									
屋内空調換気用制気口				○									
ドアガラリ、アンダーカット	○												
空調用ドレン管				○									
一般換気扇用スイッチ及びコントロール		○											
同上用配管配線		○											
空調換気扇用スイッチ及びコントロール				○									
同上用配管配線				○									
パッケージ型空調機用リモコン				○									
同上用配管配線				○									
空調機器・配管の指定色塗装	○												
ダクト類の指定色塗装				○									
暖房機、ｶﾞｽ管接続			○										
設備機器基礎関係													
屋上の基礎(鉄骨架台含む)及び、補強	○												
同上アンカーボルト、箱入、埋込	○	○	○	○									
一般機器の防振工事		○	○	○									
機械室・電気室のシンダーコンクリート及び床仕上	○												
機械室・電気室の床排水溝・溝蓋	○												
配管・配線ピット及び蓋	○												
機器搬入用フック	○												
外構関係	建	電	給	空	外灯1	外灯2	駐一	駐二	マンホール			別途	備考
植栽帯の土留め	○						○	○					
植栽	○						○	○					
地被類の土壌改良	○						○	○					
低・中・高木の客土	○						○	○					
管制設備　基礎							○						
同上アンカーボルト、箱入れ、埋込、設置、配線、機器調整												○	別途管制工事（２次側電源配線含む）
同上に係る動力分電盤、1次電源配線、各所空配管		○			○								
ＥＶ充電設備　基礎							○						
同上アンカーボルト、箱入れ、埋込、設置、配線、機器調整												○	別途EV充電設備工事（２次側電源配線含む）
同上に係る動力分電盤、1次電源配線、各所空配管					○								
給水引込工事			○										
ガス引込工事			○										
散水栓及び配管			○										
マンホールトイレ設置工事									○				
公共桝新設			○										
道路内汚水管取付工事							○		○				
汚水排水構造物	○		○				○		○				
雨水排水構造物	○						○	○					
雨水貯留槽	○							○					
道路内雨水管取付工事							○	○					
擁壁構造物	○												
縁石構造物	○						○	○					
囲障構造物	○						○	○					
付帯構造物	○						○	○					
サイン	○						○	○					

千葉市都市局建築部建築設備課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　8年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名　工事範囲区分表	縮尺　NON　図面番号　A－002



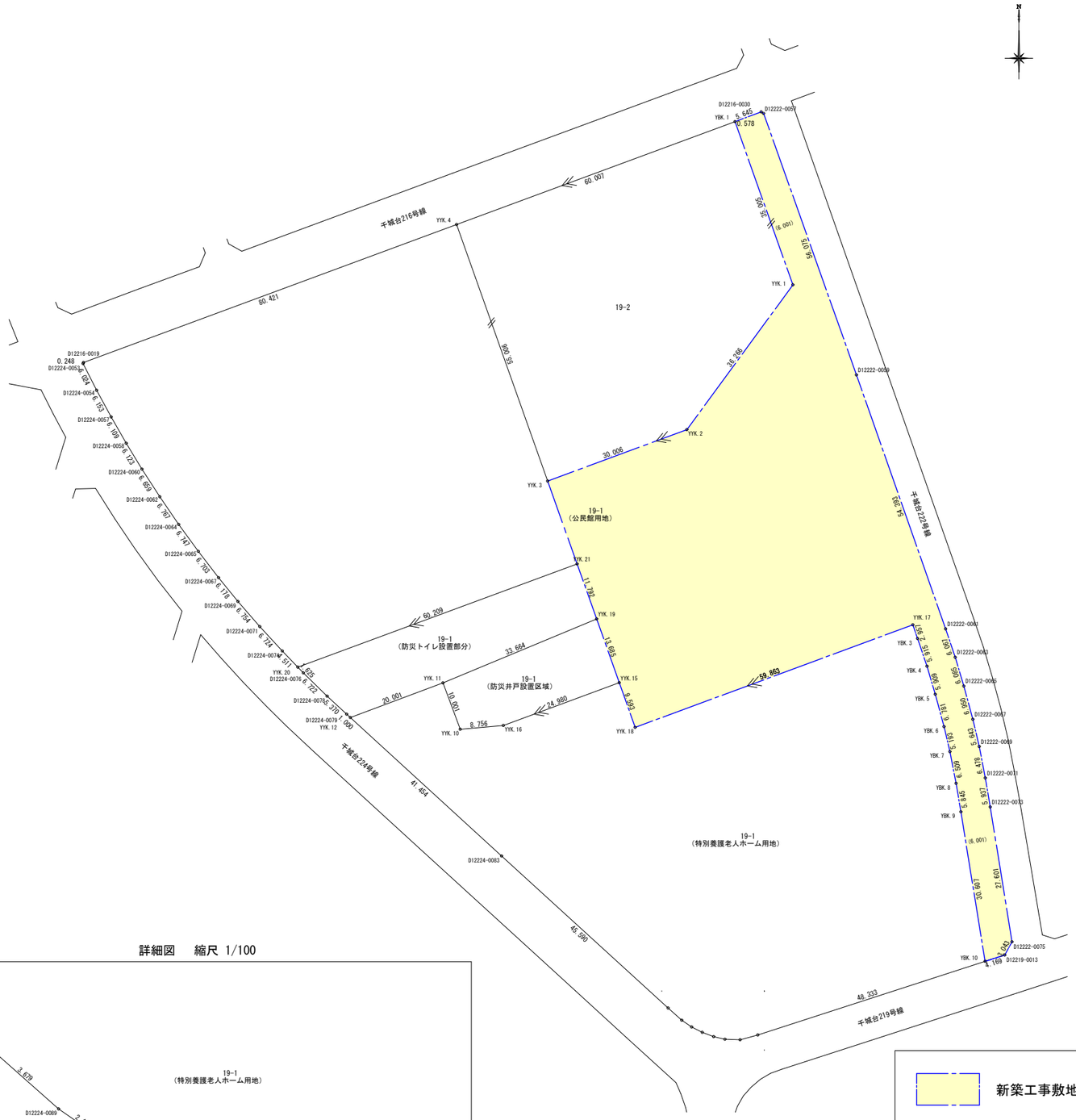
付近見取図　（広域）



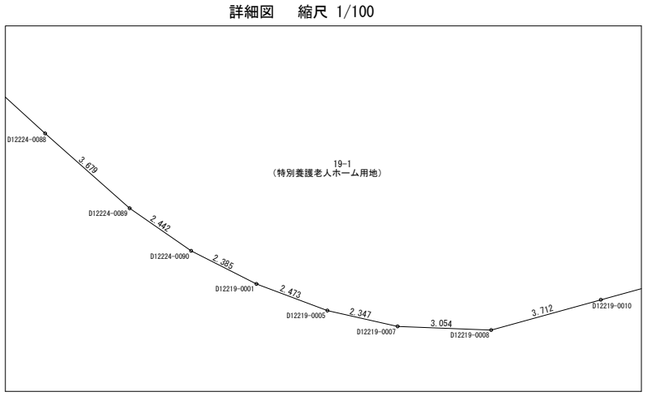
付近見取図　S=1/2,500（A3）

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	案内図	縮尺　図示	図面番号　A－003

参考図面



詳細図　縮尺 1/100



新築工事敷地　4,530.3㎡

座標求積表

地番	19-1（公民館用地）			
点名	X	Y	$X_{n+1}-X_{n-1}$	$Y_n(X_{n+1}-X_{n-1})$
D12216-0030	-42242.415	32319.140	1.648	53261.942720
D12222-0057	-42242.724	32319.628	-53.148	-1717723.588944
D12222-0059	-42295.563	32338.402	-104.144	-3367850.537888
D12222-0061	-42346.868	32356.469	-57.054	-1846065.982326
D12222-0063	-42352.617	32358.407	-11.584	-374839.786688
D12222-0065	-42358.452	32360.135	-12.540	-405796.092900
D12222-0067	-42365.157	32361.965	-12.197	-394718.887105
D12222-0069	-42370.649	32363.260	-11.852	-383569.357520
D12222-0071	-42377.009	32364.493	-12.215	-395332.281995
D12222-0073	-42382.864	32365.479	-33.101	-1071329.720379
D12222-0075	-42410.110	32369.892	-29.909	-968151.099828
D12219-0013	-42412.773	32368.419	-3.945	-127693.412955
YBK.10	-42414.055	32364.452	28.931	936335.960812
YBK.9	-42383.842	32359.558	35.976	1164167.458608
YBK.8	-42378.079	32358.588	12.151	393189.202788
YBK.7	-42371.691	32357.340	11.443	370265.041620
YBK.6	-42366.636	32356.148	11.597	375234.248356
YBK.5	-42360.094	32354.363	12.208	394982.063504
YBK.4	-42354.428	32352.685	11.271	364647.112635
YBK.3	-42348.823	32350.795	8.394	271552.573230
YYK.17	-42346.034	32349.813	-17.961	-581034.991293
YYK.18	-42366.784	32293.662	-11.711	-378191.075682
YYK.15	-42357.745	32290.450	21.935	708291.020750
YYK.19	-42344.849	32285.868	24.007	775086.833076
YYK.21	-42333.738	32281.920	-9.760	-315071.539200
YYK.20	-42354.609	32225.444	-17.621	-567844.548724
D12224-0074	-42351.359	32222.315	8.203	264319.649945
D12224-0071	-42346.406	32217.767	10.043	323563.033981
D12224-0069	-42341.316	32213.328	9.879	318235.467312
D12224-0067	-42336.527	32209.425	10.104	325444.030200
D12224-0065	-42331.212	32205.341	10.755	346368.442455
D12224-0064	-42325.772	32201.350	11.032	355245.293200
D12224-0062	-42320.180	32197.540	11.188	360226.077520
D12224-0060	-42314.584	32193.930	10.824	348467.098320
D12224-0058	-42309.356	32190.742	10.532	339032.894744
D12224-0057	-42304.052	32187.710	10.709	344698.186390
D12224-0054	-42298.647	32184.769	10.772	346694.331668
D12224-0053	-42293.280	32182.034	5.599	180187.208366
D12216-0019	-42293.048	32182.123	28.108	904575.113284
YYK.4	-42265.172	32257.558	-23.956	-772762.059448
YYK.3	-42317.004	32275.975	-41.431	-1337225.920225
YYK.2	-42306.603	32304.120	39.647	1280761.445640
YYK.1	-42277.357	32325.565	62.231	2011652.235515
YBK.1	-42244.372	32313.845	34.942	1129110.371990
			倍面積	19606.544471
			面積	9803.2722355
			地積	9803.27 ㎡

実測　9803.27㎡

座標求積表

地番	19-1（特別養護老人ホーム用地）			
点名	X	Y	$X_{n+1}-X_{n-1}$	$Y_n(X_{n+1}-X_{n-1})$
YYK.17	-42346.034	32349.813	17.961	581034.991293
YBK.3	-42348.823	32350.795	-8.394	-271552.573230
YBK.4	-42354.428	32352.685	-11.271	-364647.112635
YBK.5	-42360.094	32354.363	-12.208	-394982.063504
YBK.6	-42366.636	32356.148	-11.597	-375234.248356
YBK.7	-42371.691	32357.340	-11.443	-370265.041620
YBK.8	-42378.079	32358.588	-12.151	-393189.202788
YBK.9	-42383.842	32359.558	-35.976	-1164167.458608
YBK.10	-42414.055	32364.452	-45.076	-1458860.038352
D12219-0010	-42428.918	32318.461	-15.851	-512279.925311
D12219-0008	-42429.906	32314.883	-0.869	-28081.633327
D12219-0007	-42429.787	32311.831	0.634	20485.700854
D12219-0005	-42429.272	32309.541	1.383	44684.095203
D12219-0001	-42428.404	32307.225	1.948	62934.474300
D12224-0090	-42427.324	32305.098	2.469	79761.286962
D12224-0089	-42425.935	32303.089	3.827	123623.921603
D12224-0088	-42423.497	32300.334	33.169	1071369.778446
D12224-0083	-42392.766	32266.658	58.697	1893956.024626
YYK.12	-42364.800	32236.059	34.972	1127359.455348
YYK.11	-42357.794	32254.792	-2.361	-76153.563912
YYK.10	-42367.161	32258.296	-8.610	-277743.928560
YYK.16	-42366.404	32267.019	9.416	303826.250904
YYK.15	-42357.745	32290.450	-0.380	-12270.371000
YYK.18	-42366.784	32293.662	11.711	378191.075682
			倍面積	12200.105982
			面積	6100.0529910
			地積	6100.05 ㎡

実測　6100.05㎡

座標求積表

地番	19-1（防災井戸設置区域）			
点名	X	Y	$X_{n+1}-X_{n-1}$	$Y_n(X_{n+1}-X_{n-1})$
YYK.19	-42344.849	32285.868	0.049	1582.007532
YYK.15	-42357.745	32290.450	-21.555	-696020.649750
YYK.16	-42366.404	32267.019	-9.416	-303826.250904
YYK.10	-42367.161	32258.296	8.610	277743.928560
YYK.11	-42357.794	32254.792	22.312	719668.919104
			倍面積	852.045458
			面積	426.0227290
			地積	426.02 ㎡

実測　426.02㎡

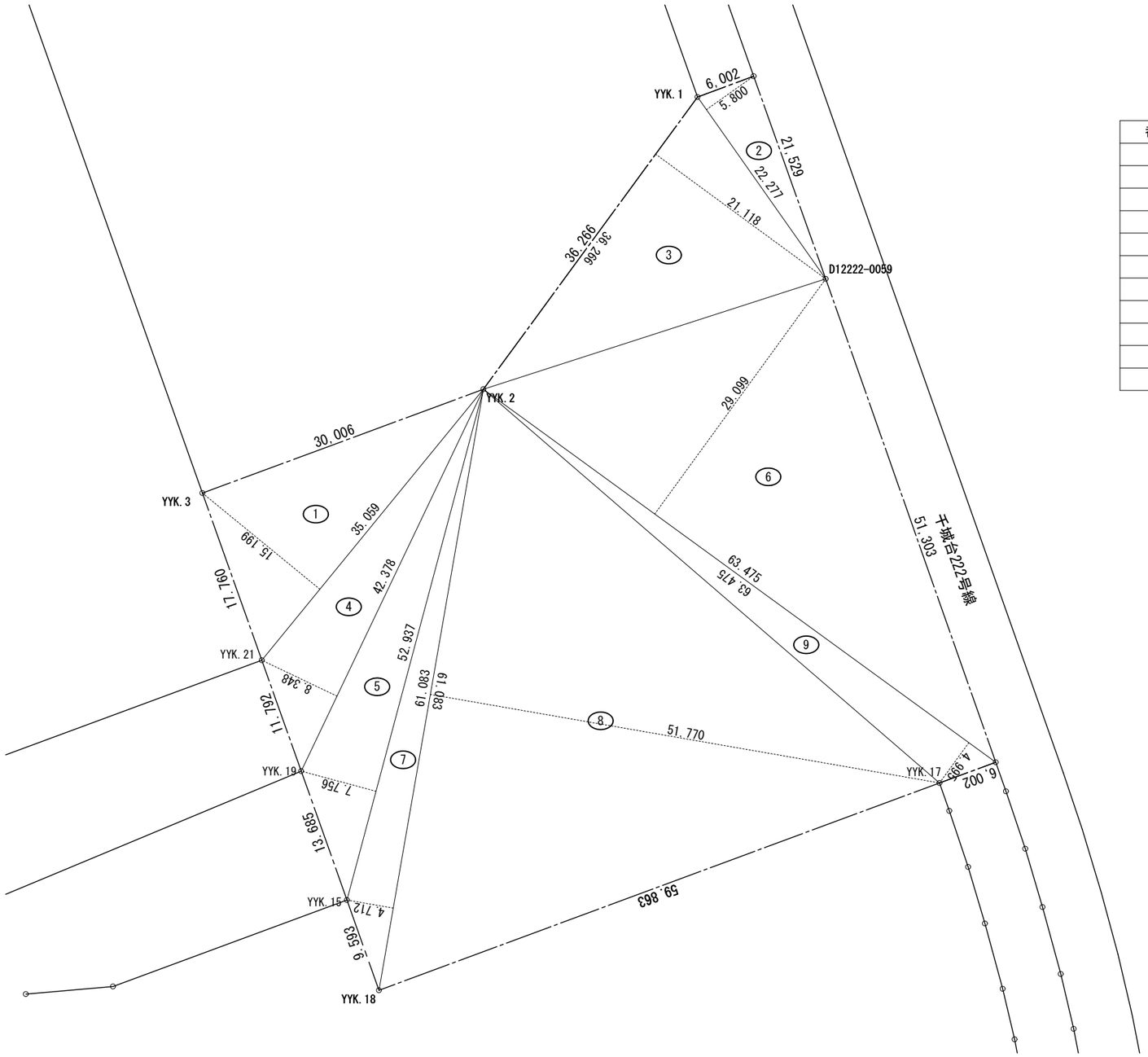
座標求積表

地番	19-1（防災トイレ設置部分）			
点名	X	Y	$X_{n+1}-X_{n-1}$	$Y_n(X_{n+1}-X_{n-1})$
YYK.21	-42333.738	32281.920	9.760	315071.539200
YYK.19	-42344.849	32285.868	-24.056	-776668.840608
YYK.11	-42357.794	32254.792	-19.951	-643515.355192
YYK.12	-42364.800	32236.059	-6.331	-204086.489529
D12224-0079	-42364.125	32235.320	4.322	139321.053040
D12224-0076	-42360.478	32231.378	8.346	269003.080788
D12224-0076	-42355.779	32226.571	5.869	189137.745199
YYK.20	-42354.609	32225.444	22.041	710281.011204
			倍面積	1456.255898
			面積	728.1279490
			地積	728.12

実測　728.12㎡

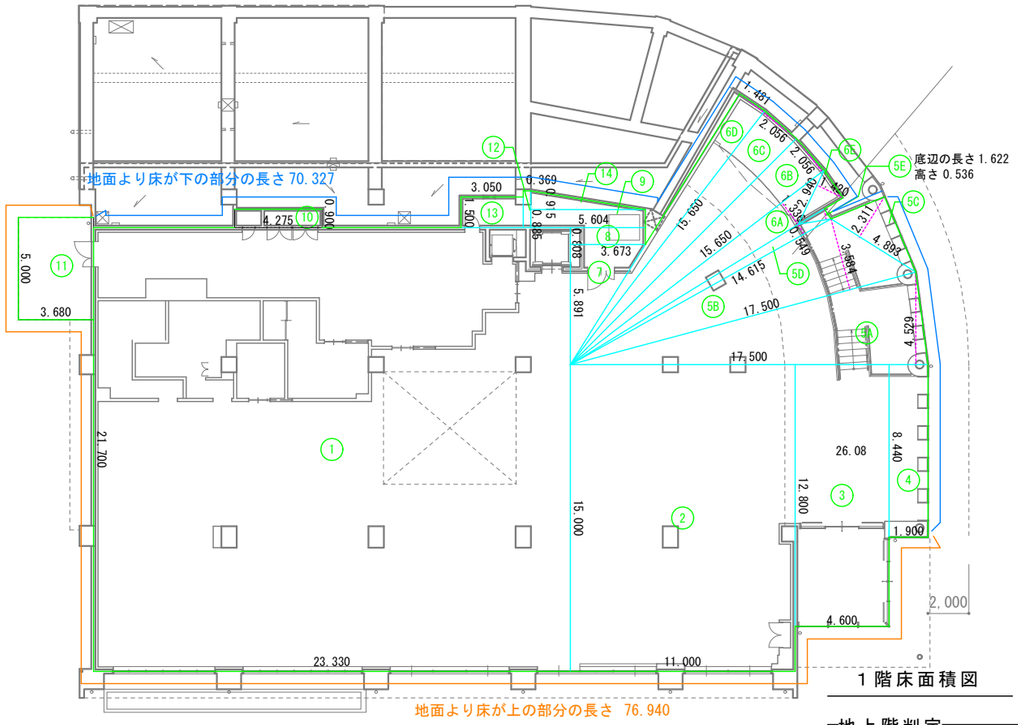
特別養護老人ホーム用地	6100.05㎡
防災井戸設置区域	426.02㎡
防災トイレ設置部分	728.12㎡
合計	7254.19㎡
公民館用地	9803.27㎡

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	敷地求積図（事業敷地）	縮尺 1：1,000	図面番号 A－004

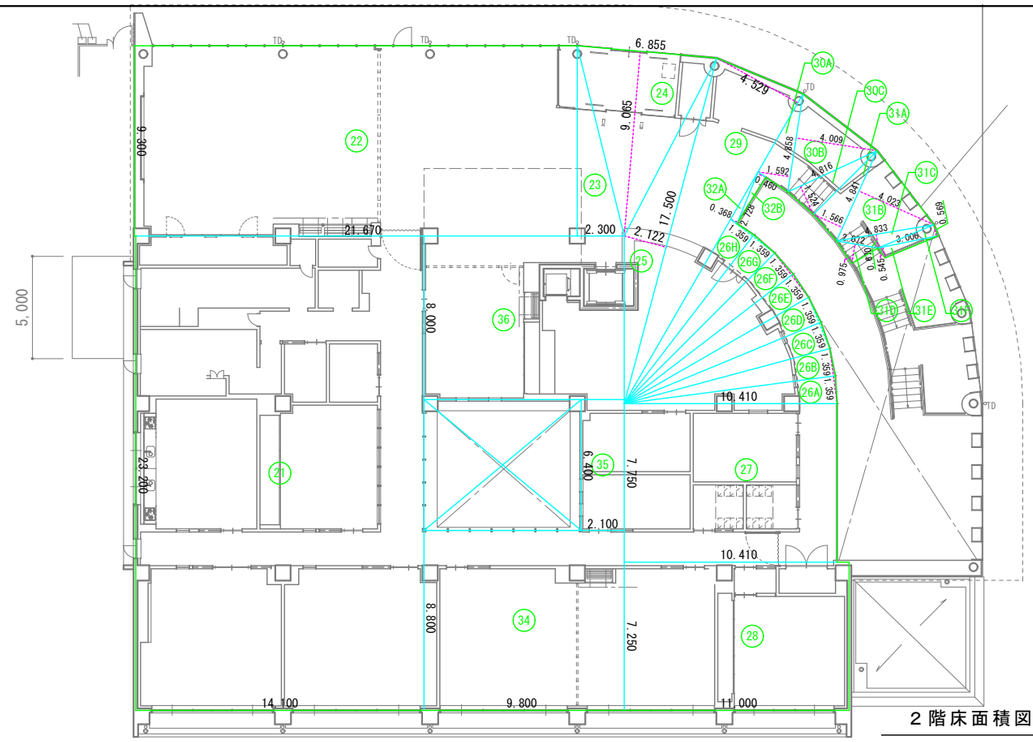


番号	底　　辺	高　　さ	倍　　面　　積	面　　積
1	35.059	15.199	532.861741	266.4308705
2	22.277	5.800	129.206600	64.6033000
3	36.266	21.118	765.865388	382.9326940
4	42.378	8.348	353.771544	176.8857720
5	52.937	7.756	410.579372	205.2896860
6	63.475	29.099	1,847.059025	923.5295125
7	61.083	4.712	287.823096	143.9115480
8	61.083	51.770	3,162.266910	1,581.1334550
9	63.475	4.995	317.057625	158.5288125
合　　計				3,903.2456505
敷 地 面 積				3,903.24 m²

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	敷地求積図（計画通知用敷地）	縮尺	1：500	図面番号	A－ 005
			特記事項		特記事項		特記事項							



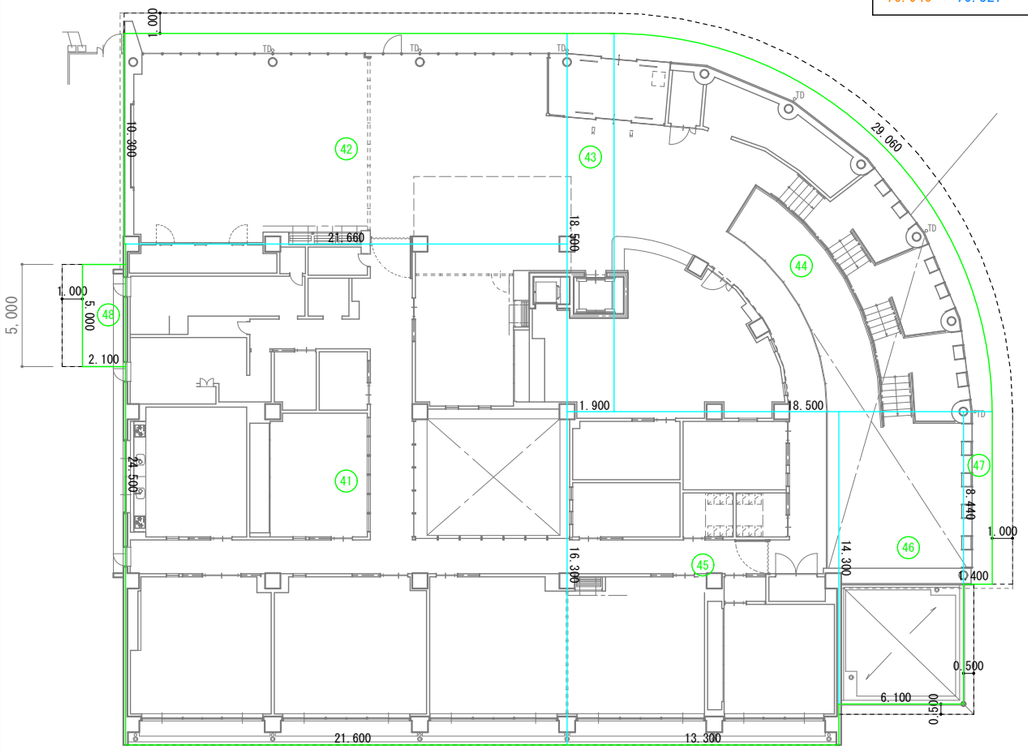
1 階床面積図



2 階床面積図

地上階判定

$$\frac{70.327}{76.940 + 70.327} = 0.478 < 0.5 \quad \cdots\text{地上階}$$



建築面積

1階 床面積算定表					
1	23.330 ×	21.700		=	506.261000 ㎡
2	11.000 ×	15.000		=	165.000000 ㎡
3	4.600 ×	12.800		=	58.880000 ㎡
4	1.900 ×	8.440		=	16.036000 ㎡
5A	17.500 ×	4.529 ÷	2.000	=	39.628750 ㎡
5B	17.500 ×	3.584 ÷	2.000	=	31.360000 ㎡
5C	4.893 ×	2.311 ÷	2.000	=	5.653862 ㎡
5D	14.615 ×	0.549 ÷	2.000	=	4.011818 ㎡
5E	1.622 ×	0.536 ÷	2.000	=	0.434696 ㎡
6A	15.650 ×	1.336 ÷	2.000	=	10.454200 ㎡
6B	15.650 ×	2.056 ÷	2.000	=	16.088200 ㎡
6C	15.650 ×	2.056 ÷	2.000	=	16.088200 ㎡
6D	15.650 ×	1.481 ÷	2.000	=	11.588825 ㎡
6E	2.940 ×	1.420 ÷	2.000	=	2.087400 ㎡
7	5.891 ×	3.673 ÷	2.000	=	10.818822 ㎡
8	3.673 ×	0.808		=	2.967784 ㎡
9	5.604 ×	0.885		=	4.959540 ㎡
10	4.275 ×	0.900		=	3.847500 ㎡
11	3.680 ×	5.000		=	18.400000 ㎡
12	0.369 ×	1.800		=	0.664200 ㎡
13	3.050 ×	1.500		=	4.575000 ㎡
14	5.604 ×	0.915 ÷	2.000	=	2.563830 ㎡
			合計		932.36~~9626~~ ㎡

2階 床面積算定表					
21	14.100 ×	23.200		=	327.120000 ㎡
34	9.800 ×	8.800		=	86.240000 ㎡
35	2.100 ×	6.400		=	13.440000 ㎡
36	9.800 ×	8.000		=	78.400000 ㎡
22	21.670 ×	9.300		=	201.531000 ㎡
23	2.300 ×	9.300 ÷	2.000	=	10.695000 ㎡
24	6.855 ×	9.065 ÷	2.000	=	31.070288 ㎡
25	17.500 ×	2.122 ÷	2.000	=	18.567500 ㎡
26A	10.410 ×	1.359 ÷	2.000	=	7.073595 ㎡
26B	10.410 ×	1.359 ÷	2.000	=	7.073595 ㎡
26C	10.410 ×	1.359 ÷	2.000	=	7.073595 ㎡
26D	10.410 ×	1.359 ÷	2.000	=	7.073595 ㎡
26E	10.410 ×	1.359 ÷	2.000	=	7.073595 ㎡
26F	10.410 ×	1.359 ÷	2.000	=	7.073595 ㎡
26G	10.410 ×	1.359 ÷	2.000	=	7.073595 ㎡
26H	10.410 ×	1.359 ÷	2.000	=	7.073595 ㎡

2階 床面積算定表					
27	10.410 ×	7.750		=	80.677500 ㎡
28	11.000 ×	7.250		=	79.750000 ㎡
29	17.500 ×	4.529 ÷	2.000	=	39.628750 ㎡
30A	4.858 ×	1.592 ÷	2.000	=	3.866968 ㎡
30B	4.009 ×	4.858 ÷	2.000	=	9.737861 ㎡
30C	4.816 ×	1.524 ÷	2.000	=	3.669792 ㎡
31A	4.841 ×	1.566 ÷	2.000	=	3.790503 ㎡
31B	4.841 ×	4.023 ÷	2.000	=	9.737672 ㎡
31C	4.833 ×	0.670 ÷	2.000	=	1.619055 ㎡
31D	2.072 ×	0.975 ÷	2.000	=	1.010100 ㎡
31E	3.006 ×	0.545 ÷	2.000	=	0.819135 ㎡
31F	3.006 ×	0.569 ÷	2.000	=	0.855207 ㎡
32A	2.782 ×	0.368 ÷	2.000	=	0.511888 ㎡
32B	2.782 ×	0.460 ÷	2.000	=	0.639860 ㎡
			合計		1,059.96~~6838~~ ㎡

建築面積算定表					
41	21.600 ×	24.500		=	529.200000 ㎡
42	21.660 ×	10.300		=	223.098000 ㎡
43	1.900 ×	18.500		=	35.150000 ㎡
44	18.500 ×	29.060 ÷	2.000	=	268.805000 ㎡
45	13.300 ×	16.300		=	216.790000 ㎡
46	6.100 ×	14.300		=	87.230000 ㎡
47	1.400 ×	8.440		=	11.816000 ㎡
48	2.100 ×	5.000		=	10.500000 ㎡
			合計		1,382.58~~9000~~ ㎡

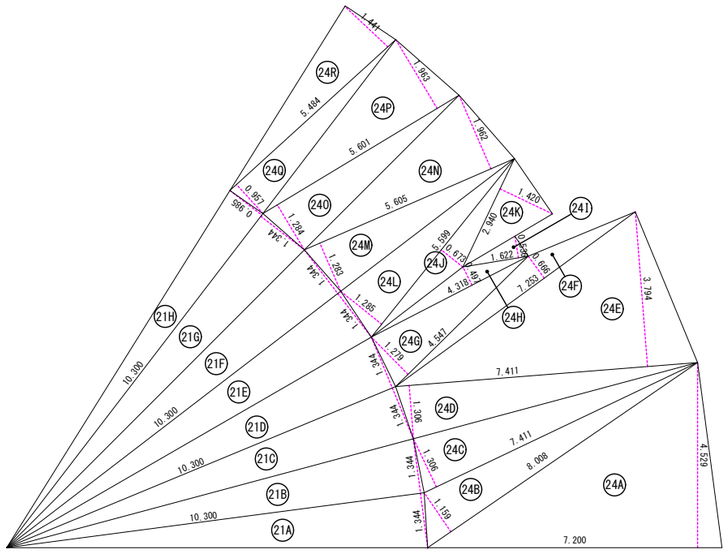
建蔽率	建築面積 /	敷地面積	×100 =	建蔽率
	1,382.58 /	3,903.24	×100 =	35.421342 ≒ 35.43
	建ぺい率	35.43%		

延床面積	1階延床面積 +	2階延床面積 =	延床面積
	932.36 +	1,059.96 =	1,992.32
延床面積	1,992.32 ㎡		
容積用延床面積	延床面積 − 1階EV − 2階EV		
	1,992.32 − 5.37 − 5.37 =		1,981.58
容積用延床面積	1,981.58 ㎡		

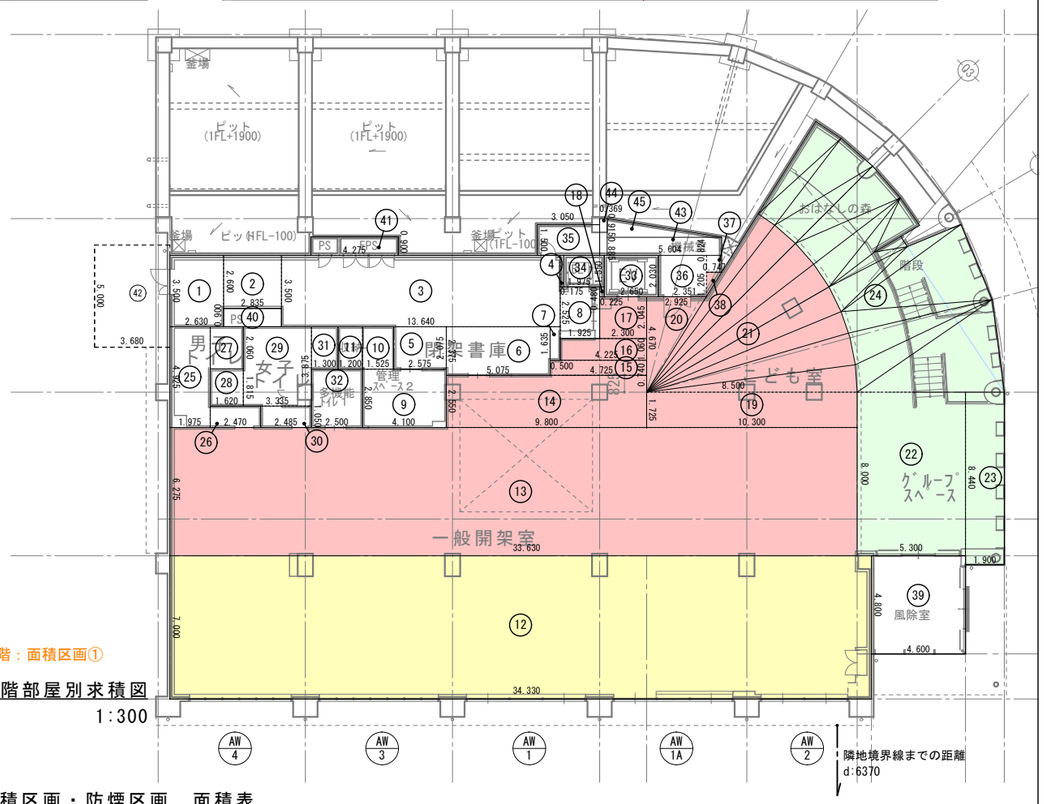
容積率	延床面積 /	敷地面積	×100 =	建蔽率
	1,981.58 /	3,903.24	×100 =	50.767567 ≒ 50.77
	容積率	50.77% ㎡		

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	建築面積・床面積求積図
縮尺	1：400	図面番号	A－006				

1階部屋別求積図



㉑㉔
拡大図　1:150



1階：面積区画①

1階部屋別求積図
1:300

面積区画・防煙区画　面積表

面積区画①		1F　一般開架室・こども室・おはなしの森・グループスペース・管理スペース２・機械室・EV・閉架書庫 管理スペース３・男女トイレ・多機能トイレ１・BL・階段		
		1F　風除室・PS・EPS	913.96	
		2F　ロビー エントランス・予約図書受取室・ブックポスト・ホール・階段・風除室・地域活動拠点・DS・管理スペース１・自習室・多目的準備室・倉庫・更衣室２・防災倉庫	564.39	1,478.35 ㎡
面積区画②		2F　廊下・給湯室・授乳室・男女トイレ・多機能トイレ２・PS・EPS・会議室（調理室/和室/1/2/音楽）・工芸室１、２・更衣室１・前室	495.57	495.57 ㎡
防煙区画Ａ		1F　一般開架室	240.31	240.31 ㎡
防煙区画Ｂ		1F　一般開架室・こども室	326.96	326.96 ㎡
防煙区画Ｃ		1F　おはなしの森・グループスペース・階段　　2F　ロビー エントランス・予約図書受取室・ブックポスト・階段・ホール（66収納除く）	487.71	487.71 ㎡

1階部屋別面積表

室名	1階　容積対象床面積表				各室合計
閉架書庫	1	2.630 × 3.500	=	9.205000 ㎡	
管理スペース３	2	2.835 × 2.600	=	7.371000 ㎡	
	3	13.640 × 3.500	=	47.740000 ㎡	
	4	0.175 × 1.550	=	0.271250 ㎡	
	5	2.575 × 2.075	=	5.343125 ㎡	
	6	5.075 × 2.375	=	12.053125 ㎡	
	7	0.500 × 1.635	=	0.817500 ㎡	
	8	1.925 × 2.525	=	4.860625 ㎡	87.66~~1625~~ ㎡
管理スペース２	9	4.100 × 2.850	=	11.685000 ㎡	
	10	1.525 × 2.075	=	3.164375 ㎡	
	11	1.200 × 2.075	=	2.490000 ㎡	17.33~~9375~~ ㎡
一般開架室	12	34.330 × 7.000	=	240.310000 ㎡	240.31~~0000~~ ㎡
	13	33.630 × 6.275	=	211.028250 ㎡	
	14	9.800 × 2.550	=	24.990000 ㎡	
	15	4.725 × 0.740	=	3.496500 ㎡	
	16	4.225 × 1.060	=	4.478500 ㎡	
	17	2.300 × 2.045	=	4.703500 ㎡	
	18	0.225 × 0.480	=	0.108000 ㎡	
	19	10.300 × 1.725	=	17.767500 ㎡	266.57~~2250~~ ㎡
こども室	20	2.926 × 4.670 ÷ 2.000	=	6.829875 ㎡	
	21A	10.300 × 1.344 ÷ 2.000	=	6.921600 ㎡	
	21B	10.300 × 1.344 ÷ 2.000	=	6.921600 ㎡	
	21C	10.300 × 1.344 ÷ 2.000	=	6.921600 ㎡	
	21D	10.300 × 1.344 ÷ 2.000	=	6.921600 ㎡	
	21E	10.300 × 1.344 ÷ 2.000	=	6.921600 ㎡	
	21F	10.300 × 1.344 ÷ 2.000	=	6.921600 ㎡	
	21G	10.300 × 1.344 ÷ 2.000	=	6.921600 ㎡	
	21H	10.300 × 0.985 ÷ 2.000	=	5.072750 ㎡	60.35~~3825~~ ㎡
グループスペース	22	5.300 × 8.000	=	42.400000 ㎡	
	23	1.900 × 8.440	=	16.036000 ㎡	58.43~~6000~~ ㎡
おはなしの森	24A	7.200 × 4.529 ÷ 2.000	=	16.304400 ㎡	
階段	24B	8.008 × 1.159 ÷ 2.000	=	4.640636 ㎡	
	24C	7.411 × 1.306 ÷ 2.000	=	4.839383 ㎡	
	24D	7.411 × 1.306 ÷ 2.000	=	4.839383 ㎡	
	24E	7.411 × 3.794 ÷ 2.000	=	14.058667 ㎡	
	24F	7.253 × 0.666 ÷ 2.000	=	2.415249 ㎡	
	24G	4.547 × 1.279 ÷ 2.000	=	2.907807 ㎡	
	24H	4.318 × 0.497 ÷ 2.000	=	1.073023 ㎡	
	24I	1.622 × 0.536 ÷ 2.000	=	0.434696 ㎡	
	24J	5.599 × 0.673 ÷ 2.000	=	1.884064 ㎡	
	24K	2.940 × 1.420 ÷ 2.000	=	2.087400 ㎡	
	24L	5.599 × 1.285 ÷ 2.000	=	3.597358 ㎡	
	24M	5.605 × 1.283 ÷ 2.000	=	3.595608 ㎡	
	24N	5.605 × 1.962 ÷ 2.000	=	5.498505 ㎡	
	24O	5.601 × 1.284 ÷ 2.000	=	3.595842 ㎡	
	24P	5.601 × 1.963 ÷ 2.000	=	5.497382 ㎡	
	24Q	5.484 × 0.957 ÷ 2.000	=	2.624094 ㎡	
	24R	5.484 × 1.441 ÷ 2.000	=	3.951222 ㎡	83.84~~4719~~ ㎡

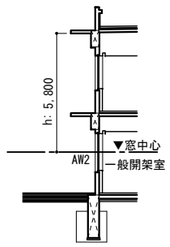
室名	1階　容積対象床面積表				各室合計
男子トイレ	25	1.975 × 4.925	=	9.726875 ㎡	
	26	2.470 × 1.050	=	2.593500 ㎡	
	27	1.620 × 2.060	=	3.337200 ㎡	15.65~~7575~~ ㎡
女子トイレ	28	1.620 × 1.815	=	2.940300 ㎡	
	29	3.335 × 3.875	=	12.923125 ㎡	
	30	2.485 × 1.050	=	2.609250 ㎡	
	31	1.300 × 2.075	=	2.697500 ㎡	21.17~~0175~~ ㎡
多機能トイレ	32	2.500 × 2.850	=	7.125000 ㎡	7.12~~5000~~ ㎡
EV	33	2.650 × 2.030	=	5.379500 ㎡	5.37~~9500~~ ㎡
ブックリフト	34	1.975 × 1.550	=	3.061250 ㎡	3.06~~1250~~ ㎡
機械室	35	1.500 × 3.050	=	4.575000 ㎡	
	36	2.351 × 2.020	=	4.749020 ㎡	
	37	0.747 × 0.824	=	0.615528 ㎡	
	38	0.747 × 1.205 ÷ 2.000	=	0.450068 ㎡	
	43	5.604 × 0.885 ÷ 2.000	=	4.959540 ㎡	
	44	0.369 × 1.800 ÷ 2.000	=	0.664200 ㎡	
	45	0.915 × 5.604 ÷ 2.000	=	2.563830 ㎡	18.57~~7186~~ ㎡
風除室	39	4.600 × 4.800	=	22.080000 ㎡	22.08~~0000~~ ㎡
ＰＳ	40	2.835 × 0.900	=	2.551500 ㎡	2.55~~1500~~ ㎡
ＰＳ・ＥＰＳ	41	4.275 × 0.900	=	3.847500 ㎡	3.84~~7500~~ ㎡
合計				913.96 ㎡	

庇を含めた１階延床面積

室名	1階　容積対象床面積表				各室合計
庇	42	3.680 × 5.000	=	18.400000 ㎡	18.40 ㎡
合計				932.36 ㎡	

1階採光計算書

南面採光補正係数：
d/h×6-1.4=5.18→3

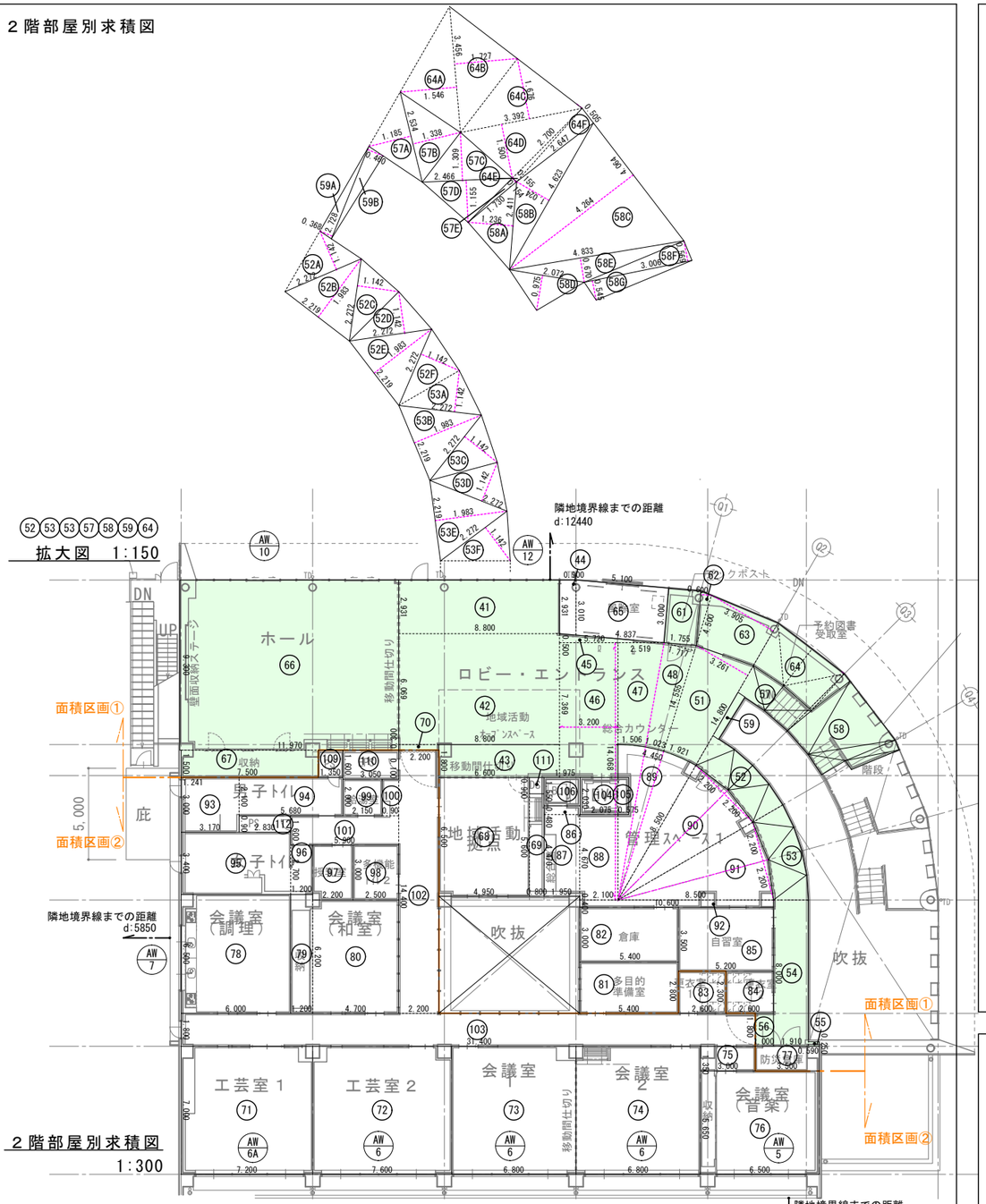


	床面積	必要採光率	必要採光面積	採光補正係数	窓名	有効採光面積 w	h	数	計	合計	Σ	判定	備考
一般開架室	469.19	1/20	23.4595	3	AW-1	2.04	1.11	2	4.5288	9.5553	33.9867	○	
こども室						0.99	0.6	4	2.376				
おはなしの森						1.55	1.11	1	1.7205				
ｸﾞﾙｰﾌﾟｽﾍﾟｰｽ						1.55	0.6	1	0.93				
階段					AW-1A	2.04	1.11	1	2.2644	11.9421			
						2.04	2.28	1	4.6512				
						0.99	0.6	4	2.376				
						1.55	1.11	1	1.7205				
						1.55	0.6	1	0.93				
					AW-2	1.915	1.11	2	4.2513	6.4773			
						0.93	0.6	2	1.116				
						0.925	0.6	2	1.11				
					AW-3	0.9	0.6	4	2.16	3.228			
						0.89	0.6	2	1.068				
					AW-4	0.93	0.6	4	2.232	2.784			
						0.92	0.6	1	0.552				

採光無窓居室：　管理スペース３・閉架書庫、管理スペース２
法第35条の3　天井裏までの不燃区画とし、非常照明を設置

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	部屋別面積算定図ー１	縮尺	1：300	図面番号	A－ 007

２階部屋別求積図



面積区画・防煙区画　面積表

面積区画①		1F　一般開架室・こども室・おはなしの森・グループスペース・管理スペース２・機械室・EV・閉架書庫 管理スペース３・男女トイレ・多機能トイレ１・BL・階段		
		1F　風除室・PS・EPS	913.96	
		2F　ロビー エントランス・予約図書受取室・ブックポスト・ホール・階段・風除室・地域活動拠点・DS・管理スペース１・自習室・多目的準備室・倉庫・更衣室２・防災倉庫	564.39	1,478.35 ㎡
面積区画②		2F　廊下・給湯室・授乳室・男女トイレ・多機能トイレ２・PS・EPS・会議室（調理室/和室/1/2/音楽）・工芸室１、２・更衣室１・前室	495.57	495.57 ㎡
防煙区画Ａ		1F　一般開架室	240.31	240.31 ㎡
防煙区画Ｂ		1F　一般開架室・こども室	326.96	326.96 ㎡
防煙区画Ｃ		1F　おはなしの森・グループスペース・階段　　2F　ロビー エントランス・予約図書受取室・ブックポスト・階段・ホール（66収納除く）	487.71	487.71 ㎡

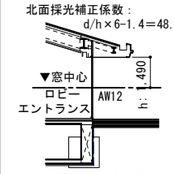
２階部屋別面積表

室名	２階　容積対象床面積表			各室合計
ロビー・エントランス	41	8.800 × 2.931 =	25.792800 ㎡	
	42	8.800 × 6.069 =	53.407200 ㎡	
	43	6.600 × 1.800 =	11.880000 ㎡	
	45	5.720 × 0.500 ÷ 2.000 =	1.430000 ㎡	
	46	3.200 × 7.369 =	23.580800 ㎡	
	47	14.068 × 2.519 ÷ 2.000		
		8.500 × 1.506 ÷ 2.000		
		17.719 − 6.401 − 1.162 =	11.318146 ㎡	
	48	14.555 × 1.717 ÷ 2.000		
		8.500 × 1.023 ÷ 2.000		
		12.495 − 4.348 =	8.147718 ㎡	
	51	14.800 × 3.261 ÷ 2.000		
		8.500 × 1.921 ÷ 2.000		
		24.131 − 8.164 =	15.967150 ㎡	
	52A	2.272 × 1.142 ÷ 2.000 =	1.297312 ㎡	
	52B	2.219 × 1.983 ÷ 2.000 =	2.200139 ㎡	
	52C	2.272 × 1.142 ÷ 2.000 =	1.297312 ㎡	
	52D	2.272 × 1.142 ÷ 2.000 =	1.297312 ㎡	
	52E	2.219 × 1.983 ÷ 2.000 =	2.200139 ㎡	
	52F	2.272 × 1.142 ÷ 2.000 =	1.297312 ㎡	
	53A	2.272 × 1.142 ÷ 2.000 =	1.297312 ㎡	
	53B	2.219 × 1.983 ÷ 2.000 =	2.200139 ㎡	
	53C	2.272 × 1.142 ÷ 2.000 =	1.297312 ㎡	
	53D	2.219 × 1.983 ÷ 2.000 =	2.200139 ㎡	
	53E	2.272 × 1.142 ÷ 2.000 =	1.297312 ㎡	
	53F	2.272 × 1.142 ÷ 2.000 =	1.297312 ㎡	
	54	1.910 × 8.000 =	15.280000 ㎡	
	55	0.590 × 0.250 =	0.147500 ㎡	
	56	1.000 × 1.800 =	1.800000 ㎡	
	59A	2.727 × 0.368 ÷ 2.000 =	0.501768 ㎡	
	59B	2.727 × 0.460 ÷ 2.000 =	0.627210 ㎡	
	70	2.200 × 0.300 =	0.660000 ㎡	188.06~~6844~~ ㎡
階段	57A	2.534 × 1.185 ÷ 2.000 =	1.501395 ㎡	
	57B	2.534 × 1.338 ÷ 2.000 =	1.695246 ㎡	
	57C	2.466 × 1.309 ÷ 2.000 =	1.613997 ㎡	
	57D	2.466 × 1.155 ÷ 2.000 =	1.424115 ㎡	
	57E	1.730 × 0.154 ÷ 2.000 =	0.133210 ㎡	
	58A	2.411 × 1.237 ÷ 2.000 =	1.491204 ㎡	
	58B	4.623 × 1.024 ÷ 2.000 =	2.366976 ㎡	
	58C	4.063 × 4.264 ÷ 2.000 =	8.662316 ㎡	
	58D	2.072 × 0.975 ÷ 2.000 =	1.010100 ㎡	
	58E	4.833 × 0.670 ÷ 2.000 =	1.619055 ㎡	
	58F	3.006 × 0.569 ÷ 2.000 =	0.855207 ㎡	
	58G	3.006 × 0.545 ÷ 2.000 =	0.819135 ㎡	23.19~~1956~~ ㎡
予約図書受取室	62	3.000 × 0.600 ÷ 2.000 =	0.900000 ㎡	
	63	17.500 × 3.907 ÷ 2.000		
		14.800 × 3.261 ÷ 2.000		
		34.186250 − 24.131400 =	10.054850 ㎡	
	64A	3.456 × 1.546 ÷ 2.000 =	2.671488 ㎡	
	64B	3.456 × 1.727 ÷ 2.000 =	2.984256 ㎡	
	64C	3.392 × 1.676 ÷ 2.000 =	2.842496 ㎡	
	64D	3.392 × 1.500 ÷ 2.000 =	2.544000 ㎡	
	64E	2.700 × 0.155 ÷ 2.000 =	0.209250 ㎡	
	64F	2.647 × 0.505 ÷ 2.000 =	0.668368 ㎡	22.87~~4708~~ ㎡

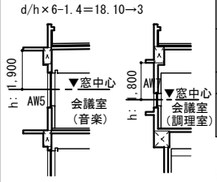
室名	２階　容積対象床面積表			各室合計
ブックポスト	61	3.000 × 1.755 =	5.265000 ㎡	5.26~~5000~~ ㎡
風除室	65	9.937 × 3.000 ÷ 2.000 =	14.905500 ㎡	
	44	0.900 × 5.941 ÷ 2.000 =	2.673450 ㎡	17.57~~8950~~ ㎡
ホール	66	11.970 × 9.300 =	111.321000 ㎡	
	67	7.500 × 1.500 =	11.250000 ㎡	122.57~~1000~~ ㎡
地域活動拠点	68	4.950 × 6.500 =	32.175000 ㎡	
	69	0.800 × 5.600 =	4.480000 ㎡	36.65~~5000~~ ㎡
工芸室１	71	7.200 × 7.000 =	50.400000 ㎡	50.40~~0000~~ ㎡
工芸室２	72	7.600 × 7.000 =	53.200000 ㎡	53.20~~0000~~ ㎡
会議室１	73	6.800 × 7.000 =	47.600000 ㎡	47.60~~0000~~ ㎡
会議室２	74	6.800 × 7.000 =	47.600000 ㎡	47.60~~0000~~ ㎡
前室	75	3.000 × 1.350 =	4.050000 ㎡	4.05~~0000~~ ㎡
会議室（音楽）	76	5.650 × 6.500 =	36.725000 ㎡	36.72~~5000~~ ㎡
防災倉庫	77	3.500 × 1.350 =	4.725000 ㎡	4.72~~5000~~ ㎡
会議室（調理）	78	6.000 × 6.500 =	39.000000 ㎡	39.00~~0000~~ ㎡
会議室（和室）	79	1.200 × 6.500 =	7.800000 ㎡	
	80	4.700 × 6.200 =	29.140000 ㎡	36.94~~0000~~ ㎡
多目的準備室	81	2.800 × 5.400 =	15.120000 ㎡	15.12~~0000~~ ㎡
倉庫	82	5.400 × 3.000 =	16.200000 ㎡	16.20~~0000~~ ㎡
更衣室１	83	2.600 × 2.300 =	5.980000 ㎡	5.98~~0000~~ ㎡
更衣室２	84	2.600 × 2.300 =	5.980000 ㎡	5.98~~0000~~ ㎡
自習室	85	5.200 × 3.500 =	18.200000 ㎡	18.20~~0000~~ ㎡
管理スペース１	86	1.975 × 0.480 =	0.948000 ㎡	
	87	1.950 × 4.470 =	8.716500 ㎡	
	88	2.100 × 4.670 =	9.807000 ㎡	
	89	8.500 × 4.450 ÷ 2.000		
	89	0.575 × 2.030		
	89	18.9125 − 1.16725 =	17.745250 ㎡	
	90	8.500 × 2.200 =	18.700000 ㎡	
	91	8.500 × 2.200 =	18.700000 ㎡	
	92	10.600 × 0.400 =	4.240000 ㎡	78.85~~6750~~ ㎡
男子トイレ	93	3.170 × 3.000 =	9.510000 ㎡	
	94	5.680 × 2.100 =	11.928000 ㎡	21.43~~8000~~ ㎡
女子トイレ	95	6.000 × 3.400 =	20.400000 ㎡	
	96	1.200 × 2.700 =	3.240000 ㎡	23.64~~0000~~ ㎡
授乳室	97	2.200 × 3.000 =	6.600000 ㎡	6.60~~0000~~ ㎡
多機能トイレ	98	2.500 × 3.000 =	7.500000 ㎡	7.50~~0000~~ ㎡
給湯室	99	2.150 × 2.000 =	4.300000 ㎡	4.30~~0000~~ ㎡
廊下	100	0.900 × 2.000 =	1.800000 ㎡	
	101	5.900 × 1.600 =	9.440000 ㎡	
	102	2.200 × 14.400 =	31.680000 ㎡	
	103	31.400 × 1.800 =	56.520000 ㎡	99.44~~0000~~ ㎡
EV	104	2.075 × 2.030 =	4.212250 ㎡	㎡
	105	0.575 × 2.030 =	1.167250 ㎡	5.37~~9500~~ ㎡
ブックリフト	106	1.975 × 1.550 =	3.061250 ㎡	3.06~~1250~~ ㎡
PS	109	1.350 × 1.500 =	2.025000 ㎡	2.02~~5000~~ ㎡
EPS	110	3.050 × 1.600 =	4.880000 ㎡	4.88~~0000~~ ㎡
DS	111	0.800 × 0.900 =	0.720000 ㎡	0.72~~0000~~ ㎡
PS	112	2.830 × 0.900 =	2.547000 ㎡	2.54~~7000~~ ㎡
合計			1,059.96 ㎡	

２階採光計算書

北面採光補正係数：
d/h×6−1.4＝48.69→3



南面、西面採光補正係数：
d/h×6−1.4＝18.71→3
d/h×6−1.4＝18.10→3



	床面積	必要採光率	必要採光面積	採光補正係数	窓名	有効採光面積						判定	備考
						w	h	数	計	合計	Σ		
ロビー エントランス 階段	211.25	1/20	10.52	3	AW-12	0.84	2.20	8	14.784	19.488	19.488	○	
						0.84	0.70	8	4.704				
工芸室１	50.40	1/20	2.52	3	AW-6A	1.94	1.55	2	6.014	8.773	8.773	○	
						0.89	1.55	2	2.759				
工芸室２	53.20	1/20	2.66	3	AW-6	2.04	1.55	2	6.324	9.176	9.176	○	
						0.92	1.55	2	2.852				
会議室１	47.60	1/20	2.38	3	AW-6	2.04	1.55	2	6.528	9.176	9.176	○	
						0.92	1.55	2	3.008				
会議室２	47.60	1/20	2.38	3	AW-6	2.04	1.55	2	6.528	9.176	9.176	○	
						0.92	1.55	2	3.008				
会議室（音楽）	36.72	1/20	1.836	3	AW-5	1.90	1.55	2	5.890	7.223	7.223	○	
						0.86	1.55	1	1.333				
会議室（調理室）	39.00	1/20	1.95	3	AW-7	1.70	0.60	2	2.040	2.040	2.040	○	
ホール	122.57	1/20	6.13	3	AW-10	0.84	2.20	7	12.936			○	
						0.84	0.62	7	3.645	16.581	16.581		

採光無窓居室：会議室（和室）、授乳室、多目的準備室、自習室、管理スペース１、地域活動拠点、予約図書受取室
予約図書受取室はR2告示249号第一号による緩和を用いる。（自動火災報知設備設置 E-47図）その他の室は法第35条の3　天井裏までの不燃区画とし、非常照明を設置。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	図面名	部屋別面積算定図ー２	縮尺 1：300	図面番号 A－ 008
			特記事項	特記事項	特記事項				

地盤面算定表＜領域Ⅰ＞　算定範囲：TP26.05～29.05　算定基準：TP26.05

番号	周長長さ	接地面積	
①－②	34.900 m	(0.010 ＋ 0.010) × 0.5 × 34.900 ＝	0.349000 ㎡
②－③	8.100 m	(0.010 ＋ 0.010) × 0.5 × 8.100 ＝	0.081000 ㎡
③－④	5.855 m	(0.010 ＋ 0.010) × 0.5 × 5.855 ＝	0.058550 ㎡
④－⑤	0.405 m	(0.010 ＋ 0.000) × 0.5 × 0.405 ＝	0.002025 ㎡
⑤－⑥	6.638 m	(0.000 ＋ 0.150) × 0.5 × 6.638 ＝	0.497850 ㎡
⑥－⑦	4.019 m	(0.150 ＋ 1.090) × 0.5 × 4.019 ＝	2.491780 ㎡
⑦－⑧	1.102 m	(1.090 ＋ 1.090) × 0.5 × 1.102 ＝	1.201180 ㎡
⑧－⑨	4.832 m	(1.090 ＋ 2.200) × 0.5 × 4.832 ＝	7.948640 ㎡
⑨－⑩	1.711 m	(2.200 ＋ 2.200) × 0.5 × 1.711 ＝	3.764200 ㎡
⑩－⑪	3.480 m	(2.200 ＋ 3.000) × 0.5 × 3.480 ＝	9.048000 ㎡
⑪－⑫	37.818 m	(3.000 ＋ 3.000) × 0.5 × 37.818 ＝	113.454000 ㎡
⑫－⑬	5.550 m	(3.000 ＋ 0.300) × 0.5 × 5.550 ＝	9.185250 ㎡
⑬－⑭	7.435 m	(0.010 ＋ 0.010) × 0.5 × 7.435 ＝	0.074350 ㎡
⑭－①	21.610 m	(0.010 ＋ 0.010) × 0.5 × 21.610 ＝	0.216100 ㎡
合計	143.455 m		148.371925 ㎡

地盤面 ＝ 接地面積 / 全周長 ＝ 148.371925 ㎡ / 143.455 m ＝ 1.0342750 m ≒ 1.034 m

領域Ⅰの地盤面　1.034 ＋ 26.05 ＝ 27.084　　領域Ⅰの地盤面　TP27.08

地盤面算定表＜領域Ⅱ＞　算定範囲：TP29.05～30.05　算定基準：TP29.05

番号	周長長さ	接地面積	
⑪－㉑	1.349 m	(0.000 ＋ 0.310) × 0.5 × 1.349 ＝	0.209095 ㎡
㉑－㉒	1.311 m	(0.310 ＋ 0.310) × 0.5 × 1.311 ＝	0.406410 ㎡
㉒－㉓	1.687 m	(0.310 ＋ 0.780) × 0.5 × 1.687 ＝	0.919415 ㎡
㉓－㉔	5.153 m	(0.780 ＋ 1.000) × 0.5 × 5.153 ＝	4.586170 ㎡
㉔－㉕	28.525 m	(1.000 ＋ 1.000) × 0.5 × 28.525 ＝	28.525000 ㎡
㉕－㉖	4.230 m	(1.000 ＋ 1.000) × 0.5 × 4.230 ＝	4.230000 ㎡
㉖－⑫	1.125 m	(1.000 ＋ 0.000) × 0.5 × 1.125 ＝	0.562500 ㎡
⑫－⑪	37.818 m	(0.000 ＋ 0.000) × 0.5 × 37.818 ＝	0.000000 ㎡
合計	80.979 m		39.438590 ㎡

地盤面 ＝ 接地面積 / 全周長 ＝ 39.438590 ㎡ / 80.979 m ＝ 0.4857089 m ≒ 0.485 m

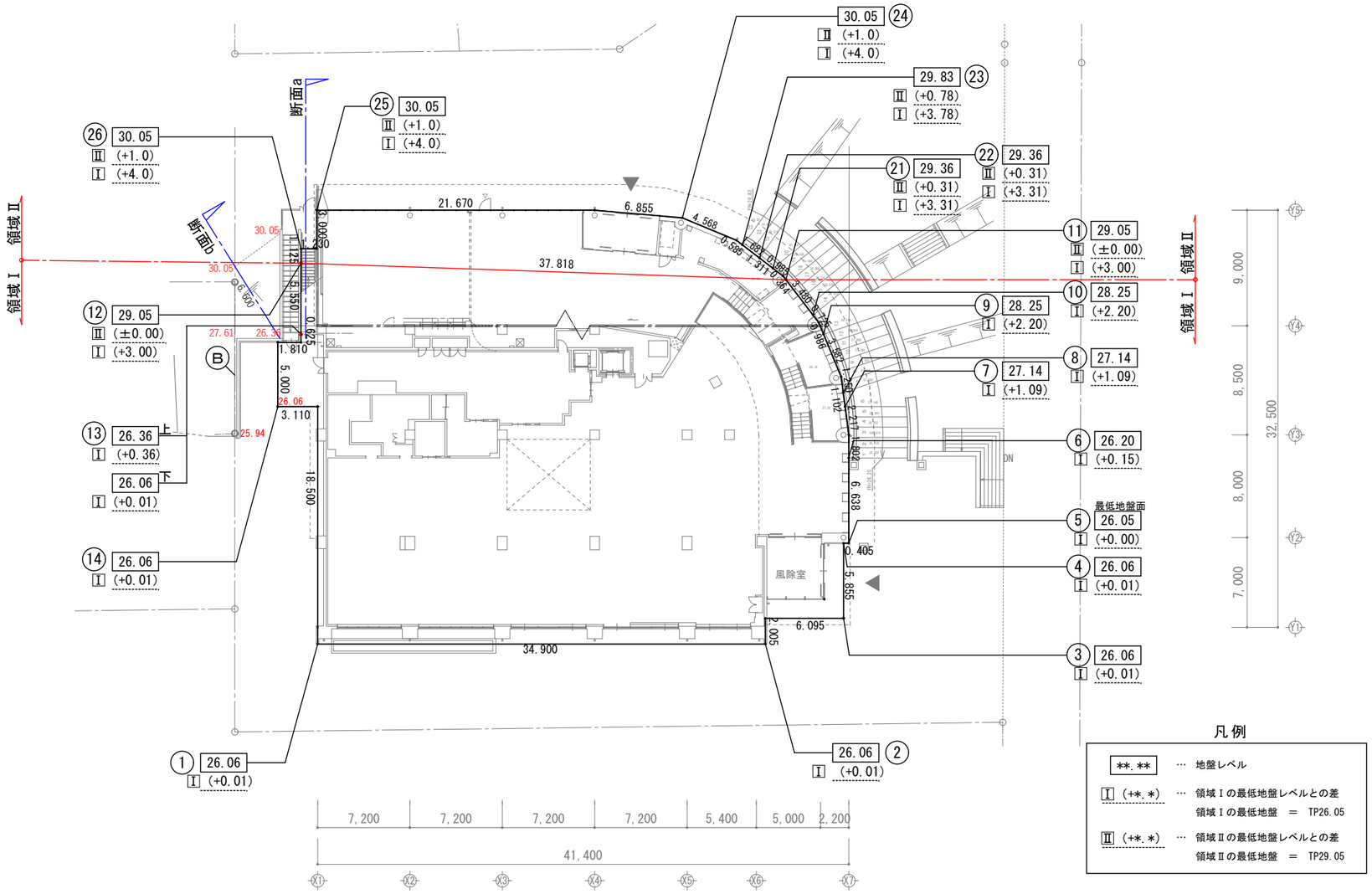
領域Ⅱの地盤面　0.485 ＋ 29.05 ＝ 29.535　　領域Ⅱの地盤面　TP29.53

平均地盤面算定表＜日影制限＞

番号	周長長さ	接地面積	
①－②	34.900 m	(0.010 ＋ 0.010) × 0.5 × 34.900 ＝	0.349000 ㎡
②－③	8.100 m	(0.010 ＋ 0.010) × 0.5 × 8.100 ＝	0.081000 ㎡
③－④	5.855 m	(0.010 ＋ 0.010) × 0.5 × 5.855 ＝	0.058550 ㎡
④－⑤	0.405 m	(0.010 ＋ 0.000) × 0.5 × 0.405 ＝	0.002025 ㎡
⑤－⑥	6.638 m	(0.000 ＋ 0.150) × 0.5 × 6.638 ＝	0.497850 ㎡
⑥－⑦	4.019 m	(0.150 ＋ 1.090) × 0.5 × 4.019 ＝	2.491780 ㎡
⑦－⑧	1.102 m	(1.090 ＋ 1.090) × 0.5 × 1.102 ＝	1.201180 ㎡
⑧－⑨	4.832 m	(1.090 ＋ 2.200) × 0.5 × 4.832 ＝	7.948640 ㎡
⑨－⑩	1.711 m	(2.200 ＋ 2.200) × 0.5 × 1.711 ＝	3.764200 ㎡
⑩－⑪	3.480 m	(2.200 ＋ 3.000) × 0.5 × 3.480 ＝	9.048000 ㎡
⑪－㉑	1.349 m	(3.000 ＋ 3.310) × 0.5 × 1.349 ＝	4.256095 ㎡
㉑－㉒	1.311 m	(3.310 ＋ 3.310) × 0.5 × 1.311 ＝	4.339410 ㎡
㉒－㉓	1.687 m	(3.310 ＋ 3.780) × 0.5 × 1.687 ＝	5.980415 ㎡
㉓－㉔	5.153 m	(3.780 ＋ 4.000) × 0.5 × 5.153 ＝	20.045170 ㎡
㉔－㉕	28.525 m	(4.000 ＋ 4.000) × 0.5 × 28.525 ＝	114.100000 ㎡
㉕－㉖	4.230 m	(4.000 ＋ 4.000) × 0.5 × 4.230 ＝	16.920000 ㎡
㉖－⑫	1.125 m	(4.000 ＋ 3.000) × 0.5 × 1.125 ＝	3.937500 ㎡
⑫－⑬	5.550 m	(3.000 ＋ 0.310) × 0.5 × 5.550 ＝	9.185250 ㎡
⑬－⑭	7.435 m	(0.010 ＋ 0.010) × 0.5 × 7.435 ＝	0.074350 ㎡
⑭－①	21.610 m	(0.010 ＋ 0.010) × 0.5 × 21.610 ＝	0.216100 ㎡
合計	149.017 m		204.496515 ㎡

平均地盤面 ＝ 接地面積 / 全周長 ＝ 204.496515 ㎡ / 149.017 m ＝ 1.3723033 m ≒ 1.372 m

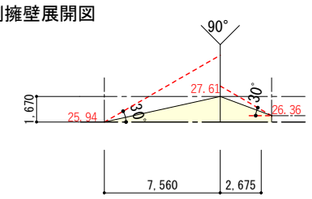
日影制限の地盤面　1.372 ＋ 26.05 ＝ 27.422　　日影制限の平均地盤面　TP27.42



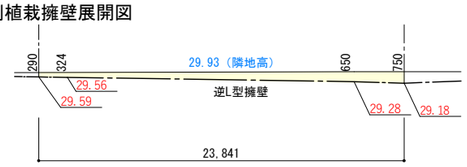
凡例

.	… 地盤レベル
Ⅰ (+*.*)	… 領域Ⅰの最低地盤レベルとの差 領域Ⅰの最低地盤 ＝ TP26.05
Ⅱ (+*.*)	… 領域Ⅱの最低地盤レベルとの差 領域Ⅱの最低地盤 ＝ TP29.05

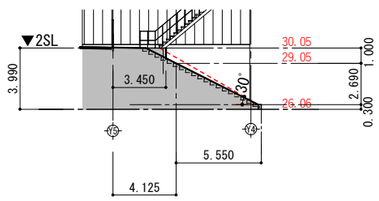
Ⓑ 西側擁壁展開図



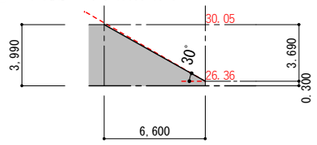
Ⓒ 北側植栽擁壁展開図



断面ａ　西側鉄骨階段下のり面断面図



断面ｂ　西側のり面断面図



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	平均地盤算出図	縮尺 1：400	図面番号 A－009

自然排煙設備の排煙口（令１２６条の３）

排煙口の有効開口は防煙垂壁の下端までとする。

防煙区画Ａ	240.31㎡　×　1/50　＝　4.81㎡	
	AW1：　0.99×0.45×4　＝　1.78㎡	
	1.55×0.45×1　＝　0.69㎡	
	AW1A：　0.99×0.45×4　＝　1.78㎡	
	1.55×0.45×1　＝　0.69㎡	
	合計　4.94㎡＞4.81㎡	…ＯＫ
防煙区画Ｂ	326.96㎡　×　1/50　＝　6.54㎡	
	AW16×2：0.96×0.65×8　＝　4.99㎡	
	0.98×0.65×4　＝　2.54㎡	
	合計　7.53㎡＞6.54㎡	…ＯＫ
防煙区画Ｃ	487.71㎡　×　1/50　＝　9.76㎡	
	AW17：　1.00×0.80×6　＝　4.80㎡	
	AW8：　1.00×0.80×5　＝　4.00㎡	
	0.98×0.80×1　＝　0.78㎡	
	AW10：　0.84×0.62×7　＝　3.64㎡	
	合計　13.22㎡＞9.76㎡	…ＯＫ
工芸室１	50.40㎡　×　1/50　＝　1.01㎡	
	AW6A：　0.90×0.70×2　＝　1.26㎡	
	合計　1.26㎡＞1.01㎡	…ＯＫ
工芸室２	53.20㎡　×　1/50　＝　1.07㎡	
	AW6：　0.95×0.70×2　＝　1.33㎡	
	合計　1.33㎡＞1.06㎡	…ＯＫ
会議室１	47.60㎡　×　1/50　＝　0.95㎡	
	AW6：　0.95×0.70×2　＝　1.33㎡	
	合計　1.33㎡＞1.07㎡	…ＯＫ
会議室２	47.60㎡　×　1/50　＝　0.96㎡	
	AW6：　0.95×0.70×2　＝　1.33㎡	
	合計　1.33㎡＞0.96㎡	…ＯＫ
会議室（音楽）	36.73㎡　×　1/50　＝　0.74㎡	
	AW5：　0.88×0.70×2　＝　1.23㎡	
	合計　1.23㎡＞0.74㎡	…ＯＫ

ホールを移動間仕切で区画した場合の排煙検討

ホール	111.32㎡　×　1/50　＝　2.23㎡	
	AW10：　0.84×0.62×7　＝　3.64㎡	
	合計　3.64㎡＞2.23㎡	…ＯＫ
ホールを除く防煙区画Ｃ	376.39㎡　×　1/50　＝　7.53㎡	
	AW17：　1.00×0.80×6　＝　4.80㎡	
	AW8：　1.00×0.80×5　＝　4.00㎡	
	0.98×0.80×1　＝　0.78㎡	
	合計　9.58㎡＞7.53㎡	…ＯＫ

防煙区画Ｃの１階部分の必要排煙面積は排煙口AW17で確保するため、
１階の手動開放装置はAW17が開放できるものとする。

防煙区画Ｃ（1F）階段・おはなしの森グループスペース	142.27㎡　×　1/50　＝　2.85㎡	
	AW17：　1.00×0.80×6　＝　4.80㎡	
	合計　4.80㎡＞2.85㎡	…ＯＫ

消防法　有窓開口面積検討

	床面積（㎡）	必要開口面積		有効開口面積	
１階	932.36	31.08	<	33.46	・・・OK
２階	1059.96	35.33	<	40.16	・・・OK

１階

建具記号	W	H	個数	面積	形状	ガラス種別
ACW2	1.39	2.25	3	9.3825	FIX窓	FLG5.0 + A6 +LOW-E5.0
AW1	0.96	1.01	4	3.8784	引違窓	FLG5.0 + A6 +LOW-E5.0
	1.55	1.11	1	1.7205	FIX窓	FLG5.0 + A6 +LOW-E5.0
AW1A	0.96	2.18	2	4.1856	引違窓	FLG5.0 + A6 +LOW-E5.0
	0.96	1.01	2	1.9392	引違戸	FLG5.0 + A6 +LOW-E5.0
	1.55	1.11	1	1.7205	FIX窓	FLG5.0 + A6 +LOW-E5.0
AW2	0.89	1.01	4	3.5956	引違窓	FLG5.0 + A6 +LOW-E5.0
ACW1	0.66	2.06	2	2.7192	FIX窓	FLG5.0 + A6 +LOW-E5.0
	0.66	2.16	1	1.4256	FIX窓	FLG5.0 + A6 +LOW-E5.0
	0.66	1.56	1	1.0296	FIX窓	FLG5.0 + A6 +LOW-E5.0
	0.66	1.66	1	1.0956	FIX窓	FLG5.0 + A6 +LOW-E5.0
	0.66	1.16	1	0.7656	FIX窓	FLG5.0 + A6 +LOW-E5.0
				33.4579		

２階

建具記号	W	H	個数	面積	形状	ガラス種別
AW6	0.92	1.55	6	8.556	FIX窓	FLG5.0 + A6 +LOW-E5.0
	0.96	1.46	12	16.819	引違窓	FLG5.0 + A6 +LOW-E5.0
AW12	0.84	2.20	8	14.784	FIX窓	FLG5.0 + A6 +LOW-E5.0
				40.159		

□ 大開口（直径１００cm以上が内接、または幅７５cm以上高さ１２０cm以上）

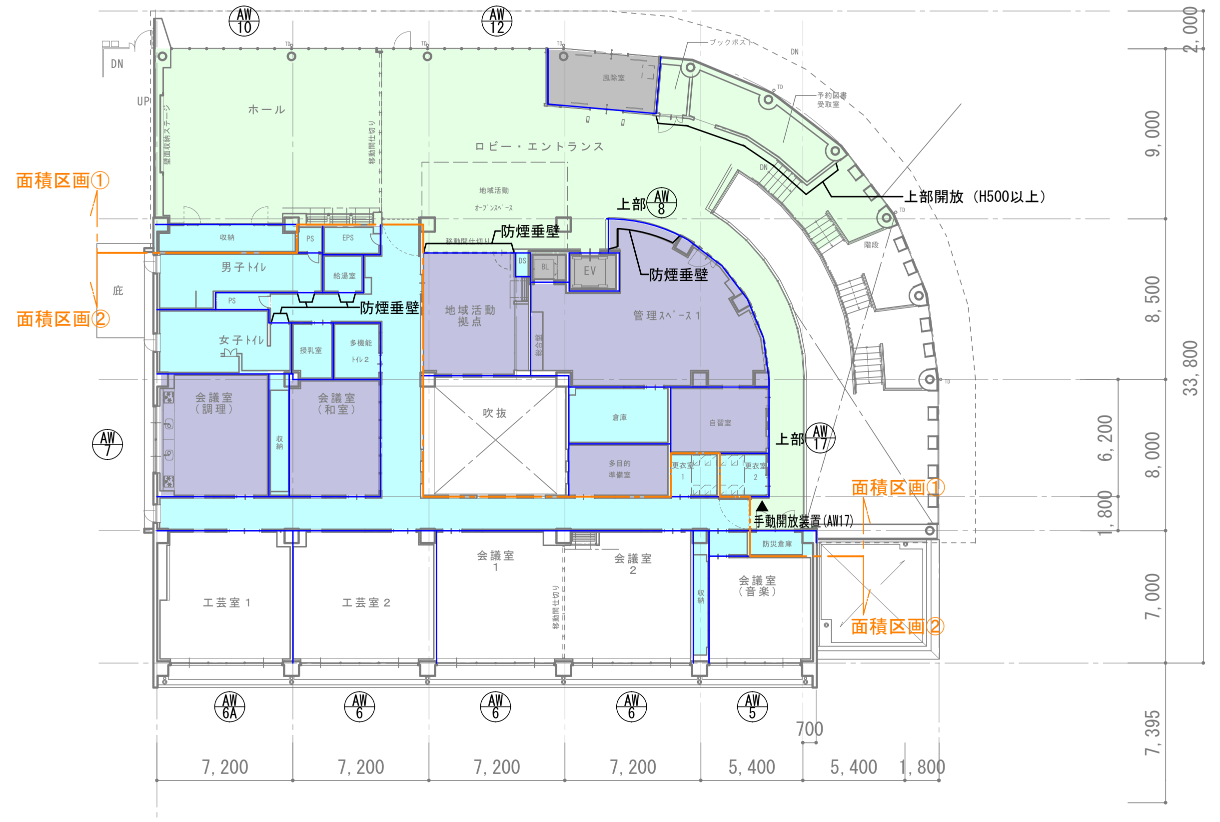
※Low-Eガラスの基盤となるガラスは共通でフロートガラスとする。

凡例

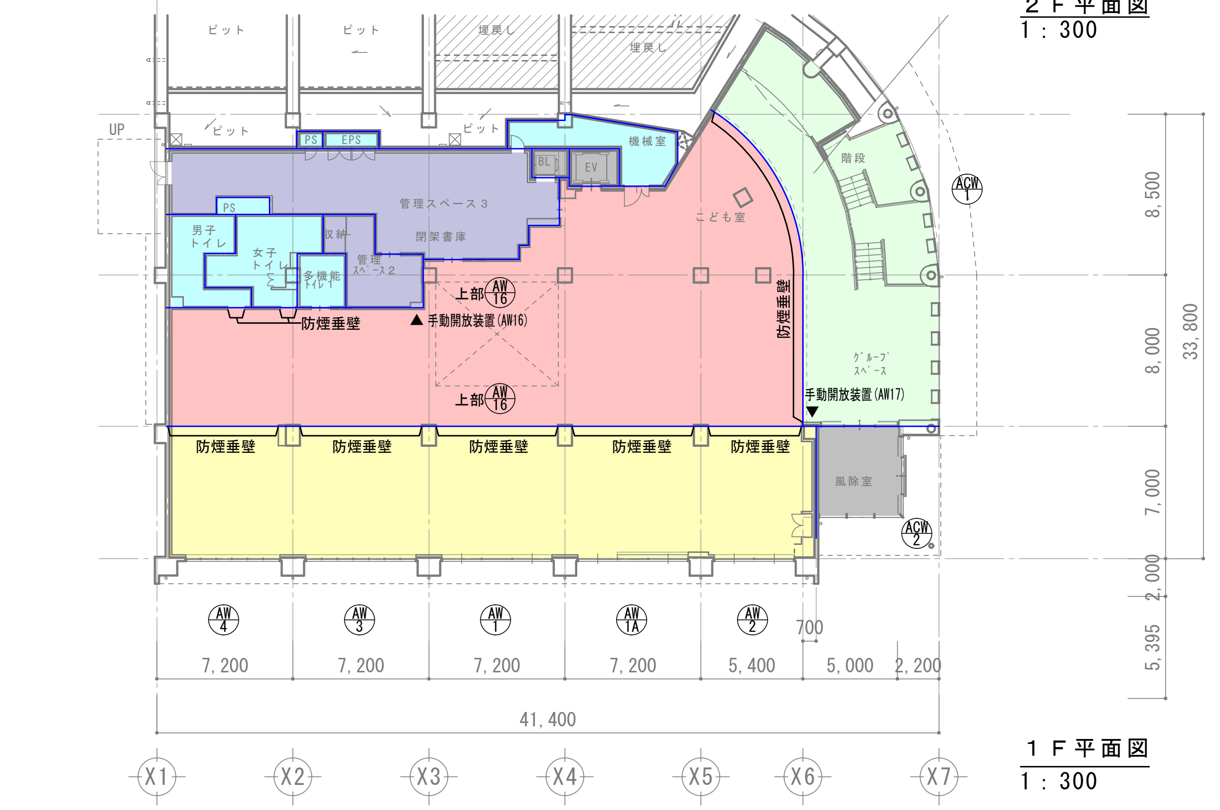
面積区画（橙一点鎖線）	面積区画　1,500㎡ごとに耐火構造の床、壁、特定防火設備により区画 FP060NP-0483(2)：GB-F t=12.5+12.5（両面） FP060NP-0473-1(2)：GB-F t=21.0+GB-R-H t=9.5（両面）
防煙区画（青線）	防煙区画　500㎡ごとに防煙壁にて区画
（黄）	防煙区画Ａ　自然排煙
（赤）	防煙区画Ｂ　自然排煙
（緑）	防煙区画Ｃ　自然排煙　※R7告示995号二号適用 排煙口部分のCHが2FLから2.6ｍ超で、1.8ｍ以上の部分に有効排煙口を設置
（水色）	：建告1436号 三 へ (2)適用室　室の床面積が100㎡以下で、防煙壁にて区画された室
（紫）	：建告1436号 三 へ (5)適用室　居室の床面積が100㎡以下で、壁及び天井の仕上げ、下地を不燃材料とした室
（灰）	：排煙免除室

排煙設備の構造

・クレセント、ハンドルの取付高さはFL+1400とする。
・排煙オペレーターは壁取付とし、FL+1400に設置。
・防煙壁は不燃材料とし、垂れ壁となる部分は天井から50cm以上突出させる。
・常時閉鎖式又は煙感知器連動の不燃材料の戸が設けられた場合、防煙壁は天井面から下方30cmとすることができる。
・常時閉鎖式又は煙感知器連動の不燃材料の戸が設けられた場合、これを防煙壁に替わるものとみなし、排煙口の有効開口は天井面から80cmとする。（建築物の防火避難規定の解説）



２Ｆ平面図
1：300



１Ｆ平面図
1：300

千葉市都市局建築部営繕課

工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設新築工事

設計年月日　令和　年　月　日
変更年月日　令和　年　月　日
変更年月日　令和　年　月　日
特記事項

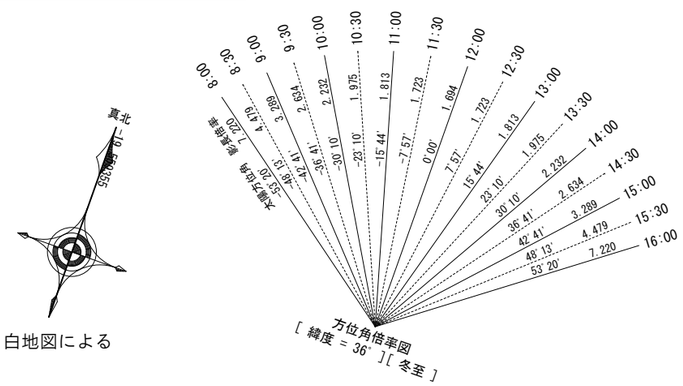
図面名　防火・防煙区画図
縮尺　1：200
図面番号　Ａ－ 010

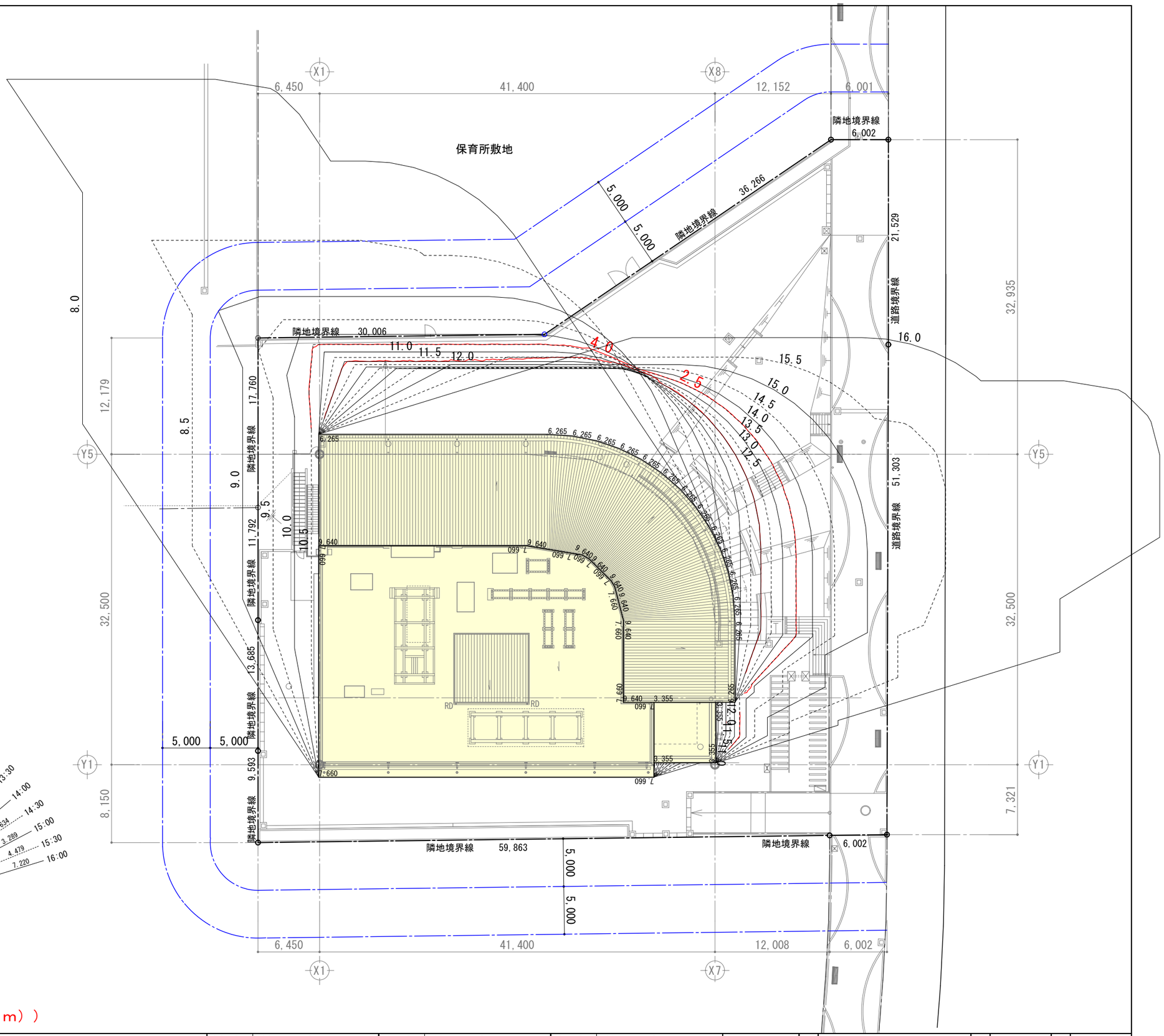
影倍率表　[緯度 = 36°][冬至]

時 刻	太陽　高度	太陽方位角	影長倍率	X 倍 率	Y 倍 率
8:00	7°53'	-53°20'	7.220	-5.791	4.312
8:30	12°35'	-48°13'	4.479	-3.340	2.984
9:00	16°55'	-42°41'	3.289	-2.230	2.417
9:30	20°47'	-36°41'	2.634	-1.574	2.112
10:00	24°08'	-30°10'	2.232	-1.122	1.930
10:30	26°52'	-23°10'	1.975	-0.777	1.815
11:00	28°53'	-15°44'	1.813	-0.492	1.745
11:30	30°08'	-7°57'	1.723	-0.239	1.707
12:00	30°33'	0°00'	1.694	0.000	1.694
12:30	30°08'	7°57'	1.723	0.239	1.707
13:00	28°53'	15°44'	1.813	0.492	1.745
13:30	26°52'	23°10'	1.975	0.777	1.815
14:00	24°08'	30°10'	2.232	1.122	1.930
14:30	20°47'	36°41'	2.634	1.574	2.112
15:00	16°55'	42°41'	3.289	2.230	2.417
15:30	12°35'	48°13'	4.479	3.340	2.984
16:00	7°53'	53°20'	7.220	5.791	4.312

日影長さ表　[緯度 = 36°][冬至]
高さ＝7.660(m)　　測定面高さ＝1.5(m)
計算高さ＝6.160(m)

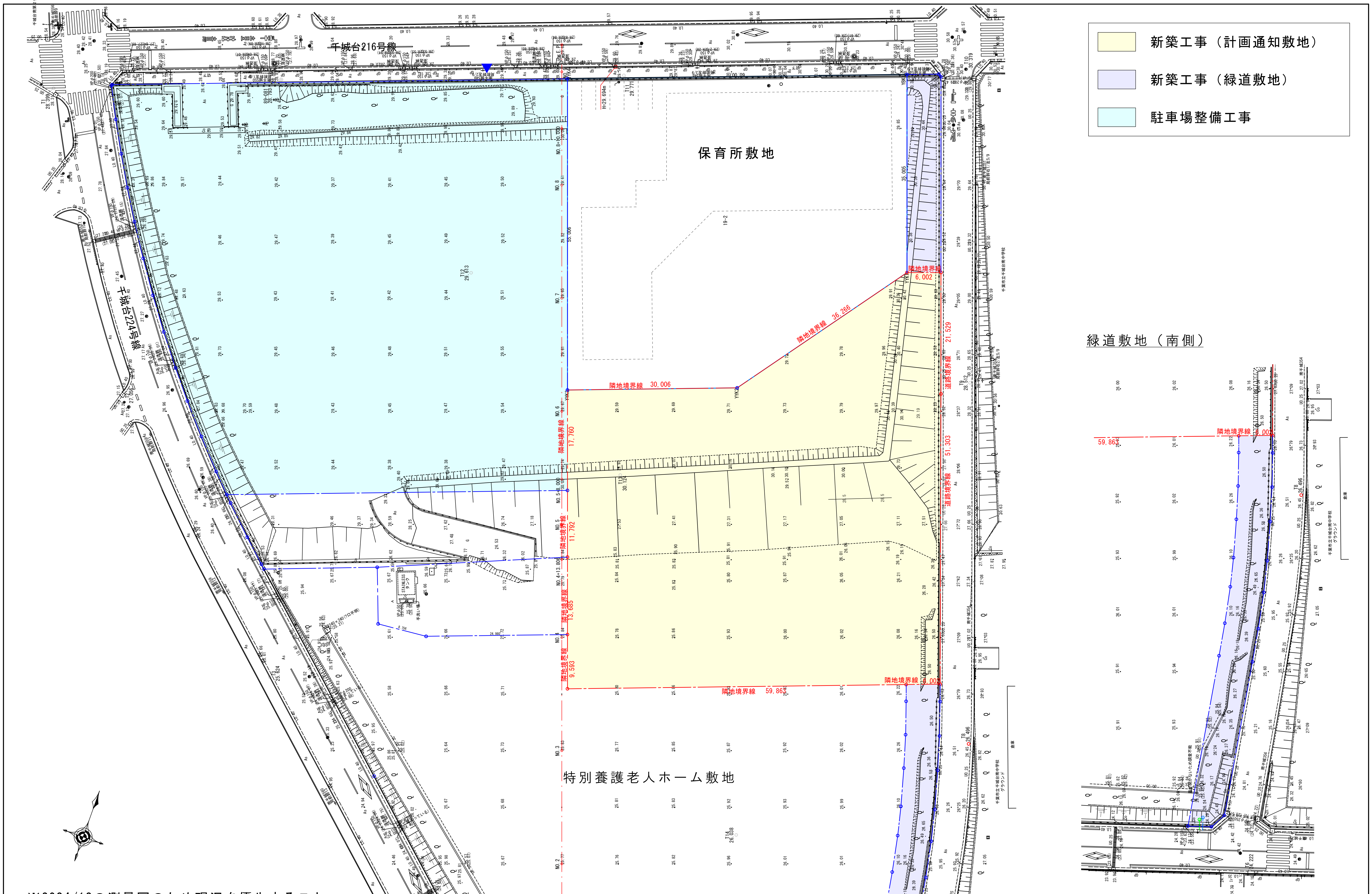
時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	7.220	44.475
8:30	4.479	27.591
9:00	3.289	20.260
9:30	2.634	16.225
10:00	2.232	13.749
10:30	1.975	12.166
11:00	1.813	11.168
11:30	1.723	10.614
12:00	1.694	10.435
12:30	1.723	10.614
13:00	1.813	11.168
13:30	1.975	12.166
14:00	2.232	13.749
14:30	2.634	16.225
15:00	3.289	20.260
15:30	4.479	27.591
16:00	7.220	44.475





建物高さは日影用地盤高TP27.42からの高さとする
第一種低層住居専用地域（４時間・２.５時間（１．５ｍ））

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	日影図・等時間日影図	縮尺 1：400	図面番号 A－ 011



※2024/12の測量図のため現況を優先すること

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名 現況図	縮尺 1：600・1800	図面番号 A－012

■凡例（法令）

● ● ● ●	令128：敷地内通路	1.5m
▼	令125　1項の出口	主要出入口
00.00 / 00.00	計画レベル 現況レベル	
00.00	道路・隣地現況レベル	
00.00	隣地保育園現況レベル	
9,000	建物高さ（領域Ⅰ地盤面）	
9,000 (10,000)	建物高さ（領域Ⅱ地盤） （領域Ⅰ地盤面からの高さ）	
----------	汚水配管	
————	雨水配管	

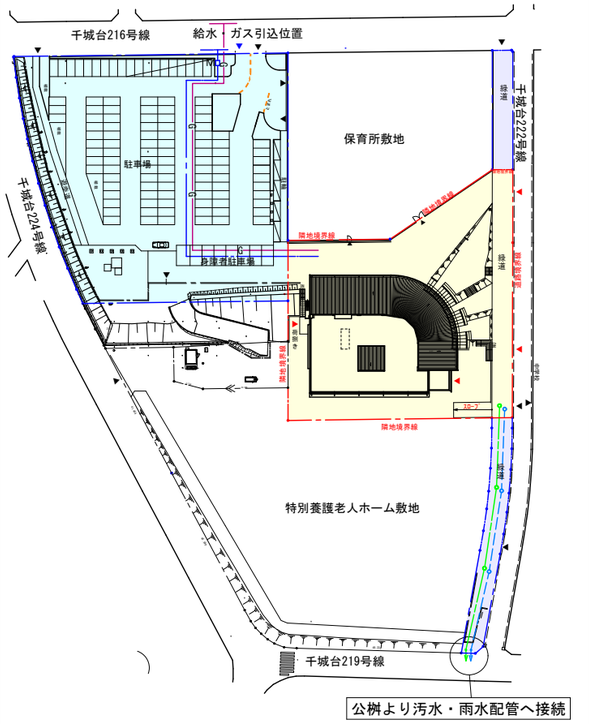
■外構凡例

Ⓐ	ＲＣ擁壁（H0～H650）+防護柵H1,100	＜H1,100～H1.750＞
Ⓑ	ＲＣ擁壁　（0～H1670）	＜±0＞
Ⓒ	植栽・敷地側にRC擁壁（H290～H750）	＜±0＞
Ⓓ	縁石	＜±0＞
Ⓔ	縁石Ｈ150	＜H150＞
Ⓕ	ＲＣ擁壁　（H400～H1250）	
	ＲＣ擁壁	
	ＲＣ階段又はスロープ	

KBM=TP26.496＝設計GL+516

設計GL±0＝KBM-516＝TP25.98

下水・雨水接続、ガス・給水引き込みについては
隣地経由で、同一所有者のため承諾済み



広域配置図　S=1/800

※屋外階段はメンテナンス用のため令27条の適用
１Ｆ・２Ｆの門扉は施錠し通常利用なし

※県条例４条がけ（高さ2m超、角度30度超）はなし。

領域Ⅰ：地盤面高さ＝TP27.08

領域Ⅱ：地盤面高さ＝TP29.53

配置図　S=1/400

市道 千城台222号線
42条１項１号

※緑道の勾配は1/20以下とする

中学校

KBM=TP26.496
設計GL+516

白地図による

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	配置図 （計画通知用敷地）	縮尺	1：400・1800	図面番号	A－013
			特記事項		特記事項		特記事項							

工事概要

建築主	千葉市長　神谷俊一
工事名称	千葉市千城台公民館・若葉図書館新築工事
建設地	千葉県千葉市市若葉区千城台南１丁目１９番１号
建物用途	図書館その他これに類するもの
開発行為	無
用途地域	第一種低層住居専用地域
建ペイ、容積率	50%、100%
防火地域	指定なし
高度地区	指定なし
指導要綱など	該当なし
道路幅員	千城台２２２号線/幅員約6.007m/接道長72.832m
敷地面積	３，９０３．２４㎡（計画通知敷地）　４，５３０．３㎡（新築工事敷地・緑道含む）

	計画建物① 公民館・図書館						合計
【主要用途】	図書館						
【工事種別】	新築						
【建築面積】	1,382.58㎡						1,382.58㎡
【延べ面積】	1,992.32㎡						1,992.32㎡
【最高高さ】	9.980m						
【階数】	２階建						
【構造】	ＲＣ造　一部Ｓ造						
【耐火性の分類】	耐火建築物						
【防火対象物用途】	（１６）項イ						

【耐震性の分類】							
構造体	Ⅱ類						
建築非構造部材	Ａ類						
建築設備	乙類						
主　要　構　造							
基礎	杭基礎						
柱	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造						
外壁・床	鉄筋コンクリート造						
梁・屋根	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造						
階段	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造						

機　械　設　備	空調（冷房・暖房）・換気・給水・給湯・排水（汚水・雨水）・都市ガス
電　気　設　備	変電・幹線・弱電幹線・電灯・コンセント・動力・テレビ共同受信・インターホン・電話・非常用照明・インターネット設備
	・地上デジタルアンテナ・ＭＤＦ・電気引込・ハンドホール・屋外照明・建物照明・自動火災報知器
その他	
外構工事	舗装工事、排水工事、雨水貯留槽、設備基礎
家　具　装　飾	システムキッチン、洗面カウンター、受付カウンター、
	案内板、掲示板、各室表示板、　消火器格納箱、カーテンBOX
別　途　工　事	近隣対策費、電波障害、備品
特　記　事　項	

	仕上
屋根Ａ	屋根保護防水密着断熱工法（Ａl -2） 保護コンクリートt80、（ﾜｲﾔｰ ﾒｯｼｭφ6-100ｘ100）成形伸縮目地材@3000 押出法ポリスチレンフォーム保温板t50（3種bA） アスファルト防水 太陽光パネル基礎、受変電設備基礎、空調室外機基礎、アンテナ基礎 （設備基礎の鉄骨架台、点検歩廊含む）
屋根Ｂ	カラーガルバリウム鋼板t0.4 平滑葺き@424以下　（屋根30分耐火構造） 押出法ポリスチレンフォームt40（3種bA） 下地：木毛セメント板t40 母屋：2C-125*50*20*2.3@600　母屋耐火被覆：ロックウール吹付t25
パラペット笠木	アルミ笠木（二次電解着色）
外壁Ａ－１	コンクリート化粧打ち放し補修（Ａ種）の上 耐候性アクリルシリコン樹脂塗装（DP2級相当）
外壁Ａ－２	コンクリート化粧打ち放し補修（Ａ種）の上 アクリルシリコン樹脂系クリア塗装仕上
外壁Ｂ－１	鉄骨下地の上　押出中空成型セメント板t=60縦張り　リブパネル 親水性フッ素樹脂塗料（JIｓＫ 5658）　工場焼付塗装
外壁Ｂ－２	鉄骨下地の上　押出中空成型セメント板t=60縦張り　フラットパネル 親水性フッ素樹脂塗料（JIｓＫ 5658）　工場焼付塗装
外壁Ｃ	鉄骨下地の上　アルミパネルt2.0ケイ素系親水性焼付塗装（JIｓ H4000 A1100P H14）　ロックウール30mm工場吹付
外部庇Ａ	下地：C-100*50*20*2.3　屋根：屋根Ｂ同材　幕板：アルミパネルt2.0ケイ素系親水性焼付塗装（JIｓ H4000 A1100P H14） 軒裏：ケイカル板t8.0 EP（下地耐風圧S-4仕様）アルミ製廻り縁
外部庇Ｂ	下地：コンクリート打放し補修　防水：ウレタン防水（X-2）　軒裏：外装薄塗材Ｅ
外部庇Ｃ	既成アルミ庇　W=5000　D=3000
外部建具	アルミ製サッシ（カラー）　アルミ製自動ドア　スチール製ドア
ガラス	フロートガラス、Low-E複層ガラス
断熱材	外壁：現場発泡硬質ウレタンフォーム（A種1H）吹付t30　※上階スラブ底折り返し450 最下階スラブ下：押出法ポリスチレンフォーム保温板t50（3種bA）
竪樋	アルミ製125φ又は100φ（バンドレス）、鋳鉄製ドレイン
屋外階段	鉄骨階段　さび止め塗装の上DP1級　踏面：コンクリート刷毛引き　段鼻：SUSノンスリップ 階段手摺　笠木：ST-FB9*38　支柱：ST-FB9*38@480　さび止め塗装の上DP1級

耐火仕様リスト

建築物の部分		耐火性能に関する技術的基準		
屋根	屋根A	0.5h	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 150t	H12建告第1399号　第五項一号
	屋根B	0.5h	鋼板+ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ板+木毛ｾﾒﾝﾄ板+軽量鉄骨下地屋根	(FP030RF-1945(2))
	風除室屋根(1F)	0.5h	ﾌﾗｯﾄﾃﾞｯｷ +鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄｽﾗﾌﾞ 130t	H12建告第1399号　第五項一号
床		1.0h	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 150t	H12建告第1399号　第三項二号
柱	外壁と複合	1.0h	吹付ﾛｯｸｳｰﾙ 25t + 押出中空成形ｾﾒﾝﾄ板　60t	(FP060CN-0538-2)
	単独 （Ｓ造隠蔽部）	1.0h	吹付ﾛｯｸｳｰﾙ 25t	(FP060CN-9460)
	単独 （Ｓ造露出部）	1.0h	耐火塗料 2.5t 耐火シート（1.7mm・3.0mm）	(FP060CN-9472) (FP060CN-0584-1)　(FP060CN-0598)
	単独 （ＲＣ造）	1.0h	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	H12建告第1399号　第二項三号
梁	外壁と複合	1.0h	吹付ﾛｯｸｳｰﾙ 25t + 押出中空成形ｾﾒﾝﾄ板　60t	(FP060BM-0332)
	単独 （Ｓ造隠蔽部）	1.0h	吹付ﾛｯｸｳｰﾙ 25t	(FP060BM-9408)
	単独 （Ｓ造露出部）	1.0h	耐火塗料 2.5t	(FP060BM-9419)
	単独 （ＲＣ造）	1.0h	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	H12建告第1399号　第四項三号
外壁 （非耐力壁）	外壁A	0.5h	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 150t	H12建告第1399号　第一項七号
	外壁B	0.5h	押出中空成形セメント板　60t	(FP060NE-9035)
	外壁C	0.5h	アルミパネル　t=2.0　ケイ素系親水性焼付塗装 ロックウール30mm工場吹付　鉄骨下地（胴縁）	(FP030NE-9304)
階段	屋内階段	0.5h	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	H12建告第1399号　第六項一号

※屋内消火栓の緩和のため耐火構造とする。外壁及び間仕切り壁は耐力壁なし。

階数		室名	居室	内装仕上	床	巾木	巾木高	壁 仕上 室内側	壁 仕上 外壁側	断熱	天井	廻縁	天井高(FL+)	ブラインドボックス	備考	室名
1階	図書館	一般開架室・グループスペース	○	準	下地：二重床（鋼製床下地） 仕上：捨貼合板t15.0+15.0の上 タイルカーペットt6.5	ビニル巾木	100	LGS+GB-Rt12.5+t12.5（GW24Kt50） 柱：コンクリート化粧打放し EP、メラミン不燃化粧板t3.0 アクリルシリコン樹脂系保護材（クリア）	LGS+GB-Rt12.5	30	LGS 化粧石膏吸音ボードt9.5 ： 軽量天井材	塩ビ	3000～9100	木製 スチール製 OSCL DP		一般開架室・グループスペース
		こども室	○	準	下地：二重床（鋼製床下地） 仕上：捨貼合板t15.0+15.0の上 タイルカーペットt6.5	ビニル巾木	100	LGS+GB-Rt12.5+t12.5（GW24Kt50） 柱：コンクリート化粧打放し EP、メラミン不燃化粧板t3.0 アクリルシリコン樹脂系保護材（クリア）	LGS+GB-Rt12.5 EP	30	LGS EP	塩ビ	3000 2650			こども室
		おはなしの森	○	準	下地：二重床（鋼製床下地） 仕上：捨貼合板t15.0+15.0の上 発泡複層ビニル床シートt6.0	ビニル巾木	100	LGS+GB-Rt12.5+t12.5（GW24Kt50） EP、メラミン不燃化粧板t3.0 メラミン不燃化粧板t3.0	LGS+GB-Rt9.5 EP	30	LGS+GB-Rt9.5 ビニルクロス	塩ビ	2200 （一部1990）	木製 OSCL		おはなしの森
		管理スペース２	○	不 告(5) 無窓	下地：コンクリート金ゴテ押え（セルフレベリングt10） 仕上：長尺ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	100	LGS+GB-Rt12.5+t12.5（GW24Kt50） EP			LGS+GB-Dt9.5	塩ビ	2650			管理スペース２
		閉架書庫・管理スペース３	○	不 告(5) 無窓	下地：コンクリート金ゴテ押え ＯＡフロア 仕上：複層ビニル床タイルt3.0 タイルカーペットt6.5	ビニル巾木	100	LGS+GB-Rt12.5+t12.5（GW24Kt50） EP	LGS+GB-Rt12.5 EP	30	LGS+GB-Dt9.5	塩ビ	2650			閉架書庫・管理スペース３
		階段		準	下地：コンクリート金ゴテ押え 仕上：複層ビニル床タイルt3.0	ビニル巾木	100	LGS+GB-Rt12.5+t12.5（GW24Kt50） EP	LGS+GB-Rt12.5 EP	30	準構造耐震天井下地 GB-Rt9.5 EP 内装用木毛セメント板t14.0 W300@900	塩ビ	3900～9100	スチール製 DP		階段
2階	公民館	予約図書受取室	○	準	下地：ＯＡフロア 仕上：複層ビニル床タイルt3.0	ビニル巾木	100	LGS+GB-Rt12.5+t12.5 EP	LGS+GB-Rt12.5 EP	30	準構造耐震天井下地 GB-Rt9.5 EP 内装用木毛セメント板t14.0 W300@900	塩ビ	3000～3900			予約図書受取室
		ブックポスト		準	下地：ＯＡフロア 仕上：複層ビニル床タイルt3.0	ビニル巾木	100	LGS+GB-Rt12.5+t12.5 EP	LGS+GB-Rt12.5 EP	30	準構造耐震天井下地 GB-Rt9.5 EP 内装用木毛セメント板t14.0 W300@900	塩ビ	3000～3900			ブックポスト
		ロビー・エントランス		準	下地：コンクリート金ゴテ押え（セルフレベリングt10）ＯＡフロア 仕上：複層ビニル床タイルt3.0	ビニル巾木	100	LGS+GB-Rt12.5+t12.5（GW24Kt50） 柱：コンクリート化粧打放し EP、メラミン不燃化粧板t3.0 アクリルシリコン樹脂系保護材（クリア）	LGS+GB-Rt12.5 EP	30	準構造耐震天井下地 GB-Rt9.5 EP 内装用木毛セメント板t14.0 W300@900	塩ビ	3000～5600	スチール製 DP		ロビー・エントランス
		廊下		準	下地：コンクリート金ゴテ押え（セルフレベリングt10） 仕上：複層ビニル床タイルt3.0	ビニル巾木	100	LGS+GB-Rt12.5+t12.5（GW24Kt50） LGS+GB-F12.5+12.5（GW24Kt50） 柱：コンクリート化粧打放し EP、アクリルシリコン樹脂系保護材（クリア）	LGS+GB-Rt12.5 EP	30	LGS 化粧石膏吸音ボードt9.5	塩ビ	5165～5930 2700			廊下
		管理スペース１	○	不 告(5) 無窓	下地：ＯＡフロア 仕上：タイルカーペットt6.5	ビニル巾木	100	LGS+GB-F12.5+12.5（GW24Kt50） LGS+GB-Rt12.5+t12.5（GW24Kt50） EP			LGS+GB-Dt9.5	塩ビ	2700			管理スペース１
		会議室（調理室・和室）	○	不 告(5)	下地：二重床（鋼製遮音床下地） 仕上：捨貼合板t9.0+12.0+制振材8.0の上 長尺ビニル床シートt2.0（防汚）	ビニル巾木	100	LGS+GB-F12.5+12.5（GW24Kt50） EP	LGS+GB-Rt12.5 EP	30	LGS 化粧石膏吸音ボードt9.5	塩ビ	2700		システムキッチン（ＩＨ）	会議室（調理室・和室）
		自習室	○	不 告(5) 無窓	下地：コンクリート金ゴテ押え（セルフレベリングt10） 仕上：長尺ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	100	LGS+GB-F12.5+12.5（GW24Kt50） LGS+GB-Rt12.5+t12.5（GW24Kt50） EP			LGS+GB-Dt9.5	塩ビ	2700			自習室
		ホール	○	準	下地：二重床（鋼製遮音床下地） 仕上：捨貼合板t9.0+12.0+制振材8.0の上 複層ビニル床タイルt3.0	ビニル巾木	100	LGS+GB-Ft21.0+GB-R-Ht9.5 EP	LGS+GB-Rt12.5 メラミン不燃化粧板t3.0	30	LGS+GB-Rt9.5 DRt9.0	塩ビ	3500 3000	スチール製 DP	電動スクリーン用下地、天吊プロジェクター用下地 移動間仕切り、可動ステージ	ホール
		会議室（音楽）・前室	○	準	下地：二重床（鋼製遮音床下地） 仕上：捨貼合板t9.0+12.0+制振材8.0の上 長尺ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	100	LGS+GB-Ft21.0+GB-R-Ht9.5 EP	LGS+GB-Rt12.5 EP	30	LGS+GB-Rt9.5 DRt9.0	塩ビ	2700	木製 OSCL		会議室（音楽）
		会議室１・２	○	準	下地：二重床（鋼製遮音床下地） 仕上：捨貼合板t9.0+12.0+制振材8.0の上 長尺ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	100	LGS+GB-Ft21.0+GB-R-Ht9.5 EP	LGS+GB-Rt12.5 EP	30	LGS 化粧石膏吸音ボードt9.5	塩ビ	2700	木製 OSCL	移動間仕切り	会議室１・２
		工芸室１・２	○	準	下地：二重床（鋼製遮音床下地） 仕上：捨貼合板t15.0+制振材4.0の上 長尺ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	100	LGS+GB-Ft21.0+GB-R-Ht9.5 EP	LGS+GB-Rt12.5 EP	30	LGS 化粧石膏吸音ボードt9.5	塩ビ	2700	木製 OSCL	電気窯（備品）	工芸室１・２
		地域活動拠点	○	不 告(5) 無窓	下地：コンクリート金ゴテ押え（セルフレベリングt10） 仕上：複層ビニル床タイルt3.0	ビニル巾木	100	LGS+GB-F12.5+12.5（GW24Kt50） LGS+GB-Rt12.5+t12.5（GW24Kt50） EP			LGS+GB-Rt12.5 DRt9.0	塩ビ	2700		移動間仕切り	地域活動拠点
		授乳室・給湯室	○（授乳室）	不 告(5) 告(2) 無窓	下地：コンクリート金ゴテ押え（セルフレベリングt10） 仕上：長尺ビニル床シートt2.0 （防汚）	ビニル巾木	100	LGS+GB-F12.5+12.5（GW24Kt50） LGS+GB-Rt12.5+t12.5（GW24Kt50） EP			LGS+GB-Dt9.5	塩ビ	2550			授乳室・給湯室
		更衣室１・２		不 告(2)	下地：コンクリート金ゴテ押え（セルフレベリングt10） 仕上：長尺ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	100	LGS+GB-F12.5+12.5（GW24Kt50） LGS+GB-Rt12.5+t12.5（GW24Kt50） EP			LGS+GB-Dt9.5	塩ビ	2550			更衣室１・２
		倉庫・防災倉庫		不 告(2)	下地：コンクリート金ゴテ押え（セルフレベリングt10） 仕上：長尺ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	100	LGS+GB-F12.5+12.5（GW24Kt50） LGS+GB-Rt12.5+t12.5（GW24Kt50） EP	LGS+GB-Rt12.5 EP	30	LGS+GB-Dt9.5	塩ビ	2550			倉庫・防災倉庫
		多目的・準備室	○	不 告(5) 無窓	下地：コンクリート金ゴテ押え（セルフレベリングt10） 仕上：長尺ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	100	LGS+GB-F12.5+12.5（GW24Kt50） LGS+GB-Rt12.5+t12.5（GW24Kt50） EP			LGS+GB-Dt9.5	塩ビ	2700			多目的・準備室
共通		トイレ・多機能トイレ		不 告(2)	下地：コンクリート金ゴテ押え（セルフレベリングt10） 仕上：長尺ビニル床シートt2.0 （防汚）	床材巻上げ 一部SUS巾木	100	LGS+GB-St12.5（GW24Kt50） LGS+GB-F12.5+12.5（GW24Kt50） メラミン不燃化粧板t3.0	LGS+GB-St12.5 メラミン不燃化粧板t3.0	30	LGS+GB-Dt9.5	塩ビ	2550		トイレブース 手摺、ベビーベッド、ベビーチェア用下地	トイレ・多機能トイレ
		風除室		準	下地：モルタル木鏝 仕上：300角磁器質タイル（ノンスリップタイプ）	SUS巾木	100	LGS+GB-St12.5+12.5 メラミン不燃化粧板t3.0			1F: LGS+ケイカルt6.0 ： 2F: ロビー・エントランス同様 EP ： GB-St12.5 EP ロビー・エントランス同様	塩ビ	図示			風除室
		機械室		不 告(2)	下地：コンクリート金ゴテ押え 仕上：防塵塗装	―		GWボードの上 ガラスクロス押え			GWボードの上 ガラスクロス押え	塩ビ	―			機械室
		PS/EPS		不 告(2)	下地：コンクリート金ゴテ押え 仕上：防塵塗装	―		GB-Rt12.5+t12.5 ―		30		塩ビ	―			PS/EPS

不 不燃材料以上
準 準不燃材料以上
難 難燃材料以上
告(2)：建告1436号 三 へ（2）適用室 室の床面積が100㎡以下で、防煙壁にて区画された室
告(5)：建告1436号 三 へ（5）適用室 居室の床面積が100㎡以下で、壁/天井の仕上、下地を不燃材料とした室
無窓：法35条の3 不燃区画室

構造方法等の認定

GB-R(9.5mm)	準不燃	QM-9828	ＥＰ	不燃	NM-8585
GB-R(12.5mm)	不燃	NM-8619	クロス	不燃	NM-9951
GB-S	不燃	NM-9639	不燃メラミン化粧板	不燃	NM-2183
GB-F	不燃	NM-8615	内装用木毛ゼメント板	準不燃	QM-9020
GB-D(9.5mm)	不燃	NM-1864	DR（岩綿吸音板）	不燃	NM-8599
化粧石膏吸音ボード	不燃	NM-0879			

略語凡例
LGS ― 軽量鉄骨下地　GB-R ― せっこうボード　GB-F ― 強化石膏ボード　DR ― 岩綿吸音板　SOP ― 合成樹脂調合ペイント
GW ― グラスウール　GB-S ― シージング石膏ボード　GB-D ― 化粧石膏ボード　OSCL ― オイルステインクリアラッカー塗り　EP-G ― 合成樹脂エマルジョンペイント塗り

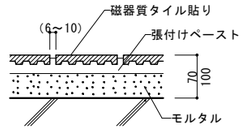
特記事項（各階共通）

・床スラブが土に接する部分には、防湿ポリエチレンフィルムｔ＝0.15を敷き込むこと。	・床の磁器質タイル・モザイクタイルの目地用モルタルは、普通セメントを使用すること。	・ビニル床タイル・シートの接着剤は、ＷＣ・ＳＫ・給湯室等の湿気の多い個所についてはエポキシ系とする。
・躯体壁面・室内熱橋部(L450)は 硬質ウレタンフォームA種1Ｈｔ30吹付けとすること。	・ステンレスは、特記無き限りSUS304とすること。	・ビニル床シートは特記無き限り溶接工法とし、配管貫通部周囲は水漏れ等の支障が無いようにシーリングを施すこと。
・排水溝・ドレン等の断熱材欠損部には、室内側の躯体に硬質ウレタンフォームA種1Ｈｔ=25を吹付けること。	・外部内部および地下ピットに設置するタラップはステンレス製とすること。	・ボードの出隅部分はクロス仕上げの場合は塩ビ製、塗装仕上げの場合は鋼板製の保護材を貼り、パテしごきとする。
・コンクリート打放部分のフカシは特記無き限り屋外で20mm、屋内で10mmとする。	・床仕上げの異なる部分には、ステンレス床見切を設け、突起のないように仕上げること。	・せっこうボードの目地工法は突付け工法、ベベルエッジとする。
・コンクリート打放の見掛り部分となるコーナーは面取り（屋内10×10、屋外20×20）とする。	・防水押さえコンクリートは溶接金網φ6-100×100とする。	・下地材・仕上げ材とも、Ｆ☆☆☆☆対応品を使用すること。天井裏の下地材、断熱材等も同様とする。
・外壁コンクリートの打継目地・誘発目地部分は、すべてシーリングを行うこと。	・仕上がＧＢ貼塗装仕上げの箇所はカンレイシャ補強貼パテしごきのうえ各仕上を行うこと。	・石綿、クロルピリホスを添加した建材は使用しないこと。
・外壁に取り付ける金物の雨掛り部周囲は、シーリング材（変成シリコン系）を充填すること。	・壁下地が異なる場合は、塩ビ目地材で縁を切ること。	・天井点検口は、アルミ目地タイプとし、表面材は周囲天井と同材とすること。
・外部に面する雨掛り部の異種工事取合い部分は、すべてタブルシーリング又は二重の止水処理とし、	・開口部の上部及び長さ３ｍを超える間仕切壁は縦目地を設けること。	・掲示板等のサイン、設備機器・補助手摺等の取り付け部分は下地補強を行うこと。
外部側で止水が切れた場合でも中間層から排水される機構とする。	・木仕上げ+塗装の部位については、必ずビス類・タッカー跡を補修の上塗装を行うこと。	・建物内に使用するブラインド、カーテン、じゅうたん、下げ丈1m以上の暖簾は防災物品とすること。

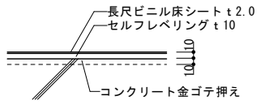
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名 内部仕上表	縮尺 non	図面番号 A－015

床材

F１ 床磁器質タイル張り
A1: S=1/5
A3: S=1/10

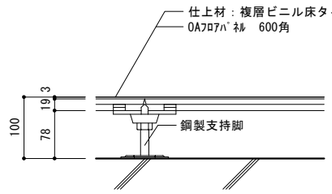


F２ 長尺ビニルシート貼り
A1: S=1/5
A3: S=1/10

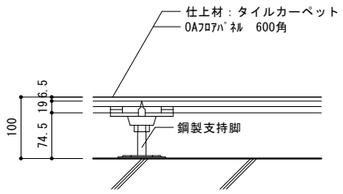


F３ 複層ビニル床タイル　ＯＡフロアー（3000Ｎ）
A1: S=1/5
A3: S=1/10

管理ｽﾍﾟｰｽ１・３・閉架書庫

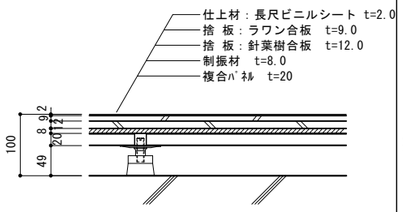


F４ タイルカーペット　ＯＡフロアー（3000Ｎ）
A1: S=1/5
A3: S=1/10



F５ 長尺ビニルシート　遮音鋼製二重床
A1: S=1/5
A3: S=1/10

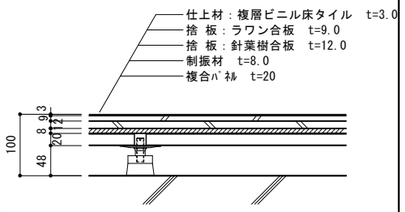
会議室（調理室・和室・音楽室・１・２）・工芸室１・工芸室２



耐荷重：300kg/㎡

F６ 複層ビニル床タイル　遮音鋼製二重床
A1: S=1/5
A3: S=1/10

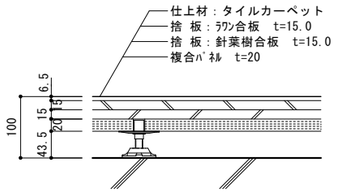
ホール



耐荷重：300kg/㎡

F７ タイルカーペット　二重床
A1: S=1/5
A3: S=1/10

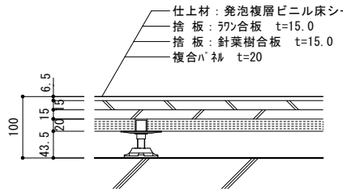
一般開架室・こども室



耐荷重：500kg/㎡

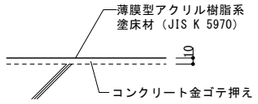
F８ 発泡複層ビニル床シート　二重床
A1: S=1/5
A3: S=1/10

おはなしの森

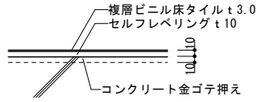


耐荷重：500kg/㎡

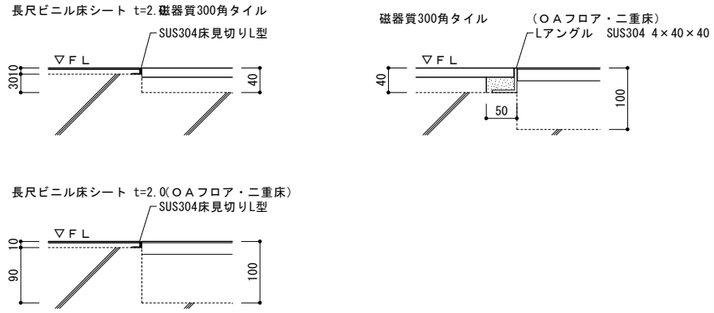
F９ 防塵塗装
A1: S=1/5
A3: S=1/10



F１０ 複層ビニル床タイル
A1: S=1/5
A3: S=1/10

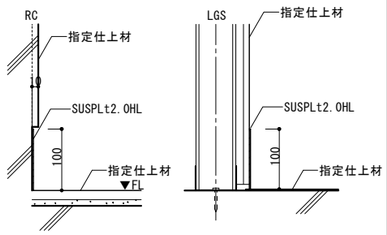


F１３ SUS製床見切り
A1: S=1/5
A3: S=1/10

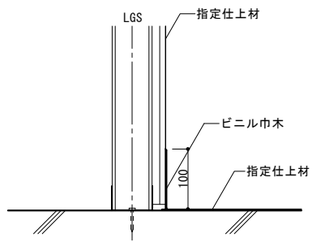


巾木

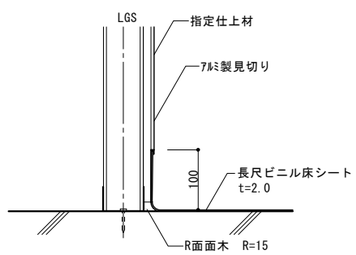
Ｂ１ SUS巾木
A1: S=1/5
A3: S=1/10



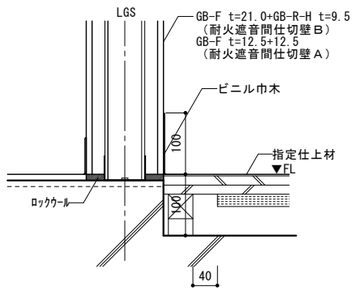
Ｂ２ ビニル巾木
A1: S=1/5
A3: S=1/10



Ｂ３ 長尺ビニルシート巻上げ
A1: S=1/5
A3: S=1/10

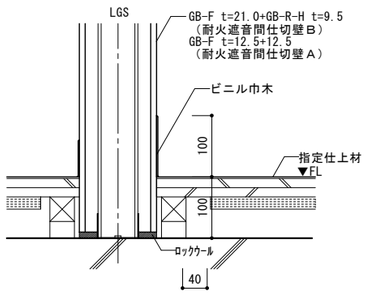


耐火遮音間仕切壁下部詳細図
A1: S=1/5
A3: S=1/10



耐火遮音間仕切Ａ（遮音性能TLD-51）
耐火遮音間仕切Ｂ（遮音性能TLD-61）

耐火遮音間仕切壁下部詳細図（乾式二重床）
A1: S=1/5
A3: S=1/10

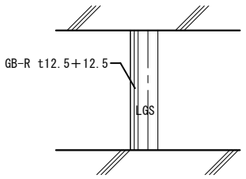


同左

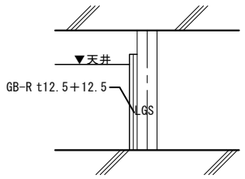
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	仕上凡例リスト－１	縮尺 non	図面番号 A－016

壁 下地

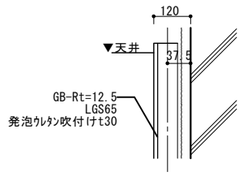
W1 石こうボード（不燃）（スラブまで）
A1: S=1/10
A3: S=1/20



W2 石こうボード（不燃）
A1: S=1/10
A3: S=1/20

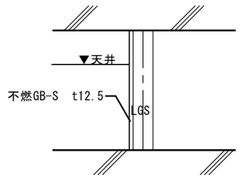


W3 石こうボード（不燃）
A1: S=1/10
A3: S=1/20

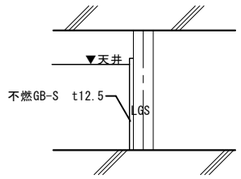


【外壁部】

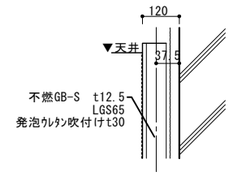
W4 耐水石こうボード（不燃）（スラブまで）
A1: S=1/10
A3: S=1/20



W5 耐水石こうボード（不燃）
A1: S=1/10
A3: S=1/20



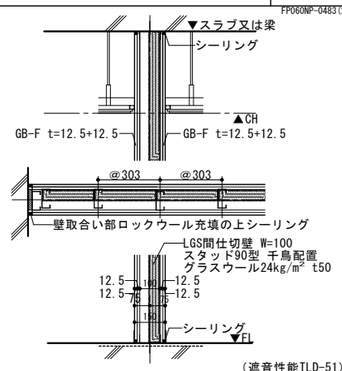
W6 耐水石こうボード（不燃）
A1: S=1/10
A3: S=1/20



【外壁部】

W7 耐火遮音間仕切壁Ａ
A1: S=1/15
A3: S=1/30

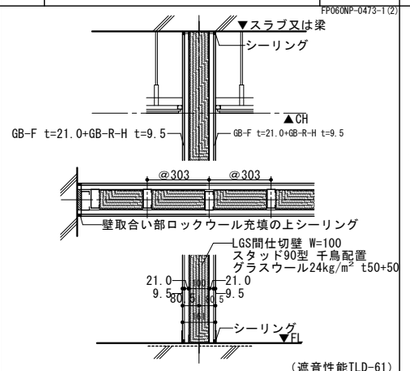
FP060NP-0483(2)



（遮音性能TLD-51）

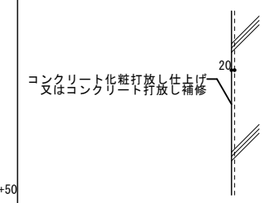
W8 耐火遮音間仕切壁Ｂ
A1: S=1/15
A3: S=1/30

FP060NP-0473-1(2)



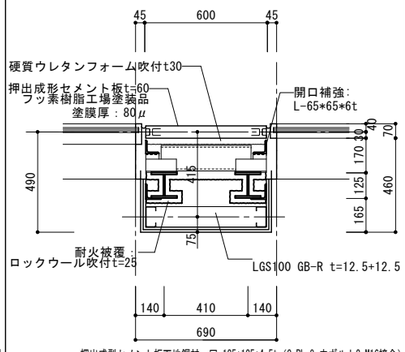
（遮音性能TLD-61）

W9 コンクリート化粧打放し コンクリート打放し補修
A1: S=1/15
A3: S=1/30



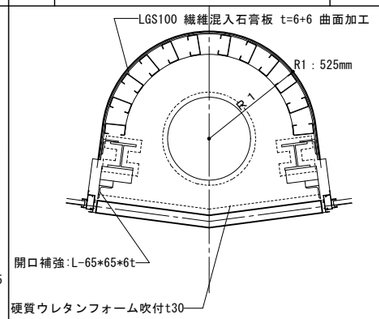
化粧打放し仕上にはアクリルシリコン樹脂系の保護材を塗布すること

W10 押出成型セメント板外壁部 詳細図
A1: S=1/15
A3: S=1/30



押出成型セメント板下地鋼材：□-125*125*4.5t（G.PL-9 中ボルト2-M16接合）

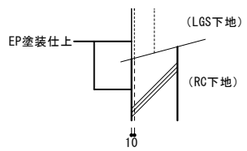
W11 屋内柱周囲 詳細図
A1: S=1/15
A3: S=1/30



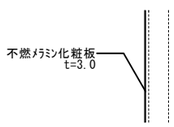
W12
A1: S=1/10
A3: S=1/20

壁 仕上

a EP塗装仕上げ
A1: S=1/10
A3: S=1/20

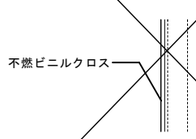


b 不燃ﾒﾗﾐﾝ化粧板仕上げ
A1: S=1/10
A3: S=1/20



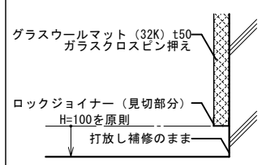
不燃木目調（目透かし貼り）
アルミジョイナー（シート貼り）

c 不燃ビニルクロス貼り
A1: S=1/10
A3: S=1/20

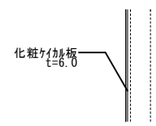


d 天然木突板不燃クロス
A1: S=1/10
A3: S=1/20

e グラスウールマット ガラスクロスピン押え
A1: S=1/10
A3: S=1/20

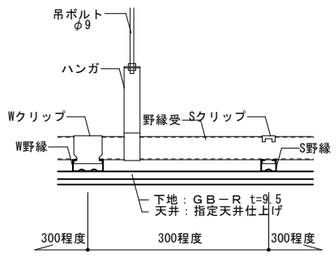


f 化粧ケイカル板仕上げ
A1: S=1/10
A3: S=1/20

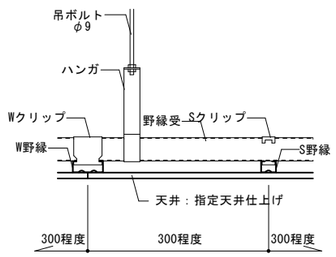


天井 下地 仕上

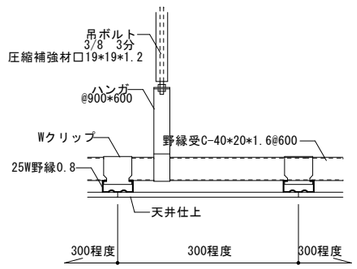
屋内天井仕上げ（捨て貼り）
A1: S=1/5
A3: S=1/10



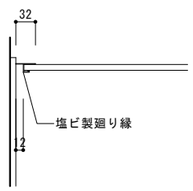
屋内天井仕上げ（直貼り）
A1: S=1/5
A3: S=1/10



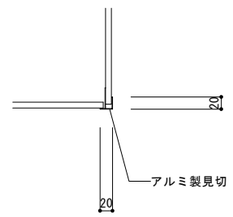
屋外軒天仕上げ
A1: S=1/5
A3: S=1/10



天井廻り縁
A1: S=1/5
A3: S=1/10

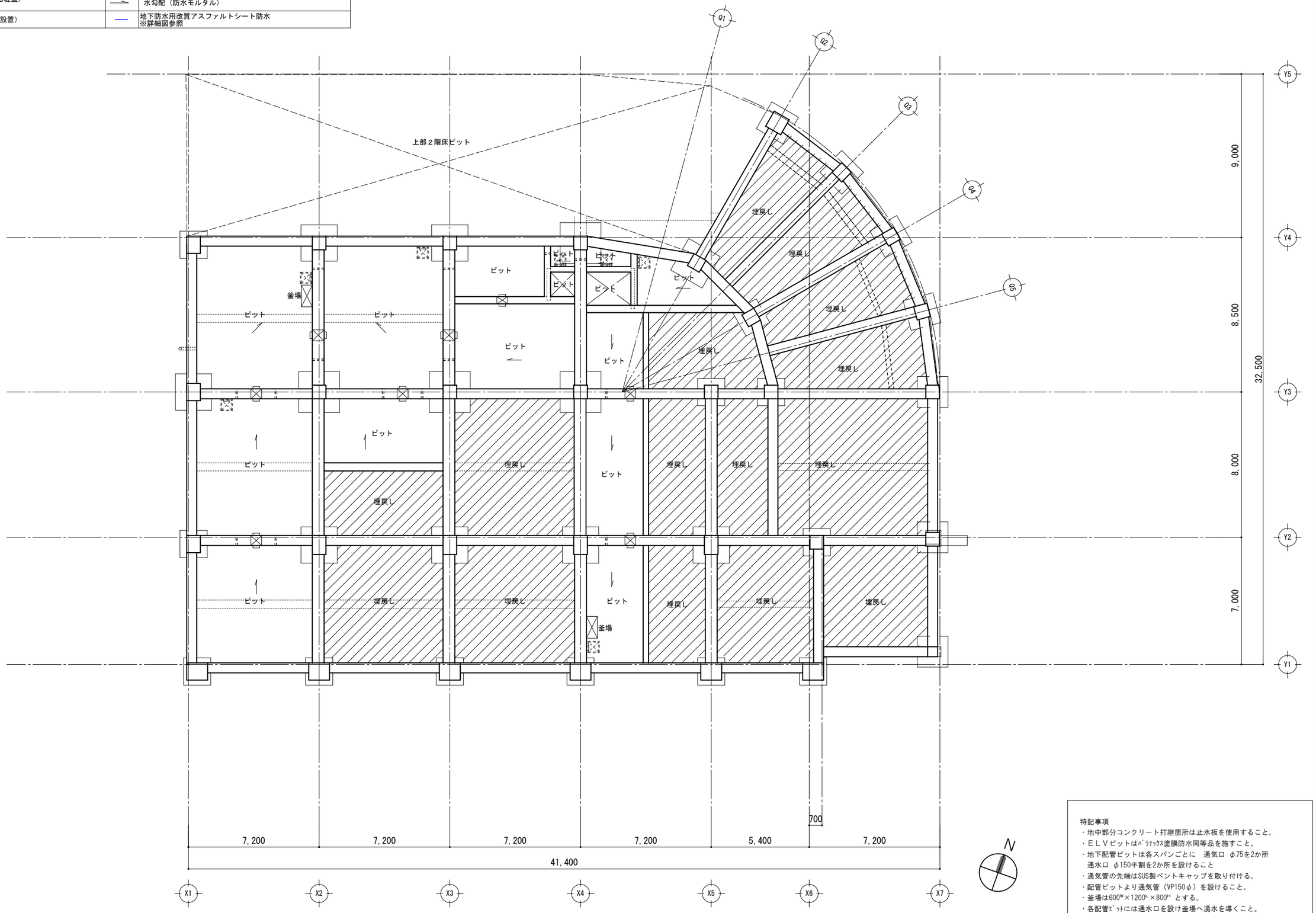


下がり壁見切り
A1: S=1/5
A3: S=1/10



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	仕上凡例リストー２
縮尺	non	図面番号	A－ 017				

凡 例	内 容		
	SUSタラップ@350		通気管地盤面より600以上立上げ （先端はSUS製ベントキャップ）
	600角床点検口（密閉型･鍵付･化粧蓋） ピット内SUSタラップ5段		地下配管ピットは各スパンごとに　通気口 φ75を2か所 通水口 φ150半割を2か所を設けること
	600φ人通口（両面にSUS手架け設置）		水勾配（防水モルタル）
			地下防水用改質アスファルトシート防水 ※詳細図参照



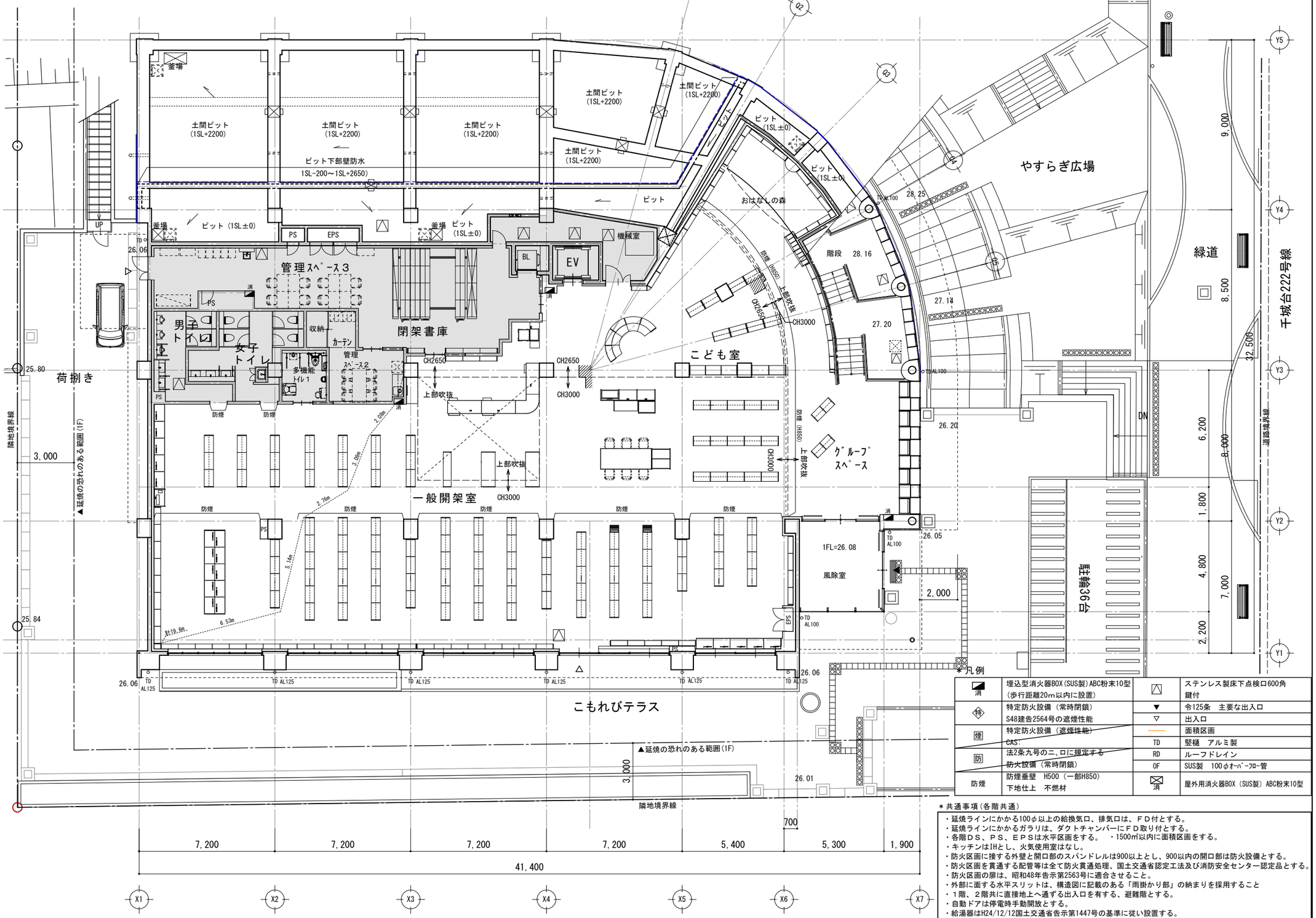
特記事項
・地中部分コンクリート打継箇所は止水板を使用すること。
・ＥＬＶピットはﾍﾟﾗﾃｯｸｽ塗膜防水同等品を施すこと。
・地下配管ピットは各スパンごとに　通気口 φ75を2か所
　通水口 φ150半割を2か所を設けること
・通気管の先端はSUS製ベントキャップを取り付ける。
・配管ピットより通気管（VP150φ）を設けること。
・釜場は600^{W}×1200^{L}×800^{H} とする。
・各配管ﾋﾟｯﾄには通水口を設け釜場へ湧水を導くこと。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	ピット階平面図	縮尺	1：200	図面番号	A－ 018
			特記事項		特記事項		特記事項							

凡 例	内 容		
	SUSタラップ@350		通気管地盤面より600以上立上げ（先端はSUS製ベントキャップ）
	600角床点検口（密閉型･鍵付･化粧蓋）ピット内SUSタラップ5段		地下配管ピットは各スパンごとに　通気口 φ75を2か所 通水口 φ150半割を2か所を設けること
	600φ人通口（両面にSUS手架け設置）		水勾配（防水モルタル）
			地下防水用改質アスファルトシート防水 ※詳細図参照

収容人員

階	用途	計算式
1階	（8）項　図書館	(240.31+266.57+60.35+58.43+83.84) ÷ 3.00
	：算定除外	709.5 ÷ 3.00 ＝ 236.5（人）
2階	（1）項　集会場	(122.57+36.65+50.40+53.20+47.60+47.60+36.72+39.00+36.94+15.12+18.20) ÷ 0.50
	：算定除外	504 ÷ 0.50 ＝ 1008（人）
		従業者数　1階：5人　2階：12人　計：17人
合計		236.5 + 1008 + 17 ＝ 1261.5 → 1261（人）　※各室面積はA-006、A-007による



＊凡例

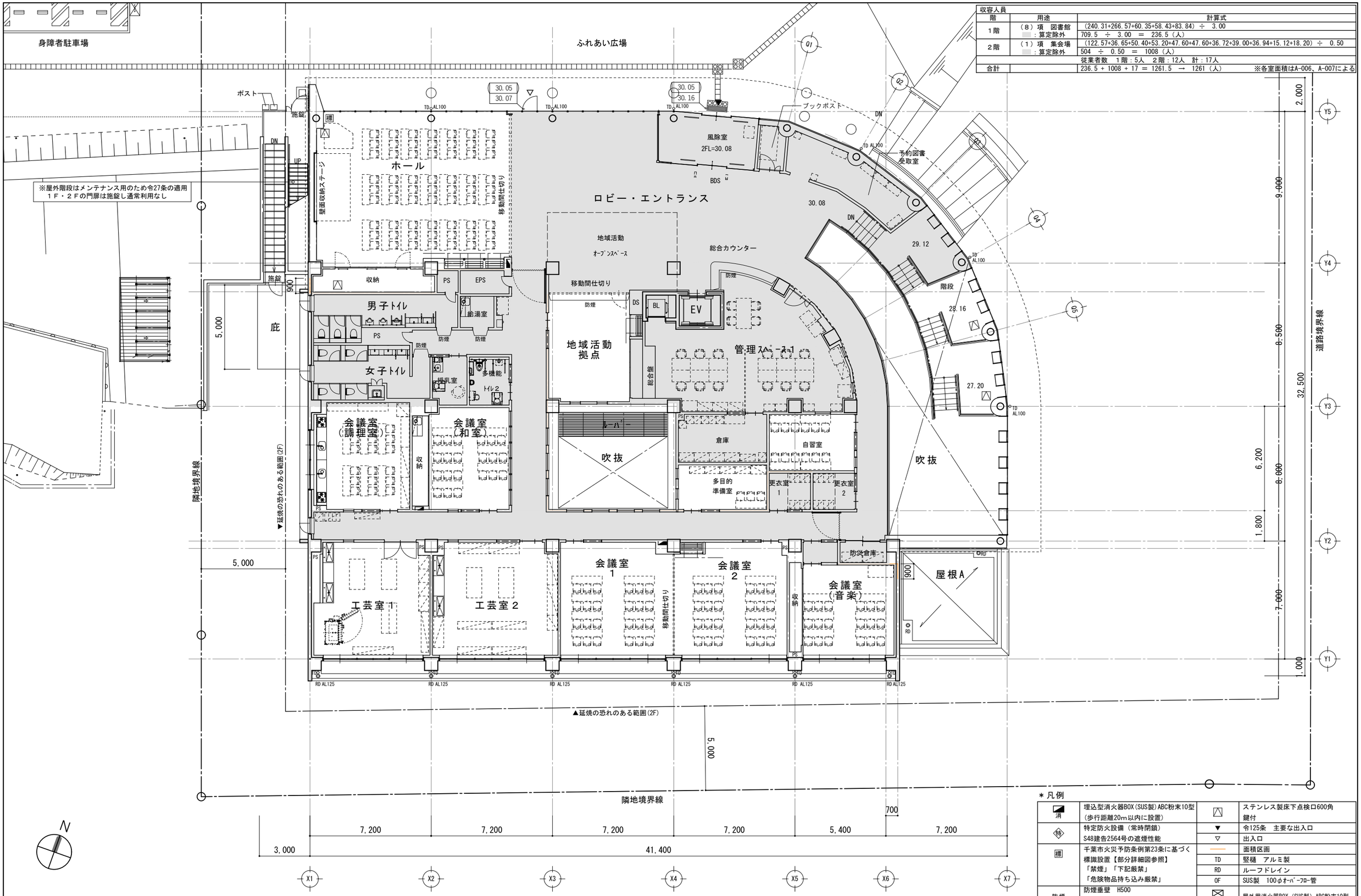
消	埋込型消火器BOX(SUS製)ABC粉末10型（歩行距離20m以内に設置）	△	ステンレス製床下点検口600角 鍵付
特	特定防火設備（常時閉鎖） S48建告2564号の遮煙性能	▼	令125条　主要な出入口
		▽	出入口
煙	特定防火設備（遮煙性能） CAS.		面積区画
		TD	竪樋　アルミ製
防	法2条九号の二、ロに規定する防火設備（常時閉鎖）	RD	ルーフドレイン
		OF	SUS製　100φオーバーフロー管
防煙	防煙垂壁　H500（一部H850） 下地仕上　不燃材	消	屋外用消火器BOX（SUS製）ABC粉末10型

＊共通事項（各階共通）

・延焼ラインにかかる100φ以上の給換気口、排気口は、ＦＤ付とする。
・延焼ラインにかかるガラリは、ダクトチャンバーにＦＤ取り付とする。
・各階ＤＳ、ＰＳ、ＥＰＳは水平区画をする。　・1500㎡以内に面積区画をする。
・キッチンはIHとし、火気使用室はなし。
・防火区画に接する外壁と開口部のスパンドレルは900以上とし、900以内の開口部は防火設備とする。
・防火区画を貫通する配管等は全て防火貫通処理、国土交通省認定工法及び消防安全センター認定品とする。
・防火区画の扉は、昭和48年告示第2563号に適合させること。
・外部に面する水平スリットは、構造図に記載のある「雨掛かり部」の納まりを採用すること
・１階、２階共に直接地上へ通ずる出入口を有する、避難階とする。
・自動ドアは停電時手動開放とする。
・給湯器はH24/12/12国土交通省告示第1447号の基準に従い設置する。
・火報感知器はエアコン吹出口より1,500以上、壁から600以上の距離をとる。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	1階平面図	縮尺 1：200	図面番号 A－019

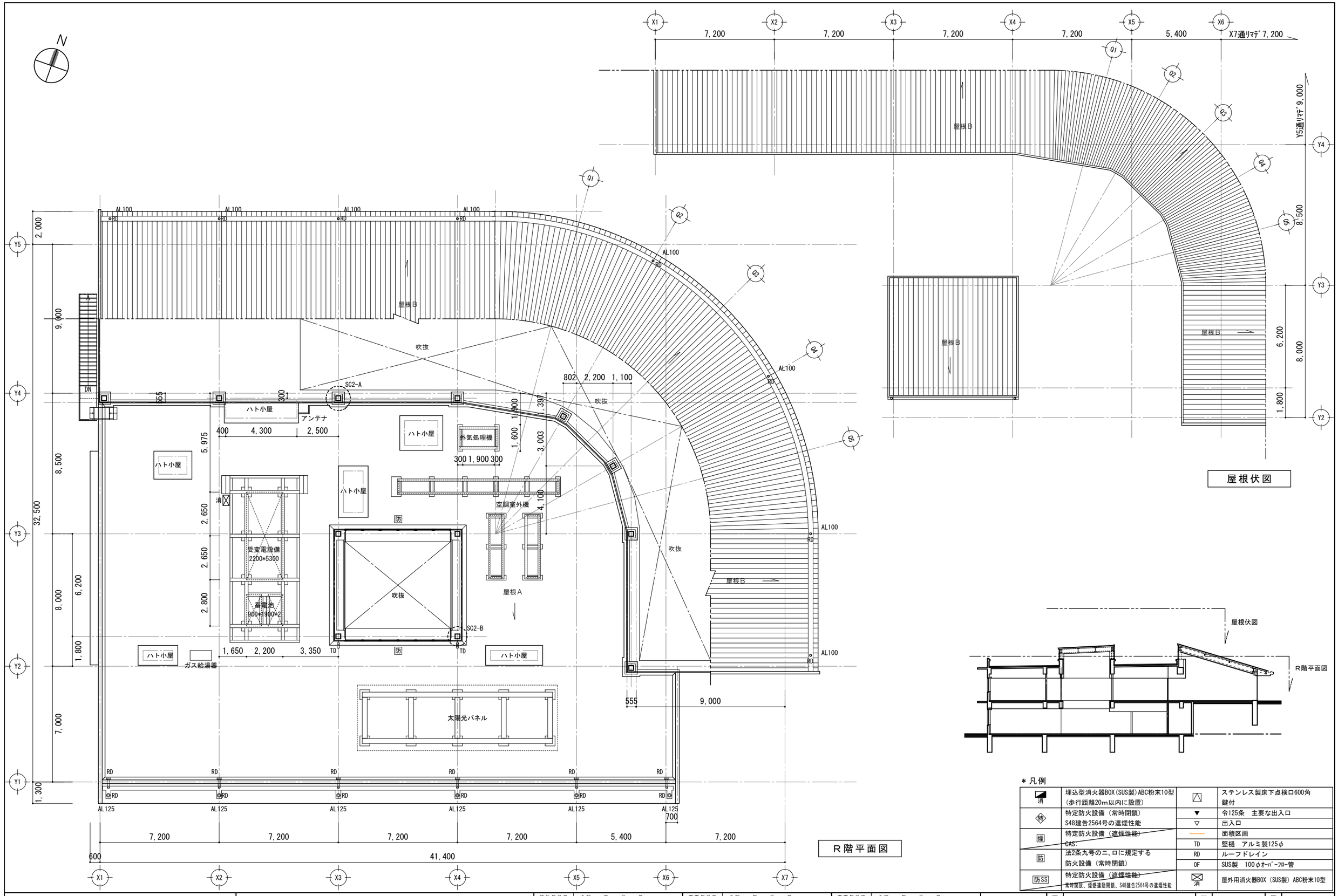
収容人員		
階	用途	計算式
1階	（8）項　図書館	（240.31+266.57+60.35+58.43+83.84）÷　3.00
	：算定除外	709.5　÷　3.00　＝　236.5（人）
2階	（1）項　集会場	（122.57+36.65+50.40+53.20+47.60+47.60+36.72+39.00+36.94+15.12+18.20）÷　0.50
	：算定除外	504　÷　0.50　＝　1008（人）
		従業者数　1階：5人　2階：12人　計：17人
合計		236.5 + 1008 + 17 ＝ 1261.5　→　1261（人）　※各室面積はA-006、A-007による



＊凡例

消	埋込型消火器BOX（SUS製）ABC粉末10型（歩行距離20m以内に設置）		ステンレス製床下点検口600角鍵付
特	特定防火設備（常時閉鎖）S48建告2564号の遮煙性能	▼	令125条　主要な出入口
		▽	出入口
標	千葉市火災予防条例第23条に基づく標識設置【部分詳細図参照】「禁煙」「下記厳禁」「危険物品持ち込み厳禁」	――	面積区画
		TD	竪樋　アルミ製
		RD	ルーフドレイン
		OF	SUS製　100φオーバーフロー管
防煙	防煙垂壁　H500　下地仕上　不燃材	消	屋外用消火器BOX（SUS製）ABC粉末10型

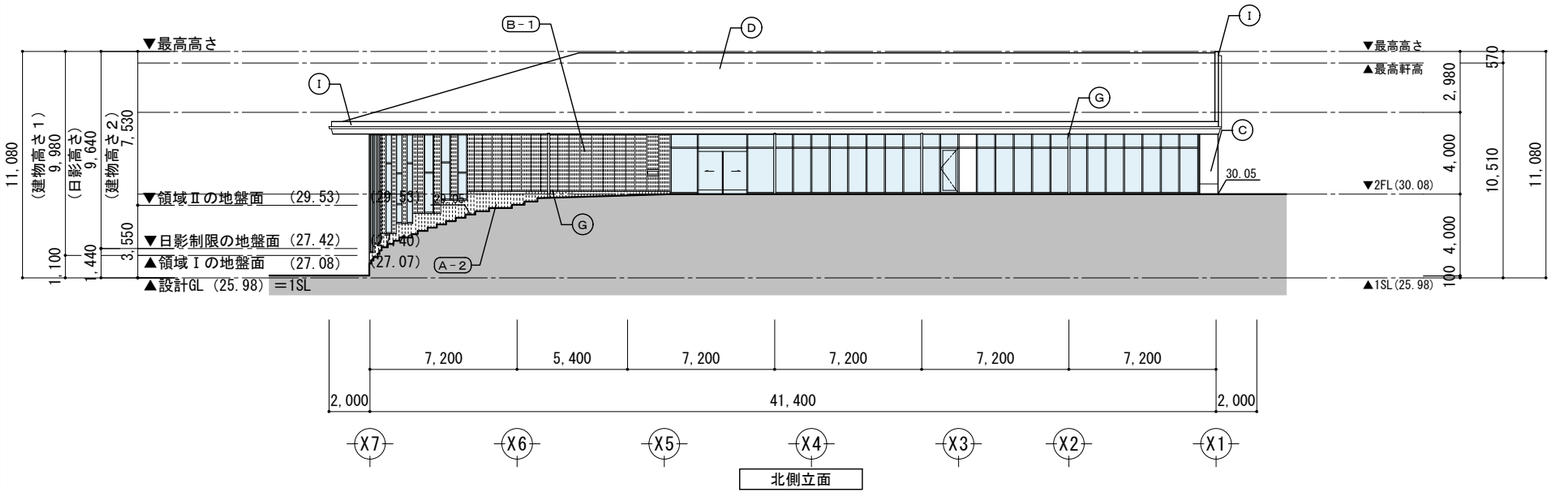
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	2階平面図	縮尺 1：200	図面番号 A－020



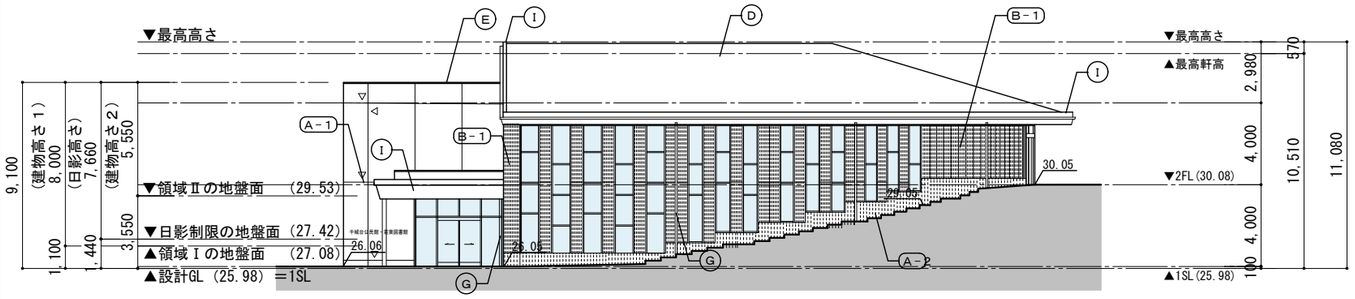
＊凡例

消	埋込型消火器BOX(SUS製)ABC粉末10型（歩行距離20m以内に設置）		ステンレス製床下点検口600角 鍵付
特	特定防火設備（常時閉鎖） S48建告2564号の遮煙性能	▼	令125条　主要な出入口
		▽	出入口
煙	特定防火設備（遮煙性能） CAS		面積区画
		TD	竪樋　アルミ製125φ
防	法2条九号の二、ロに規定する防火設備（常時閉鎖）	RD	ルーフドレイン
		OF	SUS製　100φオーバーフロー管
防SS	特定防火設備（遮煙性能） 常時開放、煙感連動閉鎖、S48建告2564号の遮煙性能	消	屋外用消火器BOX（SUS製）ABC粉末10型

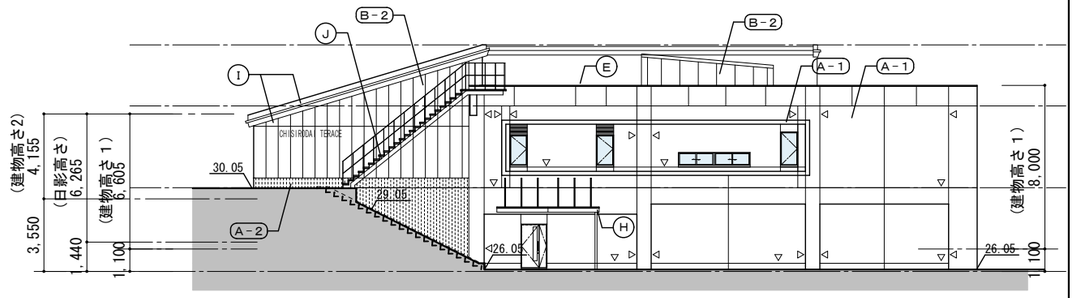
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	図面名 R階平面図・屋根伏図 / 縮尺 1：200 / 図面番号 A－021



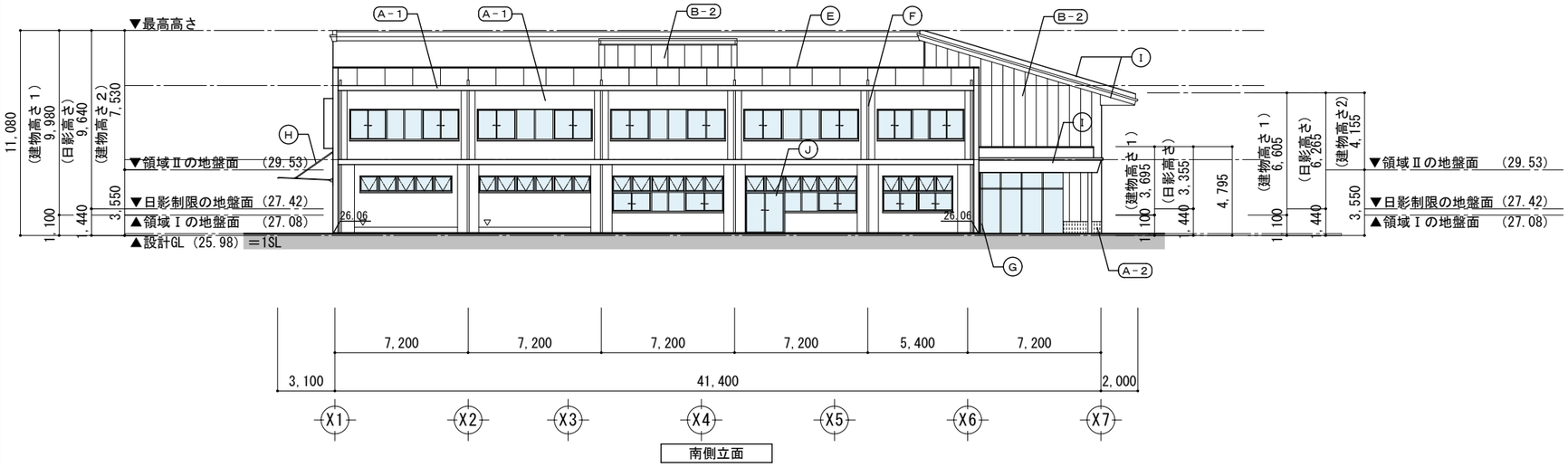
北側立面



東側立面



西側立面

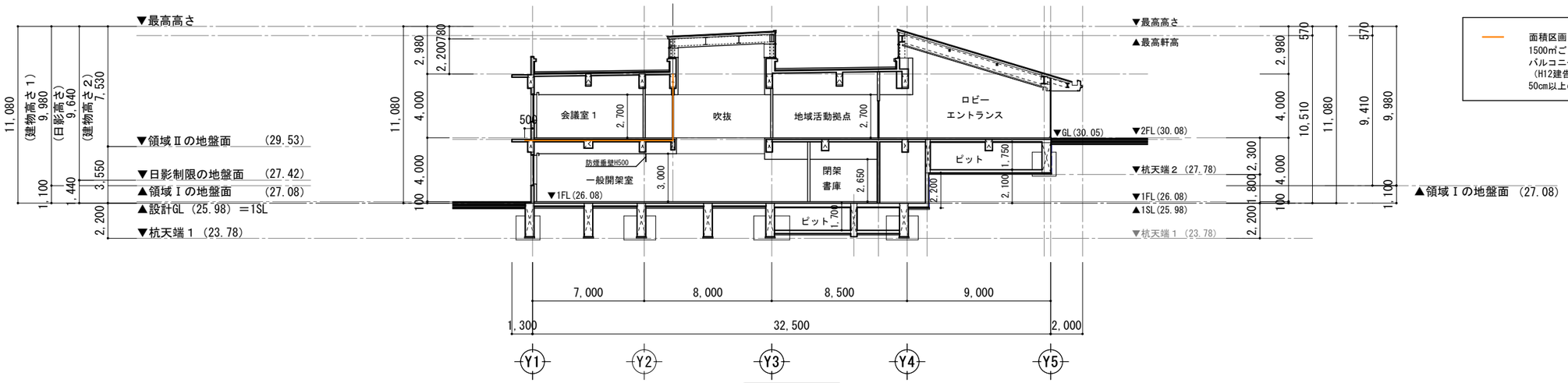


南側立面

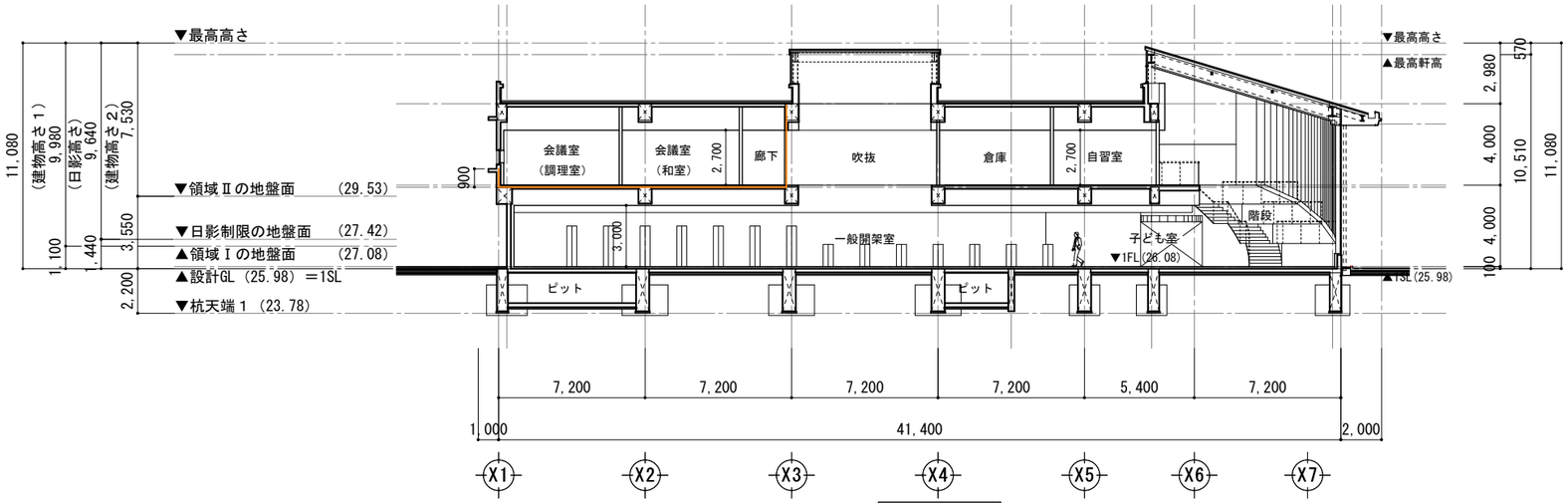
記号	凡例	仕上凡例
A－1		外壁：耐候性アクリルシリコン樹脂塗装（DP2級相当）
A－2		外壁：ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂系ｸﾘｱ塗装仕上
B－1		外壁：押出し成型セメント板　t60　縦張W590　リブパネル　工場塗装
B－2		外壁：押出し成型セメント板　t60　縦張W590　フラットパネル　工場塗装
C		外壁：アルミパネル t2.0　ケイ素系親水性焼付塗装
D		屋根：カラーガルバリウム鋼板t0.4 平滑葺
E		笠木：アルミ製
F		竪樋　φ125　アルミバンドレス
G		竪樋　φ100　アルミバンドレス
H		アルミ製庇
I		庇幕板：アルミパネル t2.0　ケイ素系親水性焼付塗装
J		屋外階段：さび止め塗装の上DP1級
		◁ 構造スリット W25 シーリング

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	図面名	立面図	縮尺	1：300	図面番号	A－ 022

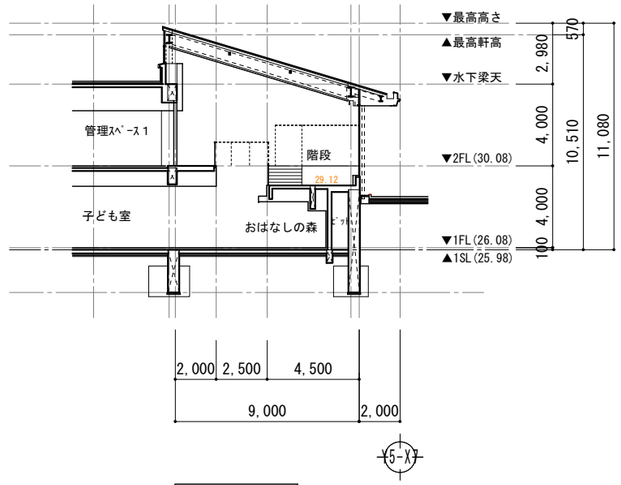
面積区画
1500㎡ごとに耐火構造の床、壁、特定防火設備にて区画
バルコニーは１時間耐火構造の床
（H12建告1399号第三項第二号イ）とし外壁から
50cm以上の突出したものとする。



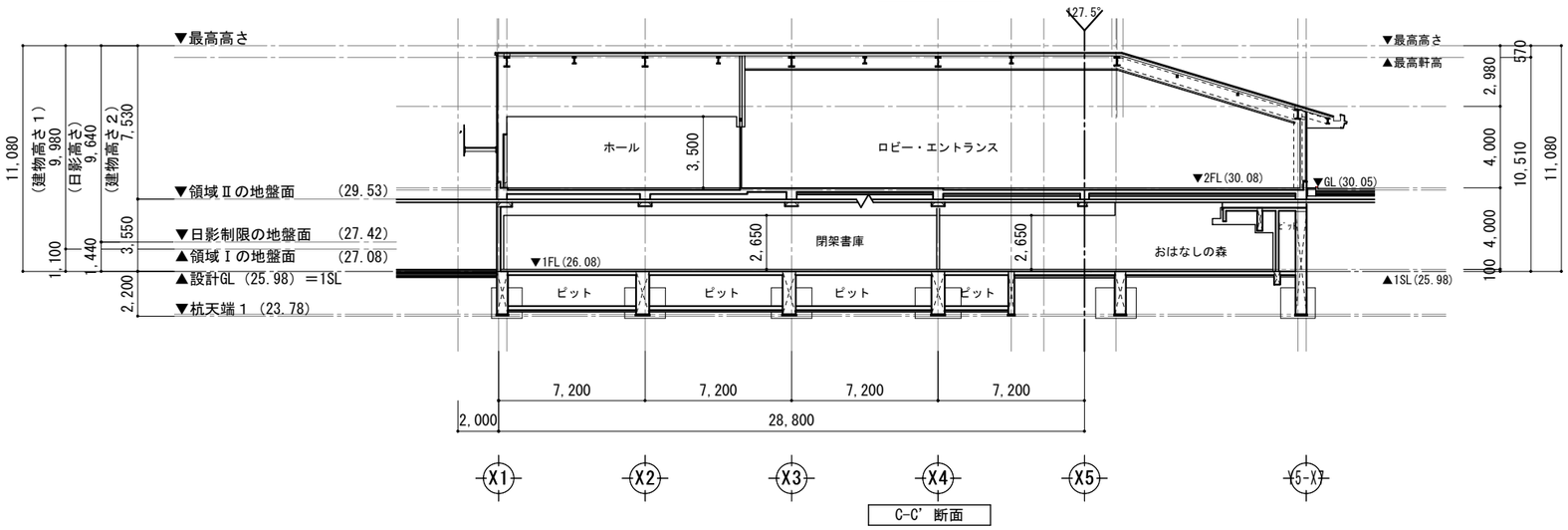
A-A' 断面



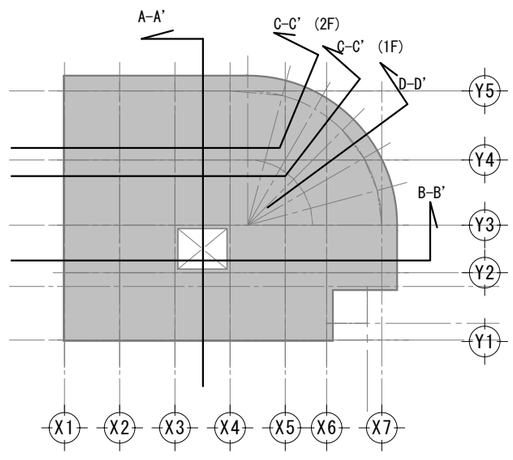
B-B' 断面



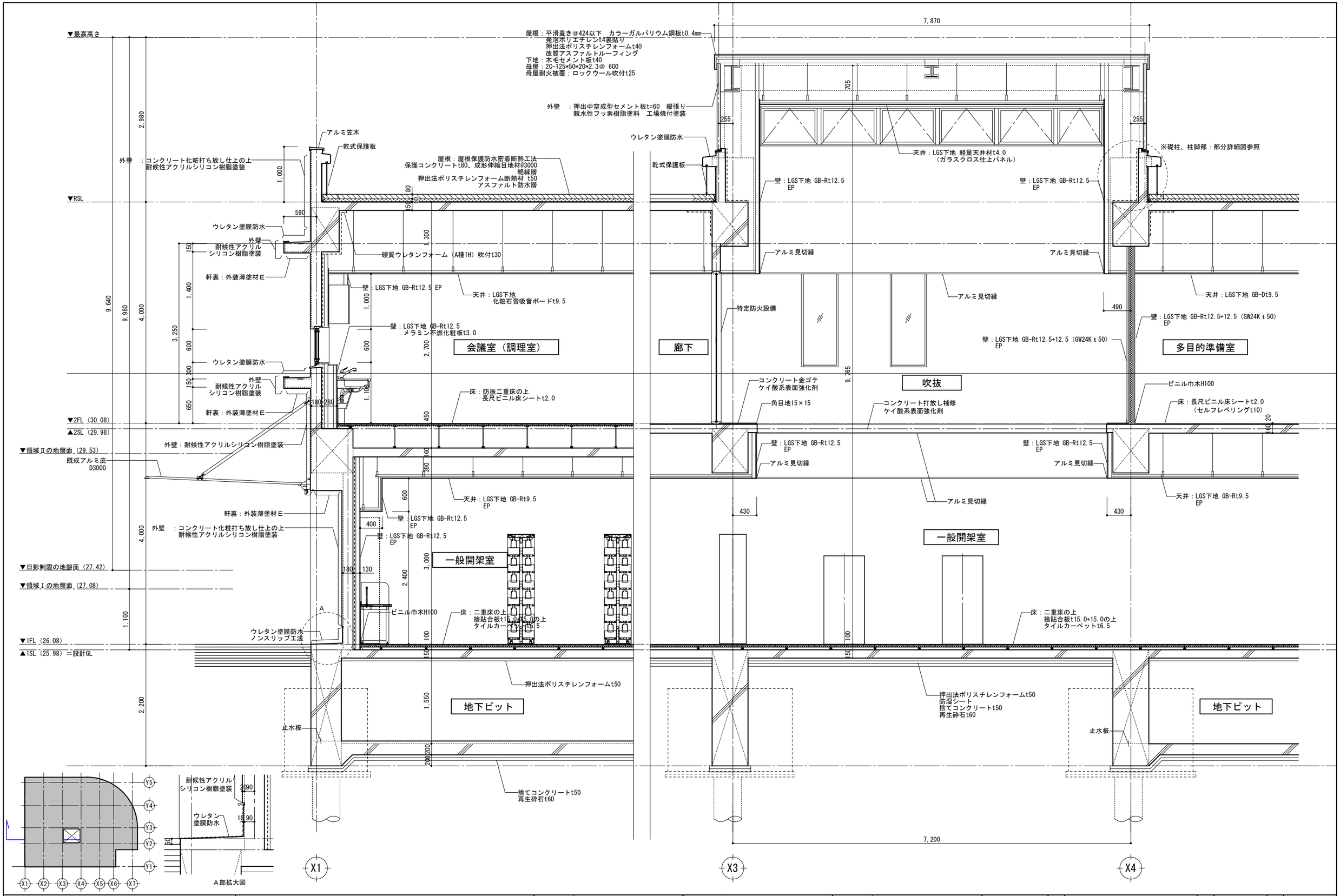
D-D' 断面



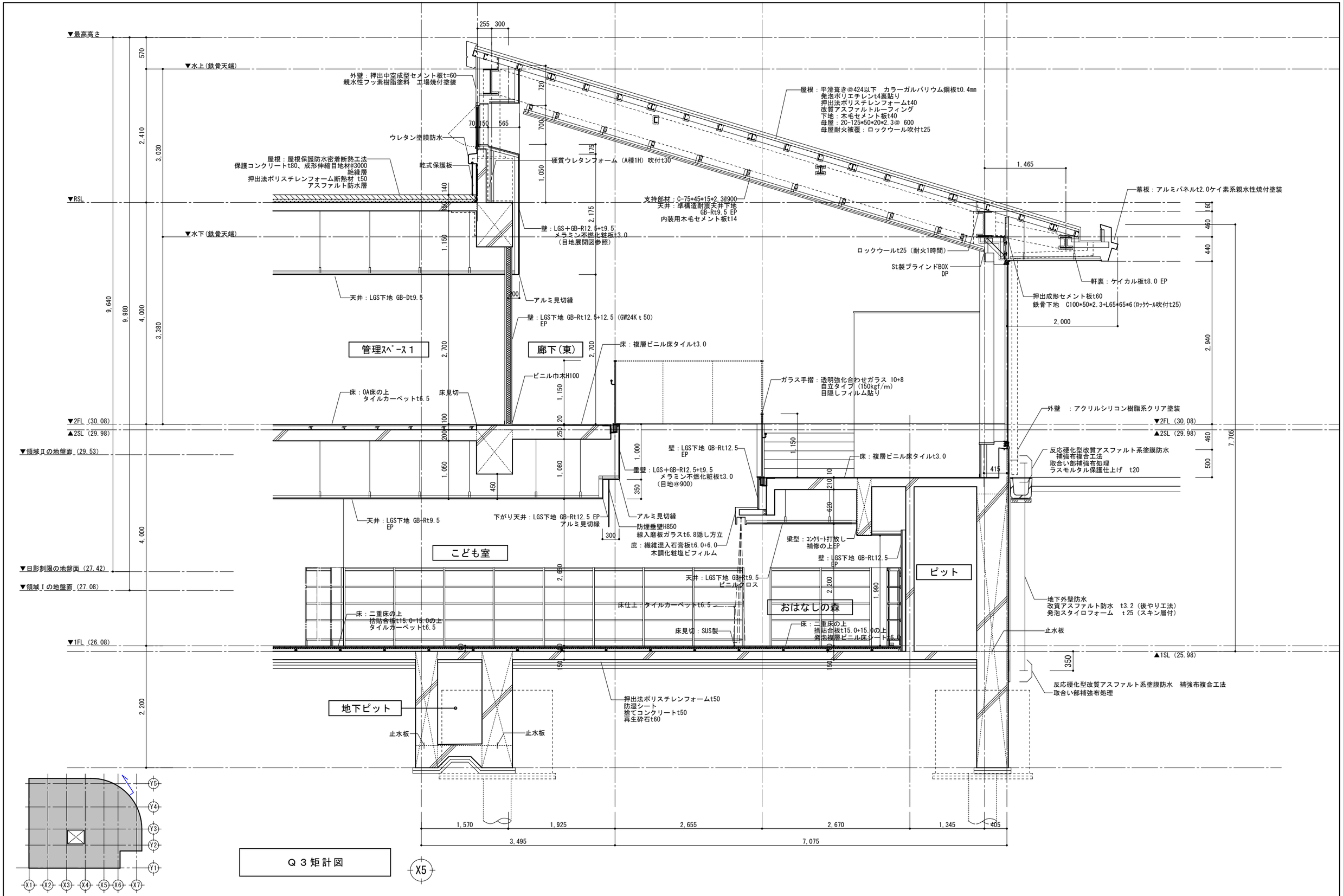
C-C' 断面



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	断面図	縮尺	1：300	図面番号	A－ 023



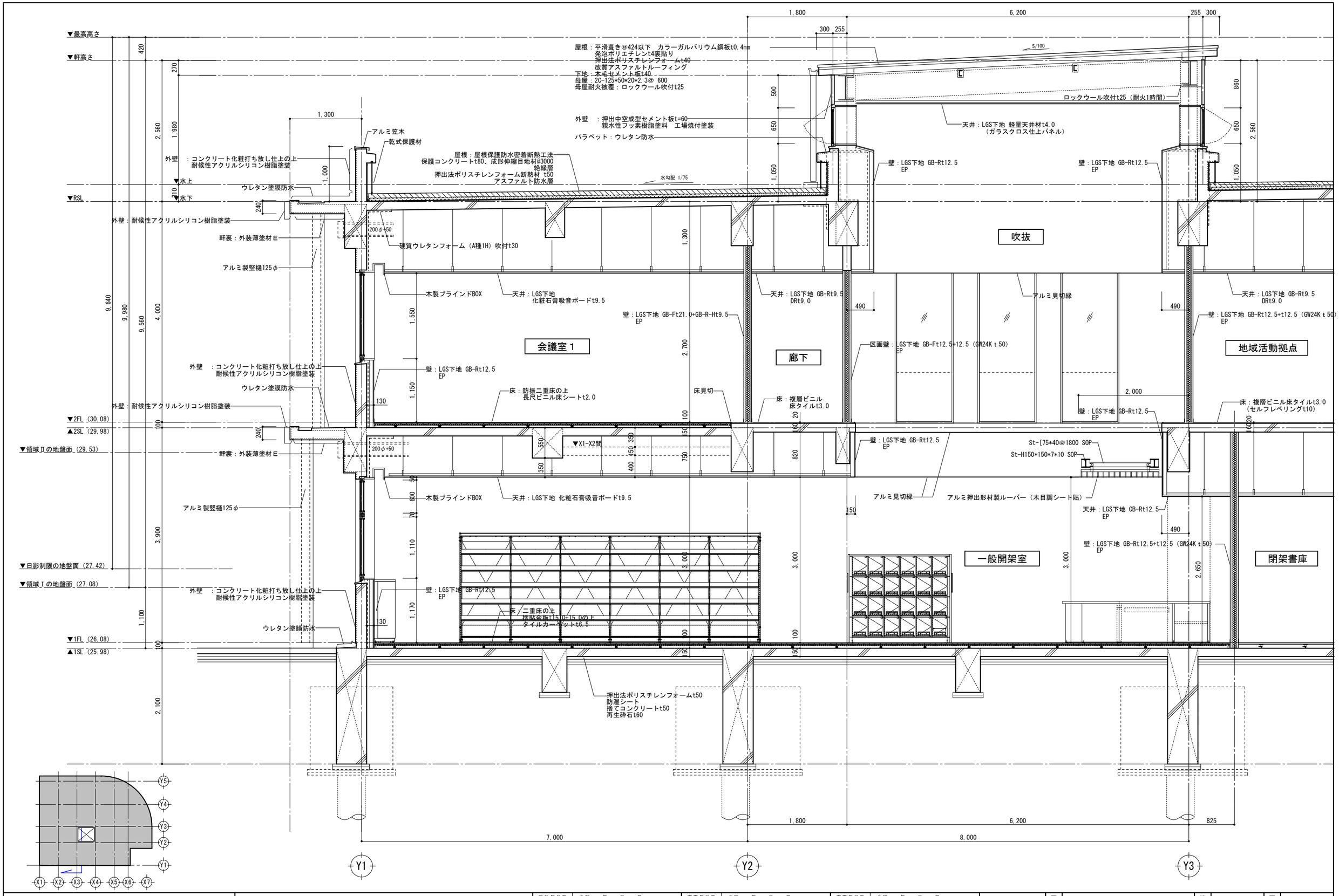
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	図面名	矩計図－1	縮尺 1：60	図面番号 A－024
			特記事項	特記事項	特記事項				



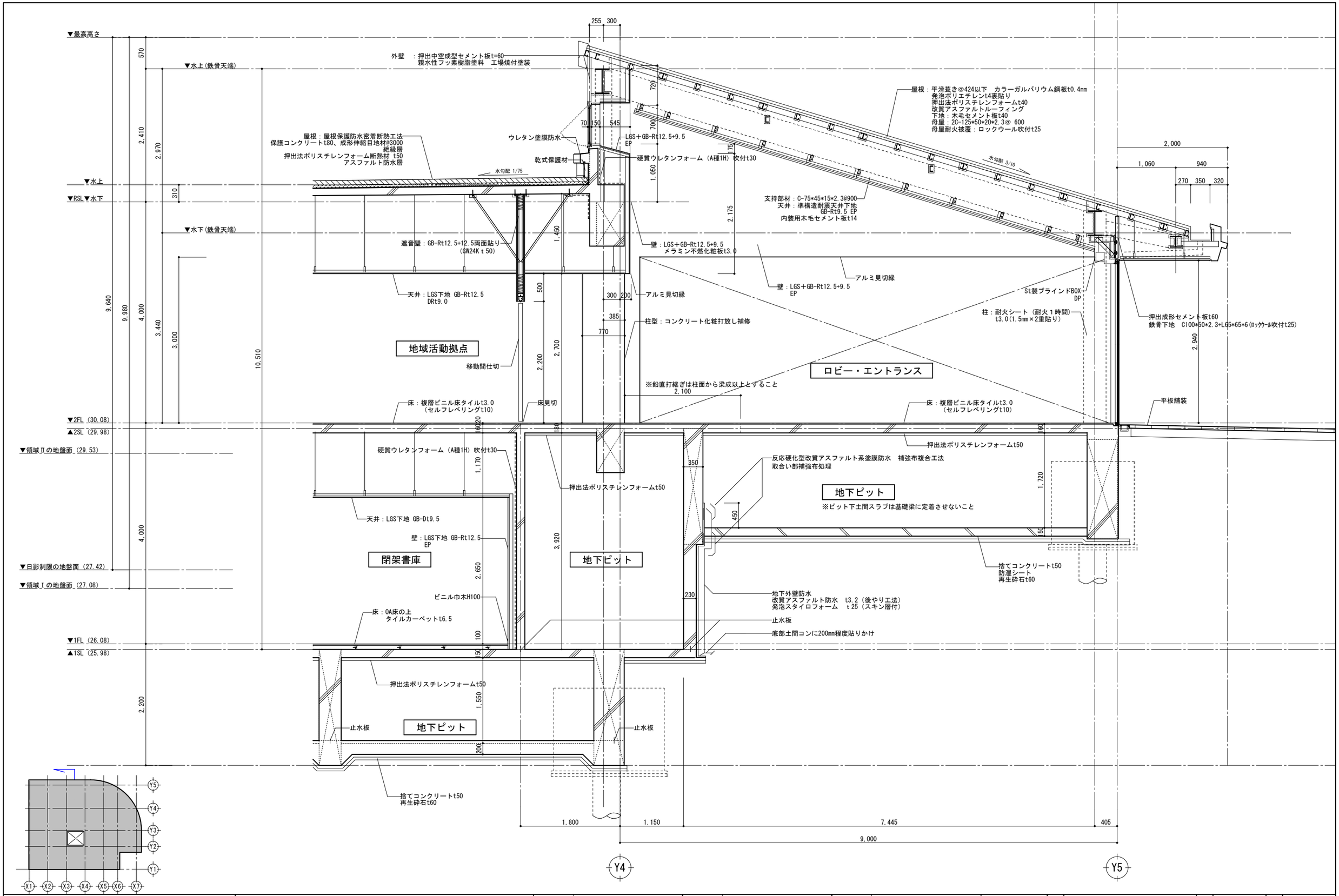
Q３矩計図

X5

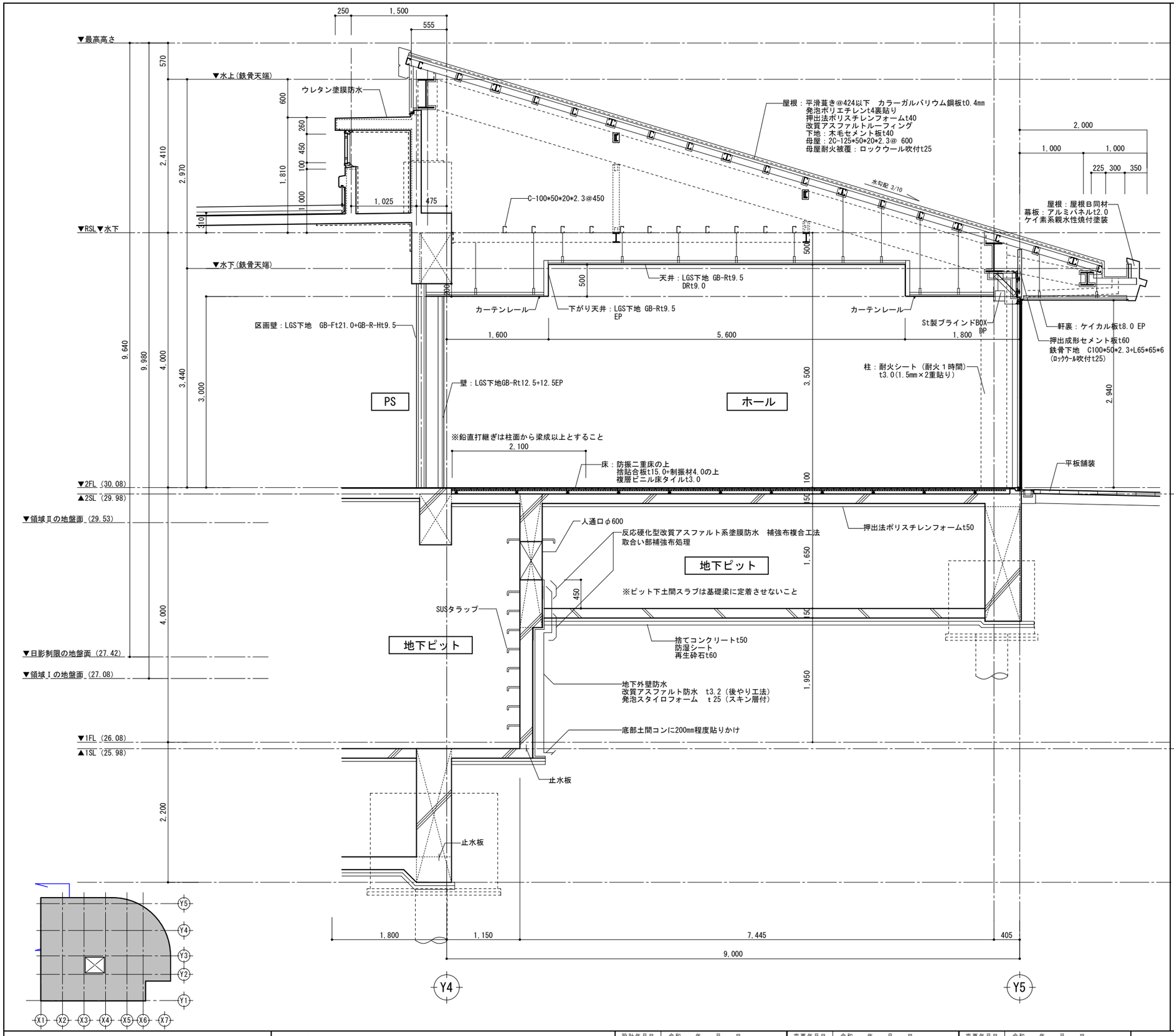
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	矩計図－２	縮尺	1：60	図面番号　A－ 025



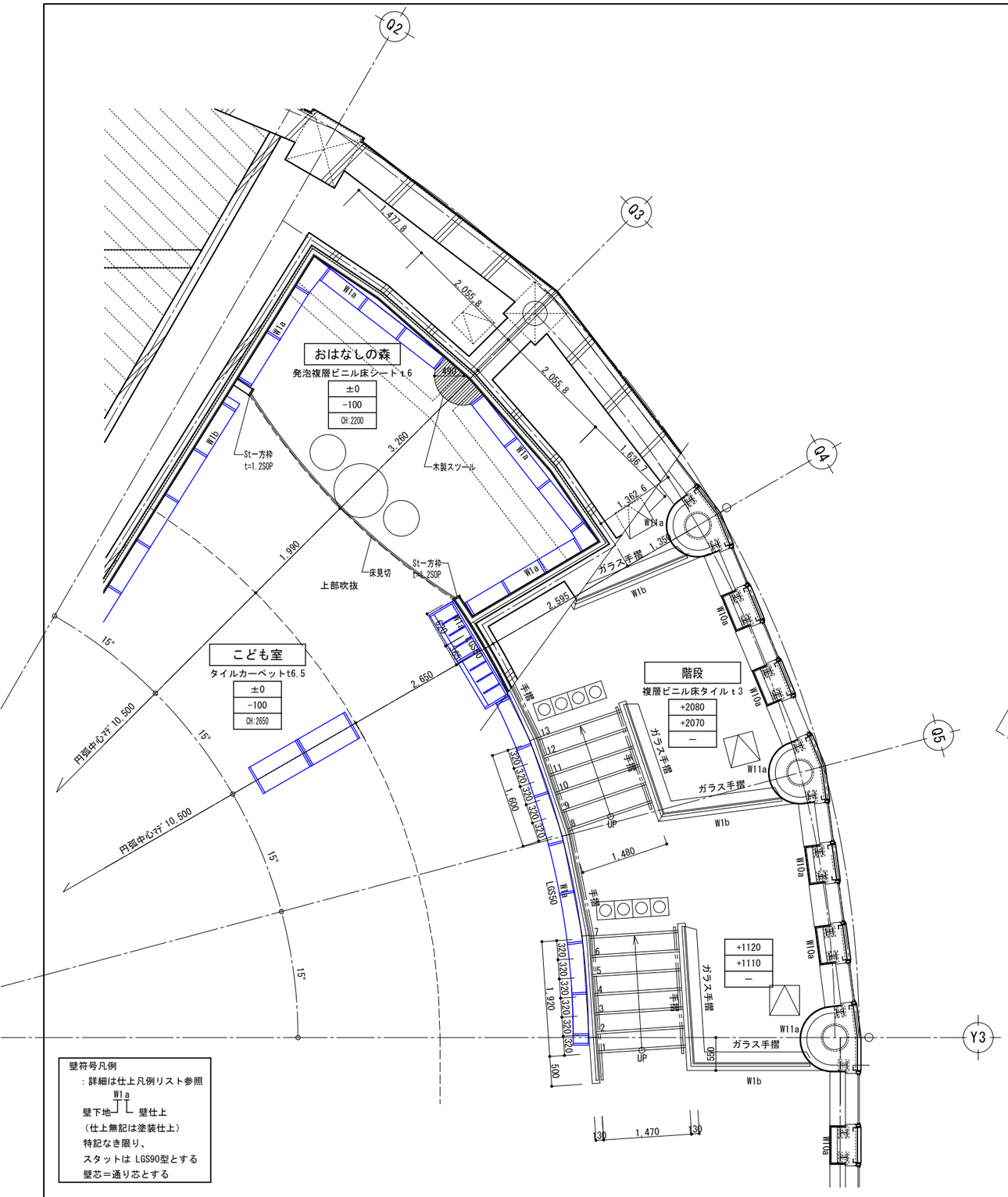
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	矩計図-３	縮尺 1：60	図面番号 A－026



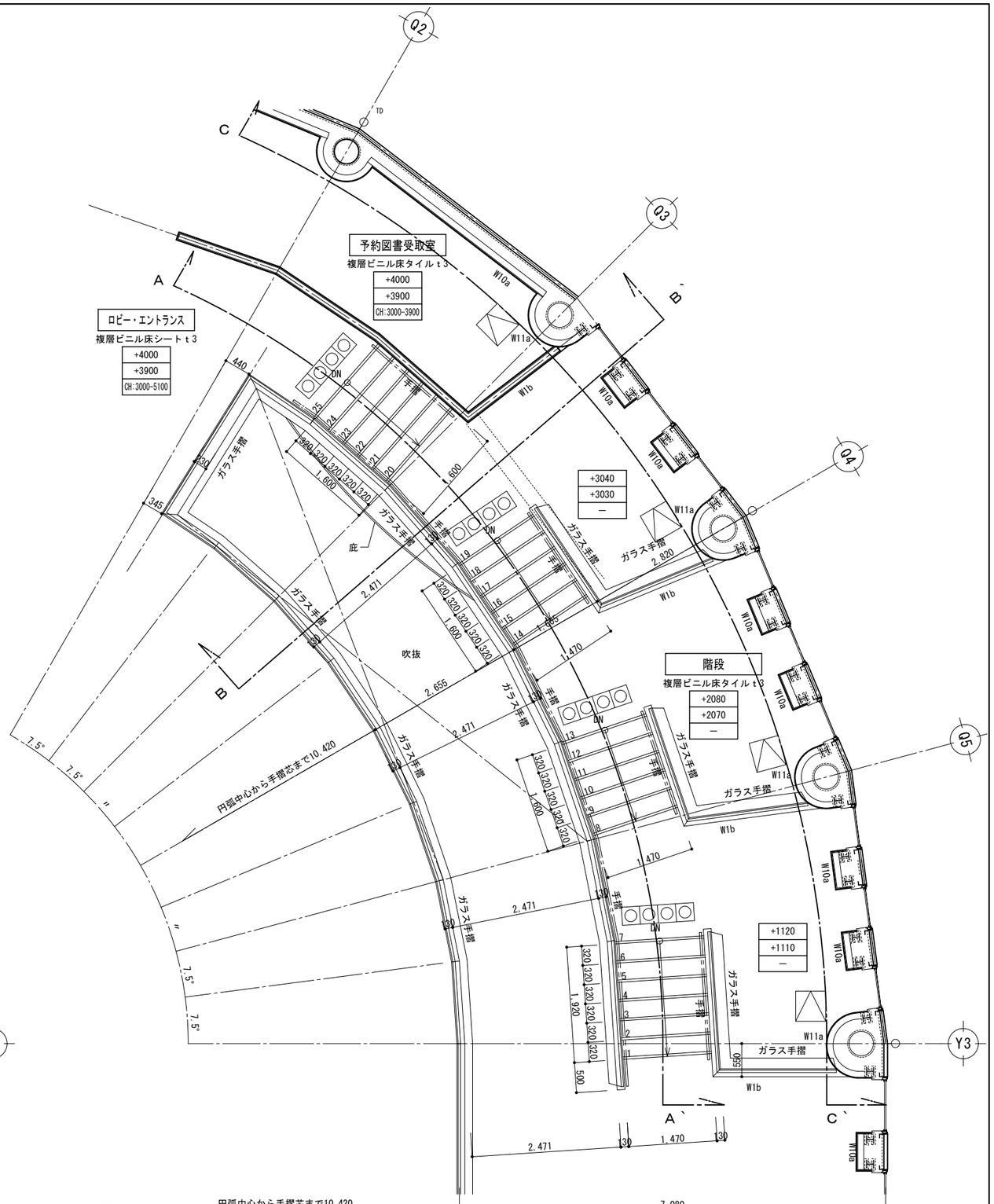
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	矩計図-4	縮尺	1：60	図面番号	A－ 027
			特記事項	特記事項	特記事項						



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名	矩計図-5	縮尺	1：60	図面番号	A－ 028
		特記事項	特記事項	特記事項						



1階平面詳細図



2階平面詳細図

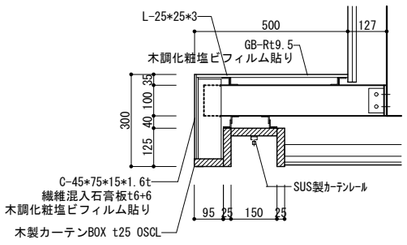
壁符号凡例
: 詳細は仕上凡例リスト参照
W1a
壁下地 壁仕上
(仕上無記は塗装仕上)
特記なき限り、
スタットは LGS90型とする
壁芯＝通り芯とする

±0	←床レベル（±0＝1FL）
-100	←下地レベル
CH:3000	←天井高さ

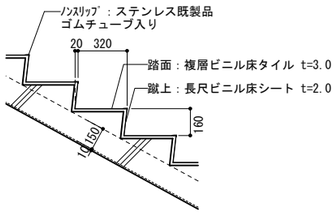
誘導ブロック（点状）

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	屋内階段詳細図-1	縮尺	1：80	図面番号	A－029
			特記事項		特記事項		特記事項							

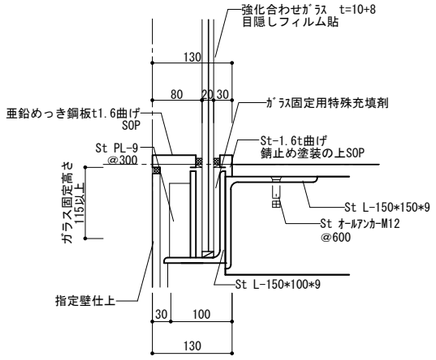
庇Ｂ部分詳細図　S=1/20



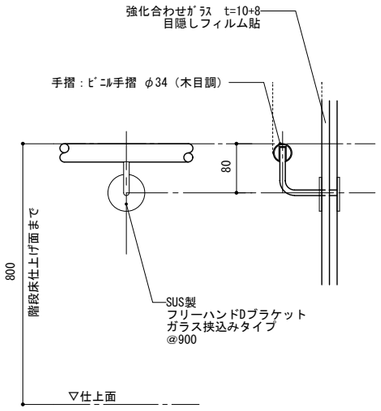
ＲＣ段部詳細図　S=1/40



ガラス手摺Ａ部詳細図　S=1/10

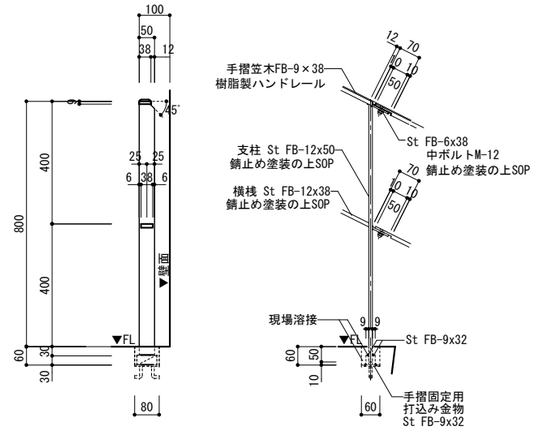


ガラス部ブラケット手摺詳細図　S=1/10

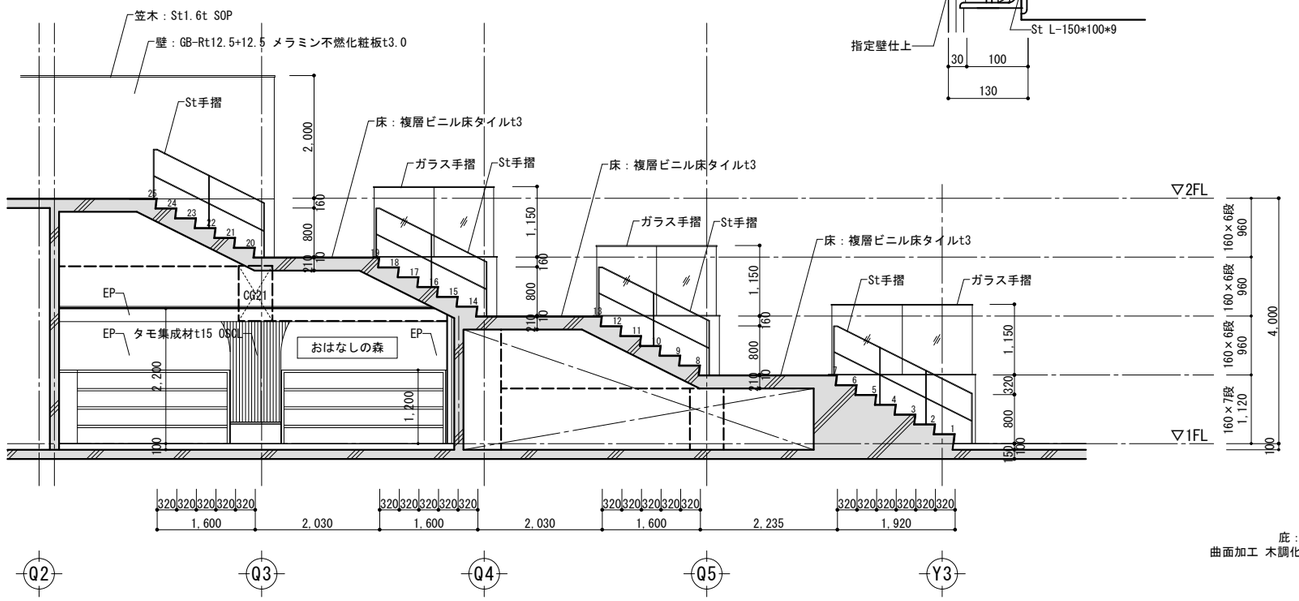


正面図　断面図

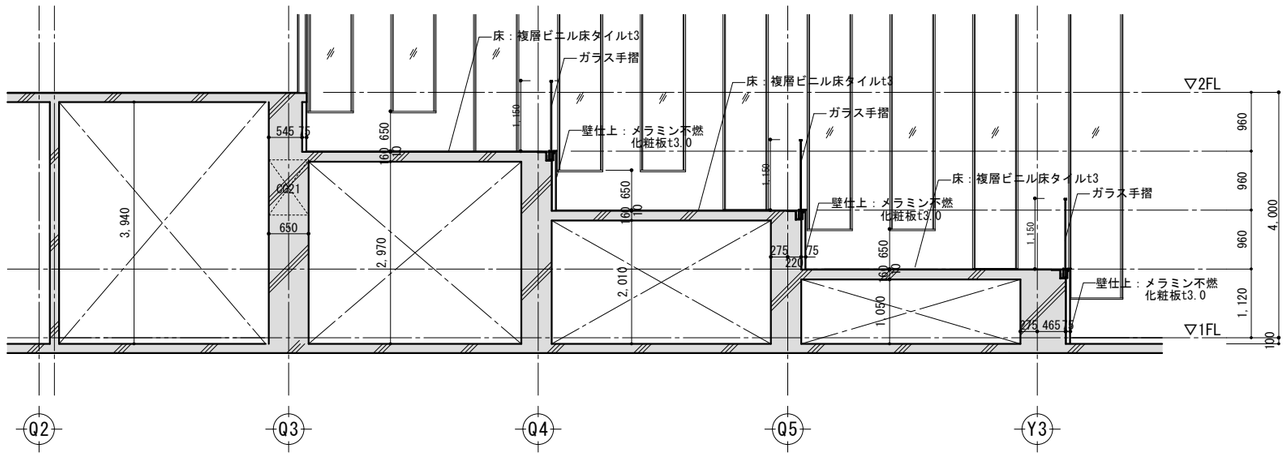
スチール自立手摺詳細図　S=1/20



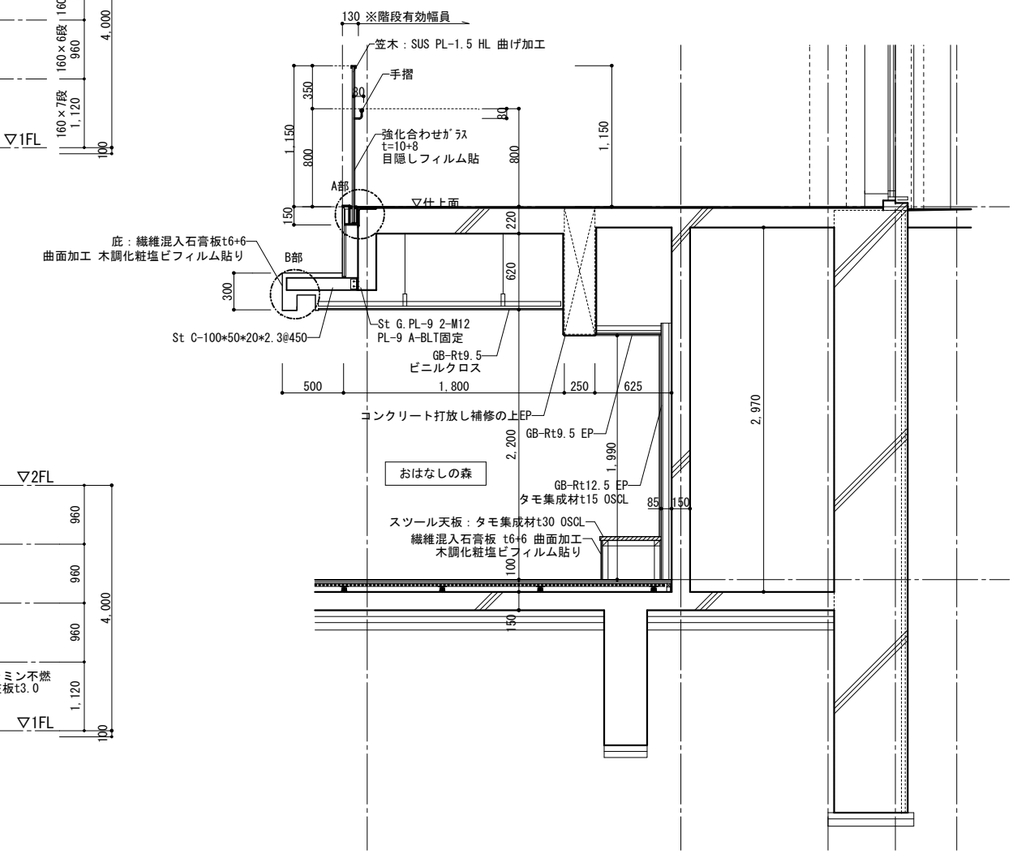
正面図　断面図



Ａ－Ａ`断面図　1/100

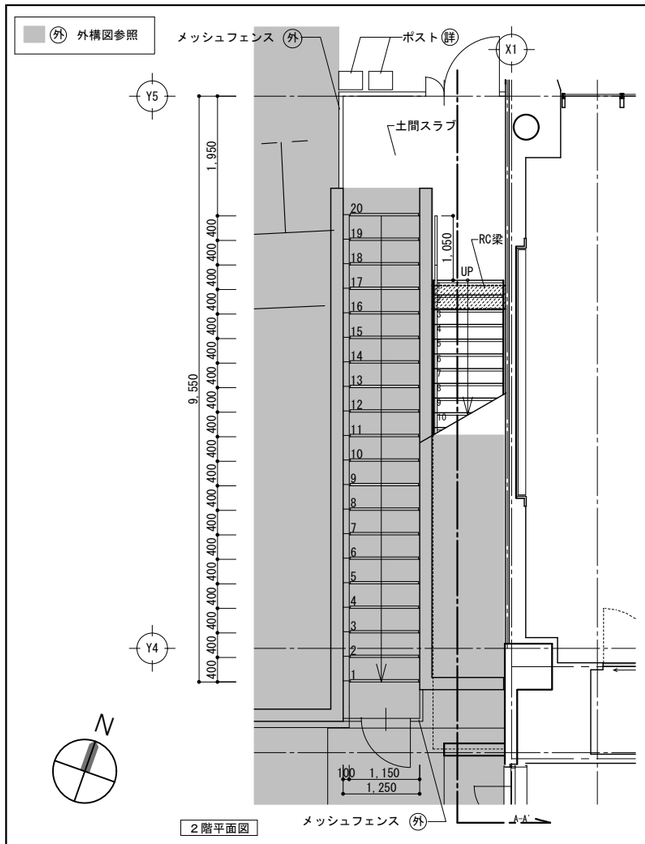


Ｃ－Ｃ`断面図　1/100

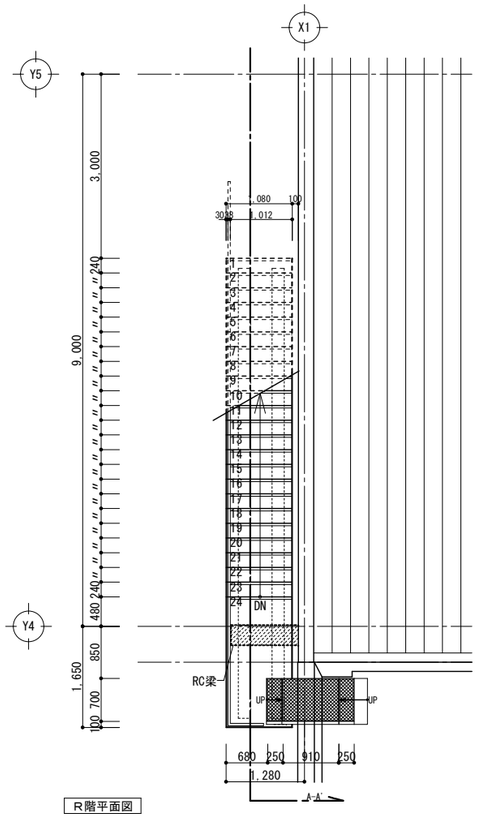


Ｂ－Ｂ`断面図　1/50

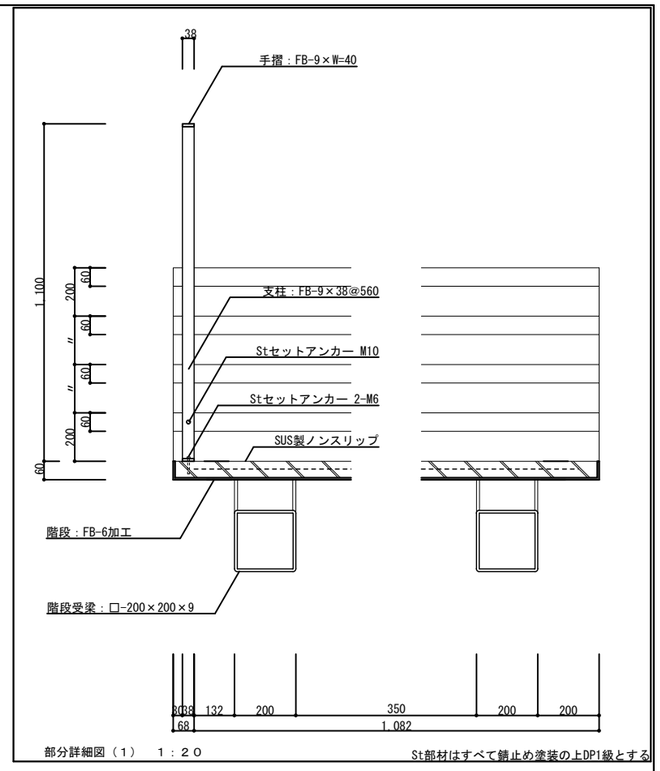
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	屋内階段詳細図-２	縮尺　図示	図面番号　Ａ－ 030



２階平面図

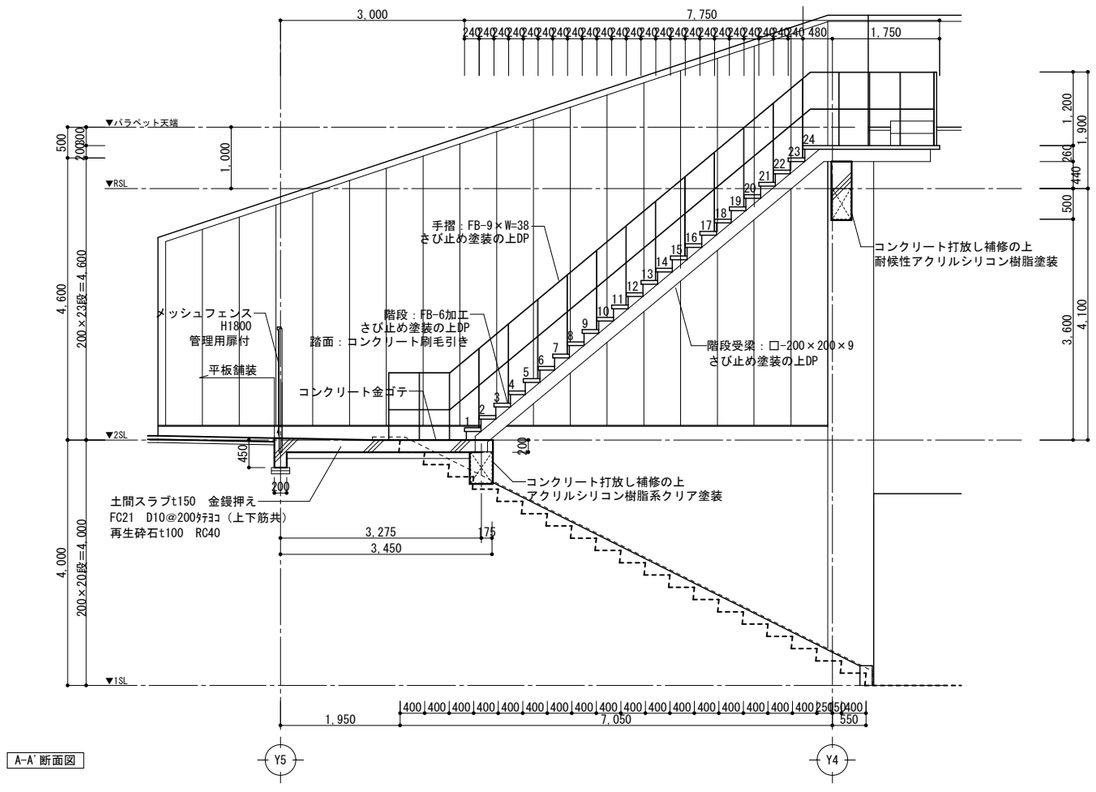


R階平面図

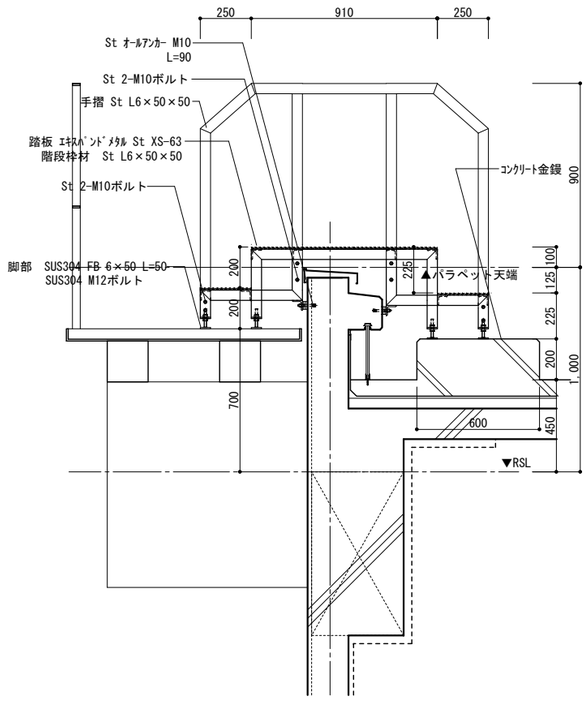


部分詳細図（１）　１：２０

St部材はすべて錆止め塗装の上DP1級とする

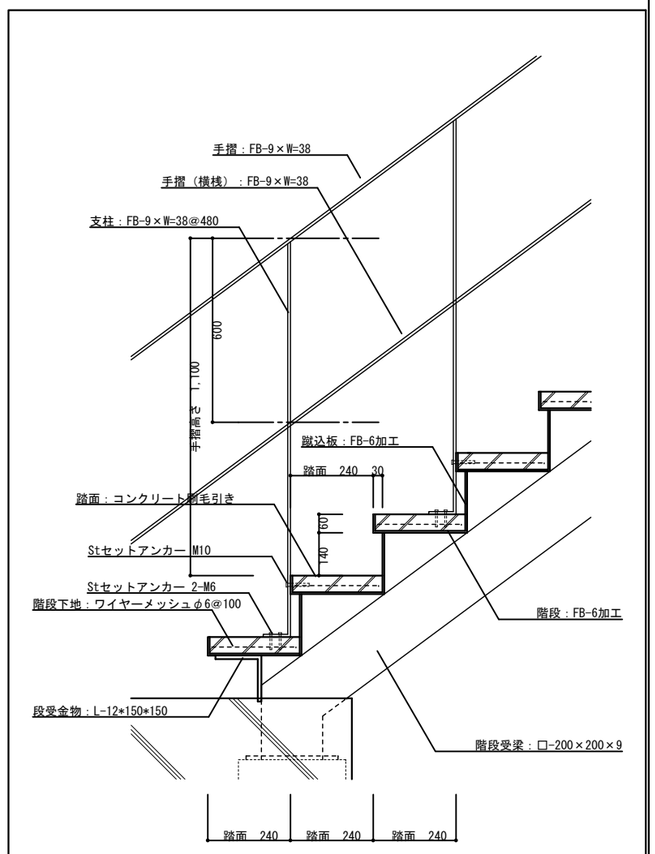


A-A'断面図



パラペット部断面図　１：３０

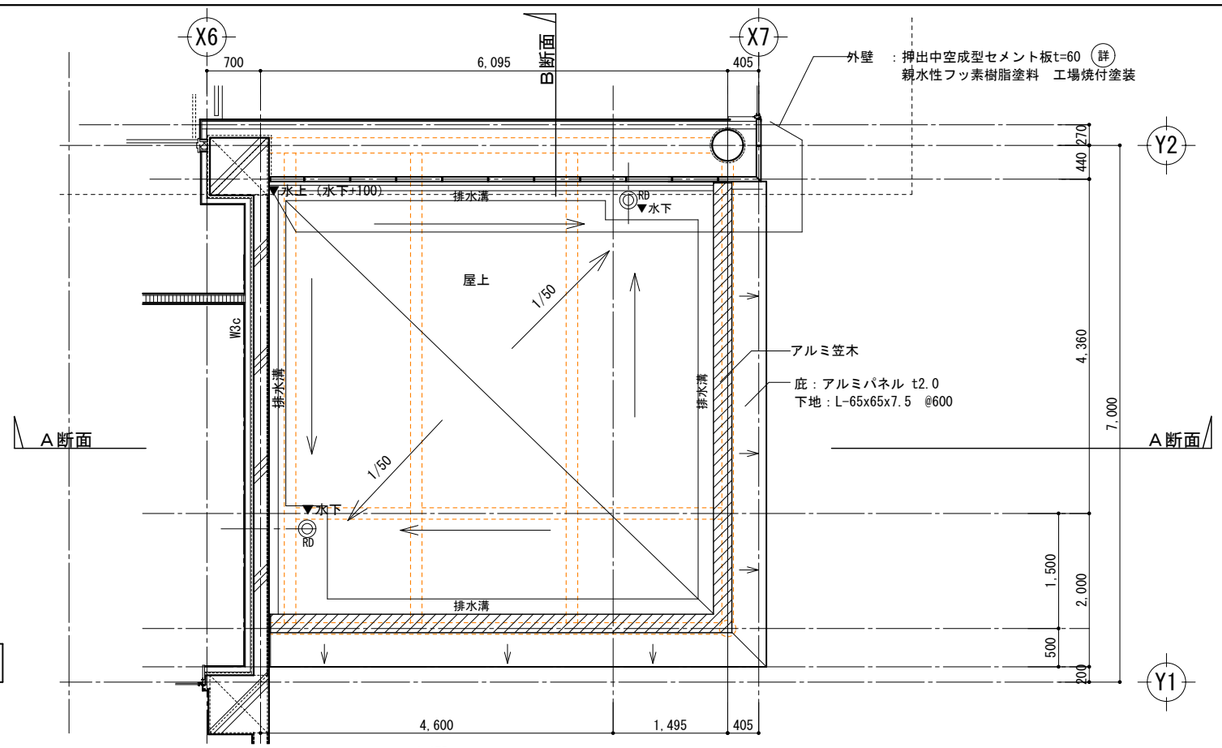
St部材はすべて錆止め塗装の上DP1級とする



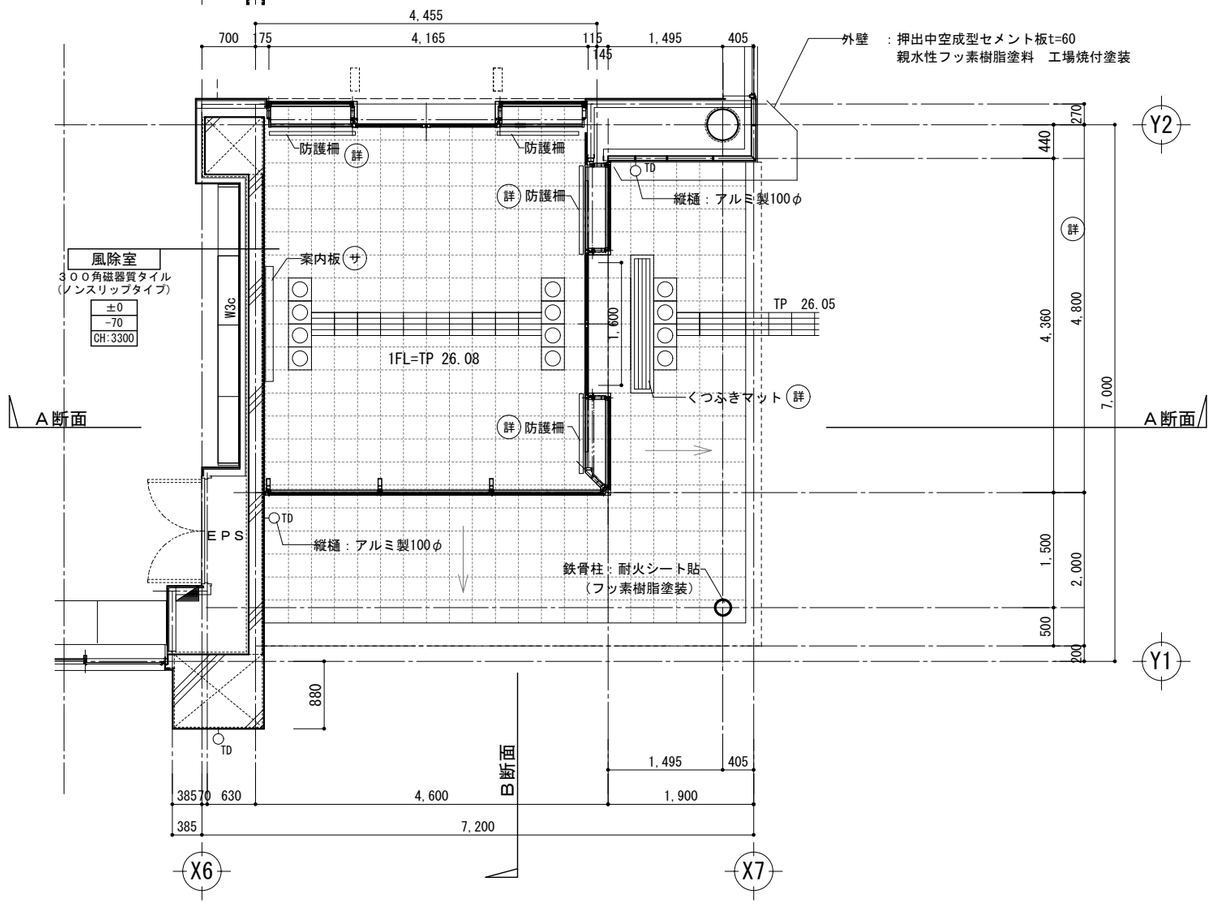
部分詳細図（２）　１：２０

St部材はすべて錆止め塗装の上DP1級とする

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	屋外階段詳細図	縮尺 1：100	図面番号 A－031

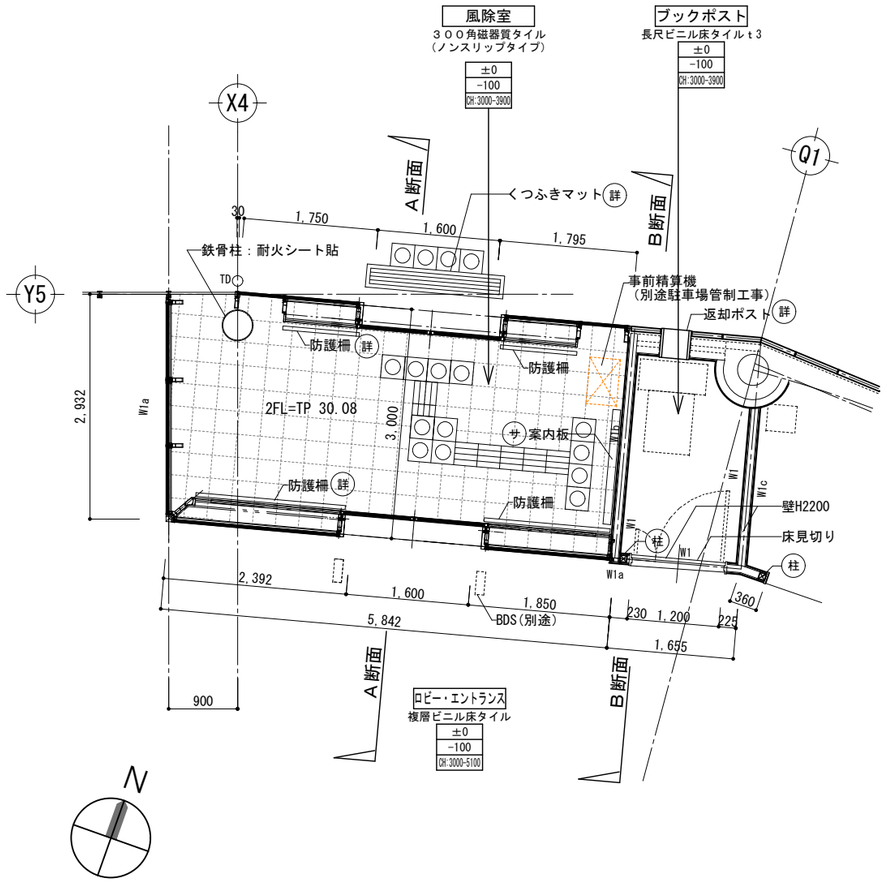


1階風除室屋根伏図



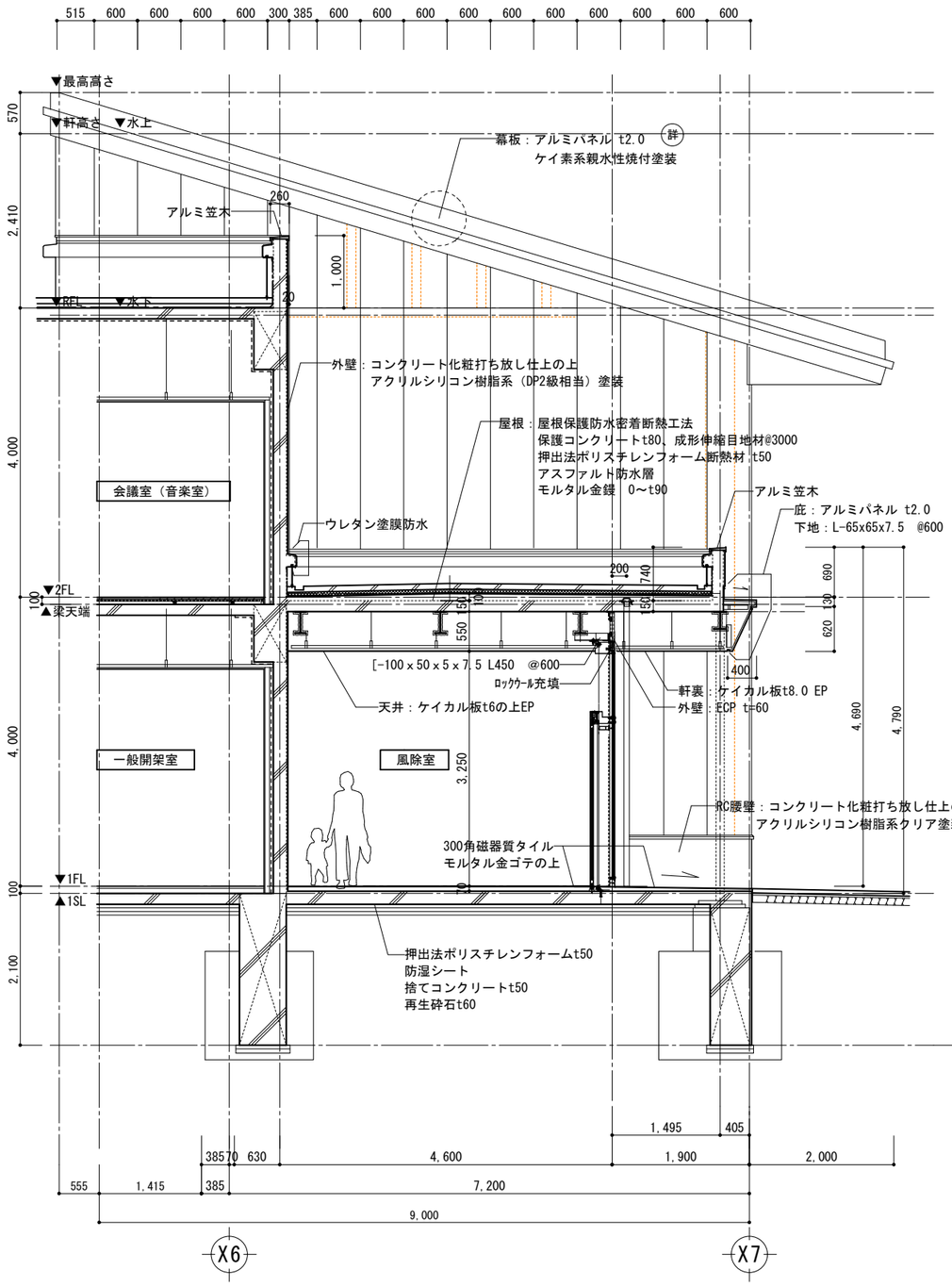
1階風除室詳細図

詳	【部分詳細図参照】
サ	【サイン工事参照】
柱	□-90x90x3.2 H2100 支柱金物共
○	視覚障がい者用床タイル 位置表示型
▤	視覚障がい者用床タイル 誘導表示型

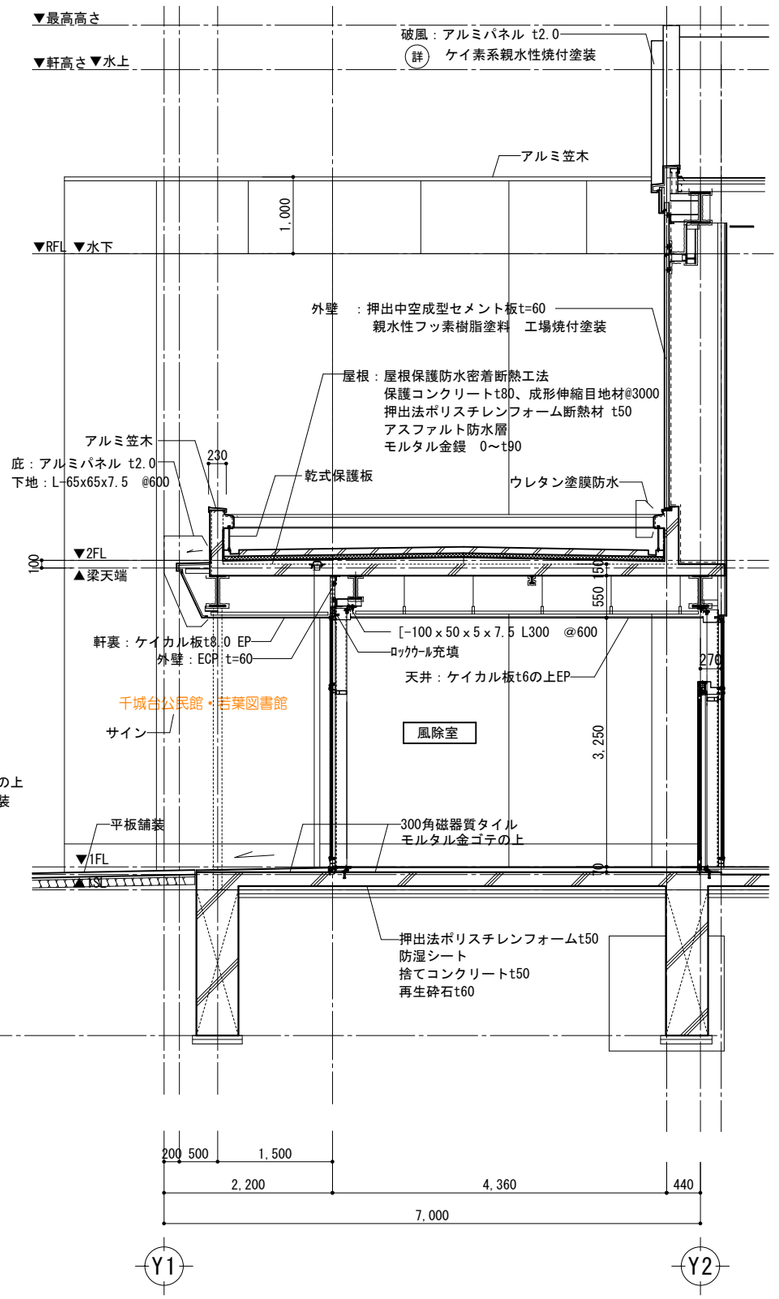


2F風除室詳細図

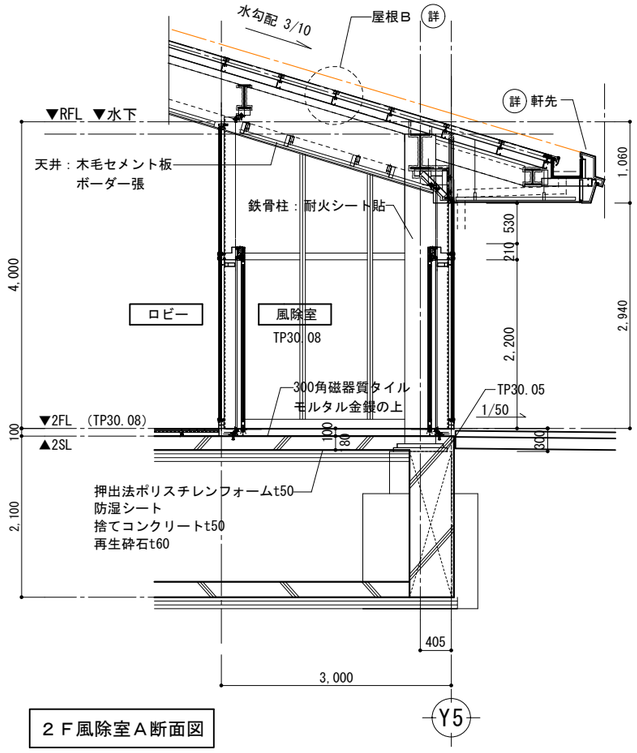
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	風除室詳細図-1	縮尺	1：80	図面番号 A－ 032



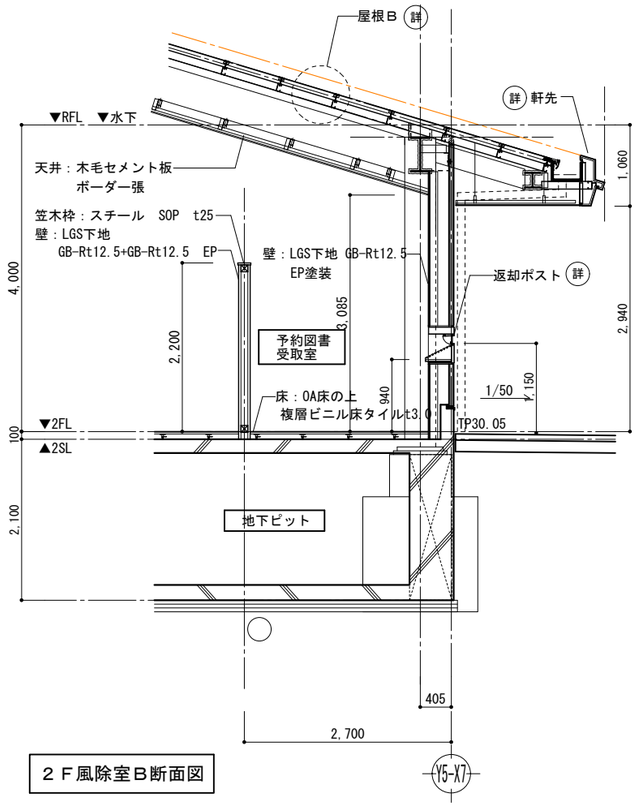
１Ｆ風除室Ａ断面図



１Ｆ風除室Ｂ断面図

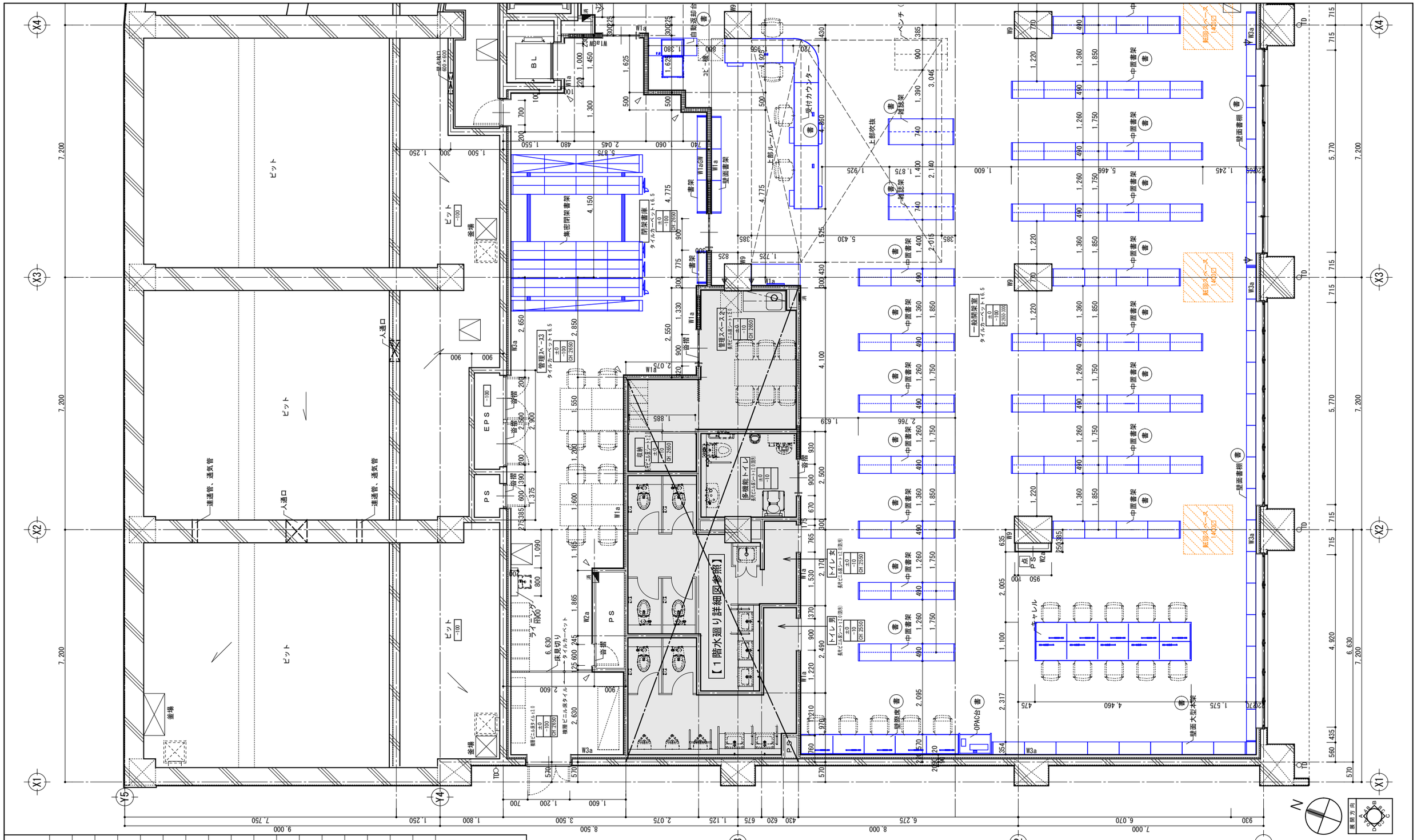


２Ｆ風除室Ａ断面図



２Ｆ風除室Ｂ断面図

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	風除室詳細図-2	縮尺 1：80	図面番号 A－ 033



	埋込型消火器BOX（スチール製）（歩行距離20m以内に設置）
	壁内ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填 t=50 24kg品
	壁内ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填 t=50+50 24kg品
	目地（ハット型）
……	備品
TD	竪樋 アルミφ125
RD	ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ縦型
RD横	ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ横引型
	排煙ｶﾞﾗﾘｰ
家	造作家具【家具図参照】
書	造作書架【書架図参照】
詳	【部分詳細図参照】
柱	□-90x90x3.2 H2100 支柱金物共
	点字ブロック 点状ブロック
	点字ブロック 線状ブロック
	コーナーガード（樹脂製）
点	450□点検口 樹脂製
点	300□点検口 アルミ製

壁符号凡例
：詳細は仕上凡例リスト参照
W1a
壁下地 └ 壁仕上
（仕上無記はRC化粧打放）
特記なき限り、
スタットは LGS90型とする
壁芯＝通り芯とする

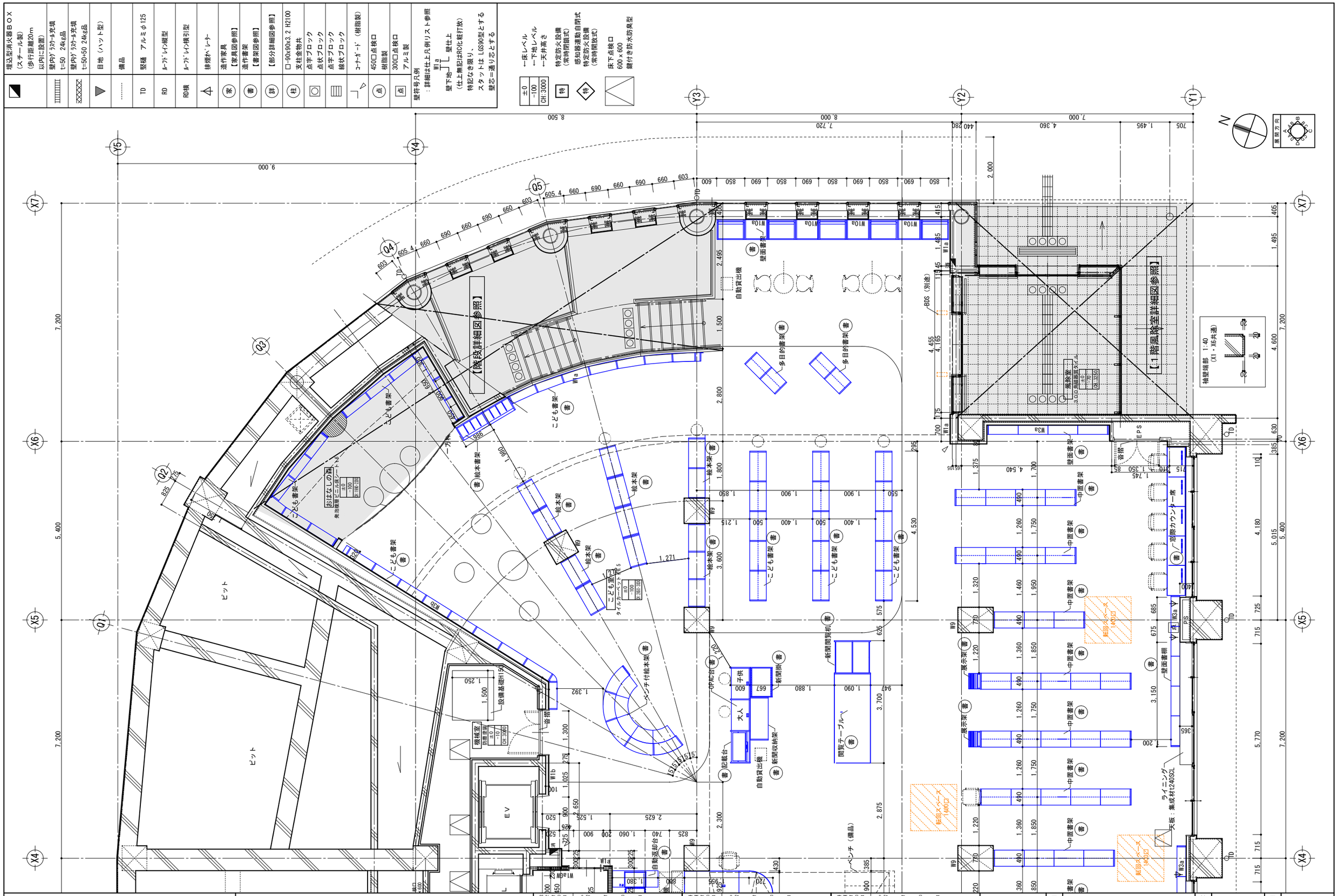
±0 / -100 / CH:3000 ←床レベル ←下地レベル ←天井高さ

特 特定防火設備（常時閉鎖式）

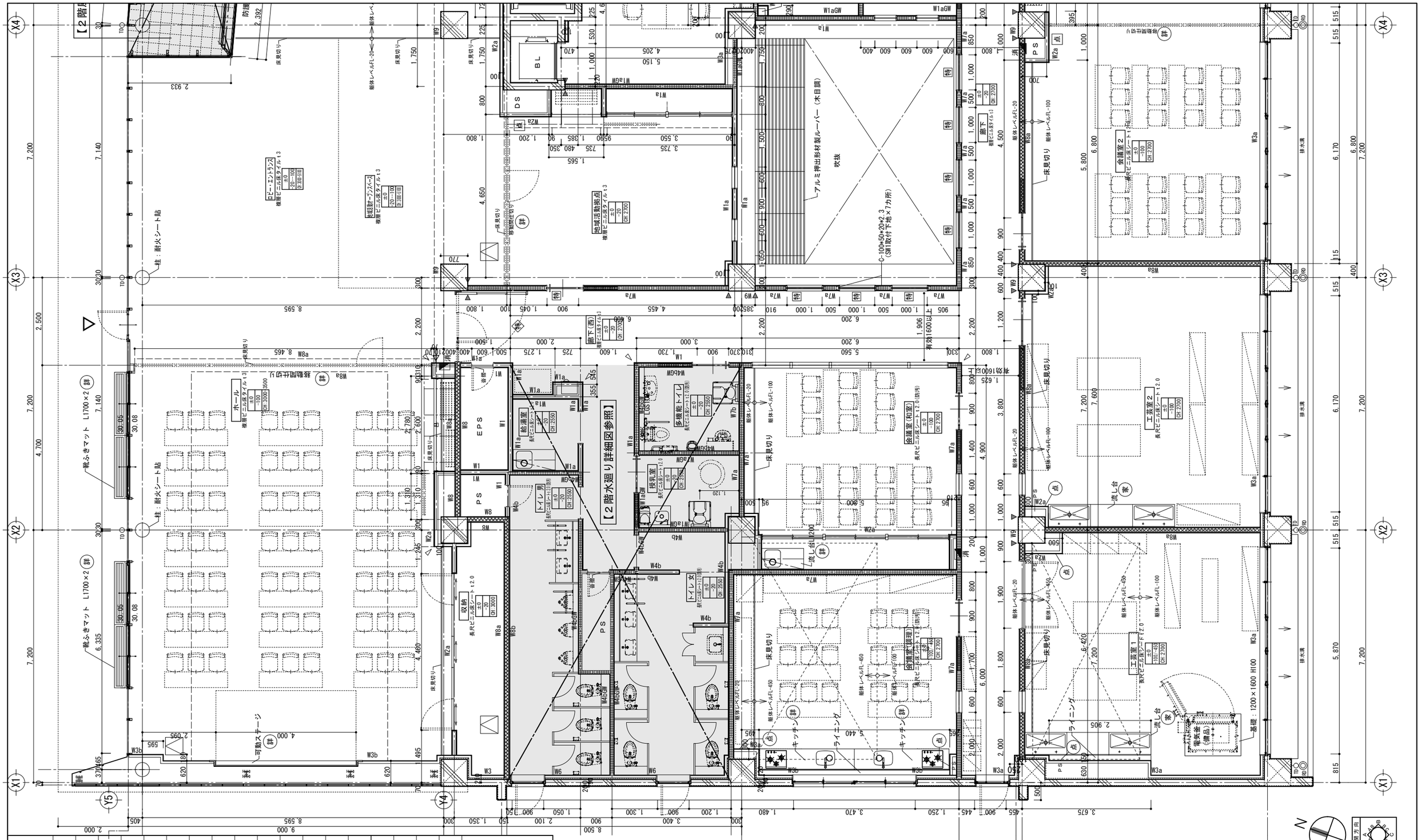
特 感知器連動自閉式特定防火設備（常時開放式）

床下点検口 600×600 鍵付き防水防臭型

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	1階平面詳細図－1	縮尺	1：100	建築図号	A－034



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 / 変更年月日 令和 年 月 日 / 変更年月日 令和 年 月 日	図面名 1階平面詳細図－2 / 縮尺 1：100 / 図番 A－035



埋込型消火器BOX (スチール製) (歩行距離20m以内に設置)	
壁内ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填 t=50 24kg品	
壁内ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填 t=50+50 24kg品	
目地(ハット型)	
備品	
TD	竪樋 アルミφ125
RD	ﾙｰﾌﾞﾚｲﾝ縦型
RD横	ﾙｰﾌﾞﾚｲﾝ横引型
排煙ｽﾍﾟｰﾚｰﾀｰ	
家	造作家具【家具図参照】
書	造作書架【書架図参照】
詳	【部分詳細図参照】
柱	□-90x90x3.2 H2100 支柱金物共
	点字ブロック 点状ブロック
	点字ブロック 線状ブロック
	コーナーガード(樹脂製)
点	450□点検口 樹脂製
点	300□点検口 アルミ製

壁符号凡例
・詳細は仕上凡例リスト参照
W1a
壁下地 壁仕上
(仕上無記はRC化粧打放)
特記なき限り、
スタットは LGS90型とする
壁芯=通り芯とする

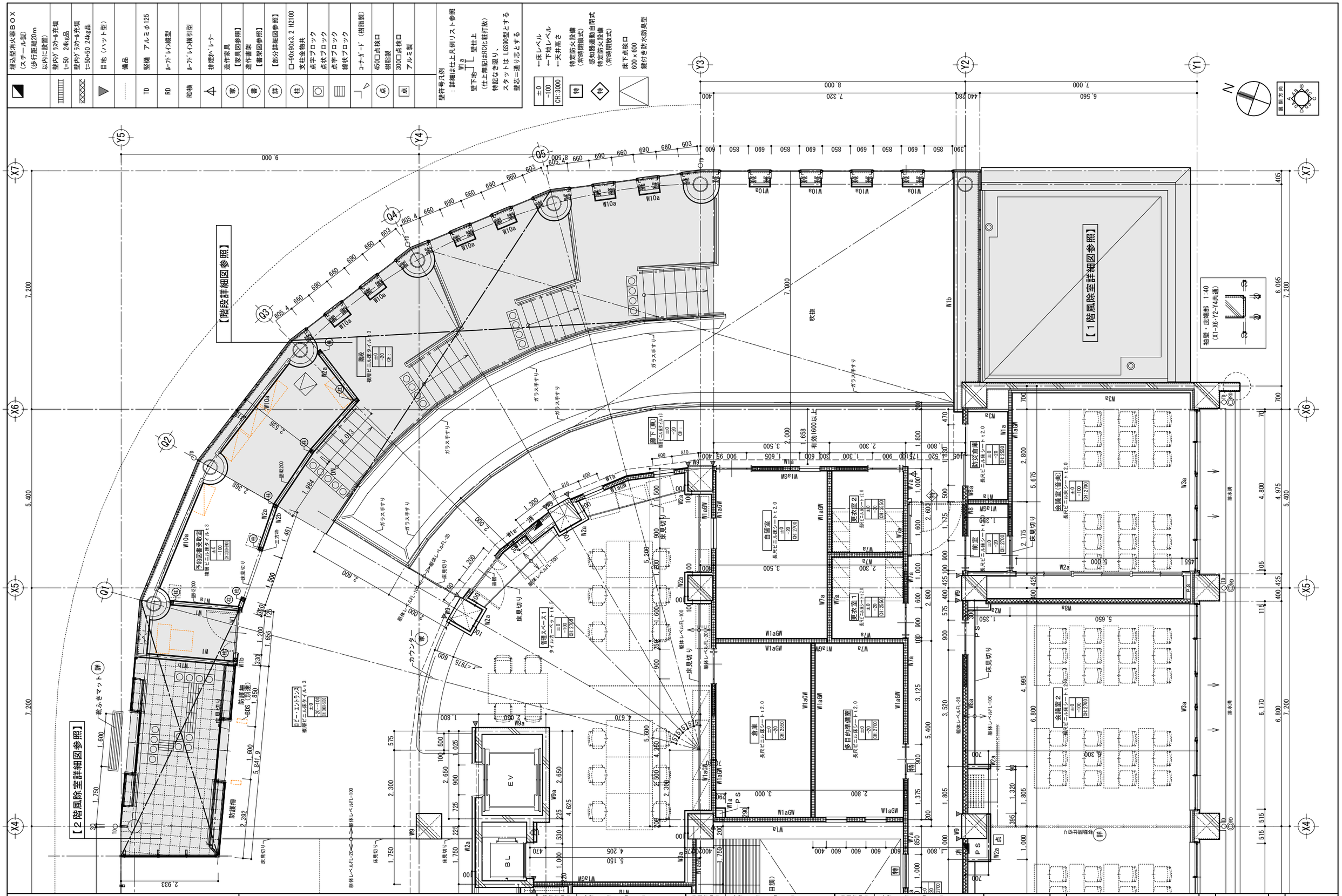
±0 -100 CH:3000 ←床レベル ←下地レベル ←天井高さ

特 特定防火設備(常時閉鎖式)

特 感知器連動自閉式 特定防火設備(常時開放式)

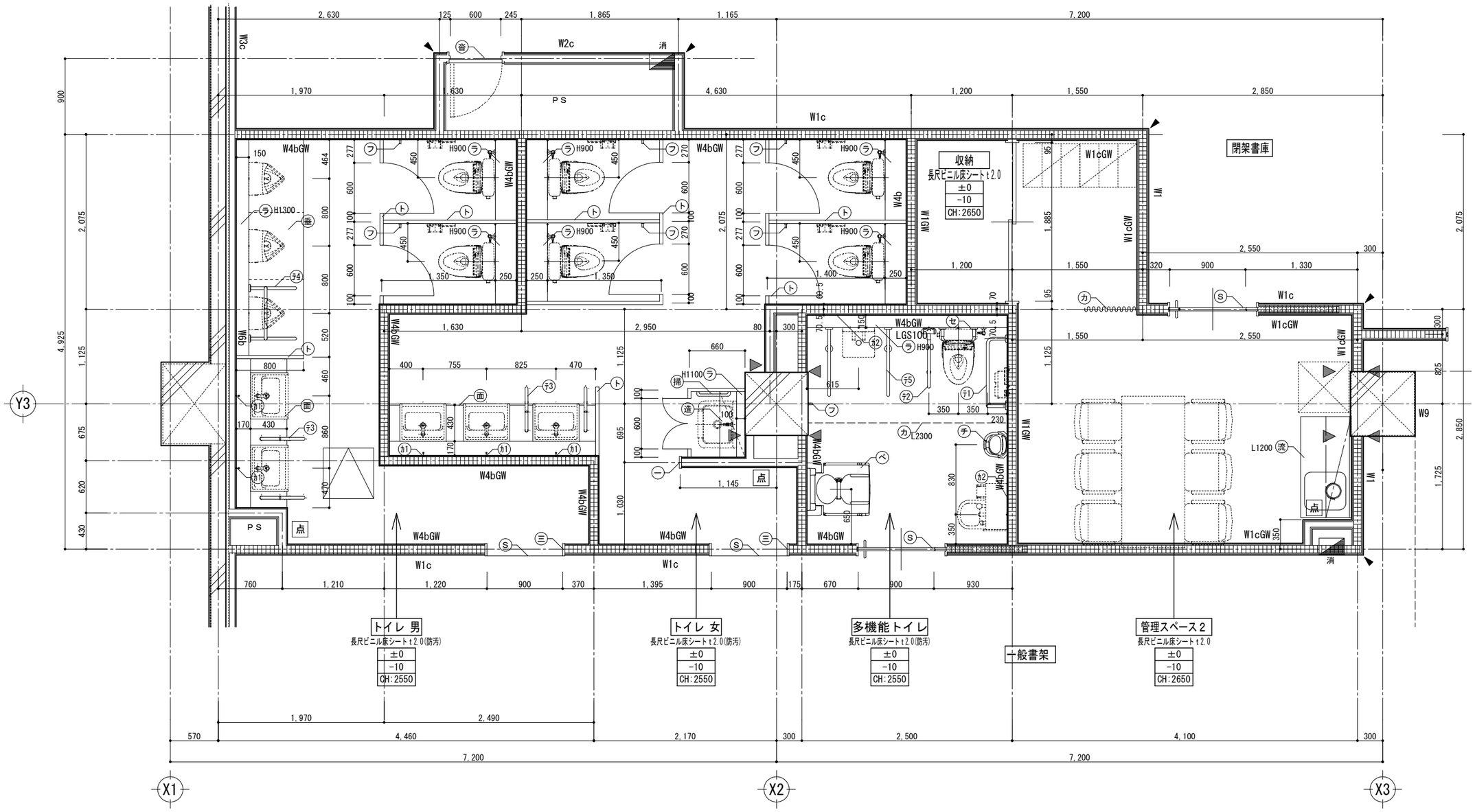
床下点検口 600×600 鍵付き防火防臭型

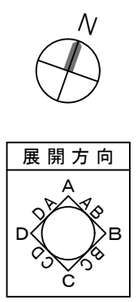
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	(仮称)千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図名	2階平面詳細図－1	縮尺	1:100	当部図	A－036
			特記事項		特記事項		特記事項							



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名 2階平面詳細図－2
		特記事項	特記事項	特記事項	縮尺 1：100
					図番号 A－037

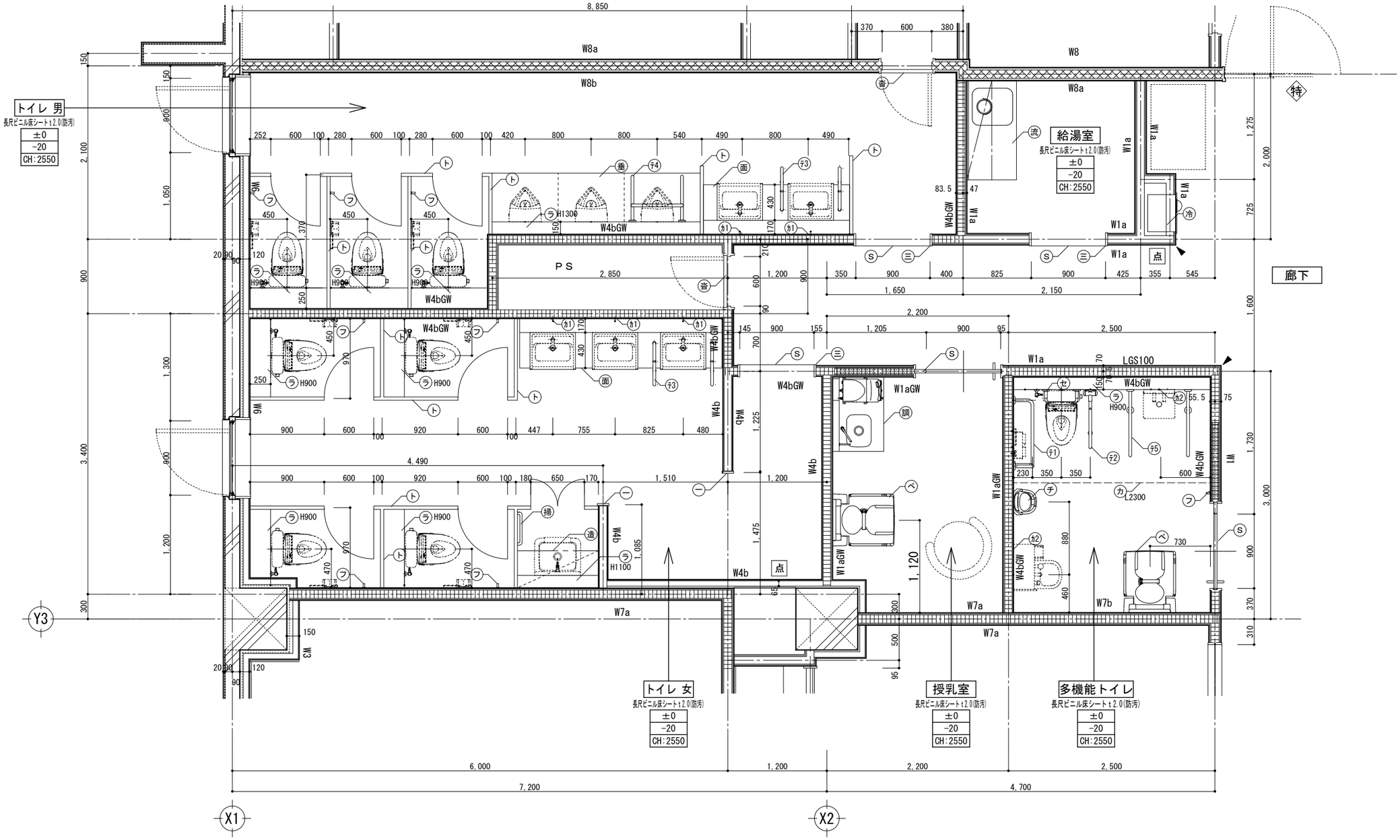
特	特定防火設備　（常時閉鎖式）	消	埋込型消火器ＢＯＸ　【部分詳細図参照】（歩行距離20m以内に設置）	家	家具　【家具図参照】	チ	ベビーチェア　【部分詳細図参照】	セ	背もたれ（ハードタイプ）
特	感知器連動自閉式　特定防火設備		壁内ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填 t=50　24kg品	吊	吊戸棚 特記なき限りD=450とする。	ベ	ベビーベッド　【部分詳細図参照】	カ	カーテンレール
	床下点検口　600ｘ600　鍵付き防水防臭型		壁内ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填 t=50+50 24kg品	造	造作棚　【部分詳細図参照】	カ1	鏡　（600φ）	S	床見切り　SUS FBt6
	※各PSに点検口設置		コーナーガード（樹脂製）【部分詳細図参照】	ラ	ライニング　【部分詳細図参照】	カ2	鏡　（350x1000）	三	三方枠　スチールt1.6 D25　SOP
壁符号凡例　：詳細は仕上凡例リスト参照（仕上無記は塗装仕上）特記なき限り、スタットは LGS90型とする 壁芯＝通り芯とする　W1a　壁下地　壁仕上			目地（ハット型）	面	洗面カウンター　【部分詳細図参照】	ト	トイレブース　【建具表参照】	一	一方枠　スチールt1.6 D25　SOP
			備品	流	流し台+吊戸　【部分詳細図参照】	ﾃ1	Ｌ型手摺（800ｘ800　D=230）	フ	フック
				調	調乳用シンク　【部分詳細図参照】	ﾃ2	はね上げ手摺（可動式・ロック付）L700	掃	掃除用具掛け　【部分詳細図参照】
±0 ←床レベル				冷	冷水器　【部分詳細図参照】	ﾃ3	洗面台用　手すりL800　【部分詳細図参照】	垂	汚垂石　【部分詳細図参照】
-100 ←下地レベル				カ	カーテンレール（シングル）	ﾃ4	小便器用手すり　【部分詳細図参照】	手	手洗い（既製品）　【設備図参照】
CH:3000 ←天井高さ						ﾃ5	壁掛洗面器用Ｐ型手すり　【部分詳細図参照】	点	点検口　300□　アルミ製



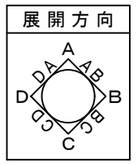


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	1階水回り詳細図	縮尺	1：50	図面番号　A－038

特	特定防火設備　（常時閉鎖式）	消	埋込型消火器ＢＯＸ　【部分詳細図参照】（歩行距離20m以内に設置）	家	家具　【家具図参照】	チ	ベビーチェア　【部分詳細図参照】	セ	背もたれ（ハードタイプ）
特	感知器連動自閉式　特定防火設備		壁内ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填 t=50　24kg品	吊	吊戸棚 特記なき限りD=450とする。	ベ	ベビーベッド　【部分詳細図参照】	カ	カーテンレール
△	床下点検口　600ｘ600　鍵付き防水防臭型		壁内ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填 t=50+50 24kg品	造	造作棚　【部分詳細図参照】	カ1	鏡　（600φ）	S	床見切り　SUS FBt6
	※各PSに点検口設置		コーナーガード（樹脂製）【部分詳細図参照】	ラ	ライニング　【部分詳細図参照】	カ2	鏡　（350x1000）	三	三方枠　スチールt1.6 D25　SOP
壁符号凡例　：詳細は仕上凡例リスト参照（仕上無記は塗装仕上）W1a 壁下地 壁仕上　特記なき限り、スタットは LGS90型とする 壁芯＝通り芯とする			目地（ハット型）	面	洗面カウンター　【部分詳細図参照】	ト	トイレブース　【建具表参照】	一	一方枠　スチールt1.6 D25　SOP
±0 ←床レベル			備品	流	流し台+吊戸　【部分詳細図参照】	テ1	Ｌ型手摺（800ｘ800　D=230）	フ	フック
-100 ←下地レベル				調	調乳用シンク　【部分詳細図参照】	テ2	はね上げ手摺（可動式・ロック付）L700	掃	掃除用具掛け　【部分詳細図参照】
CH:3000 ←天井高さ				冷	冷水器（別途）　【部分詳細図参照】	テ3	洗面台用　手すりL800　【部分詳細図参照】	垂	汚垂石　【部分詳細図参照】
				カ	カーテンレール（シングル）	テ4	小便器用手すり　【部分詳細図参照】	手	手洗い（既製品）　【設備図参照】
						テ5	壁掛洗面器用Ｐ型手すり　【部分詳細図参照】	点	点検口　300□　アルミ製

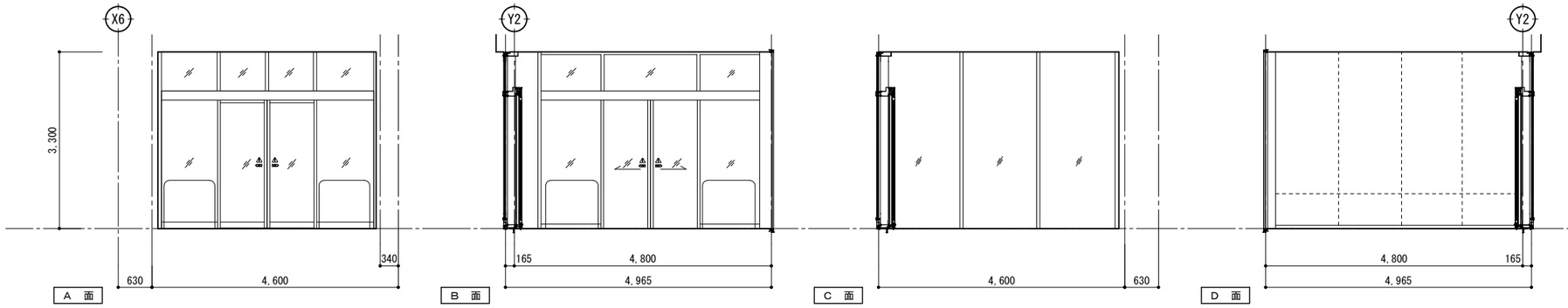


展開方向

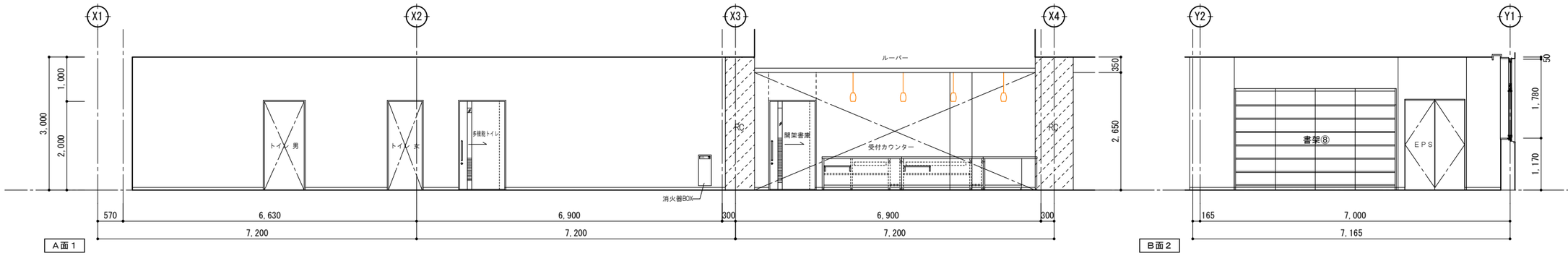


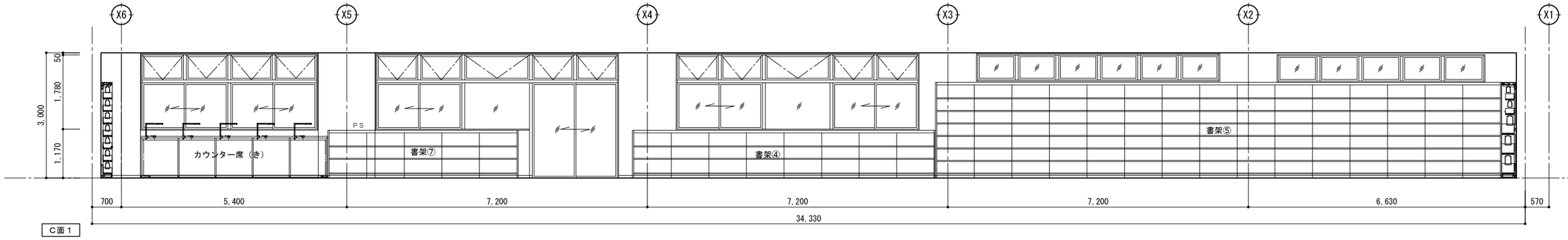
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	２階水廻り詳細図	縮尺	1：50	図面番号　A－039

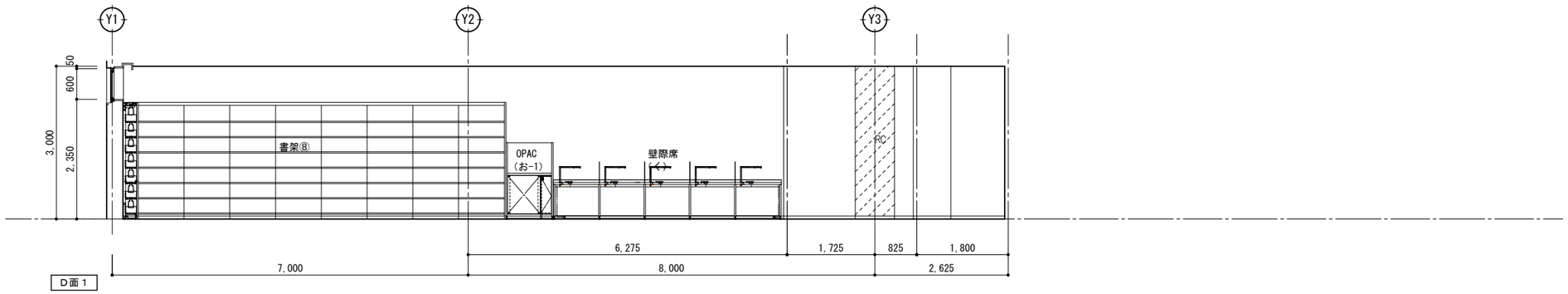
風除室

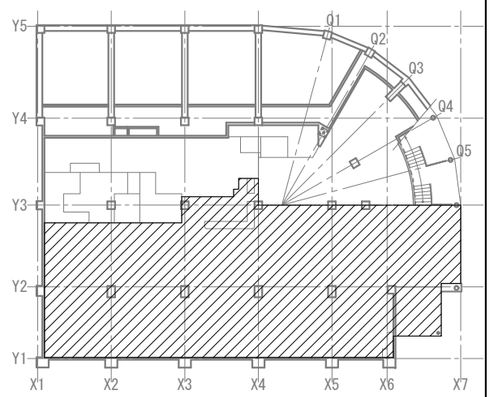


一般開架室



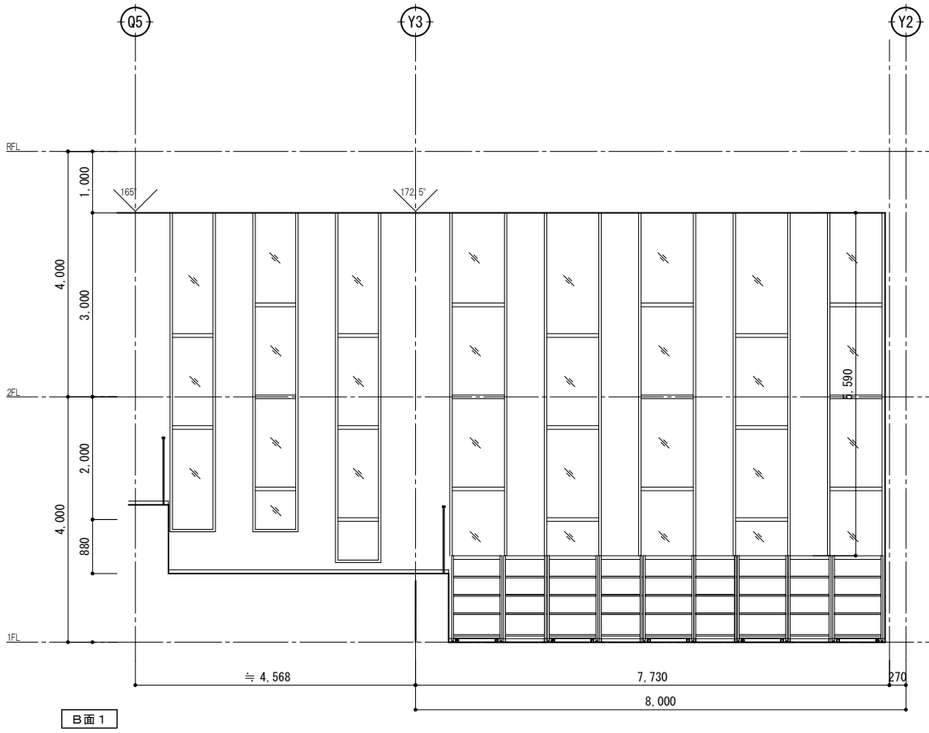




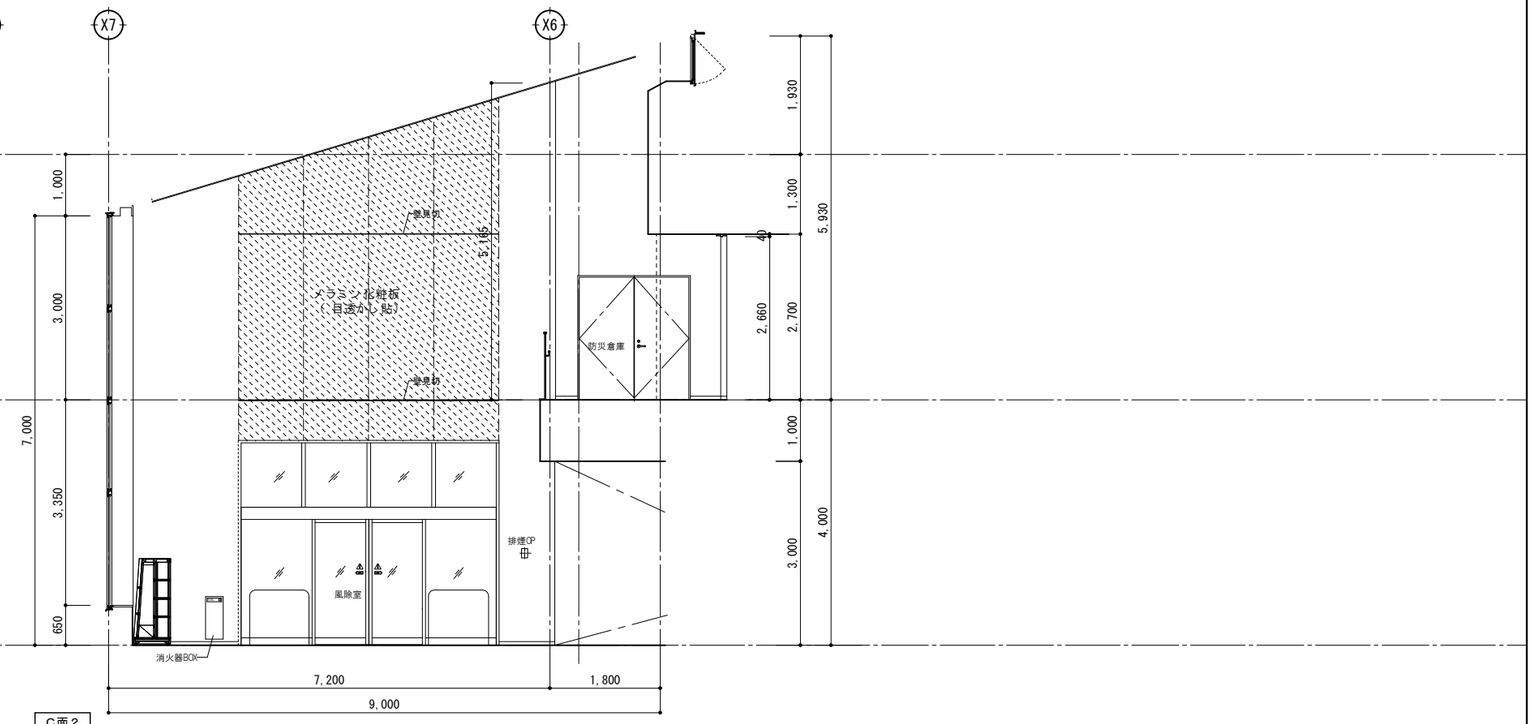


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項		図面名	1階展開図－1	縮尺 1：100	図面番号 A－040

一般開架室・グループスペース

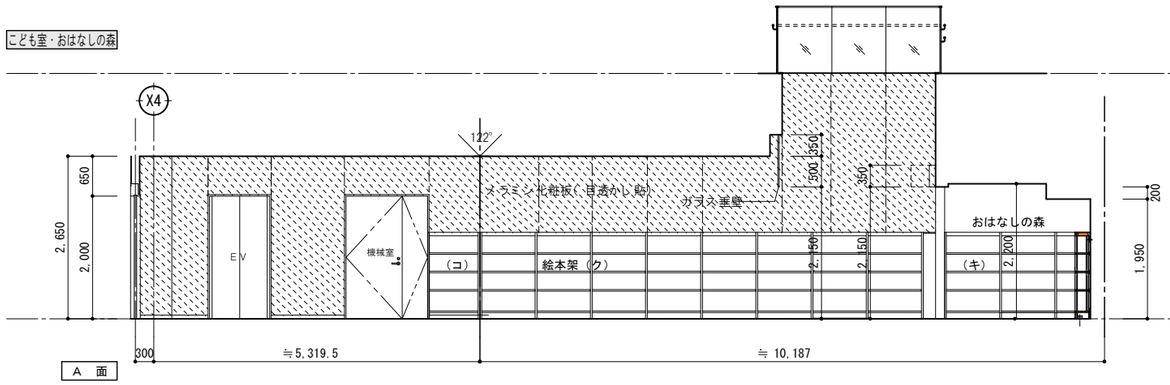


B面１

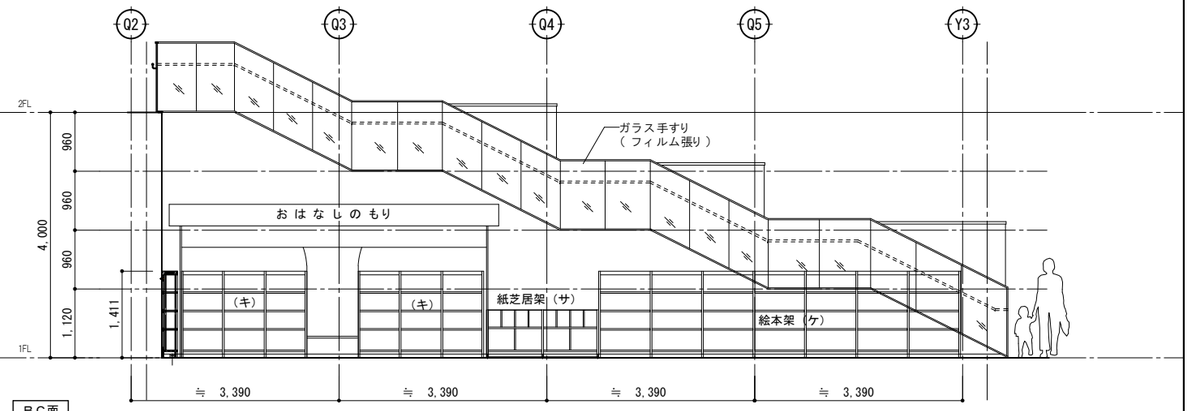


C面２

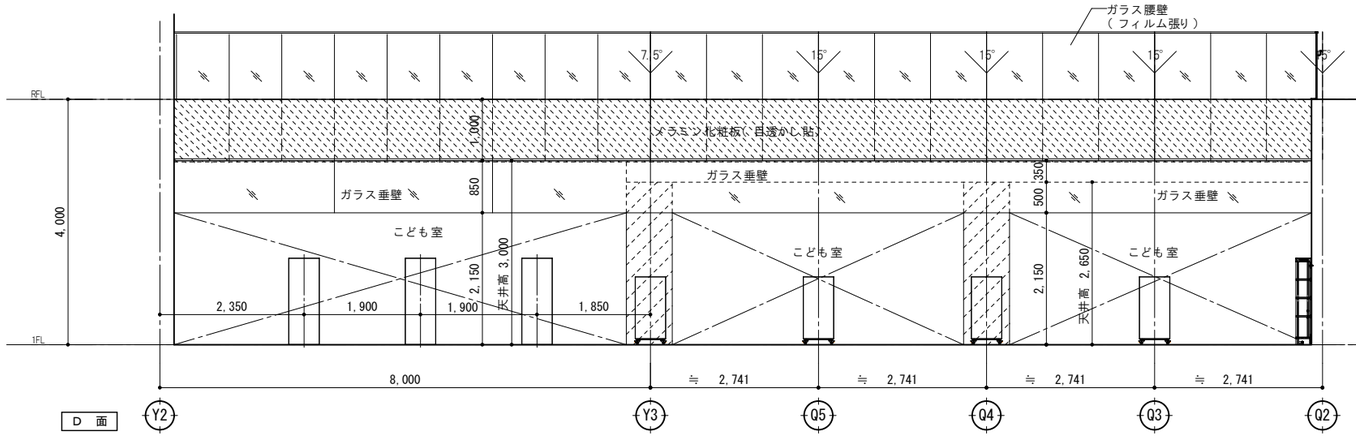
こども室・おはなしの森



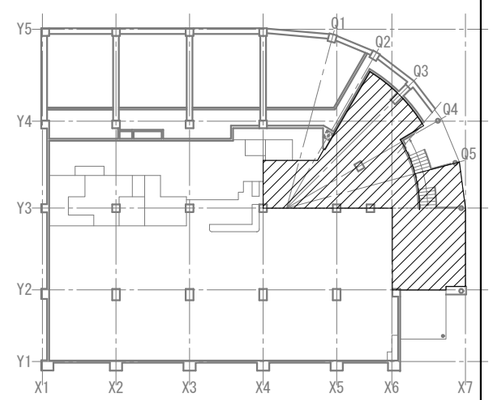
A　面



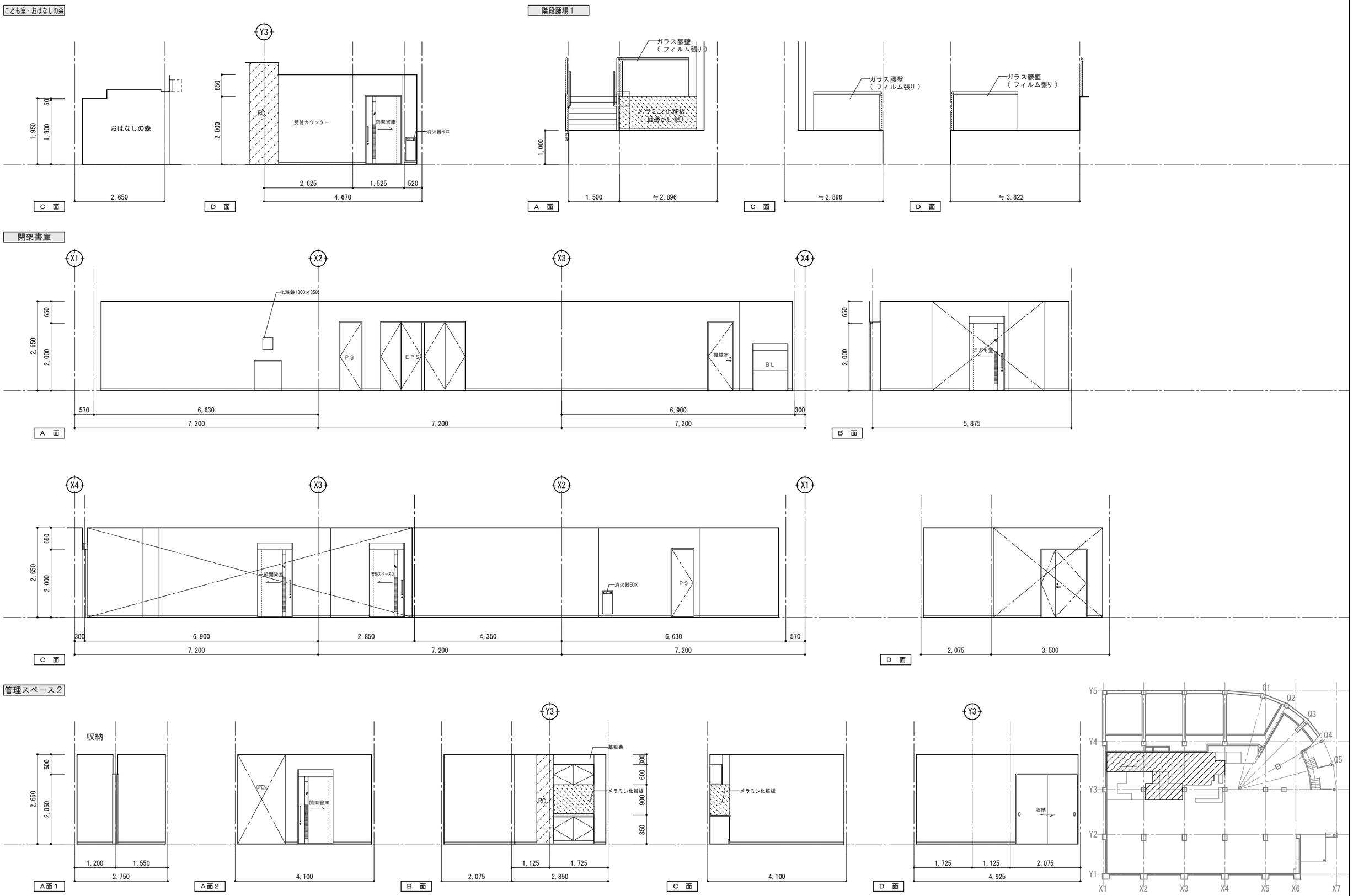
ＢＣ面



D　面

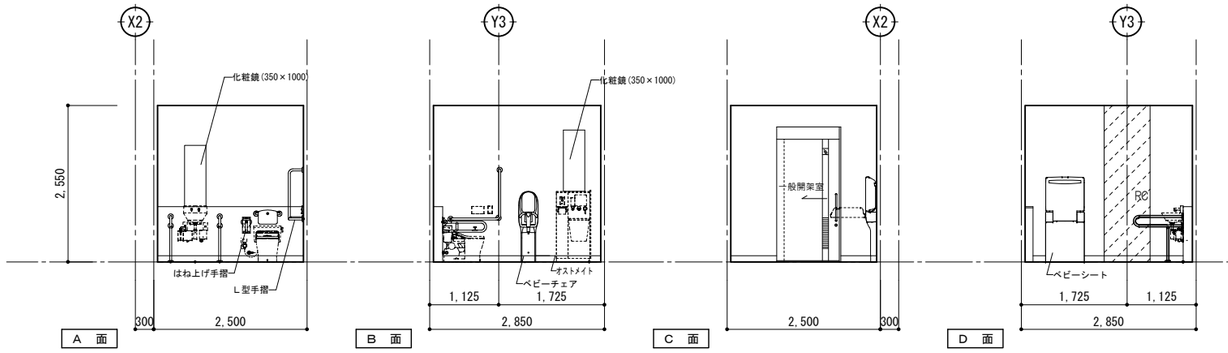


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	１階展開図－２	縮尺 1：100	図面番号 A－ 041

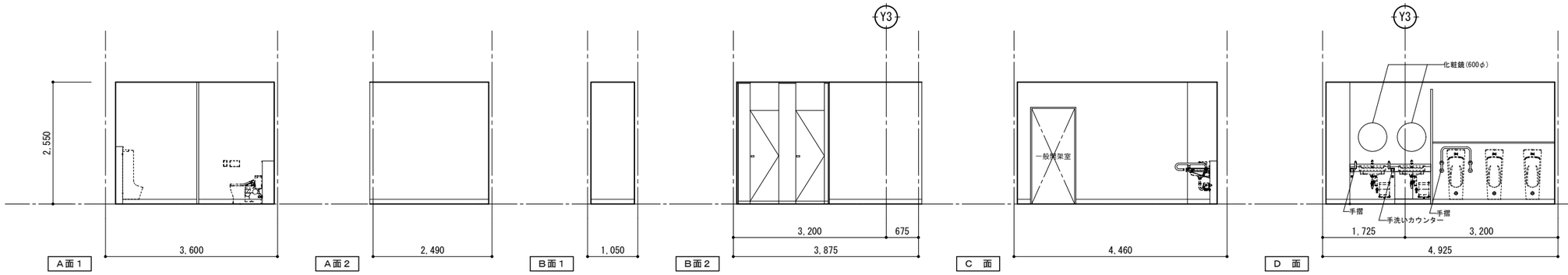


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	1階展開図－3	縮尺 1：100	図面番号 A－042

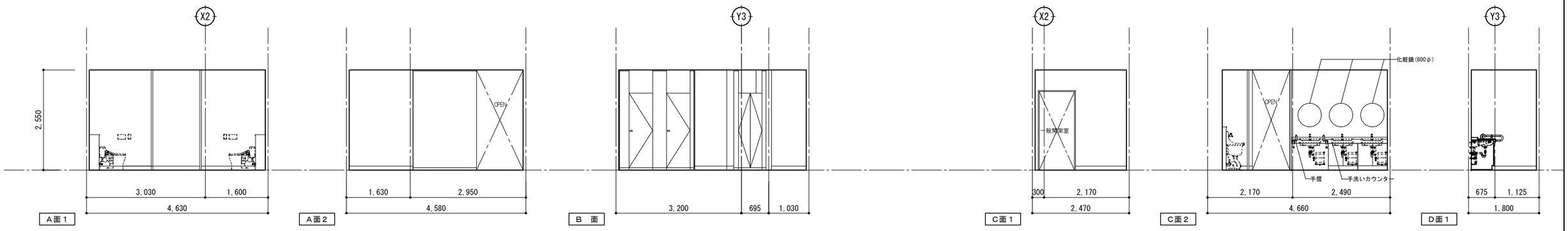
多機能トイレ

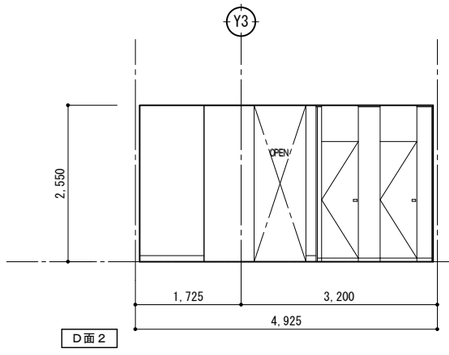


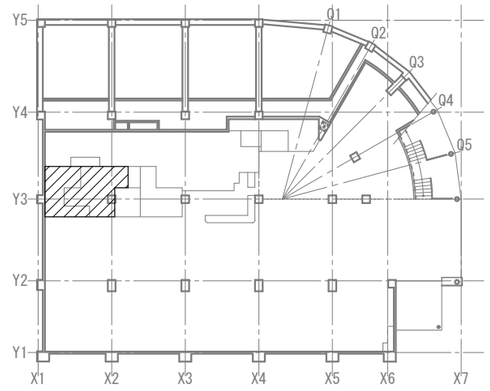
トイレ 男



トイレ 女

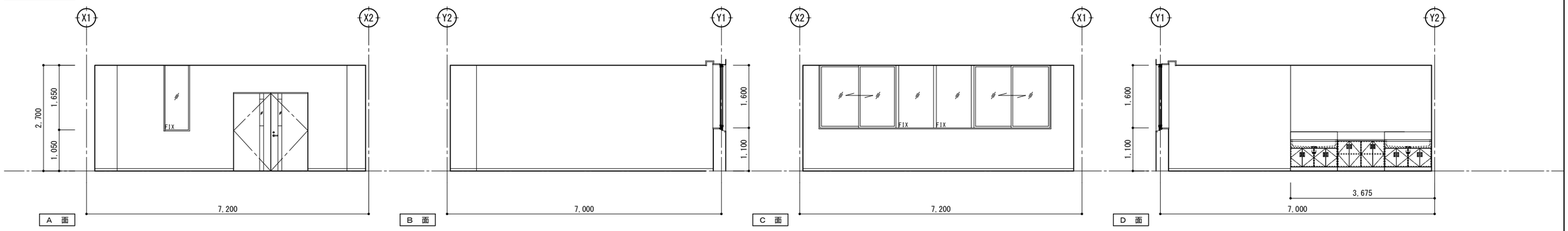




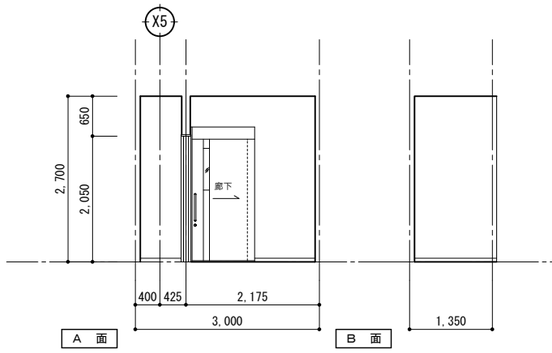


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	1階展開図－4	縮尺 1：100	図面番号 A－ 043

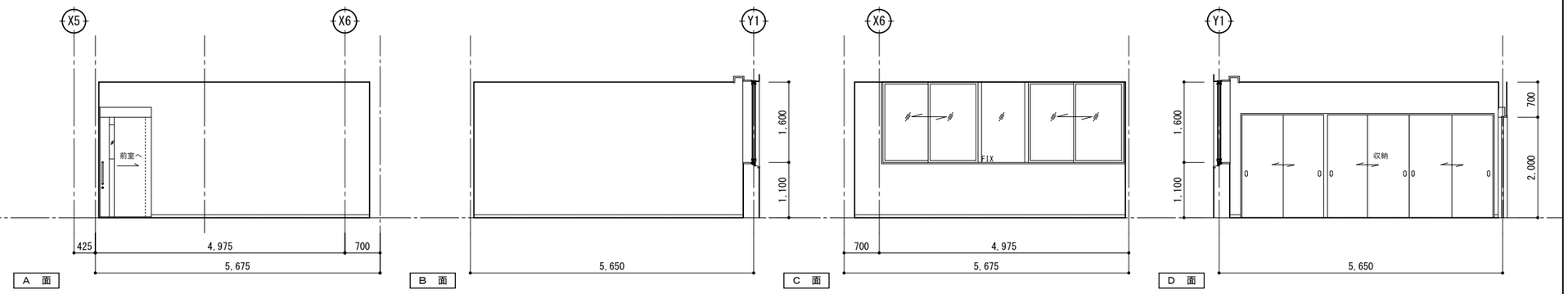
工芸室１



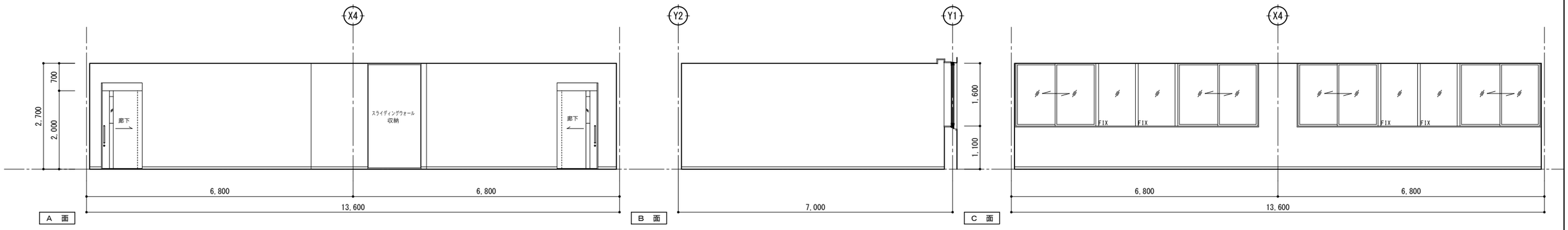
前　室



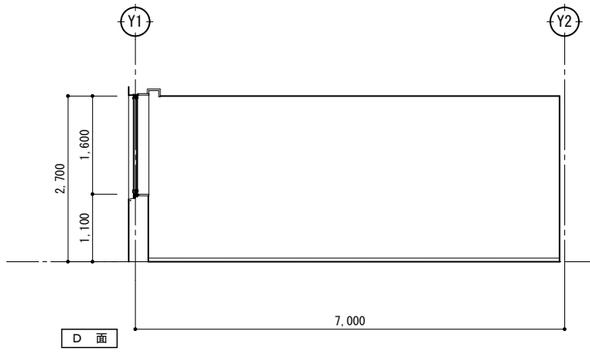
会議室(音楽)



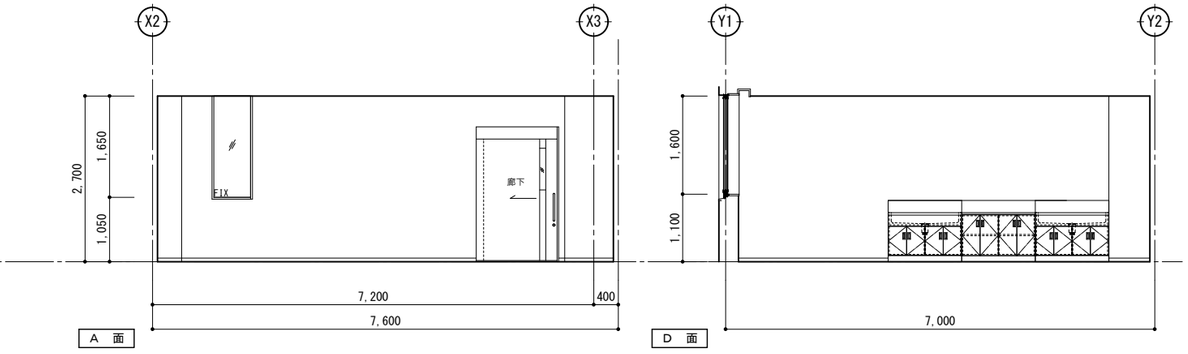
会議室２

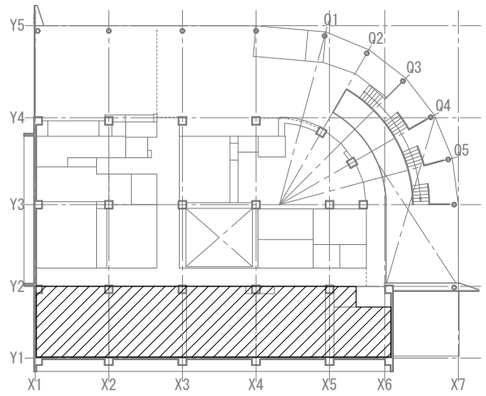


会議室２



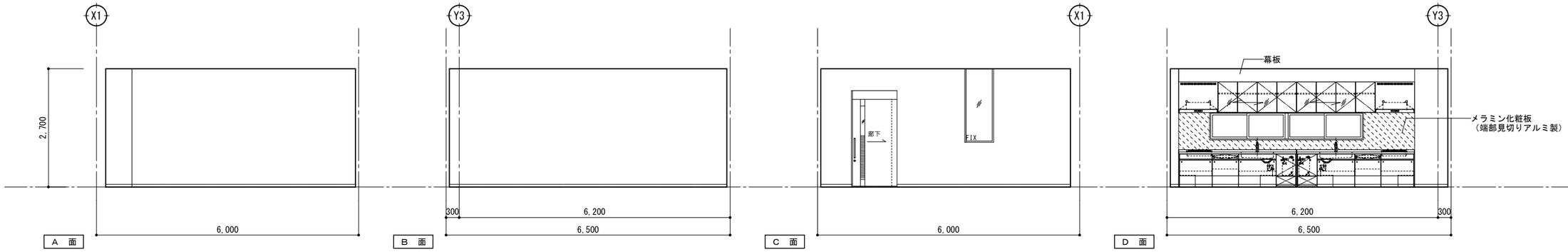
工芸室２



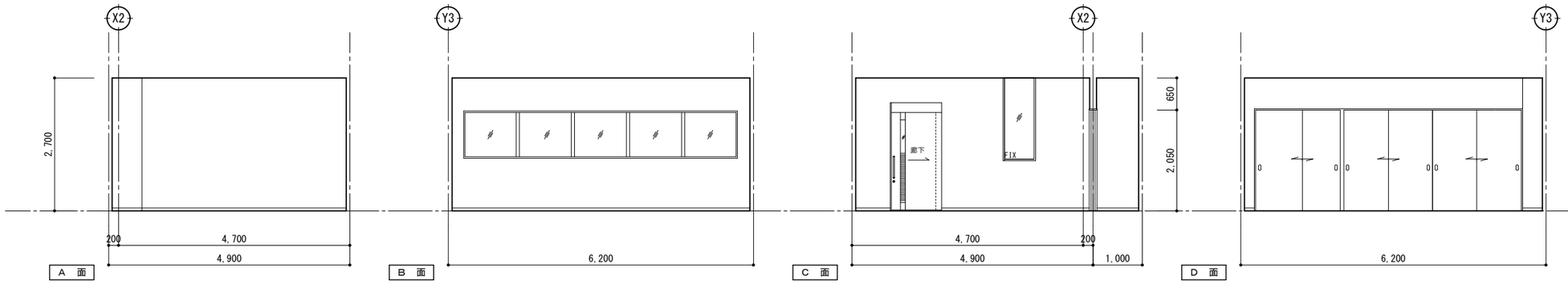


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	２階展開図－１	縮尺 1：100	図面番号 A－ 044

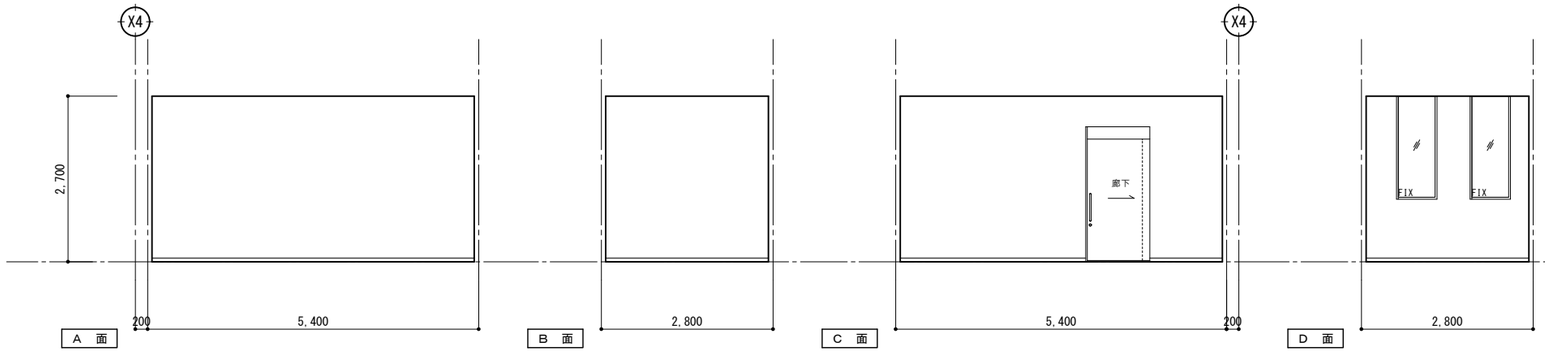
会議室(調理)



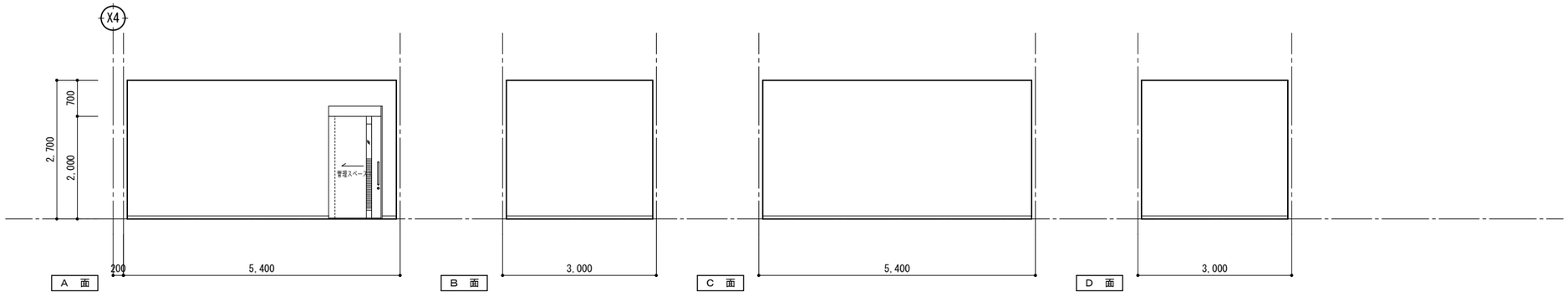
会議室(和室)

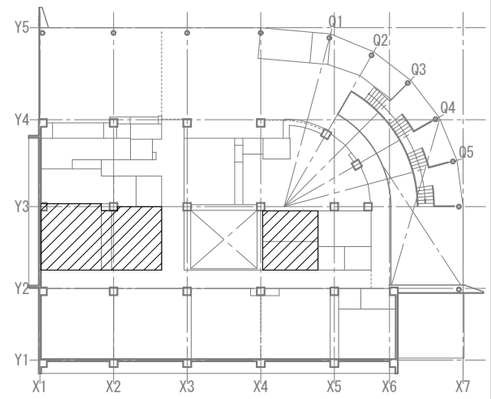


多目的準備室



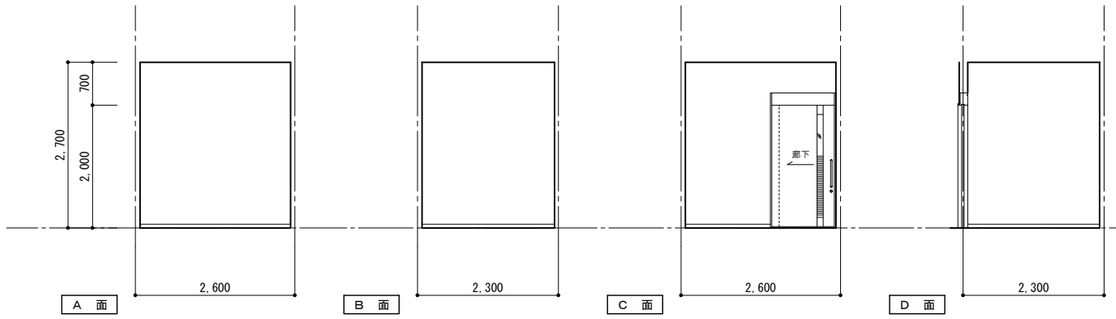
倉庫



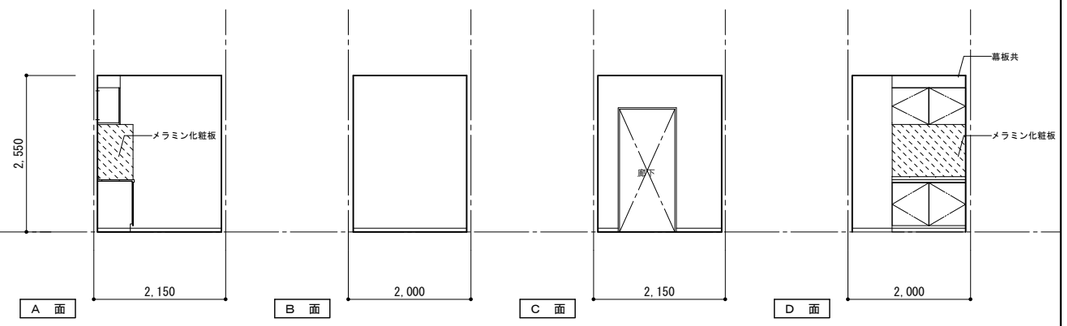


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	(仮称)千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項		図面名	2階展開図－2	縮尺 1：100	図面番号 A－045

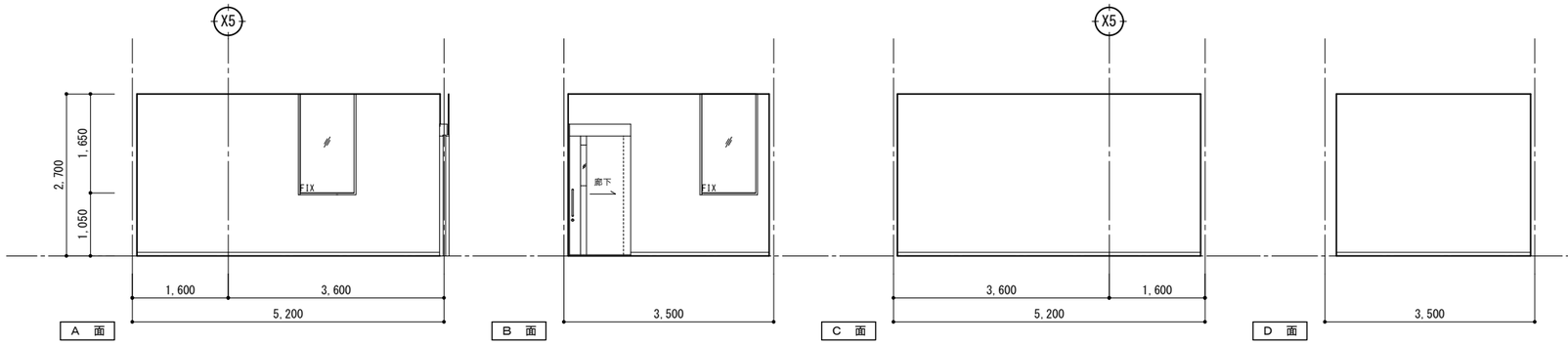
更衣室１



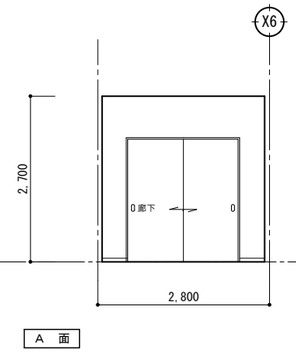
給湯室



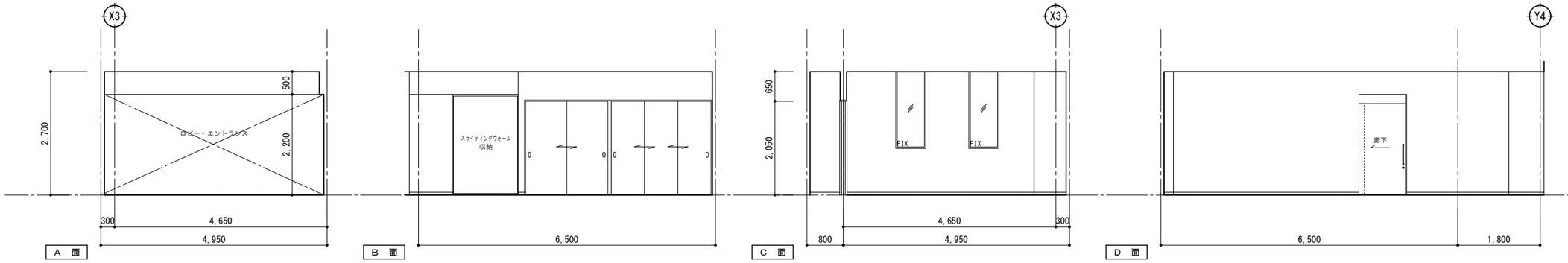
自習室



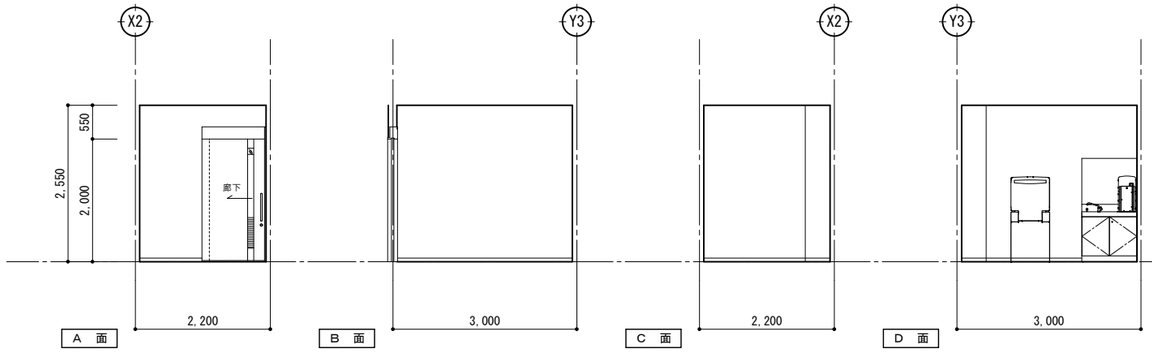
防災倉庫

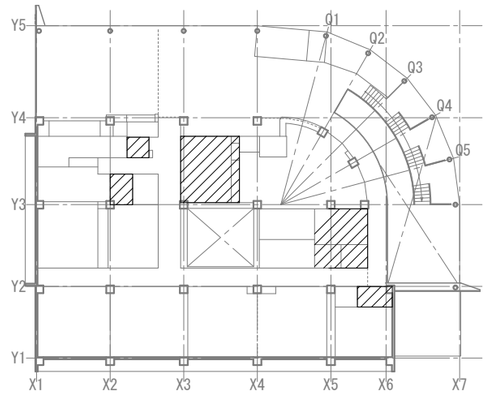


地域活動拠点



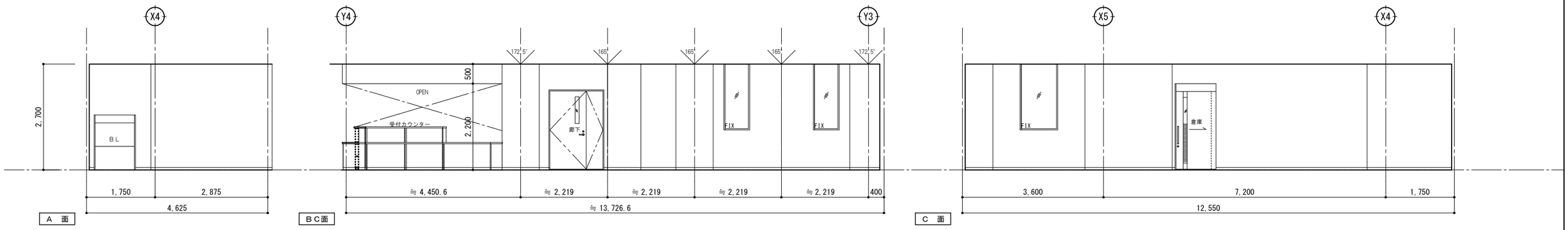
授乳室



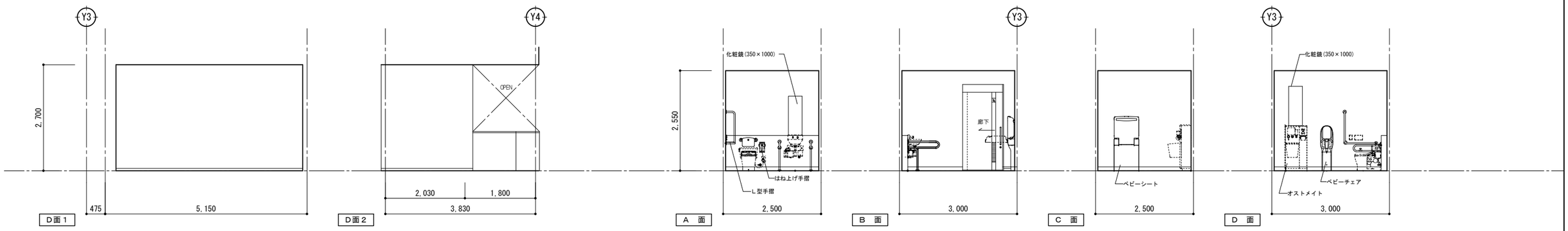


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	２階展開図－３	縮尺 1：100	図面番号 A－ 046

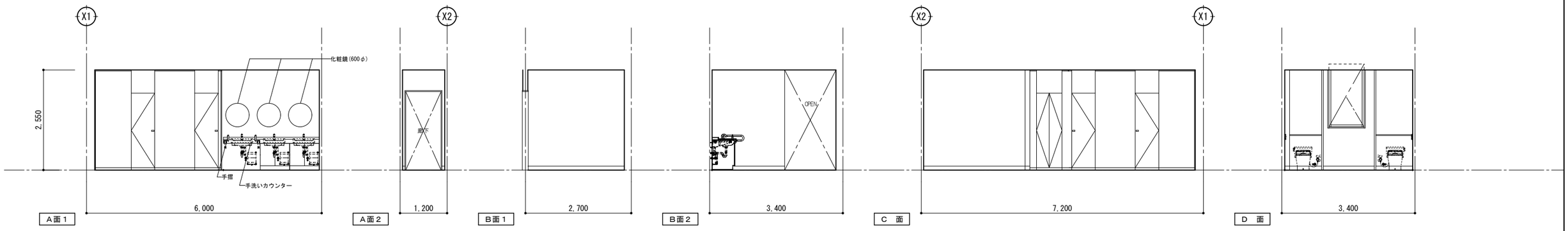
管理スペース１



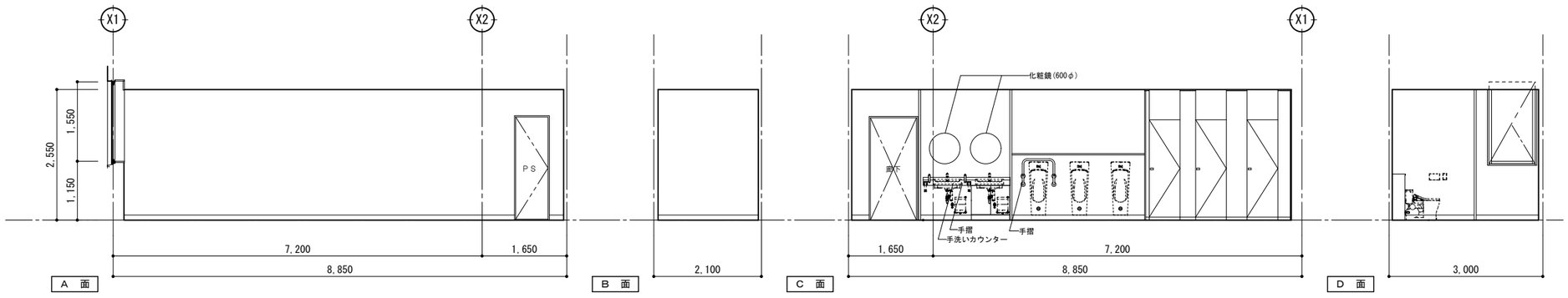
多機能トイレ

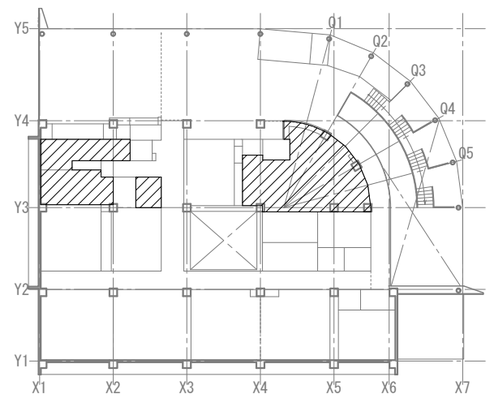


トイレ 女



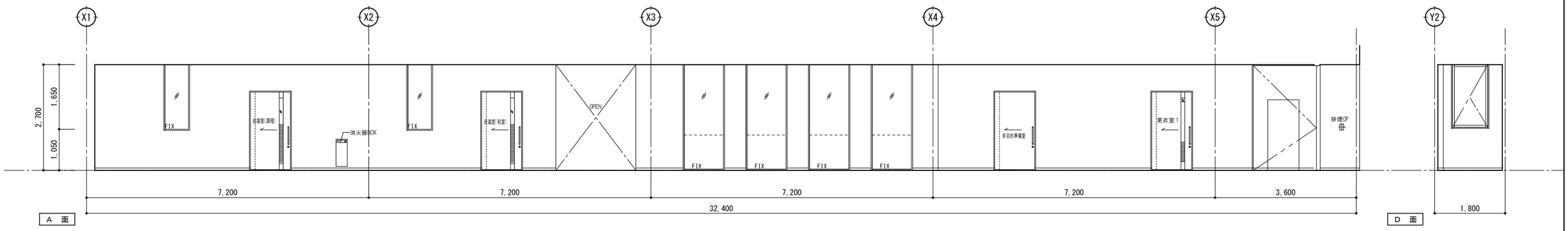
トイレ 男

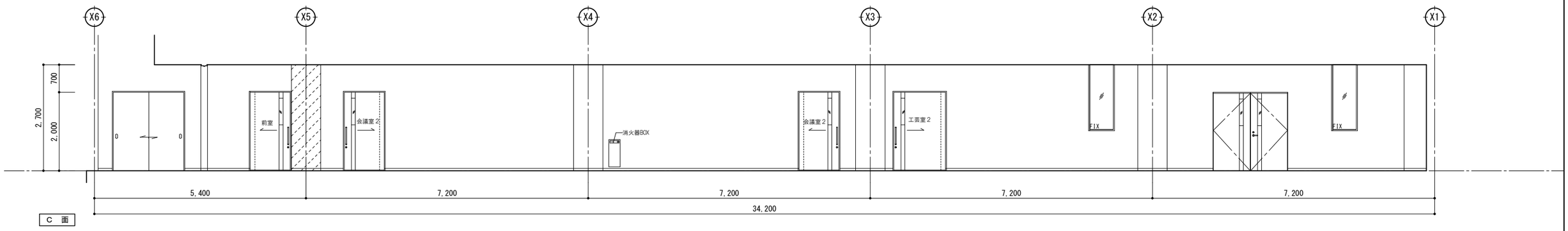




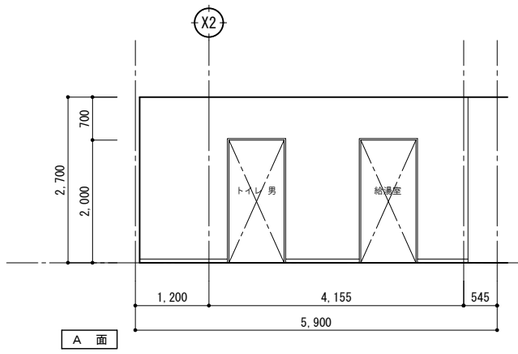
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	２階展開図－４	縮尺 1：100	図面番号 A－ 047

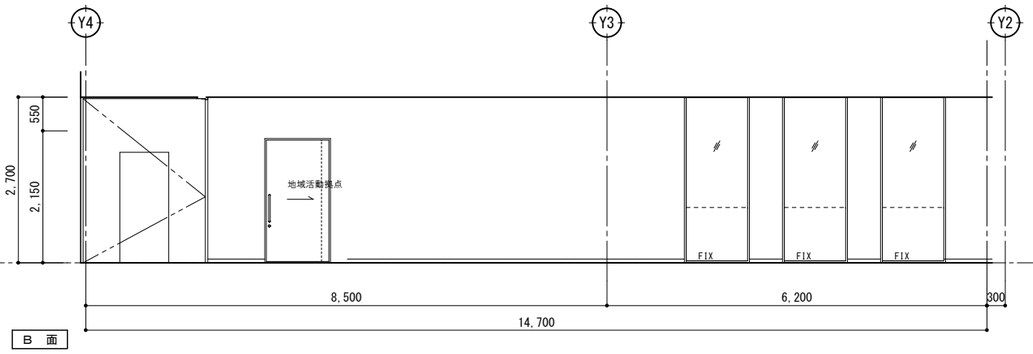
廊下

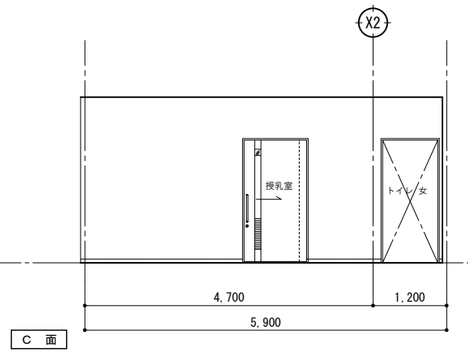


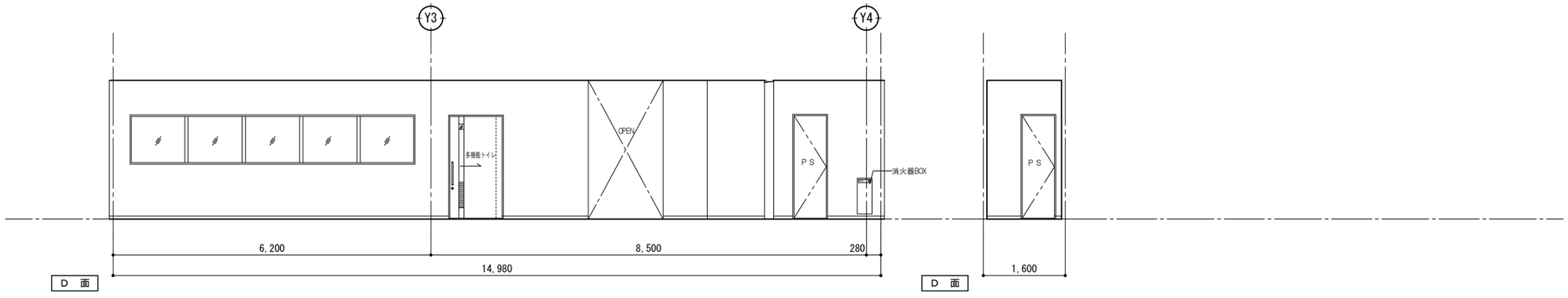


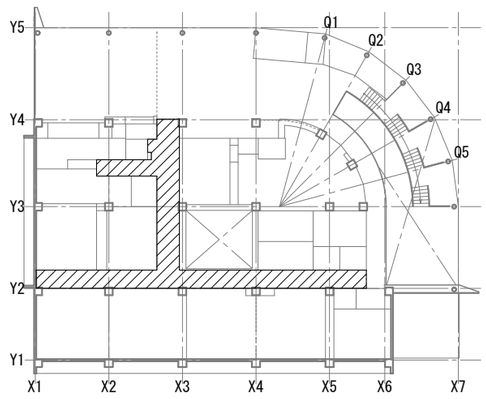
廊下（西）



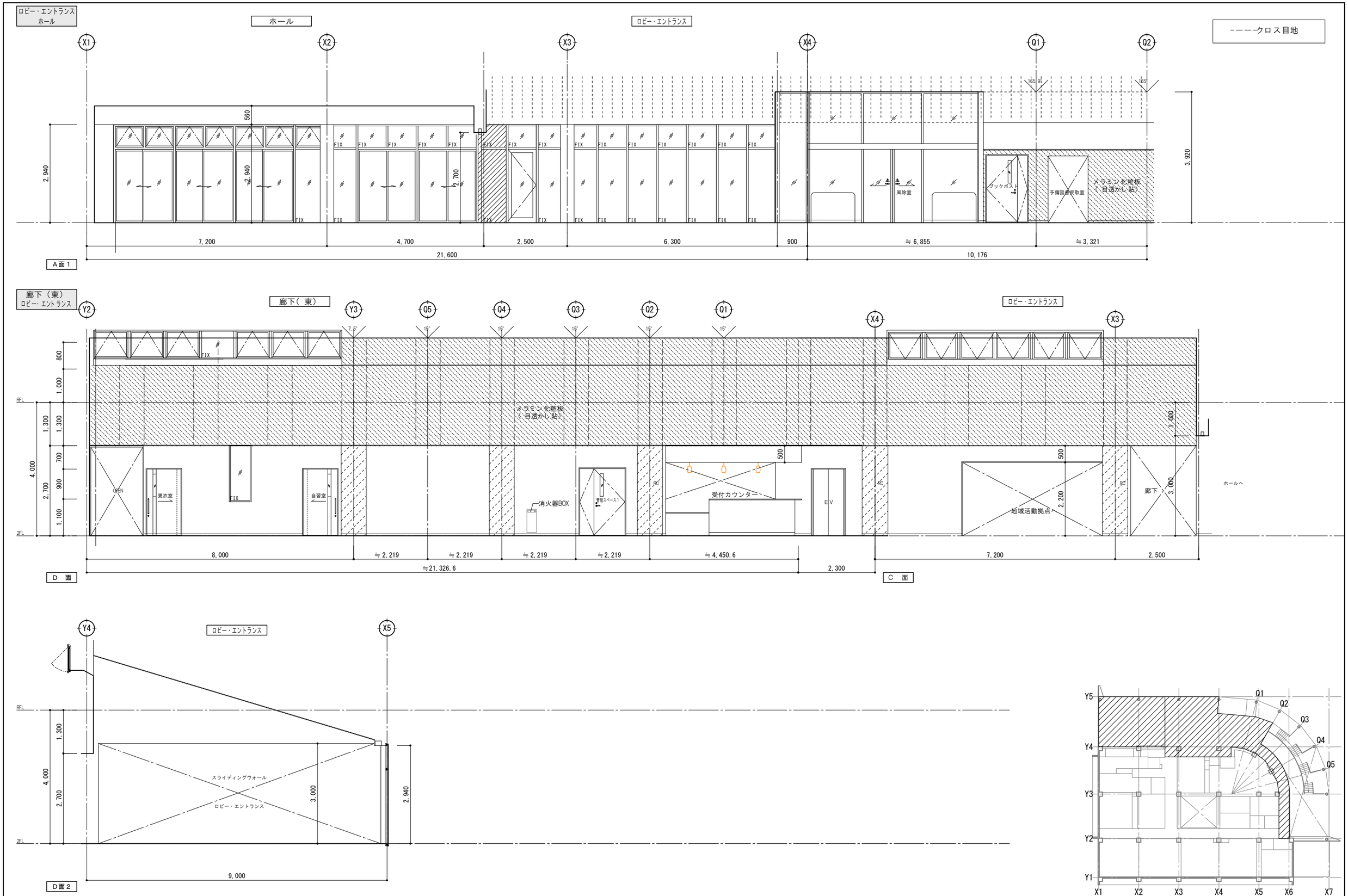






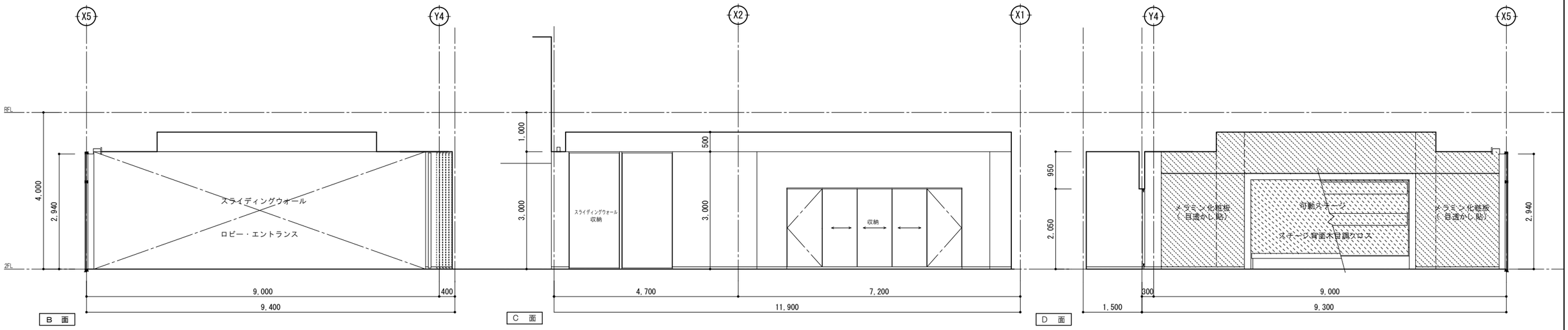


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	２階展開図－５	縮尺 1：100	図面番号 A－ 048

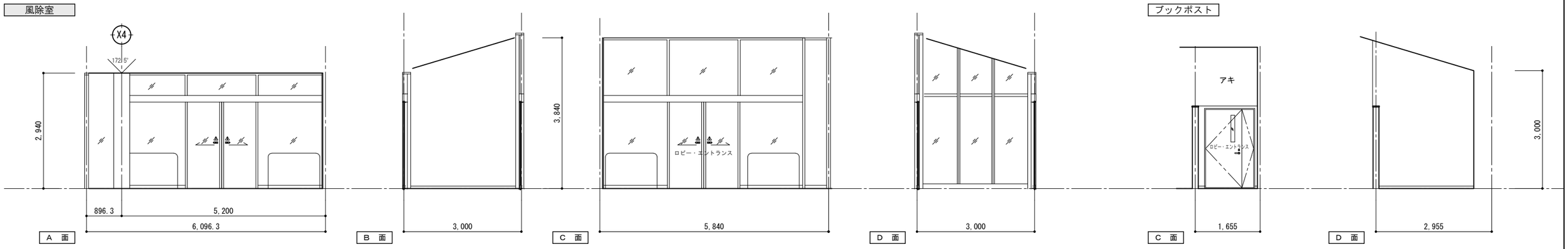


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	２階展開図－６	縮尺 1：100	図面番号 A－ 049

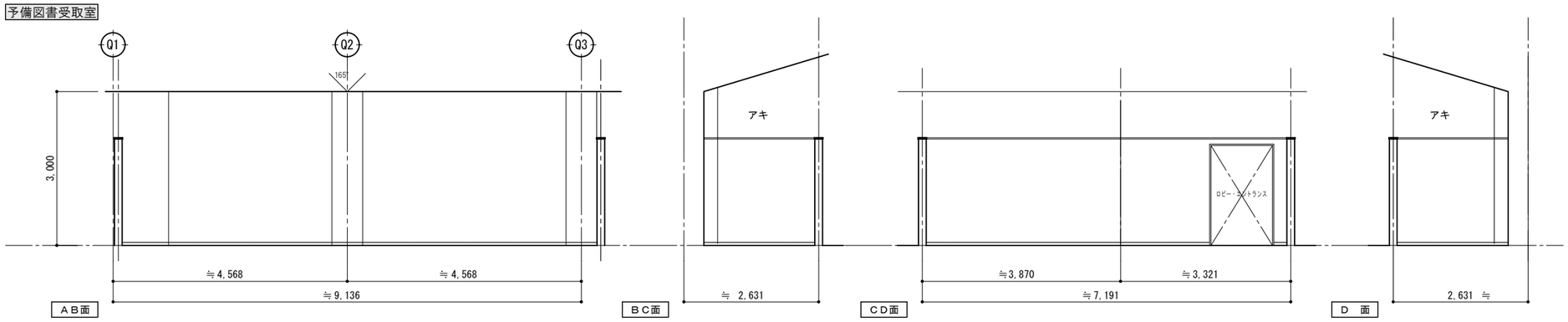
ホール

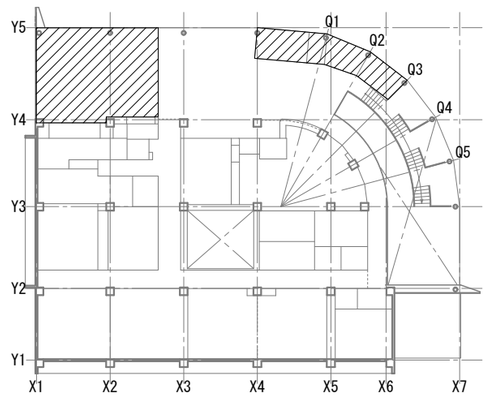


風除室



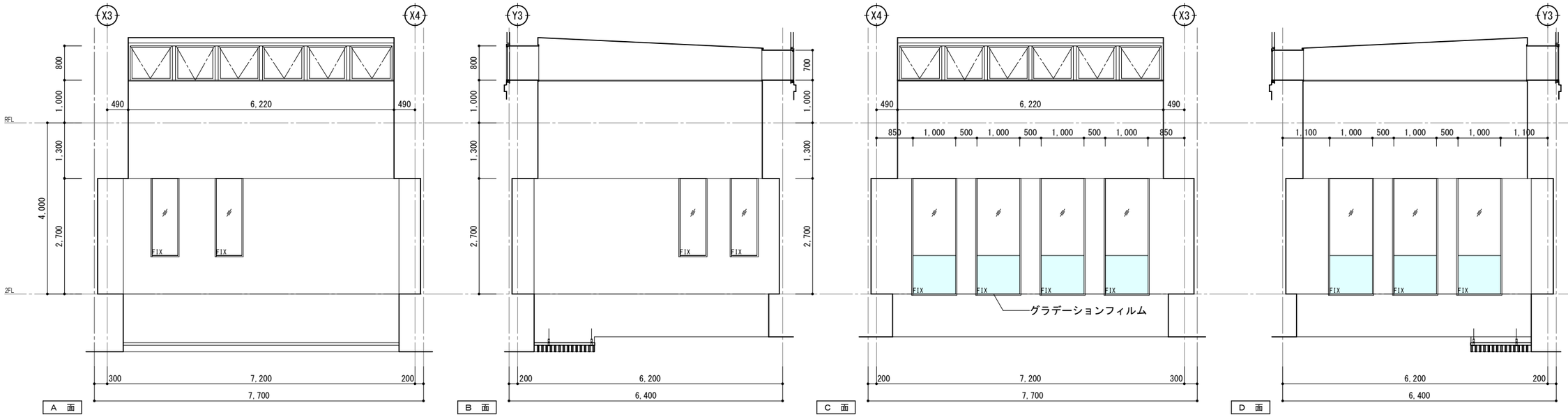
予備図書受取室



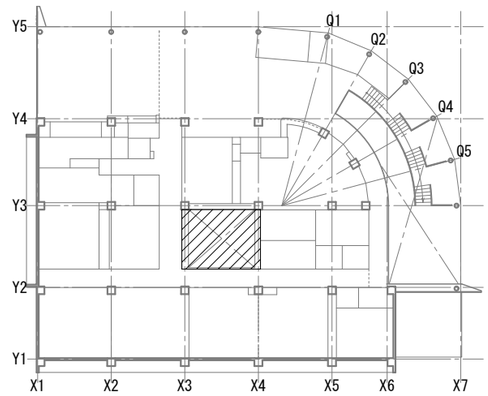


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	２階展開図－７	縮尺 1：100	図面番号 A－ 050

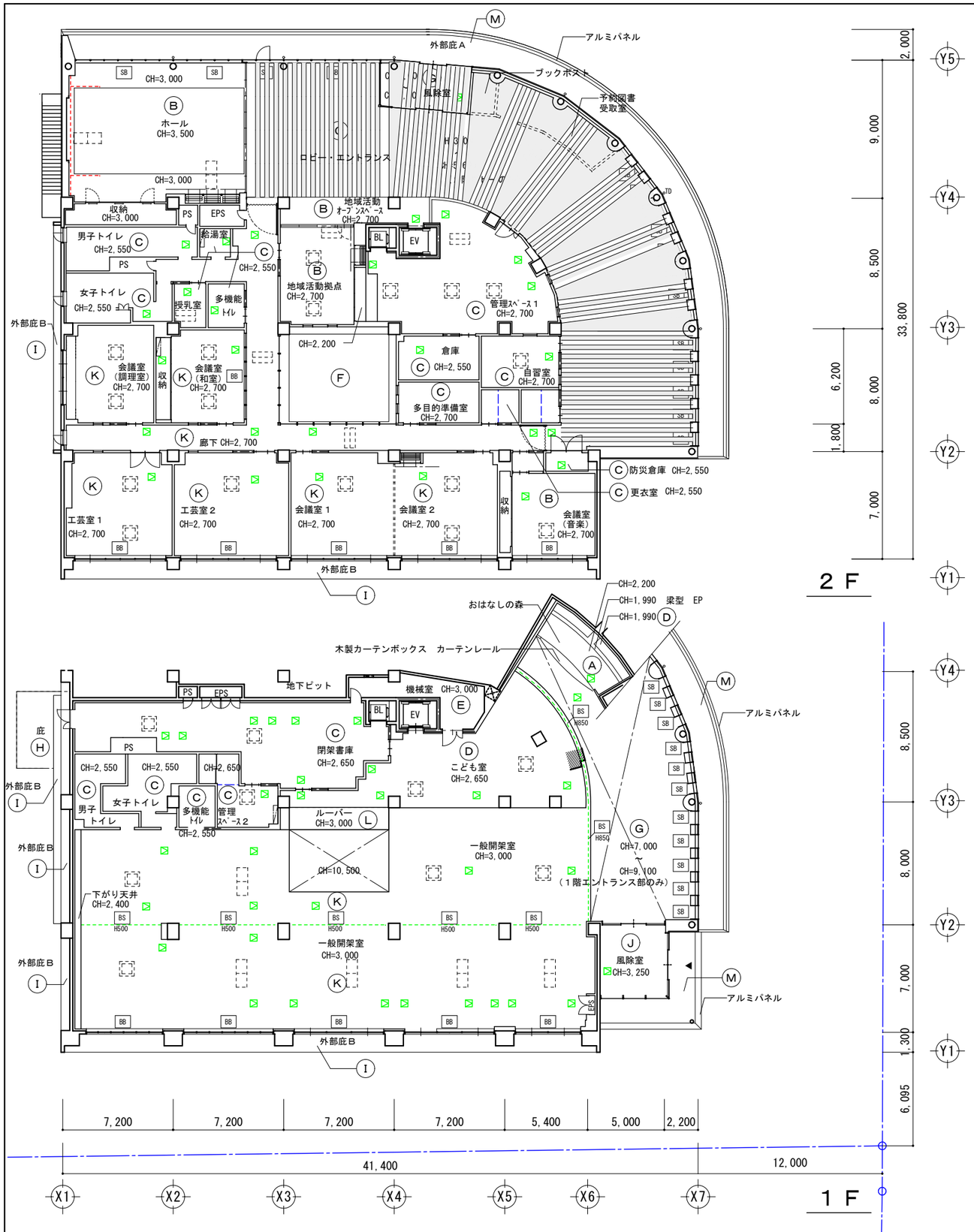
吹抜



A 面　B 面　C 面　D 面



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	２階展開図－８	縮尺 1：100	図面番号 A－ 051



天井構成凡例

天井記号の凡例

A — 天井仕上げ番号を示す

A	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り	
B	岩綿化粧吸音板	
C	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	
D	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5 EP	
E	ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞの上　ｶﾞﾗｽｸﾛｽ押え	
F	ガラスクロス仕上パネル	
G	内装用木毛セメント板+石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5 EP	
H	ｱﾙﾐ製庇	
I	外装薄塗材Ｅ	
J	ケイカル板　t6 EP	
K	化粧石膏吸音ボードt9.5	
L	アルミ押出形材製ルーバー（木目調）	
M	ケイカル板　t8　EP（アルミ廻縁） 屋外用LSG下地　耐風圧S-4	
⊠	天井点検口 ｱﾙﾐ枠 450角 ｺｲﾝﾛｯｸ付	
BB	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ(ｶｰﾃﾝ)ﾎﾞｯｸｽ 木製 OSCL　手動横型ブラインド	
SB	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ ｽﾁｰﾙ製　手動縦型ブラインド	
──	カーテンレール（直付）	
┄┄	カーテンレール（吊）	
BS	防煙垂れ壁　練入磨板ガラスt6.8　隠し方立タイプH500、H850	

・天井高さ、下地ボードの厚さは仕上げ表を参照すること。
（特記なき天井は１階：CH2650、2階：CH2700）
・PS・EPSの天井はスラブ表しとすること。
・仕上げ材はすべて難燃材以上とし、屋内消火栓設置の緩和を受けるものとする。
・天井等に開口を開ける場合は天井開口下地補強をおこなうこと。
・配管ルートの変更をおこなう場合は必要ヶ所に天井点検口を設置すること。
・仕上げ構成は仕上表、部分詳細図を参照すること。

《天井点検口リスト》

⊠ 〔450×450〕 1階：33ヵ所　2階：28ヵ所
〔600×600〕 1階：16ヵ所　2階：40ヵ所
〔600×600〕 屋外軒天用：8ヵ所

《天井補強リスト》

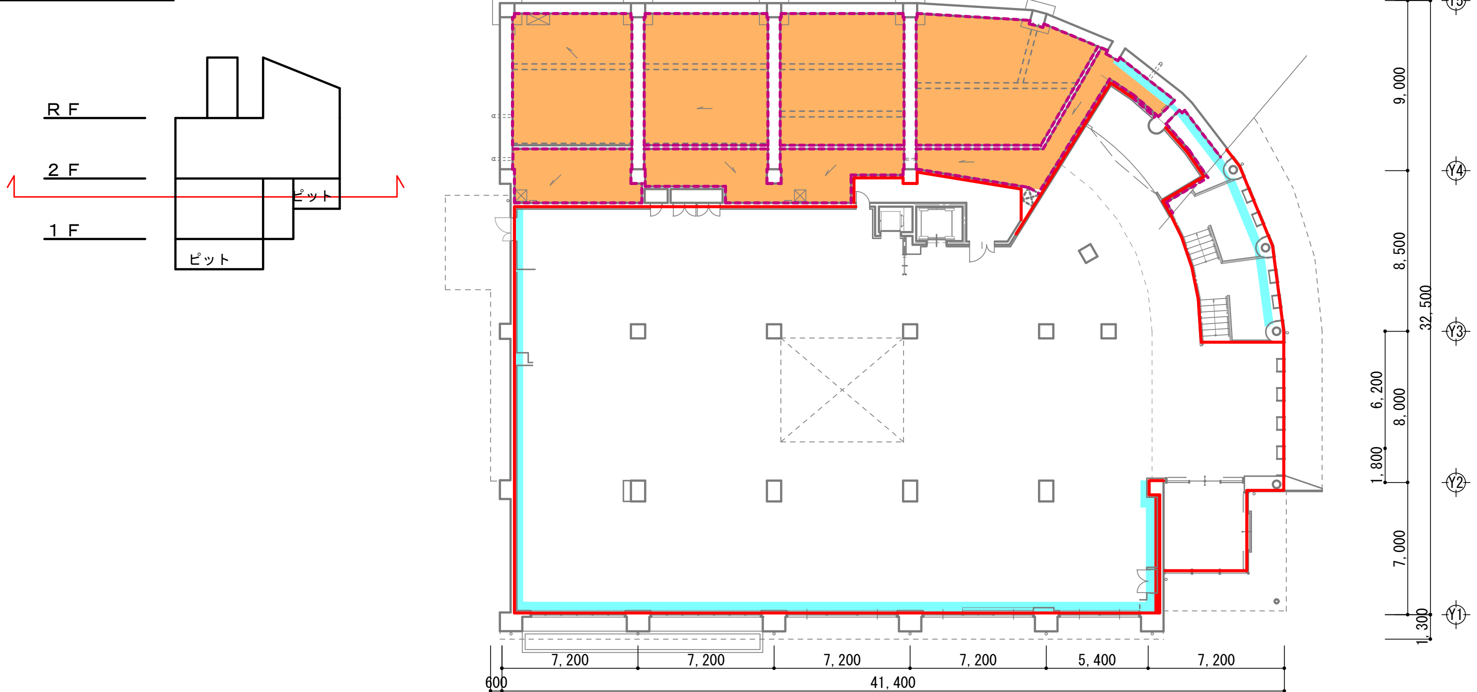
1800×700　1300×700　950×950
1800×700　1階：5ヵ所　2階：2ヵ所
1300×700　1階：1ヵ所　2階：4ヵ所
950×950　1階：9ヵ所　2階：15ヵ所

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	図面名	天井伏図	縮尺	1：300	図面番号	A－052

凡　例

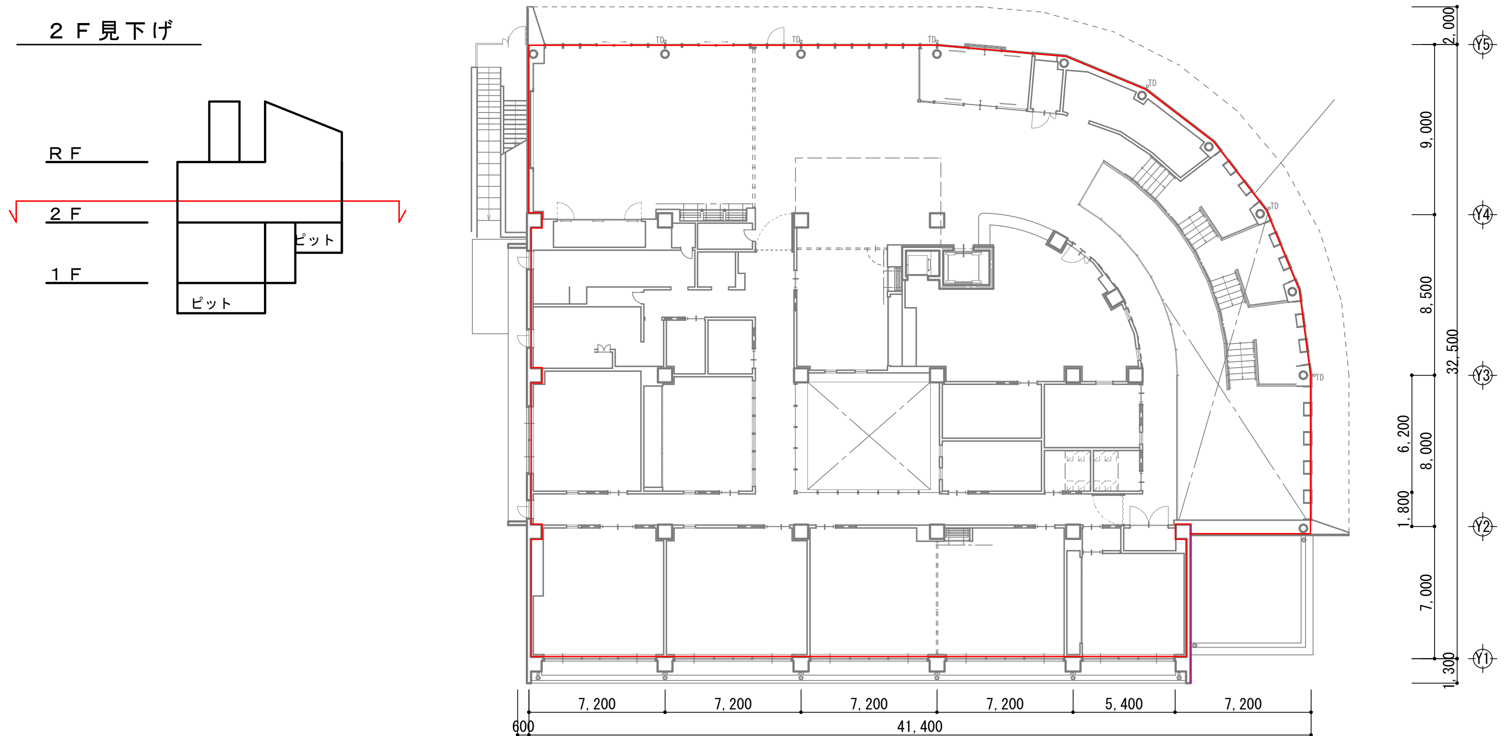
（赤線）	壁	内断熱	吹付硬質ウレタンフォーム　A種１Ｈ　ｔ＝30	熱伝導率λ 0.026
（赤塗）	梁（側面含む）			
（水色）	天井	熱橋部（内部）	吹付硬質ウレタンフォーム　A種１Ｈ　ｔ＝30　Ｌ＝450	
（橙色）	床下	外断熱	Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温版３種ｂ　ｔ＝50	熱伝導率λ 0.028
（紫破線）	梁側面	熱橋部（内部）	Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温版３種ｂ　ｔ＝25　Ｌ＝200	
（桃色）	鋼板屋根	外断熱	Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温版３種ｂ　ｔ＝40	熱伝導率λ 0.028
（緑色）	屋上	外断熱	Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温版３種ｂ　ｔ＝50	

１Ｆ見上げ



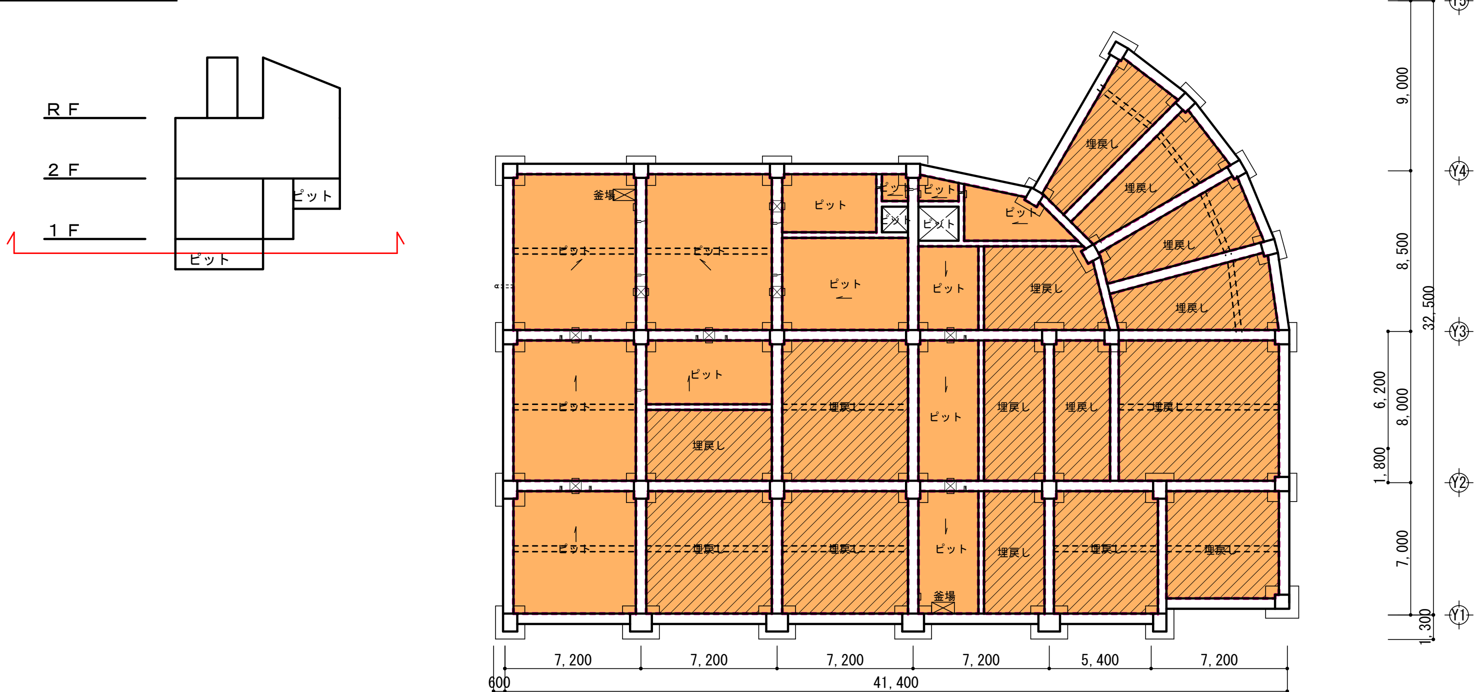
１階平面図

２Ｆ見下げ



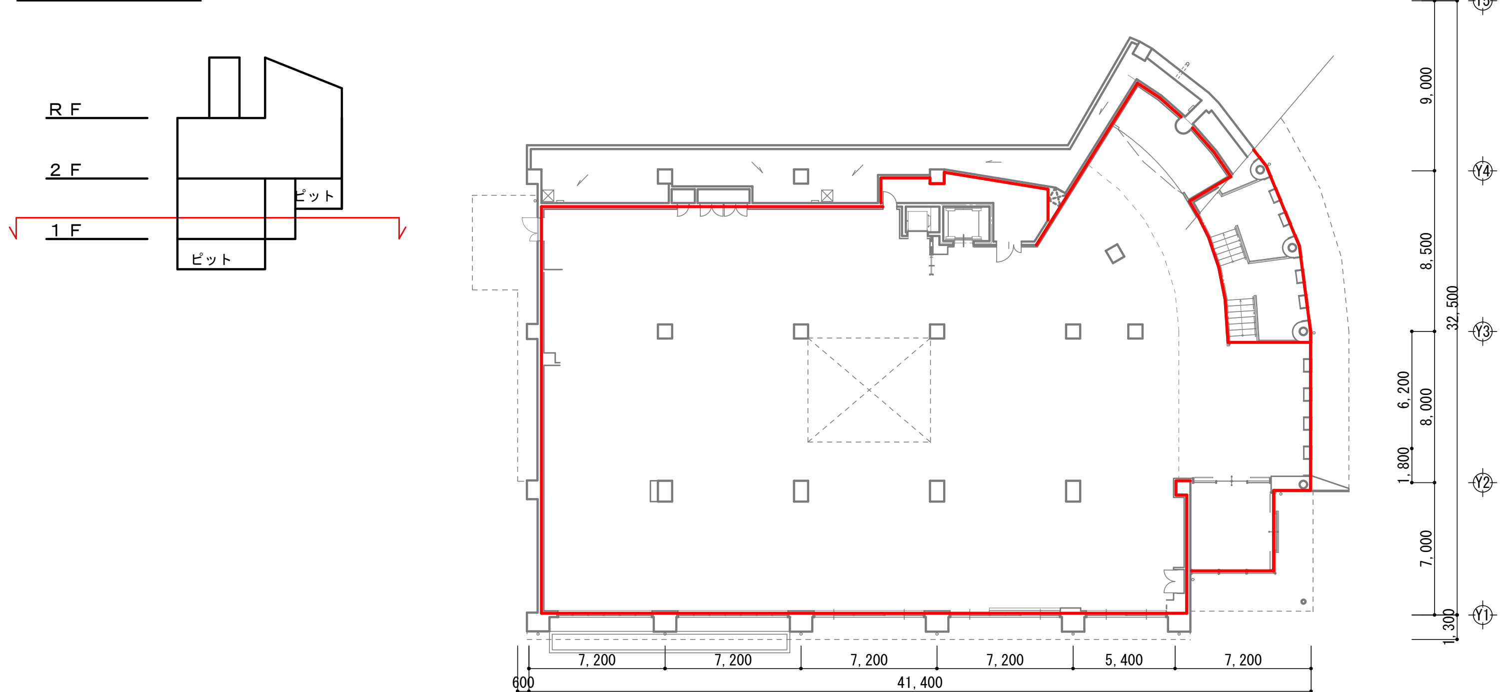
２階平面図

ピット見上げ



ピット平面図

１Ｆ見下げ

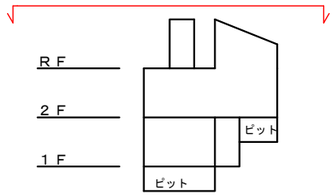


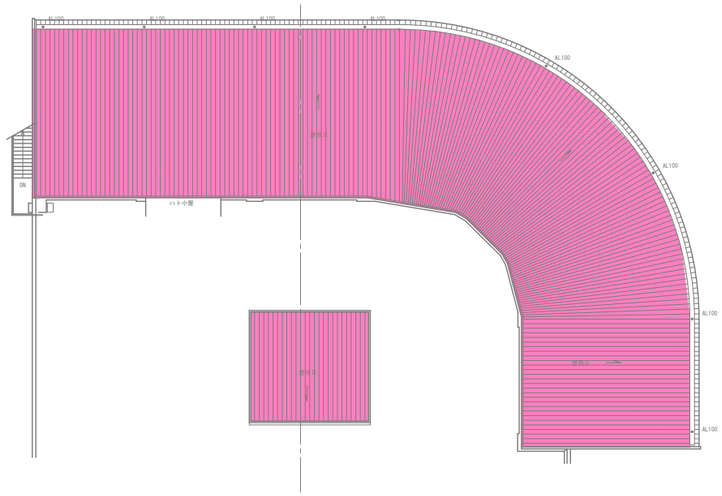
１階平面図

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名　断熱範囲図－１　縮尺　1:400　図面番号　A－053

凡　　例				
	壁	内断熱	吹付硬質ウレタンフォーム　Ａ種１Ｈ　ｔ＝30	熱伝導率λ 0.026
	梁（側面含む）			
	天井	熱橋部（内部）	吹付硬質ウレタンフォーム　Ａ種１Ｈ　ｔ＝30　Ｌ＝450	
	床下	外断熱	Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温版３種ｂ　ｔ＝50	熱伝導率λ 0.028
	梁側面	熱橋部（内部）	Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温版３種ｂ　ｔ＝25　Ｌ＝200	
	鋼板屋根	外断熱	Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温版３種ｂ　ｔ＝40	熱伝導率λ 0.028
	屋上	外断熱	Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温版３種ｂ　ｔ＝50	

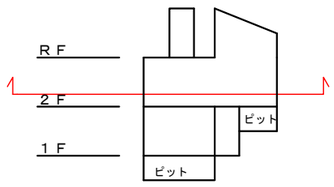
屋根見下げ

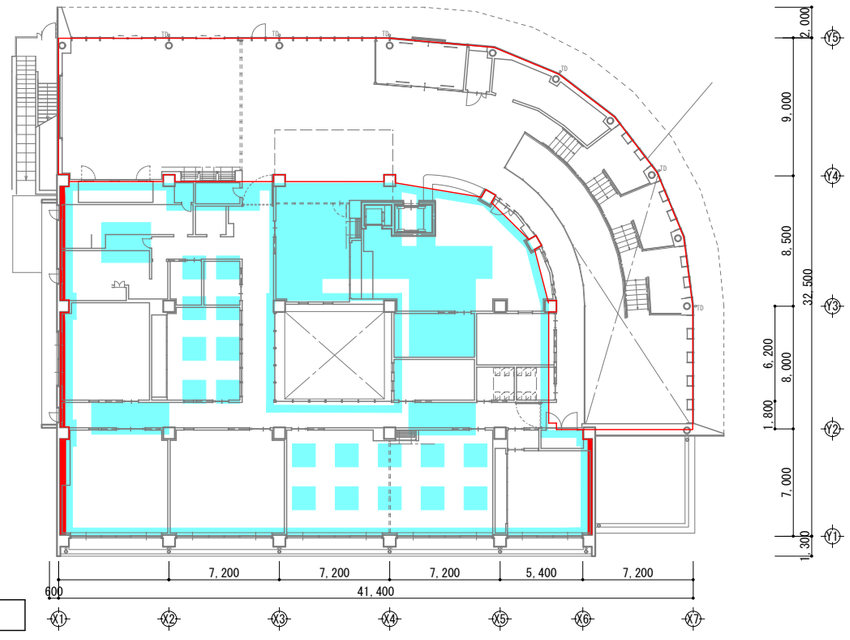




屋根平面図

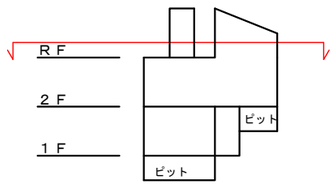
２Ｆ見上げ

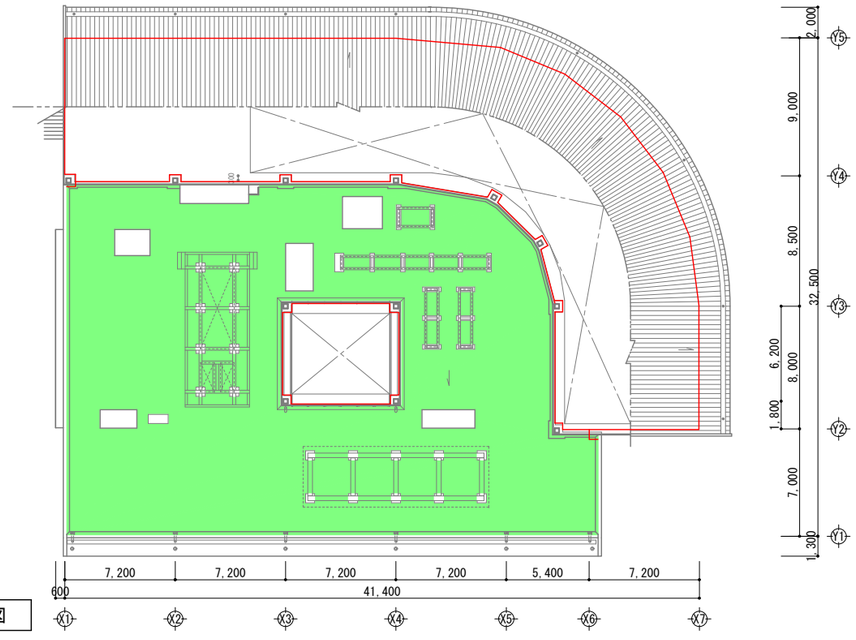




２階平面図

ＲＦ見下げ





Ｒ階平面図

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	図面名	断熱範囲図－２	縮尺	1：300	図面番号	Ａ－ 054

建 具 工 事 共 通 事 項　　（選択項目のうち⊙印を適用する）

1．一般共通事項

1）　建具共通事項は特に図示がない場合に適用する。設計図書の優先順位は、特記仕様書、建具リスト
　　建具特記仕様書とする。
2）　建具寸法は、特記なき限り枠内寸法とする。
3）　カーテンウォールの仕様は、１７章カーテンウォール工事特記仕様書による。
4）　飛散防止フィルムの範囲は、建具表及び１６章建具工事特記仕様書による。
5）　外部建具枠裏面は発泡ウレタン又はグライトt=3.0にて断熱処理を行う。
6）　シーリングはダブルシーリング変性シリコン系20×10とする。シングルシール納り部位が出る場合
　　監理者と協議のこと。
7）　外部に面するガラリには、雨水受カバー（材種ＳＵＳ）及び防鳥網（ステンレス16メッシュ）を
8）　全ての窓部分には、原則として結露受を取付、はめ殺し窓には水抜き（φ5mm以上）とする。
9）　ガラス押えには特記がない限りシーリング（シリコーン系）とし、目地巾は6mm以上とする。
１０）　握玉、レバーハンドルの高さは、特記がない場合ＦＬ＋900mmとする。
１１）　引手の高さは、特記がない場合ＦＬ＋1000mmとする。
１２）　クレセントの高さは、特記がない場合ＦＬ＋1400mmとする。
１３）　サムターン、ドアラッチの高さは、特記がない場合ＦＬ＋900mmとする。
１４）　排煙窓オペレータの高さは、ＦＬ＋1500mm以下とし、特記がない場合ＦＬ＋1400mmとする。
　　吹抜上部にある窓の排煙オペレーターは、下部階・上部階共に設置すること。（ＦＬ＋1500mm以下）
１５）　外部に面するガラリでダクトと接続する場合は、ダクト取付け枠を取り付ける。
１６）　各建具の鍵本数は原則として各組３本とする。
１７）　キーシステムは下記によるものとする。

- ⊙ グランドマスターキー　（ＧＭＫ）　３本／組
- ⊙ マスターキー（外部共用）　（ ＭＫ ）　３本／組ずつ
- • マスターキーなし
- • コンストラクションキー
- ⊙ 鍵箱
  - • 無
  - ⊙ 有　（材種、形状　スチール製（120組用×2）
- • 自動ドアの種別は下記による。
  - • 熱線
  - • 遠赤外線反射方式
  - • 反射型〇〇方式

2．アルミニウム製建具共通事項

1）　~~建具と膳板、額縁の隙間には結露防止断熱材を入れること。~~
2）　排煙窓の操作ワイヤー等は、枠内隠蔽式とする。
3）　縦枠、下部小口にプラスチックカバーとすること。

⊙ 建具性能ＪＩＳ等級別による区分は下記による。　※カーテンウォールは特記による

性能区分	記号	耐風圧性	気密性	水密性	遮音	断熱性
普通サッシ 普通ドア	ｎ１	Ｓ－４	Ａ－３	Ｗ－５	Ｔ－１	
	ｎ２	Ｓ－５	Ａ－４	Ｗ－４	Ｔ－２	
	ｎ３	Ｓ－６				
	ｎ４	Ｓ－７				
防音サッシ 防音ドア	ｓ１	Ｓ－５	Ａ－４	Ｗ－５	Ｔ－２	
	ｓ２	Ｓ－６		Ｗ－４	Ｔ－３	
	ｓ３	Ｓ－７			Ｔ－４	
断熱サッシ 断熱ドア	ｈ１	Ｓ－５	Ａ－３	Ｗ－５	Ｔ－１	ガラス仕様による。
	ｈ２	２８０	Ａ－４	Ｗ－４	Ｔ－２	
	ｈ３	３６０				

3．鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具共通事項

1）　沓摺はＳＵＳ３０４ＨＬ t=2.0とする。
2）　寒冷地の場合は、外部扉の沓摺に結露受けを設ける。
3）　Ｔ・ＡＴ・ＳＡＴ扉はフラッシュ扉とし、枠の四周には曲げ加工による溝を設け、クロロプレン
　　ゴム等の気密材は四辺をつなげる。
4）　Ｔ扉はドア厚≧45mmとし、ロックウール（150ｋｇ/m3）を充填し、枠にはモルタルを隙間
　　なく充填する。性能は１６章建具工事特記仕様書による。
5）　Ｔ扉は特記なき限り廊下に面する場合は、遮音性能ＪＩＳ等級T-2程度とし、居室に面する場合は
　　T-4程度とする。
6）　ＡＴ扉は特記なき限り気密性能ＪＩＳ等級A-4程度・水密性能ＪＩＳ等級W-4程度とする。
7）　ＳＡＴ扉は特記なき限り標仕の簡易気密型ドアセットとする。
8）　鋼製扉は、ドア厚40mm以上とし、鋼製軽量建具は、ドア厚35mm以上とする。
9）　厨房、浴室、プール等の水がかり部のＳＤ、ＬＳＤ扉枠及び三方枠特記なき限りＳＵＳ（2-ASE）
　　とする。
１０）　外部に面するＳＤの取ら枠は特記なき限りＳＵＳ（2-ASE）とする。
１１）　鋼製建具の開き戸・引き戸の枠には戸当りゴムを取付ける。
１２）　上部に庇のない外部扉は、上枠に水切金物（ＳＵＳ３０４ t=1.5 出寸法30mm程度）を取付ける。
１３）　鋼製軽量扉及び外部鋼製扉の小口包みは表面材を曲げこむ。
１４）　建具下部スチールプレートに糸面取りをする。
１５）　引き戸・開き戸には指詰め防止機構を装備すること。
１６）　ステンレス製建具は、角出し曲げ加工（裏面補強）とする。
１７）　防火区画上のガラリにはＦＤを設置すること。
１８）　外部に面する又は水がかり部のＳＤ及びＬＤ扉はＦＬからH=300までの範囲をＳＵＳ（2-ASE）とし
　　その他の部位はＳＴ（2-ASE）とし、その他の部位はＳＴ（2-ASE）とする。
１９）　外部建具枠と躯体取合いシールはダブルシールとする。
２０）　建具と膳板・額縁の隙間には結露防止断熱材を入れること。

4．建具用金物共通事項

1）　アルミニウム製建具の建具金物は下記を取り付ける。

開閉方式	支持金物	錠	その他
引違い窓	戸車およびレール	レバーハンドル型クレセント	引手、進入口は進入口用クレセント
片引き窓	戸車およびレール	レバーハンドル型クレセント 引き寄せハンドル	ストッパー、引手、進入口は進入口用クレセント
片開き窓	丁番	引き寄せハンドル	突出し棒、開き位置調整器、アームストッパー
すべり出し窓	横すべり出しピポット 縦すべり出しピポット	引き寄せハンドル	開き位置調整器、アームストッパー
回転窓	横軸・縦軸	トップラッチ	フック棒、角度調整器、進入口は内外ハンドル

2）　鋼製・ＳＵＳ製扉の建具金物は下記を取り付ける。

基本性能・開閉方式	支持金物	錠	付属金物
外部：片開き戸	丁番（ＳＵＳ）	シリンダー箱状 本締り錠	レバーハンドル、ドアクローザー、戸当り・あおり止め
外部：両開き戸	丁番（ＳＵＳ）	シリンダー箱状 本締り錠	レバーハンドル、ドアクローザー、フランス落し 戸当り・あおり止め
内部：片開き戸	丁番（ＳＵＳ） 型枠付ピボットヒンジ フロアーヒンジ	シリンダー箱状 本締り錠	レバーハンドル、ドアクローザー、戸当り
内部：両開き戸	丁番（ＳＵＳ） 型枠付ピボットヒンジ フロアーヒンジ	シリンダー箱状 本締り錠	レバーハンドル、ドアクローザー、フランス落し 戸当り
引戸	ハンガーレール ハンガーローラー	引戸用錠	引手、フレ止めローラー、戸当り、引戸クローザー （電気式、空気圧式、油圧式）、自閉式上吊り 引戸、制御センサー、戸当りブロック
気密・遮音扉	丁番（ＳＵＳ）	シリンダー掘込箱錠 グレモン錠	ドアクローザー、フランス落し、戸当り
壁埋込型防火戸	軸吊型オートヒンジ	―	ケースハンドルまたは掘込引手 戸袋保持金物（マグホールド、電磁ホールド）
壁埋込型防火折戸	軸吊型オートヒンジ フロアーヒンジ	―	折戸保持装置（ドアキャッチ）、ケースハンドル または掘込引手、フランス落し、戸袋保持金物 （マグホールド、電磁ホールド）
トイレブース扉	ラバトリーヒンジ グラビティヒンジ	リムボルト ストライクボルト	ハンガー付戸当り、押板・引手
点検口	中心吊 スプリングヒンジ	点検錠	ケースハンドルまたは掘込引手 アームストッパー、鎖

3）　レバーハンドルは、ＳＵＳ　ＨＬとする。
　　レバーハンドル７５mm程度とする。
4）　引手の長さは、特記による。Ｌ≧１８００の場合はユニオン　Ｔ２０８１相当品。
　　特記によるＬ＝７００の場合はユニオン　Ｔ３３２１相当品。
　　木製建具・軽量建具引戸にはユニオン　Ｇ２０９６相当品とする。
5）　シリンダー箱錠は、室内側：サムターン、廊下側：シリンダー錠とする。
6）　電気錠の場合、１次側のカードリーダー及び配線工事は電気工事、２次側の電気錠及び通電丁番は
　　建築工事とする。
7）　防火・防煙区画の両開き扉は、２枚ともドアクローザー付とし、枠埋込型閉鎖順位調整器を設置する。
8）　防火・防煙区画の扉はストッパーなしとし、その他の扉はストッパー付とする。
9）　防火扉以外のドアクローザーは、金具の調整により、ストッパー有無の切り替え可能とする。
１０）　戸袋付防火扉は、壁又は枠への埋込型レリーズ付とする。
１１）　戸当りは、すべての扉に対し、壁又は床に取り付ける。
　　床はユニオン　ＵＴ－５０相当品、壁はＵＴ－２０相当品とする。
１２）　マスターキーはＧＭＫ付マルチマスターキーシステムとする。
１３）　換気用窓のダンパー及び操作ワイヤー・オペレーターハンドルとも隠蔽式とする。
１４）　木製建具（引戸）のハンガーレールはスガツネ　ポルタＭ６０（片引き）相当品
　　及びポルタシンクロ６０（左右引分け連動）相当品とする。

5．自動ドア開閉装置、自閉式吊引き戸装置共通事項

1）　オートドアには、天井付光線式反射スイッチを付け、天井及び庇のない箇所は無目取り付けタイプを標準と
　する。必要な場合、両引き戸に全半開機構付とする。

~~6．シャッター関係共通事項~~

1）　ガイドレールには底板をつけ、材質はＳＵＳ３０４ＨＬとする。
2）　シャッターのステンレス部材はＳＵＳ３０４ＨＬとする。
3）　電動シャッターは手動併用とする。防火・防煙シャッターは手動開閉装置付とする。
4）　電動シャッターは二重安全装置付とする。
5）　シャッターケースは表面処理亜鉛メッキ鋼板ｔ１．６以上とする。
6）　スイッチボックス類はカバーの材質をＳＵＳ３０４ＨＬとする。

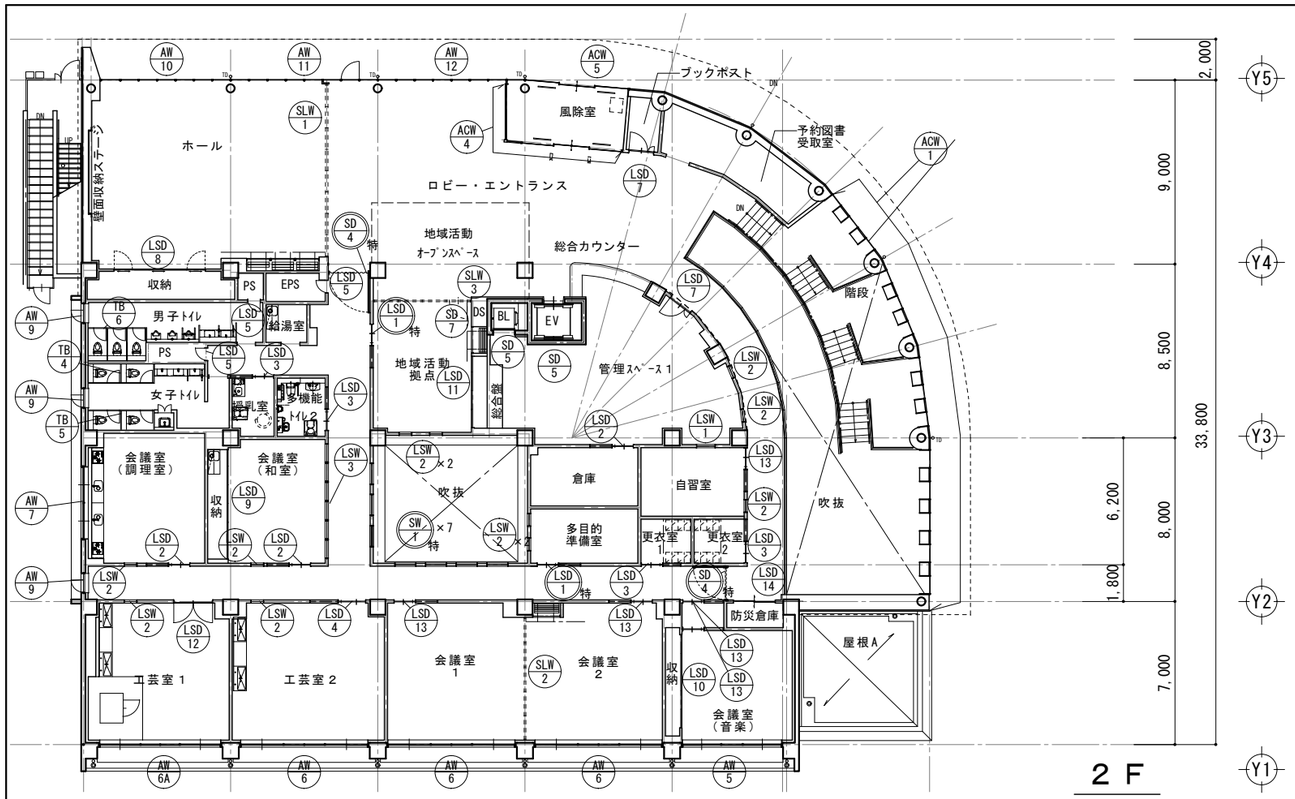
7．ガラス・ガラリ関係共通事項

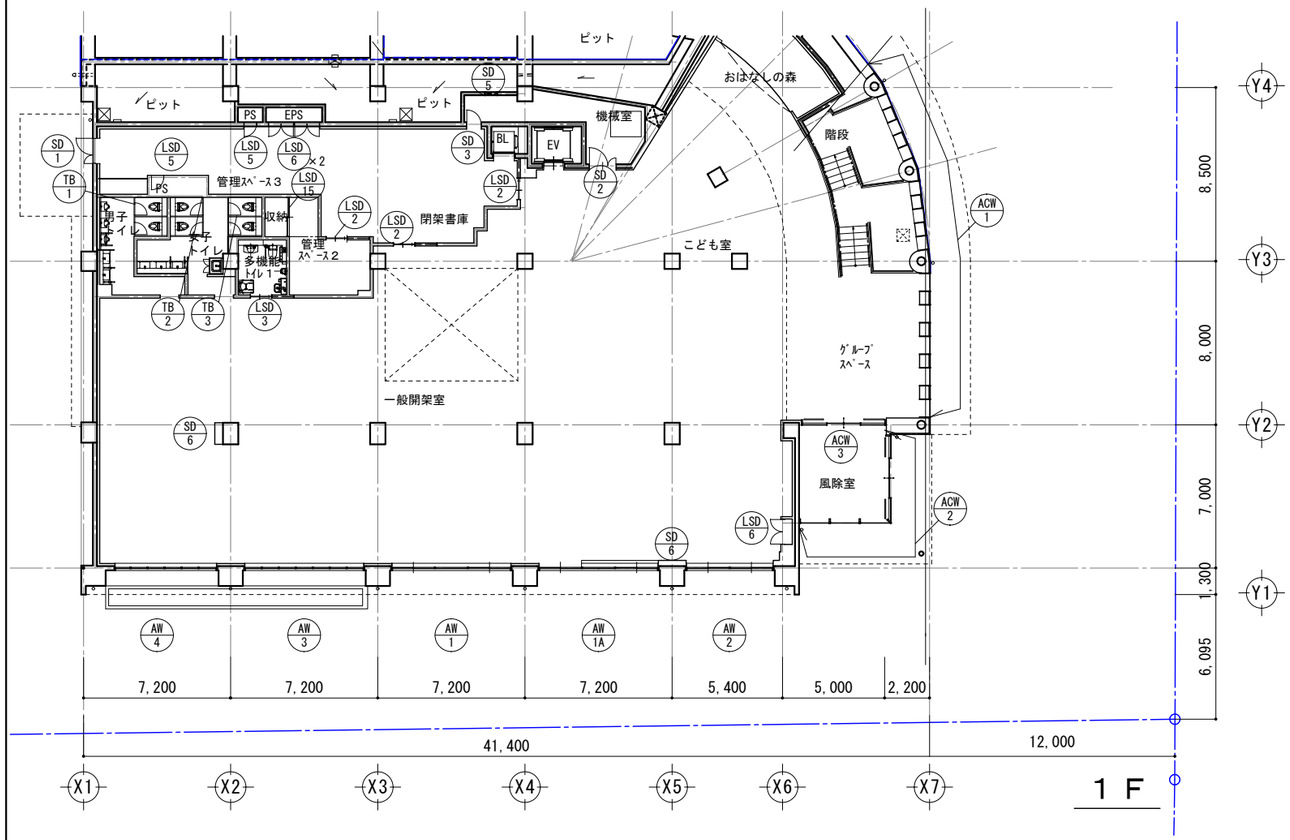
1）　網入りガラス、合わせガラスの小口処理は、１６章建具工事特記仕様書による。
2）　ガラリは、外部用：ガラリ形状１類および有効開口率３０％程度とする。
　　　　内部用：ガラリ形状２類および有効開口率５０％以内程度とする。
3）　ガラリは、枠と同材質・同仕上とする。
4）　外部に面するガラリは室内側にＳＵＳ防鳥網（１．５mm、＠１５mm）付、取外し可能とし、
　　アルミニウム製水返しを取り付ける。
5）　複層ガラスの空気層は特記なき場合は、６mmとする。

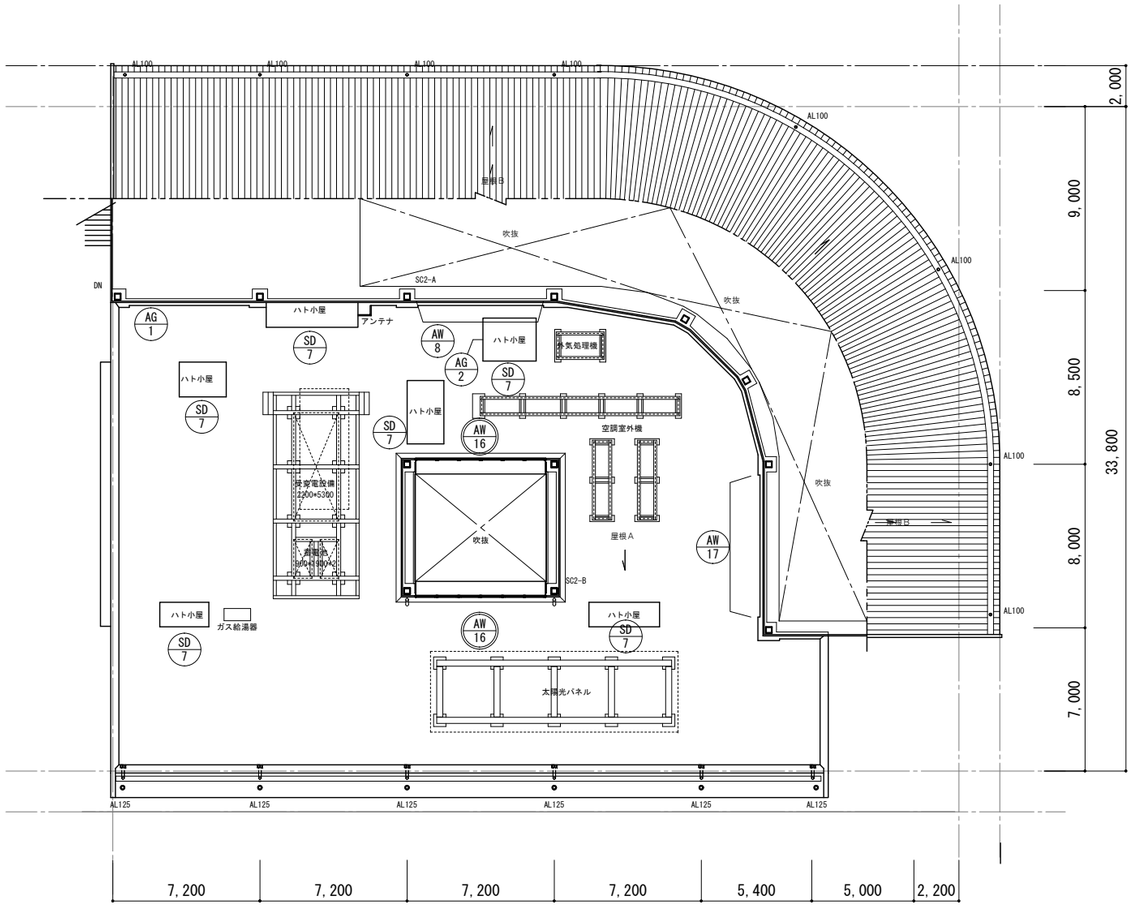
8．その他共通事項

1）　襖及び障子の敷居は敷居すべり付とする。
2）　襖の仕上は新鳥の子（和室側）・雲花紙（押入側）とし、枠は木枠にカシュ―樹脂塗料塗りとする。
3）　可動式防煙たれ壁はロール式とする。
4）　木製建具木部は全て塗装仕上とし、特記なき限りＯＳとする。
5）　扉開口はアクリル又はＦＬ４とする。
6）　便所の錠・扉・引き戸は表示錠付とする。
7）　便所・更衣室への取付ガラス面は全て乳白色フィルム取付とする。

9．防犯建物部品







SD ** 特 ：特定防火設備　　AW ** ：防火設備

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名	建具キープラン	縮尺 1：100	図面番号 A－056
		特記事項	特記事項	特記事項				

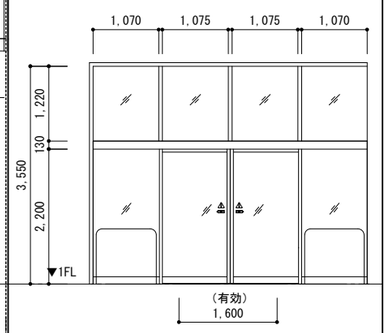
建具表

符号・名称・性能	ACW 1	カーテンウォール

姿図

取付階・室名・箇所数		1F・2F	ステップラウンジ・ロビー・風除室	1
見込	額縁・見込	70	額縁：スチール DP、見込：200	
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）	
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）		
附属金物		水切り・付属金物一式		
備考		サッシは段積みとし、躯体で固定するものとする		

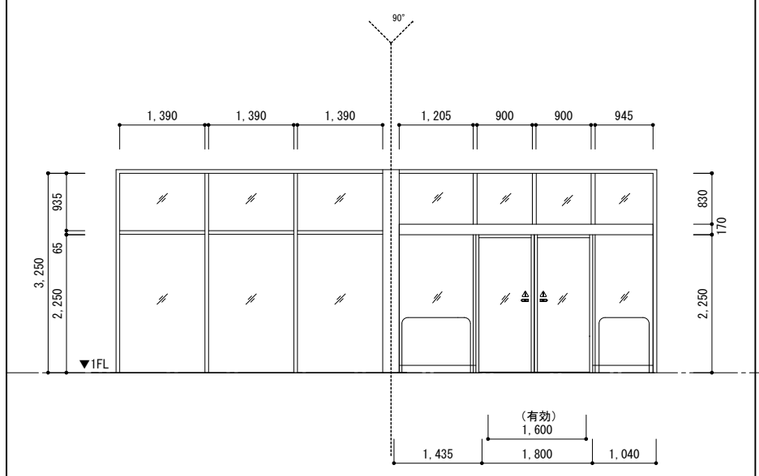
符号・名称・性能	ACW 3	カーテンウォール+自動ドア



取付階・室名・箇所数		1F	風除室	1
見込	額縁・見込	70	額縁：スチール DP、見込：200	
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）	
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）		
附属金物		自動ドア：タッチセンサー・赤外線センサー（両側） シリンダー錠、衝突防止シール付、付属金物一式		
備考		防護柵、 アルミ製方立 D150		

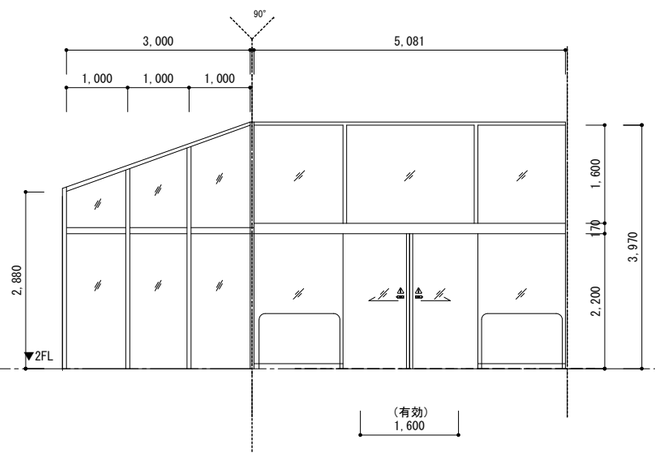
符号・名称・性能	ACW 2	カーテンウォール+自動ドア

姿図



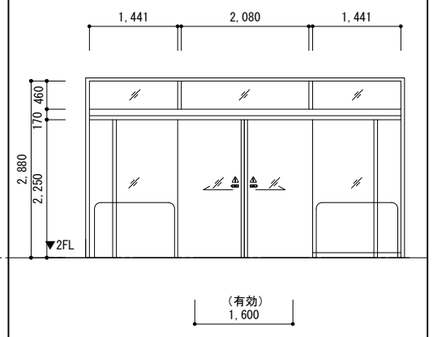
取付階・室名・箇所数		1F	風除室	1
見込	額縁・見込	70	額縁：スチール DP、見込：200	
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）	
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）		
附属金物		自動ドア：タッチセンサー・赤外線センサー（両側） シリンダー錠、衝突防止シール付、付属金物一式		
備考		防護柵、 アルミ製方立 D150		

符号・名称・性能	ACW 4	自動ドア+FIX窓



取付階・室名・箇所数		2F	風除室	1
見込	額縁・見込	70	額縁：スチール DP、見込：200	
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）	
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）		
附属金物		自動ドア：タッチセンサー・赤外線センサー（両側） シリンダー錠、衝突防止シール付、付属金物一式		
備考		防護柵、 アルミ製方立 D150		

符号・名称・性能	ACW 5	カーテンウォール+自動ドア



取付階・室名・箇所数		2F	風除室	1
見込	額縁・見込	70	額縁：スチール DP、見込：200	
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）	
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）		
附属金物		自動ドア：タッチセンサー・赤外線センサー（両側） シリンダー錠、衝突防止シール付、付属金物一式		
備考		防護柵、 アルミ製方立 D150		

●ガラス記号凡例

ＦＬＧ　：フロートガラス
ＦＧ　：型板ガラス
ＦＷＧ　：網入型板ガラス
ＰＷＧ　：網入みがきガラス
ＴＧ　：強化ガラス
ＴＧ（型）：型板強化ガラス
ＦＲＧ　：耐熱強化ガラス（網なし）
ＨＧ　：熱線吸収ガラス
ＲＧ　：熱線反射ガラス
ＤＧ（　）：複層ガラス（A:空気層）
ＬＧ（　）：合わせガラス
ＧＢ　：ガラスブロック

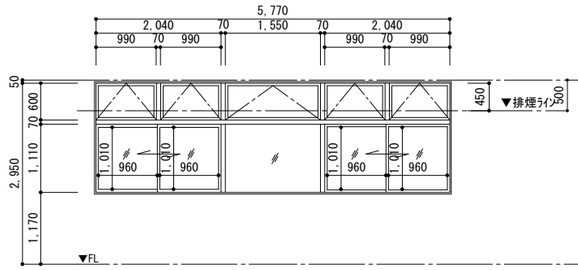
Ｌｏｗ－Ｅ：低放射複層ガラス
Ｌｏｗ－Ｅガラスは外側とする
複層ガラスは日射遮蔽型とする

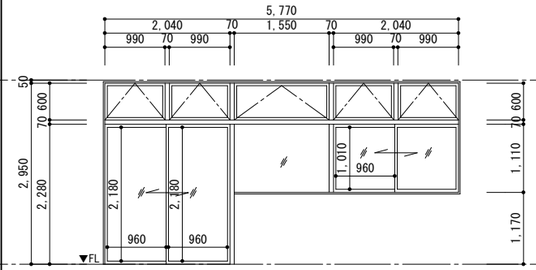
●特記

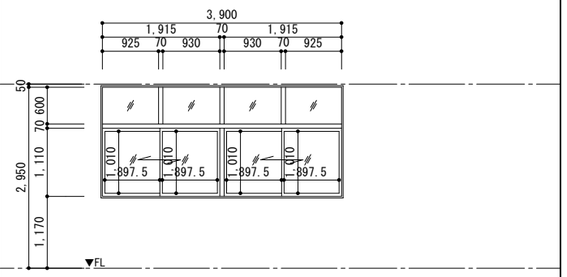
※排煙・採光用有効寸法は（　）とする。
※網戸はサランネットとする。
※木製額縁はタモ集成材t240SCLとする。
※排煙有効開口部のクレセント、ハンドルの取付高さはFL+1400とする。

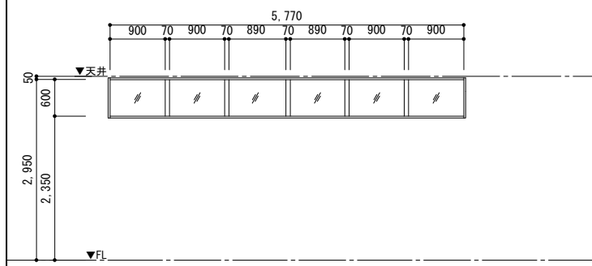
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	図面名	建具表－1	縮尺	1：100	図面番号	A－ 057
			特記事項	特記事項	特記事項						

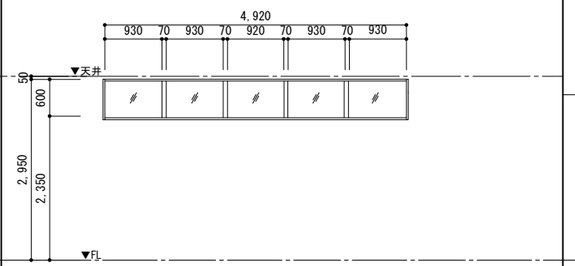
建具表

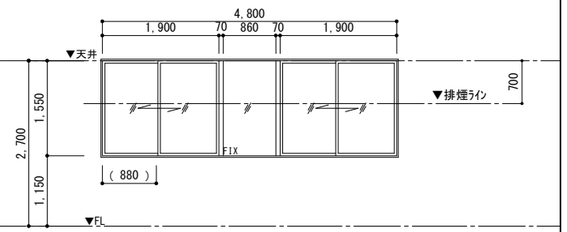
符号・名称・性能	AW 1	引違窓・FIX窓・突出し排煙窓		
姿図				
取付階・室名・箇所数	1F	一般開架室	1	
見込	額縁・見込	70	額縁：木製、見込：185	
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）	
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）		
附属金物		水切り・網戸・排煙オペレーター・付属金物一式		
備考				

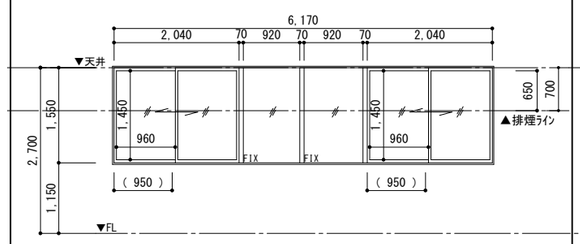
符号・名称・性能	AW 1A	掃き出し窓・引違窓・突出し排煙窓		
姿図				
取付階・室名・箇所数	1F	一般開架室	1	
見込	額縁・見込	70	額縁：木製、見込：185	
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）	
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）		
附属金物		取り外しクレセント（掃き出し窓）・水切り・網戸・排煙オペレーター・付属金物一式		
備考				

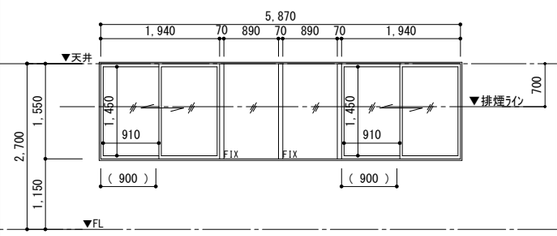
符号・名称・性能	AW 2	引違窓・FIX窓		
姿図				
取付階・室名・箇所数	1F	一般開架室	1	
見込	額縁・見込	70	額縁：木製、見込：185	
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）	
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）		
附属金物		水切り・網戸・付属金物一式		
備考				

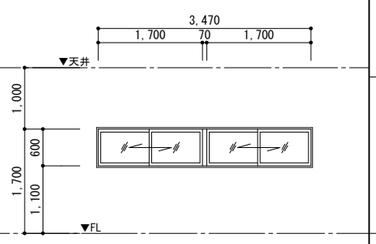
符号・名称・性能	AW 3	FIX窓		
姿図				
取付階・室名・箇所数	1F	一般開架室	1	
見込	額縁・見込	70	額縁：木製、見込：185	
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）	
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）		
附属金物		水切り・付属金物一式		
備考				

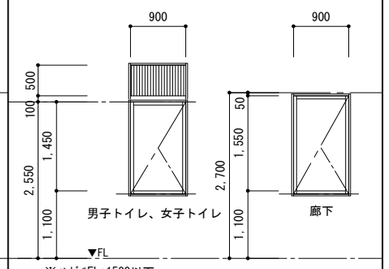
符号・名称・性能	AW 4	FIX窓		
姿図				
取付階・室名・箇所数	1F	一般開架室	1	
見込	額縁・見込	70	額縁：木製、見込：185	
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）	
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）		
附属金物		水切り・付属金物一式		
備考				

符号・名称・性能	AW 5	引違窓・FIX窓		
姿図				
取付階・室名・箇所数	2F	会議室（音楽室）	1	
見込	額縁・見込	70	額縁：木製、見込：185	
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）	
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）		
附属金物		水切り・網戸・付属金物一式		
備考				

符号・名称・性能	AW 6	引違窓・FIX窓		
姿図				
取付階・室名・箇所数	2F	会議室１・２、工芸室２	3	
見込	額縁・見込	70	額縁：木製、見込：185	
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）	
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）		
附属金物		水切り・網戸・付属金物一式		
備考				

符号・名称・性能	AW 6A	引違窓・FIX窓		
姿図				
取付階・室名・箇所数	2F	工芸室１	1	
見込	額縁・見込	70	額縁：木製、見込：185	
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）	
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）		
附属金物		水切り・網戸・付属金物一式		
備考				

符号・名称・性能	AW 7	引違窓		
姿図				
取付階・室名・箇所数	2F	会議室（調理室）	1	
見込	額縁・見込	70	額縁：木製、見込：185	
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）	
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）		
附属金物		防音サッシ・水切り・網戸・付属金物一式		
備考				

符号・名称・性能	AW 9	縦すべり・防水ガラリ		
姿図				
取付階・室名・箇所数	2F	男子トイレ、女子トイレ、廊下	3	
見込	額縁・見込	70	額縁：木製、見込：185	
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）	
ガラス種類	ガラス厚	DG（FG6.0＋A6＋Low-E5.0）		
附属金物		水切り・網戸・開口制限付・付属金物一式		
備考		羽根形状：Ｇ、ダクト枠、防虫網、開口率３５％		

●ガラス記号凡例

ＦＬＧ　：フロートガラス
ＦＧ　：型板ガラス
ＦＷＧ　：網入型板ガラス
ＰＷＧ　：網入みがきガラス
ＴＧ　：強化ガラス
ＴＧ（型）：型板強化ガラス
ＦＲＧ　：耐熱強化ガラス（網なし）
ＨＧ　：熱線吸収ガラス
ＲＧ　：熱線反射ガラス
ＤＧ（　）：複層ガラス（Ａ:空気層）
ＬＧ（　）：合わせガラス
ＧＢ　：ガラスブロック

Ｌｏｗ－Ｅ　：低放射複層ガラス
Ｌｏｗ－Ｅガラスは外側とする
複層ガラスは日射遮蔽型とする

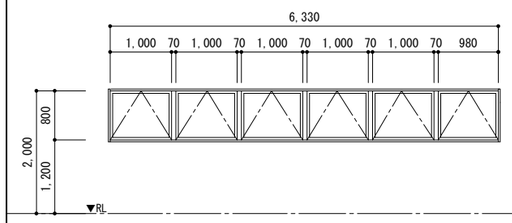
●特記

※排煙・採光用有効寸法は（　）とする。
※網戸はサランネットとする。
※木製額縁はタモ集成材t240SCLとする。
※排煙有効開口部のクレセント、ハンドルの取付高さはFL+1400とする。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	図面名	建具表－２	縮尺	1：100	図面番号	A－ 058
			特記事項	特記事項	特記事項						

建具表

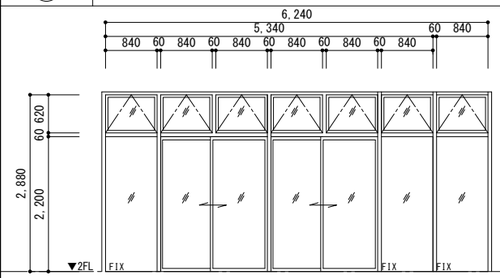
AW8 突出し排煙窓



※排煙ﾍﾞﾚｰﾀｰ FL+1500以下
※２階廊下に設置する。

取付階・室名・箇所数	RF	ロビー	1
見込	額縁・見込	70	額縁：木製、見込：150
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）	
附属金物		水切り・排煙オペレーター・付属金物一式	
備考			

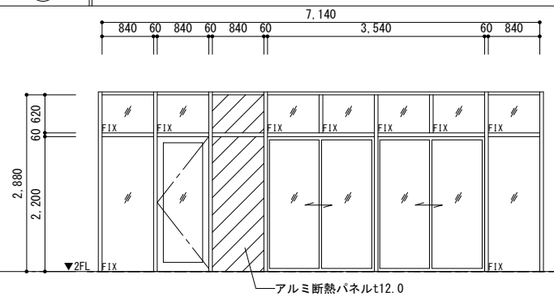
AW10 引違窓・FIX窓・突出し排煙窓



※排煙ﾍﾞﾚｰﾀｰ FL+1500以下

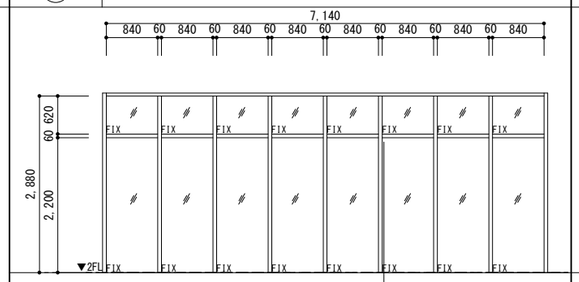
取付階・室名・箇所数	2F	ホール	1
見込	額縁・見込	70	額縁：スチール DP、見込：200
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）	
附属金物		ＳＵＳフラット水切り・排煙オペレーター・付属金物一式 衝突防止シール	
備考		アルミ製方立 見付60	

AW11 引違窓・FIX窓・開戸



取付階・室名・箇所数	2F	ロビー・ホール	1
見込	額縁・見込	70	額縁：スチール DP、見込：200
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）	
附属金物		ＳＵＳフラット水切り・電気錠・レバーハンドル・丁番 付属金物一式・衝突防止シール	
備考		アルミ製方立 見付60	

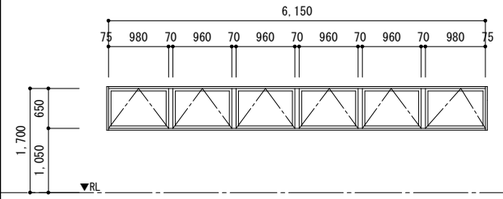
AW12 FIX窓



取付階・室名・箇所数	2F	ロビー	1
見込	額縁・見込	70	額縁：スチール DP、見込：200
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）	
附属金物		水切り・衝突防止シール・付属金物一式	
備考		アルミ製方立 見付60	

AW16 突出し排煙窓　防火設備

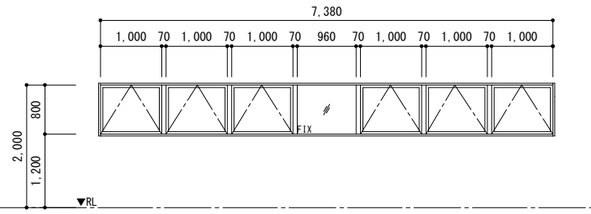
認定番号-EB-3609



※排煙ﾍﾞﾚｰﾀｰ 1FL+1500以下
※吹抜部分は受付付近に設置する。

取付階・室名・箇所数	RF	ロビー・吹き抜け部	2
見込	額縁・見込	70	額縁：木製、見込：385
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）
ガラス種類	ガラス厚	DG（Low-E5.0＋A6＋PWG6.8）日射取得型	
附属金物		水切り・排煙オペレーター・付属金物一式	
備考		防火設備連結材	

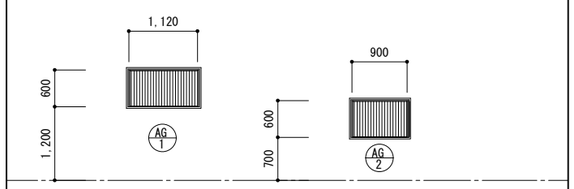
AW17 突出し排煙窓・FIX窓



※排煙ﾍﾞﾚｰﾀｰ FL+1500以下
※１階グループスペース・２階廊下に設置する。

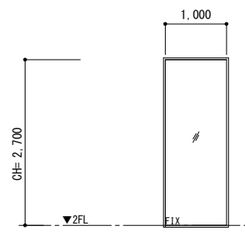
取付階・室名・箇所数	RF	ロビー	1
見込	額縁・見込	70	額縁：木製、見込：150
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色（ステン）
ガラス種類	ガラス厚	DG（FLG5.0＋A6＋Low-E5.0）	
附属金物		水切り・排煙オペレーター・付属金物一式	
備考			

AG1 AG2 防水ガラリ



取付階・室名・箇所数	RF	ホール	AG1:1/AG2:1
見込	額縁・見込	70	
建具材質	建具仕上	アルミ	電解二次着色
ガラス種類	ガラス厚	－	
附属金物		水切り・付属金物一式	
備考		羽根形状：Ｇ、ダクト枠、防虫網、開口率３５％	

SW1 特 ＦＩＸ窓　特定防火設備



取付階・室名・箇所数	2F	廊下	7
見込	額縁・見込	50	185
建具材質	建具仕上	スチール	焼付塗装
ガラス種類	ガラス厚	FRG8.0	
附属金物		付属金物一式	
備考		※グラデーションフィルム張りH900	

●ガラス記号凡例

ＦＬＧ　：フロートガラス
ＦＧ　：型板ガラス
ＦＷＧ　：網入型板ガラス
ＰＷＧ　：網入みがきガラス
ＴＧ　：強化ガラス
ＴＧ（型）：型板強化ガラス
ＦＲＧ　：耐熱強化ガラス（網なし）
ＨＧ　：熱線吸収ガラス
ＲＧ　：熱線反射ガラス
ＤＧ（　）：複層ガラス（A:空気層）
ＬＧ（　）：合わせガラス
ＧＢ　：ガラスブロック

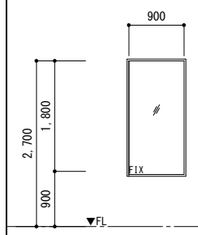
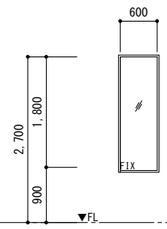
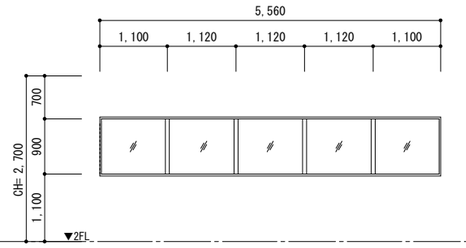
Ｌｏｗ－Ｅ：低放射複層ガラス
Ｌｏｗ－Ｅガラスは外側とする
特記なき複層ガラスは日射遮蔽型とする

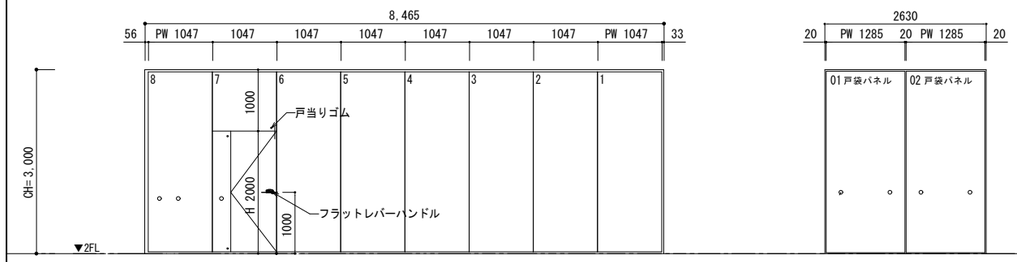
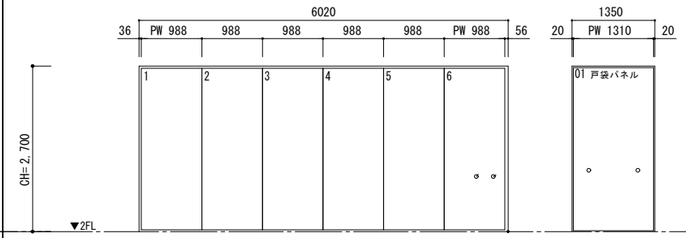
●特記

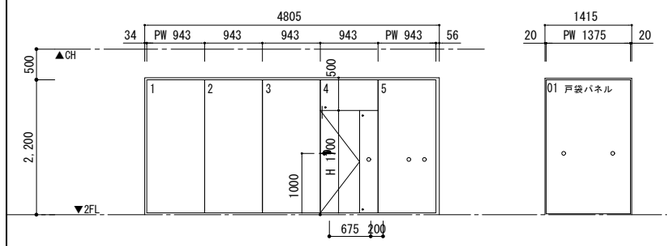
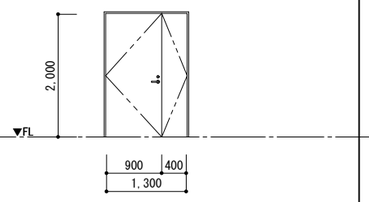
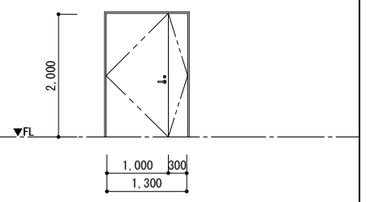
※排煙・採光用有効寸法は（　）とする。
※網戸はサランネットとする。
※木製額縁はタモ集成材t240SCLとする。
※排煙有効開口部のクレセント、ハンドルの取付高さはFL+1400とする。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	図面名	建具表-３	縮尺	1：100	図面番号	A－ 059

建具表

符号・名称・性能	LSW 1	FIX窓	LSW 2	FIX窓	LSW 3	FIX窓
姿図						
取付階・室名・箇所数	2F	管理スペース１ 1	2F	会議室（調理室・和室）、工芸室１・２・自習室 地域活動拠点・多目的準備室・管理スペース１ 11	2F	会議室（和室） 1
見込 / 額縁・見込	60 SOP	額縁なし	60 SOP	額縁なし	60 SOP	額縁なし
建具材質 / 建具仕上	スチール	SOP	スチール	SOP	スチール	SOP
ガラス種類 / ガラス厚	FLt5		FLt5		FLt5	
附属金物	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	
備考						

符号・名称・性能	SLW 1	スライディングウォール	SLW 2	スライディングウォール
姿図				
取付階・室名・箇所数	2F	ホール 1	2F	会議室１・２ 1
見込 / 額縁・見込	184		184	
建具材質 / 建具仕上	スチール	焼付塗装	スチール	焼付塗装
ガラス種類 / ガラス厚				
附属金物	ケースハンドル、付属金物一式		付属金物一式	
備考	遮音タイプ(36dB以上)		遮音タイプ(36dB以上)	

符号・名称・性能	SLW 3	スライディングウォール	SD 1	両開き扉	SD 2	両開き扉
姿図						
取付階・室名・箇所数	2F	地域活動拠点 1	1F	閉架書庫 1	1F	機械室 1
見込 / 額縁・見込	184		181		181	
建具材質 / 建具仕上	スチール	焼付塗装	スチール	SOP	スチール	SOP
ガラス種類 / ガラス厚			－		－	
附属金物	ケースハンドル、付属金物一式		レバーハンドル・丁番・沓摺・ＤＣ・フランス落とし 本締り錠・付属金物一式		グレモンハンドル・丁番・沓摺・ＤＣ・フランス落とし 本締り錠・付属金物一式	
備考	遮音タイプ(36dB以上)				遮音性T-4	

●ガラス記号凡例

ＦＬＧ　：フロートガラス
ＦＧ　：型板ガラス
ＦＷＧ　：網入型板ガラス
ＰＷＧ　：網入みがきガラス
ＴＧ　：強化ガラス
ＴＧ（型）：型板強化ガラス
ＦＲＧ　：耐熱強化ガラス（網なし）
ＨＧ　：熱線吸収ガラス
ＲＧ　：熱線反射ガラス
ＤＧ（　）：複層ガラス（A:空気層）
ＬＧ（　）：合わせガラス
ＧＢ　：ガラスブロック

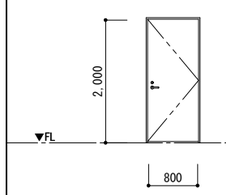
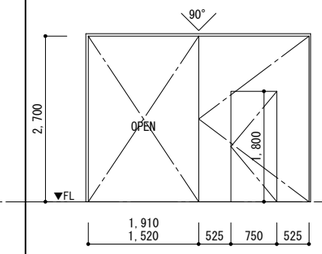
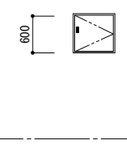
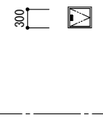
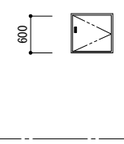
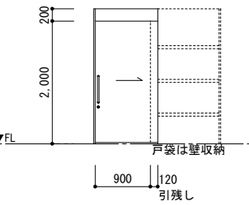
Ｌｏｗ－Ｅ：低放射複層ガラス
Ｌｏｗ－Ｅガラスは外側とする
複層ガラスは日射遮蔽型とする

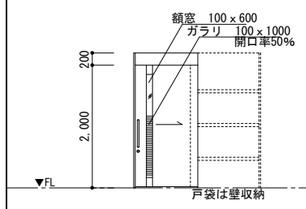
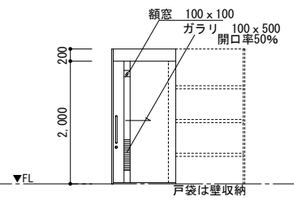
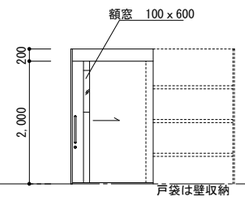
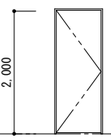
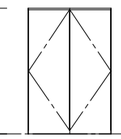
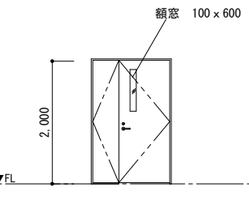
●特記

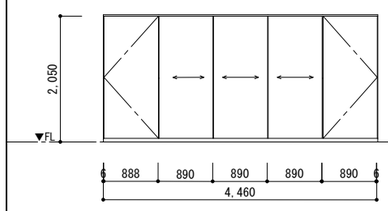
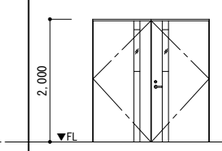
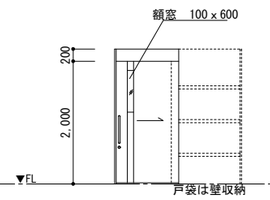
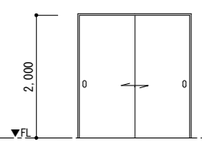
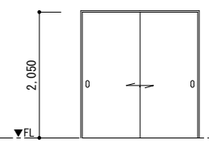
※排煙・採光用有効寸法は（　）とする。
※網戸はサランネットとする。
※木製額縁はタモ集成材t240SCLとする。
※排煙有効開口部のクレセント、ハンドルの
　取付高さはFL+1400とする。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	建具表－４	縮尺	1：100	図面番号	A－ 060
			特記事項		特記事項		特記事項							

建具表

符号・名称・性能	SD 3	片開き扉	SD 4 特	常時開放防火扉（潜り戸付） 特定防火設備 CAS-0257	SD 5	片開き扉	SD 6	片開き扉	SD 7	片開き扉	LSD 1 特	自閉式片引き吊り扉 特定防火設備 EA-0352
姿図												
取付階・室名・箇所数	1F	機械室 1	2F	共用廊下2 2	1F・2F	機械室 管理スペース１ 3	1F	PS 2	1F・RF	ＤＳ・ハト小屋 7	2F	多目的準備室 地域活動拠点 2
見込	額縁・見込	181 SOP		180 SOP		181 SOP		181 SOP		181 SOP		181 170
建具材質	建具仕上	スチール	SOP	スチール	SOP	スチール	SOP	スチール	SOP	スチール	DP	スチール 装飾用塩ビシート
ガラス種類	ガラス厚	－				－		－		－		FRG8.0
附属金物		グレモンハンドル・丁番・沓摺・ＤＣ・付属金物一式 本締り錠		煙感連動閉鎖・付属金物一式		平面ﾊﾝﾄﾞﾙ錠・付属金物一式 鍵：タキゲン		平面ﾊﾝﾄﾞﾙ錠・付属金物一式 鍵：タキゲン		平面ﾊﾝﾄﾞﾙ錠・付属金物一式 鍵：タキゲン		引き棒・ハンガーレール・両面ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠・付属金物一式
備考		遮音性T-4										

符号・名称・性能	LSD 2	自閉式片引き吊り扉	LSD 3	自閉式片引き吊り扉	LSD 4	自閉式片引き吊り扉	LSD 5	片開き扉	LSD 6	点検扉	LSD 7	親子開き扉
姿図												
取付階・室名・箇所数	1F・2F	閉架書庫、倉庫 会議室（和室、調理室） 6	1F・2F	多機能トイレ１・２、授乳室 更衣室１・２ 5	2F	工芸室２ 1	1F・2F	ＰＳ・ＥＰＳ 5	1F	ＥＰＳ・収納 4	2F	管理スペース２・ブックポスト 2
見込	額縁・見込	181 SOP		160 SOP		181 SOP		160 SOP		164 SOP		160 SOP
建具材質	建具仕上	スチール	装飾用塩ビシート	スチール	装飾用塩ビシート	スチール	装飾用塩ビシート	スチール	SOP	スチール	装飾用塩ビシート	スチール 装飾用塩ビシート
ガラス種類	ガラス厚	FLG5		FG4		FLG5		－				FLG5
附属金物		引き棒・ハンガーレール・付属金物一式 鎌錠		引き棒・ハンガーレール・付属金物一式 表示錠・鎌錠		引き棒・ハンガーレール・付属金物一式 鎌錠		ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ錠・ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ・ﾌﾗﾝｽ落し・付属金物一式		ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ錠・ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ・ﾌﾗﾝｽ落し・付属金物一式		レバーハンドル・丁番・沓摺・ＤＣ・付属金物一式 本締り錠
備考		ストップ機能付		ストップ機能付		ストップ機能付						

符号・名称・性能	LSD 8	スライド扉	LSD 12	自閉式片引き吊り扉	LSD 13	自閉式片引き吊り扉	LSD 14	引違い戸	LSD 15	引違い戸
姿図										
取付階・室名・箇所数	2F	ホール 1	2F	工芸室１ 1	2F	会議室１・２、音楽室、自習室 5	2F	防災倉庫 1	1F	管理スペース２ 1
見込	額縁・見込	180		181		164		164		180
建具材質	建具仕上	スチール	焼付塗装	スチール	装飾用塩ビシート	スチール	装飾用塩ビシート	スチール	SOP	スチール SOP
ガラス種類	ガラス厚			FLG5		FLG5		－		
附属金物		台座ﾚｰﾙ・ｽﾘｯﾄｷｰ・隠し丁番・戸当り・付属金物一式		レバーハンドル・丁番・沓摺・ＤＣ・付属金物一式 本締り錠		引き棒・ハンガーレール・付属金物一式 鎌錠		堀込み引き手・戸車レール・付属金物一式 空錠		堀込み引き手・戸車レール・付属金物一式 空錠
備考				遮音性T-2		ストップ機能付 遮音性T-2				

●ガラス記号凡例

ＦＬＧ　：フロートガラス
ＦＧ　：型板ガラス
ＦＷＧ　：網入型板ガラス
ＰＷＧ　：網入みがきガラス
ＴＧ　：強化ガラス
ＴＧ（型）：型板強化ガラス
ＦＲＧ　：耐熱強化ガラス（網なし）
ＨＧ　：熱線吸収ガラス
ＲＧ　：熱線反射ガラス
ＤＧ（　）：複層ガラス（A:空気層）
ＬＧ（　）：合わせガラス
ＧＢ　：ガラスブロック

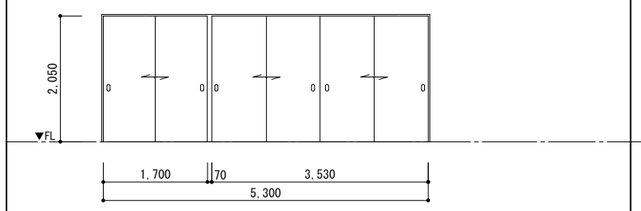
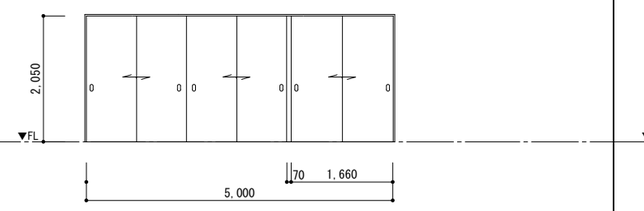
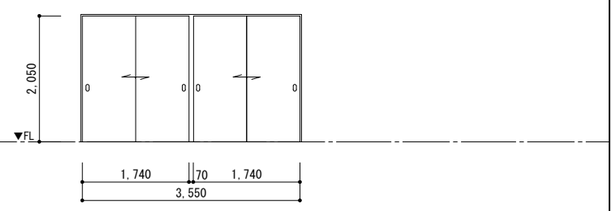
Ｌｏｗ－Ｅ：低放射複層ガラス
Ｌｏｗ－Ｅガラスは外側とする
複層ガラスは日射遮蔽型とする

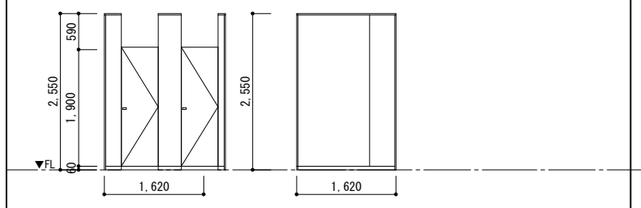
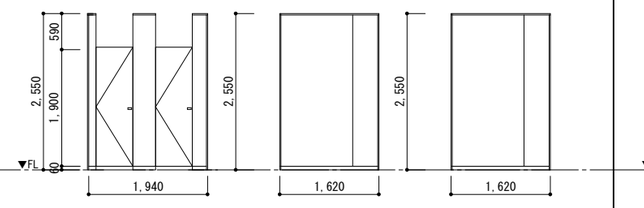
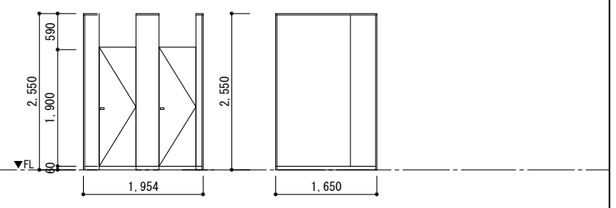
●特記

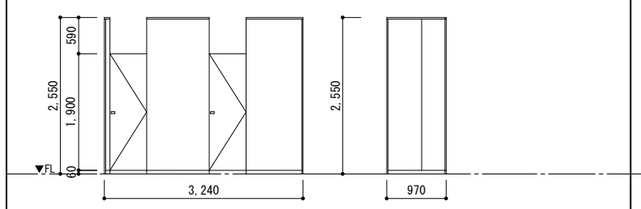
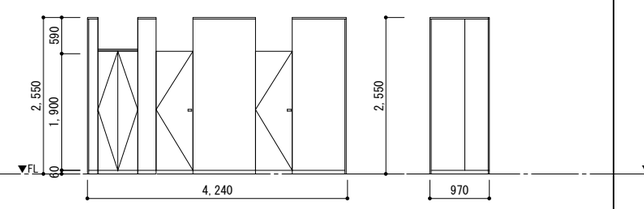
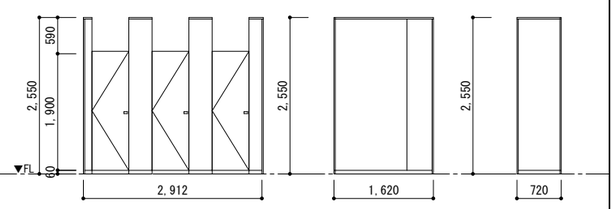
※排煙・採光用有効寸法は（　）とする。
※網戸はサランネットとする。
※木製額縁はタモ集成材t240SCLとする。
※排煙有効開口部のクレセント、ハンドルの取付高さはFL+1400とする。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	図面名	建具表－5	縮尺	1：100	図面番号	A－ 061
			特記事項	特記事項	特記事項						

建具表

符号・名称・性能	LSD 9	引違い+引き分け戸			LSD 10	引違い+引き分け戸			LSD 11	引違い戸		
姿図												
取付階・室名・箇所数	2F	会議室（和室）	1		2F	会議室（音楽室）	1		2F	地域活動拠点	1	
見込 / 額縁・見込	180				180				180			
建具材質 / 建具仕上	スチール	焼付塗装			スチール	焼付塗装			スチール	焼付塗装		
ガラス種類 / ガラス厚												
附属金物	堀込み引き手・戸車レール・付属金物一式 空錠				堀込み引き手・戸車レール・付属金物一式 空錠				堀込み引き手・戸車レール・付属金物一式 空錠			
備考												

符号・名称・性能	TB 1	トイレブース			TB 2	トイレブース			TB 3	トイレブース		
姿図												
取付階・室名・箇所数	1	男子トイレ	1		1F	女子トイレ	1		1F	女子トイレ	1	
見込 / 額縁・見込												
建具材質 / 建具仕上	高圧メラミン化粧板（芯材ペーパーコア）				高圧メラミン化粧板（芯材ペーパーコア）				高圧メラミン化粧板（芯材ペーパーコア）			
ガラス種類 / ガラス厚												
附属金物	SUS巾木、表示錠（非常時開錠）、戸当り帽子掛け				SUS巾木、表示錠（非常時開錠）、戸当り帽子掛け				SUS巾木、表示錠（非常時開錠）、戸当り帽子掛け			
備考	非常時外開き、Rコーナー				非常時外開き、Rコーナー				非常時外開き、Rコーナー			

符号・名称・性能	TB 4	トイレブース			TB 5	トイレブース			TB 6	トイレブース		
姿図												
取付階・室名・箇所数	2F	女子トイレ	1		2F	女子トイレ	1		2F	男子トイレ	1	
見込 / 額縁・見込												
建具材質 / 建具仕上	高圧メラミン化粧板（芯材ペーパーコア）				高圧メラミン化粧板（芯材ペーパーコア）				高圧メラミン化粧板（芯材ペーパーコア）			
ガラス種類 / ガラス厚												
附属金物	SUS巾木、表示錠（非常時開錠）、戸当り帽子掛け				SUS巾木、表示錠（非常時開錠）、戸当り帽子掛け				SUS巾木、表示錠（非常時開錠）、戸当り帽子掛け			
備考	非常時外開き、Rコーナー				非常時外開き、Rコーナー				非常時外開き、Rコーナー			

●ガラス記号凡例

ＦＬＧ　：フロートガラス
ＦＧ　：型板ガラス
ＦＷＧ　：網入型板ガラス
ＰＷＧ　：網入みがきガラス
ＴＧ　：強化ガラス
ＴＧ（型）：型板強化ガラス
ＦＲＧ　：耐熱強化ガラス（網なし）
ＨＧ　：熱線吸収ガラス
ＲＧ　：熱線反射ガラス
ＤＧ（　）：複層ガラス（A:空気層）
ＬＧ（　）：合わせガラス
ＧＢ　：ガラスブロック

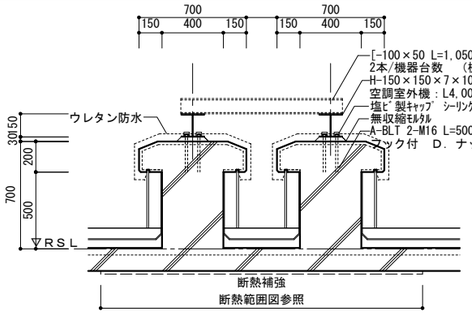
Ｌｏｗ－Ｅ：低放射複層ガラス
Ｌｏｗ－Ｅガラスは外側とする
複層ガラスは日射遮蔽型とする

●特記

※排煙・採光用有効寸法は（　）とする。
※網戸はサランネットとする。
※木製額縁はタモ集成材t240SCLとする。
※排煙有効開口部のクレセント、ハンドルの取付高さはFL+1400とする。

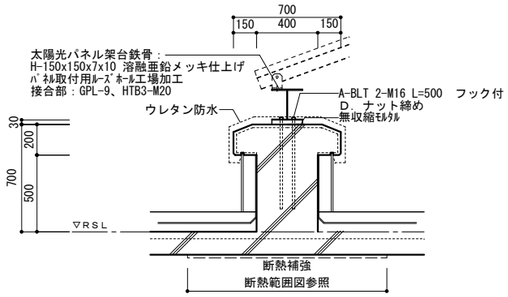
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	建具表-6	縮尺	1：100	図面番号	A－062
			特記事項		特記事項		特記事項							

㋐ 屋上設備基礎（空調室外機・外気処理機） A3:S=1/40



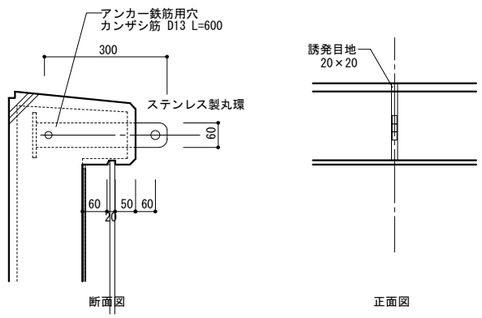
※スチール部材はすべてさび止め塗装の上DP1級

㋑ 太陽光設備基礎 A3:S=1/40

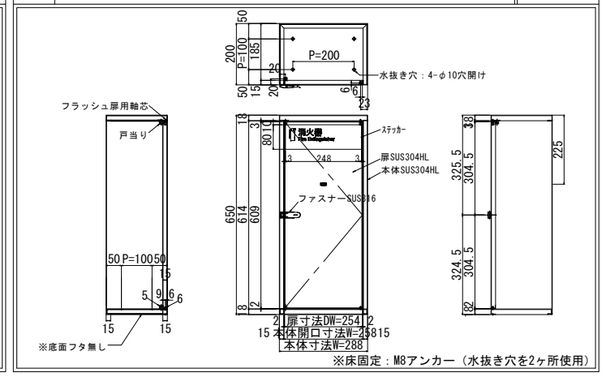


※スチール部材はすべてさび止め塗装の上DP1級
※孔の位置、サイズは太陽光発電設備工事施工者と調整をすること。

㋒ メンテナンス金物詳細図 A3:S=1/15

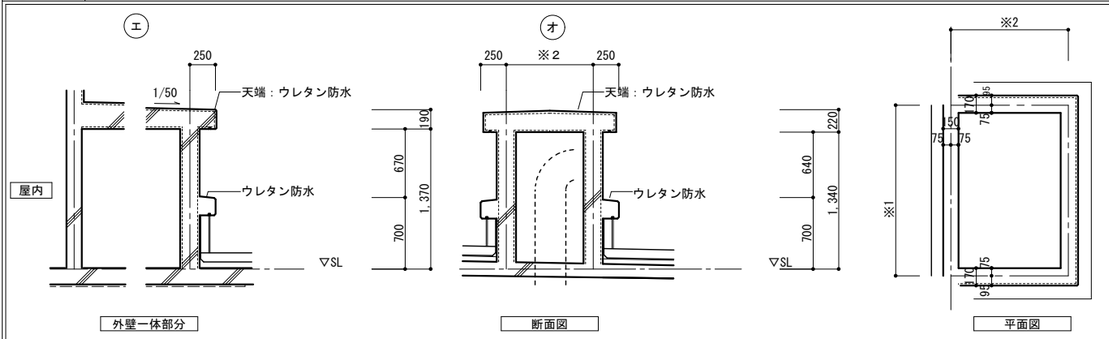


消火器BOX（屋外用） A3:S=1/20



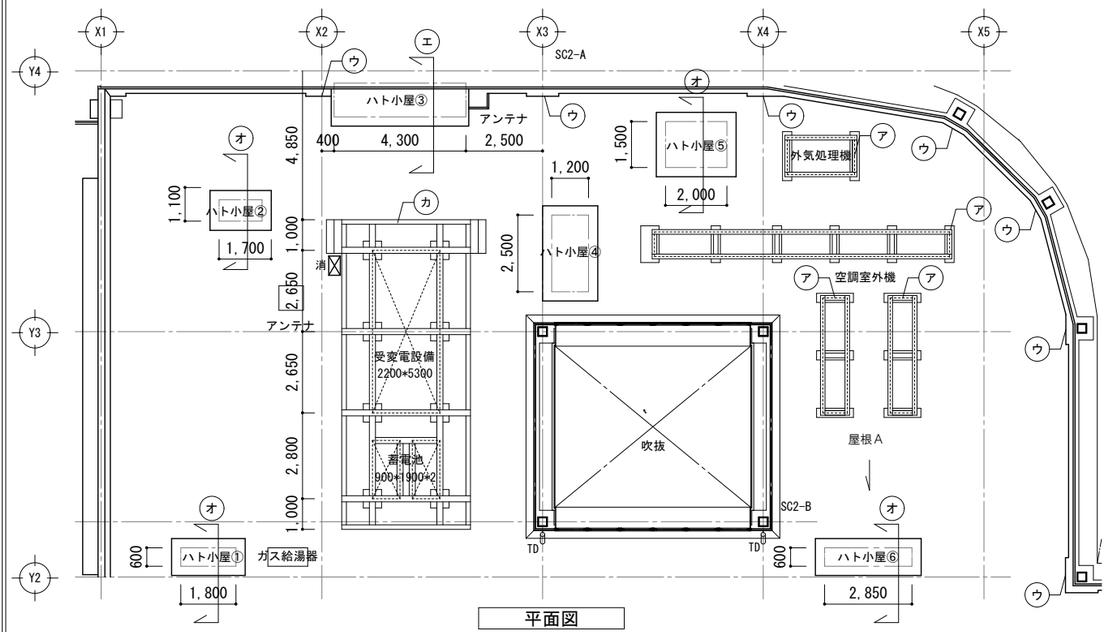
※床固定：M8アンカー（水抜き穴を2ヶ所使用）

㋓ ㋔ ハト小屋詳細図 A3:S=1/60



位置	幅（※1）	奥行（※2）
ハト小屋①	1800	600
ハト小屋②	1700	1100
ハト小屋③	4300	1100

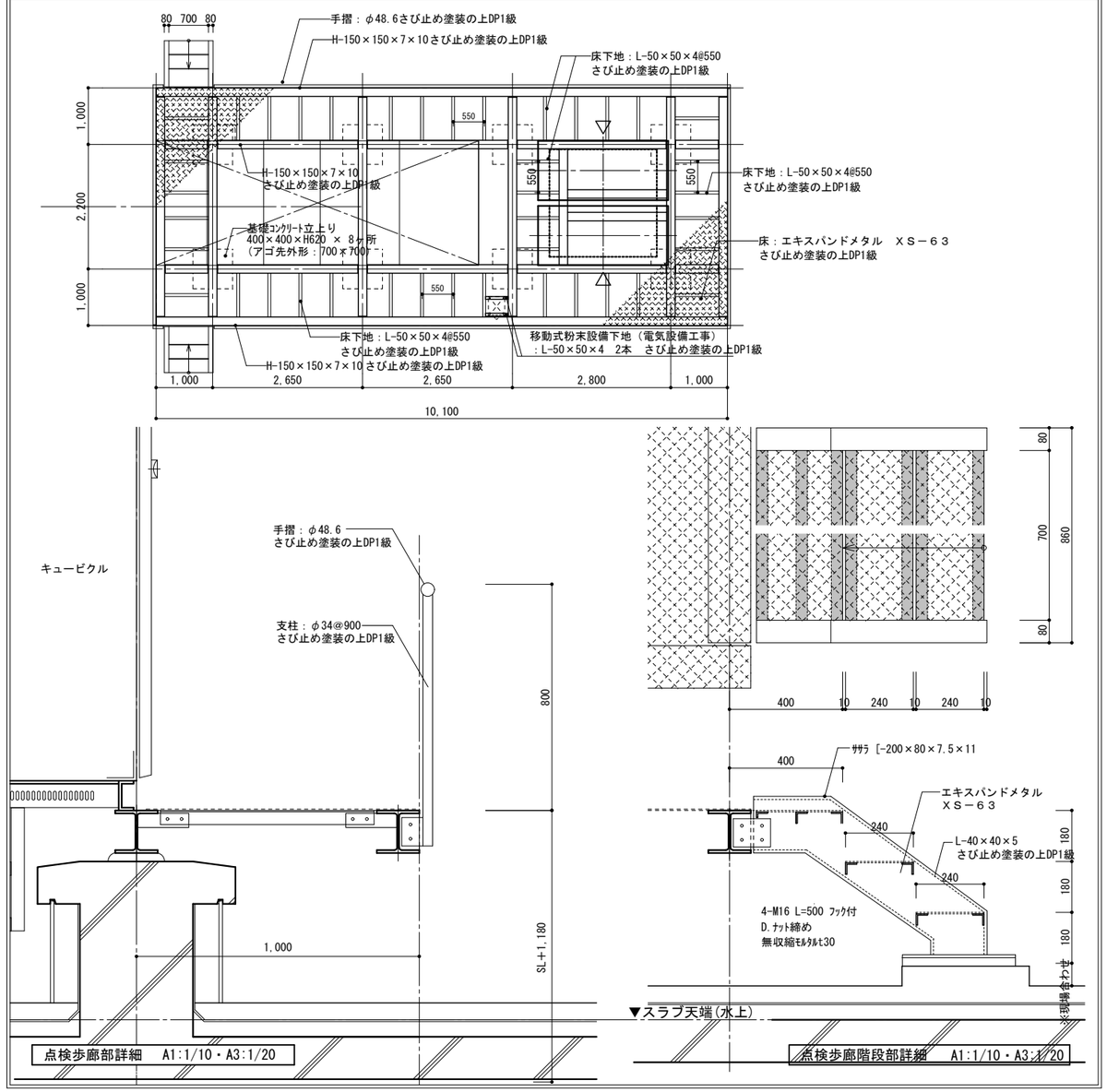
位置	幅（※1）	奥行（※2）
ハト小屋④	2500	1200
ハト小屋⑤	2000	1500
ハト小屋⑥	2850	600



平面図
A3:S=1/200

㋑ 太陽光設備設置エリア

㋕ 屋上キュービクル点検用歩廊 A3:S=1/40

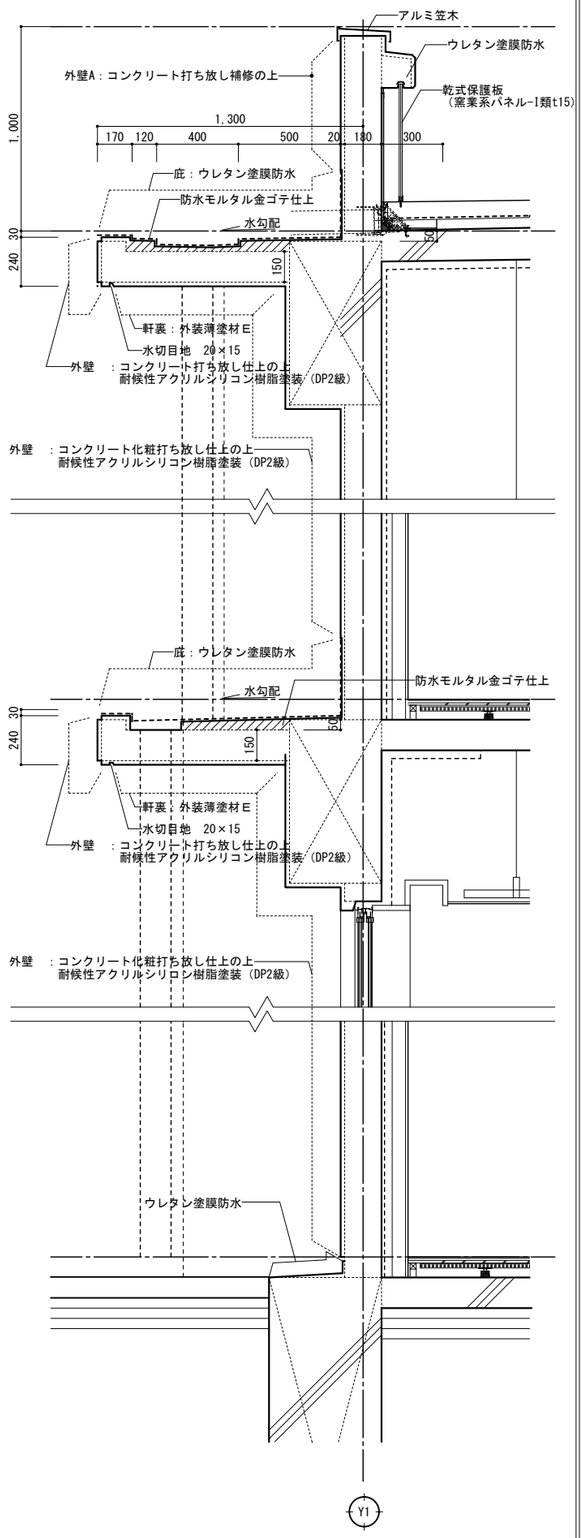


点検歩廊部詳細 A1:1/10・A3:1/20

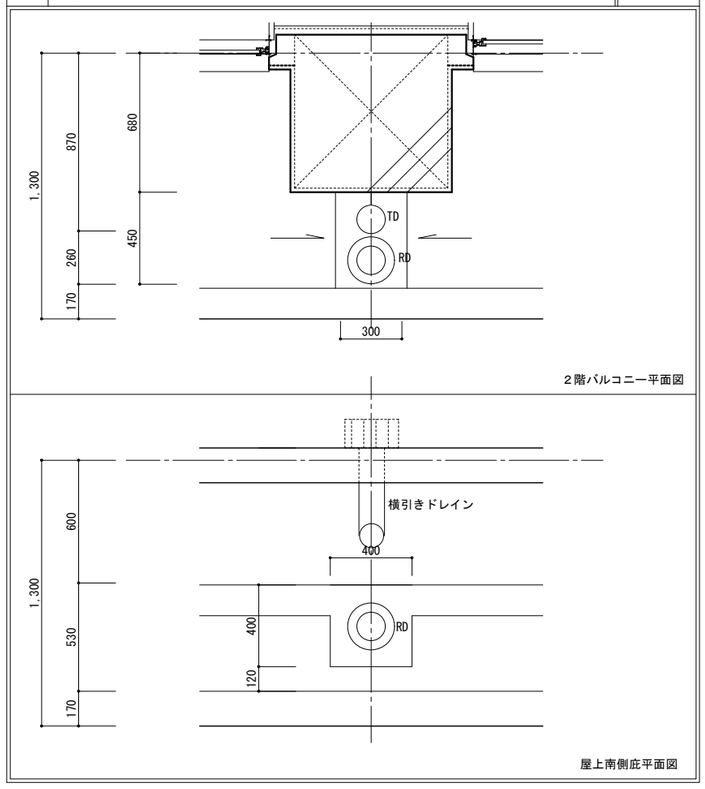
点検歩廊階段部詳細 A1:1/10・A3:1/20

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	部分詳細図ー１	縮尺	図示	図面番号 A－ 063

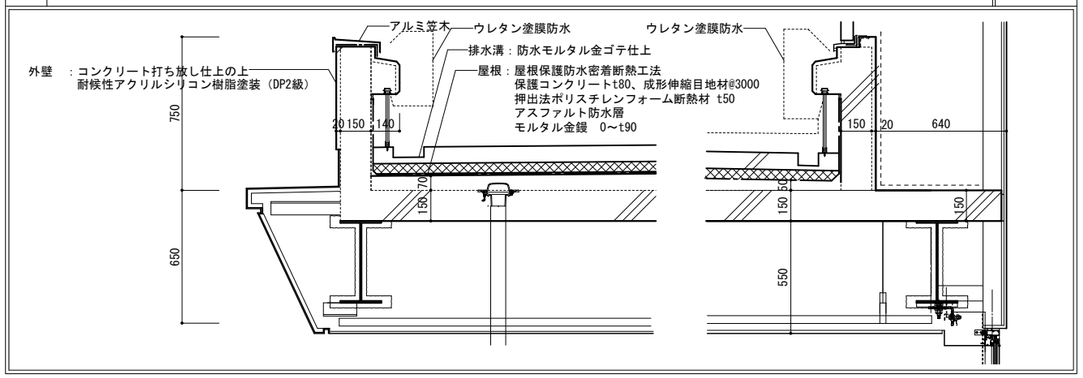
パラペット・庇詳細図　A3:S=1/40



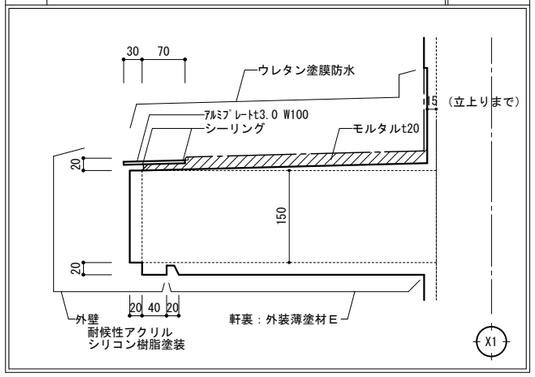
南側庇・バルコニー詳細図　A3:S=1/10



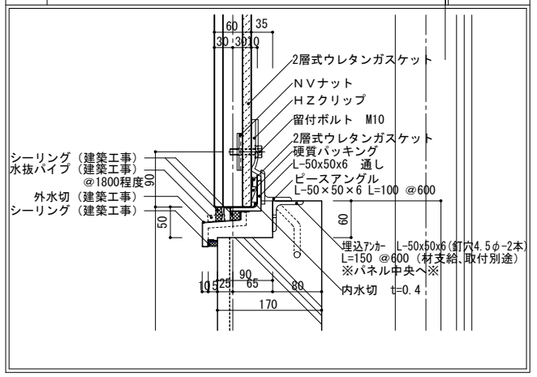
1階風除室パラペット詳細図　A3:S=1/10



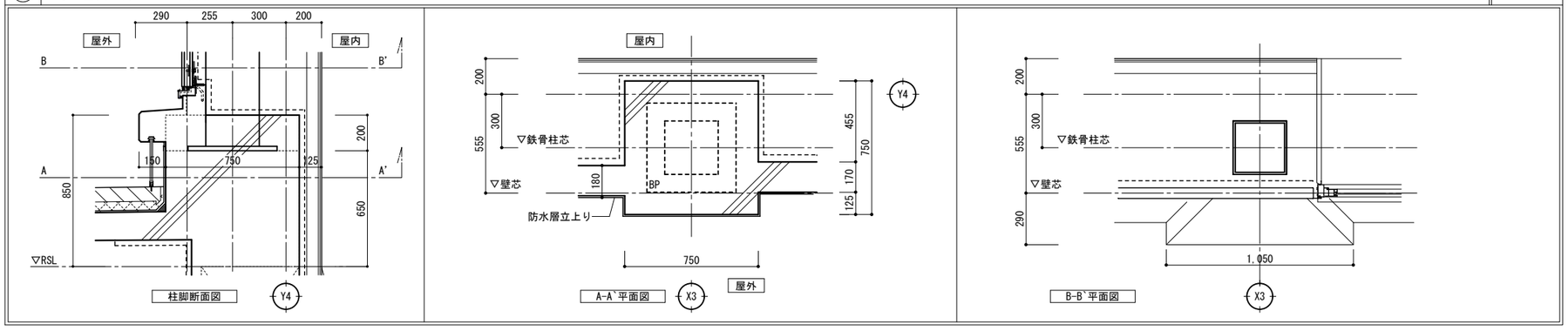
X1通りコンクリート小庇詳細図　A3:S=1/10



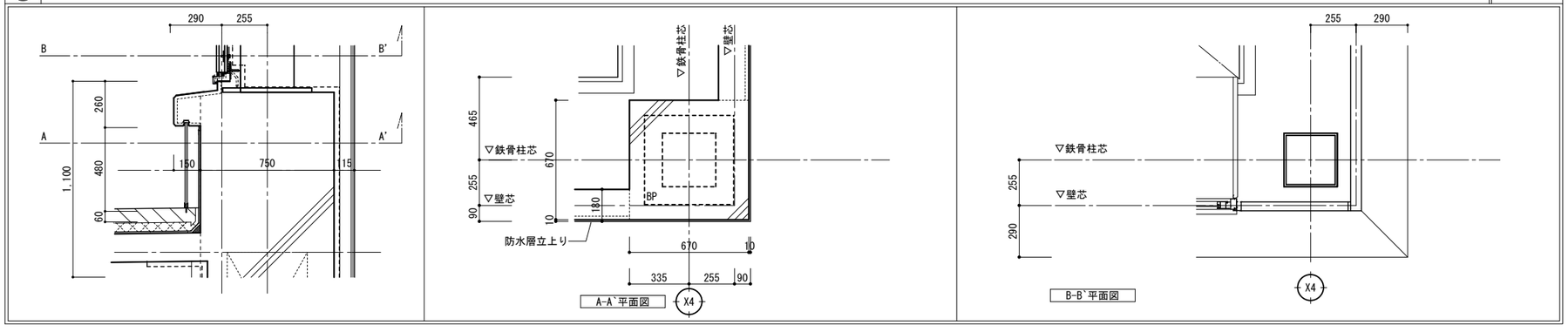
ECP下部詳細図　A3:S=1/10



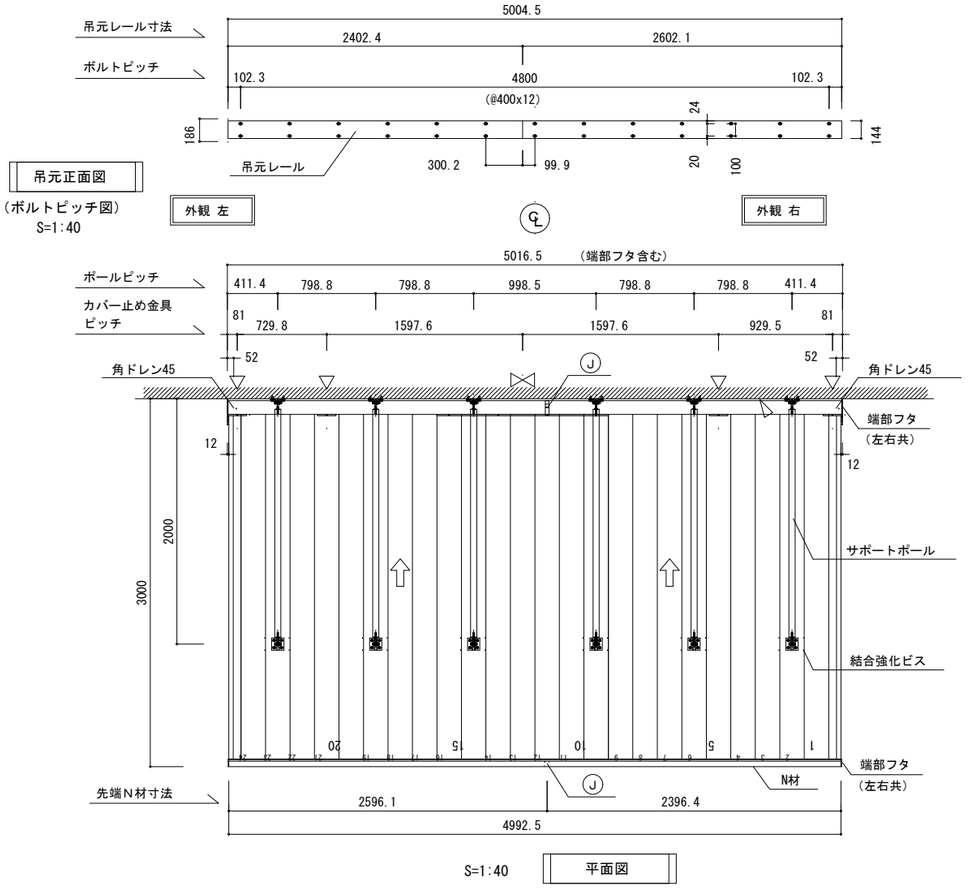
⑦ 勾配屋根上部・立上り詳細図　A3:S=1/40

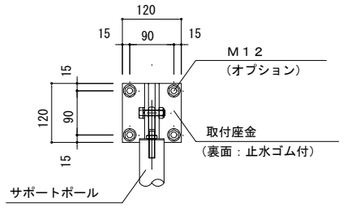


ク 吹抜上部・立上り詳細図　A3:S=1/40



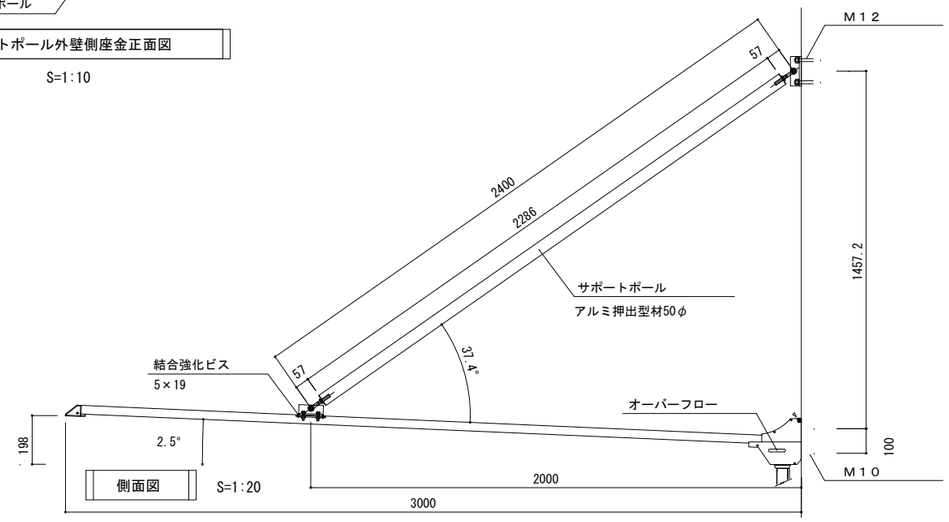
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	部分詳細図ー2	縮尺　図示	図面番号　A－064





L=5,000

たてとい：φ60アルミ製竪樋　左右計２カ所



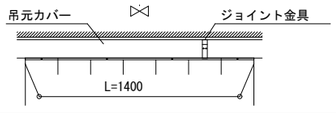
■凡例

:カバー止め金具 L=1400

:カバー止め金具 L=150

:ジョイント金具

注）L=1400部材は吊元レール突き合せ部を センターとして設置。



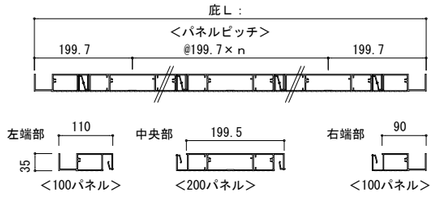
●カバー止め金具

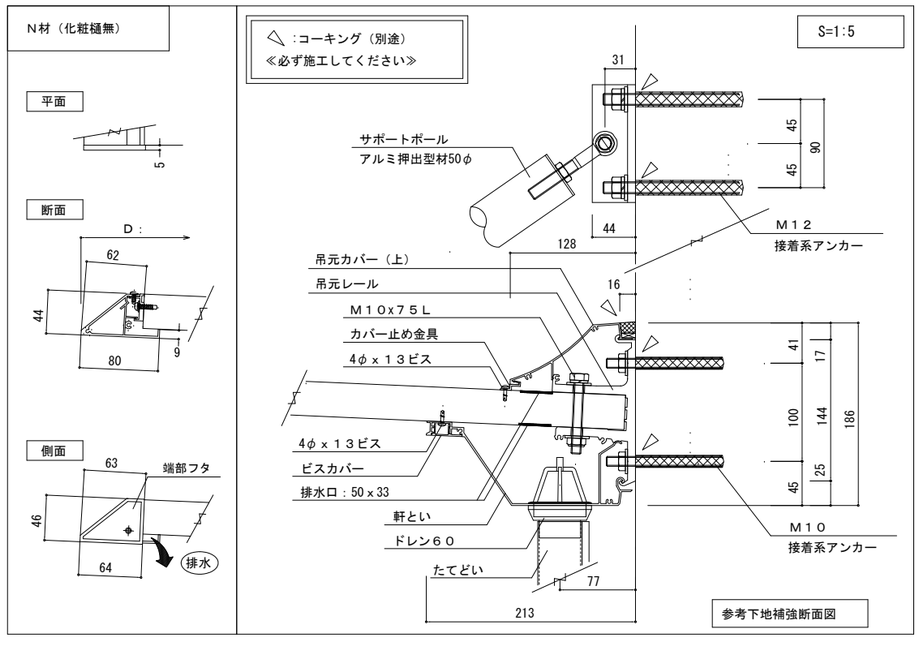
ジョイント部
L＝1400ｘ1

その他
L＝150ｘ4

●製品及び施工に関するご注意●

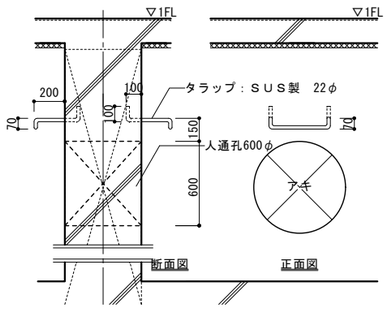
- 仕上げ材および躯体の強度は、取付け前に外壁メーカー様にご確認ください。
- 下地の強度不足等による躯体破損、事故等の損害についての責任は負いかねます。
- 壁面の下地確認と補強対策は必ず行ってください。
- 外壁材裏に空気層がある場合は、締付けにより外壁材が破損しないよう補強対策を行ってください。
- ボルト・ナットが緩む恐れがありますので、緩まないよう緩み止め対策を行ってください。



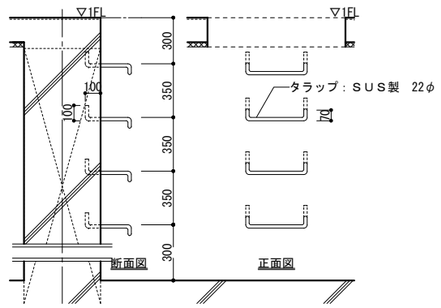


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	部分詳細図ー３	縮尺 図示	図面番号 A－065

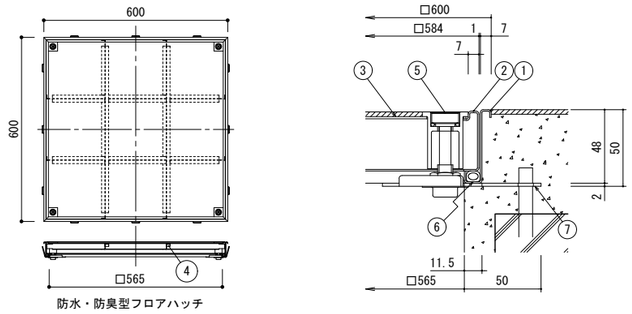
人通口　タラップ　A3:S=1/40



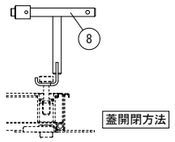
床点検口　タラップ　A3:S=1/40



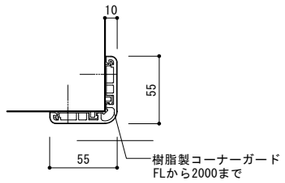
床点検口　詳細図　A3:S=1/10



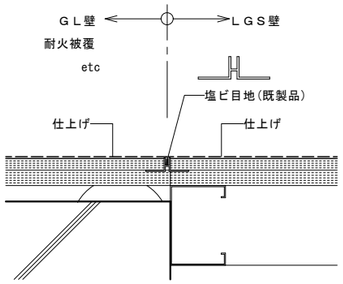
No.	品　名	材　質
1	外枠	SUS304
2	内枠	SUS304
3	底板or蓋	SUS304
4	補強材	SUS304
5	錠ボルト	SCS13
6	パッキン	CR
7	アンカー	SPCC(ﾕﾆｸﾛﾒｯｷ)
8	鍵ハンドル	SS400+SCS13



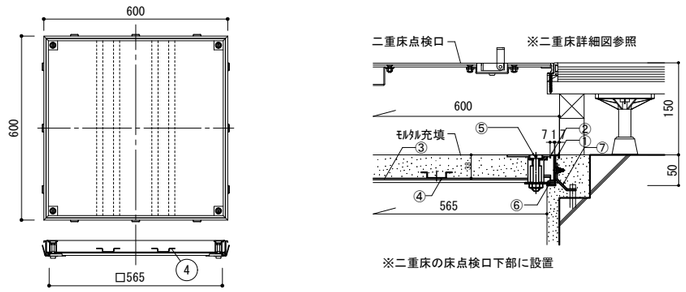
コーナーガード詳細図



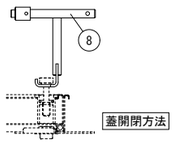
壁異種下地目地　A3:S=1/30



床点検口（OAフロア）　詳細図　A3:S=1/40

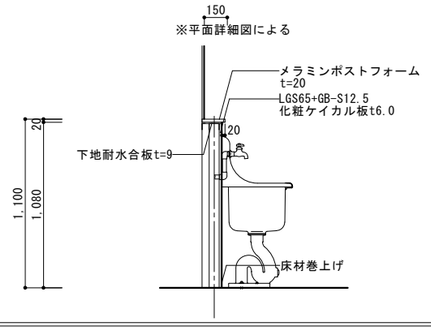


No.	品　名	材　質
1	外枠	SUS304
2	内枠	SUS304
3	底板or蓋	SUS304
4	補強材	SUS304
5	錠ボルト	SCS13
6	パッキン	CR
7	アンカー	SPCC(ﾕﾆｸﾛﾒｯｷ)
8	鍵ハンドル	SS400+SCS13

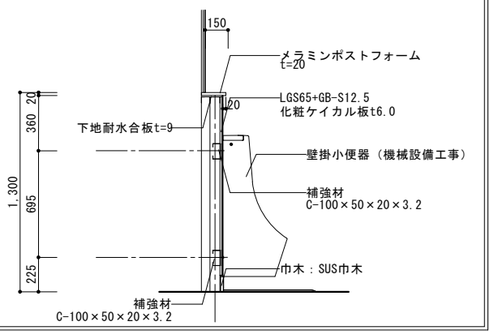


ライニング詳細図　A3:S=1/40

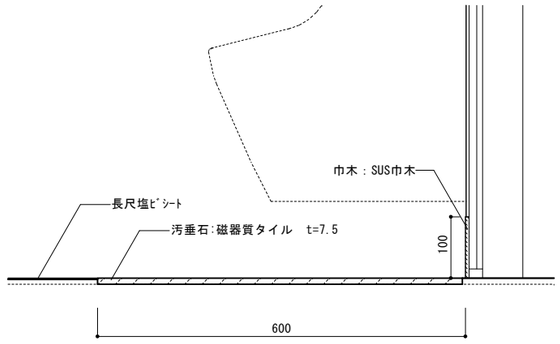
キッチン・ＳＫ・大便器



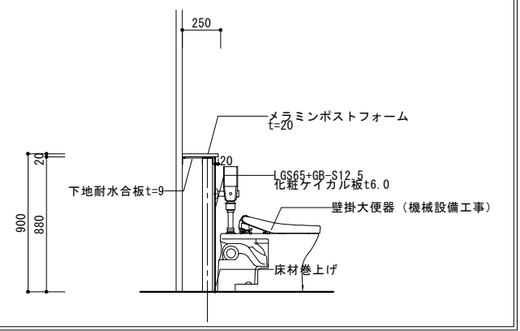
小便器ライニング詳細図　A3:S=1/40



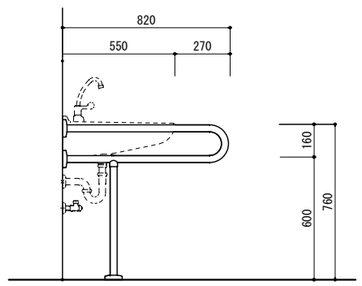
小便器汚垂石詳細図　A3:S=1/10



大便器ライニング詳細図　A3:S=1/40

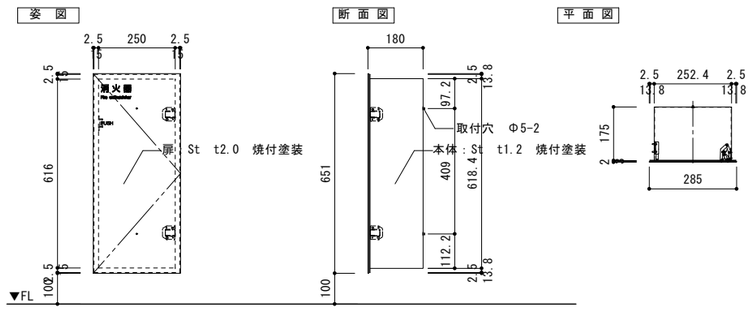


洗面器手摺詳細図　A3:S=1/40



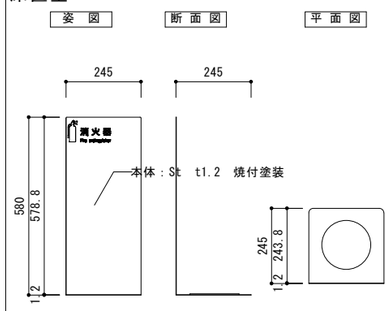
消火器ボックス　A3:S=1/40

全埋込型



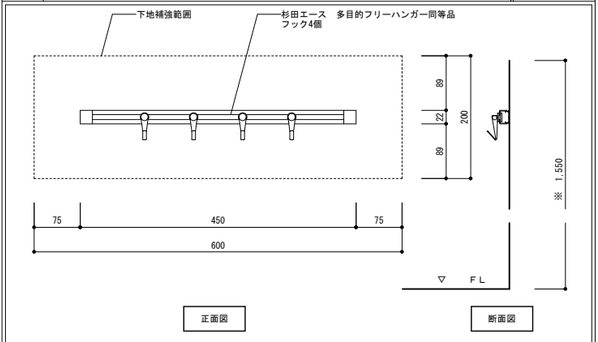
設置個所：平面図・平面詳細図参照

床置型



設置個所：平面図・平面詳細図参照

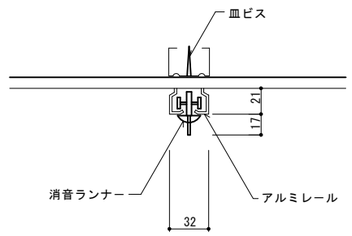
掃除用具用フック



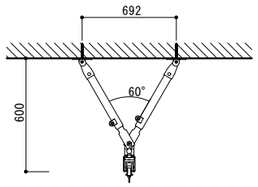
※取付高さは現場打合せによる

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	部分詳細図ー４	縮尺	図示	図面番号	A－ 066

カーテンレール（直付）　A3:S=1/10

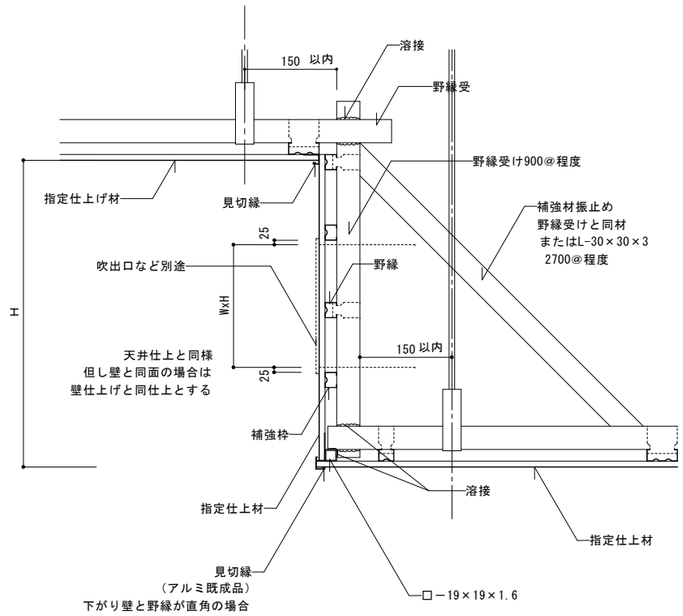


カーテンレール（天井吊）　A3:S=1/40

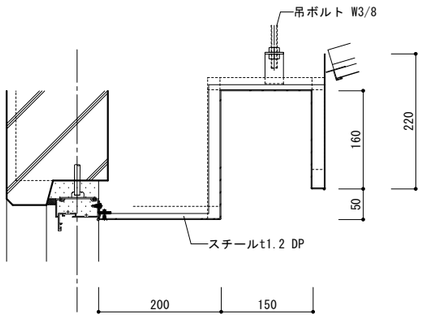


番号	部品名	材質	表面処理
1	レール	アルミ	塗装
2	ランナー	ポリエチレン他	―
3	吊り金具Ｂ	スチール	メッキ
4	伸縮吊り棒Ａ	スチール	塗装
5	キャップストップ	スチール	塗装

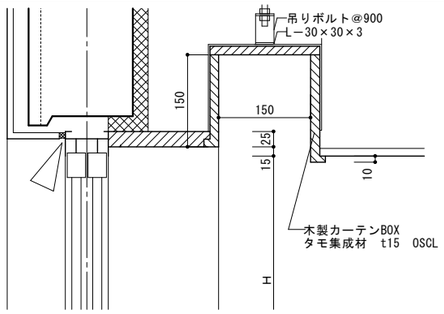
下がり壁詳細図　A3:S=1/10



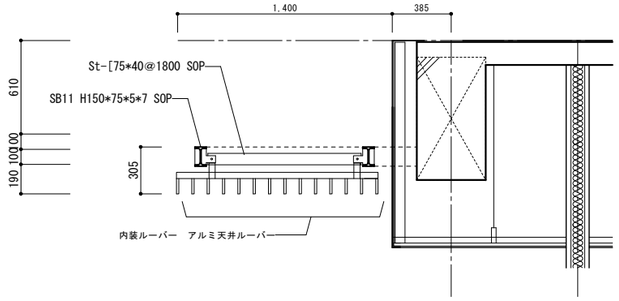
スチールブラインドボックス　A3:S=1/10

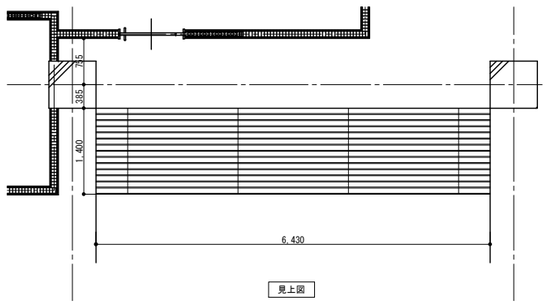


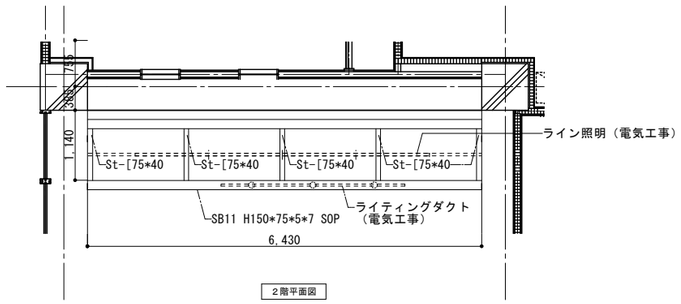
木製ブラインドボックス　A3:S=1/10



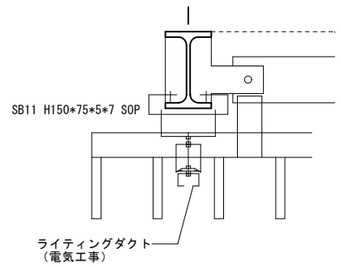
１階受付カウンター天井詳細図　A3:S=1/40　A3:S=1/5

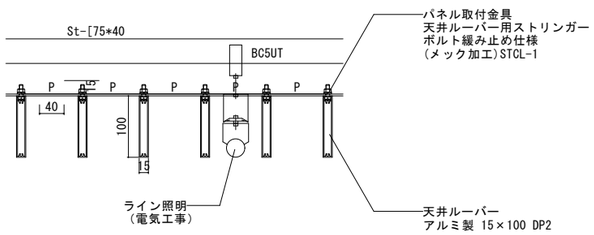




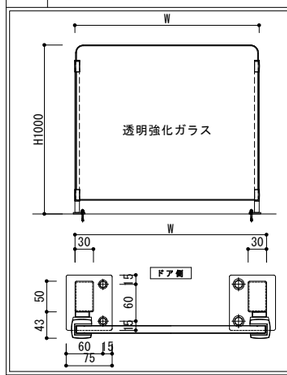


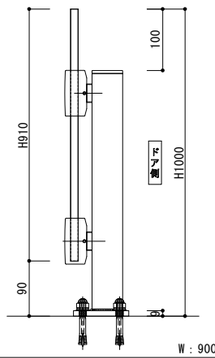
１階受付カウンター天井詳細図２　A3:S=1/40





自動ドア防護柵　A3:S=1/10





W：900　8カ所

防火標識　A3:S=1/20

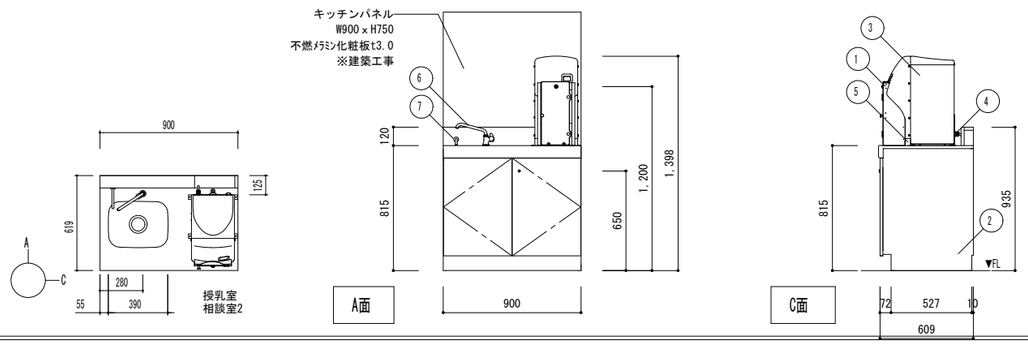
危険物標識３連
「禁煙」「火気厳禁」「危険」
材質：エコユニボード
サイズ：W600H900

２Ｆホール：１カ所

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名	部分詳細図－５	縮尺	図示	図面番号　Ａ－ 067
		特記事項	特記事項	特記事項					

調乳機詳細図

A3:S=1/40



	品　名	品　番	数	備　考
1	調乳カバーセット		1	
2	キャビネット本体		1	
3	調乳用温水器		1	
4	転倒防止金具(前後セット)		1	
5	前面下カバーセット	ネジ・ワッシャー付き (2組)	1	
6	水洗金具	三栄水栓 JA575-13	1	
7	オーバーフロー用金具		1	
	特記事項			
	調乳用温水器　CH22-3			
	本体/ホワイト(低圧メラミン)	電源 (定格電圧) 単相 100V		
	カウンタートップ/黒/化粧合板(高圧メラミン)	ヒータ 容量 1.5Kw		
	温水器表面材/鋼 (防錆処理) 、ABS樹脂	電源プラグ 差込型/接地2P 125V/20A		
	温水器湯槽/ステンレス鋼	設定温度 72~81℃		
	浄水器本体/ステンレス鋼	定格電流 15.0A		

ｺﾝﾋﾞｳｨｽﾞ(株)CH22-3参照

鏡リスト

仕様	部屋名	計
鏡１ 600φ （TOTO:YM6060FG同等品）	1階：男性トイレ、女性トイレ 2階：男性トイレ、女性トイレ	10
鏡２ 350x1000 （TOTO:YM511同等品）	1階：多機能トイレ 2階：多機能トイレ	4
鏡３ H1,800×W900×t27mm （リフェクススポーツミラー（壁掛式） 株式会社都村製作所　同等品	ホール	1
鏡４ 300x350 （TOTO:YM3035A同等品）	閉架書庫	1

設置場所：平面図・平面詳細図参照

流し台+吊戸棚詳細図

A3:S=1/50

取付箇所
管理スペース２、給湯室、会議室（和室）
※会議室（和室）は流しのみ
※会議室（和室）の吊戸棚は別で作成する。

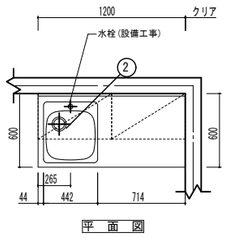
	品　名	数	備　考
	ＳＵＳ一体キャビ	1	引出しなし・コンロなし・点検口無
2	４０シンク	1	水栓穴あり・左勝手
3	直管配管排水セット	1	排水円板（小）付
4	吊戸棚Ｈ６０	1	開き扉
5	吊戸棚Ｈ６０	1	開き扉

取付箇所
会議室（調理室）

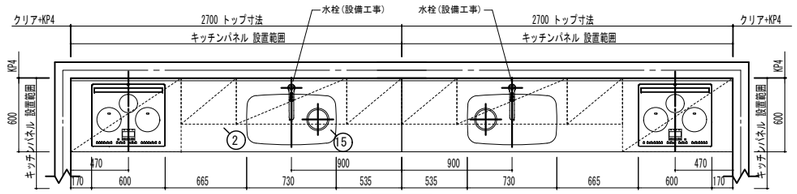
	品　名	数	備　考
	フロアユニット品番ステントップ	1	グリル付・端部１７ｃｍ・スタンダード１段
2	Ｉ型ワークトップ・Ｄ６００	1	【ＫＢ】ステンレス・シルクエンボス
3	側面パネル	1	Ｈ８０用
4	グリル付コンロ用キャビネット	1	一段引出し・包丁差し・Ｈ８０用
5	調理台用キャビネット	1	調理台用ボックス・一段引出し
6	シンク用キャビネット	1	シンク用ボックス・配管カバー付属
7	調理台用キャビネット	1	二段引出し・Ｈ８０用
8	ボックス下パネル	1	コンロ・調理台用・Ｈ８０用
9	ボックス下パネル	1	シンク用・Ｈ８０用
10	ケコミパネル	1	コンロ・調理台用・Ｈ８０用
11	ケコミパネル	1	シンク用・Ｈ８０用
12	側面パネル	1	Ｈ８０用
13	ブラケット	3	
14	Ｒ４５／３口ＩＨ・オールメタル	1	６００トップ・無水両面焼・シルバー・連動
15	浅型７３シンク	1	
16	Ｐ６６／ハンドシャワー水栓	1	クロマーレＳ・一般地用・節湯C1/B

	品　名	数	備　考
17	直管配管排水セット	1	排水円板（小）付
18	Ａ５４／ＡＤＲシロッコファン	1	Ｗ９００・シルバー・連動・左勝手・３芯
19	レンジフード用金属幕板	1	Ｗ９００・シルバー
20	リモコン	1	
21	吊戸Ｈ７０側底不燃・キャッチ	1	開き扉・ホワイト
22	吊戸棚Ｈ７０・キャッチ	1	開き扉・ホワイト
23	吊戸棚Ｈ７０・キャッチ	1	開き扉・ホワイト
24	サイドパネル・アクリル	1	【Ｗ】プレーンホワイト
25	フロントパネル・アクリル	1	【Ｗ】プレーンホワイト
26	フロントパネル・アクリル	1	【Ｗ】プレーンホワイト
27	キッチンパネル見切り材	1	サイド用２本入り・ホワイト
28	キッチンパネル用接着剤セット	1	接着剤（２）・両面テープ（３）
29	コーキング材セット	1	ホワイト
	フロアユニット品番ステントップ	1	グリル付・端部１７ｃｍ・スタンダード１段
31	Ｉ型ワークトップ・Ｄ６００	1	【ＫＢ】ステンレス・シルクエンボス

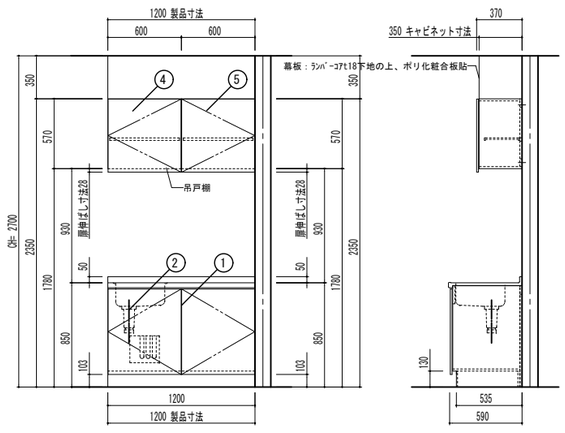
●レンジフード電源プラグ仕様：３芯電源プラグ（アース工事が必要です。）



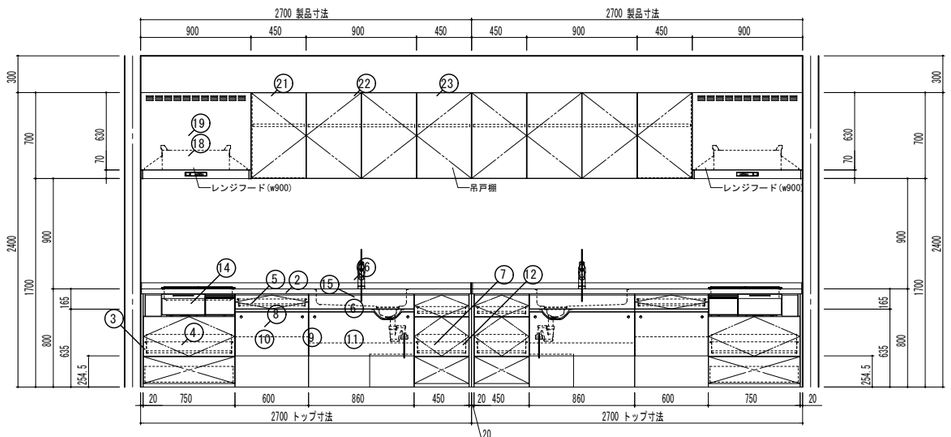
平　面　図



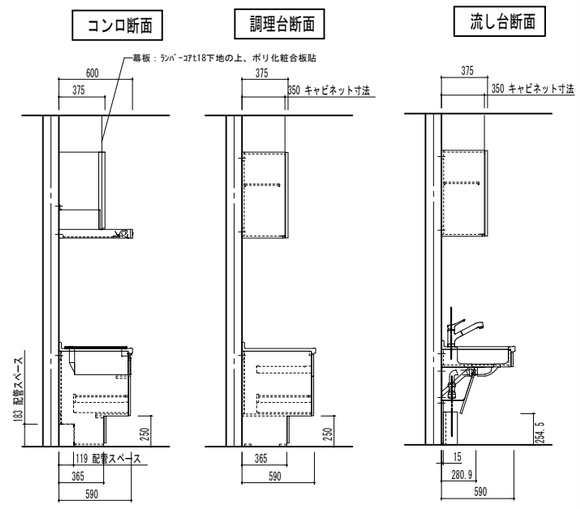
平　面　図



正　面　図　　断　面　図



正　面　図

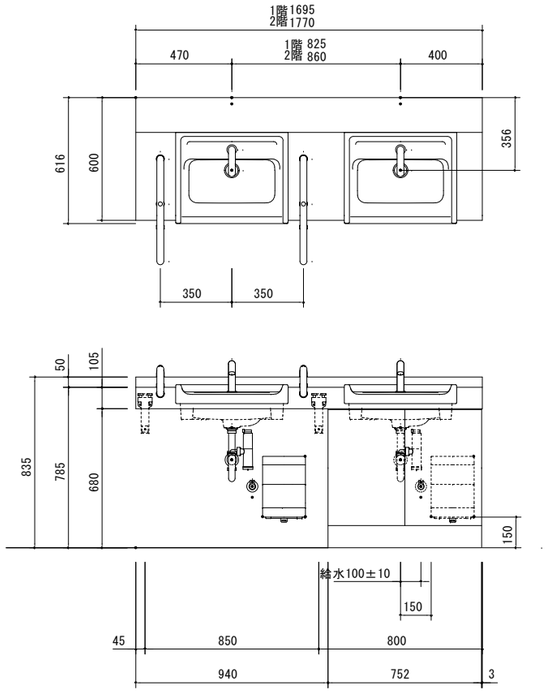


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	部分詳細図ー６	縮尺 図示	図面番号 A－ 068

洗面カウンター詳細図

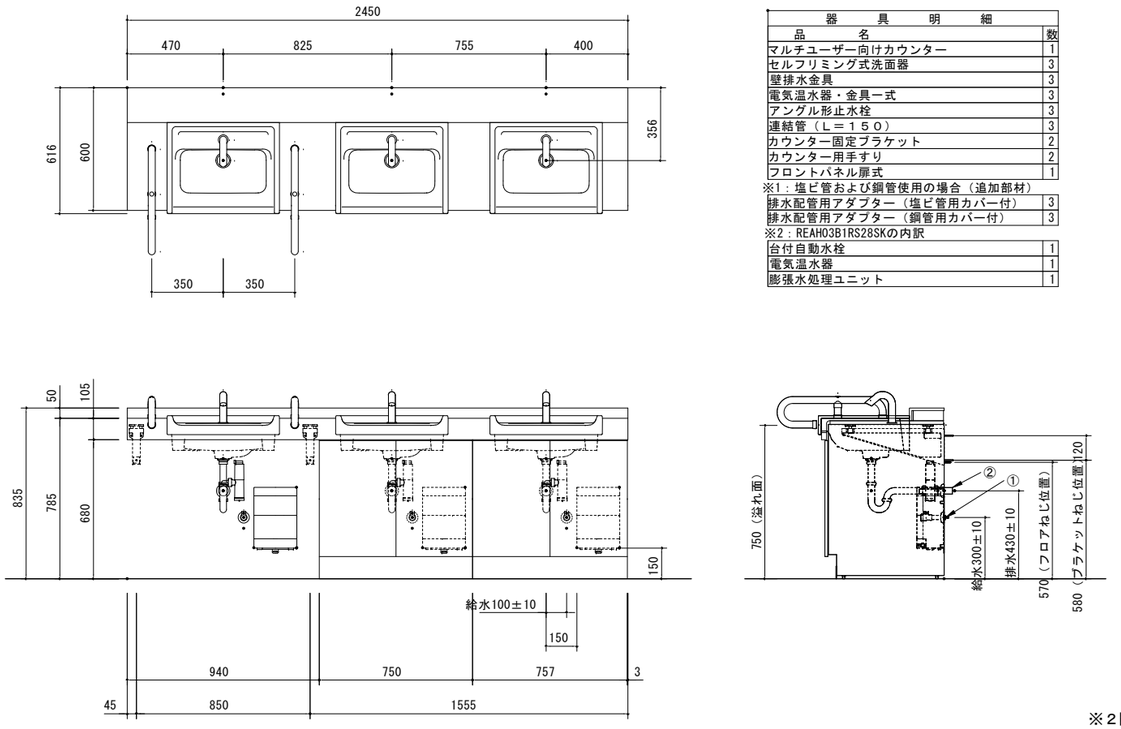
A3:S=1/30

男子トイレ（１・２階共設置）



器具明細	
品名	数
マルチユーザー向けカウンター	1
セルフリミング式洗面器	2
壁排水金具	2
電気温水器・金具一式	2
アングル形止水栓	2
連結管（Ｌ＝１５０）	2
カウンター固定ブラケット	2
カウンター用手すり	2
フロントパネル扉式	1
※1：塩ビ管および鋼管使用の場合（追加部材）	
排水配管用アダプター（塩ビ管用カバー付）	2
排水配管用アダプター（鋼管用カバー付）	2
※2：REAH03B1RS28SKの内訳	
台付自動水栓	1
電気温水器	1
膨張水処理ユニット	1

女子トイレ（１・２階共設置）



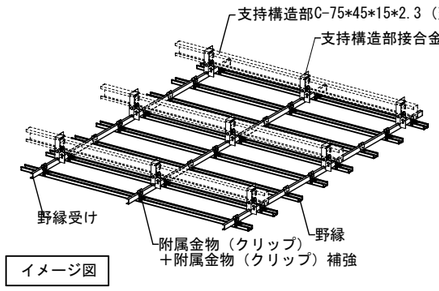
器具明細	
品名	数
マルチユーザー向けカウンター	1
セルフリミング式洗面器	3
壁排水金具	3
電気温水器・金具一式	3
アングル形止水栓	3
連結管（Ｌ＝１５０）	3
カウンター固定ブラケット	2
カウンター用手すり	2
フロントパネル扉式	1
※1：塩ビ管および鋼管使用の場合（追加部材）	
排水配管用アダプター（塩ビ管用カバー付）	3
排水配管用アダプター（鋼管用カバー付）	3
※2：REAH03B1RS28SKの内訳	
台付自動水栓	1
電気温水器	1
膨張水処理ユニット	1

※２階は左右反転で設置

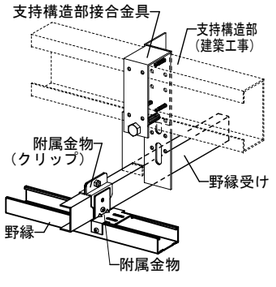
勾配屋根天井材詳細図

A3:S=1/10

標準仕様
・支持構造部材 ・・・・・・C-75*45*15（t2.3以上）　・支持構造部支持ピッチ ・・・・・・・1200mm以下
・支持構造部材ピッチ ・・・1200mm以下　・アングルクランプ設置・・・1200mm以下

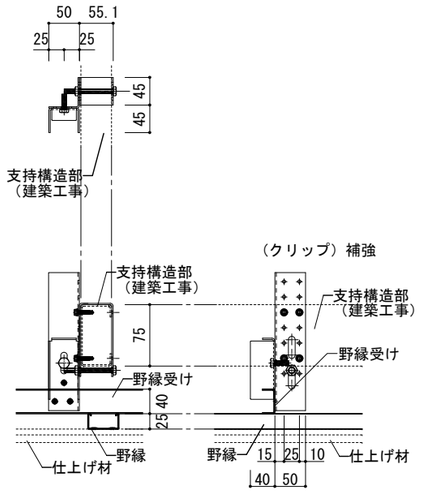


イメージ図

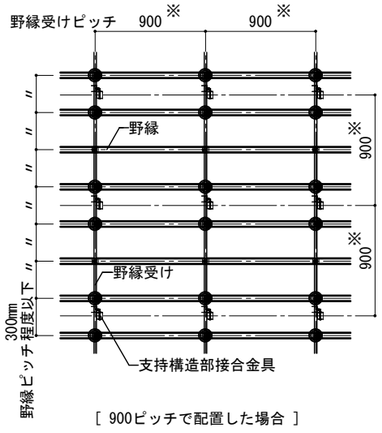


基本構成図

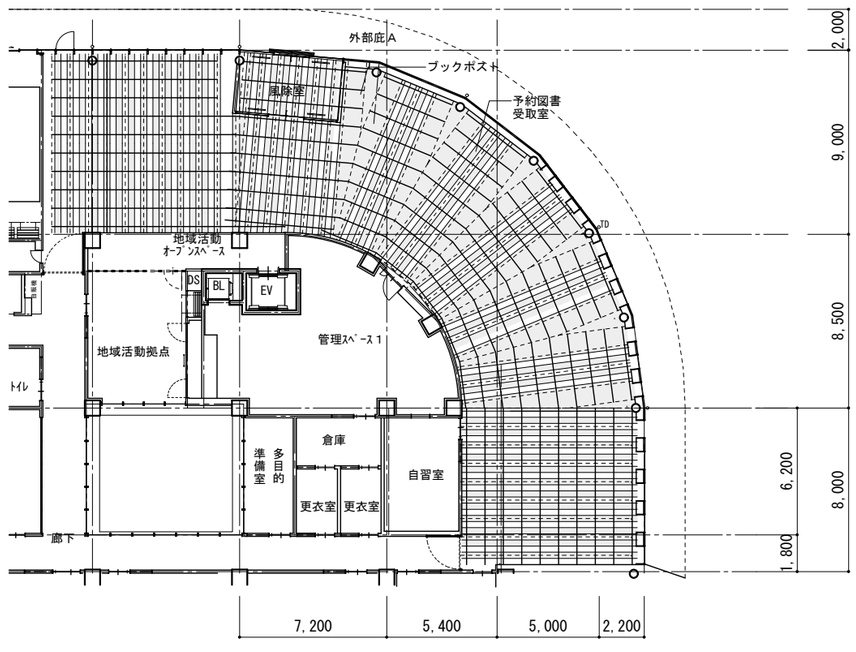
[縮尺：1/10(mm)]



基本構成図



[900ピッチで配置した場合]



平面図（割付）

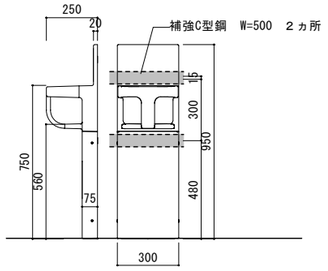
支持構造部材C-75*45*15（t2.3以上）
内装用木毛セメント板t14

※天井面固有周期が0.1秒以下（剛）となるように且つ、各部下地材が許容応力度以下となるように支持構造部接合金具を配置する。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	図面名	部分詳細図ー７	縮尺 図示	図面番号 A－069

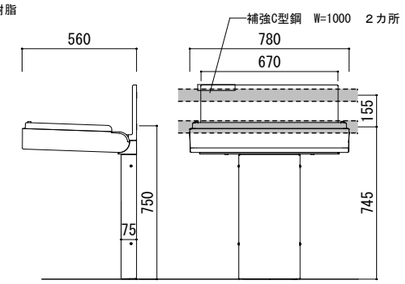
ベビーチェア詳細図　A3:S=1/30

・壁設置タイプ
・サイズ:300×250×950mm
・材質:難燃性樹脂

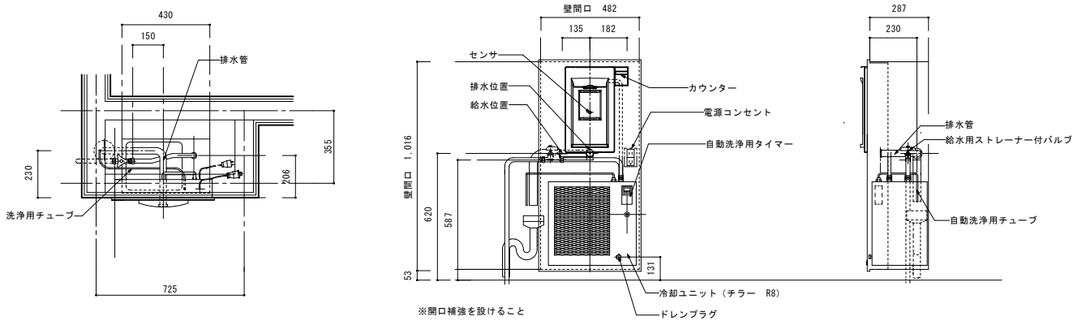


ベビーベット詳細図　A3:S=1/40

・壁設置タイプ（折り畳み式）
・寸法（mm）：780×135（使用時560）×1145（使用時950）
・材質:難燃性樹脂

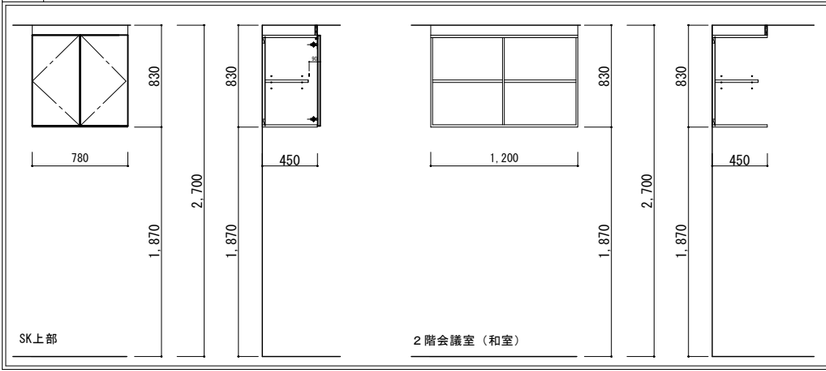


冷水器詳細図（参考図）　A3:S=1/10



冷水器：（株）OSGコーポレーションMW8EBF同等品（別途設備工事）

吊戸棚詳細図　A3:S=1/50



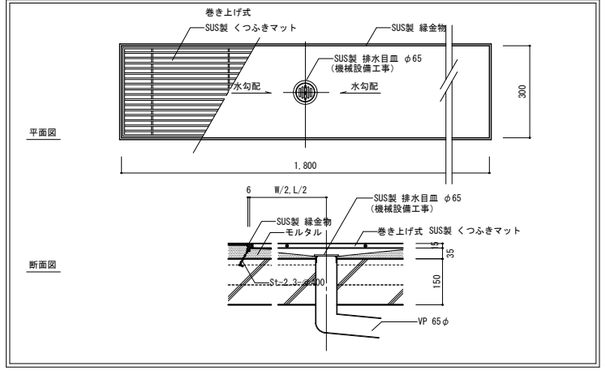
SK上部

木部本体	天板	低圧メラミン化粧板　t20
	側板	低圧メラミン化粧板　t20
	背板	ﾎﾟﾘ化粧合板t4
	地板	低圧メラミン化粧板　t20
	扉	低圧メラミン化粧板　t20
	棚板	低圧メラミン化粧板　t20
	幕板	ﾗﾝﾊﾞｰｺｱt18下地の上、ﾎﾟﾘ化粧合板貼
	ラッチ	感知式耐震ﾗｯﾁ付
	丁番	ｽﾗｲﾄﾞ丁番(ｷｬｯﾁ付)

２階会議室（和室）

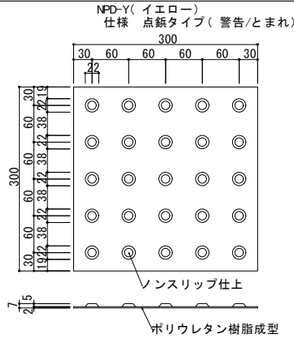
木部本体	天板	低圧メラミン化粧板　t20
	側板	低圧メラミン化粧板　t20
	背板	ﾎﾟﾘ化粧合板t4
	地板	低圧メラミン化粧板　t20
	扉	
	棚板	低圧メラミン化粧板　t20
	幕板	ﾗﾝﾊﾞｰｺｱt18下地の上、ﾎﾟﾘ化粧合板貼
	ラッチ	
	丁番	

くつふきマット（風除室前・２Ｆホール）　A3:S=1/20

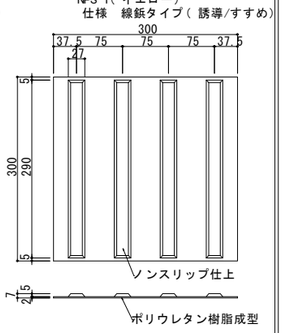


屋内点字ブロック詳細図（階段）　A3:S=1/20

NPD-Y（イエロー）
仕様　点鋲タイプ（警告/とまれ）



NPS-Y（イエロー）
仕様　線鋲タイプ（誘導/すすめ）

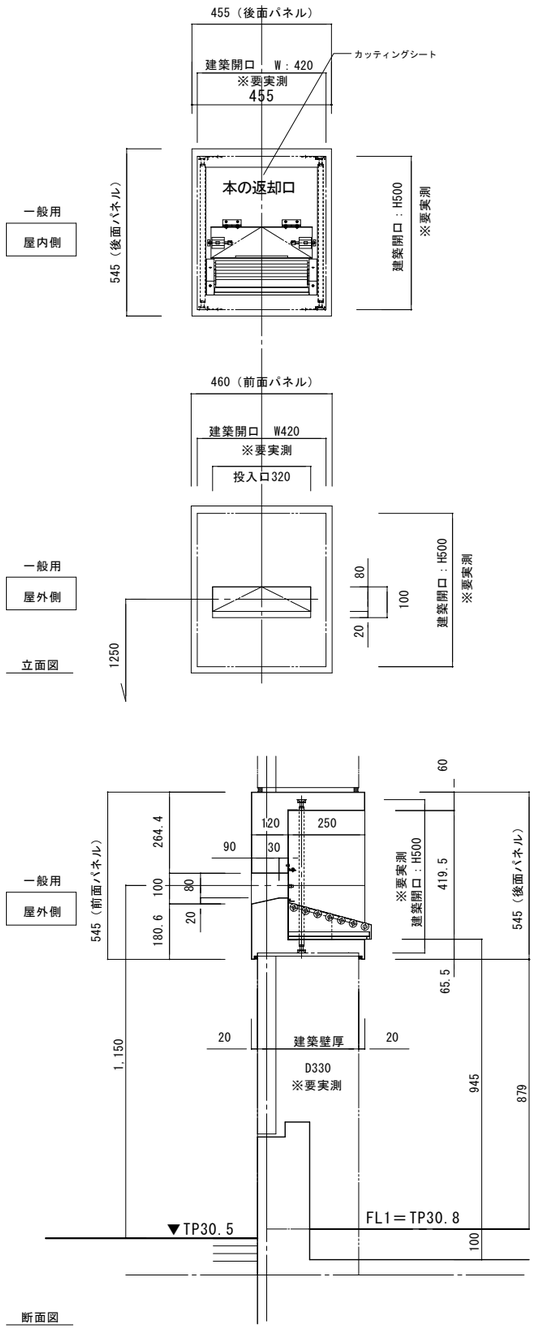


ナカ工業(株)：ガイドステップ（ポリウレタン点字タイルタイプ）同等品

ブックポスト詳細図　A3:S=1/10

部品名	仕様
前面パネル	ステンレス製、ヘアライン仕上げ
後面パネル	ステンレス製、ヘアライン仕上げ
ローラー	アルミローラーφ25
フラップ扉	ステンレス製、ラッチ付（施錠用）

※建築開口寸法により形状変更あり



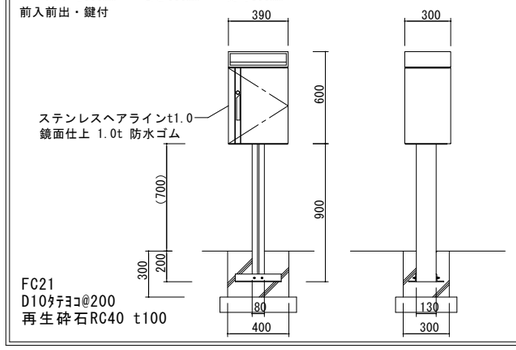
トイレ手摺・フック仕様

	寸法	寸法	仕様
㋐1	腰掛便器用Ｌ型手摺	800×800	TOTO/T112CL11 同等品
㋐2	腰掛便器用可動手摺 跳ね上げタイプ	700×150	TOTO/T112HK7R 同等品
㋐4	小便器手摺		TOTO/T112CU22 同等品
㋐5	壁掛洗面器用Ｐ型手すり	820×760	TOTO/T112CP23 同等品
㋑	腰掛便器背もたれ		TOTO/EWC283CR 同等品
㋒	フック		INAX/KF-86 同等品

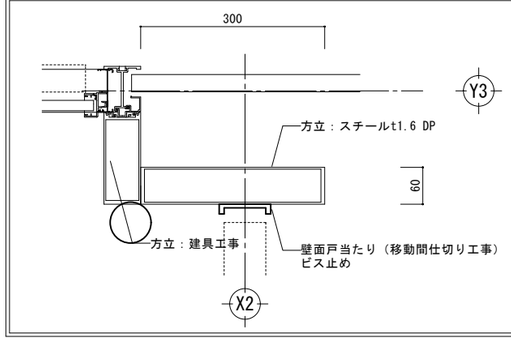
※下地材を設けること

屋外ポスト詳細図　A3:S=1/40

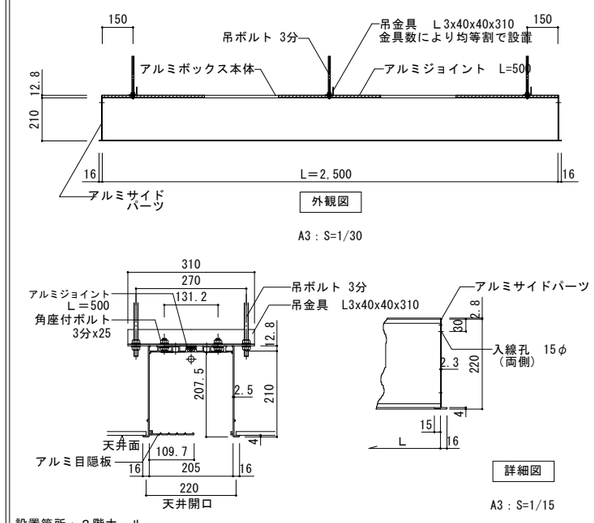
サイズ：幅390mm × 高さ600mm × 奥行300mm　2箇所
前入前出・鍵付



移動間仕切りサッシ受詳細図　A3:S=1/40



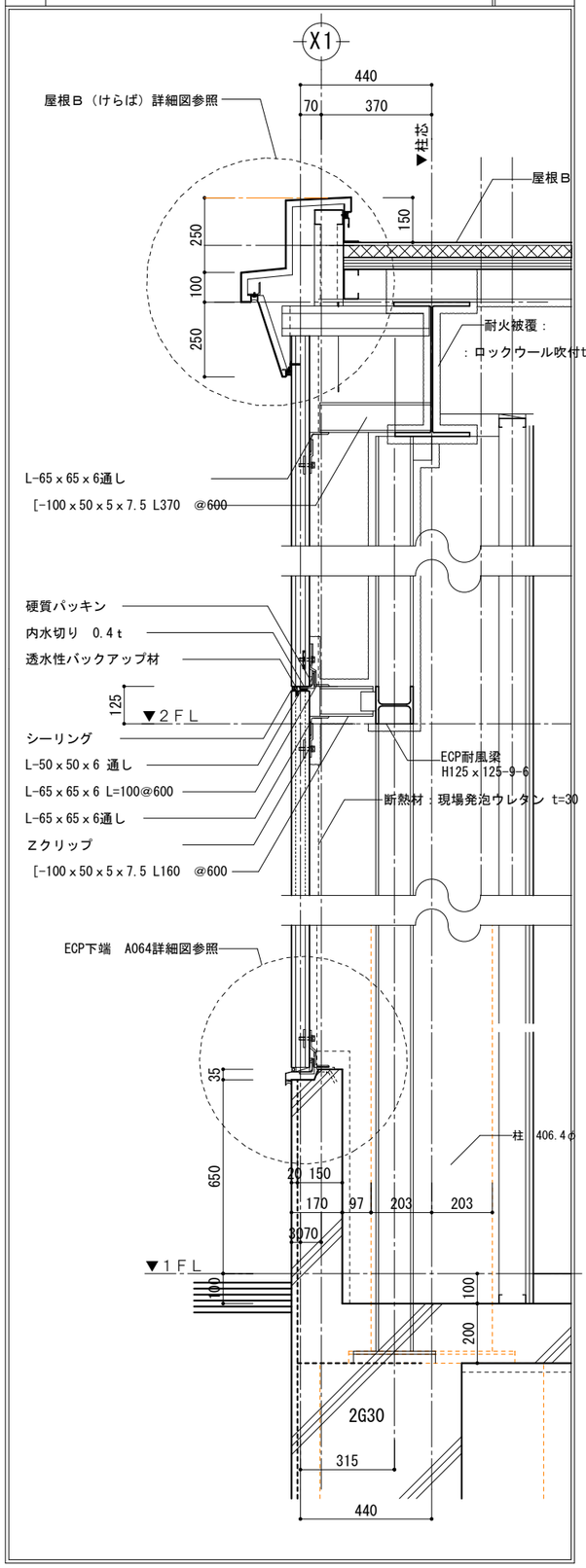
スクリーンボックス詳細図　A3:S=1/40



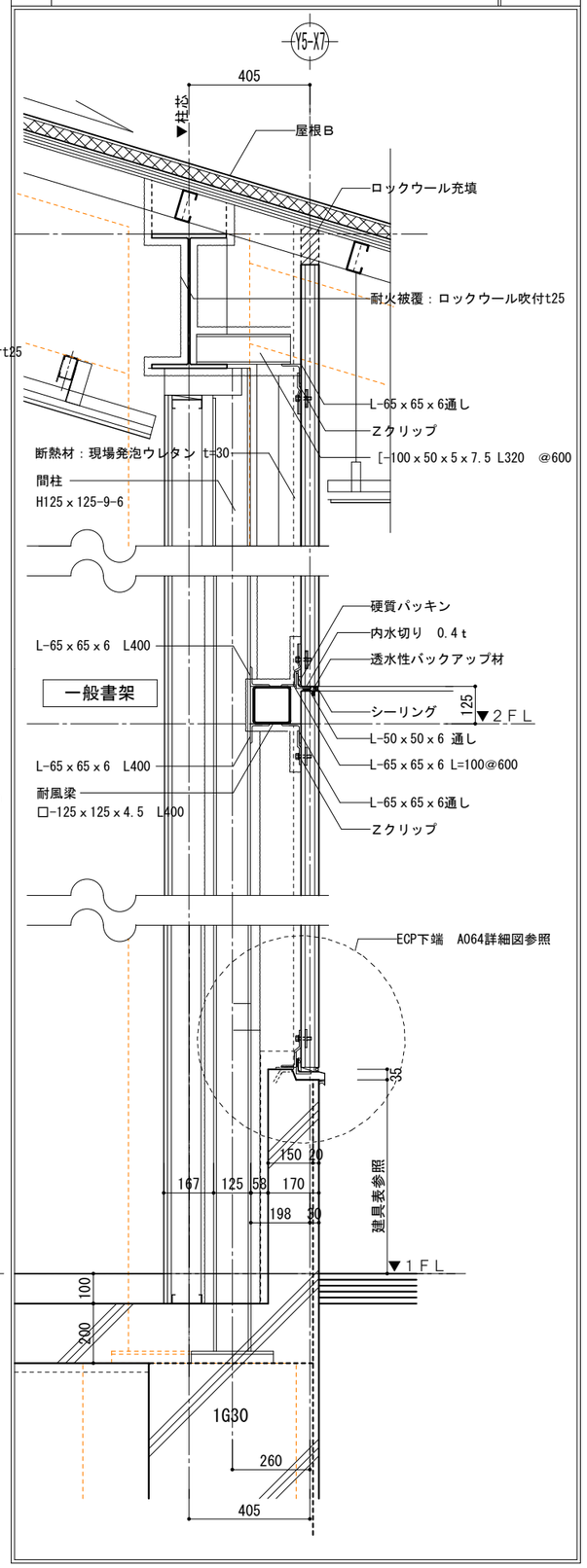
設置箇所：２階ホール

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　8年　1月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名	部分詳細図ー８	縮尺	図示	図面番号	A－ 070
		特記事項	特記事項	特記事項						

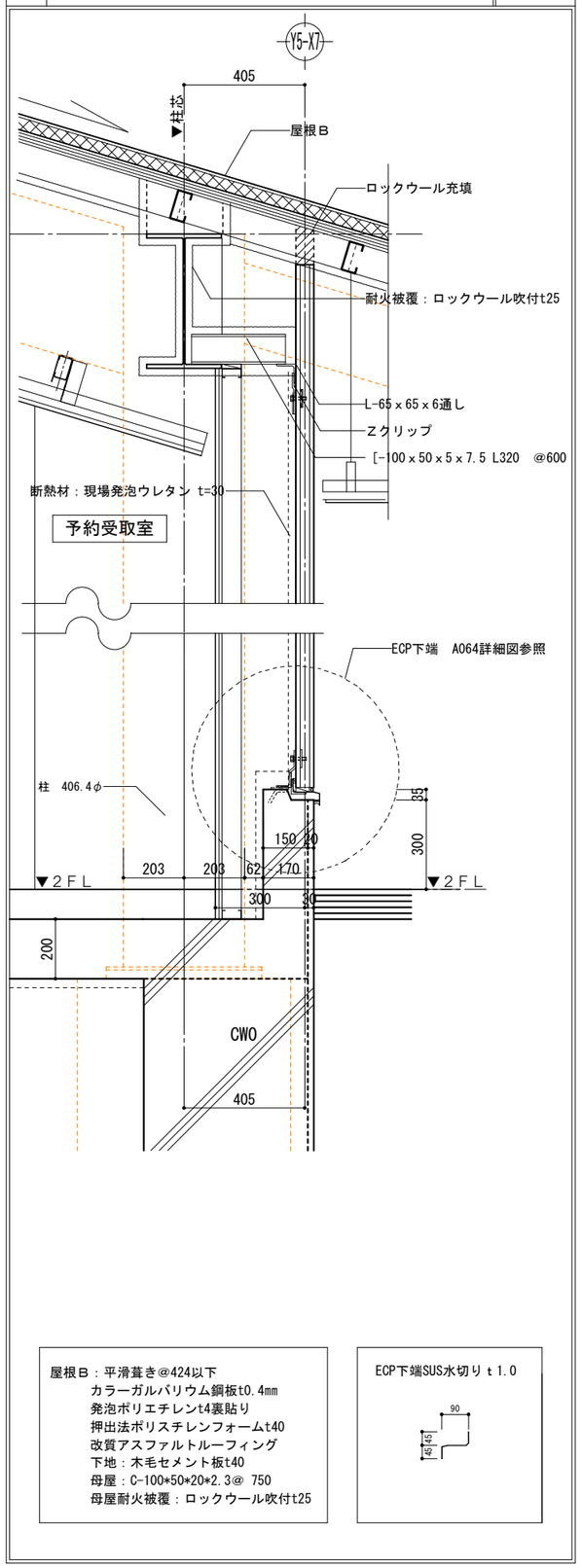
ＥＣＰ⑤　A3:S=1/20



ＥＣＰ③　A3:S=1/20

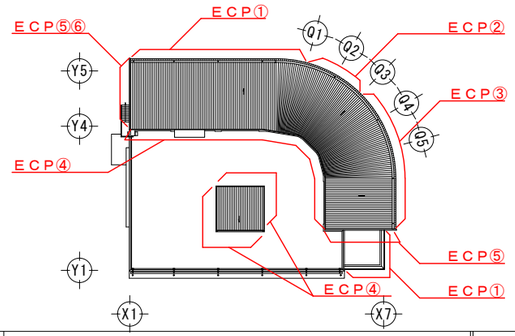


ＥＣＰ②　A3:S=1/20

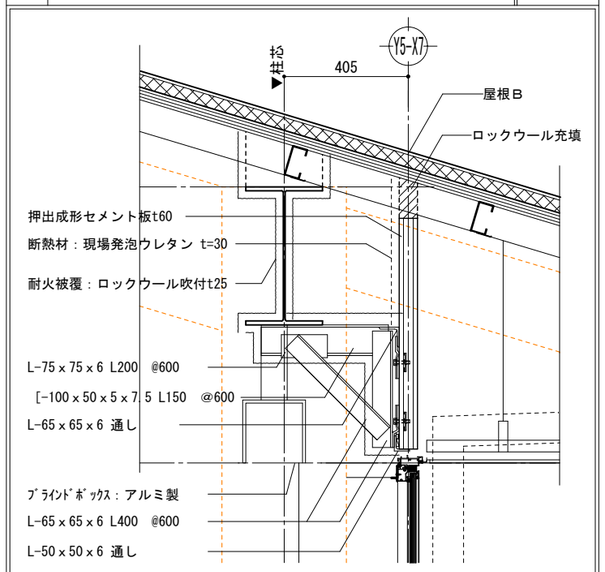


屋根Ｂ：平滑葺き@424以下
カラーガルバリウム鋼板t0.4mm
発泡ポリエチレンt4裏貼り
押出法ポリスチレンフォームt40
改質アスファルトルーフィング
下地：木毛セメント板t40
母屋：C-100*50*20*2.3@ 750
母屋耐火被覆：ロックウール吹付t25

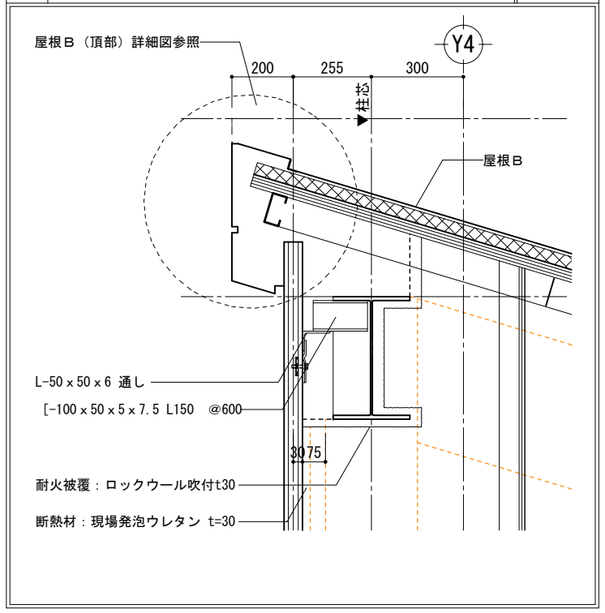
ECP下端SUS水切り ｔ1.0



ＥＣＰ①　A3:S=1/20



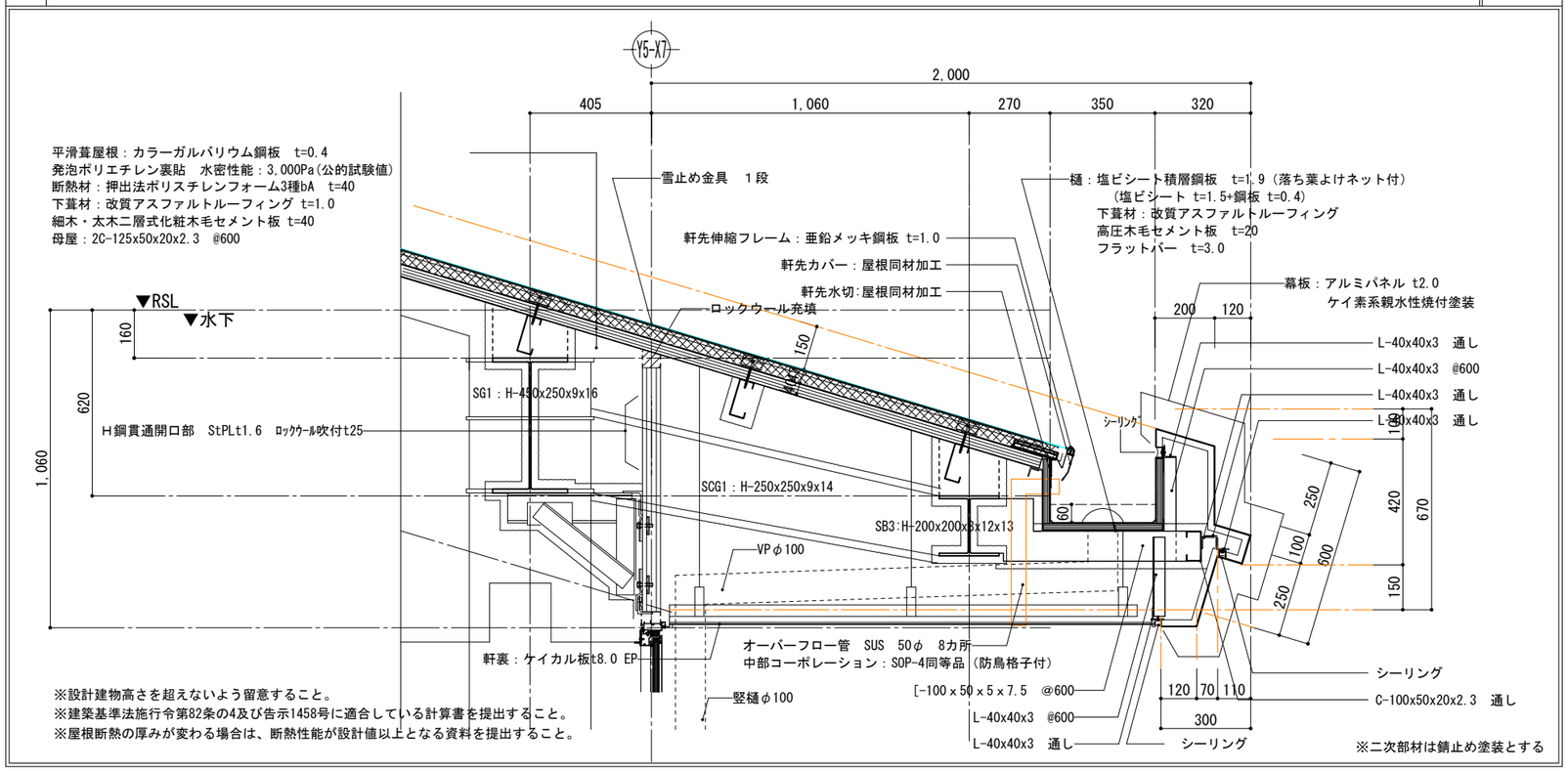
ＥＣＰ④　A3:S=1/20



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 / 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 / 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 / 特記事項	図面名	部分詳細図-9 （ＥＣＰ）	縮尺 1：20	図面番号 A－071

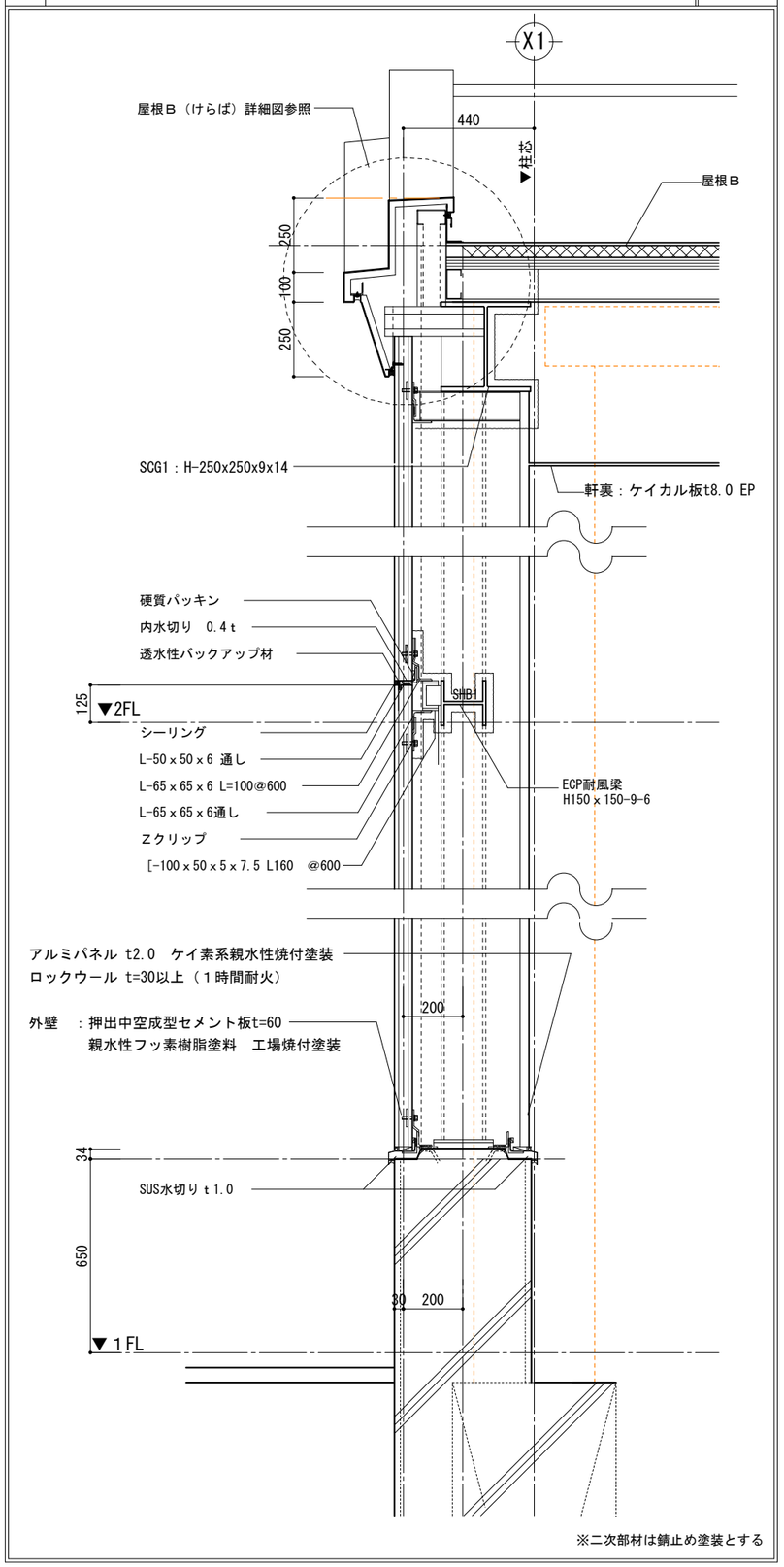
屋根Ｂ（軒先）

A3:S=1/20



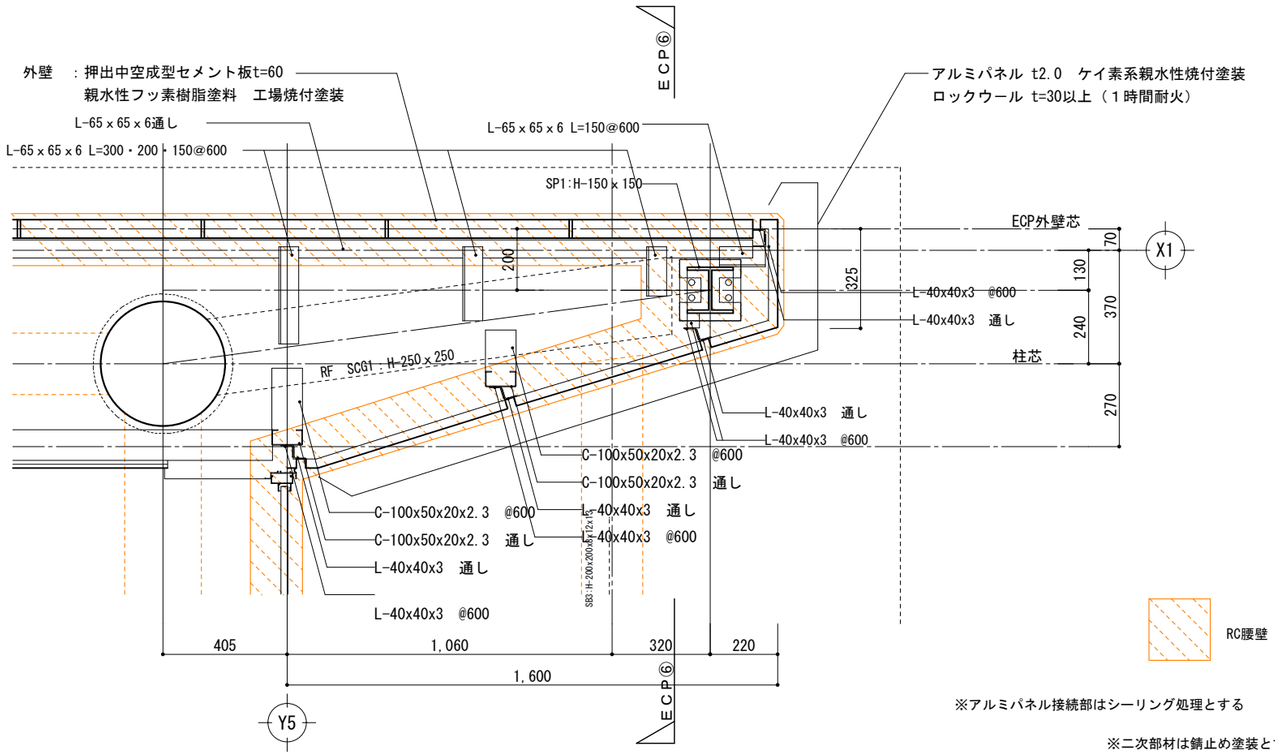
ＥＣＰ⑥

A3:S=1/20



袖壁

S=1/20

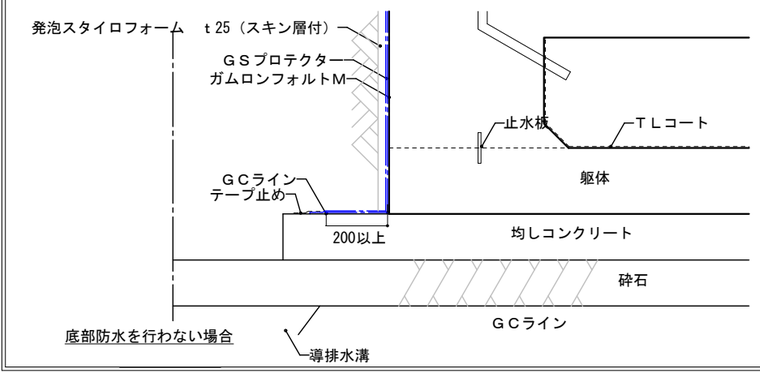


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 / 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 / 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 / 特記事項	図面名	部分詳細図-10（ECP・屋根・袖壁）	縮尺　図示	図面番号　A－072

地下外壁防水　A3:S=1/20

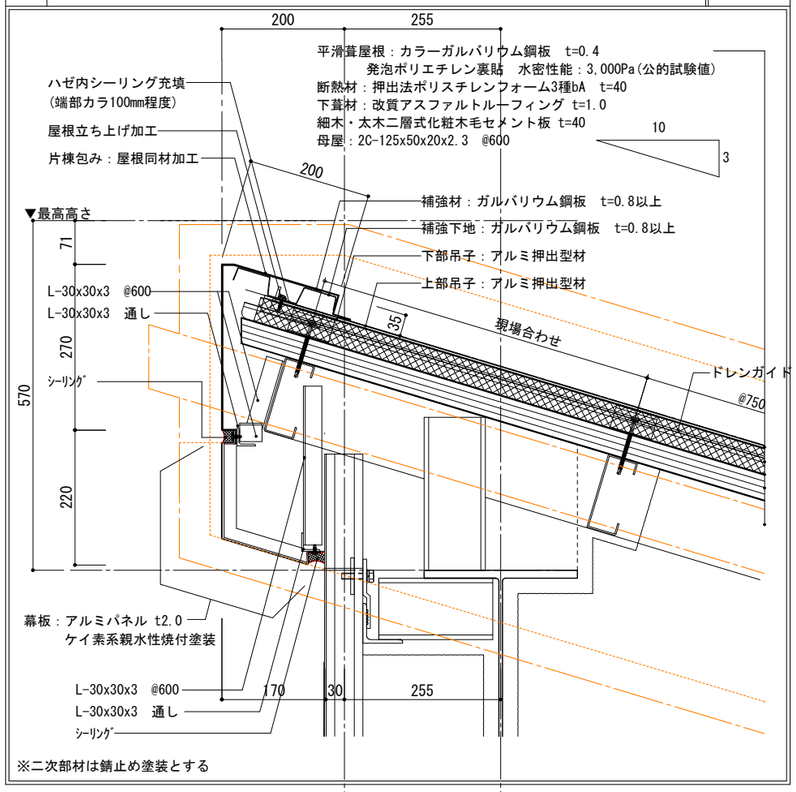
改質アスファルト防水　t3.2（後やり工法）
発泡スタイロフォーム　t25（スキン層付）
反応硬化型改質アスファルト系塗膜防水　補強布複合工法

地表部分断面図



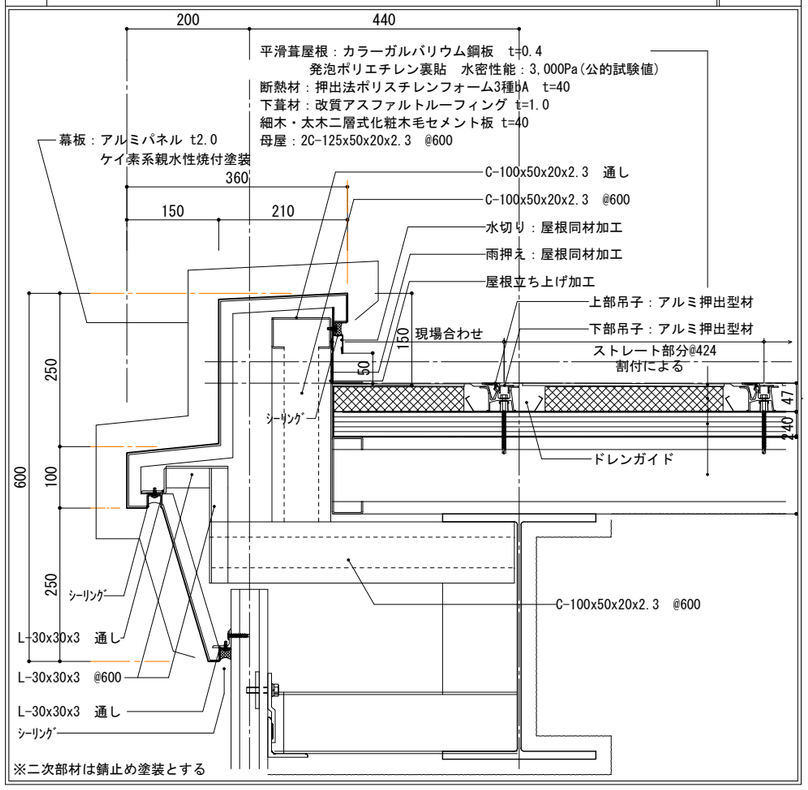
底部防水を行わない場合

屋根Ｂ（頂部）　A3:S=1/10



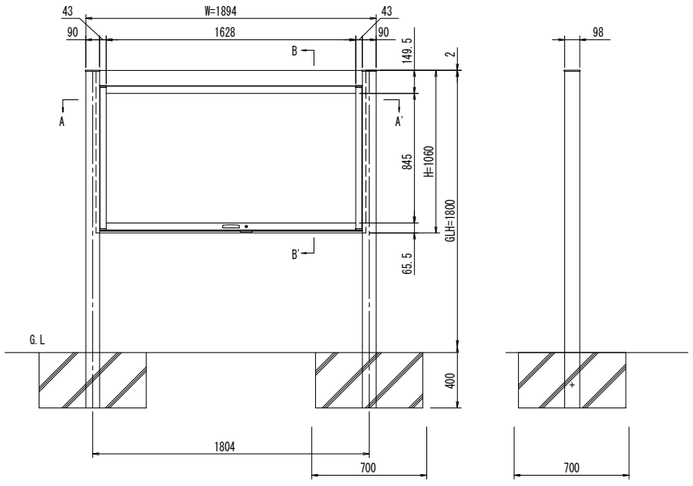
※二次部材は錆止め塗装とする

屋根Ｂ（けらば）　A3:S=1/20



※二次部材は錆止め塗装とする

屋外ポスターケース（サインE-04）　A3:S=1/40



※有効W,有効Hは掲示可能寸法を示す。

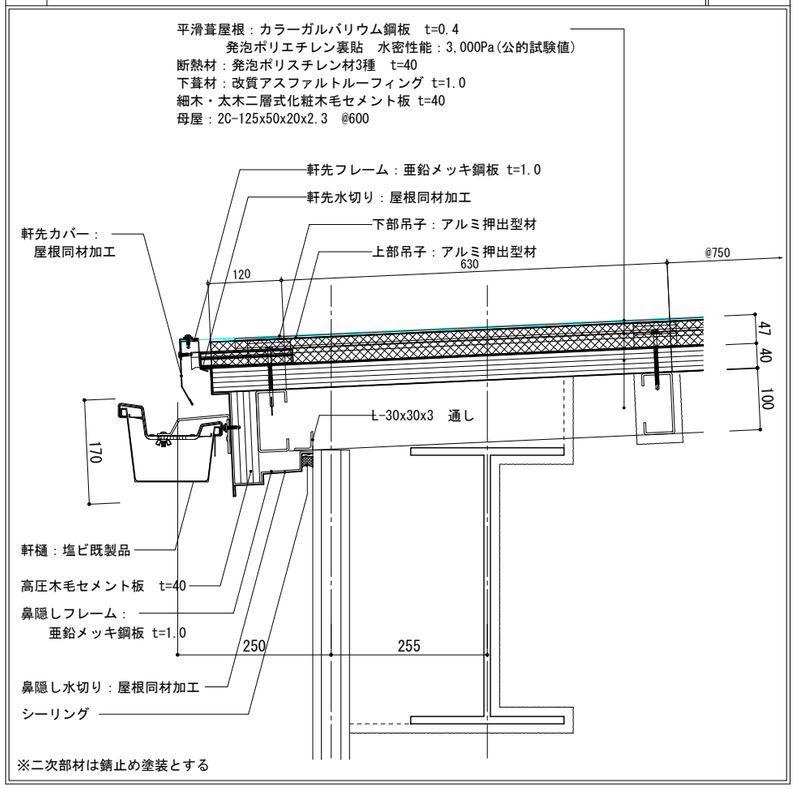
本体・支柱：アルミ押出し形材　クリアー付　　重量：42kg
色　　調：ＳＬＣ（サンシルバー），ＢＤ（ダークブロンズ）
掲示ボード：マグネットボード（ホワイト）3mm
（マグネット付）
照　　明：なし
保　護　板：強化ガラス 4mm
錠　　前：コインロックミニ キー付

地耐力（kN/m ）　50　を確保すること

基礎寸法 a

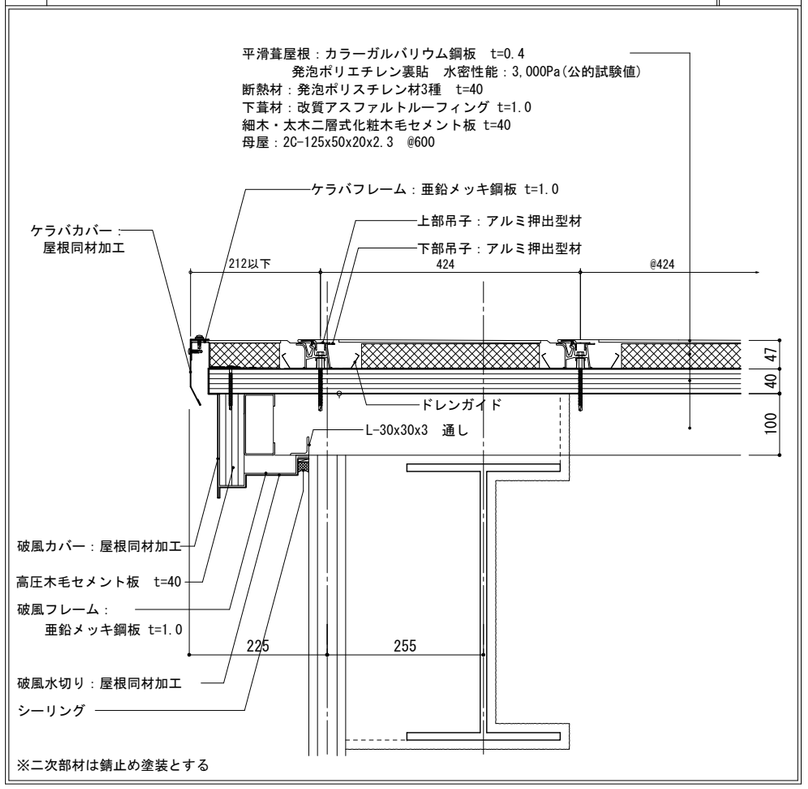
基準風速 Vo (m/s)	地耐力（kN/m ）² 50	100
30	600	450
32	600	500
34	650	550
36	700	550
38	750	600

屋根Ｂ（吹抜上部・軒先）　A3:S=1/10



※二次部材は錆止め塗装とする

屋根Ｂ（吹抜上部・けらば）　A3:S=1/20



※二次部材は錆止め塗装とする

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	部分詳細図-11（屋根・幕板・地下防水）	縮尺 図示	図面番号 A－073

	品名	数量	
一般エリア（書架中置6段）			
①	LR中置書架　直立複式3連6段	7 台	8,820冊（35冊／棚）
②	LR中置書架　直立複式5連6段	1 台	2,100冊（35冊／棚）
③	LR中置書架　直立複式5連文庫9段（6段）	2 台	9,900（55冊／棚）
④	LR壁面書架　直立単式8連3段	1 台	840冊（35冊／棚）
⑤	LR壁面書架　直立単式15連7段	1 台	3,675冊（35冊／棚）
⑥	LR中置視聴覚資料架	1 台	
	直立複式１連９段（６段）		1,350本（75本／棚）
⑦	LR窓面書架　直立単式5連3段	1 台	525冊（35冊／棚）
⑧	LR壁面書架　直立単式7連5段	1 台	490冊（35冊／棚）
	（下３段大型本・上段２段一般書）		大型本525冊（25冊／棚）
⑨	LR中置書架　直立複式2連6段	1 台	840冊（35冊／棚）
⑩	LR中置書架　直立複式6連6段	6 台	15,120冊（35冊／棚）
⑪	LR中置書架　直立複式4連6段	5 台	8,400冊（35冊／棚）
⑫	LR窓際書架　直立単式4連7段	1 台	980冊（35冊／棚）
⑬	LR壁面書架　直立単式1連6段	1 台	210冊（35冊／棚）
⑭	欠番		
⑮	LR壁面書架　直立単式3連7段（予約など）	1 台	735冊（35冊／棚） 冊数には含まず

一般エリア合計（CD含む）
53,775　冊

新聞・雑誌エリア			
あ	木製Y型雑誌架　複式6連4段	1 台	96　誌（48誌／台）
い	木製新聞掛（12紙）	1 台	バックナンバー1,152冊
う	木製新聞収納架（12紙）	1 台	12　紙（12紙／台）
え	木製多目的書架　キャスター付	2 台	12　紙（12紙／台）
せ	木製新聞閲覧机（複式・立ち式）	1 台	984冊（41冊／棚）

雑誌・新聞合計
2,256　冊

一般エリア・雑誌・新聞合計
56,031　冊

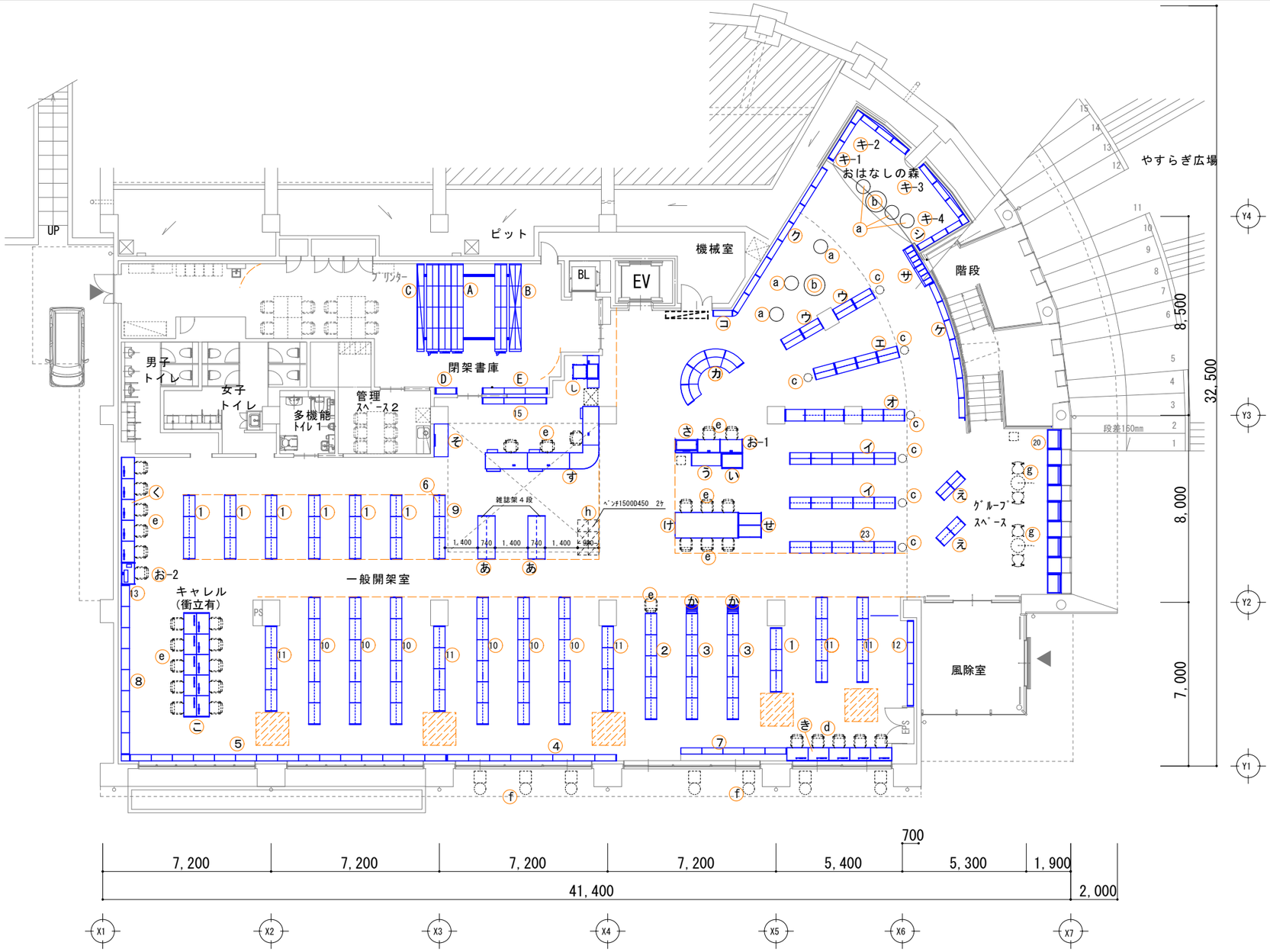
こども室			
ア	欠番		
イ	木製書架　直立複式5連4段	2 台	3,600冊（45冊／棚）
ウ	木製絵本架　直立複式1連3段 キャスター付	4 台	1,440冊（60冊／棚）
エ	木製絵本架　直立複式1連3段 キャスター付	4 台	1,440冊（60冊／棚）
オ-1	木製絵本架　直立複式2連3段	1 台	720冊（60冊／棚）
オ-2	木製絵本架　直立複式3連3段	1 台	990冊（55冊／棚）
カ	ベンチ付き　絵本架　単式5連3段	1 台	525冊（35冊／棚）
キ-1	木製絵本架　直立単式2連4段	1 台	480冊（60冊／棚）
キ-2	木製絵本架　直立単式3連4段	1 台	636冊（53冊／棚）
キ-3	木製絵本架　直立単式3連4段	1 台	720冊（60冊／棚）
キ-4	木製絵本架　直立単式2連4段	1 台	368冊（46冊／棚）
ク	木製壁面書架　直立単式8連4段	1 台	1,440冊（45冊／棚）
ケ	木製壁面書架　直立単式7連4段	1 台	1,148冊（41冊／棚）
コ	木製絵本架　直立単式1連4段	1 台	216冊（54冊／棚）
サ	木製紙芝居架　単式2連	1 台	400冊（200冊／棚）
シ	下足入　1連	1 台	

こども室合計
14,123　冊

中高生エリア			
⑳-1	木製書架　直立単式1連4段	4 台	400冊（25冊／棚）
⑳-2	木製書架　直立単式1連4段（背面展示）キャスター付	5 台	600冊（30冊／棚）
㉑	欠番		
㉒	欠番		
㉓	木製書架　直立複式５連４段 （片面上部３段展示＋最下段１段）	1 台	1,125（45冊／棚）

中高生エリア合計
2,125　冊

こども室・中高生エリア合計
16,248　冊



テーマ展示エリア・他		
お-1	木製OPAC台	2 台
お-2	木製OPAC台	1 台
か	サイド用展示架	2 台
き	窓際カウンター席　５人用 （ハイカウンター・電源コンセント・照明付）	1 台
く	壁際席　５人用 （衝立・照明付）	1 台
け	閲覧テーブル　６人用 （照明付）	1 台
こ	キャレルデスク　１０人用 （衝立・照明付き）	1 台
さ	木製記載台単式	1 台
し	木製自動返却機台+返却本カート	1 台
す	木製受付カウンター＋ユニットケース	1 台
そ	プリンター台	1 台

番号	品名	数量		
閉架書庫				
A	集密可動書架　複式4連6段	4	台	6,720　冊（35冊／棚）
B	集密固定書架　複式4連6段	1	台	1,680　冊（35冊／棚）
C	集密固定書架　単式4連6段	1	台	840　冊（35冊／棚）
D	スチール書架　単式1連7段	1	台	245　冊（35冊／棚）
E	スチール書架　単式3連7段	1	台	735　冊（35冊／棚）

閉架書庫合計
10,220　冊

別途備品参考（工事外）			
ⓐ	丸形スツール　600Φ	6 台	
ⓑ	丸形スツール　900Φ	2 台	
ⓒ	スツール　児童用　350Φ	7 席	
ⓓ	閲覧椅子（ハイカウンター用）	5 席	
ⓔ	閲覧椅子・OPAC用・受付カウンター	28 席	
ⓕ	屋外用テーブル+椅子	7 席	
ⓖ	テーブル椅子セット（２人）	2 台	4 席
ⓗ	ベンチ	6 席	
	閲覧席合計	65 席	

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	書架キープラン （参考）	縮尺　1：200	図面番号　A－074

図書館家具　特記仕様書

総則【一般事項】

（１）施工範囲
図面に記載された家具の製作に関する一切の工事を含み、その製作物を現場搬入し、配置図の位置に整備するものとする。

（２）係員
本仕様書にいう係員とは（監理者）及びその委任するものを示す。
係員の指示及び承認もしくは検査、立ち会い等はすべて監理業務の権限と責任によって行われたものとみなす。

（３）変更
１.設計、仕様、工程及び納期等について請負者の判断による変更は無断で行ってはならない。
２.原寸図、試作の時又は現場との収まり、取り合いの関係で軽微な変更を行う場合は、係員の確認を委する。

（４）製作及び製作図
家具の製作に当たっては設計図に基づき、施工図を提出し、係員の確認を得た後でなければ製作にかかってはならない。

（５）材料
１.本工事の使用材料の主材はホワイトオーク材を使用し、特記なき限り、日本農林規格（ＪＡＳ）用材規格規定によるものとする。
２.木材は、天然乾燥の後、人工乾燥させ、さらに殺虫処理完了させたものを2週間以上室内に放置し、安定させたものを使用する。
３.図面記入寸法はすべて仕上げ寸法を示すものである。
４.割付、納まり等意匠上関係のある材料及び処理は、着工前に係員の承認を受け製作に掛る事。
材料、塗装については見本品を提出し、係員の確認を得ること。

（６）検査
１.配置完了後現場にて係員により現場配置完了検査を行う。
２.検収：引き渡しを目的とし、必要に応じ取扱い及び手入れ方法等について説明を行う。
３.検収方法は、図面、仕様書との照合によって行う。
４.仕上がり寸法許容範囲は、外寸法（間口、奥行き、高さ）において±3mm以下、テーブル甲板、書架棚板等の厚さは1mm以内とする。
５.完成検査、製品完成時の点検を請負者の責任に於いて行い、その結果と処理を係員に報告し承認を受ける。不合格品は係員の指示により手直し又は取り替えをする。

（７）保証
１.万一不備な点（手直し未完了等）が生じた場合は係員の指示により発注者の承認を受ける。
検収後であっても、材料の不良、製作の粗悪によるキズ、故障等に対しては、直ちに新規取替え又は補修を行う。
２.検収後、満一年間製品のメーカー保証をする。

（８）搬入及び養生
１.現場搬入はあらかじめ搬入工程表を係員に提出し、それによって行う。
２.搬入時及び搬入後に、家具及び建築物を損傷しないように養生を施すと共に、その取扱いには注意すること。

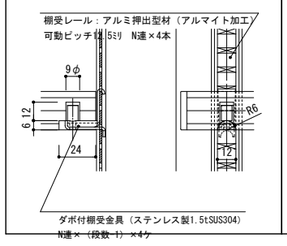
（９）地震対策
１.木製書架等の地震対策として棚板落下防止のために＜図１＞と同等かそれ以上の仕様の振動実験の実績のある棚受金具・棚受レールを使用すること。その際の実験結果をまとめた資料等を提出すること。
また、転倒防止のために耐震対策金具を使用し、＜図２＞の固定方法を施すこと。
耐震対策に使用する金具は現物を提出し係員の承認を得ること。
２.耐震対策を施す什器の選別は係員の指示のもとに行うこと。

（10）記録
製作図、竣工写真を係員の指示を受けて提出すること。部数・書式については係員の指示による。

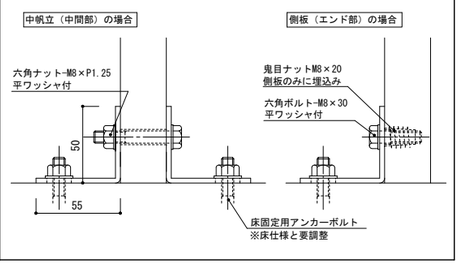
（11）著作権
工業所有権の紛争に関わる事項は請負者がその解決の任に当るものとする。

（12）製作メーカー
図書館用家具製作に関して、過去に同規模以上の図書館家具製作及び納品実績のある、図書館家具を専門に製作するメーカーとする。

＜図１＞ 棚受金物詳細図 S=1/2



＜図２＞ 床固定金物詳細図 S=1/2



製作【木製品】

○材料

（１）合板類
１.家具工事に使用する合板はすべて指定材種とし、日本農林規格（ＪＡＳ）のホルムアルデヒド放散量に関する等級区分の「F☆☆☆☆」を満足すること。
２.積層合板は長手にジョイントする場合は、スカーフジョイント（斜めつぎ）とし隙間があってはならない。

（２）化粧板
生地仕上げに用いる合板類の表面に練付ける化粧板は、白太割、節等の欠点のない木目正しい柾目スライサーを突板とし、厚さ０．３mmのものを使用する。

（３）見掛材
見掛材は、すべて図面指示及び一般事項（5）材料の項により指定された材種を使用し木理正しく白太割、節等の欠点のない材とする。

（４）見隠材
見隠材といえども堅木を使用し、腐れ、節、抜けやすい節、よじれ等のあるものは、使用してはならない。

（５）ロールコア
１.木製家具のフラッシュ構造にて組まれる天板・甲板・側板・中方立は芯材にロールコアを使用する。
２.ロールコアは破損等の無い完全なものを用い、特に枠組みはねじれの生じないよう良材を選定する。パーティクルボード、ハードボードの使用は認めない。

（６）金物
１.構造や安全に関わる連結用ボルト、棚受金物、棚レール、などはあらかじめ見本品を提出し係員の確認を得ることとし、その他の丁番、ブラパートアジャスター、取手なども係員の指示により必要に応じて確認を得ること。
２.棚受金物は、＜図１＞に図示した仕様と同等かそれ以上とし、ダボが棚板内部に挿入されることで落下防止の効果となるステンレス製ダボ付ツメ金具を基本仕様とする。レール取付けのツメは2個所以上で支持するものでダボの長さは10mm以上、径は7φ以上のものとする。
３.棚レールは、＜図１＞に図示した仕様と同等かそれ以上とし、可動ピッチ12.5mm、サイズ調整確認マーク刻印を有する1.5mm厚のアルミ製押出金物を基本仕様とする。

（７）接着剤・塗料
木工用接着剤及び木工用塗料は目的・用途に応じた、F☆☆☆☆相当の優れたメーカー製品を用いること。

○加工

（１）機械加工
機械加工は原寸図に従い指示された寸法を厳守し、逆目等が生ぜぬように注意するものとする。
１.平面加工
木取りした部材は手押しカンナ及び自動カンナをもって厚みと平面を加工し、巾を決定後必要に応じてスーパーサーフェーザーで表面を仕上げる。
２.切断加工
手押しカンナ及び自動カンナで平面加工が完了したものは、昇降盤で所定の寸法に切断する。
３.柄、柄穴、小穴、溝、曲面加工柄は原則として両胴付きとして昇降盤等で加工する柄穴は角ノミで所定の寸法の穴をあける。
４.組手加工はホゾ組とし、ダボ組は認めない。

（２）接着加工
フラッシュ、積層合板の接着に当たっては、圧縮力、圧縮時間に留意し、糊泡、ゴミ等に注意し圧縮力は、１０kg／cm 以上の圧力のものを使用するものとする。

（３）手加工
部材の手カンナ掛けはカンナ目、逆目等が生ぜぬように注意する。

（４）塗　装
木部塗装の仕上げの工程は下表による。特記無き木製家具は全てポリウレタン塗装仕上げとする。

ポリウレタン塗装工程表

	工　程	使用材料	作　業
1	素地調整	サンドペーパー・サンダーなど	逆目、鉋境の無いよう表面を平滑にする
2	着色目止	着色材	ヘラしごき目止または布目止を反復し目こぼしの無いよう十分注意する
3	目止め研ぎ	サンドペーパー＃３２０	余分な目止材を除き平滑にする
4	下塗り	ウレタンサンディング	むらの無いよう塗る
5	下研ぎ	サンドペーパー＃２４０	平滑になるよう研ぐ
6	中塗り	ウレタンサンディング	むらの無いよう平滑に塗る
7	中塗研ぎ	耐水ペーパー＃３２０	平滑になるよう均一に研ぐ
8	上塗り	ウレタンサンディング	中塗りに同じ
9	上塗研ぎ	耐水ペーパー＃６００	中塗研ぎに同じ
10	仕上げ	ウレタンフラット	むらの無いよう平滑に塗る

製作【スチール書架】

○部材仕様
１.支柱は30mm×50mmのスチール角パイプで、板厚2.3mm以上の厚さがあること。
２.脚は30mm×70mmのスチール角パイプで、板厚2.3mm以上の厚さがあり、支柱にアーク溶接とする。
３.強度を考慮し、上つなぎは高さ100mm以上、下つなぎは300mm以上で、各1.6mm以上の厚さがあること。また、接合ボルトなどが表面に現れないようにそれを隠す1.0mmの厚さ以上のカバーをつけること。
４.棚板は＜図３＞に図示した仕様とし、板厚1.0mm以上の厚みがあり、25mmピッチ可動式、長手方向の補強折り返しは前後とも7折以上とする。
５.棚板を受ける袖板との間にはブックサポートレールを兼用した棚板補強材を用いて棚板の強度を確保すること。

○加工

（１）切断加工
各部材の切断及び孔開けはすべて機械加工とし、構造部材の切断鋼板の圧延方向と軸線とを直角にとることを原則とする。特に人体に接する部分については、切断によるバリを残さない加工とし、これらの加工精度は±１mmとする。

（２）曲げ加工
１.曲げ加工はすべて機械加工とし、ロール加工を含め常温下で行う。
２.加工精度は、曲げ加工については±１°以内、曲げ寸法については±１mm以内とする。

（３）切断加工
車輪等の主要部材はNCマシンによる加工を行い、その加工精度は5／100とする。

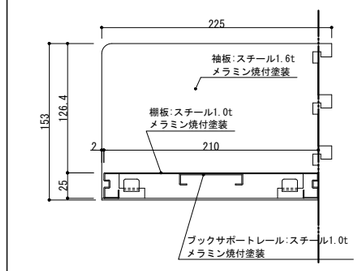
（４）溶接加工
溶接加工は、アーク溶接またはCO2ガス溶接とし、JIS-Z-3801「溶接技術検定における試験方法並びにその判定基準」に規定された有資格者が行う。

（５）塗装
主要部材（支柱・棚板・袖板・サポートレール等）の塗装は特記無き場合すべてメラミン焼付け塗装とし、塗膜厚さは20マイクロメートルを確保すること。

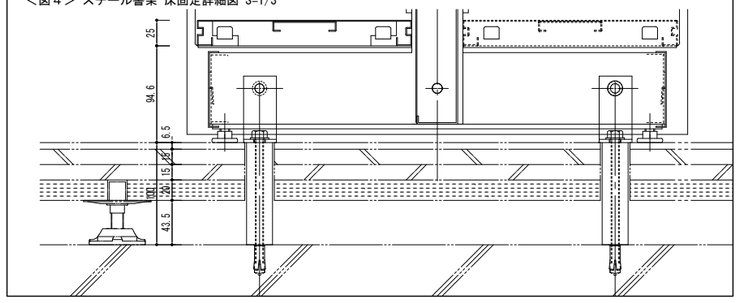
メラミン焼付塗装工程表

	工　程	作　業
1	脱脂・化成被膜	スプレー式自動前処理 防錆（リン酸鉄）
2	水洗	スプレー式自動前処理 2回
3	水切乾燥	乾燥炉（130～180℃）
4	下塗	自動静電塗装機
5	下塗補正	手吹塗装機
6	上塗	自動静電塗装機
7	上塗補正	手吹塗装機
8	焼付乾燥	熱風乾燥炉（110～150℃で20分）
9	放熱	自然放熱（10～15分）
10	検査	塗装被膜20μ以上

＜図３＞ スチール書架 棚板詳細図 S=1/3



＜図４＞ スチール書架 床固定詳細図 S=1/3



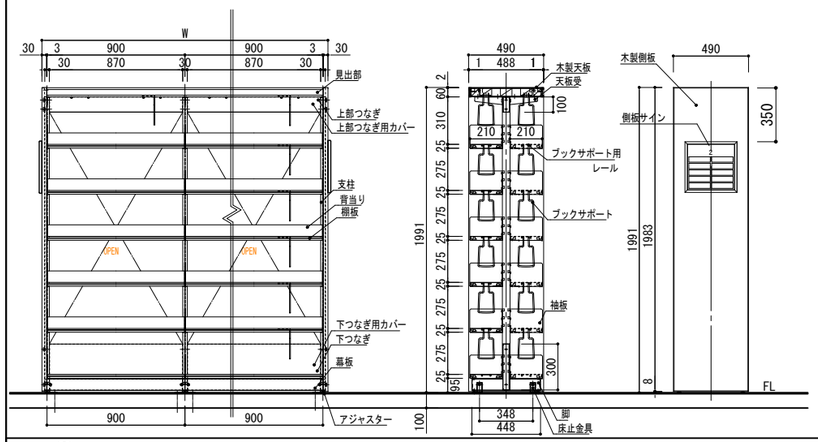
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	書架仕様書（参考）	縮尺	NON	図面番号	A－075
			特記事項		特記事項		特記事項							

①②⑩⑪ LR中置書架　直立複式６段

縮尺=１／４０　　数量=下記

番号	連数	W寸法	数量	重量
①	3連	2766	7台	12155.5kg（1736.5kg／台）
②	5連	4566	1台	2870.6kg（2870.6kg／台）
⑩	6連	5466	6台	20625.6kg（3437.6kg／台）
⑪	4連	3666	5台	11517.5kg（2303.5kg／台）

部品名	仕　様
支柱	スチール角パイプ50×30×2.3t、メラミン焼付塗装
脚	スチール角パイプ70×30×2.3t、メラミン焼付塗装
上部つなぎ	スチール1.6t、2.0t、メラミン焼付塗装
上部つなぎ用カバー	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
下部つなぎ	スチール1.6t、2.0t、メラミン焼付塗装
下部つなぎ用カバー	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
袖板	スチール1.6t、メラミン焼付塗装
棚板	スチール1.0t、メラミン焼付塗装、可動P=25ミリ
背当り	スチール0.8ｔ、メラミン焼付塗装
ブックサポート用レール	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
幕板	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
天板受	スチール1.6ｔ、メラミン焼付塗装
木製天板	合板フラッシュ、両面突板
見出部	アルミ押出合金、アルマイト加工
木製側板	合板フラッシュ、両面突板,木口4t挽板
ブックサポート	スチール丸棒6Φ、樹脂コーティング
側板サイン	枠：ナラ単材、プレート：アクリルマット板、マグネット着脱式
	表示：書架番号アクリル切文字、用紙：セルフプリント式

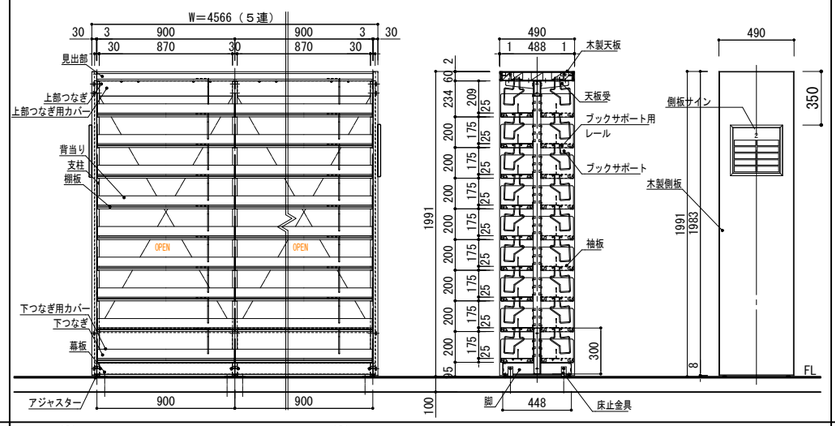


③ LR中置書架　直立複式５連文庫９段（６段）

縮尺=１／４０　　数量=２台

重量
5758kg（2879kg／台）

部品名	仕　様
支柱	スチール角パイプ50×30×2.3t、メラミン焼付塗装
脚	スチール角パイプ70×30×2.3t、メラミン焼付塗装
上部つなぎ	スチール1.6t、2.0t、メラミン焼付塗装
上部つなぎ用カバー	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
下部つなぎ	スチール1.6t、2.0t、メラミン焼付塗装
下部つなぎ用カバー	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
袖板	スチール1.6t、メラミン焼付塗装
棚板	スチール1.0t、メラミン焼付塗装、可動P=25ミリ
背当り	スチール0.8ｔ、メラミン焼付塗装
ブックサポート用レール	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
幕板	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
天板受	スチール1.6ｔ、メラミン焼付塗装
木製天板	合板フラッシュ、両面突板
見出部	アルミ押出合金、アルマイト加工
木製側板	合板フラッシュ、両面突板,木口4t挽板
ブックサポート	文庫新書用、スチール丸棒6Φ、樹脂コーティング
側板サイン	枠：ナラ単材、プレート：アクリルマット板、マグネット着脱式
	表示：書架番号アクリル切文字、用紙：セルフプリント式

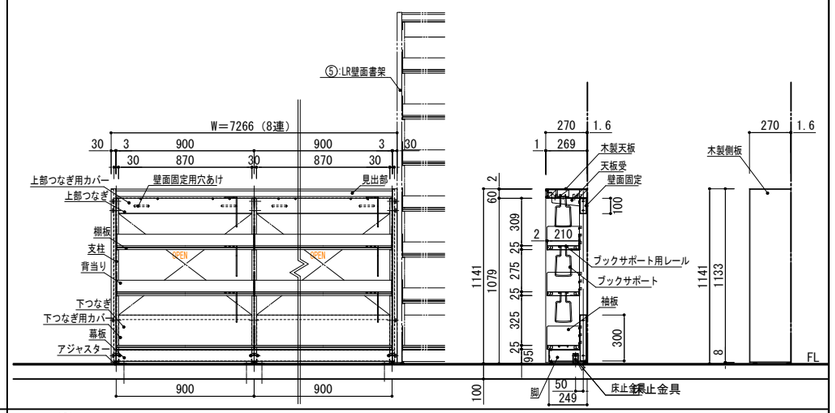


④ LR壁面書架　直立単式８連３段

縮尺=１／４０　　数量=１台

重量
1271.8kg（1271.8kg／台）

部品名	仕　様
支柱	スチール角パイプ50×30×2.3t、メラミン焼付塗装
脚	スチール角パイプ70×30×2.3t、メラミン焼付塗装
上部つなぎ	スチール1.6t、2.0t、メラミン焼付塗装
上部つなぎ用カバー	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
下部つなぎ	スチール1.6t、2.0t、メラミン焼付塗装
下部つなぎ用カバー	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
袖板	スチール1.6t、メラミン焼付塗装
棚板	スチール1.0t、メラミン焼付塗装、可動P=25ミリ
背当り	スチール0.8ｔ、メラミン焼付塗装
ブックサポート用レール	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
幕板	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
天板受	スチール1.6ｔ、メラミン焼付塗装
木製天板	合板フラッシュ、両面突板,後木口突板貼り
見出部	アルミ押出合金、アルマイト加工
木製側板	合板フラッシュ、両面突板、三方木口4t挽板、後木口突板貼り
側板取付金具	スチール1.6t、クロメートメッキ
ブックサポート	スチール丸棒6Φ、樹脂コーティング

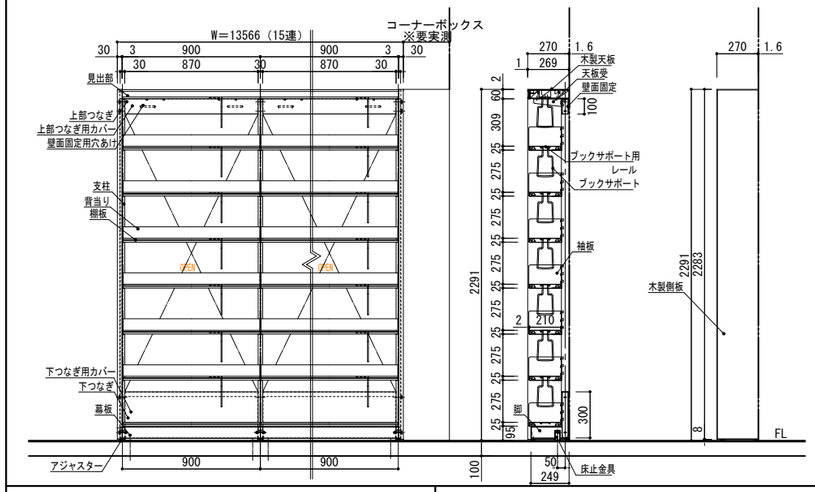


⑤ LR壁面書架　直立単式７段

縮尺=１／４０　　数量=1台

重量
5105.5kg（5105.5kg／台）

部品名	仕　様
支柱	スチール角パイプ50×30×2.3t、メラミン焼付塗装
脚	スチール角パイプ70×30×2.3t、メラミン焼付塗装
上部つなぎ	スチール1.6t、2.0t、メラミン焼付塗装
上部つなぎ用カバー	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
下部つなぎ	スチール1.6t、2.0t、メラミン焼付塗装
下部つなぎ用カバー	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
袖板	スチール1.6t、メラミン焼付塗装
棚板	スチール1.0t、メラミン焼付塗装、可動P=25ミリ
背当り	スチール0.8ｔ、メラミン焼付塗装
ブックサポート用レール	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
幕板	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
天板受	スチール1.6ｔ、メラミン焼付塗装
木製天板	合板フラッシュ、両面突板、後木口突板貼り
見出部	アルミ押出合金、アルマイト加工
木製側板	合板フラッシュ、両面突板、三方木口4t挽板、後木口突板貼り
側板取付金具	スチール1.6t、クロメートメッキ
コーナーボックス	合板フラッシュ、見掛かり突板、出隅単材
ブックサポート	スチール丸棒6Φ、樹脂コーティング

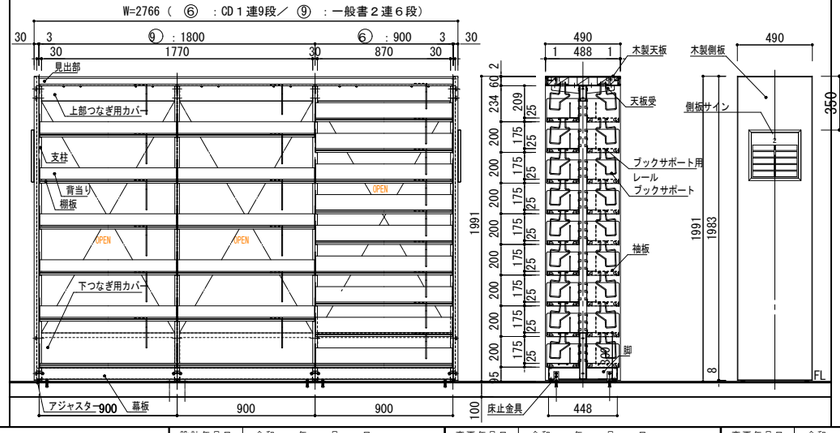


⑥ LR中置視聴覚資料架　直立複式１連９段（６段）　⑨ LR中置書架　直立複式２連６段

縮尺=１／４０　　数量=１台

番号	連数	重量
⑥	CD	636kg（636kg／台）
⑨	一般書	1194.6kg（1194.6kg／台）

部品名	仕　様
支柱	スチール角パイプ50×30×2.3t、メラミン焼付塗装
脚	スチール角パイプ70×30×2.3t、メラミン焼付塗装
上部つなぎ	スチール1.6t、2.0t、メラミン焼付塗装
上部つなぎ用カバー	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
下部つなぎ	スチール1.6t、2.0t、メラミン焼付塗装
下部つなぎ用カバー	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
袖板	スチール1.6t、メラミン焼付塗装
棚板	スチール1.0t、メラミン焼付塗装、可動P=25ミリ
背当り	スチール0.8ｔ、メラミン焼付塗装
ブックサポート用レール	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
幕板	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
天板受	スチール1.6ｔ、メラミン焼付塗装
木製天板	合板フラッシュ、両面突板
見出部	アルミ押出合金、アルマイト加工
木製側板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
ブックサポート	文庫新書用、スチール丸棒6Φ、樹脂コーティング
側板サイン	枠：ナラ単材、プレート：アクリルマット板、マグネット着脱式
	表示：書架番号アクリル切文字、用紙：セルフプリント式

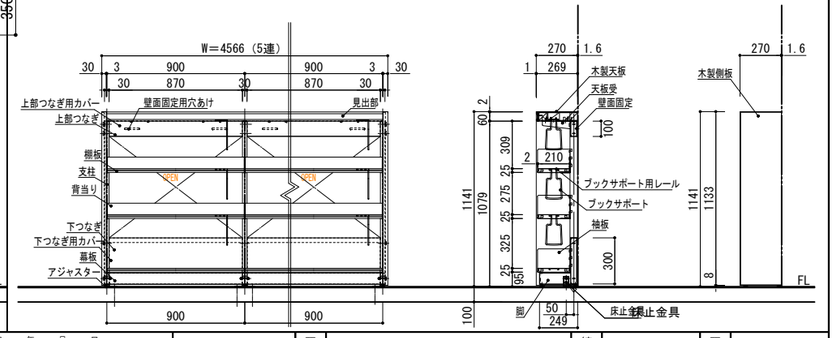


⑦ LR窓面書架　直立単式5連3段

縮尺=１／４０　　数量=１台

重量
5105.5kg（5105.5kg／台）

部品名	仕　様
支柱	スチール角パイプ50×30×2.3t、メラミン焼付塗装
脚	スチール角パイプ70×30×2.3t、メラミン焼付塗装
上部つなぎ	スチール1.6t、2.0t、メラミン焼付塗装
上部つなぎ用カバー	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
下部つなぎ	スチール1.6t、2.0t、メラミン焼付塗装
下部つなぎ用カバー	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
袖板	スチール1.6t、メラミン焼付塗装
棚板	スチール1.0t、メラミン焼付塗装、可動P=25ミリ
背当り	スチール0.8ｔ、メラミン焼付塗装
ブックサポート用レール	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
幕板	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
天板受	スチール1.6ｔ、メラミン焼付塗装
木製天板	合板フラッシュ、両面突板,後木口突板貼り
見出部	アルミ押出合金、アルマイト加工
木製側板	合板フラッシュ、両面突板、三方木口4t挽板、後木口突板貼り
側板取付金具	スチール1.6t、クロメートメッキ
コーナーボックス	合板フラッシュ、見掛かり突板、出隅単材
ブックサポート	スチール丸棒6Φ、樹脂コーティング



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名　書架詳細図－１（一般書－１）（参考）

縮尺	図面番号
1：40	A－ 076

⑧ LR壁面書架　直立単式７連５段（下３段大型本・上２段一般書）
⑬ LR壁面書架　直立単式１連６段

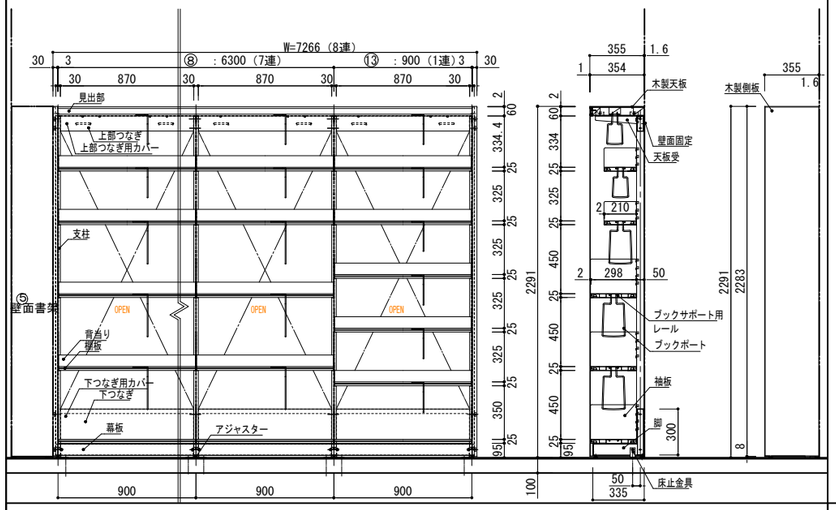
縮尺=１／４０　　数量=各1台

部品名	仕　様
支柱	スチール角パイプ50×30×2.3t、メラミン焼付塗装
脚	スチール角パイプ70×30×2.3t、メラミン焼付塗装
上部つなぎ	スチール1.6t、2.0t、メラミン焼付塗装
上部つなぎ用カバー	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
下部つなぎ	スチール1.6t、2.0t、メラミン焼付塗装
下部つなぎ用カバー	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
袖板	スチール1.6t、メラミン焼付塗装
棚板	スチール1.0t、メラミン焼付塗装、可動P=25ミリ
背当り	スチール0.8ｔ、メラミン焼付塗装
ブックサポート用レール	スチール1.0t、メラミン焼付塗装

部品名	仕　様
幕板	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
天板受	スチール1.6ｔ、メラミン焼付塗装
木製天板	合板フラッシュ、両面突板、後本口突板貼り
見出部	アルミ押出合金、アルマイト加工
木製側板	合板フラッシュ、両面突板、三方木口4t挽板、後本口突板貼り
側板取付金具	スチール1.6t、クロメートメッキ
ブックサポート	スチール丸棒6Φ、樹脂コーティング
※ ⑧ 書架最下段（7連）：大型本用棚板	
※ ⑬ 書架最下段（1連）：大型本用棚板	

番号	重量
⑬	303.9kg（303.9kg／台）

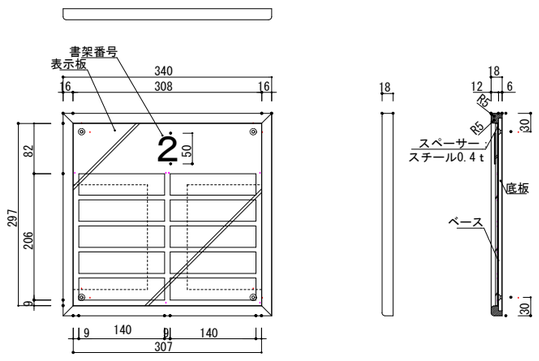
（８：大型本3段+一般書2段7連／　１３　：一般書６段１連）



S－１０　　側板サインSP（複式用）　　縮尺=１／10　　数量=はサイン図による

部品名	仕　様
額縁	ナラ単材
表示板	3t透明アクリルマット板+0.4tスチール板
	シルク印刷（裏刷り・規格色　5色）、マグネット脱着式
書架番号	要数字指定、アクリル切り文字（H50×t2）ホワイト
表示カード	148.5×210（スライド式）
ベース	1tマグネットシート貼り
底板	5.5t合板

※取付位置は確認を要する

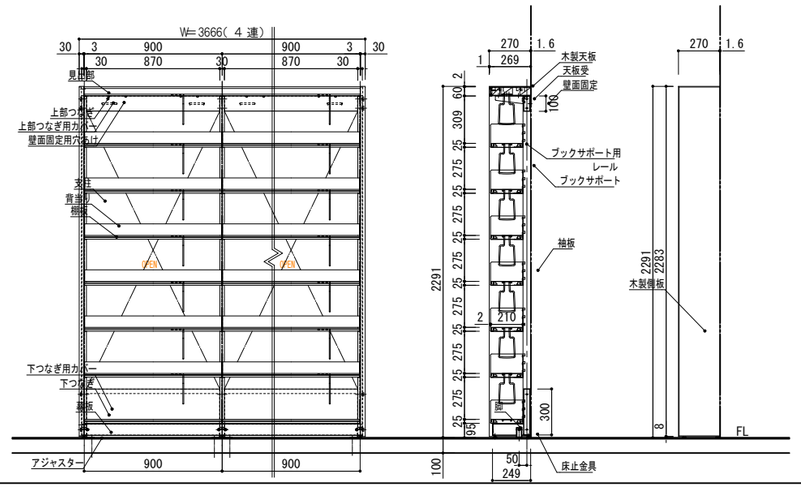


⑫　LR壁面書架　直立単式4 連7 段

縮尺=１／４０　　数量=１台

重量
1382.8kg（ 1382.8kg／台）

部品名	仕　様
支柱	スチール角パイプ50×30×2.3t、メラミン焼付塗装
脚	スチール角パイプ70×30×2.3t、メラミン焼付塗装
上部つなぎ	スチール1.6t、2.0t、メラミン焼付塗装
上部つなぎ用カバー	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
下部つなぎ	スチール1.6t、2.0t、メラミン焼付塗装
下部つなぎ用カバー	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
袖板	スチール1.6t、メラミン焼付塗装
棚板	スチール1.0t、メラミン焼付塗装、可動P=25ミリ
背当り	スチール0.8ｔ、メラミン焼付塗装
ブックサポート用レール	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
幕板	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
天板受	スチール1.6ｔ、メラミン焼付塗装
木製天板	合板フラッシュ、両面突板、後本口突板貼り
見出部	アルミ押出合金、アルマイト加工
木製側板	合板フラッシュ、両面突板、三方木口4t挽板、後本口突板貼り
側板取付金具	スチール1.6t、クロメートメッキ
ブックサポート	スチール丸棒6Φ、樹脂コーティング

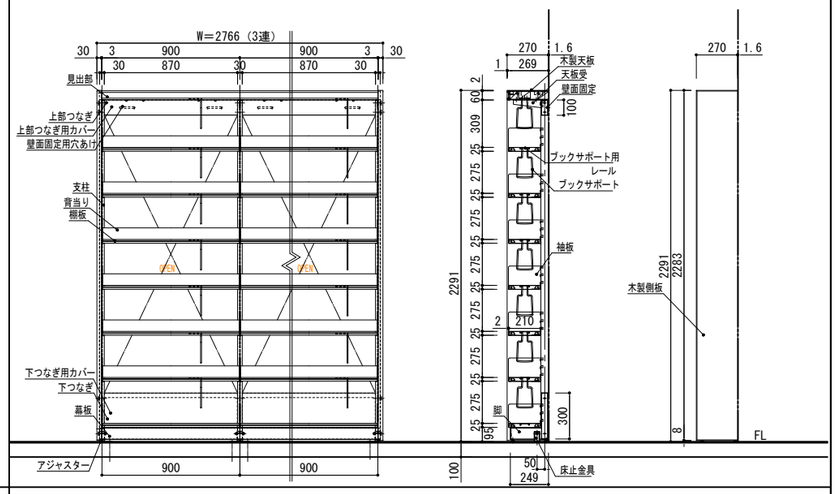


⑮ LR壁面書架　直立単式３連７段（予約など）

縮尺=１／４０　　数量=１台

重量
1039.8kg（ 1039.8kg／台）

部品名	仕　様
支柱	スチール角パイプ50×30×2.3t、メラミン焼付塗装
脚	スチール角パイプ70×30×2.3t、メラミン焼付塗装
上部つなぎ	スチール1.6t、2.0t、メラミン焼付塗装
上部つなぎ用カバー	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
下部つなぎ	スチール1.6t、2.0t、メラミン焼付塗装
下部つなぎ用カバー	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
袖板	スチール1.6t、メラミン焼付塗装
棚板	スチール1.0t、メラミン焼付塗装、可動P=25ミリ
背当り	スチール0.8ｔ、メラミン焼付塗装
ブックサポート用レール	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
幕板	スチール1.0t、メラミン焼付塗装
天板受	スチール1.6ｔ、メラミン焼付塗装
木製天板	合板フラッシュ、両面突板、後本口突板貼り
見出部	アルミ押出合金、アルマイト加工
木製側板	合板フラッシュ、両面突板、三方木口4t挽板、後本口突板貼り
側板取付金具	スチール1.6t、クロメートメッキ
コーナーボックス	合板フラッシュ、見掛かり突板、出隅単材
ブックサポート	スチール丸棒6Φ、樹脂コーティング

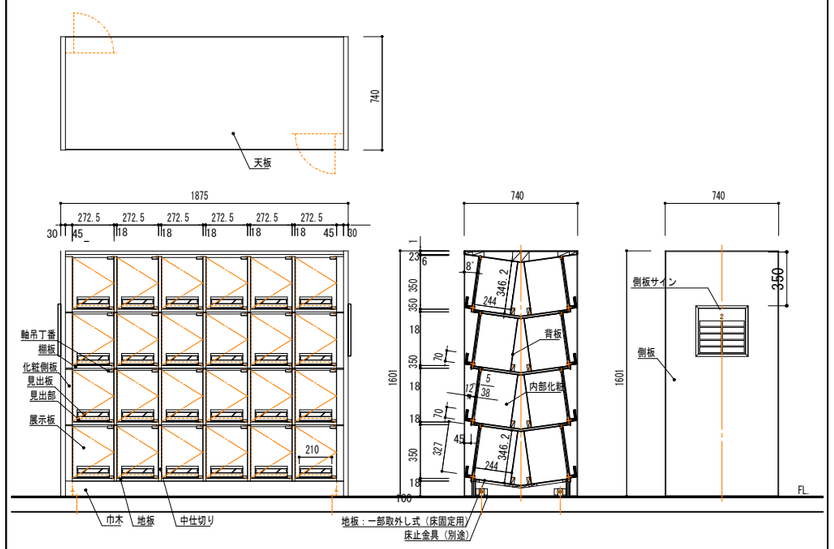


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	書架詳細図－２（一般書－２）（参考）	縮尺	1：40	図面番号	A－ 077

あ－1　木製Y型雑誌架　複式6連3段

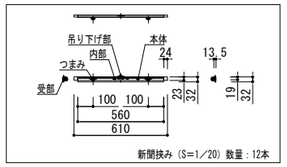
縮尺=1／40　　数量=2台

部品名	仕　様
天板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
側板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
化粧側板	合板フラッシュ、見付突板、木口4t挽板
棚板	合板フラッシュ、両面突板、木口2t挽板
裏板	合板下地、見付突板
展示板	5t 塩ビ板（ブラウンスモーク色）
見出部	単材
見出板	アクリル製　紙差し式
中仕切り	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
地板	合板フラッシュ、上面突板、木口2t挽板　一部取外し式（床固定用）
巾木	積層合板、見付突板
側板サイン	枠：ナラ単材、プレート：アクリルマット板、マグネット着脱式
	表示：書架番号アクリル切文字、用紙：セルフプリント式



い　木製新聞掛（12紙）

縮尺=1／40　　数量=1台

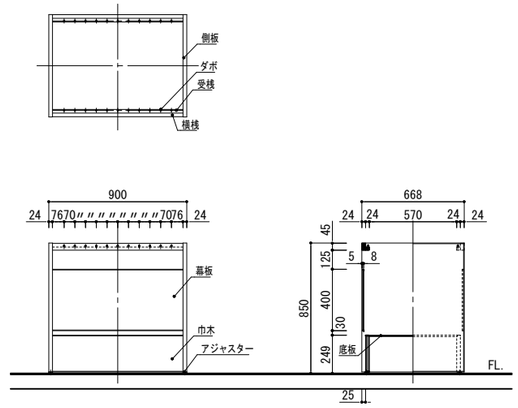


■木製新聞掛（12紙）

部材名	仕　様
側板	合板フラッシュ、両面突板、四方木口4t挽板
幕板	積層合板、両面突板、上下木口4t挽板
巾木	積層合板、見付突板、上下木口4t挽板
底板	合板、上面突板
横桟	ホワイトオーク材
受桟	ホワイトオーク材
ダボ	10φ真ちゅう、Niメッキ、P=70mm

■新聞挟み

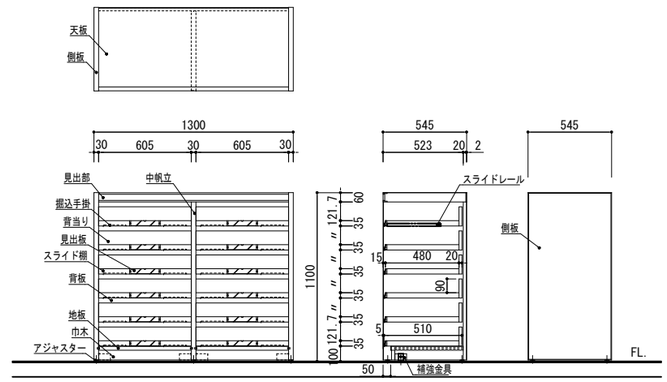
部品名	仕　様
本体	アルミ合金押出型材、アルマイト加工（ブラウン色）
つまみ	プラスチック（黒）、ローレット掛け
内部	板バネ入り
吊り下げ部	Φ3スチール製
受部	プラスチック（黒）



う　木製新聞収納架（12紙）

縮尺=1／40　　数量=1台

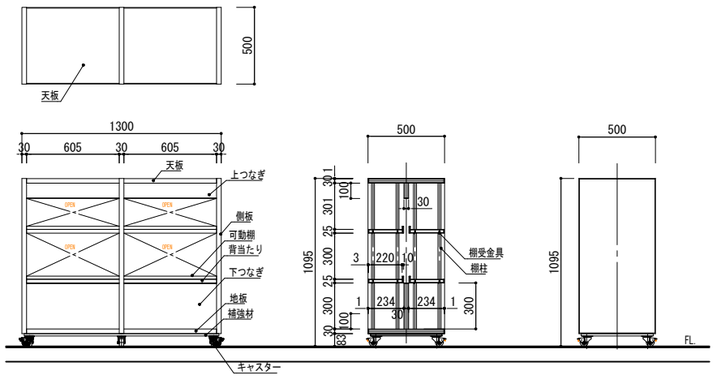
部材	仕　様
側板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
中帆立	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
天板	合板フラッシュ（ロールコア）両面突板、木口4t挽板
見出部	単材、見付突板（合板下地）ケンドン式
背板	合板フラッシュ、両面突板
地板	合板フラッシュ、木口4t挽板、スライド式
スライド棚	合板フラッシュ、両面突板、前木口単材、掘込手掛付
背当り	積層合板、見掛突板
スライドレール	スチールメラミン焼付塗装（白色）L=350、ストローク250
巾木	積層合板、見付突板
見出板	2t+1tアクリル半透明板、下地2tアクリル白色板、両面テープ付、ビス止め
アジャスター	26φ軟質塩ビ、透明
補強金具	スチール1.6t、クロメートメッキ



え　木製多目的書架　キャスター付

縮尺=1／40　　数量=2台

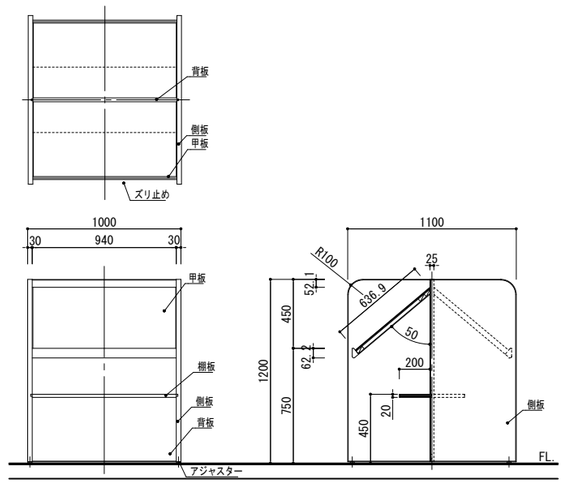
天板	積層合板、両面突板、展示用溝付
側板	合板フラッシュ、両面突板、木口4ｔ挽板
中帆立	合板フラッシュ、両面突板、木口4ｔ挽板
上つなぎ	積層合板、見付突板、木口4t挽板
下つなぎ	積層合板、見付突板、木口4t挽板
可動棚	積層合板、両面突板、木口4ｔ挽板、可動棚ピッチ=12.5mm
地板	積層合板、上面突板、木口4t挽板
補強材	積層合板、木口4t挽板
背当たり	積層合板、両面突板、木口4t挽板
棚柱	アルミ押出型材、可動ピッチ=12.5mm
ダボ付棚受金具	ステンレス1.5t
キャスター	低床重量用キャスター、自在車、ストッパーなし（K-611J—50・タキゲン）
	低床重量用キャスター、自在車、ストッパーあり（K-611JS—50・タキゲン）
	耐荷重：200kg



せ　木製新聞閲覧机（複式・立ち式）

縮尺=1／40　　数量=1台

部品名	仕　様
側板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
背板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
甲板	合板フラッシュ（ロールコア）上面メラミン化粧板、裏面バッカー貼り
ズリ止め	30t単材
棚板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
アジャスター	26φ軟質塩ビ透明

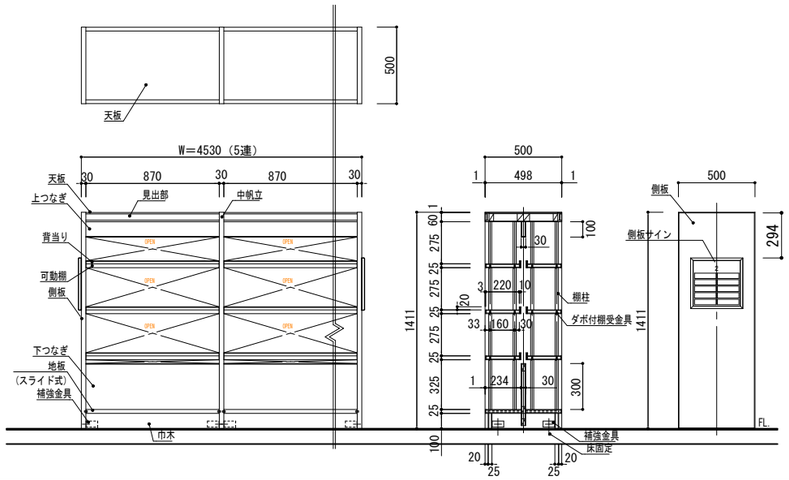


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名	書架詳細図－３（新聞・雑誌）（参考）	縮尺	1：40	図面番号　A－078
		特記事項	特記事項	特記事項					

㋑ 木製書架　直立複式５連４段

縮尺=１／４０　　数量=２台

部品名	仕　様
天板	合板フラッシュ（ロールコア）両面突板
見出部	単材+合板、見付突板、ケンドン式
側板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
中帆立	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
可動棚	積層合板、両面突板、木口4t挽板
背当り	積層合板、両面突板、木口4t挽板
地板	積層合板、上面突板、木口4t挽板、スライド式
巾木	積層合板、見付突板
上つなぎ	積層合板、見付突板、木口4t挽板
下つなぎ	積層合板、見付突板、木口4t挽板
棚柱	アルミ合金押出型材（アルマイト加工）可動P=12.5mm
ダボ付棚受金具	ステンレス1.5t（SUS304）
補強金具	スチール1.6t、クロメートメッキ
側板サイン	枠：ナラ単材、プレート：アクリルマット板、マグネット着脱式
	表示：書架番号アクリル切文字、用紙：セルフプリント式

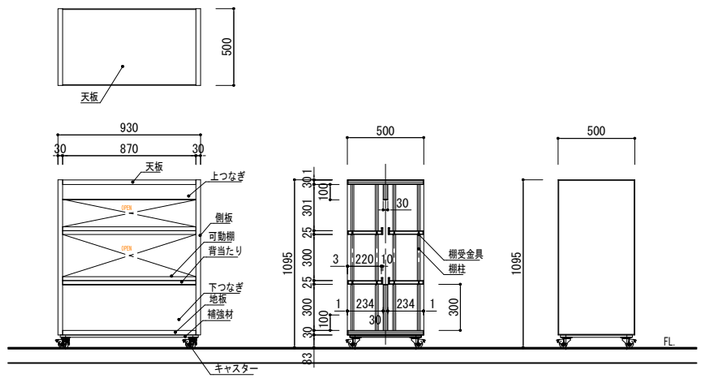


㋒㋓ 木製絵本架　直立複式１連３段　キャスター付

縮尺=１／４０　　数量=下記

番号	数量
ウ	４台
エ	４台

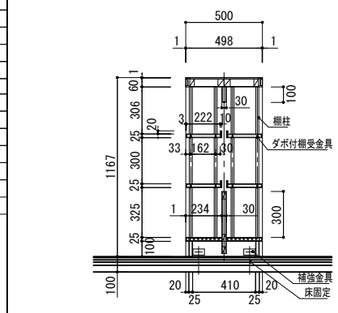
天板	積層合板、両面突板、展示用溝付
側板	合板フラッシュ、両面突板、木口４ｔ挽板
上つなぎ	積層合板、見付突板、木口4t挽板
下つなぎ	積層合板、見付突板、木口4t挽板
可動棚	積層合板、両面突板、木口４ｔ挽板、可動棚ピッチ＝12.5mm
背当り	積層合板、両面突板、木口4t挽板
地板	積層合板、上面突板、木口4t挽板
補強材	積層合板、木口4t挽板
背当たり	積層合板、両面突板、木口4t挽板
棚柱	アルミ押出型材、可動ピッチ＝12.5mm
ダボ付棚受金具	ステンレス1.5t
キャスター	低床重量用キャスター、自在車、ストッパーあり（K-611JS—50・タキゲン）
	耐荷重：200kg

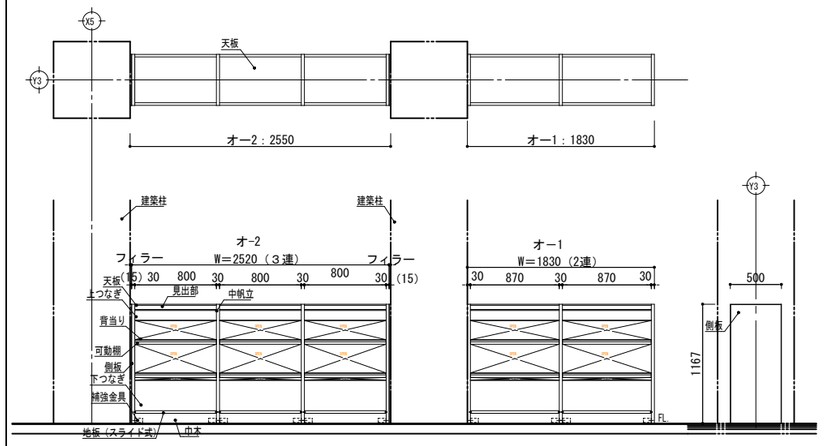


㋔-1 木製絵本架　直立複式２連３段　㋔-2 木製絵本架　直立複式３連３段

縮尺=１／６０・１／４０　　数量=１台

部品名	仕　様
天板	合板フラッシュ（ロールコア）両面突板
見出部	単材+合板、見付突板、ケンドン式
側板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
中帆立	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
可動棚	積層合板、両面突板、木口4t挽板
背当り	積層合板、両面突板、木口4t挽板
地板	積層合板、上面突板、木口4t挽板、スライド式
巾木	積層合板、見付突板
上つなぎ	積層合板、見付突板、木口4t挽板
下つなぎ	積層合板、見付突板、木口4t挽板
棚柱	アルミ合金押出型材（アルマイト加工）可動P=12.5mm
ダボ付棚受金具	ステンレス1.5t（SUS304）
補強金具	スチール1.6t、クロメートメッキ
フィラー	４t化粧合板、現場にて削り合わせ





㋕ ベンチ付き　絵本架　単式５連３段

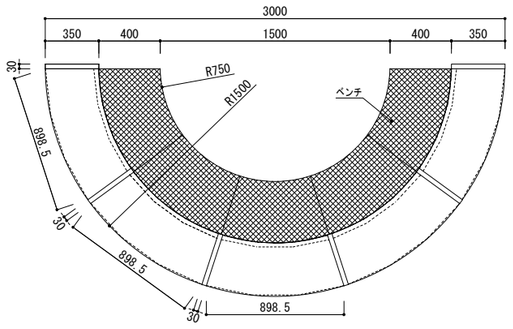
縮尺=１／４０　　数量=１台

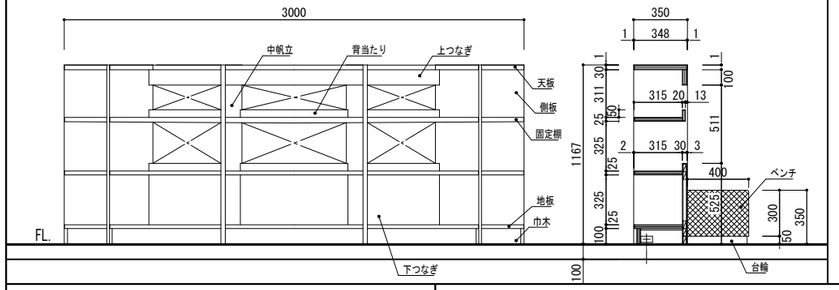
■書架

部品名	仕　様
天板	積層合板、両面突板、木口4t挽板
側板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
中帆立	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
固定棚	積層合板、両面突板、木口4t挽板
背当り	積層合板、両面突板、木口4t挽板
上つなぎ	積層合板、両面突板、木口4t挽板
下つなぎ	積層合板、両面突板、木口4t挽板
地板	積層合板、上面突板、木口4t挽板、落としフタ式
巾木	積層合板、見付突板

■ベンチ

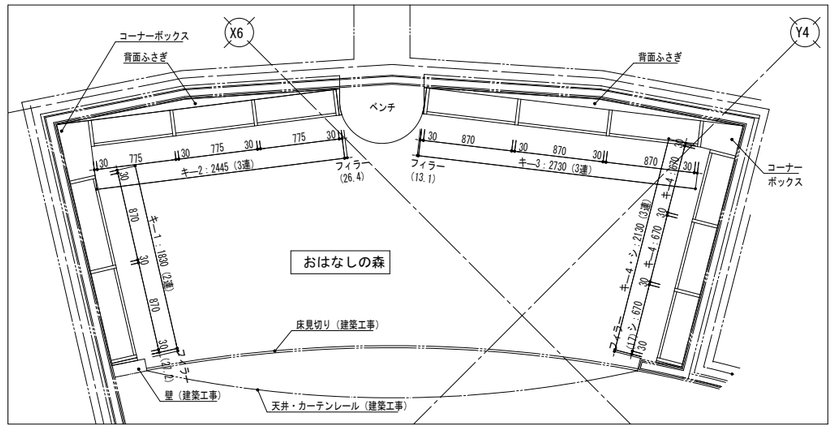
部品名	仕　様
座面	合板下地、硬質ウレタン敷き
	表面ビニールレザー（オールマイティ・シンコール・同等）
側面	合板下地、硬質ウレタン敷き
	表面ビニールレザー（オールマイティ・シンコール・同等）
台輪	積層合板、見付突板





㋖ 木製絵本架　直立単式１０連４段　㋗ 下足入　１連

縮尺=１／６０・１／４０　　数量=１台



■キ：木製絵本架　直立単式１０連４段

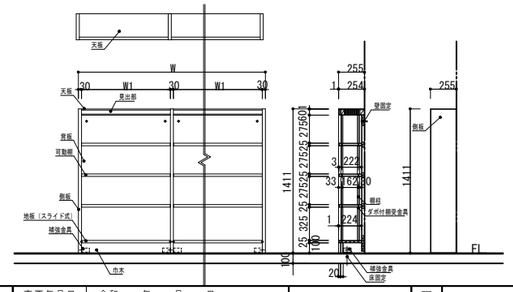
部品名	仕　様	部品名	仕　様
天板	合板フラッシュ（ロールコア）両面突板	巾木	積層合板、見付突板
見出部	単材+合板、見付突板、ケンドン式	棚柱	アルミ合金押出型材（アルマイト加工）可動P=12.5mm
側板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板	ダボ付棚受金具	ステンレス1.5t（SUS304）
中帆立	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板	補強金具	スチール1.6t、クロメートメッキ
背板	合板フラッシュ、両面突板	フィラー	4t化粧合板、現場にて削りあわせ
可動棚	積層合板、両面突板、木口4t挽板	背面ふさぎ	4t化粧合板、現場にて削りあわせ
地板	積層合板、上面突板、木口4t挽板、スライド式		

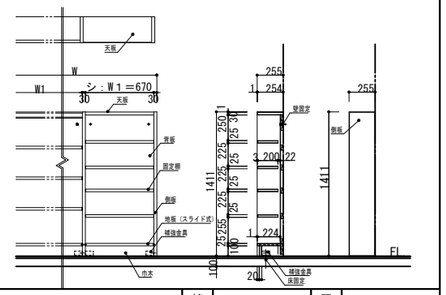
番号	連数	W寸法	W1寸法	数量
キー1	２連	1830	870	1台
キー2	３連	2445	775	1台
キー3	３連	2730	870	1台
キー4・シ	３連	2130	670	1台

※キー4：2連+シ：1連

■シー下足入

部品名	仕　様
天板	積層合板、両面突板、木口4t挽板
側板	積層合板、外面突板、内面ポリ合板、木口４t挽板
中帆立	積層合板、内面ポリ合板、木口4t挽板
背板	合板フラッシュ、見付ポリ合板
固定棚	積層合板、両面ポリ合板、前木口４t挽板、後木口同色テープ貼り
巾木	積層下地、上面ポリ合板、前木口４t挽板（スライド式）



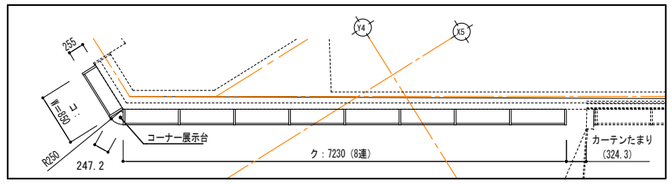


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名　書架詳細図－４（こども室－１）（参考）

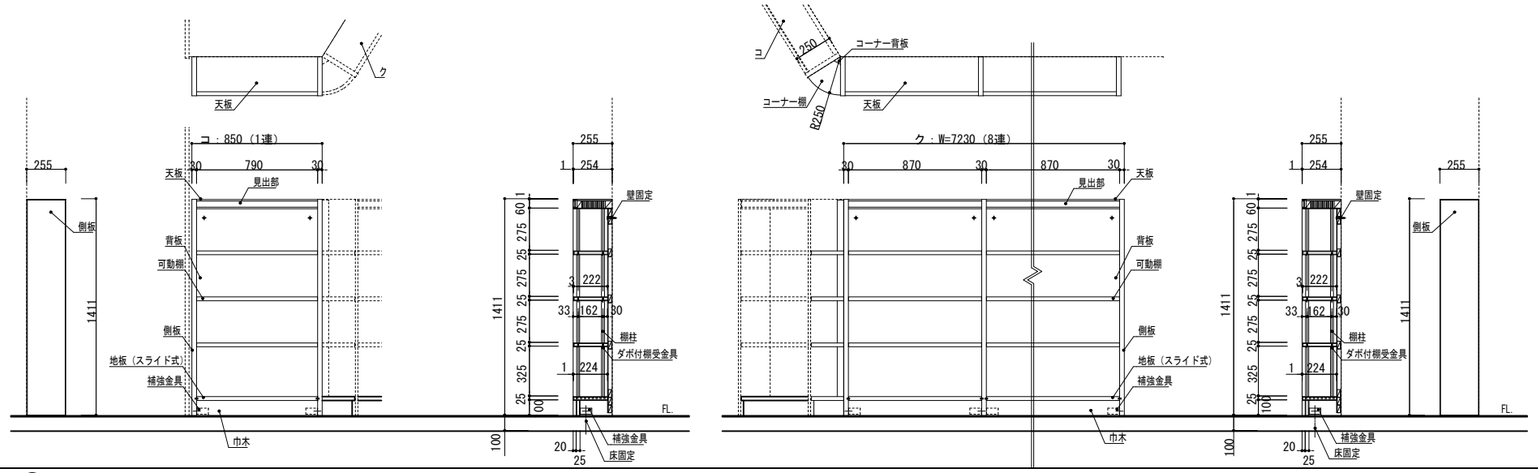
縮尺	図面番号
1：40・60	A－ 079

ク 木製壁面書架　直立単式８連４段　コ 木製壁面書架　直立単式１連４段

縮尺=1／100・1／40　　数量=各１台



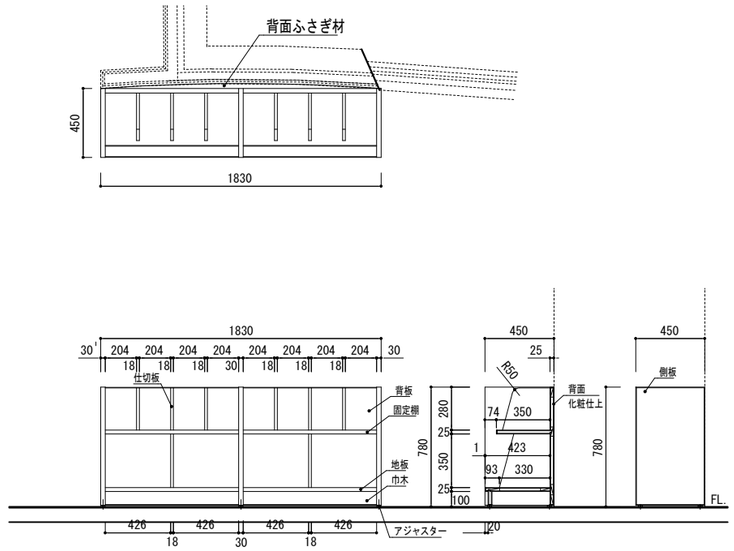
部品名	仕　様
天板	合板フラッシュ（ロールコア）両面突板
見出部	単材+合板、見付突板、ケンドン式
側板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
中帆立	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
背板	合板フラッシュ、見付突板
可動棚	積層合板、両面突板、木口4t挽板
地板	積層合板、上面突板、木口4t挽板、スライド式
巾木	積層合板、見付突板
棚柱	アルミ合金押出型材（アルマイト加工）可動P=12.5mm
ダボ付棚受金具	ステンレス1.5t（SUS304）
補強金具	スチール1.6t、クロメートメッキ
コーナー棚	固定棚：積層合板、両面突板、木口4t挽板
コーナー背板	合板下地、見え掛かり突板、出隅単材、書架設置後取付



サ 木製紙芝居架　単式２連

縮尺=1／60・1／40　　数量=１台

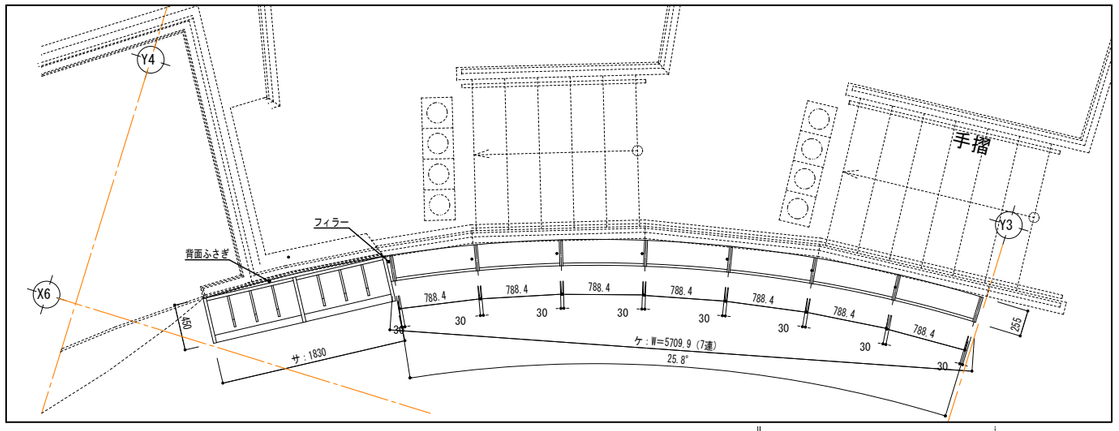
部品名	仕　様
側板	合板フラッシュ（ロールコア）両面突板、木口4t挽板
背板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
棚板	積層合板、両面突板、木口4t挽板
地板	合板フラッシュ、上面突板、木口4t挽板
仕切板	積層合板、両面突板、木口突板
巾木	積層合板、見付突板
アジャスター	26φ　軟質塩ビ、透明
背面ふさぎ材	4ｔ化粧合板、現場にて削り合わせ

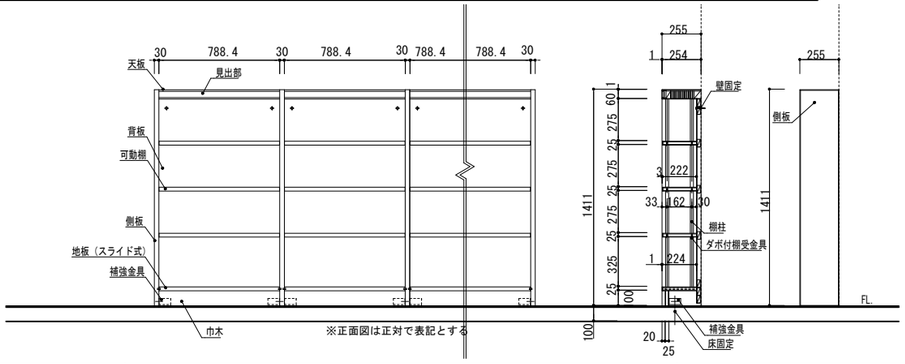


ケ 木製壁面　直立単式７連４段

縮尺=1／40　　数量：１台

部品名	仕　様
天板	合板フラッシュ（ロールコア）両面突板
見出部	単材+合板、見付突板、ケンドン式
側板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
中帆立	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
背板	合板フラッシュ、見付突板
可動棚	積層合板、両面突板、木口4t挽板
地板	積層合板、上面突板、木口4t挽板、スライド式
巾木	積層合板、見付突板
棚柱	アルミ合金押出型材（アルマイト加工）可動P=12.5mm
ダボ付棚受金具	ステンレス1.5t（SUS304）
補強金具	スチール1.6t、クロメートメッキ
フィラー	4ｔ化粧合板、現場にて削り合わせ

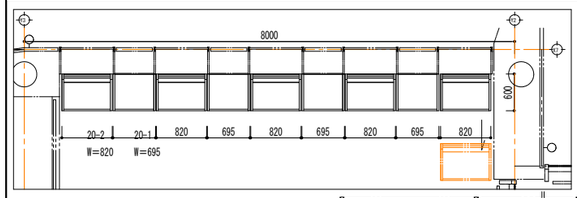


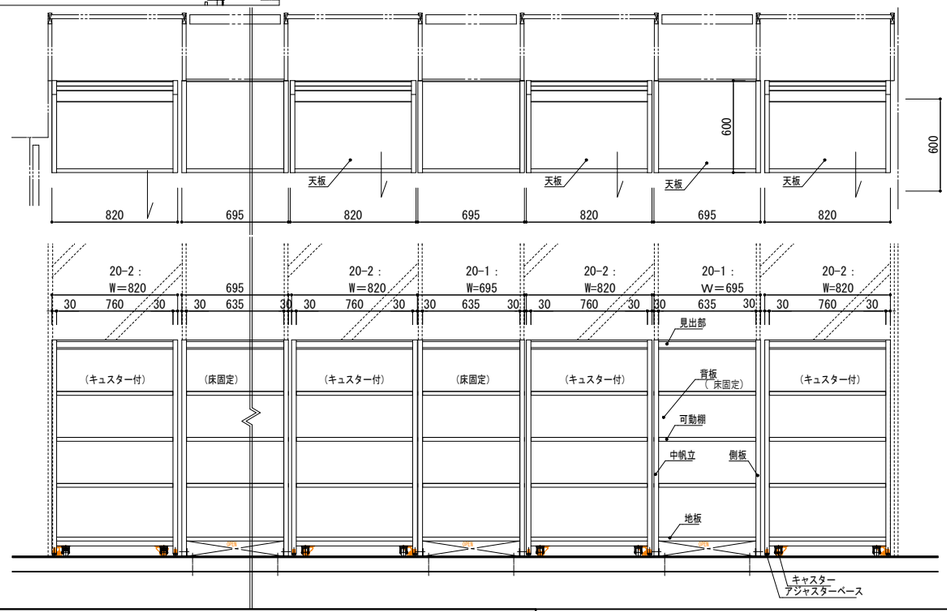


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名	書架詳細図－５（こども室－２）（参考）	縮尺	1：40・60・100	図面番号	A－ 080
		特記事項	特記事項	特記事項						

⑳-1　木製書架　直立単式1連4段　⑳-2　木製書架　直立単式1連4段（背面展示）キャスター付

縮尺=１／４０　　数量=1式



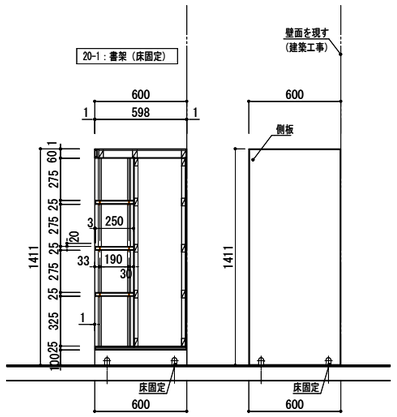


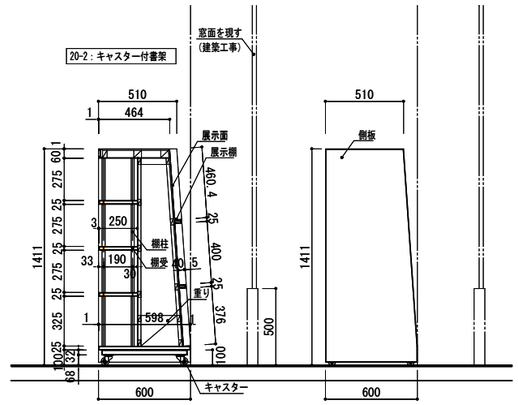
■書架（床固定）

部品名	仕　様
天板	合板フラッシュ（ロールコア）両面突板、出隅単材
見出部	単材+合板,見付突板,ケンドン式
側板	合板フラッシュ,両面突板,木口4t拠板
可動棚	積層合板,両面突板,木口4t拠板
背板	合板フラッシュ、見付突板
地板	積層合板,上面突板,木口4t拠板,スライド式
棚柱	アルミ合金押出型材（アルマイト加工）可動P=12.5mm
棚受	ダボ付棚受金具、ステンレス1.5t（SUS304）
床固定金物	鋼板3.2ｔ、折曲加工

■キャスター付書架

部品名	仕　様
天板	合板フラッシュ（ロールコア）両面突板、出隅単材
見出部	単材+合板,見付突板,ケンドン式
側板	合板フラッシュ,両面突板,木口4t拠板
可動棚	積層合板,両面突板,木口4t拠板
背板	合板フラッシュ、見付突板
地板	積層合板,上面突板,木口4t拠板,スライド式
棚柱	アルミ合金押出型材（アルマイト加工）可動P=12.5mm
棚受	ダボ付棚受金具、ステンレス1.5t（SUS304）
アジャスター	スチール製
キャスター	低床重量用キャスター、自在車、ストッパーなし（K-611J—50・タキゲン）
	耐荷重：200kg
展示面	合板フラッシュ、見付メラミン化粧板
展示棚	積層合板、両面突板、木口4t拠板

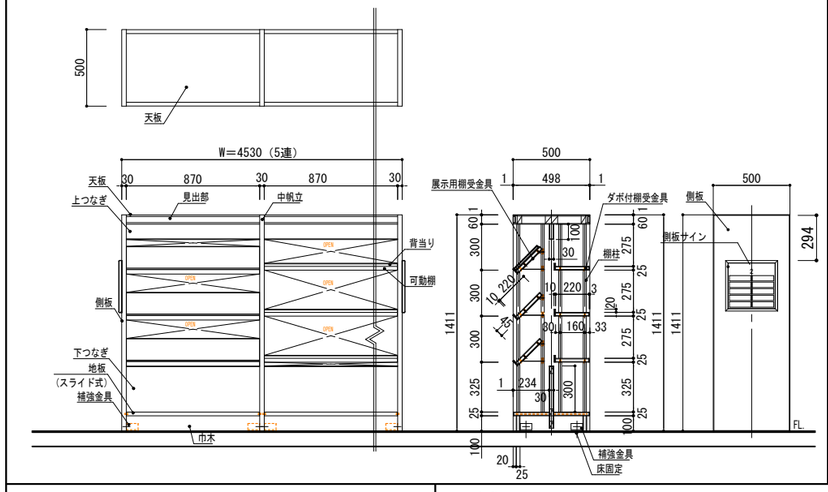




㉓木製書架　直立複式５連４段（片面上部３段展示＋最下段１段）

縮尺=１／４０　　数量=１台

部品名	仕　様
天板	合板フラッシュ（ロールコア）両面突板
見出部	単材+合板,見付突板,ケンドン式
側板	合板フラッシュ,両面突板,木口4t拠板
中帆立	合板フラッシュ,両面突板,木口4t拠板
可動棚	積層合板,両面突板,木口4t拠板
	展示用棚板：片面3段5連（15枚）のみ背面棚受穴追加加工
背当り	積層合板、両面突板、木口4t拠板
地板	積層合板,上面突板,木口4t拠板,スライド式
巾木	積層合板,見付突板
上つなぎ	積層合板、見付突板、木口4t拠板
下つなぎ	積層合板、見付突板、木口4t拠板
棚柱	アルミ合金押出型材（アルマイト加工）可動P=12.5mm
ダボ付棚受金具	ステンレス1.5t（SUS304）
補強金具	スチール1.6t,クロメートメッキ
展示用棚受金具	スチール1.6t,クロメートメッキ
側板サイン	枠：ナラ単材、プレート：アクリルマット板、マグネット着脱式
	表示：書架番号アクリル切文字、用紙：セルフプリント式



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名	書架詳細図-６（中高生エリア）（参考）	縮尺	1：40	図面番号	A－ 081
		特記事項	特記事項	特記事項						

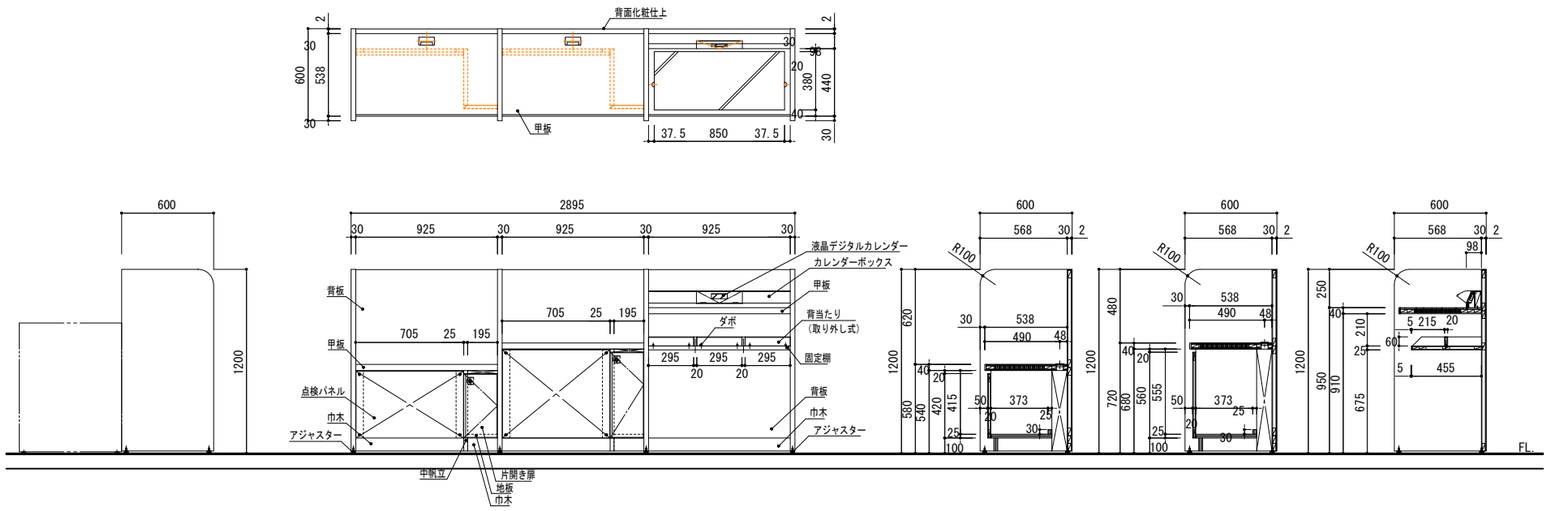
(お)-1 木製OPAC台　(さ) 木製記載台単式

縮尺=1／40　　数量=1台

■記載台	
部品名	仕　様
側板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
中帆立	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
甲板	合板フラッシュ（ロールコア）上面突板、前縁単材
	記載面：5t透明フロートガラス、下面フェルト敷き
背板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
固定棚	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
仕切板	積層合板、両面突板、木口4t挽板
背当り板	積層合板、見付突板、木口4t挽板、10φステンレスダボ取外式
カレンダーボックス	単材+積層合板、見掛り突板、木口4t挽板、丁番・マグネットキャッチ付
カレンダーボックス側板	積層合板、見掛り突板、木口4t挽板
デジタルカレンダー	液晶：月・日・曜日
アジャスター	スチール製

■OPAC台	
部品名	仕様
側板	合板フラッシュ、両面メラミン化粧板、木口単材
中帆立	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
甲板	合板フラッシュ（ロールコア）TOPメラミン化粧板、木口単材
	配線孔キャップ付
背板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
片開き扉	合板フラッシュ、両面突板、手掛け単材、三方木口4t挽板
	スライド丁番、シリンダー錠付
地板	積層合板、上面突板、木口4t挽板
背当り	積層合板、両面突板、木口突板
点検パネル	合板フラッシュ、見付突板、化粧ボルト固定
巾木	積層合板、見付突板
アジャスター	スチール製

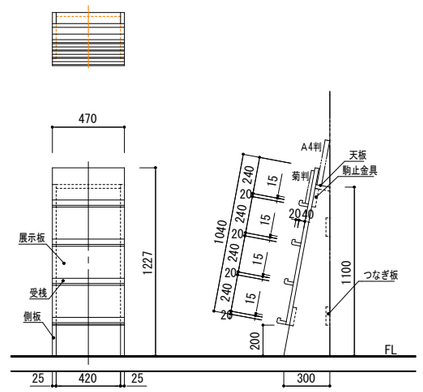
※機器実測後、形状変更あり



(か) サイド用展示架

縮尺=1／40　　数量=2台

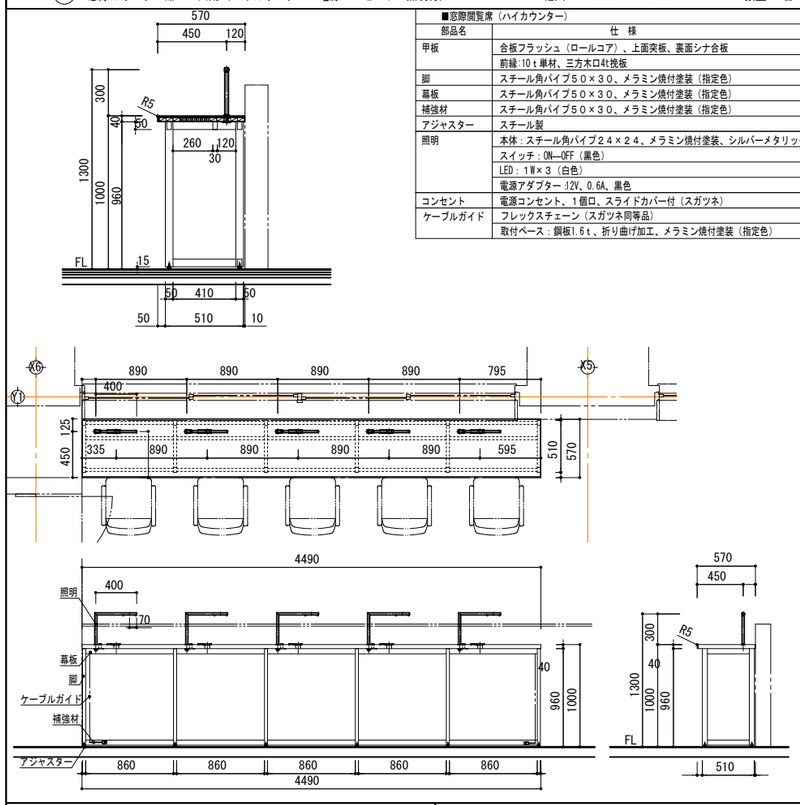
部品名	仕　様
側板	積層合板、両面突板、木口挽板4ｔ
展示板	積層合板、両面突板、木口挽板4ｔ
受桟	単材、同色塗装仕上
天板	積層合板、両面突板、木口挽板4ｔ
つなぎ板	積層合板、両面突板、木口挽板4ｔ
補強材	積層合板、見付突板、木口挽板4ｔ



(き) 窓際カウンター席　5人用（ハイカウンター・電源コンセント・照明付）

縮尺=1／40・1／60　　数量=1台

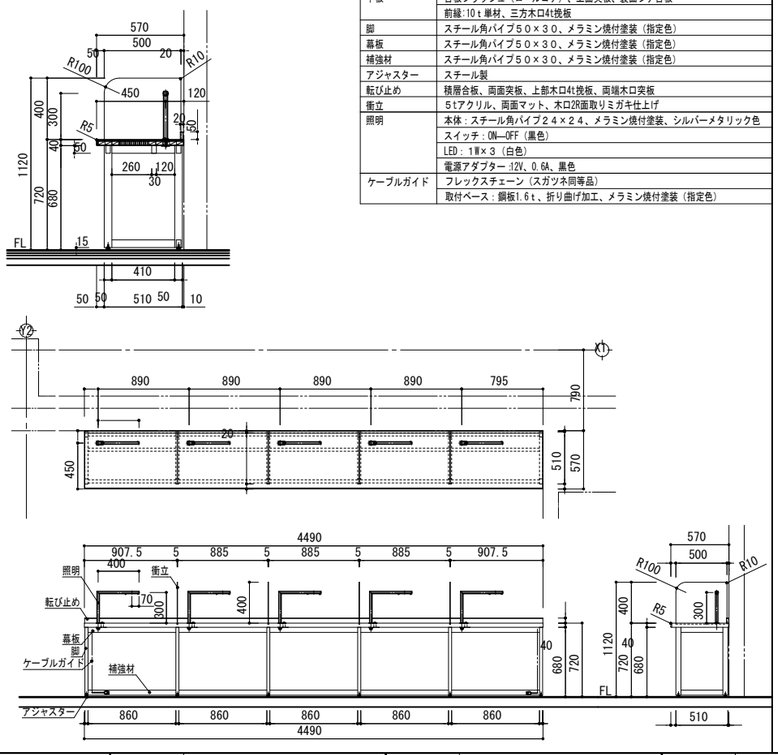
■窓際閲覧席（ハイカウンター）	
部品名	仕　様
甲板	合板フラッシュ（ロールコア）、上面突板、裏面シナ合板
	前縁:10ｔ単材、三方木口4t挽板
脚	スチール角パイプ５０×３０、メラミン焼付塗装（指定色）
幕板	スチール角パイプ５０×３０、メラミン焼付塗装（指定色）
補強材	スチール角パイプ５０×３０、メラミン焼付塗装（指定色）
アジャスター	スチール製
照明	本体：スチール角パイプ２４×２４、メラミン焼付塗装、シルバーメタリック色
	スイッチ：ON―OFF（黒色）
	LED：1Ｗ×３（白色）
	電源アダプター:12V、0.6A、黒色
コンセント	電源コンセント、１個口、スライドカバー付（スガツネ）
ケーブルガイド	フレックスチェーン（スガツネ同等品）
	取付ベース：鋼板1.6ｔ、折り曲げ加工、メラミン焼付塗装（指定色）



(く) 壁際カウンター席　5人用（衝立・照明付）

縮尺=1／40・1／60　　数量=1台

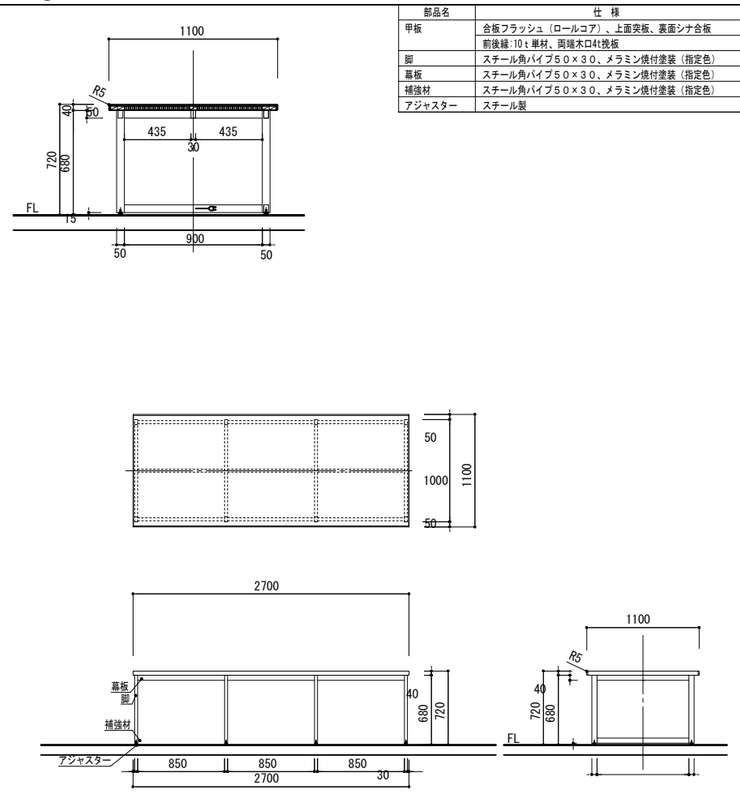
■壁際カウンター席	
部品名	仕　様
甲板	合板フラッシュ（ロールコア）、上面突板、裏面シナ合板
	前縁:10ｔ単材、三方木口4t挽板
脚	スチール角パイプ５０×３０、メラミン焼付塗装（指定色）
幕板	スチール角パイプ５０×３０、メラミン焼付塗装（指定色）
補強材	スチール角パイプ５０×３０、メラミン焼付塗装（指定色）
アジャスター	スチール製
転び止め	積層合板、両面突板、上部木口4t挽板、両端木口突板
衝立	5tアクリル、両面マット、木口2R面取りミガキ仕上げ
照明	本体：スチール角パイプ２４×２４、メラミン焼付塗装、シルバーメタリック色
	スイッチ：ON―OFF（黒色）
	LED：1Ｗ×３（白色）
	電源アダプター:12V、0.6A、黒色
ケーブルガイド	フレックスチェーン（スガツネ同等品）
	取付ベース：鋼板1.6ｔ、折り曲げ加工、メラミン焼付塗装（指定色）



(け) 閲覧テーブル　6人用

縮尺=1／40・1／60　　数量=1台

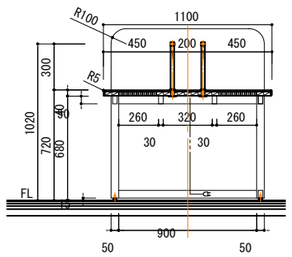
部品名	仕　様
甲板	合板フラッシュ（ロールコア）、上面突板、裏面シナ合板
	前後縁:10ｔ単材、両端木口4t挽板
脚	スチール角パイプ５０×３０、メラミン焼付塗装（指定色）
幕板	スチール角パイプ５０×３０、メラミン焼付塗装（指定色）
補強材	スチール角パイプ５０×３０、メラミン焼付塗装（指定色）
アジャスター	スチール製



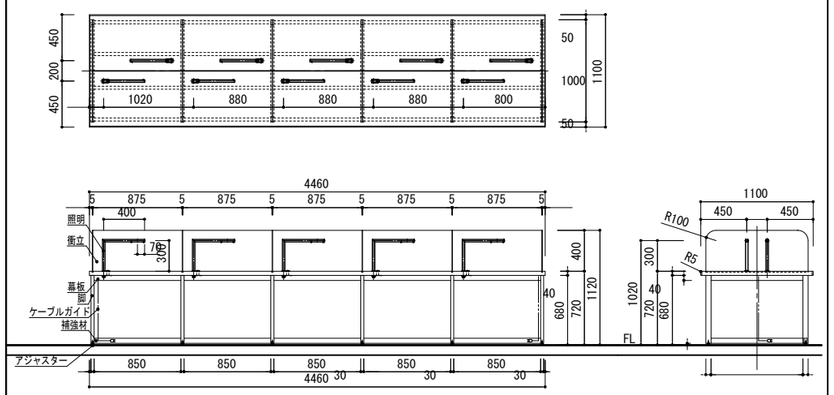
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	書架詳細図-７（テーマ展示-１）（参考）	縮尺 1：40・60	図面番号 A－ 082

こ　キャレルデスク　10人用（衝立・照明付き）

縮尺=1／60・1／40　　数量=1台



部品名	仕　様
甲板	合板フラッシュ（ロールコア）、上面突板、裏面シナ合板
	前後縁:10ｔ単材、両端木口4t挽板
脚	スチール角パイプ５０×３０、メラミン焼付塗装（指定色）
幕板	スチール角パイプ５０×３０、メラミン焼付塗装（指定色）
補強材	スチール角パイプ５０×３０、メラミン焼付塗装（指定色）
アジャスター	スチール製
衝立	５tアクリル、両面マット、木口2次面取りミガキ仕上げ
照明	本体：スチール角パイプ２４×２４、メラミン焼付塗装、シルバーメタリック色
	スイッチ：ON―OFF（黒色）
	LED：1W×３（白色）
	電源アダプター 12V、0.6A、黒色
ケーブルガイド	フレックスチェーン（スガツネ同等品）
	取付ベース：鋼板1.6ｔ、折り曲げ加工、メラミン焼付塗装（指定色）



し　木製自動返却機台＋返却本カート

縮尺=1／40　　数量=1式

■自動返却機台（1台）

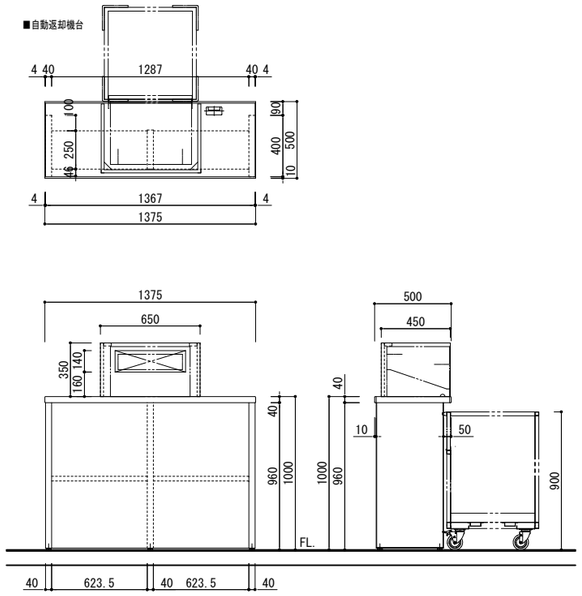
部品名	仕　様
甲板	合板フラッシュ（ロールコア）、上面突板、裏面シナ合板
	前後縁:10ｔ単材、他木口4t挽板
側板	合板フラッシュ、両面突板、三方木口4t挽板
中帆立	合板フラッシュ、両面突板、二方木口4t挽板
腰板	合板フラッシュ（ロールコア）両面突板、木口4t挽板
固定棚	積層合板、両面突板、木口4t挽板
アジャスター	40φ　スチールクロームメッキ
配線孔	配線孔、キャップ付（S100-50型・スガツネ）
	取付位置および数量は打ち合わせを要する
衝立板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板、配線孔加工

■返却本カート（2台）

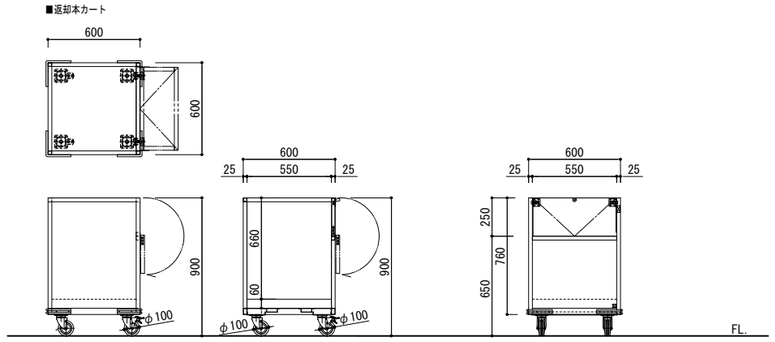
部品名	仕　様
フレーム	スチール角パイプ25角
側板	スチール1.0ｔ
扉	スチール1.0ｔ　ステンレス製ラッチ付き
内部ウレタン	t60　グレー色
キャスター	100φ×４個付（うち２個ストッパー付）
バンパー	樹脂製　グレー　４個付

※電源位置確認を要する
※衝立板の投入開口位置　打合わせを要する

■自動返却機台

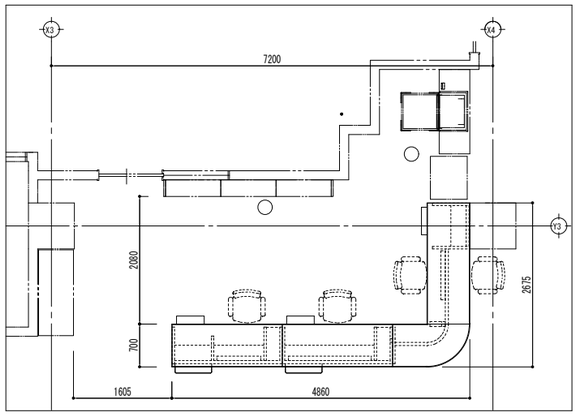


■返却本カート



す　木製受付カウンター＋ユニットケース

縮尺=1／100・1／40　　数量=1台



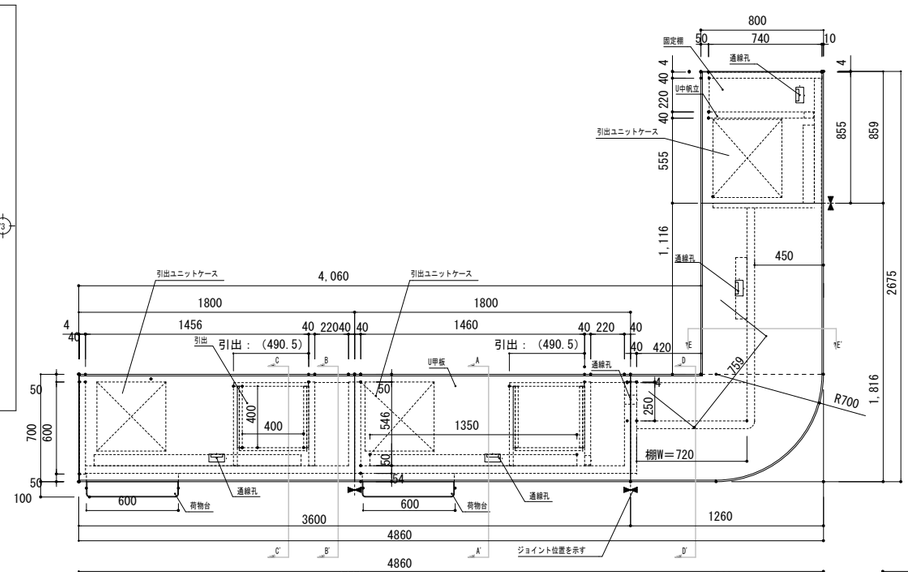
■木製受付カウンター

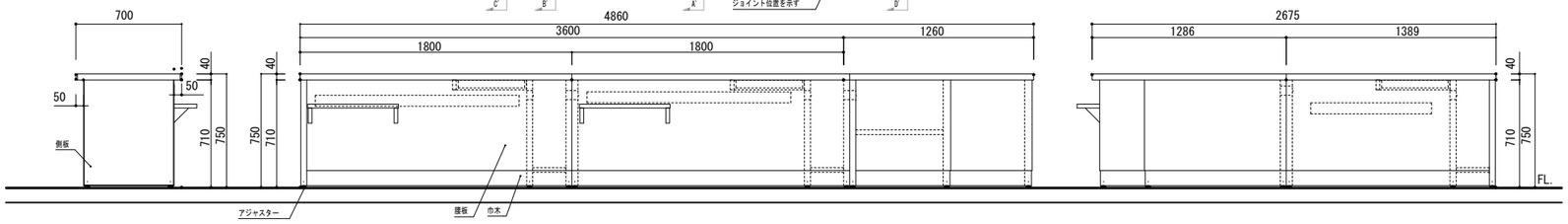
部品名	仕　様
甲板	合板フラッシュ（ロールコア）、上面突板、裏面シナ合板
	前後縁:10ｔ単材、他木口4t挽板
側板	合板フラッシュ、両面突板WU-FF64三方木口4t挽板
中帆立	合板フラッシュ、両面突板WU-FF64二方木口4t挽板
腰板	合板フラッシュ（ロールコア）両面突板WU-FF64木口4t挽板
固定棚	積層合板、両面突板、木口4t挽板
荷物台	積層合板、両面突板、木口4t挽板
アジャスター	40φ　スチールクロームメッキ
配線孔	配線孔、キャップ付（S100-50型・スガツネ）
	取付位置および数量は打ち合わせを要する
配線受	ワイヤーマネージャー（WM-9-72・スガツネ）
引出	前板：積層合板WU-FF64見付突板WU-FF64上部左右木口4t挽板、下部単材
	側板・先板：単材、底板：シナ合板　スライドレール付

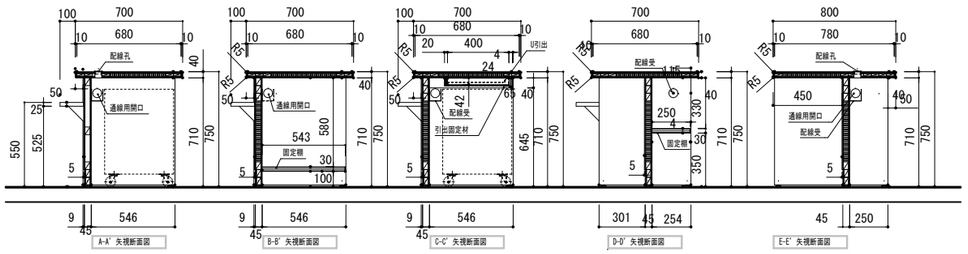
■引出ユニットケース

部品名	仕　様
天板	合板フラッシュ（ロールコア）両面突板WU-FF64木口4t挽板
側板	合板フラッシュWU-FF64両面突板WU-FF64木口4t挽板
地板	合板フラッシュ、上面突板WU-FF64木口4t挽板
引出	前板：積層合板WU-FF64見付突板WU-FF64上木口4t挽板、左右木口2t挽板
	側板・先板：単材　底板：シナ合板
背板	合板下地、両面突板
掴込取手	ステンレスハイインパクトステロール製　ブラック
キャスター	65φ、前2ケストッパー付

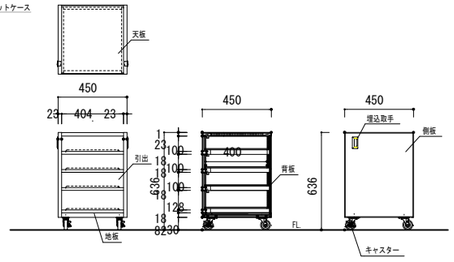
※電源位置確認を要する　　※PC設置位置　打合わせを要する
※引出内寸は確認を要する







■引出ユニットケース



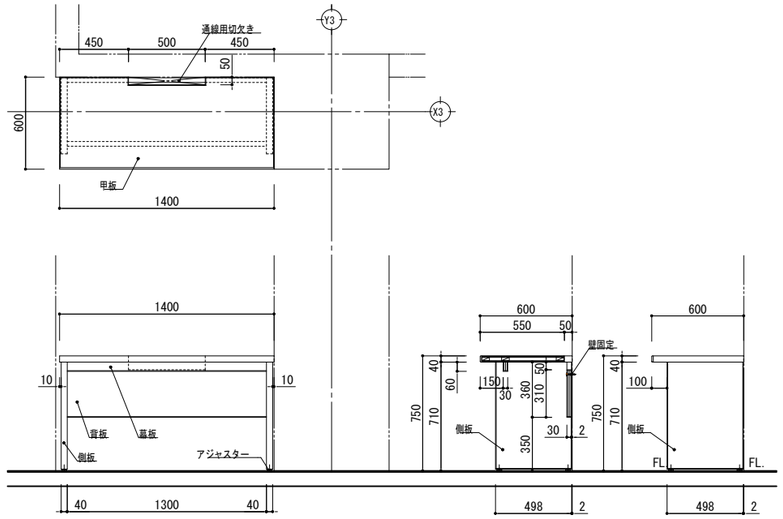
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	書架詳細図－８（テーマ展示－２）（参考）	縮尺 1：40・60・100	図面番号 A－083

そ　プリンター台　縮尺=1／40　数量=1台

■閲覧机

部品名	仕　様
甲板	合板フラッシュ（ロールコア）、上面突板、裏面シナ合板
	前後縁:10t単材、三方木口4t挽板、配線用切欠き部木口4t挽板
側板	合板フラッシュ、両面突板、三方木口4t挽板
幕板	積層合板、両面突板、木口4t挽板
背板	積層合板、両面突板、木口4t挽板、配線用切欠き部木口4t挽板
アジャスター	40φ　スチールクロームメッキ

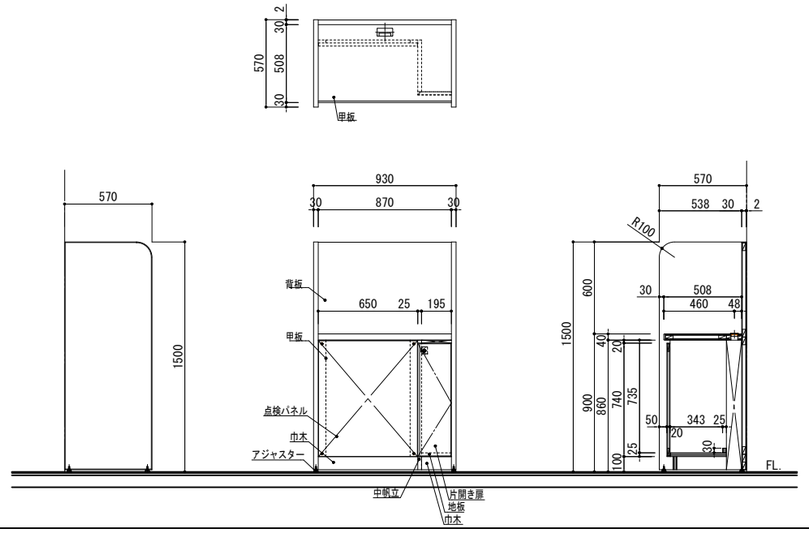
※電源位置確認を要する
※機器寸法により形状変更あり



お-2　OPAC台　縮尺=1／40　数量=1台

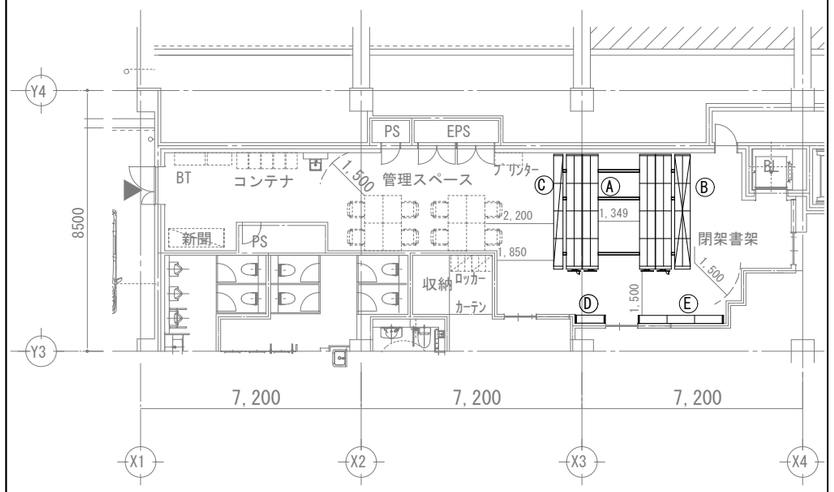
部品名	仕様
側板	合板フラッシュ、両面メラミン化粧板、木口単材
甲板	合板フラッシュ（ロールコア）TOPメラミン化粧板（A-400）、木口4t挽板、前縁：単材 配線孔キャップ付
背板	合板フラッシュ、見付突板、木口4t挽板
片開き扉	合板フラッシュ、両面突板、手掛け単材、三方木口4t挽板
	スライド丁番、シリンダー錠付
地板	積層合板、上面突板、木口4t挽板
背当り	積層合板、両面突板、木口突板
点検パネル	合板フラッシュ、見付突板、化粧ボルト固定
巾木	積層合板、見付突板
アジャスター	スチール製

※機器実測後、形状変更あり



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	書架詳細図-9 （テーマ展示-3）（参考）	縮尺	1：40	図面番号	A－ 084

閉架書庫 平面図　　縮尺=１／１００



スチール書架　仕様

集密書架　数量表

	記　型　式	台　数	延連数	延段数	収容冊数
A	可動 複式4連　有効6段	4	32	192	6720
B	固定 複式4連　有効6段	1	8	48	1680
C	固定 単式4連　有効6段	1	4	24	840
合　計		6台	44連	264段	9240冊

収容冊数　W900:35冊/段

備　考

・付属品	：後面パネル・背受（単式は背面パネル）
・安全装置	：下部転倒防止金具・免震装置（ ロック解除装置・エンドストッパー接触防止装置
	・エンドストッパー接近防止機能）
・操作	：円形ハンドル（φ420）折り畳み式取手付、センターロック方式
・台枠	：溶接構造・支柱落とし込み式
・車輪	：機械構造用炭素鋼（φ118）
・車輪軸	：磨棒鋼（φ25）、両車輪軸（駆動軸・従動軸）共に通し軸
・駆動方式	：中間シャフトを介する後輪駆動方式
・レール	：埋込レール
・棚構造	：天板・支柱・台枠によるブレースを用いないフレーム構造（耐震ガセット方式）
・棚板	：可動式（側受兼用棚受式）で互換性のあるものとし、可動ピッチを25mm
・支柱	：支柱形状は、コ-35x30、複柱式とし、単式棚は2本柱、複式棚は3本柱
・棚板最大積載質量	：60kg/段
・間口最大積載質量	：複式 540kg/連　　・単式 300kg/連
・塗装	：アクリル系樹脂塗装（静電塗装）　及び　ポリエステル系樹脂塗装（粉体塗装）
・塗装色	：ホワイト系　～　棚本体・パネル
	グレー系　～　ハンドル部パネル・台枠
・製作	：ISO9001 及び　ISO14001 認証取得工場

集密書架　荷重資料

積載条件	W900 ～　30 kg/段　（ 294 N/段 ）
総重量	9,760 kg　（ 95,700 N ）
占有面積	16.43 m^2
積載荷重	595 kg/m^2　（ 5,840 N/m
レール反力	1,265 kg/m　（ 12,400 N/m ）

※レール反力：レール1m当たりに掛かる荷重

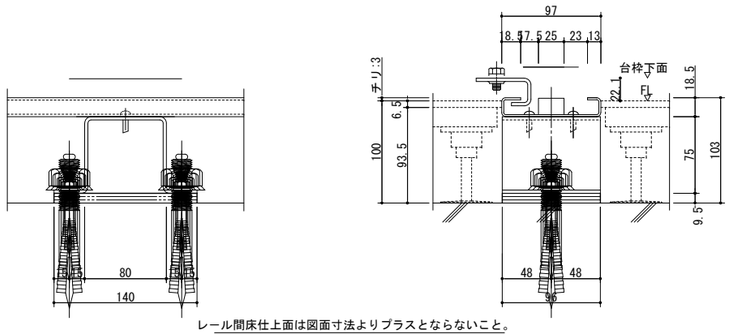
スチール書架　数量表

記　号	型　式	台　数	延連数	延段数	収容冊数
D	単式1連 有効7段	1	1	7	245
E	単式3連 有効7段	1	3	21	735
合　計		2台	4連	28段	980冊

備　考

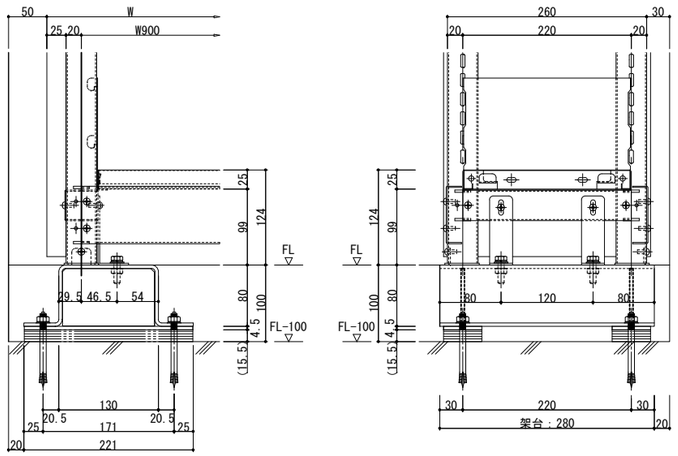
・付属品	：背受・側化粧パネル・傾斜スライド棚（上３段）
・固定	：床固定・壁固定
・棚構造	：支柱・連ツナギ・側ツナギによるフレーム構造
・棚板	：25mmピッチ可動式（棚受式）
・支柱	：C-40x40x6、複柱式
・棚板最大積載質量	：40kg/段
・間口最大積載質量	：300kg/連
・塗装	：アクリル系樹脂塗装（静電塗装）　及び　ポリエステル系樹脂塗装（粉体塗装）
・塗装色	：ホワイト系　～　棚本体

埋込レール　　縮尺=１／６

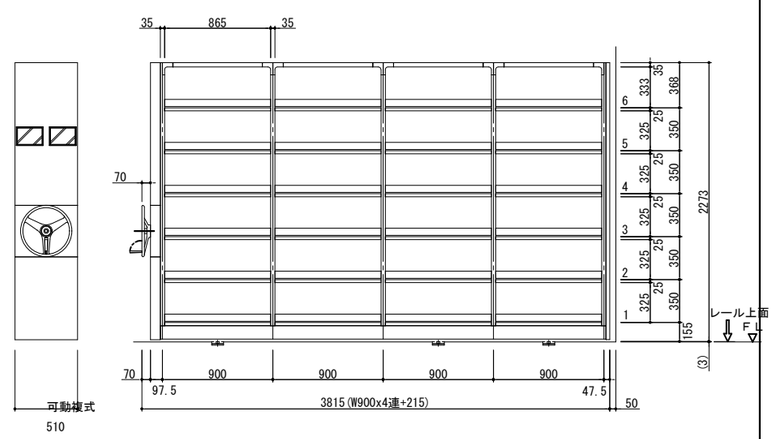


レール間床仕上面は図面寸法よりプラスとならないこと。
＊（台枠下面とのクリアランス保持のため）

スチール書架　床固定　　縮尺=１／８

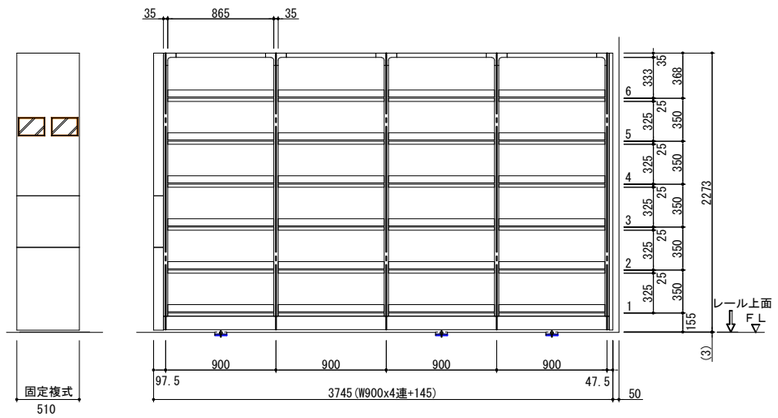


Ⓐ　集密可動書架　複式４連６段　　縮尺=１／５０　　数量=４台

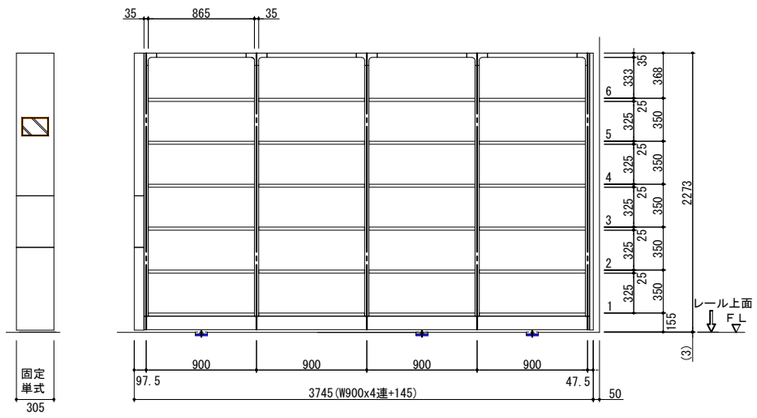


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名	書架詳細図-10（閉架書庫-１）（参考）	縮尺 1：50	図面番号 A－085
		特記事項	特記事項	特記事項				

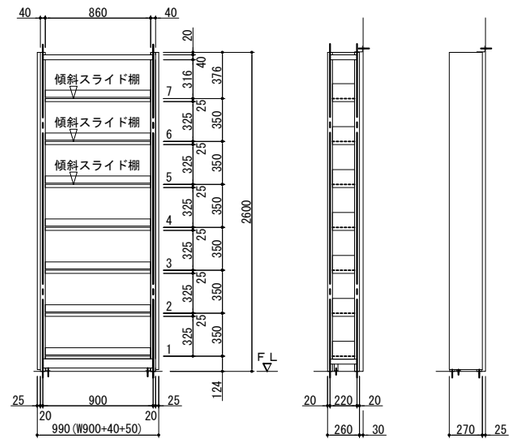
Ⓑ 集密固定書架　複式４連６段　　縮尺=１／３０　数量=１台



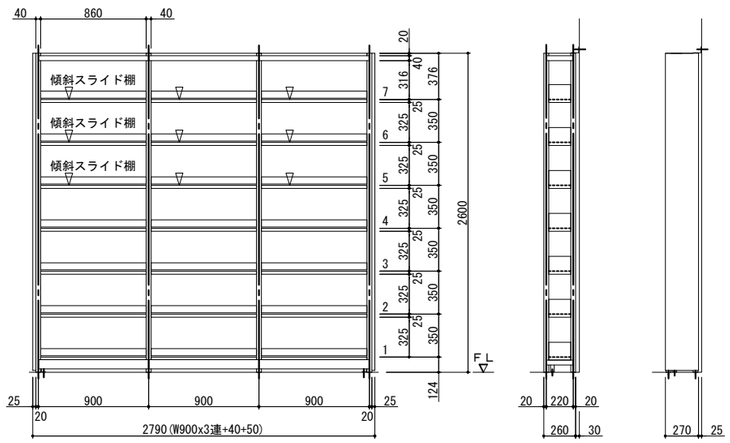
Ⓒ 集密固定書架　単式４連６段　　縮尺=１／３０　数量=１台



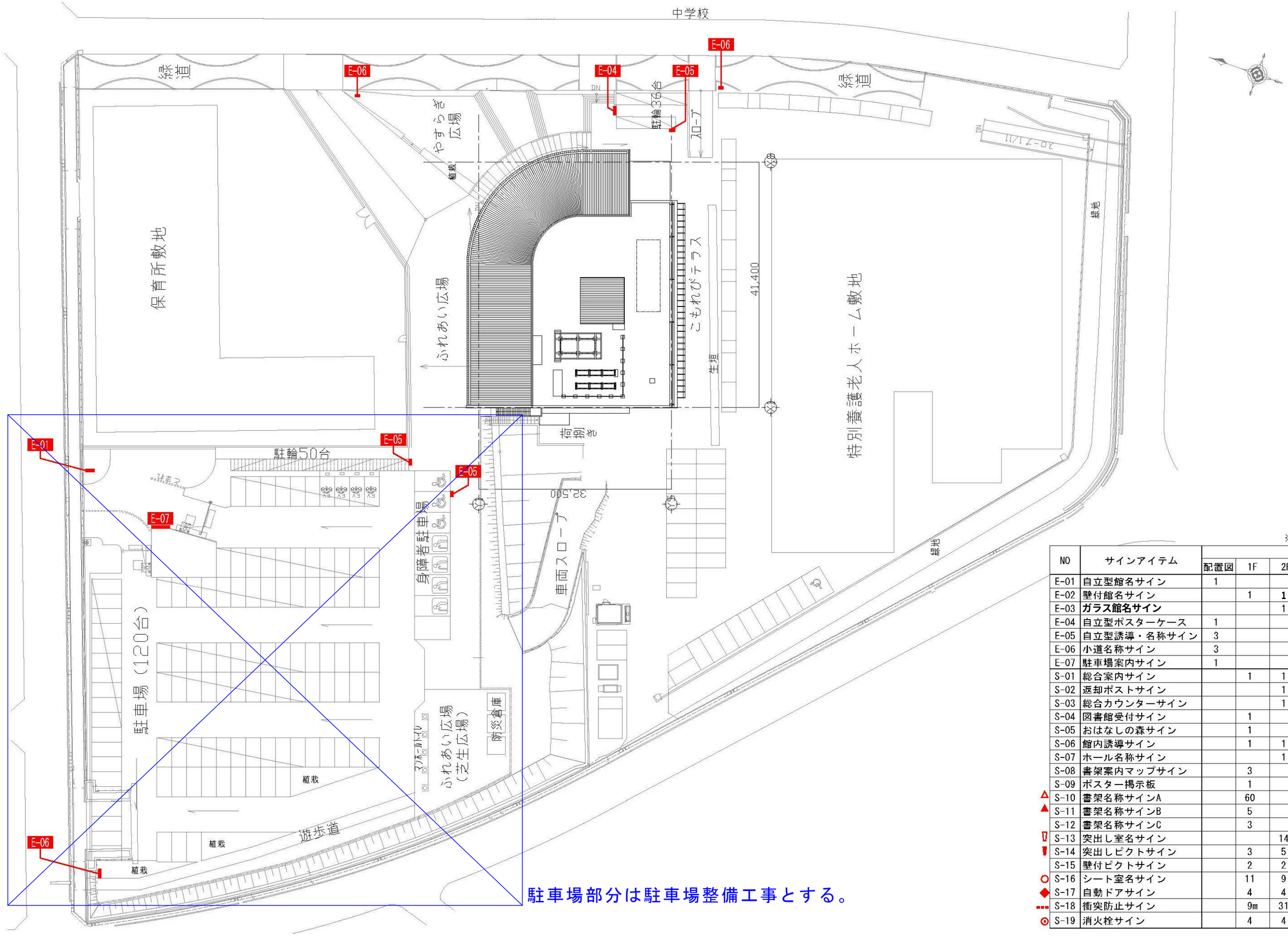
Ⓓ スチール書架　単式１連７段　　縮尺=１／３０　数量=１台



Ⓔ スチール書架　単式３連７段　　縮尺=１／３０　数量=１台



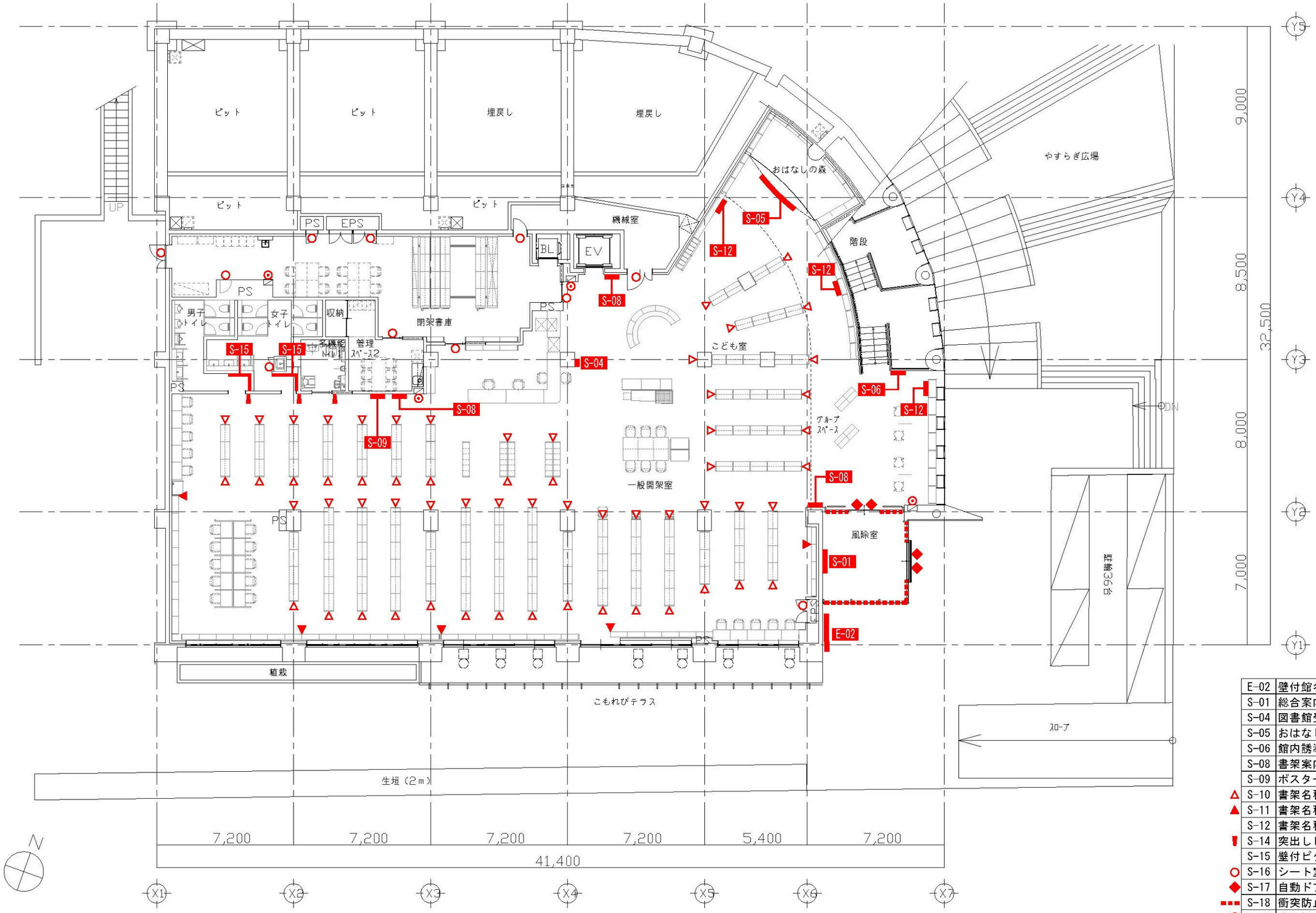
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	書架詳細図-11 （閉架書庫-２）（参考）	縮尺 1：40・60	図面番号 A－086



※全体数量

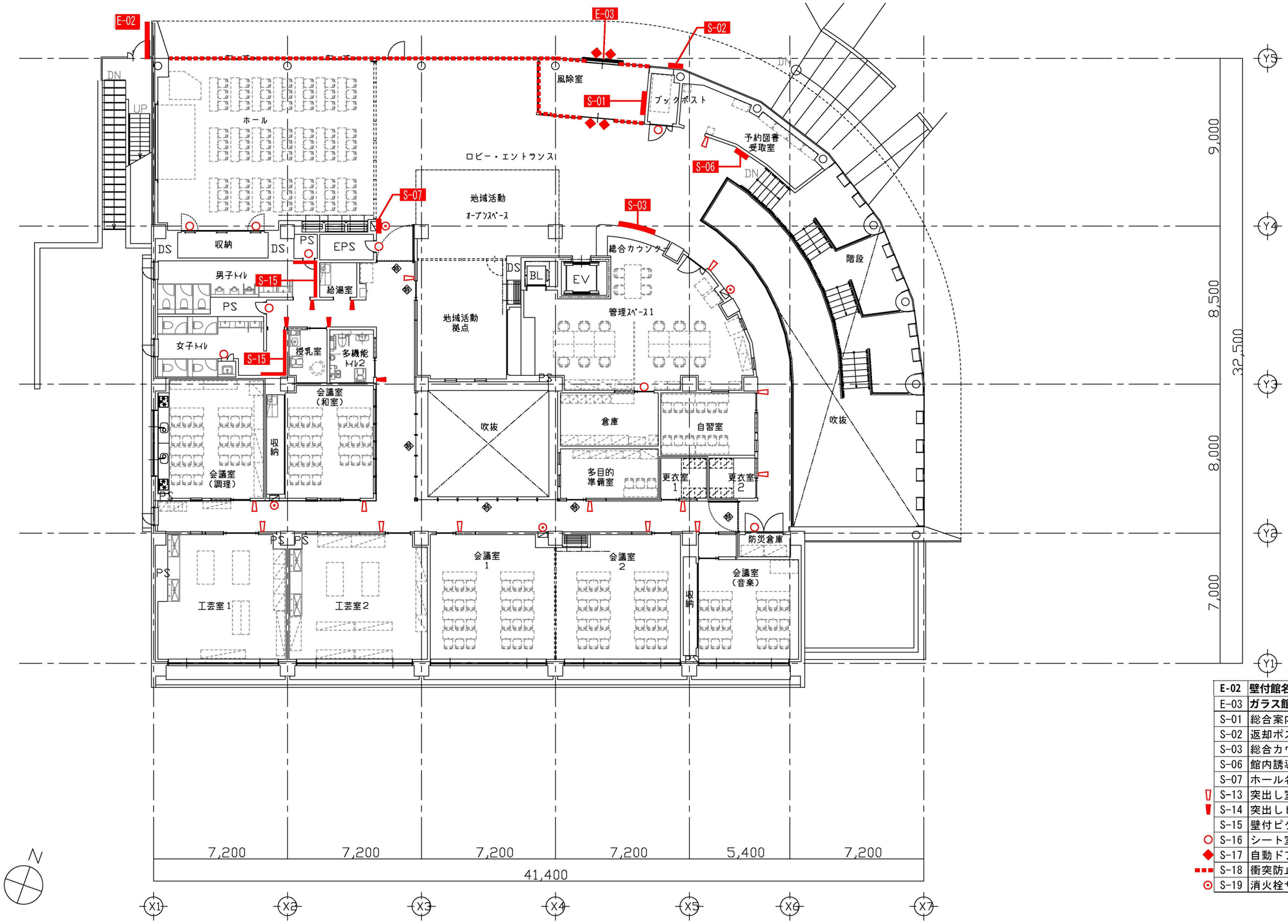
NO	サインアイテム	配置図	1F	2F	合計数
E-01	自立型館名サイン	1			1
E-02	壁付館名サイン		1	1	2
E-03	ガラス館名サイン			1	1
E-04	自立型ポスターケース	1			1
E-05	自立型誘導・名称サイン	3			3
E-06	小道名称サイン	3			3
E-07	駐車場案内サイン	1			1
S-01	総合案内サイン		1	1	2
S-02	返却ポストサイン			1	1
S-03	総合カウンターサイン			1	1
S-04	図書館受付サイン		1		1
S-05	おはなしの森サイン		1		1
S-06	館内誘導サイン		1	1	2
S-07	ホール名称サイン			1	1
S-08	書架案内マップサイン		3		3
S-09	ポスター掲示板		1		1
S-10	書架名称サインA		60		60
S-11	書架名称サインB		5		5
S-12	書架名称サインC		3		3
S-13	突出し室名サイン			14	14
S-14	突出しピクトサイン		3	5	8
S-15	壁付ピクトサイン		2	2	4
S-16	シート室名サイン		11	9	20
S-17	自動ドアサイン		4	4	8
S-18	衝突防止サイン		9m	31m	40m
S-19	消火栓サイン		4	4	8

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	外構サインキープラン
						縮尺	1：600
						図面番号	A－ 087



	E-02	壁付館名サイン	1
	S-01	総合案内サイン	1
	S-04	図書館受付サイン	1
	S-05	おはなしの森サイン	1
	S-06	館内誘導サイン	1
	S-08	書架案内マップサイン	3
	S-09	ポスター掲示板	1
△	S-10	書架名称サインA	60
▲	S-11	書架名称サインB	5
	S-12	書架名称サインC	3
▮	S-14	突出しピクトサイン	3
	S-15	壁付ピクトサイン	2
○	S-16	シート室名サイン	11
◆	S-17	自動ドアサイン	4
▬	S-18	衝突防止サイン	9m
⊙	S-19	消火栓サイン	4

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	サインキープラン－１	縮尺	1：200	図面番号	A－ 088
			特記事項		特記事項		特記事項							

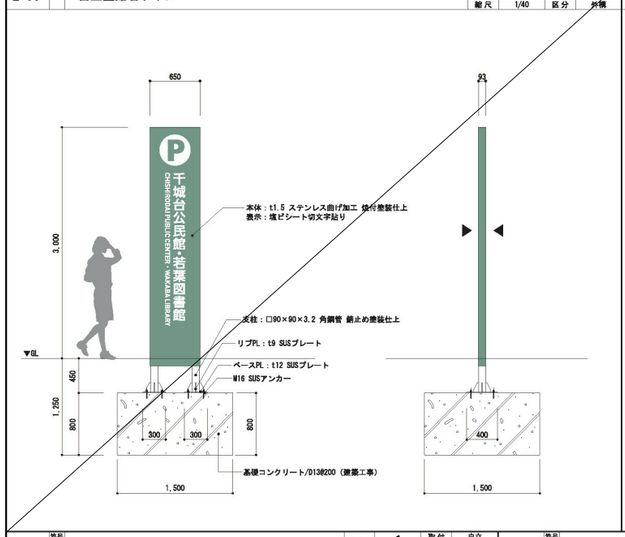


E-02	壁付館名サイン	1
E-03	ガラス館名サイン	1
S-01	総合案内サイン	1
S-02	返却ポストサイン	1
S-03	総合カウンターサイン	1
S-06	館内誘導サイン	1
S-07	ホール名称サイン	1
S-13	突出し室名サイン	14
S-14	突出しピクトサイン	5
S-15	壁付ピクトサイン	2
S-16	シート室名サイン	9
S-17	自動ドアサイン	4
S-18	衝突防止サイン	31m
S-19	消火栓サイン	4

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	サインキープラン－２
			特記事項	特記事項	特記事項	縮尺	1：200
						図面番号	A－ 089

E-01 自立型館名サイン

数量	1	取付	自立
縮尺	1/40	区分	外構

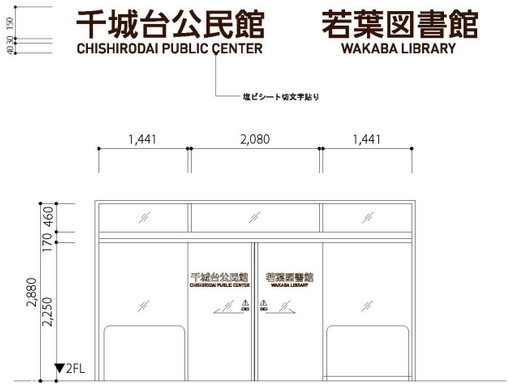


E-02 壁付館名サイン

数量	2	取付	壁付
縮尺	1/20	区分	外構

E-03 ガラス館名サイン

数量	1	取付	壁付
縮尺		区分	外構



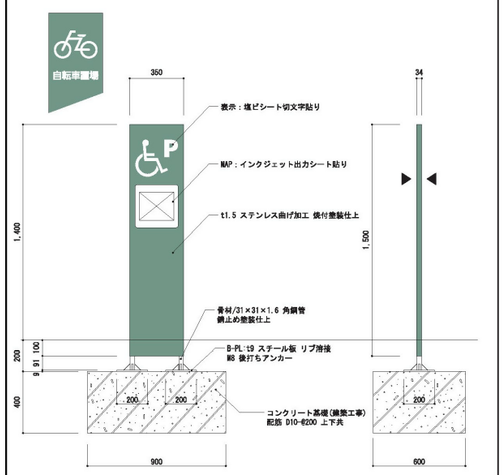
E-04 自立型ポスターケース

数量	1	取付	自立
縮尺	1/30	区分	外構

部分詳細図-11　屋外ポスターケース参照

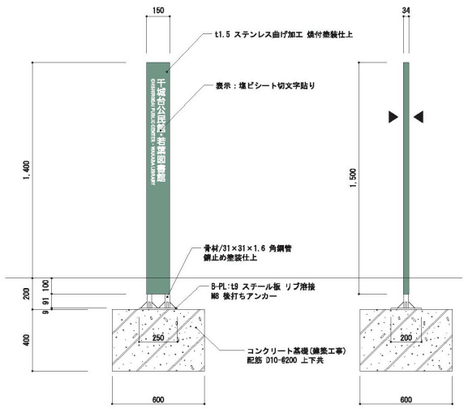
E-05 自立型誘導・名称サイン

数量	1	取付	自立
縮尺	1/20	区分	外構



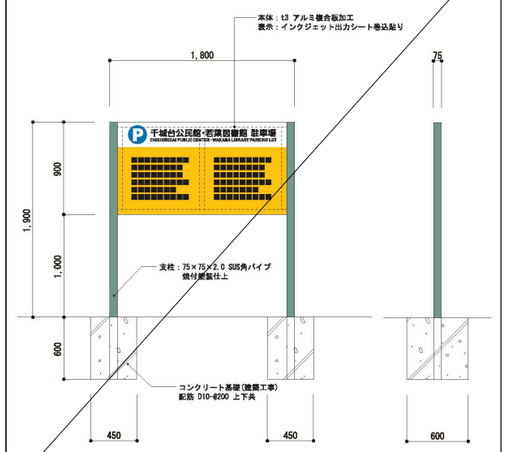
E-06 小道名称サイン

数量	2	取付	自立
縮尺	1/20	区分	外構



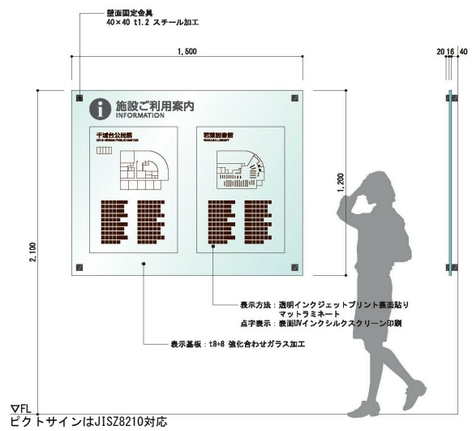
E-07 駐車場案内サイン

数量	1	取付	自立
縮尺	1/30	区分	外構



S-01 総合案内サイン

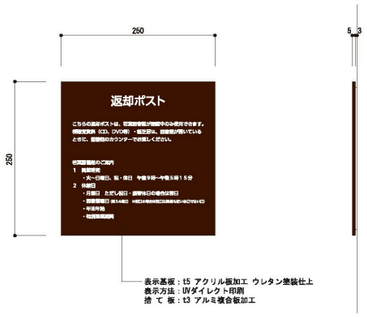
数量	2	取付	壁付
縮尺	1/20	区分	館内



ピクトサインはJISZ8210対応
触知案内板はJIS T0921とする。　※多機能トイレを標記すること。

S-02 返却ポストサイン

数量	1	取付	壁付
縮尺	1/5	区分	館内

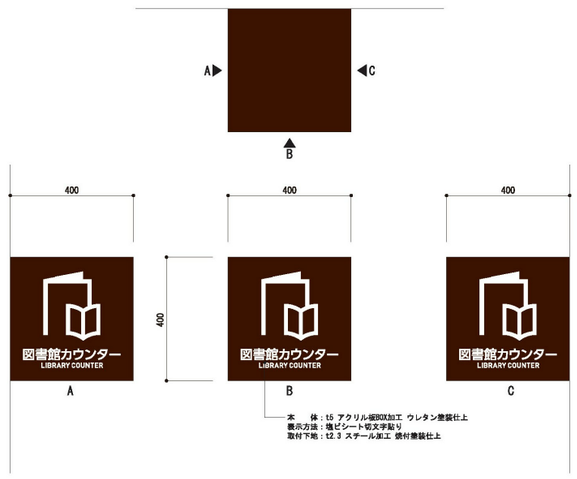


S-03 総合カウンターサイン

数量	1	取付	壁付
縮尺	1/10	区分	館内

S-04 図書館受付サイン

数量	1	取付	突出
縮尺	1/10	区分	館内



S-05 おはなしの森サイン

数量	1	取付	壁付
縮尺	1/10	区分	館内

S-06 館内誘導サイン

数量	2	取付	壁付
縮尺	1/10	区分	館内

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	サイン詳細図－１	縮尺	図示	図面番号	A－ 090
			特記事項		特記事項		特記事項							

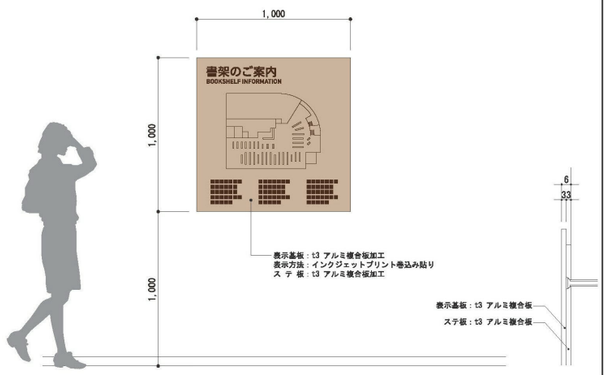
S-07 ホール名称サイン

数量	取付	壁付
1	照明	–
縮尺 1/10	区分	館内

S-08 書架案内マップサイン

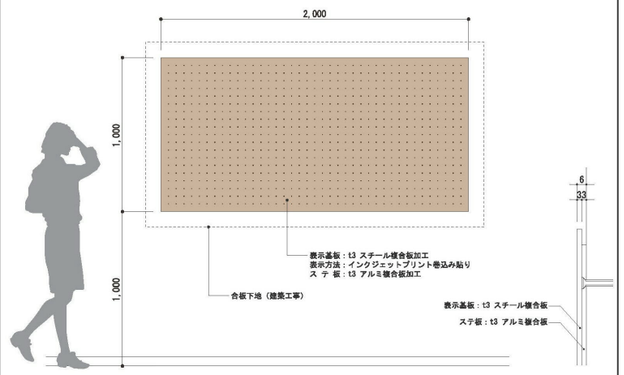
数量	取付	壁付
3	照明	–
縮尺 1/20	区分	館内

トイレ・昇降設備・誘導案内等のサインはJIS8210に適合する標識とする。



S-09 ポスター掲示板

数量	取付	壁付
1	照明	–
縮尺 1/20	区分	館内



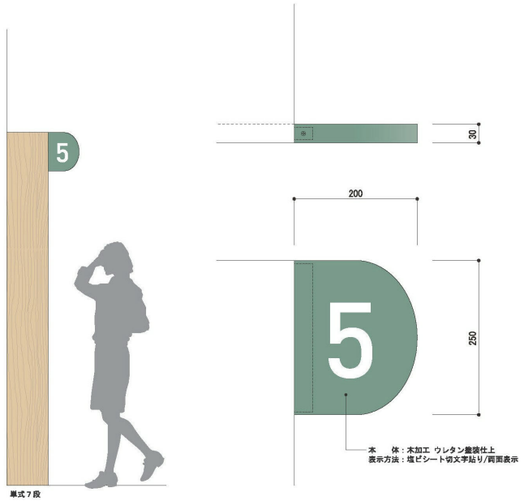
S-10 書架名称サインA

数量	取付	側壁付
60	照明	–
縮尺 1/10・1/20	区分	館内

書架図参照

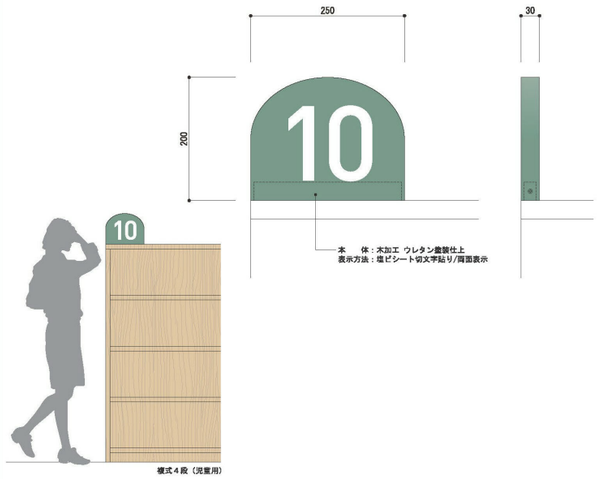
S-11 書架名称サインB

数量	取付	棚突出
5	照明	–
縮尺 1/20・1/5	区分	館内



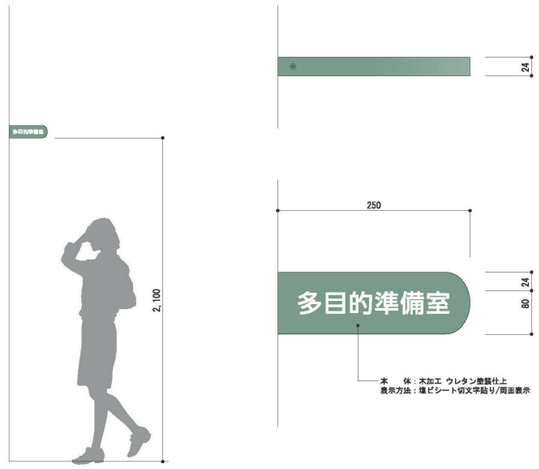
S-12 書架名称サインC

数量	取付	天板付
3	照明	–
縮尺 1/20・1/5	区分	館内



S-13 突出し室名サイン

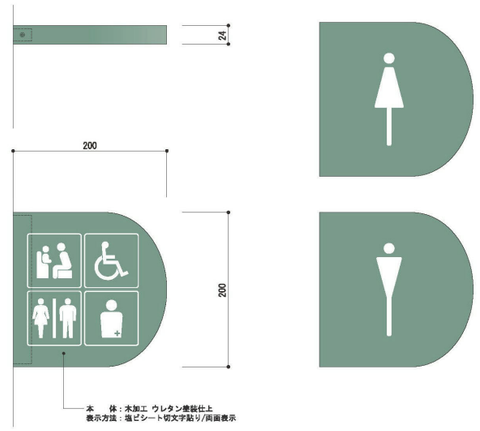
数量	取付	突出
14	照明	–
縮尺 1/20・1/4	区分	館内



S-14 突出しピクトサイン

数量	取付	突出
8	照明	–
縮尺 1/20・1/4	区分	館内

トイレ・昇降設備・誘導案内等のサインはJIS8210に適合する標識とする。

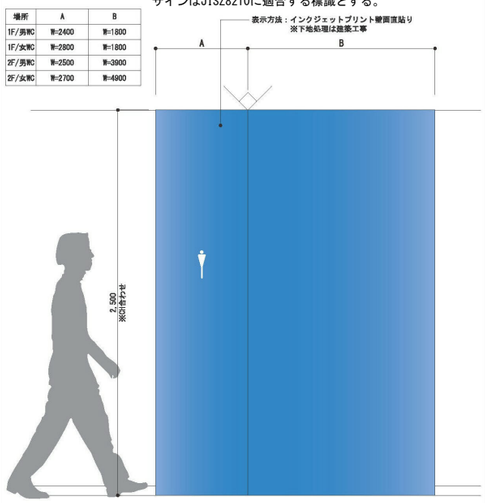


S-15 壁付ピクトサイン

数量	取付	壁付
4	照明	–
縮尺 1/20	区分	館内

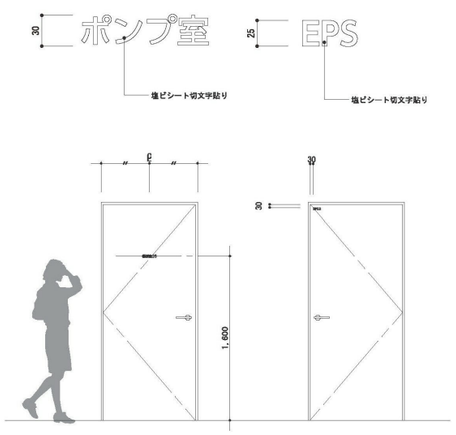
サインはJIS8210に適合する標識とする。

場所	A	B
1F/男WC	W=2400	W=1800
1F/女WC	W=2800	W=1800
2F/男WC	W=2500	W=3900
2F/女WC	W=2700	W=4900



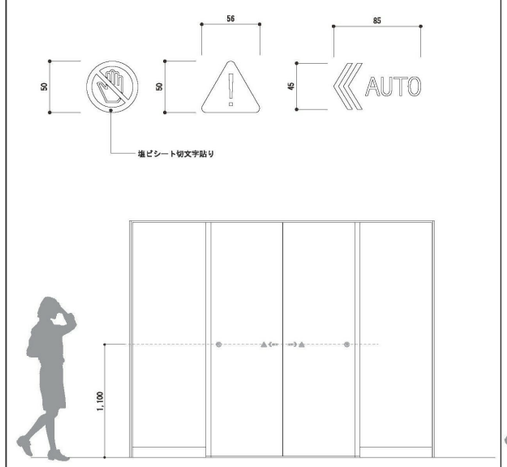
S-16 シート室名サイン

数量	取付	扉付
20	照明	–
縮尺 1/3・1/30	区分	館内



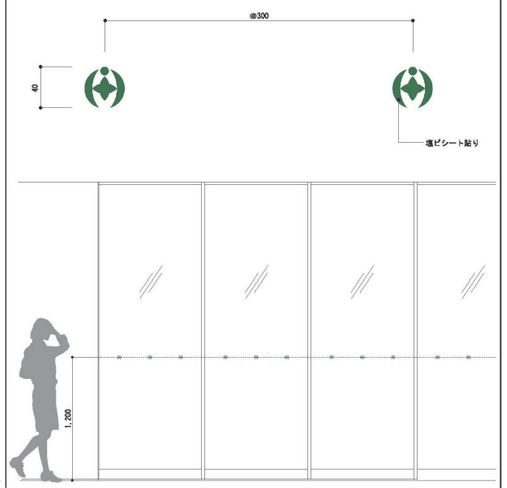
S-17 自動ドアサイン

数量	取付	ガラス面
8	照明	–
縮尺 1/3・1/30	区分	館内



S-18 衝突防止サイン

数量	取付	ガラス面
40m	照明	–
縮尺 1/3・1/30	区分	館内



S-19 消火栓サイン

数量	取付	扉付
8	照明	–
縮尺 1/3・1/20	区分	館内

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	図面名	サイン詳細図－２

縮尺	図示	図面番号	A－ 091

エレベーター仕様

区分	項目		内容
基本仕様	号機名		NO.1
	型式		
	用途		乗用兼車いす用
	定格積載質量/定員		900kg/13人乗
	定格速度		45m/min
	運転方式		乗合全自動方式（乗り捨て方式）
	制御方式		インバータ制御方式（マイコン制御）
	停止階		正面側 1箇所（1 階） 背面側 1箇所（2 階）
	かご寸法		間口1600mm 奥行1350mm 天井高さ2250mm
	出入口寸法		幅900mm 高さ2100mm
	戸型式		２枚戸中央開き
	電動機		AC 4.2kW
	動力用電源		AC 3φ 200V 50Hz
	照明用電源		AC 1φ 100V 50Hz
	連絡装置 設置場所		同時通話式インターホン 設置場所：２階「管理スペース１」
	監視装置		リモートメンテナンスインターフェース付
管制運転	地震		有り（Ｐ波およびＳ波感知）（リスタート機能付）
	火災		有り（火報と連動した接点による自動式）
	停電		有り（停電時自動着床装置）
	自家発		無し
建物用途別標準装備仕様			マルチビームドアセンサー付
			ケアフルセンサー付
			満員通過機能付
乗場仕様	三方枠	1階（正面側）,2階（背面側）	大枠 ステンレスヘアライン
	乗場戸	1階（正面側）,2階（背面側）	鋼板塗装仕上（５分ツヤ）
	幕板	1階（正面側）,2階（背面側）	無し
	敷居	1階（正面側）,2階（背面側）	硬質アルミまたはステンレス
	ホールランタン	1階（正面側）,2階（背面側）	無し
	インジケーター	1階（正面側）,2階（背面側）	縦型デジタル表示 メーカー標準
	ホールボタン	1階（正面側）,2階（背面側）	メーカー標準
かご仕様	天井		メーカー標準
	前側板		化粧鋼板
	側板		化粧鋼板
	戸		化粧鋼板
	出入口上部		化粧鋼板
	床		メーカー標準
	幅木		ステンレス
	敷居		硬質アルミまたはステンレス
	操作盤	ボタン	メーカー標準
		カバー	メーカー標準
	インジケーター		メーカー標準
	車いす用操作盤	ボタン	メーカー標準
		カバー	メーカー標準
	気くばり操作盤	ボタン	無し
		カバー	無し
	鏡		メーカー標準
	ハンドレール		メーカー標準
監視盤			無し
耐震クラス			A14

特記仕様

特記仕様	NO.1
	昇降機技術基準の解説 2016年版対応
	ピット深さ特殊
	かご出入口二方向（千鳥階）
	音声案内装置（福祉のまちづくり条例対応）付
	点字注意銘板付（横型）
	車いす仕様付
	視覚障がい者仕様付（全ての操作盤と乗場ボタンに点字銘板付）
	壁埋込形インターホンボックス付（ステンレスヘアライン仕上）（1個）（１Ｆ管理スペース２）
	インターホン親機増し（1個）（２Ｆ管理スペース１ 総合分電盤内）
	運転休止スイッチ（1階正面側に取付）
	かご戸（正面）：大型防犯窓付（段差なし あみ入り合わせガラス6.8T+3T） かご戸（背面）：大型防犯窓付（段差なし あみ入り合わせガラス6.8T+3T）
	乗場戸（正面）：大型防犯窓付（段差なし あみ入り合わせガラス6.8T+3T）（1階） 乗場戸（背面）：大型防犯窓付（段差なし あみ入り合わせガラス6.8T+3T）（2階）
	フェッシャプレート付
	昇降路内同軸ケーブル付（昇降路外は電気工事）
	車いす呼び戸開き時間延長
	一般呼び戸開き時間延長
	発音式ボタン（かご）
	非常放送用スピーカー付（かご天井上）
	ケアフルドア付
	かご側板保護マット（高さ：床面から1800mm）付
	かご床マット付
	エコケーブル付
	高調波抑制リアクトル付
	絶縁トランス付（雷サージ対策）
	警報ブザーをかご上に取付
	故障情報の無電圧接点支給付
	非常ボタン連動 無電圧接点支給
	煙感知器点検扉用ドアスイッチ付
	公共建築工事標準仕様書（R7）適用
	４ｍレール使用
	ステンレス材一式：ＳＵＳ３０４
	レールサイズアップ
	24Vインターホン付
	ピット冠水退避運転（基本仕様）

工事区分

号機名 NO.1

区分	項目	工事名	建築	電気	空衛	ELV
昇降路	1	昇降路の築造と誤差修正工事 1）壁または囲いは隙間なきものとする 2）昇降路の壁又は囲い及び出入口の戸は、任意の5cm²の面にこれと直角な方向の300Nの力が昇降路外から作用した場合において15mmを超える変形や塑性変形が発生しないこと 3）コンクリート厚さは150mm以上とする 4）コンクリート基準圧縮強度 21N/mm² 以上とする	○			
	2	各階出入口床の敷居取り付け用かき込みまたは敷居受け持ち出し工事	○			
	3	各階出入口まわり壁の穴あけ工事（出入口、ホールボタン、インジケータ、ホールモニターなど）	○			
	4	エレベーター据付後の出入口壁および床その他建築仕上及び補修工事	○			
	5	三方枠、インジケータなどと壁間の防火区画処理	○			
	6	三方枠、インジケータなどと壁間のすきま塞ぎ工事（ふさぎ板またはラス材）				○
	7	ピット内防水仕上工事（ピット仕上面の水平度は1/200以下）	○			
	8	並設されたエレベーターの最下階が異なる場合のピット間仕切り工事（H=1800以上）	○			
	9	オーバーヘッド・ピット寸法が図面と異なる場合のはつり・埋め戻し工事	○			
	10	ピット点検用タラップまたは梯子の設置工事				○
	11	ピット点検用コンセント設置工事（1ヶ/台）		○		
	12	インターホンならびにその他の機器（放送（一般・非常）自家発商用電源識別接点・火災時管制用接点・防犯カメラ等）用配管、配線工事（配線サイズ、本数は電気設備欄による）		○		
	13	昇降路最上階の受電制御盤への動力電源、照明用電源およびアース線の引き込みならびにつなぎ込み工事（配線サイズ、本数は電気設備欄による）		○		
	14	監視盤がある場合の監視盤用配管配線工事（監視盤配置場所より昇降路最上階の制御盤位置まで引き込み）		○		
	15	昇降路頂部の煙感知器の設置工事（昇降路外部から保守点検可能な構造）（点検扉は、厚さ1.5mm以上の鉄板製）		○		
	16	昇降路頂部の煙感知器点検扉ELV連動停止スイッチ取付				○
	17	リモートメンテナンス用として電話中継盤から昇降路最上階までの配管（最小直径25mm）、配線工事（配線サイズ、本数は電気設備欄による）		○		
	18	昇降路出入口側内壁（敷居下および出入口上部）とかご前端が125mm以上離れる場合のフェッシャプレート取付用下地設置工事	○			
	19	昇降路出入口側内壁（敷居下および出入口上部）とかご前端が125mm以上離れる場合のフェッシャプレート設置工事				○
	20	昇降路内配管工事に伴う区画貫通部の耐火処理工事		○		
	21	昇降路頂部への吊りフックの設置工事	○			
	22	昇降路内への中間ビーム設置工事（コンクリート階）				○
	23	PC構造に於けるインサート埋め込み工事またはプレート設置工事	○			
	24	不停止階の昇降路救出口扉の設置工事（施行令129条の7の1による）	○			
	25	かごドレン式クーラー設置時のピット排水管工事	○			
	26	昇降路内温度が40℃超過の場合のガラリ設置工事	○			
	27	昇降路内温度が40℃超過の場合の換気扇設置工事		○		
	28	昇降路内温度が5℃未満40℃超過の場合の空調設備設置工事			○	
その他	1	エレベーター部品搬入経路の確保（必要に応じてコンクリートの穴あけおよび埋め戻し工事）	○			
	2	エレベーター重量部品搬入の際の仮設揚重機の貸与	○			
	3	エレベーター据付工事員現場詰所および材料置場の確保	○			
	4	エレベーター据付工事用電力の供給（動力用および照明用電源）	○	○		
	5	エレベーター運転調整用電力の供給（動力線および照明用電源線はエレベーター着工前までに本設電源配管経路で引き込み）	○	○		
	6	医療機器、放送用機器、コンピューター機器などの電源とエレベーター動力用電源およびアース線の系統分離工事		○		
	7	昇降路と居室が隣接する場合の居室側防音および防振工事	○			
	8	昇降路内建築工事仮設床（水平養生）用の金網・デッキプレートなどの撤去工事	○			
	9	エレベーター着工前の各階出入り口開口部の塞ぎ材支給および施工	○			
	10	出入口が直接外気と接する乗場における雨水よけ工事（庇、水切り等）	○			
	11	昇降路内仮設足場の設置および解体工事	○			
	12	エレベーター承認図と躯体が異なる場合の手直し	○			
	13	昇降路がガラスの場合の養生施工および塗装工事	○			
	14	ALC継目の補修、コンクリート型枠抑え用セパボルト（Pコン）の撤去	○			
	15	非常用エレベーター全階乗場への避難経路板設置工事	○			
	16	非常用エレベーター乗場水勾配、排水溝、グレーチング施工	○			
	17	監視盤用電源の監視盤までの引き込み工事		○		

電気設備

項目		内容		
号機名	NO.1			
動力用電源	AC 3φ 200V 50Hz 8mm 2×1回路（CV）/台			
	線サイズ（mm²）	5.5	8	14
	最大引込距離（m）	44	64	112
	ＭＣＢ容量	40A/台		
	トランス容量	5kVA/台		
	起動KVA	16kVA/台		
照明用電源	AC 1φ 100V 50Hz 5.5mm 2×1回路/台			
アース線	3.5mm 2（D種）/台			
インターホン用配管配線	FCPEV0.9-7 P/台（200mまで）			
リモートメンテナンス用配管配線（電話線）	CPEV0.9-1P，配管サイズφ25/台（MDF～昇降路間）			
ピット点検用コンセント	AC100V 1.5kVA以上×1個/台（最下階FL+200の出入口付近に設置）			
インターホン連動用の無電圧ａ接点支給及び配管配線	印加電圧DC48V 接点容量0.1A以下			
火災報知信号無電圧ａ接点支給及び配管配線	印加電圧DC24V 接点容量1A以上/台			
非常放送用スピーカー用配管配線	HP1.2-2 C/台			
故障情報の無電圧ａ接点支給及び配管配線	印加電圧DC48V 接点容量0.1A以下/台			
防犯カメラ用配管配線（昇降路外）	同軸ケーブル 5C-2V/台			
注意事項	上記の配管配線はエレベーター制御盤から各設備ならびに機器の設置場所まで引込み 上記の配管配線はエレベーターの着工前までに本設配線で引込み			

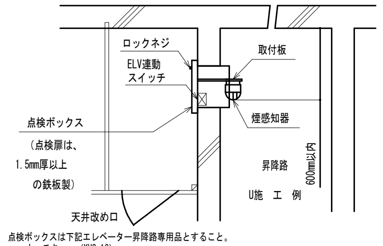
労基法適用（本設用）： ㊒（設置届・設置報告）・ 無

標準型エレベーターの荷役制限について

・軽台車などで荷物を運搬する場合には、250kg以下/回。

※千葉県条例 第48条（エレベーターの点検用コンセント）に適合させる
※千葉県条例 第49条（昇降機の電気設備）に適合させる

煙感知器施工例

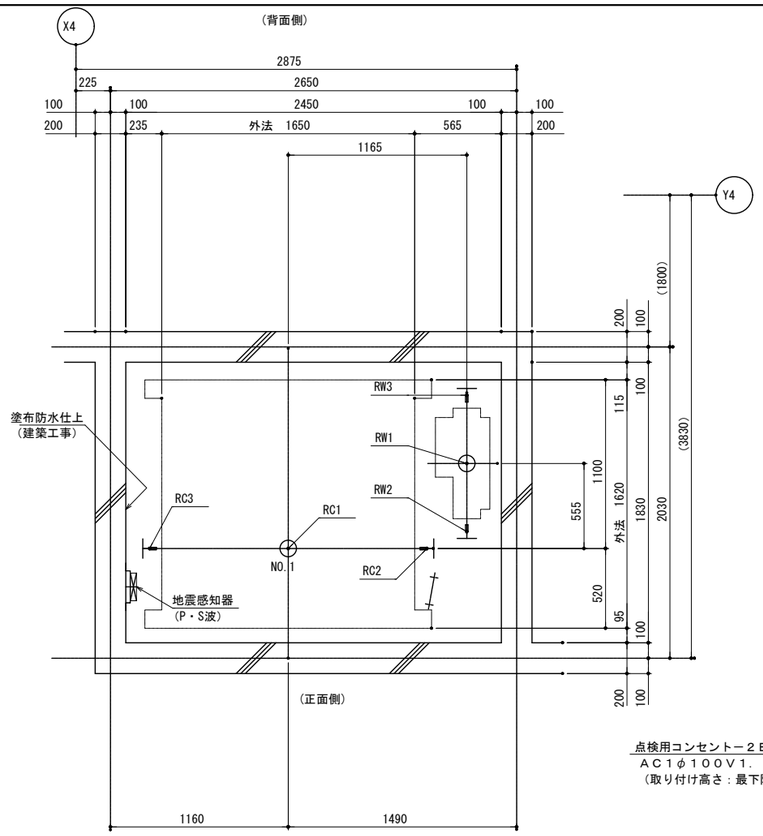


点検ボックスは下記エレベーター昇降路専用品とすること。
・ホーチキ (KUS-1C)
・能美防災 (FXS J001A-HU)
・ニッタン (NID-T-G)
・パナソニック (BV95351+BV95381H)
（点検扉を開いた場合はエレベーターは停止する。）

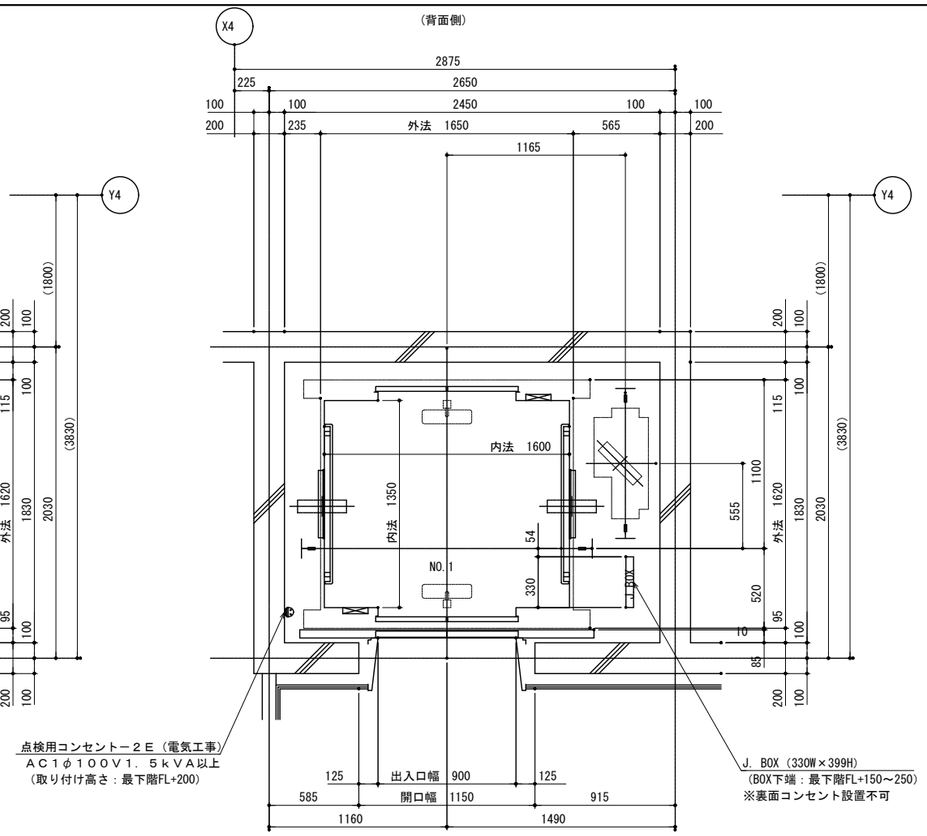
・煙感知器取付高さがかご天井高さ+1800mmを超える場合はメーカーに確認すること。
・エレベーター出入口側に煙感知器を設置する場合はかご出入口機器と干渉する恐れがあるのでメーカーに確認すること。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 8年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項

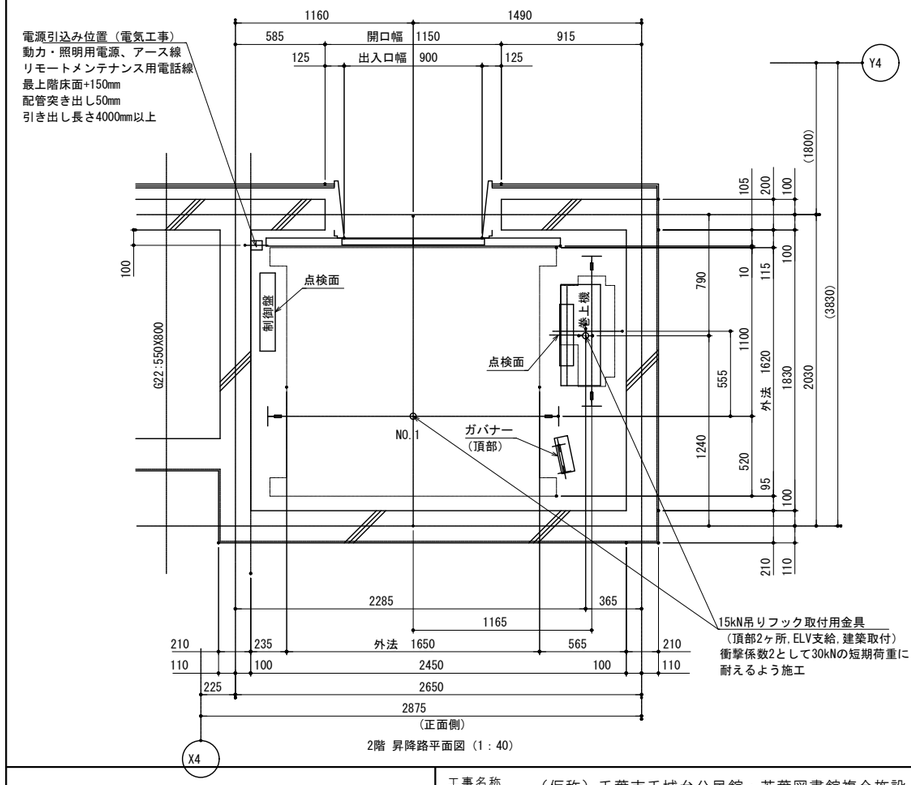
図面名	縮尺	図面番号
昇降機仕様書	non	A－ 092



ピット平面図（1：40）



1階 昇降路平面図（1：40）



2階 昇降路平面図（1：40）

ピット反力値（N）

	短期荷重		長期荷重			
号機名	RC1	RW1	RC2	RC3	RW2	RW3
NO.1	103000	85000	8000	31000	44000	37000

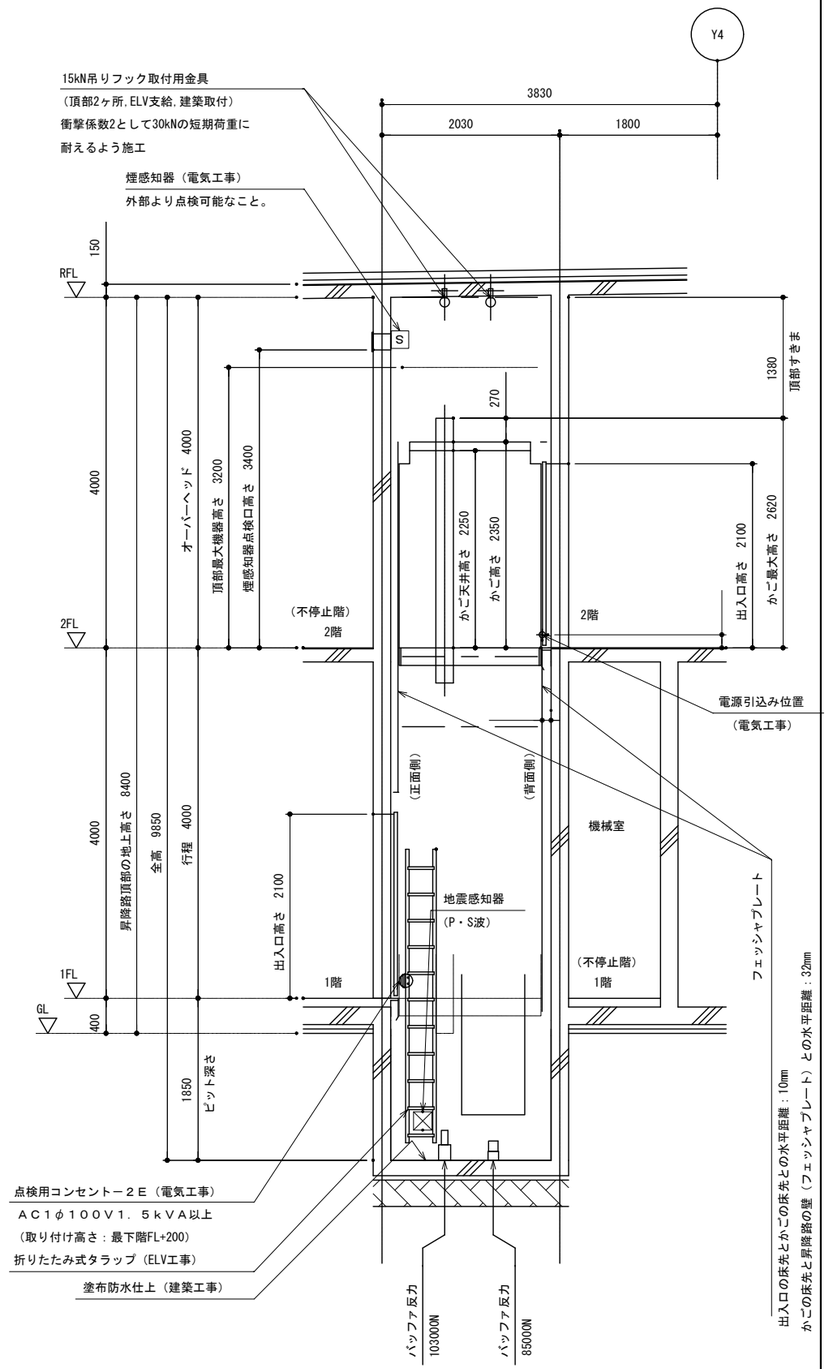
コンクリート厚さは150mm以上とする
コンクリート基準圧縮強度21N/mm^{2}以上とする

耐震クラス：Ａ１４

ガイドレール部分荷重（N）	かご側		ウェート側	
	ＰＸ	ＰＹ	ＰＸ	ＰＹ
NO.1	5450	2900	8600	4300

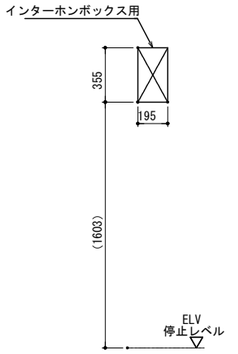
注） 上記荷重により柱及びはりのたわみは
５mm以下になるよう部材を設計すること

地震時建物に掛る荷重

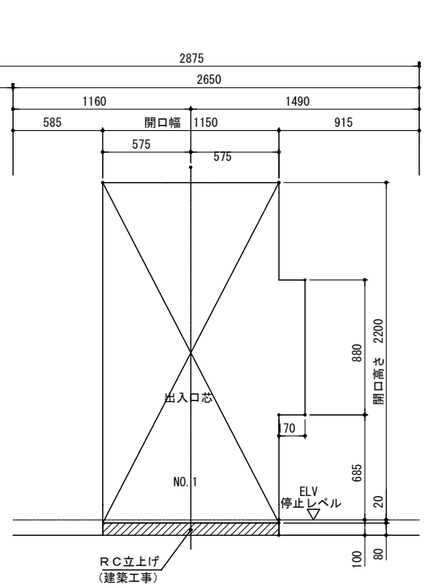


NO.1 昇降路断面図（1：100）

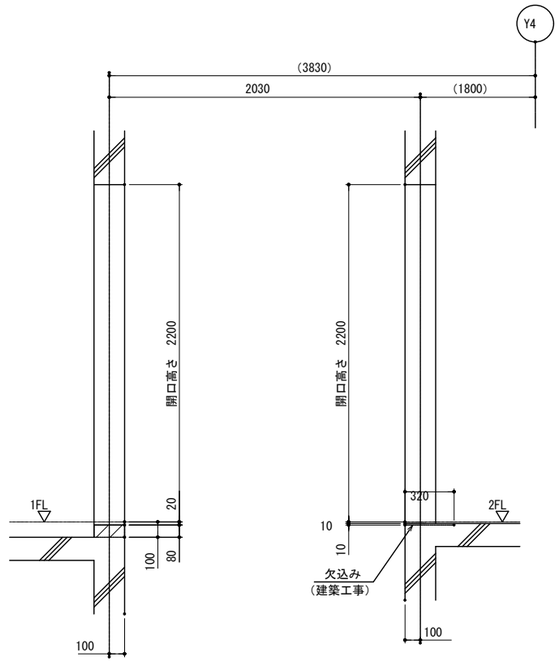
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 8年 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 8年 1月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	図面名	昇降機詳細図－１（参考）	縮尺 1：40	図面番号 A－093

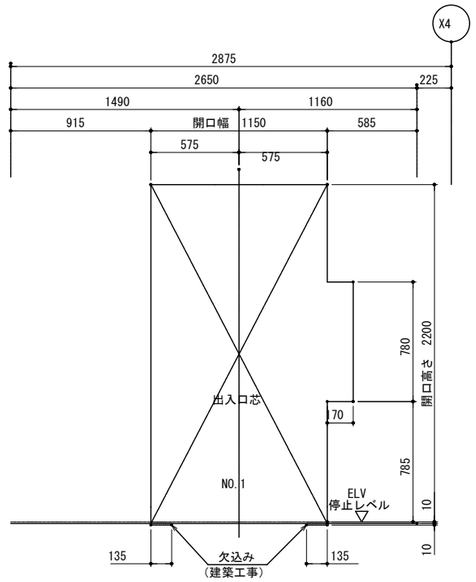


インターホンボックス取付用穴明図（1：40）
取付場所は検討すること

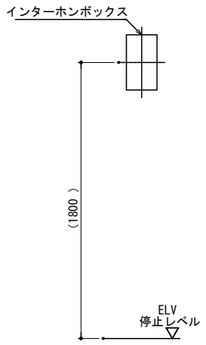


1階 出入口穴明図（1：40） ：正面側

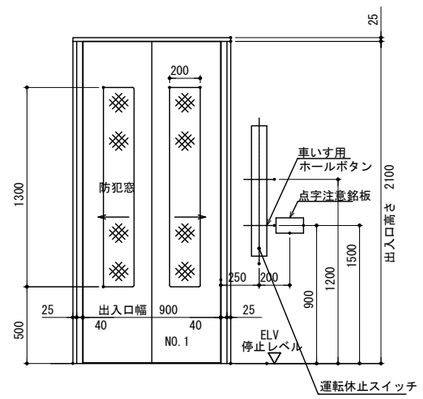




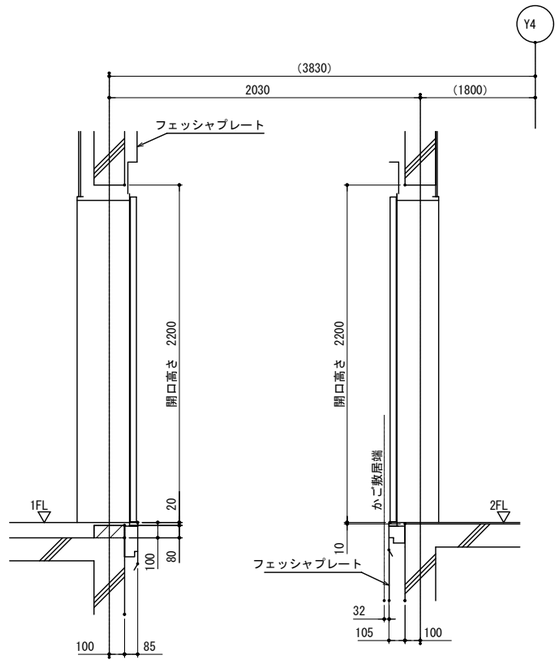
2階 出入口穴明図（1：40） ：背面側

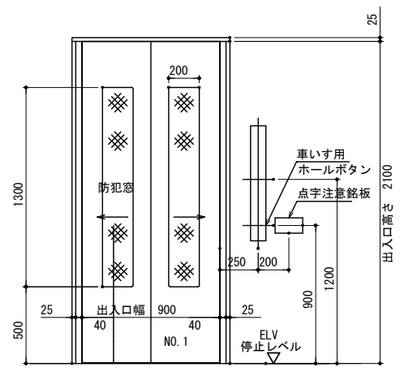


インターホンボックス姿図（1：40）
取付場所は検討すること



1階 出入口正面及断面図（1：40） ：正面側

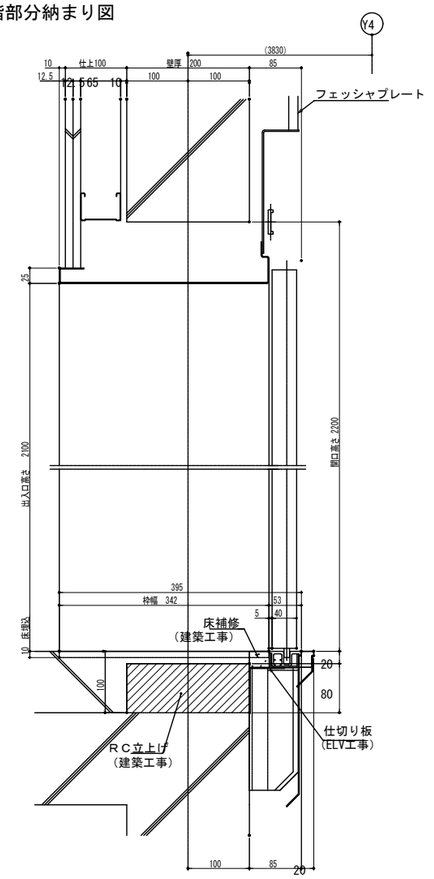




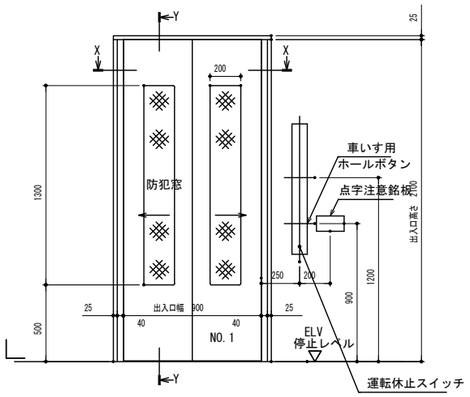
2階 出入口正面及断面図（1：40） ：背面側

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 8年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項		図面名	昇降機詳細図－2（参考）	縮尺	1：40	図面番号	A－ 094

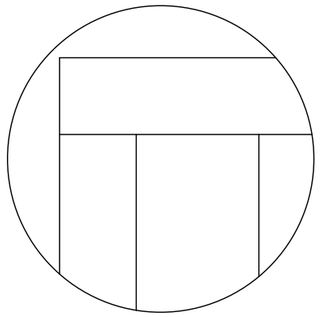
１階部分納まり図



断面図［断面YY］（1：10）

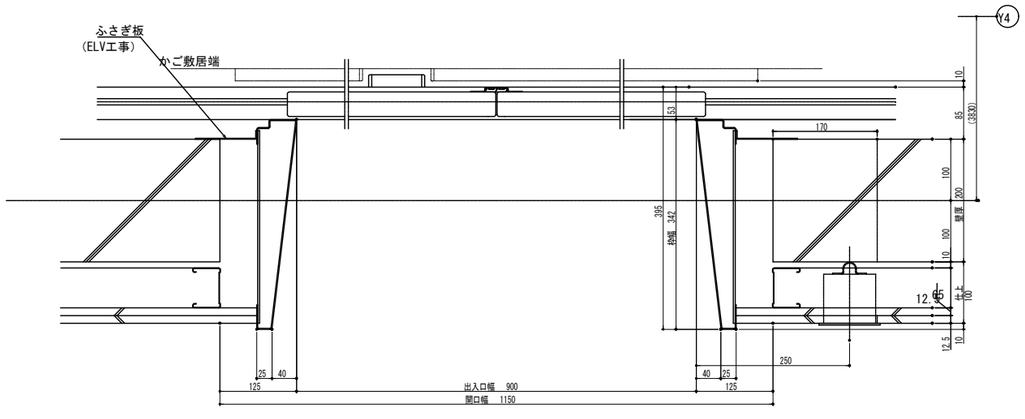


正面図（1：40）：正面側



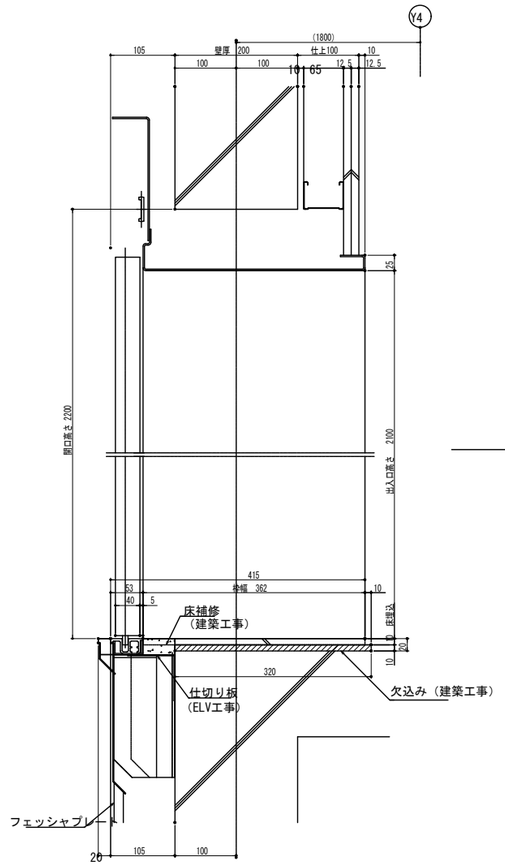
三方枠取合図（1：2）

1階　仕様	
三方枠	ステンレスヘアライン
戸	鋼板塗装仕上（５分ツヤ）
敷居	硬質アルミまたはステンレス

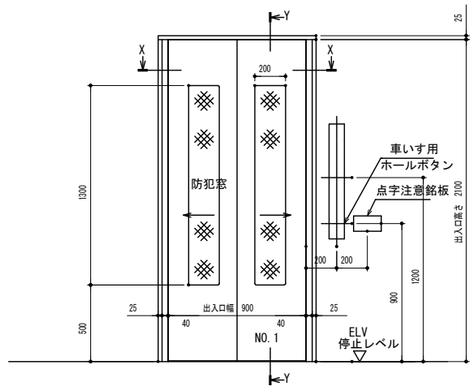


平面図［断面XX］（1：10）

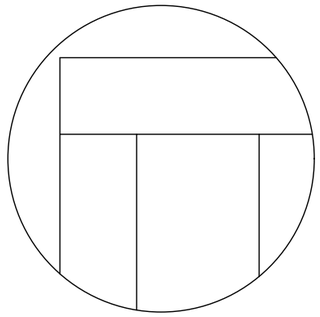
２階部分納まり図



断面図［断面YY］（1：10）

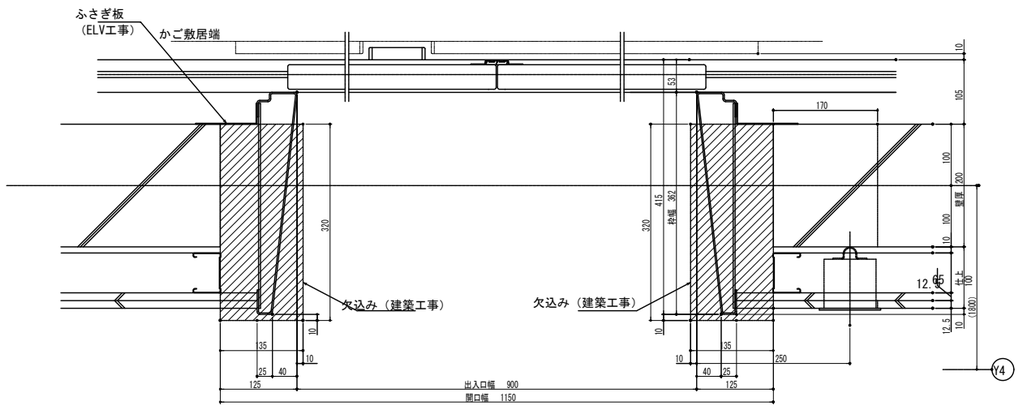


正面図（1：40）：背面側



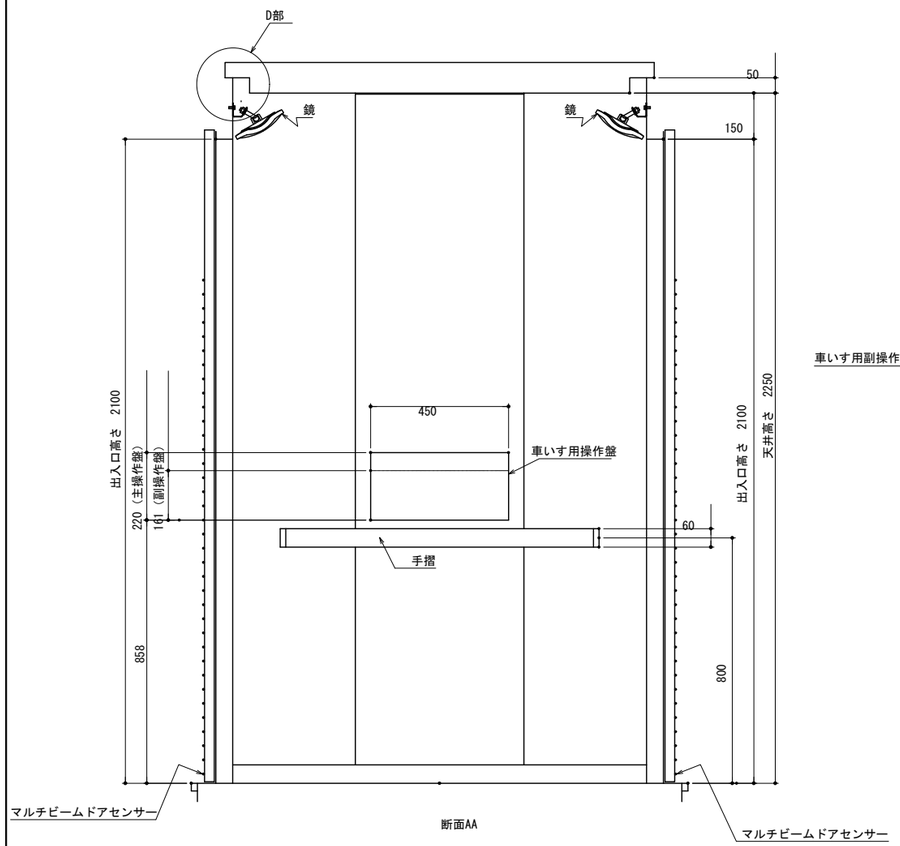
三方枠取合図（1：2）

2階　仕様	
三方枠	ステンレスヘアライン
戸	鋼板塗装仕上（５分ツヤ）
敷居	硬質アルミまたはステンレス

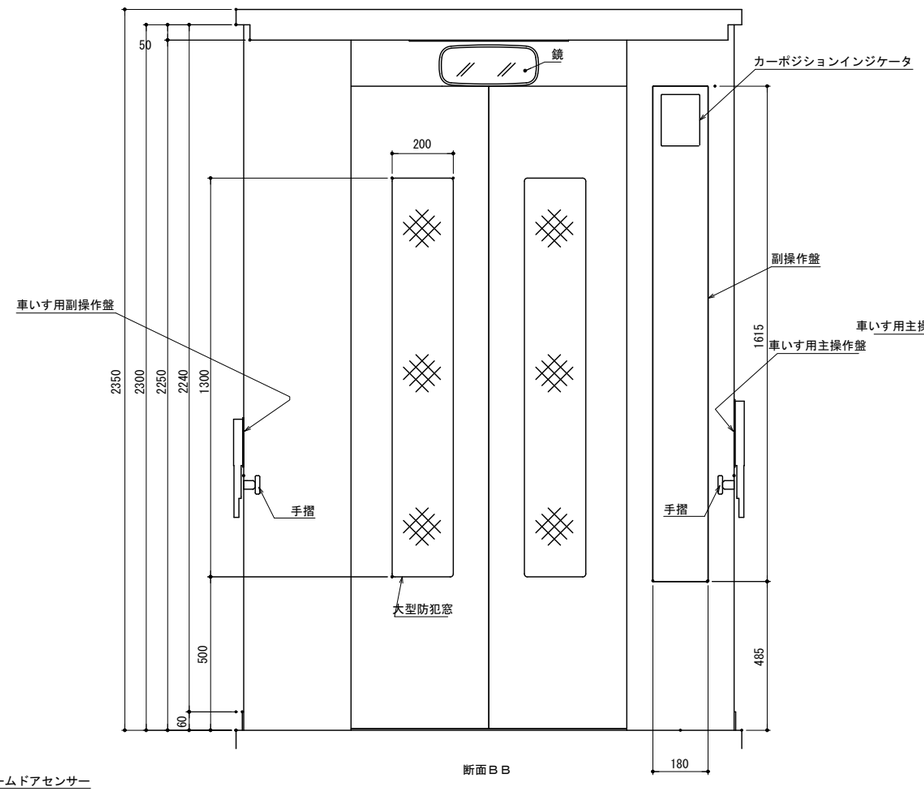


平面図［断面XX］（1：10）

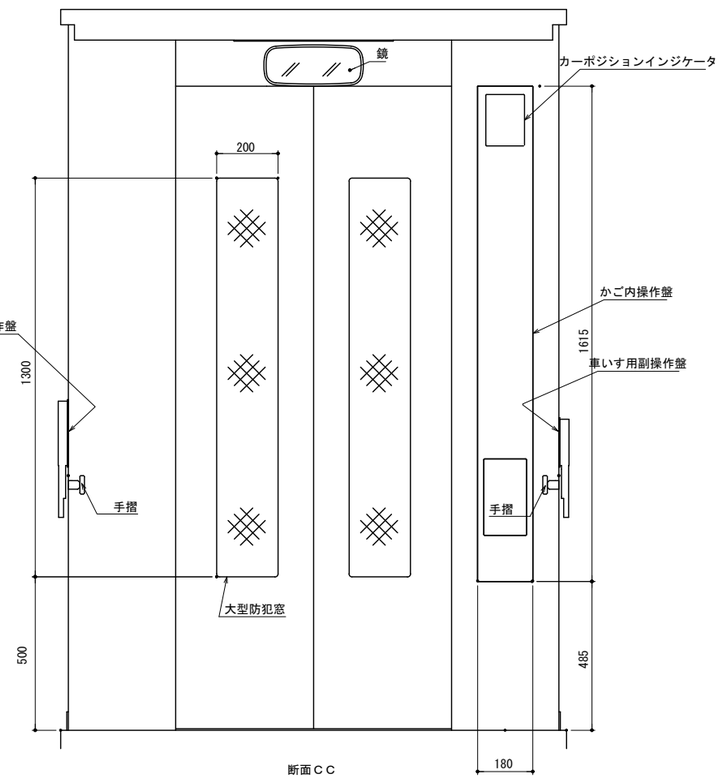
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和　８年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	昇降機詳細図－３（参考）	縮尺	図示	図面番号	A－095
		特記事項		特記事項		特記事項							



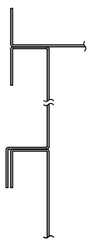
断面AA



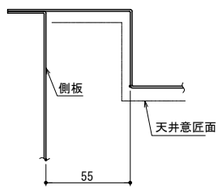
断面ＢＢ



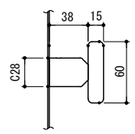
断面ＣＣ



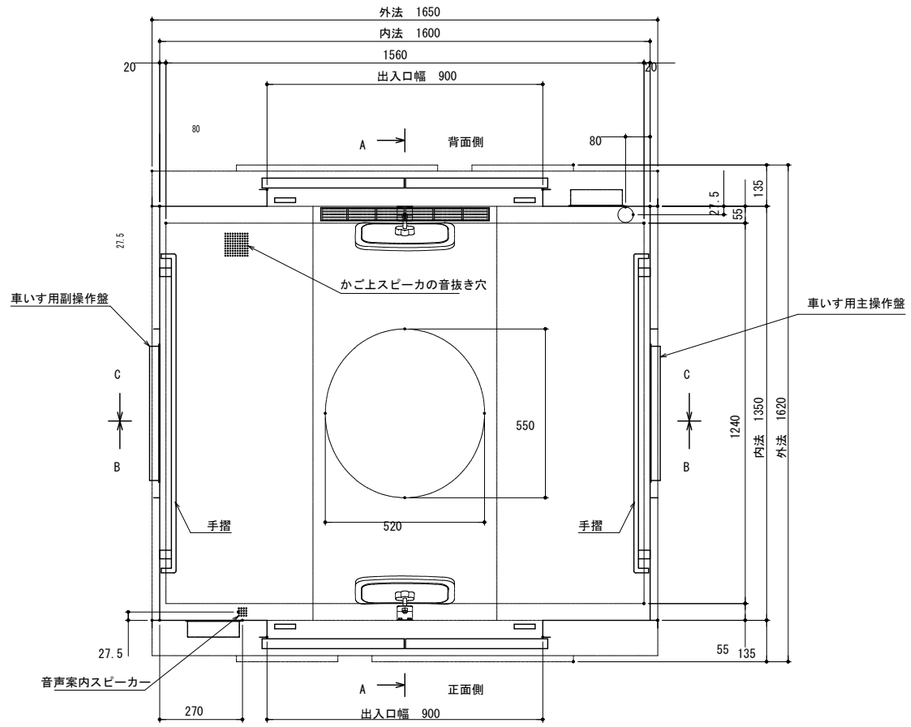
側板コーナー及び中間継目詳細（1：4）



D部詳細（1：4）



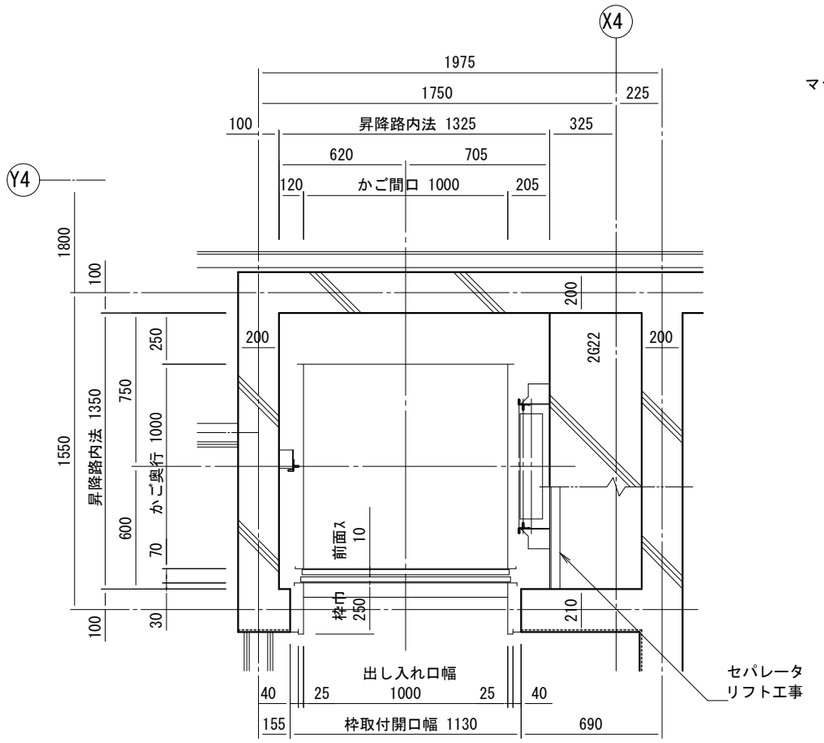
ハンドレール取付部詳細（1：6）



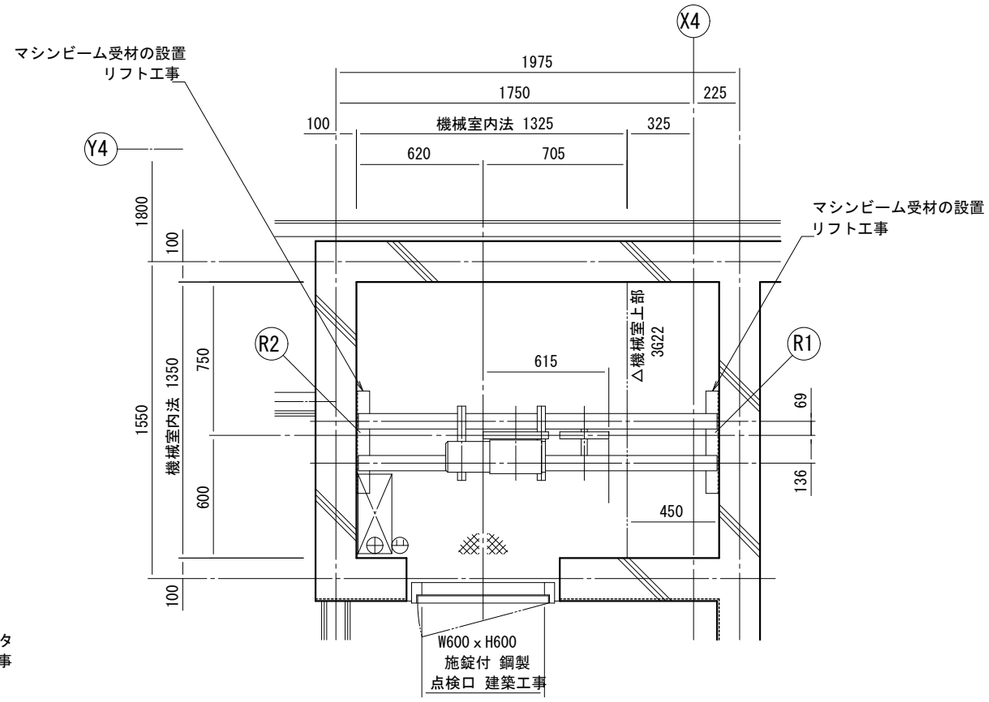
品　名	仕　様
前側板，出入口上部枠	化粧鋼板
幅　木	ステンレス
側板，戸	化粧鋼板
天井	化粧鋼板
照　明	メーカー標準
停電灯	LED
換　気	ファン
床	メーカー標準
敷　居	硬質アまたはステンレス
鏡	メーカー標準
ハンドレール	メーカー標準
大型防犯窓	段差なし　あみ入り合わせガラス6.8T+3T
光電装置	マルチビームドアセンサー付
天井換気ルーバー	メーカー標準
付属品	車いす仕様付，視覚障がい者仕様付
	ケアフルセンサー付，ケアフルドア付
	音声案内装置付
	非常放送用スピーカー付
	かご側板保護マット（高さ：床面から1800mm）付
	かご床マット付

A1（原寸）時=1：10,A3（縮小）時=1:20

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和　8年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	昇降機詳細図－4（参考）	縮尺	1：20	図面番号	A－ 096
			特記事項		特記事項		特記事項							



2F 昇降路平面図 S=1:30



機械室平面図 S=1:30

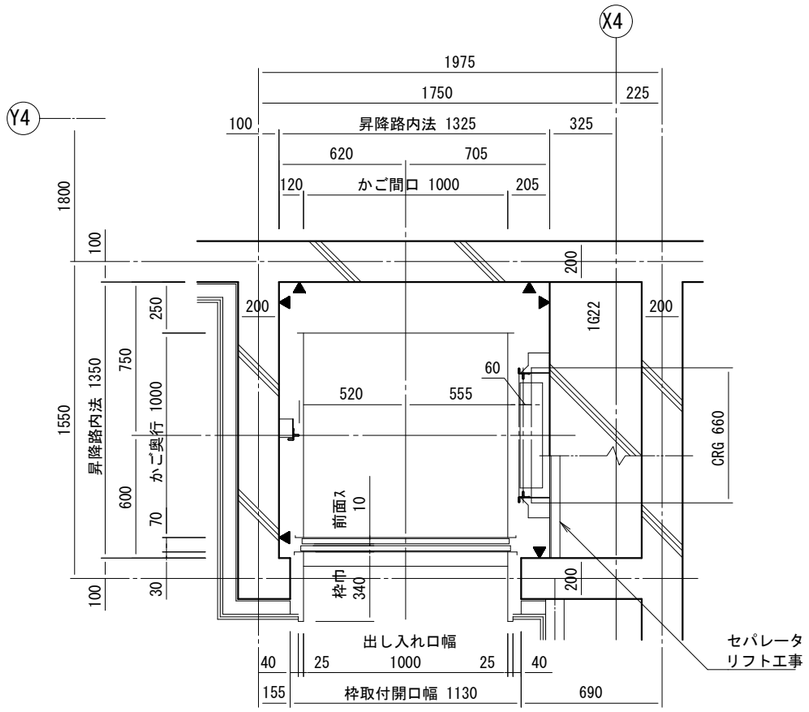
反力

R1 ≒ 7.7 KN

R2 ≒ 9.8 KN

電気工事

⊕	：一次側電源引込位置（3相 200V 50Hz 2.2Kw）
⊖	：コンセント（単相 100V 15A）



▼：ピット防水仕上面を示す。建築工事

1F 昇降路平面図 S=1:30

小荷物専用昇降機 仕様要項			
機種	方向	MH16-300	1 方向
積載質量	速度	300 Kg	45 m/min
停止個所		1 ～ 2 F	2 停止
かご寸法		間口 1000 / 奥行 1000	高さ 1200
出し入れ口寸法		間口 1000 / 高さ 1200	枠巾 340/250
昇降行程	全高	4 m	6.8 m
出し入れ口戸の形式		中央上下引分け式	
ロープ		8 φ 2 本	1 : 1
釣合おもり		加減式	
レール		1.6 t A型	
動力用電源		AC・3 相 210 V ±10 50 Hz	
電動機		2.2 Kw 4P	
制御方式		インバータ マイコン制御	
表示方式		タッチパネル付液晶	
連絡装置		カメラ付ハンズフリーインターホン	
安全装置		ドアロック ドアスイッチ 非常停止ボタン その他法令に定められたもの	
オプション			

特記事項

戸開放警報装置	到着前お知らせ機能
音声合成アナウンス	機械室床縞鋼板貼（前面）
かご戸連動開閉機能付	優先運転モード付
他階モニタ機能	
他階一斉通報	
パーキングスイッチ（テンキーロック式）	
サービス階切り離し機能（テンキーロック式）	
戸開閉保持機能付（出し入れ口手動戸のみ）	
基準階復帰機能付（無し／手動設定／学習設定）	
戸防火区画対策（開閉機構で相じゃくり処理）	
自動切り替わり省エネモード（標準）	
セパレータの設置	
マシンビーム受材の設置	
抗菌・抗ウイルス加工（操作盤・出し入れ口の取手）	

部品名	色	材質／仕上	板厚
三方枠		鋼板 焼付塗装	1.6 t
枠戸		鋼板 焼付塗装	1.6 t
かご床	ピュアホワイト	縞鋼板焼付塗装	3.2 tCPL
かご内部	ピュアホワイト	鋼板 焼付塗装	1.6 t
踏板		山型鋼焼付塗装	L-65×65×6
かご戸	ピュアホワイト	鋼板 焼付塗装	1.6 t

建築工事区分

1	W600×H600 施錠付 鋼製 点検口の取付
2	壁開口
3	昇降路頂部に天井吊フック（5KN用）の設置
4	三方枠取付後の壁・床仕上工事
5	ピット部防水仕上工事
6	立ち上がり壁の施工
7	
8	
9	
10	

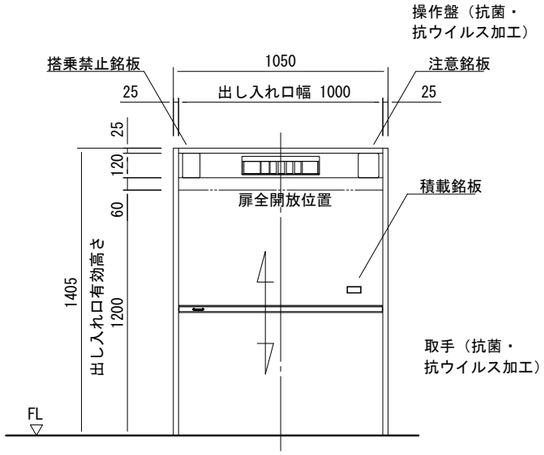
電気工事区分

1	機械室内に動力用電源の引込み工事 電線は電線管で保護をし引込み長さは2mとして下さい

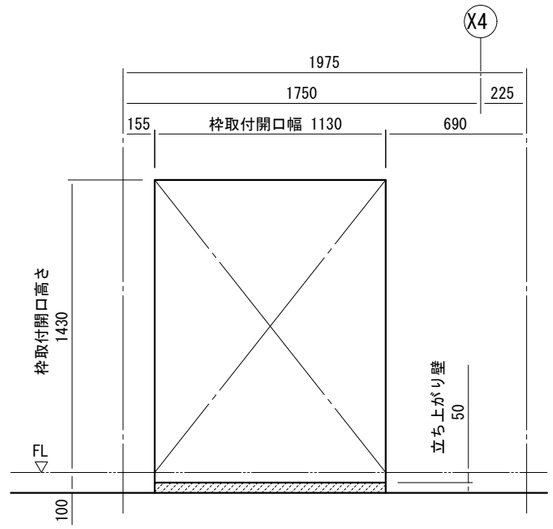
電線太さ	2	3.5	5.5	8	14	mm 2
最大こう長	23	41	65	94	165	m
変圧器の容量 4.2 KVA			ブレーカーの容量 30 A			

2	D種接地線の引込み工事
3	機械室内に煙感知器の取付工事(必要な場合)
4	機械室内に100V 15A のコンセントの取付工事

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 8 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	小荷物専用昇降機詳細図ー1（参考）	縮尺 1：30	図面番号 A－097

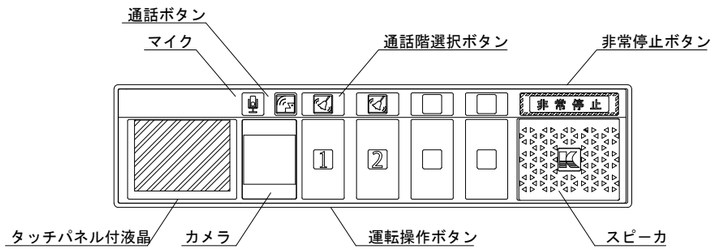


JEAS-207A(標改10-02)に準じた防火戸
出し入れ口正面図 S=1:30



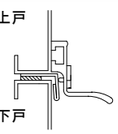
出し入れ口開口図 S=1:30

立ち上がり壁
建築工事



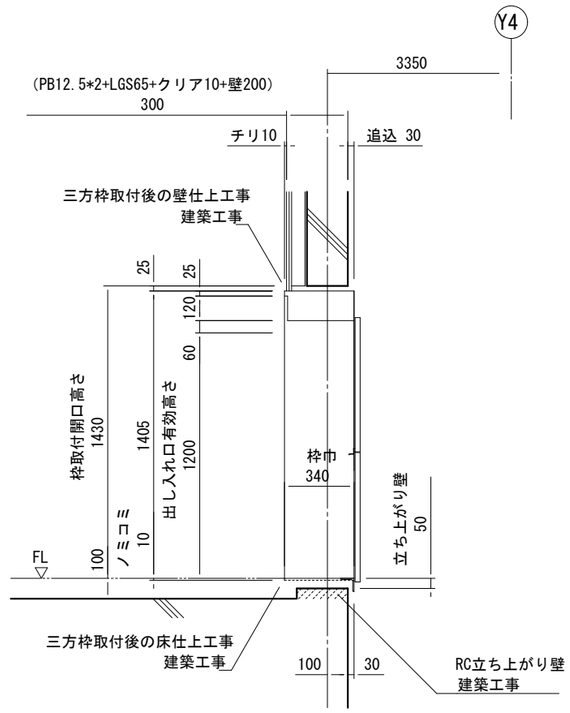
操作盤詳細図
抗菌・抗ウイルス加工を施しております

小荷物専用昇降機については、戸をJEAS-207A（標改10-02）に定める構造として0.8mm以上の鋼板製とし、戸当たり部分を難燃性ゴムを用いて相じゃくりとすれば、すき間のない構造として平成12年建設省告示第1360号による遮炎・遮煙性能を有する防火設備及び、1.5mm以上の鋼板で同様の構造とすれば、同告示第1369号による特定防火設備とみなされる。
また、出し入れ口の戸は、通常、常時閉鎖状態が保持されているので、「常時閉鎖式の防火戸」として取り扱われる。但し、閉め忘れ防止警報装置を備えなければならない。

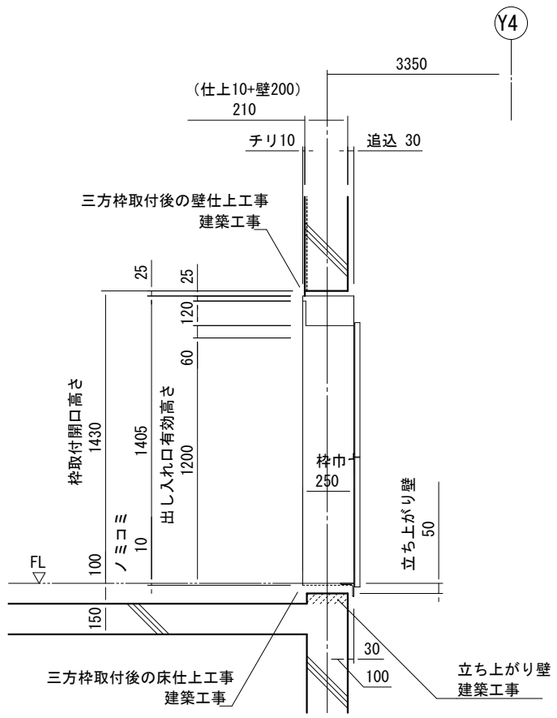


取手（抗菌・
抗ウイルス加工）

出し入れ口戸相じゃくり部

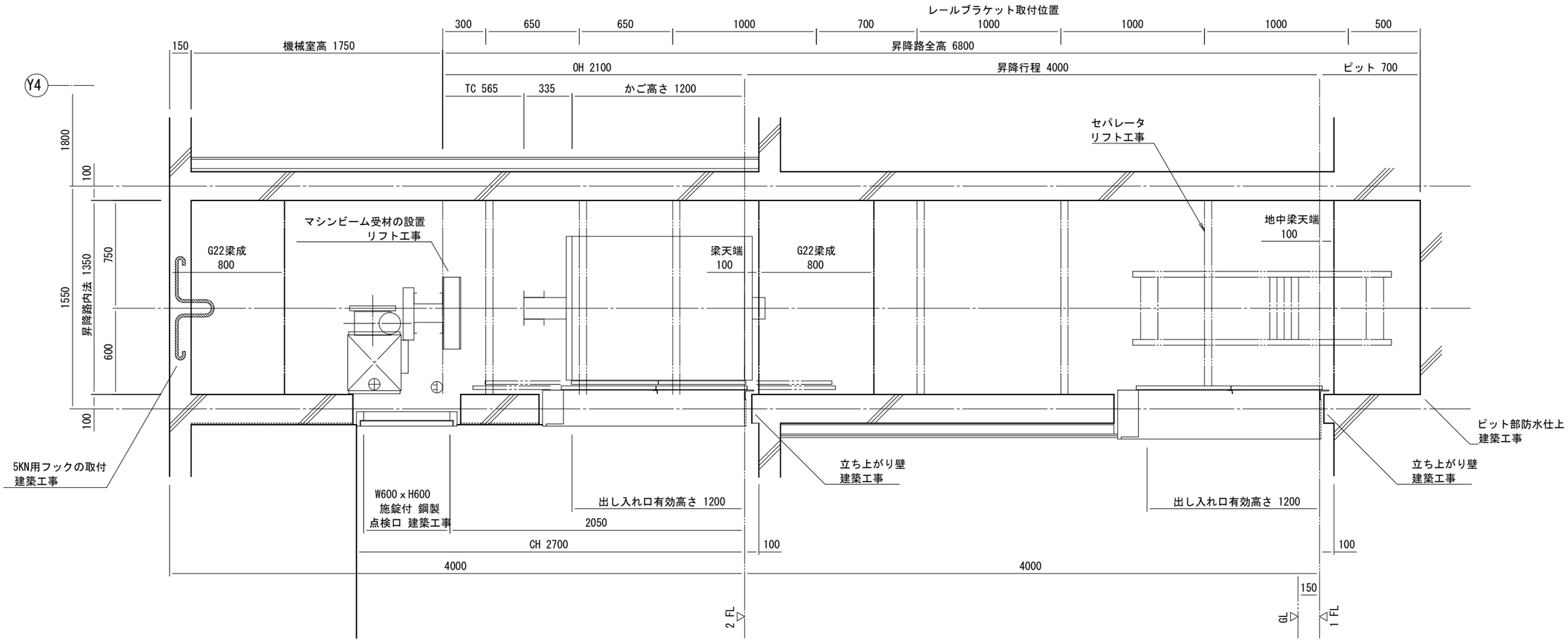


1F 出し入れ口断面図 S=1:30



2F 出し入れ口断面図 S=1:30

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 8年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	小荷物専用昇降機詳細図ー2（参考）	縮尺 1：30	図面番号 A－ 098



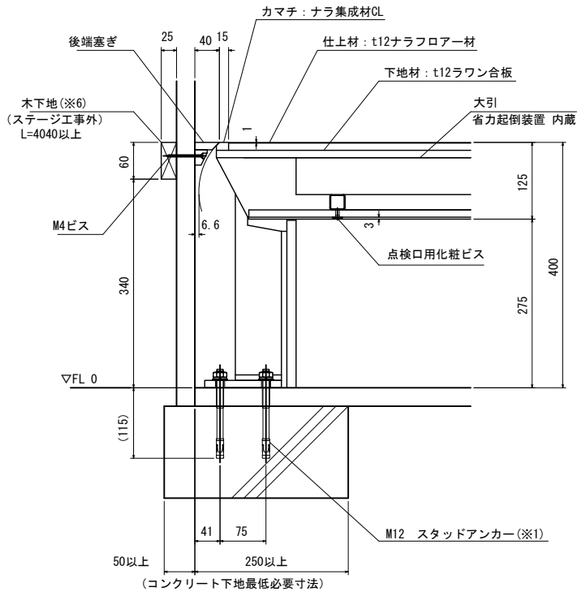
電気工事

⊕ ：一次側電源引込位置（3相 200V 50Hz 2.2Kw）

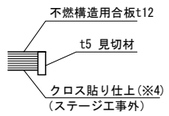
⊖ ：コンセント（単相 100V 15A）

昇降路断面図 S=1:30

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 8年 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	図面名	小荷物専用昇降機詳細図ー3（参考）	縮尺 1：30	図面番号 A－ 099

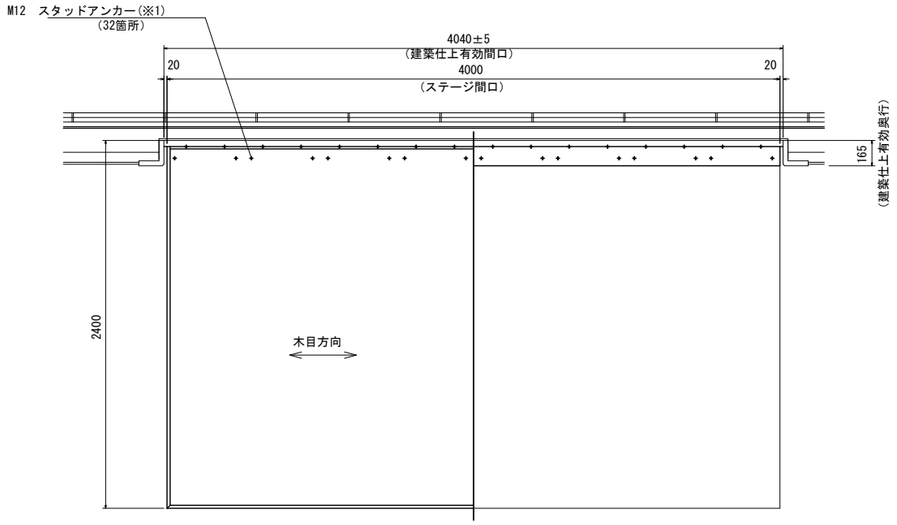


A部詳細図 (S=1:5)



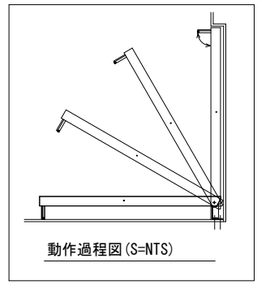
ステージ裏面木口詳細図

(S=1：2)



展開時平面図

収納時平面図



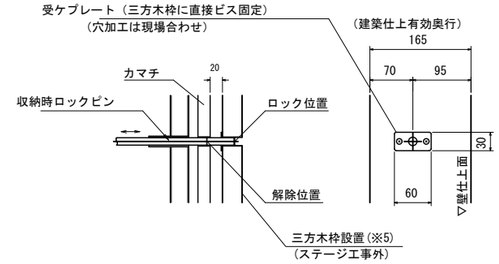
動作過程図(S=NTS)

手動式壁面収納ハネアゲステージ NS-10 ニチブ（株）（同等品）

ステージサイズ	W： 4000 D：2400 H：400 (mm)
ステージ本体重量	605 kg
最大積載荷重	360 kg／㎡
最小操作人員	2 名
設置階	2 階

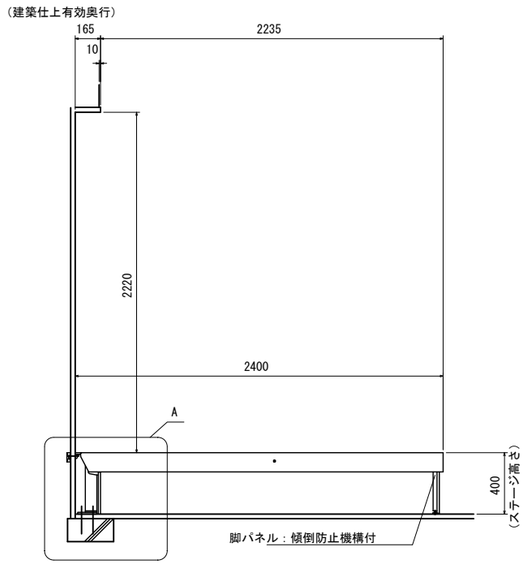
本体主要構成部品			
品名		仕様	備考
フロアー材		t12ナラフローリング化粧合板	F☆☆☆☆
下地材		t12ラワン合板	F☆☆☆☆
カマチ		ナラ集成材	クリアラッカー塗装
ステージ裏面下地	クロス仕上	t12不燃構造用合板＋t5見切材	F☆☆☆☆
省力起倒装置		偏平線コイルバネ+チェーン	
収納時ロックピン		丸落とし式	
脚パネル		スプリング式ダンパー	傾倒防止機構付
脚先アジャスター		レベルアジャスター	
本体フレーム		角鋼管 他	合成樹脂塗装(ブラック)
ロックハンドル装置		キーハンドル 2個	反転防止機能付

ステージ工事外項目(建築工事における注意点)
※1 建築床収納部はコンクリートとし直接アンカー固定を可能とするため 配筋等の干渉のないこと コンクリート圧縮強度はJIS規格210kgf/cm² 以上の普通コンクリートを推奨
※2 建築床使用部仕上がり面の最大高低差(傾斜の場合)は±3mm以内とする
※3 ステージ収納部三方枠は建築工事とし 仕上有効寸法(コーナー材等含む)は±5mm以内
※4 ステージ裏面仕上げは建築工事とし クロス貼り(目地部、ビス打ち部のパテ処理も含む) または t3化粧合板貼り(木口処理も含む)とする
※5 ロックピン受ケプレート 及び 異物落下防止機能 用の木下地 t12以上の構造用合板を 設置すること(FLより1600以上) ※三方枠に直接ビス固定可能な場合は不要
※6 後端塞ぎ用木下地t25x60程度(t12以上の構造用合板)を設置すること

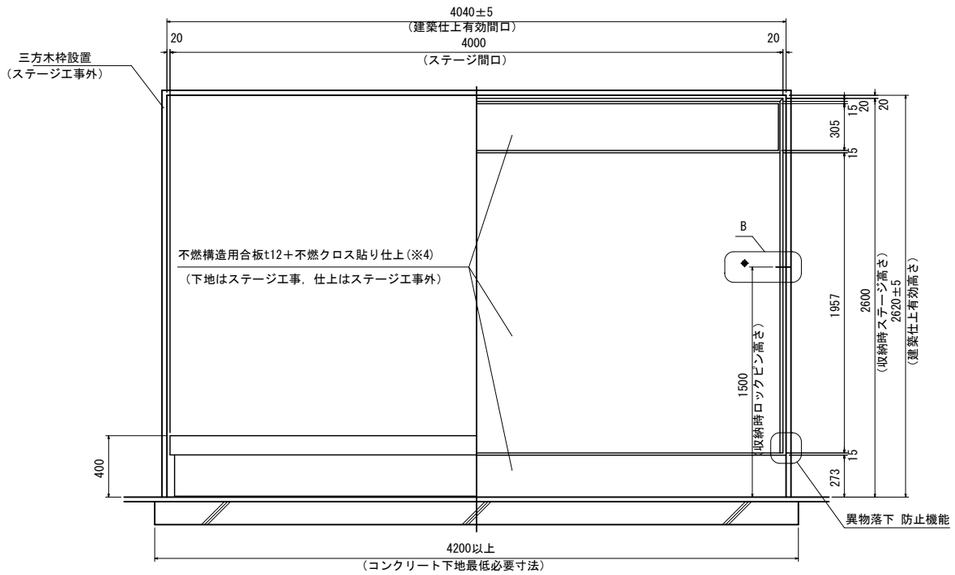


B部（収納時ロック機構）詳細図

左右対称 (S=1：5)

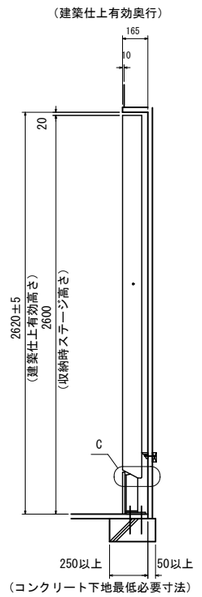


展開時側面図

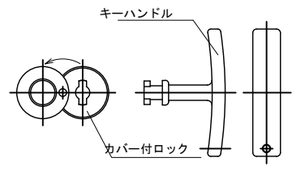


展開時正面図

収納時正面図

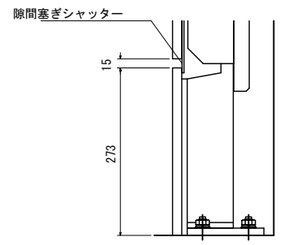


側面図（収納時）



B部（ロックハンドル装置）詳細図

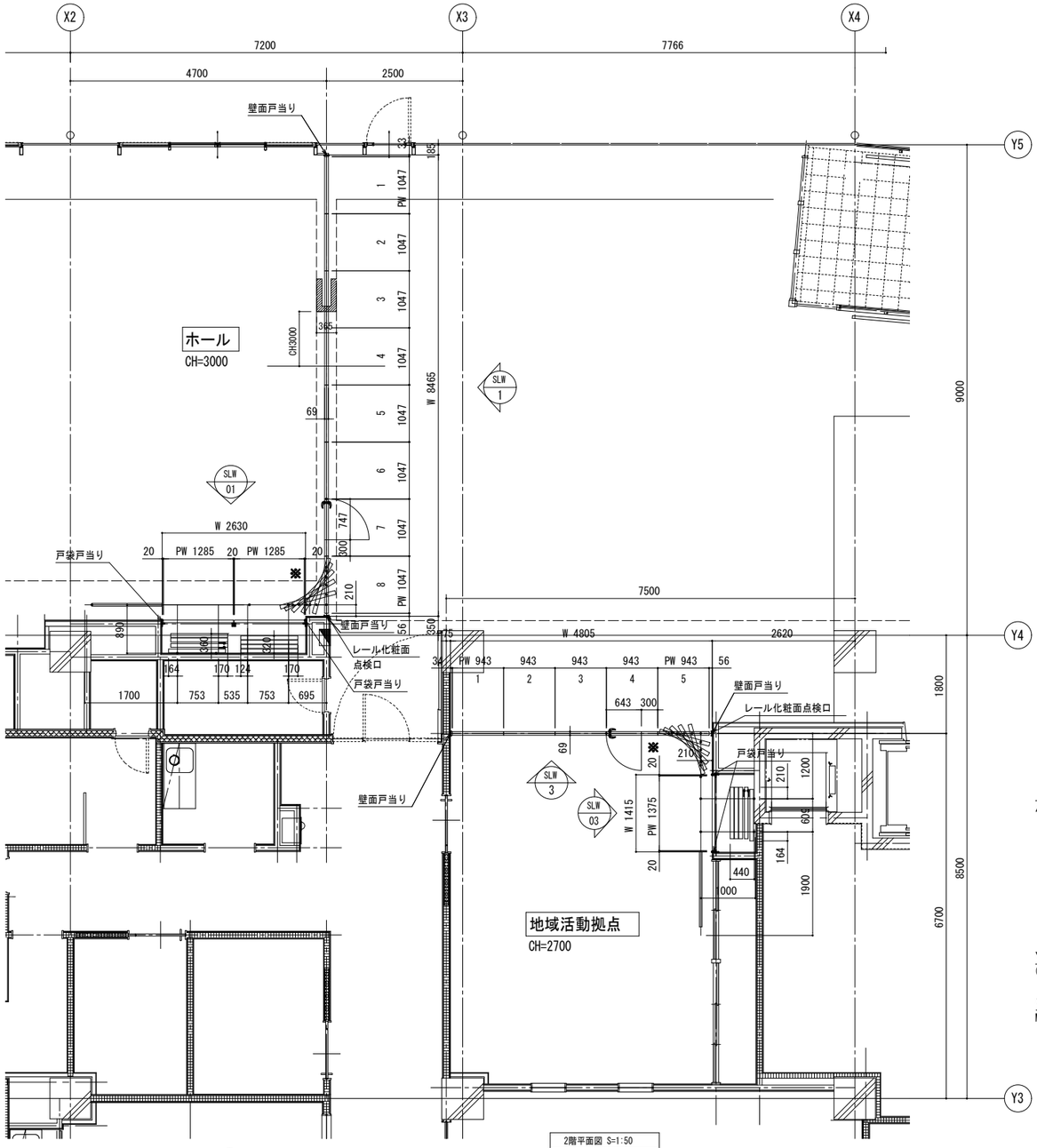
左右2箇所 (S=1：2)



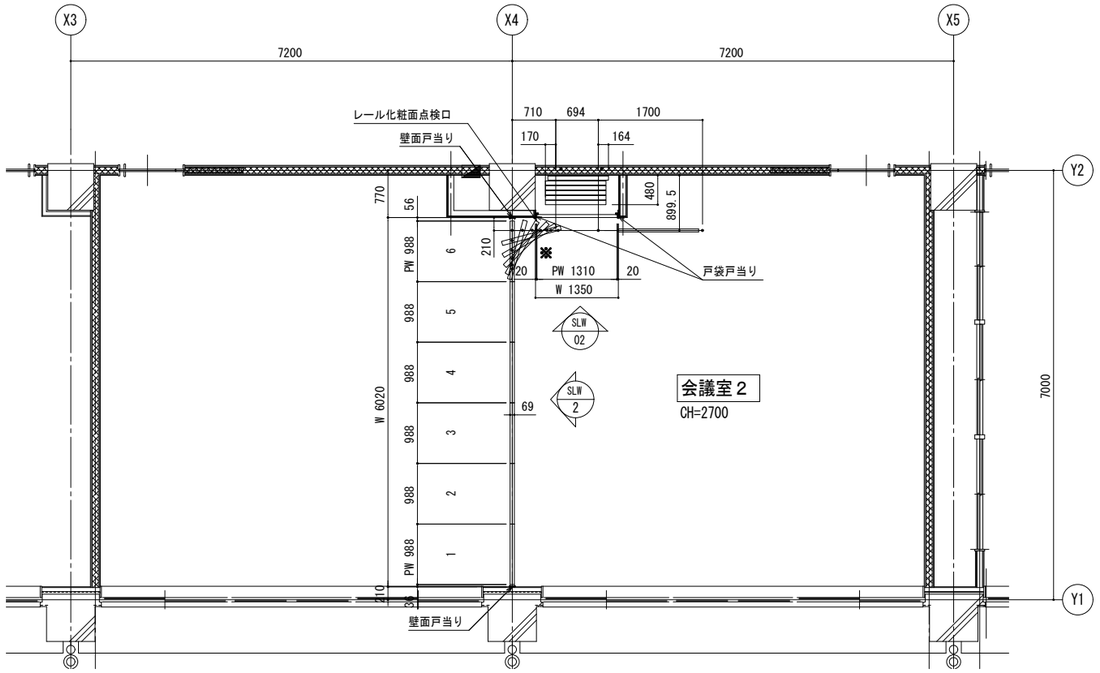
C部 隙間塞ぎ機構 詳細図

(S=1：5)

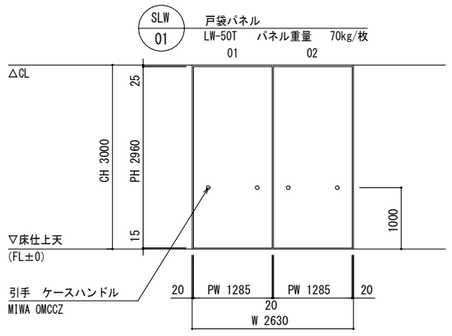
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 (仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	可動ステージ詳細図 (参考)	縮尺 1：40	図面番号 A－100

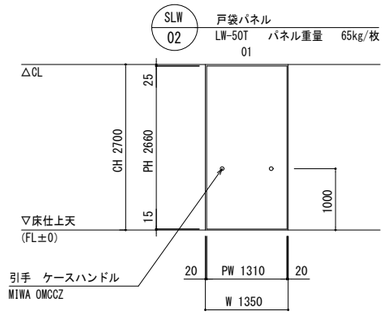


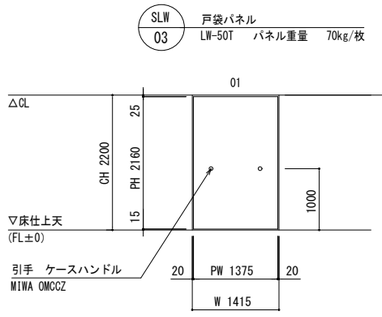
2階平面図 S=1:50
※操作口取付側

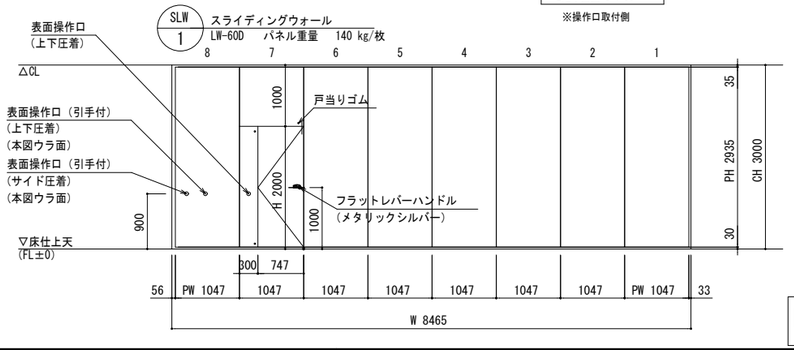


2階平面図 S=1:50
※操作口取付側

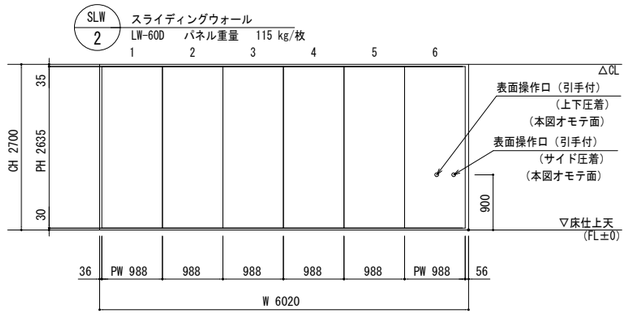


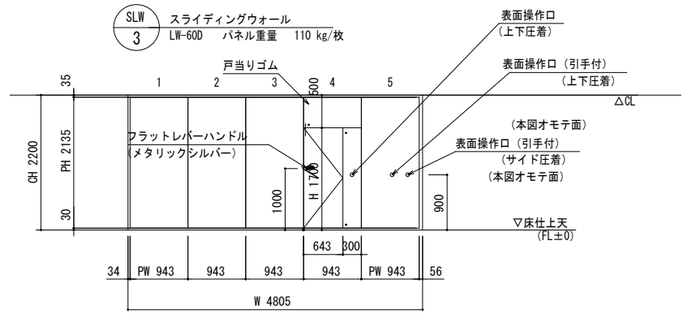






展開図 S=1:50





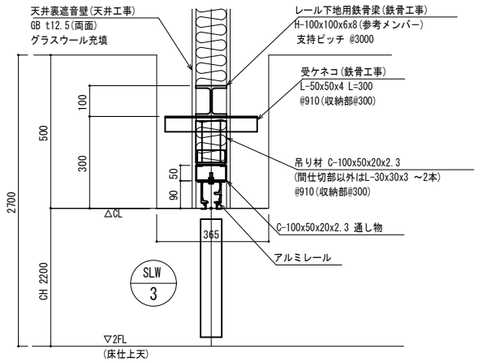
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	スライディングウォール詳細図－1（参考）	縮尺 図示	図面番号 A－101

スライディングウォール 厚み69mm(LW-60D同等品)

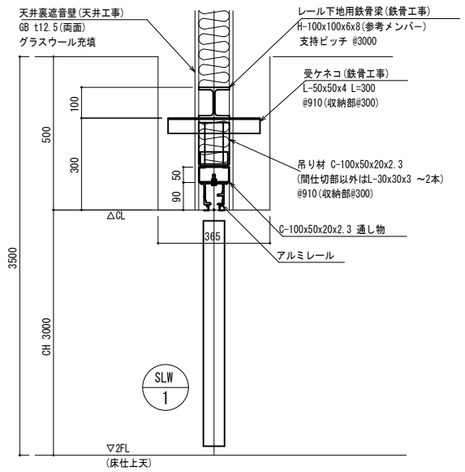
SLW 1 / SLW 2 / SLW 3

レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)
		コーナー部 直角レール
ランナー仕様	走行輪	水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)
	吊ボルト	M 14
パネル仕様	表面仕上	
	表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm (焼付塗装)
		下張り:せっこうボード 12.5mm
	充填材	グラスウール
	骨組	アルミフレーム + 鉄骨造
	フレーム	アルミ押出形材 (アルマイト処理)
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
	下部シールド	機械駆動式
	パネル分離型構造(廃棄時分別可能)・・・環境対応型	

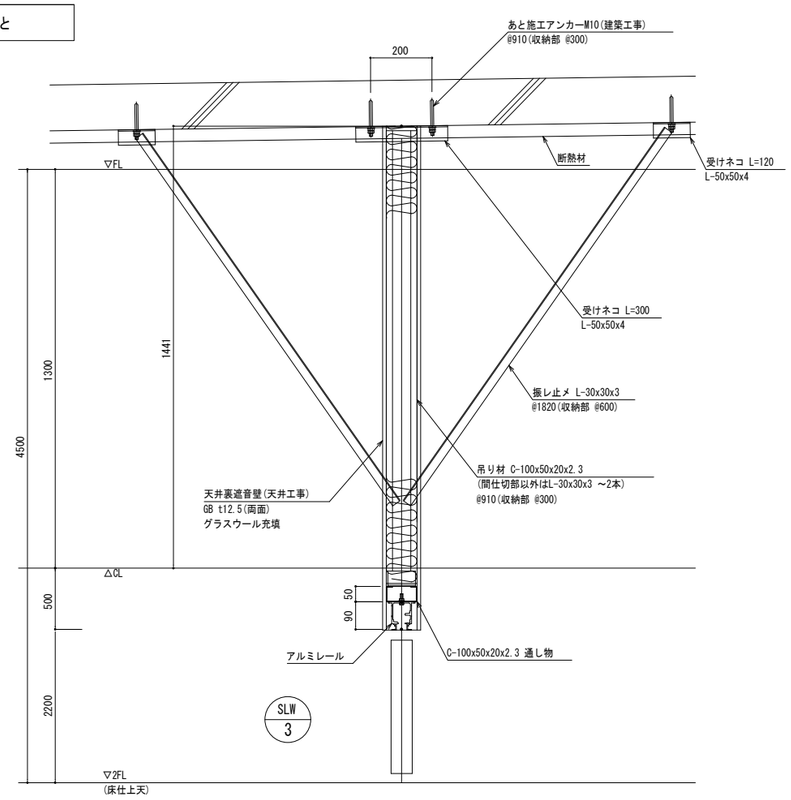
レール取付施工後に断熱材吹付すること



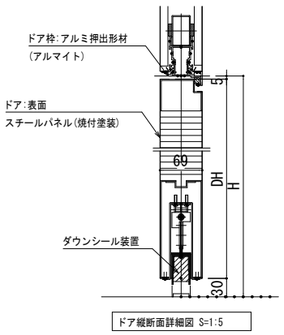
レール取付断面図 S=1:10



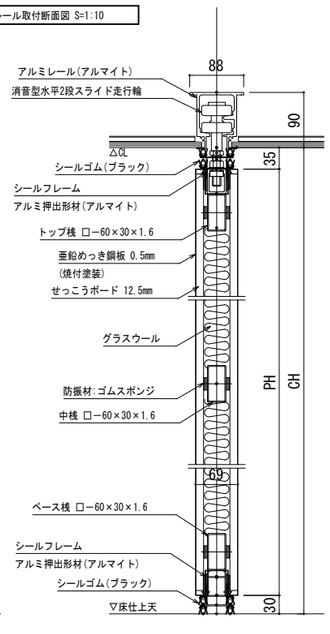
レール取付断面図 S=1:10



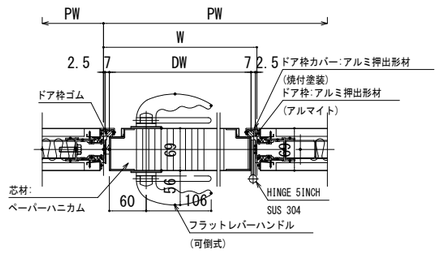
レール取付断面図 S=1:10



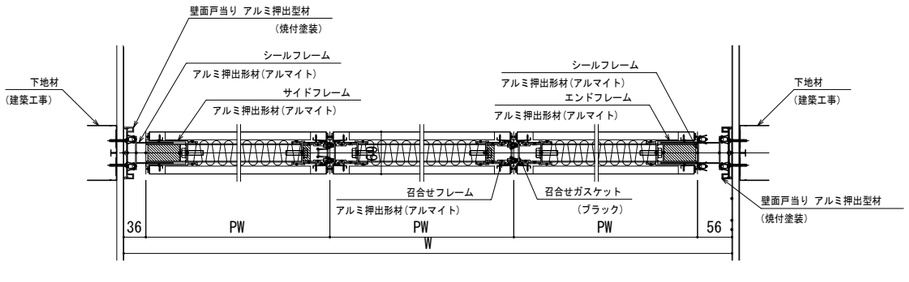
ドア縦断面詳細図 S=1:5



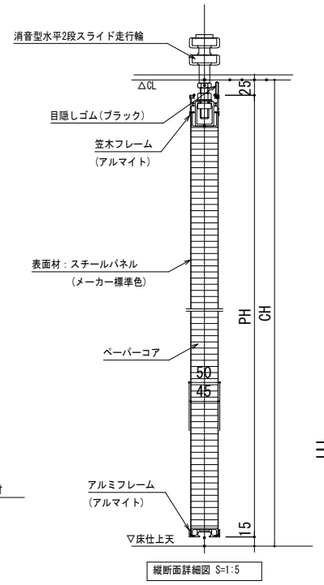
縦断面詳細図 S=1:5



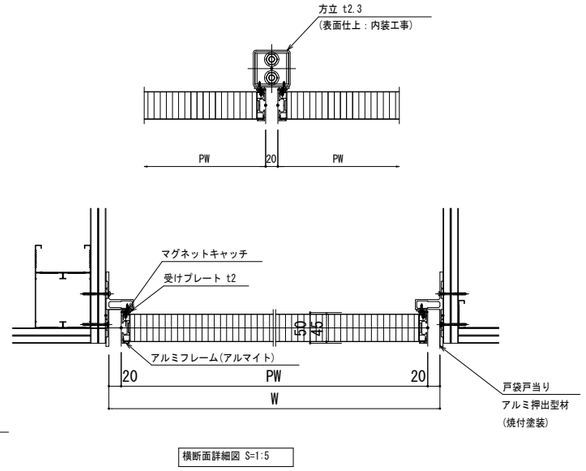
ドア横断面詳細図 S=1:5



横断面詳細図 S=1:5



縦断面詳細図 S=1:5



横断面詳細図 S=1:5

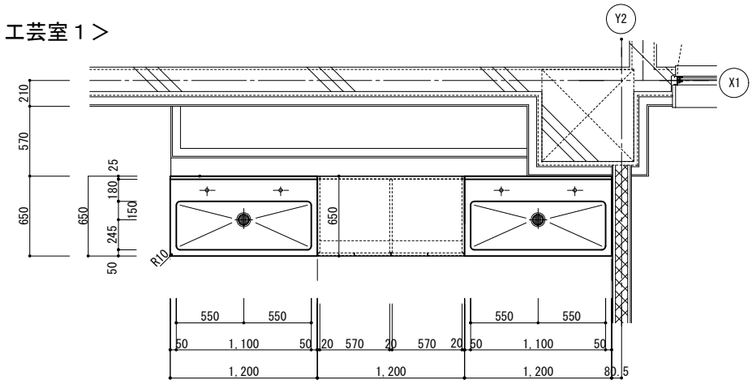
<戸袋パネル 厚み50mm> (LW-50T)

<スライディングウォール 厚み69mm> (LW-60D同等品)

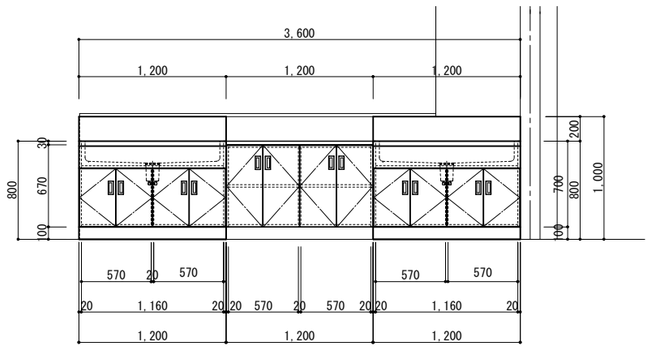
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 (仮称)千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項		図面名	スライディングウォール詳細図－2 (参考)	縮尺	図示	図面番号	A－ 102

流し台詳細図

＜２Ｆ:工芸室１＞

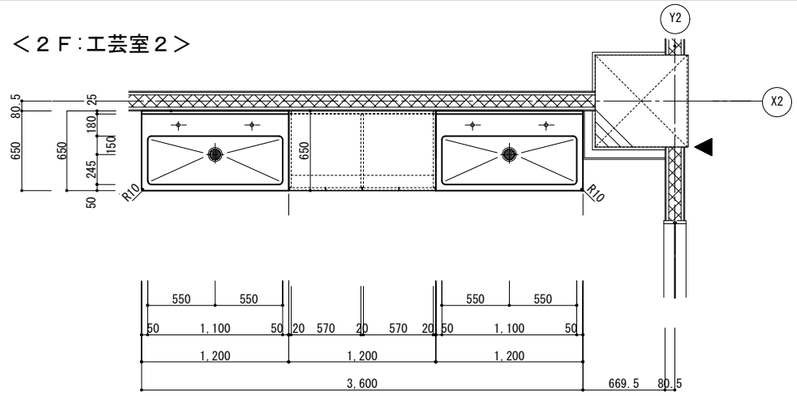


平面図　（Ｓ＝1/50）

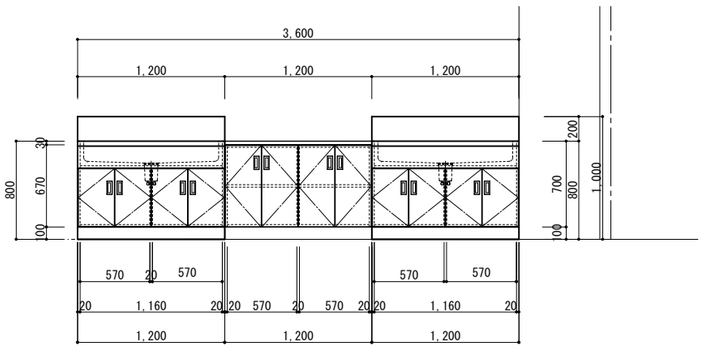


断面図　（Ｓ＝1/50）

＜２Ｆ:工芸室２＞

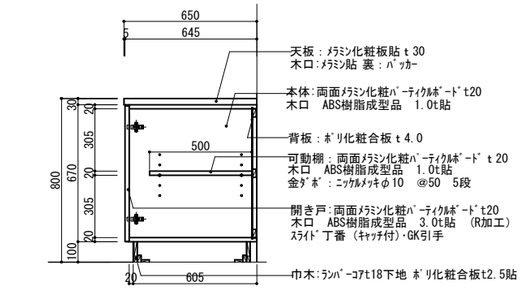


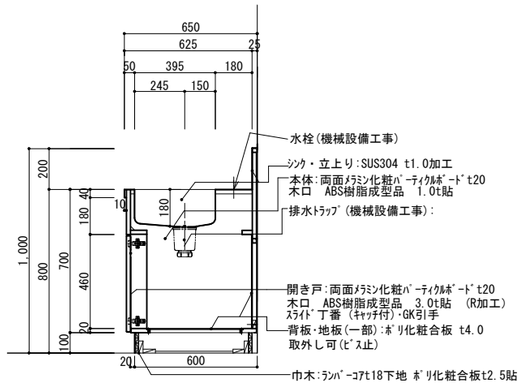
平面図　（Ｓ＝1/50）



断面図　（Ｓ＝1/50）

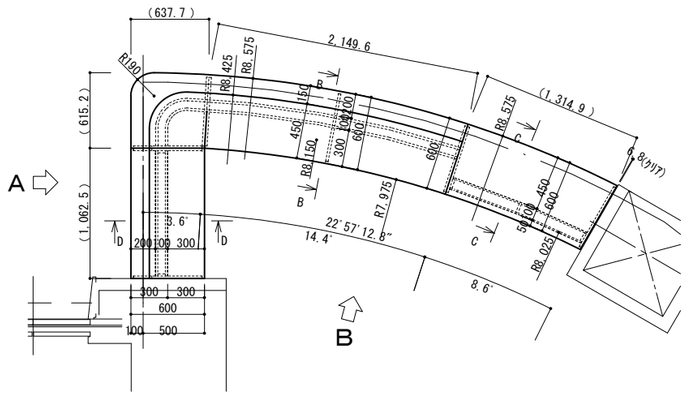
流し台断面詳細（Ｓ＝1/15）



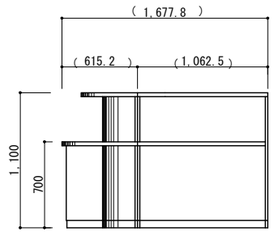


カウンター詳細図

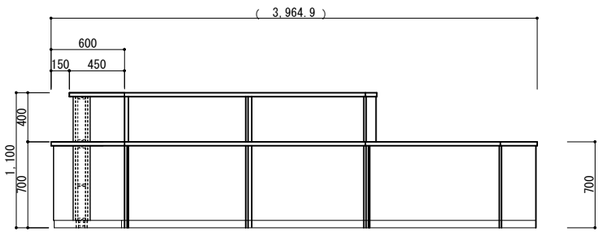
＜2F：管理スペース１＞



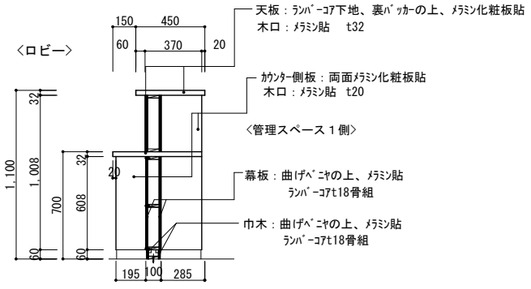
平面図　（Ｓ＝1/50）



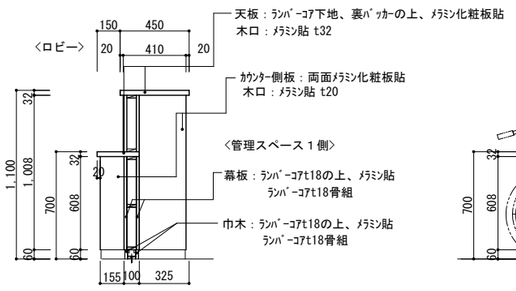
Ａ視正面図（Ｓ＝1/50）



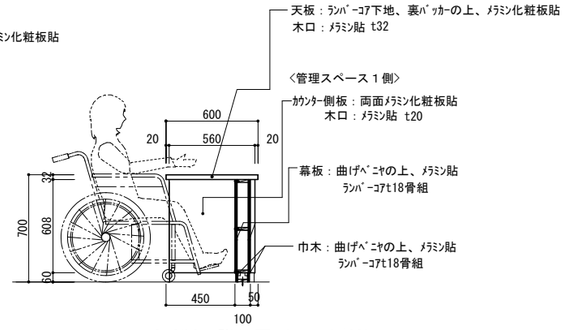
Ｂ視正面図（Ｓ＝1/50）



B-B断面詳細図（Ｓ＝1/40）



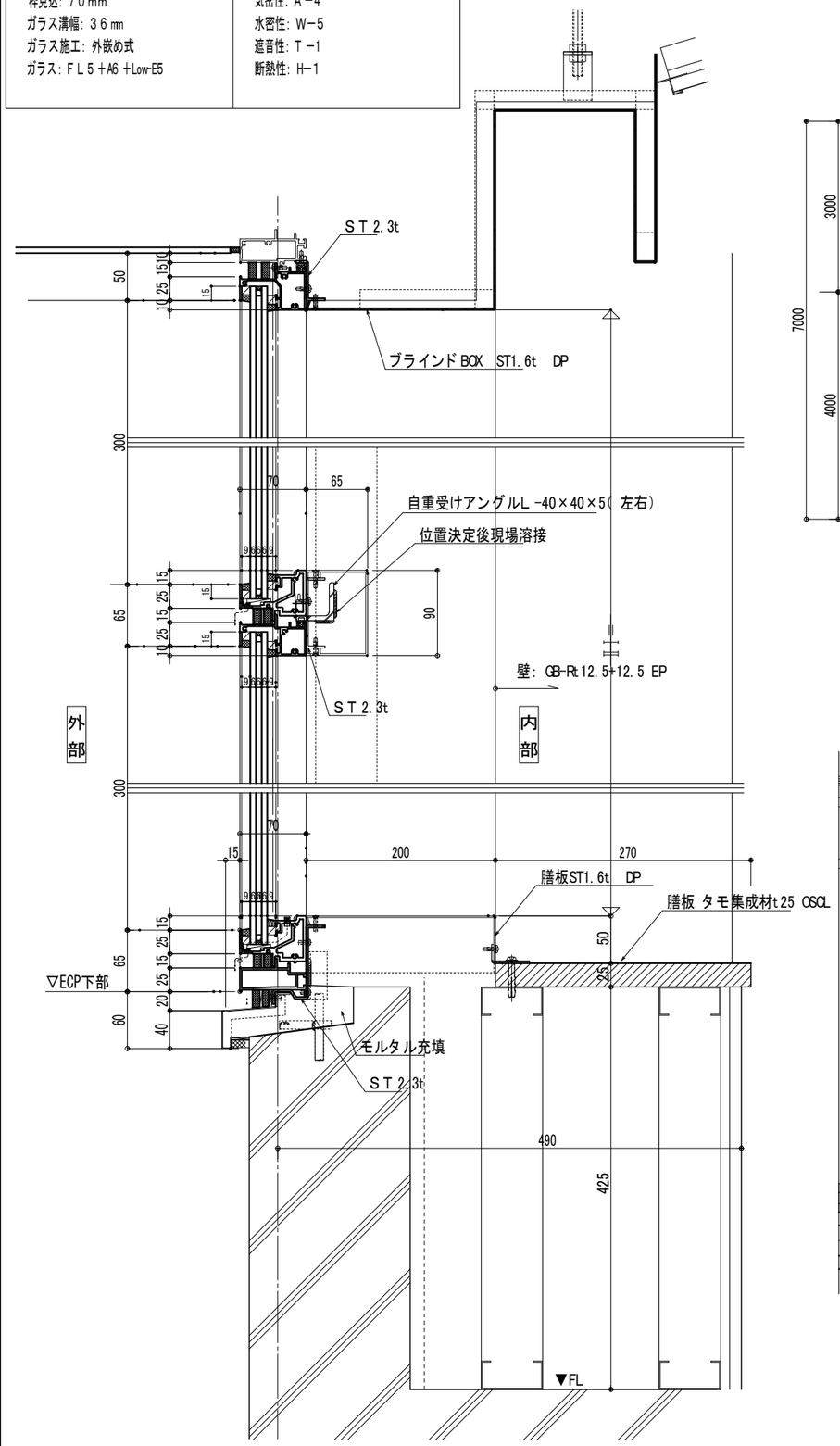
D-D断面詳細図（Ｓ＝1/40）

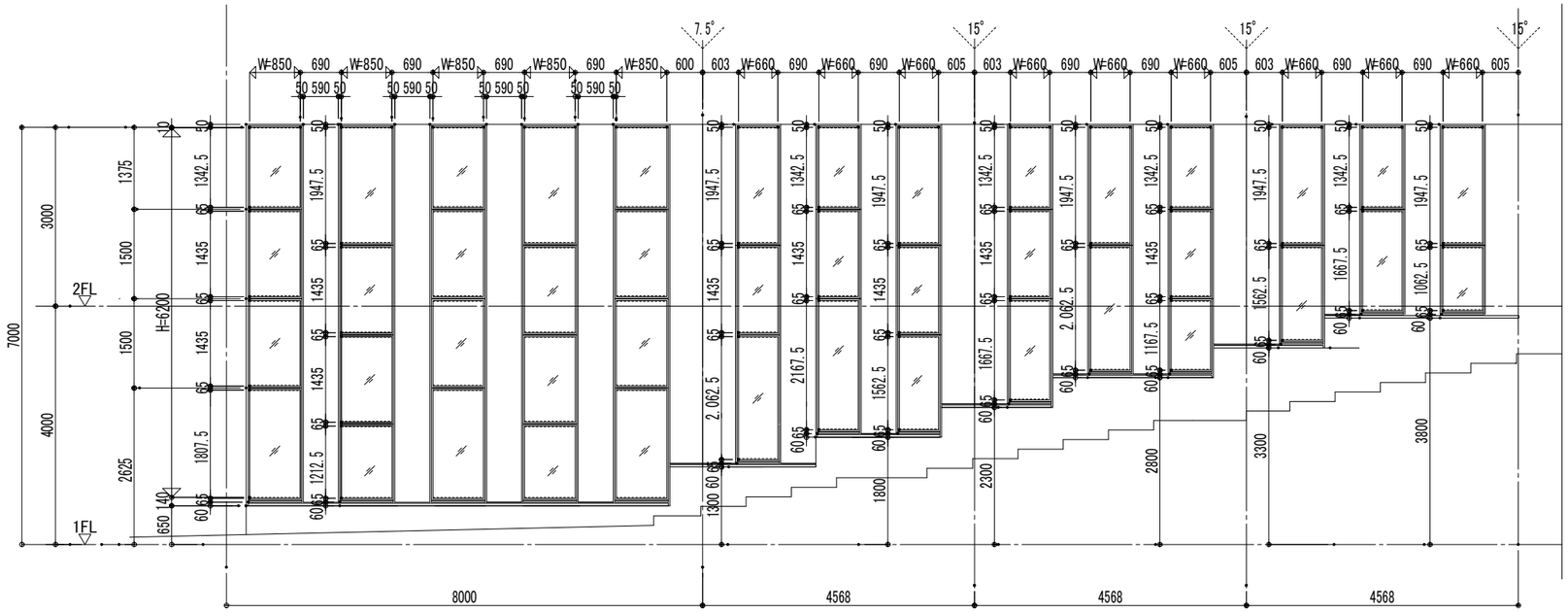


C-C断面詳細図（Ｓ＝1/40）

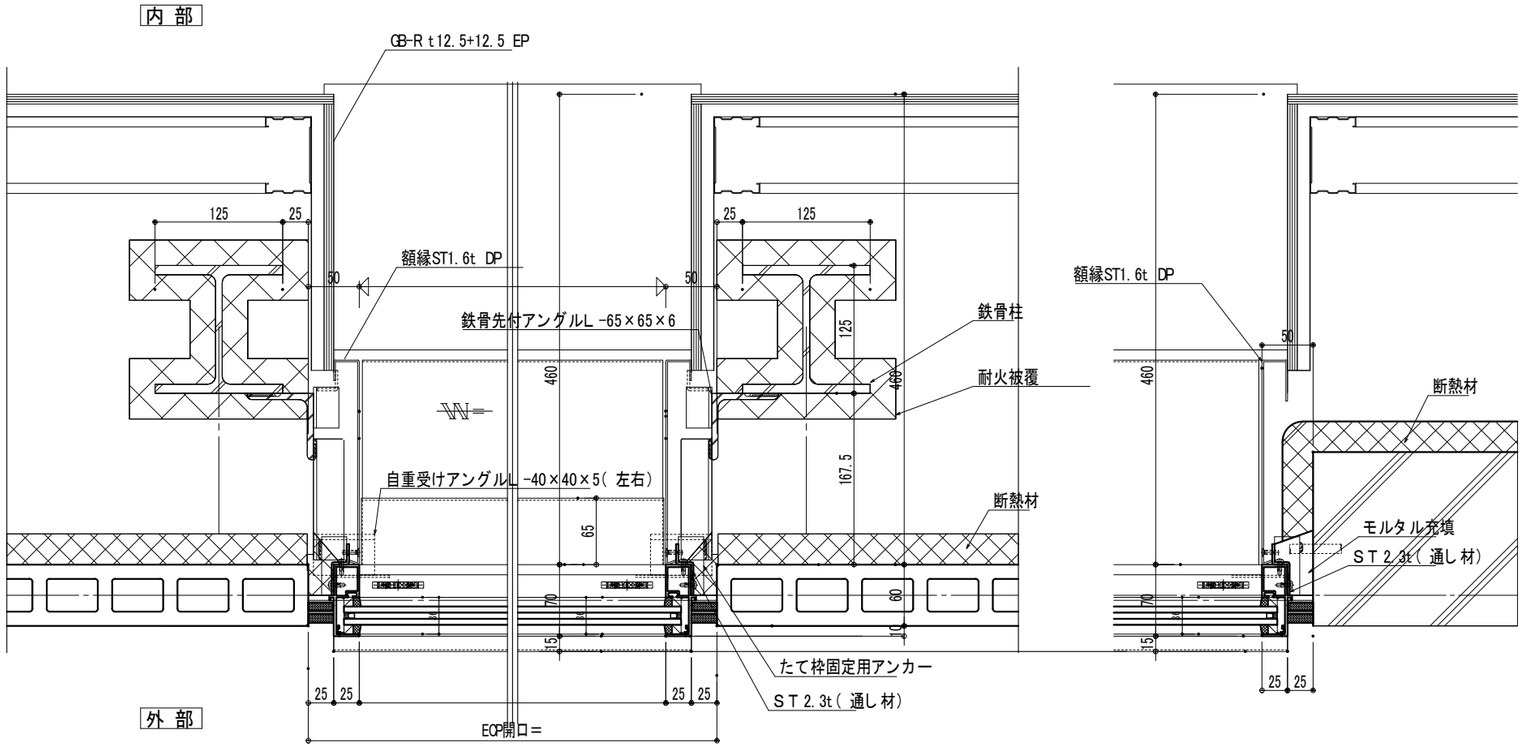
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 / 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 / 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 / 特記事項	図面名	流し台・カウンター詳細図（参考）	縮尺 図示	図面番号 A－103

仕様	
開口形式: ＦＩＸ窓	耐風圧性: Ｓ－４（２０００Ｐａ）
枠見込: ７０mm	気密性: Ａ－４
ガラス溝幅: ３６mm	水密性: Ｗ－５
ガラス施工: 外嵌め式	遮音性: Ｔ－１
ガラス: ＦＬ５＋A6＋Low-E5	断熱性: H-1



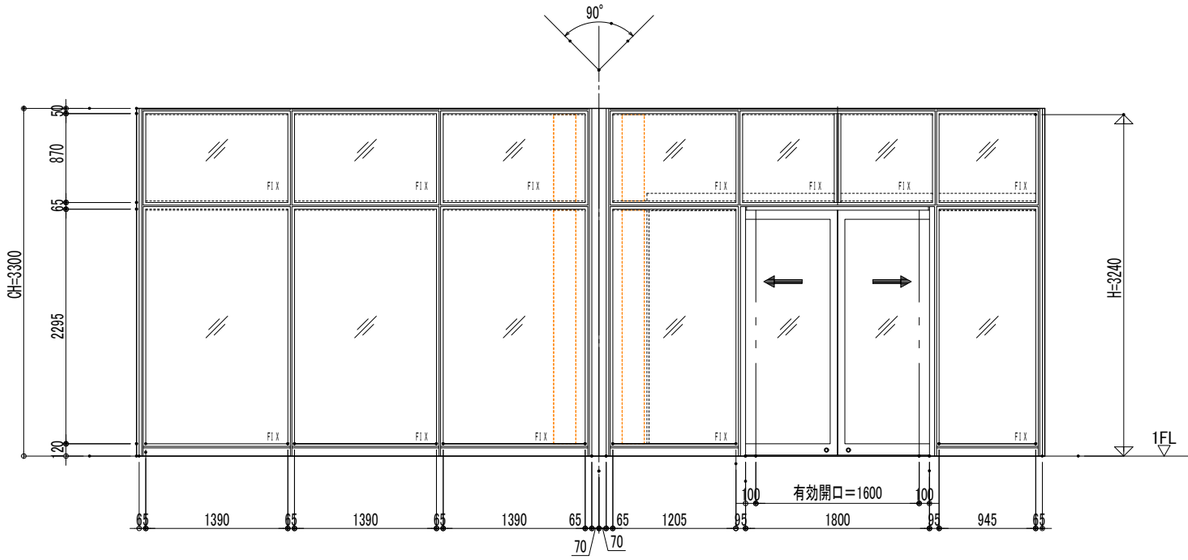


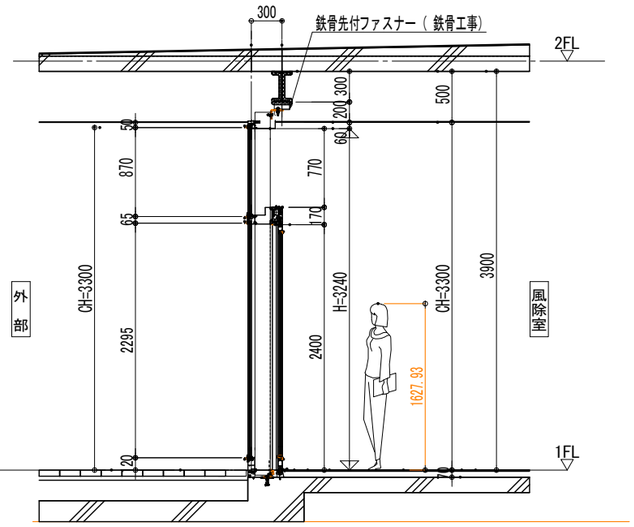
外観姿図　S=1/100

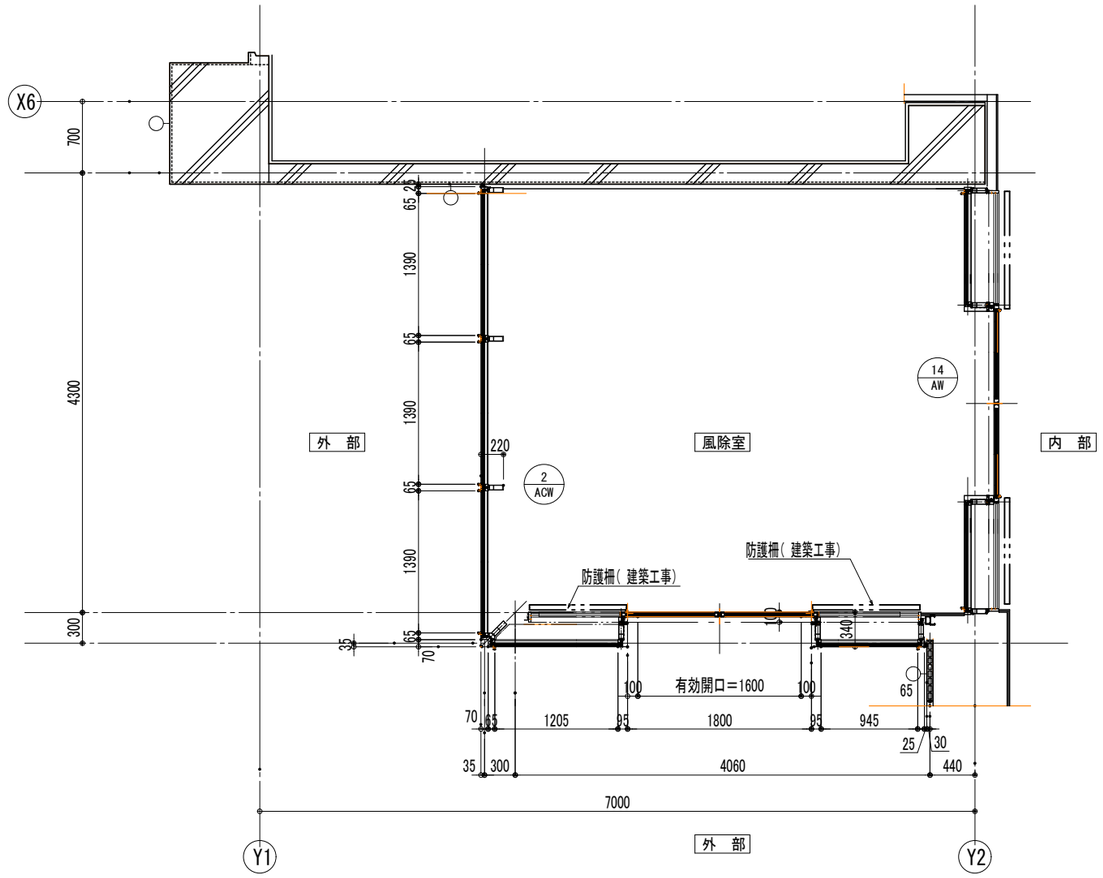


横断面図　S=1/6

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	図面名	建具詳細図－１（参考）	縮尺	図示	図面番号	A－ 104
			特記事項	特記事項	特記事項						







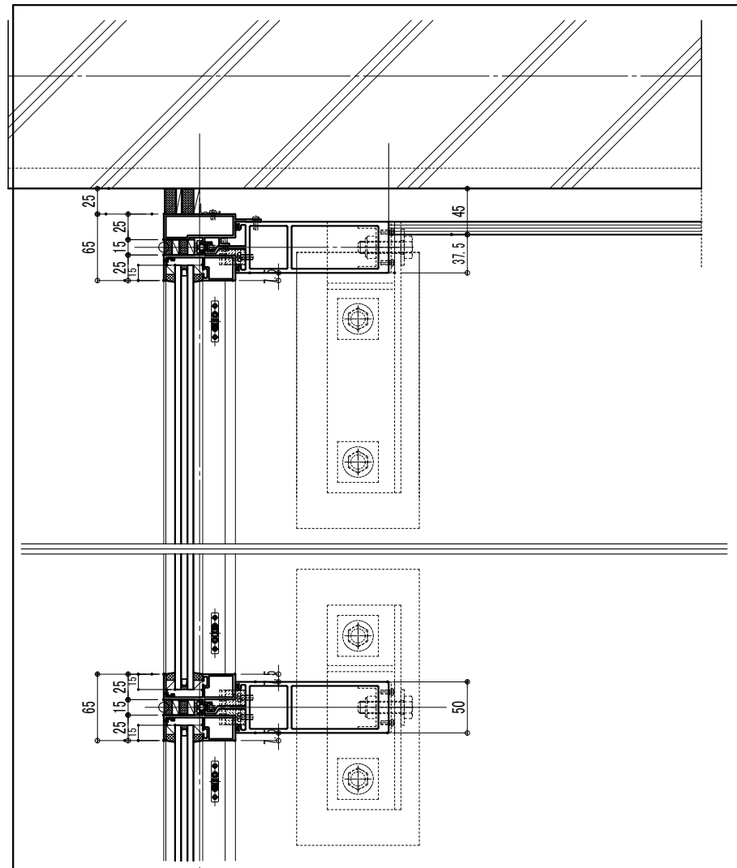
外観図	仕様（ACW-2）	仕様（ACW-2）
	開口形式：FIX 枠見込：220mm 無目見込：70mm ガラス溝幅：36mm 耐風圧性：2000Pa 気密性：A－4 水密性：W－5 断熱性：H－1 ガラス施工：外嵌め式 ガラス厚：FL6+A6+Low-E6	開口形式：引き分けエンジンドア 枠見込：100mm ガラス溝幅：36mm 耐風圧性：2000Pa ガラス厚：FL5＋A6+Low-E5 硝子サイズ・硝子厚・硝子かかり代等は参考値です 硝子メーカー・硝子施工会社と別途御打合せ願います

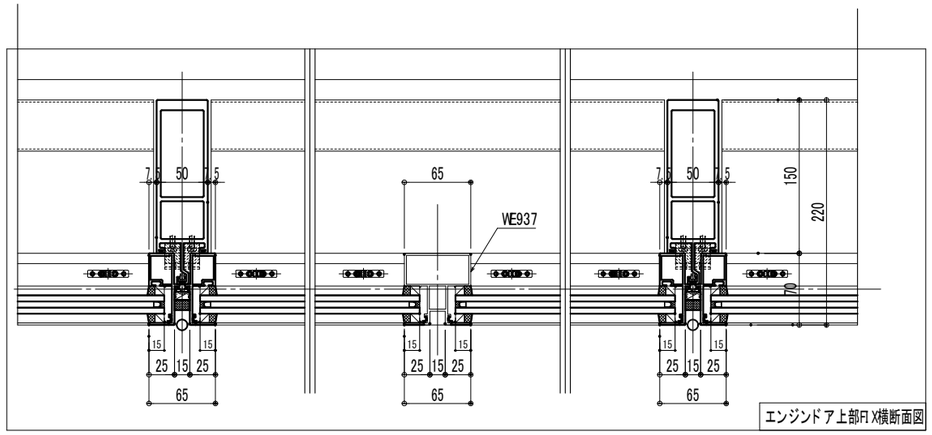
品名	数量	備考
エンジン装置	1	
起動センサ	1	無目面取付型　シルバー色
起動センサ	1	無目下取付型　シルバー色
補助光電センサ	1	

[JIS A 4722 対応表]

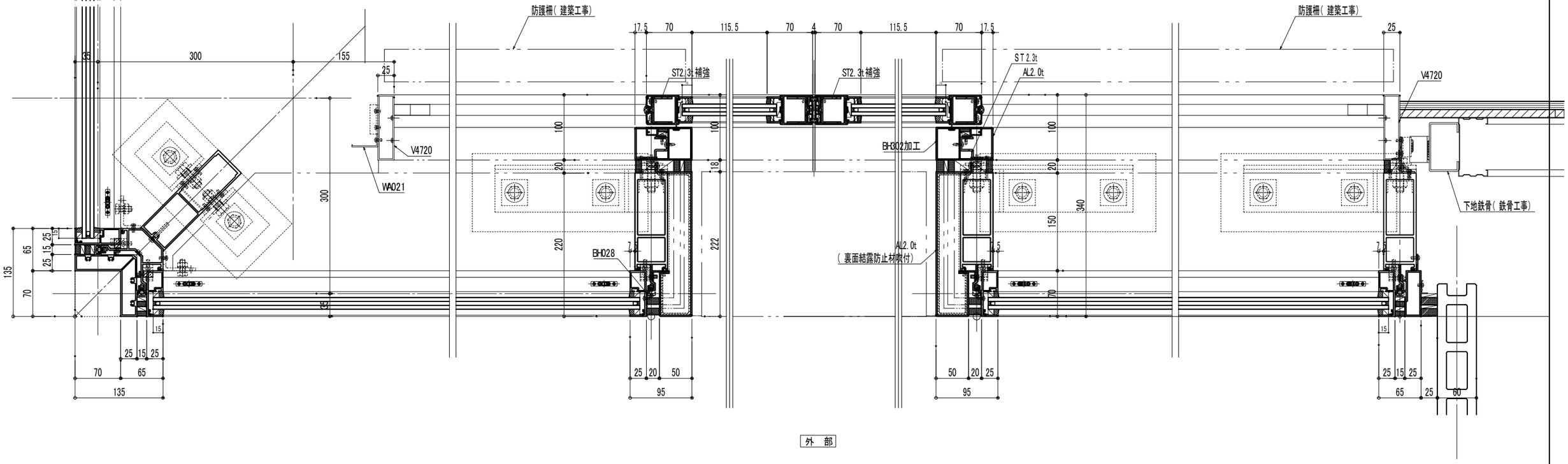
建具符号	ACW-2	開閉方式	引分け
ドア質量	67.8kg	開閉速度（mm/sec）	開＝400 閉＝200
設置場所	子どもへの配慮が必要な場合		
閉の安全保護	保護装置による保護		
開の安全保護	防護柵の設置		

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	図面名	建具詳細図－2 （参考）	縮尺	1：60	図面番号	A－ 105



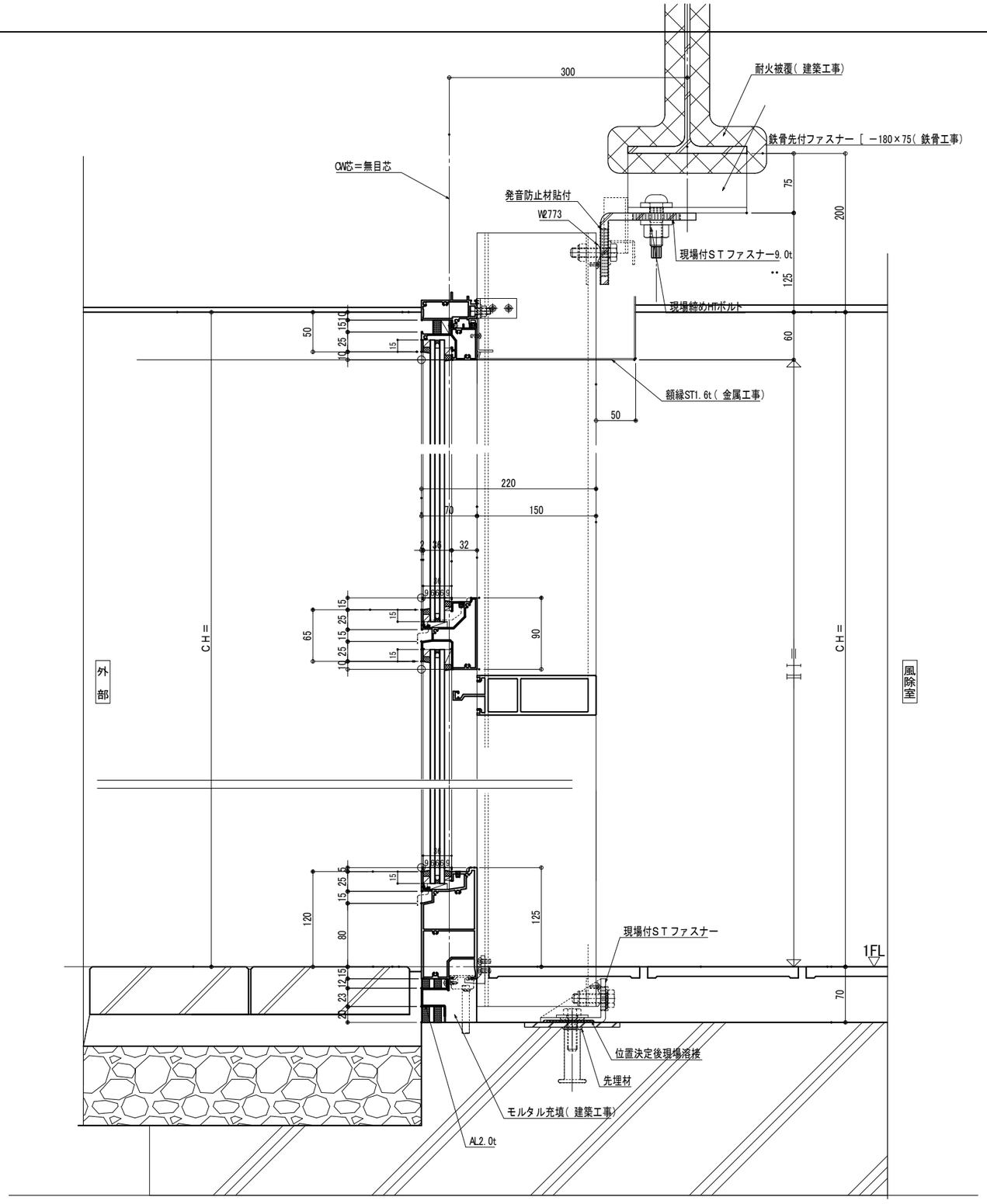


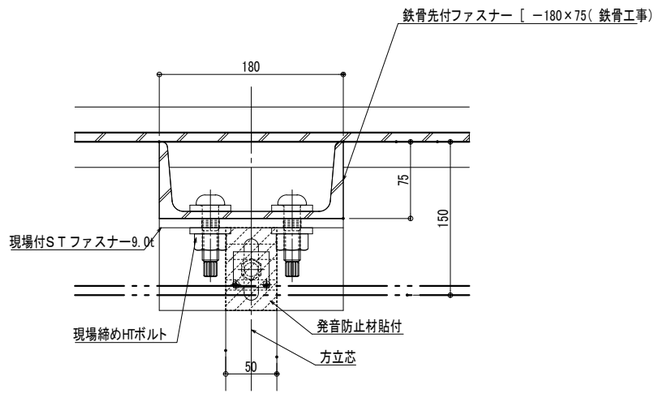
風除室



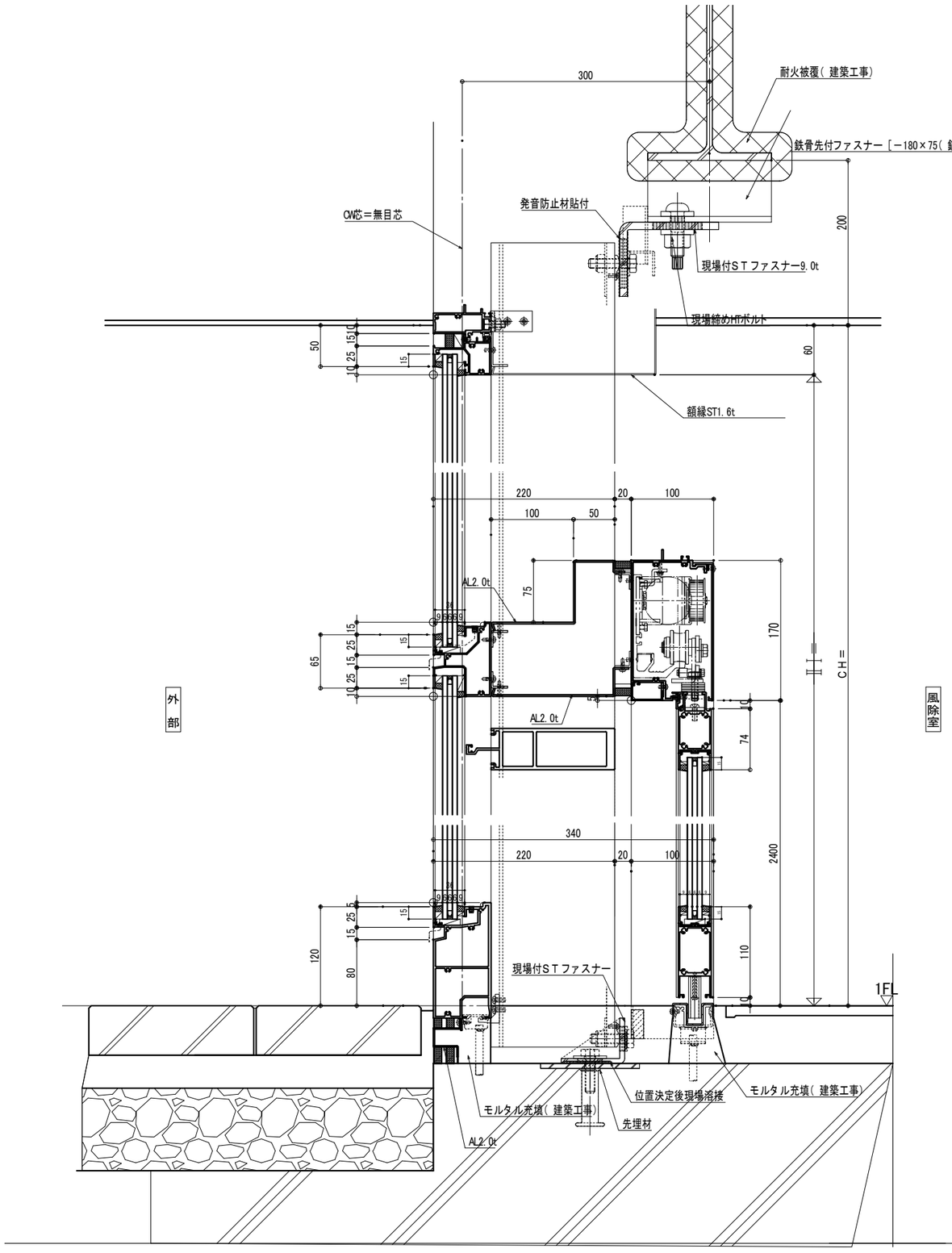
外　部

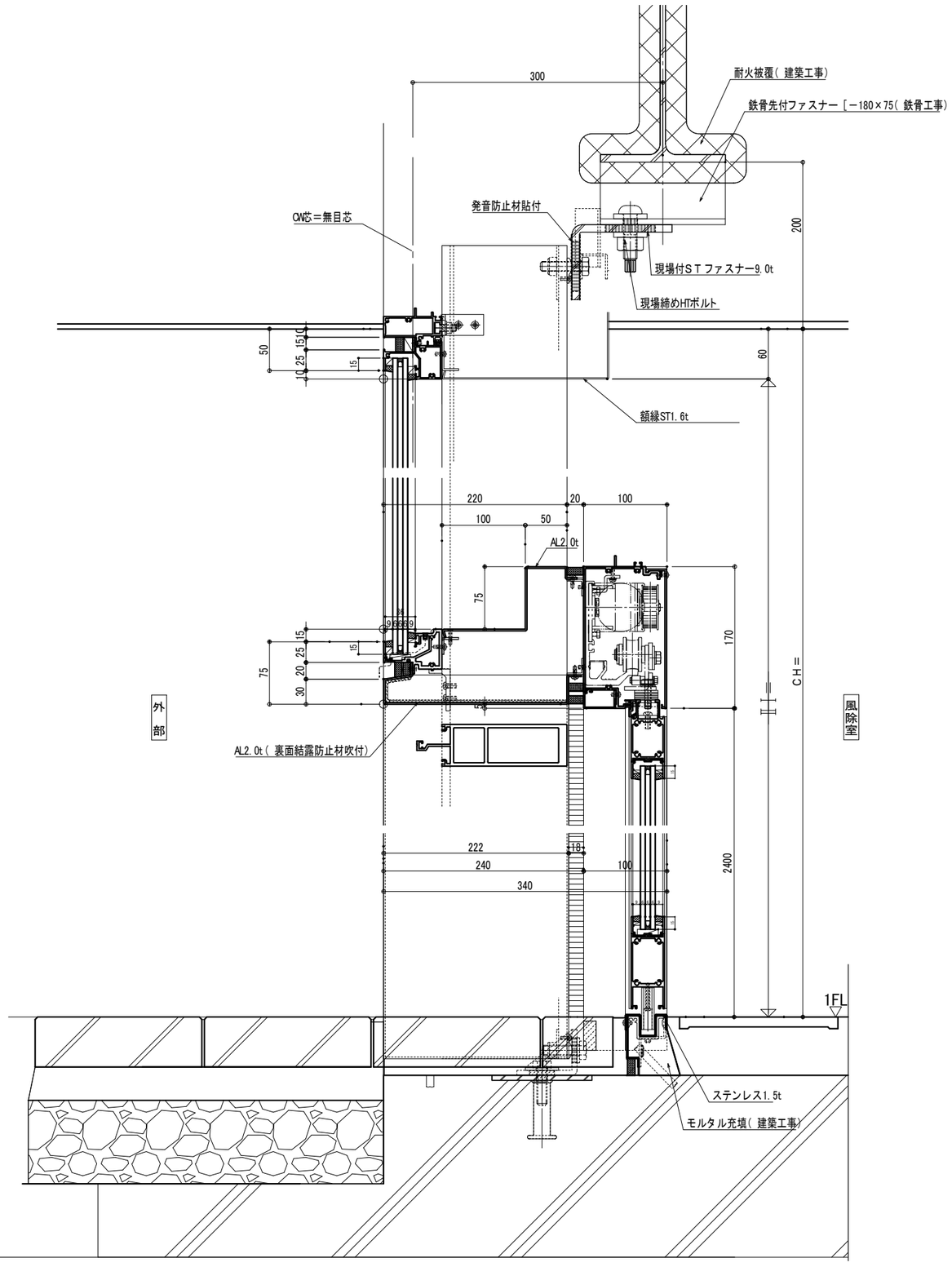
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名	建具詳細図ー３（参考）	縮尺　1：6	図面番号　A－106
		特記事項	特記事項	特記事項				



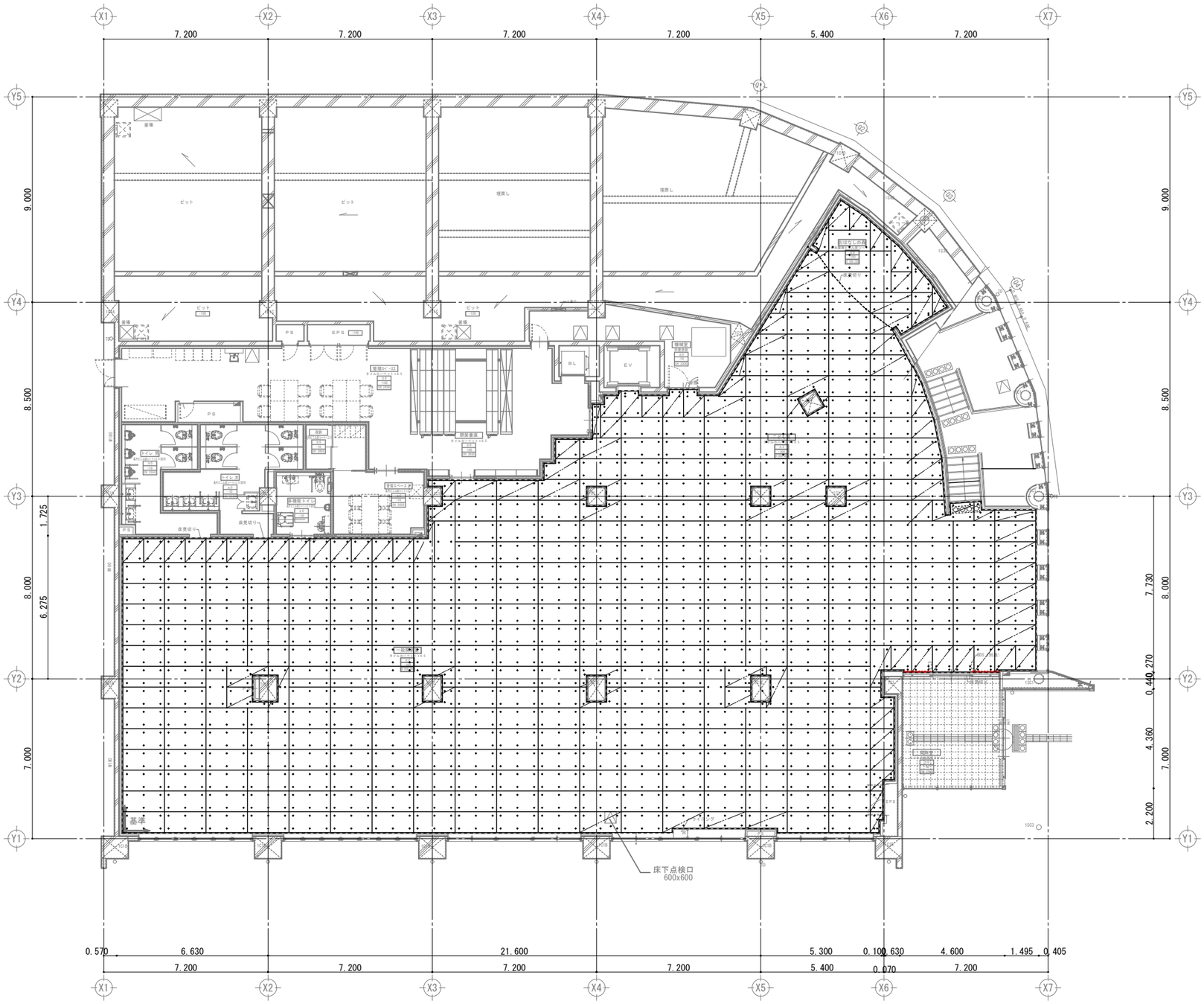


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	建具詳細図－4（参考）	縮尺 1：6	図面番号 A－107

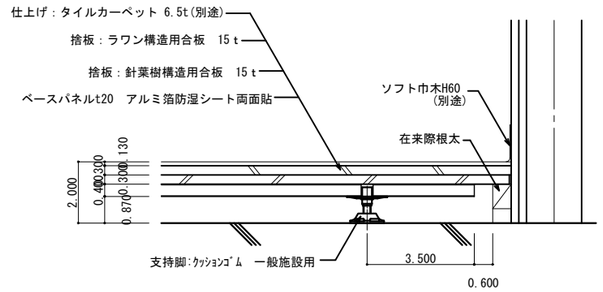




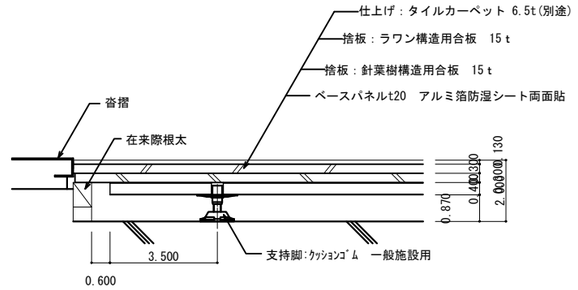
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	図面名	建具詳細図－５ （参考）	縮尺	1：6	図面番号	A－ 108



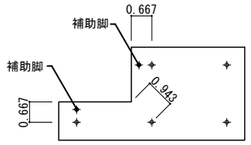
1階　鋼製床組図　S=1:100



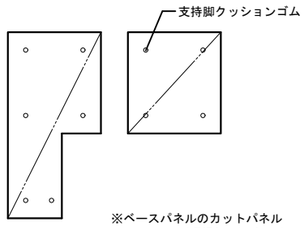
端部 断面図　S＝1：5



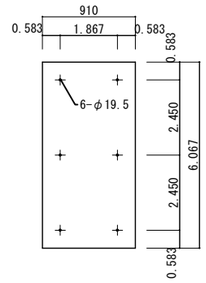
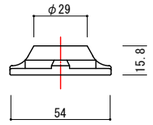
出入口廻り 断面図　S＝1：5



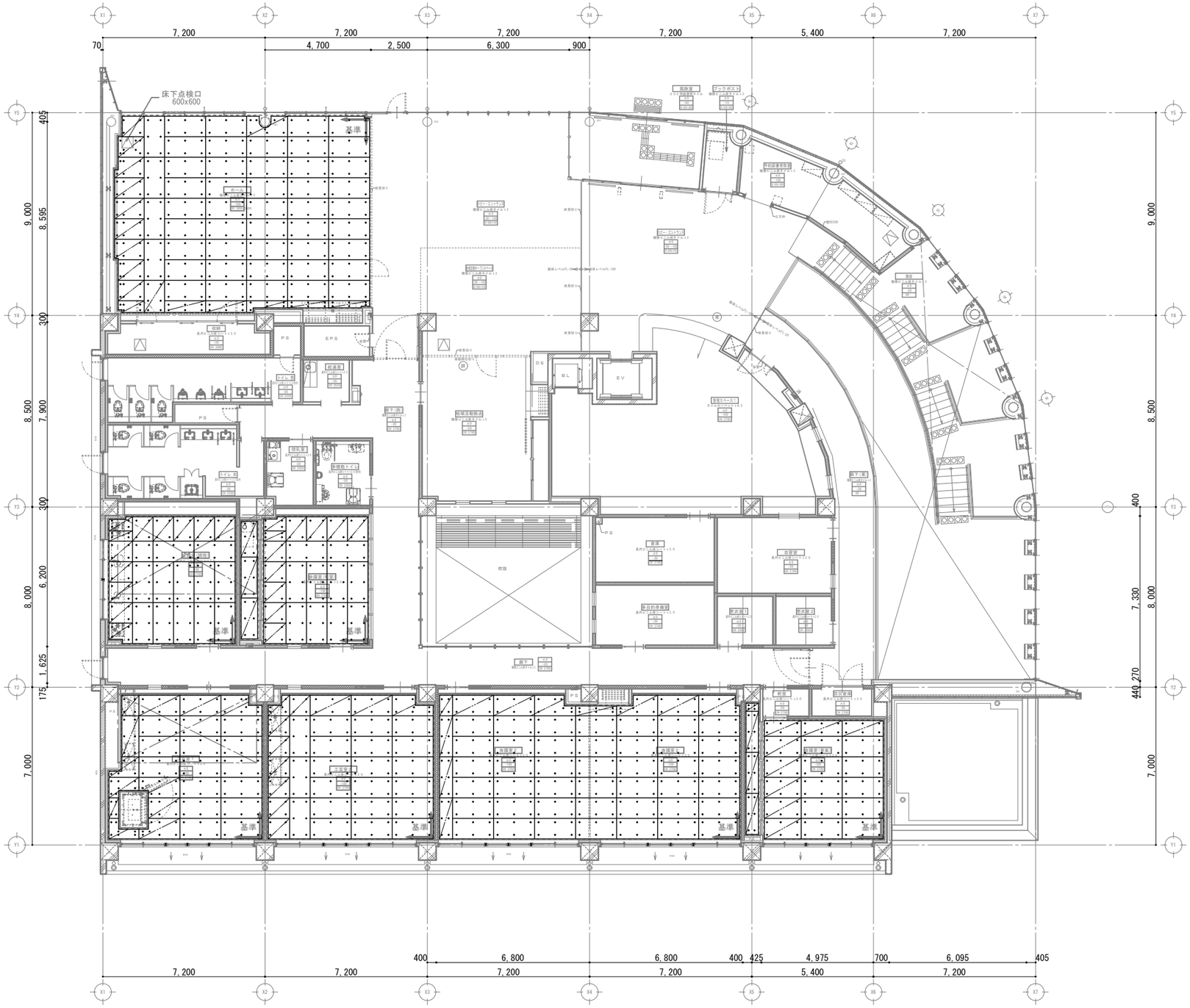
はね出し200以上は補助脚設置
切断部分から100～150の位置



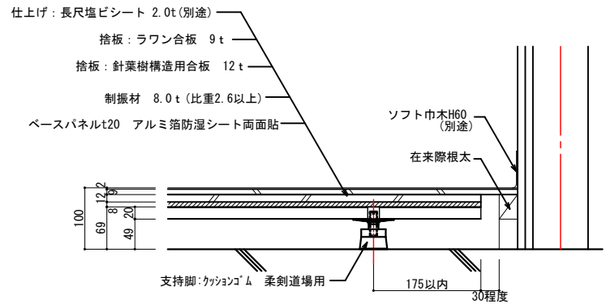
※ベースパネルのカットパネル
（現場加工）を示す

	床パネル
形状寸法	 シートパネル　詳細図　1/60 複合ﾊﾟﾈﾙt20　ｱﾙﾐ箔防湿ｼｰﾄ両面貼
支持脚	クッションゴム
一般施設用	

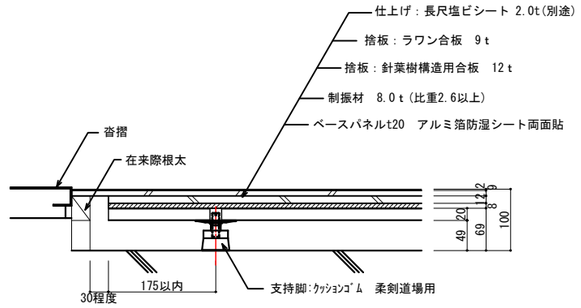
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項		図面名	1階　鋼製床組図	縮尺	1：200	図面番号	A－109



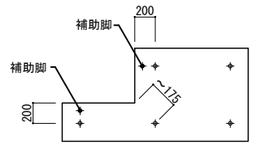
2階　鋼製床組図　　S=1:100



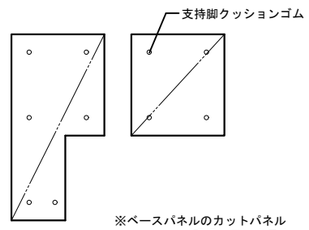
端部 断面図　S＝1：5



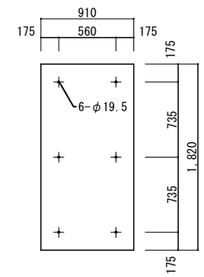
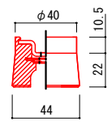
出入口廻り 断面図　S＝1：5



はね出し200以上は補助脚設置
切断部分から100～150の位置



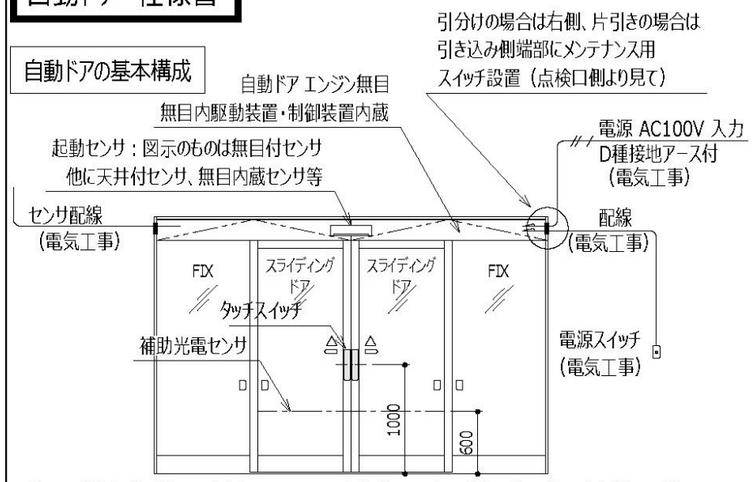
※ベースパネルのカットパネル
（現場加工）を示す

	床パネル
形状寸法	 シートパネル　詳細図　1/60 複合ﾊﾟﾈﾙt20　ｱﾙﾐ箔防湿ｼｰﾄ両面貼
支持脚	クッションゴム
柔剣道場用	

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	2階　鋼製床組図	縮尺	1：200	図面番号　A－110

自動ドア 仕様書

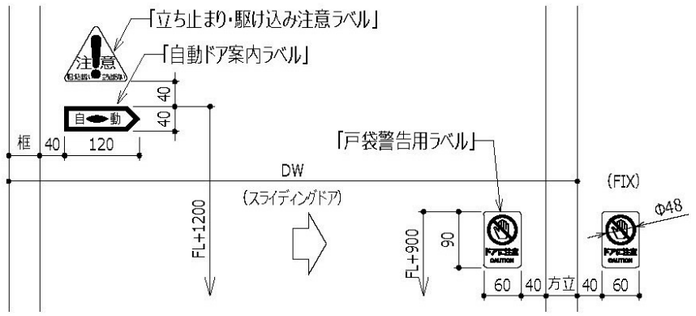
自動ドアの基本構成



ガラスは割れた時に鋭利な破片とならないように強化ガラス、または合わせガラス等の安全ガラスの採用、又はガラス飛散防止フィルムを貼るなどの処置が必要です。

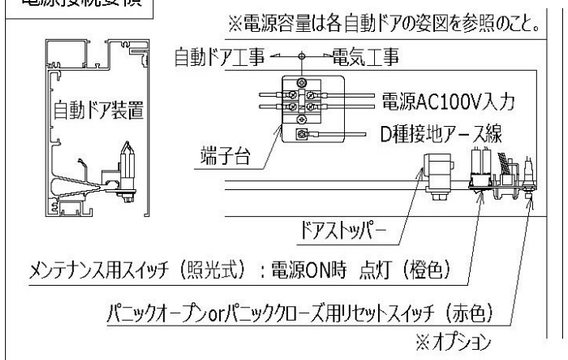
案内表示および警告表示

通行者に注意をして頂く為、自動ドアであることの表示、開く方向を示す表示である「自動ドア案内ラベル」および立ち止まりや駆け込みを注意するための案内表示「立ち止まり・駆け込み注意ラベル」と指などの引き込まれを防止するための警告表示「戸袋警告用ラベル」の貼り付けが必要です。



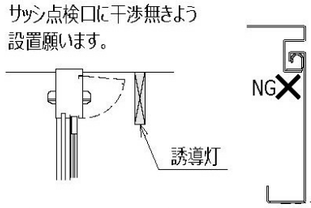
電源接続要領

※電源容量は各自動ドアの姿図を参照のこと。



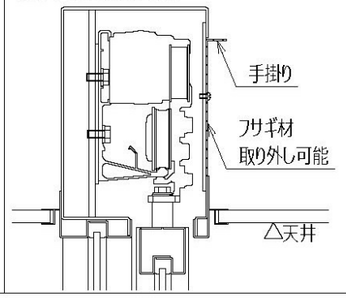
自動ドア装置の点検口

<誘導灯設置の場合等>
サッシ点検口に干渉無きよう
設置願います。



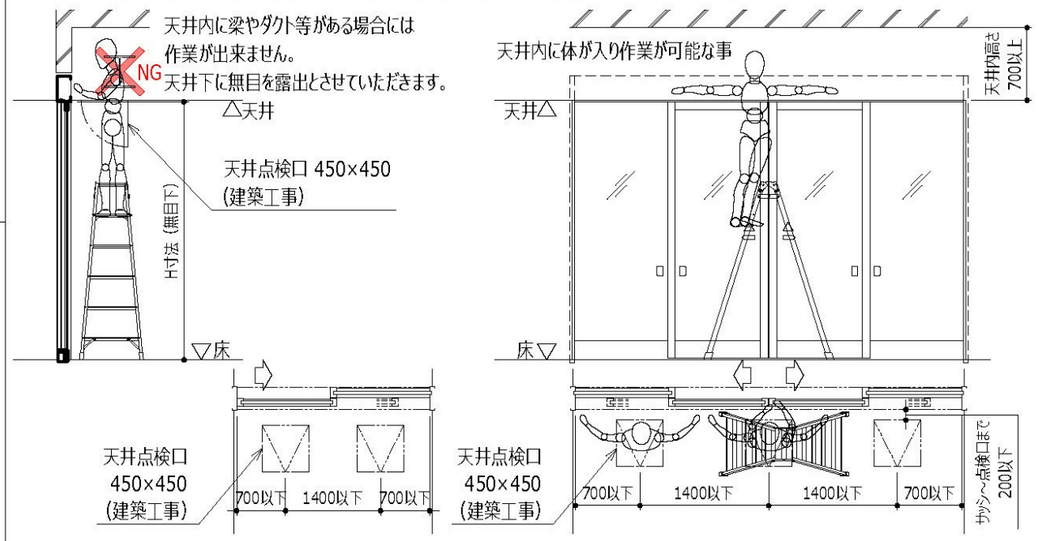
<引掛け式丁番の場合>
容易に外れる為、点検口が脱落する
危険があります。
基本的には使用をお控え下さい。
もし使用する場合は、脱落防止
処置が必要になります。
（建具工事）

<自動ドア装置を天井内に設置する場合>
無目フサギ材には落下防止の為
必ず手掛りが必要です。



自動ドア装置を天井内に設置する場合

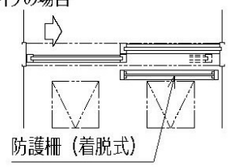
- 天井点検口は450x450にてW=2800まで2ヶ所、W=2800以上は3ヶ所以上設置願います。
- 天井点検口 300x300は作業が出来ない為、不可とします。
- 天井点検口が600x600の場合や天井パネル等でサッシ全面開く場合は本図の限りではありません。
- 点検口は繰り返し開閉されますので、係止部分がビストメ等の際はビス孔が損傷しない様に対策願います。



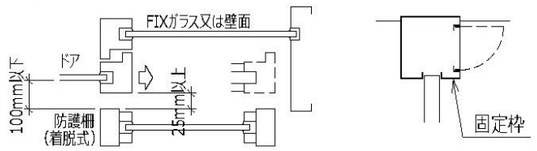
防護柵を設置する場合の注意 ⚠

次に示す条件の場合は防護柵により扉の建て込みが出来ないため防護柵を着脱式としてください。（床面から着脱できること）
※自動ドア装置天井内設置タイプに限らず上部ドア走行部点検側の部材が固定枠になっている場合は同様の対処が必要です。

片引きで自動ドア装置天井内設置タイプの場合



片引き、引分けによらず自動ドア装置が天井内設置タイプで方立と扉に相じゃくりがある場合



JIS A 4722要求事項
子どもが容易に上に登ったり、下に潜り込んだりできないように設計する。
防護柵を使用する場合は新たな危険源となってはならない。

水平荷重1000mmあたり490Nの力で上部を押したとき損傷しないこと。

『JIS A 4722 歩行者用自動ドアセット-安全性』の対応について

「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセット-安全性」の主要件（箇条）及びその対策については添付資料の「自動ドア装置 JIS規格対応標準納まり図」をご確認ください。
右に示す表は「閉の保護方策」「開の保護方策」を設置場所の種別ごとに対応可否、優先順位を一覧にしたものです。
優先順位はJISでは明示されておりませんが、当社にてリスクアセスメントを実施し独自に決めた指針となります。
各自動ドアごとに下記の対応表にて明示することとします。

建具符号	SSD-1		開閉方式	片引き
ドア質量	kg	開閉速度（mm/sec）		開=400 閉=200
設置場所	一 般			
閉の安全防護	保護装置による保護			
開の安全防護	防護柵の設置			
低速作動	速度＝mm/sec		開始位置=mm	

設置場所の種別については施主又は建物管理会社にご確認の上、次の3種別より選択しご指示ください。
・一般
・子どもに対する配慮が必要な場合
・歩行者の大部分が高齢者、障害者、子どもなどである場合

閉の保護方策

方 策 ＼ 設置場所の種別	一 般	子どもに対する配慮が必要な場合	歩行者の大部分が高齢者、障害者、子どもなどである場合
保護装置による保護	○	○	○
低エネルギー作動 ※注③	△	▲	×

開の保護方策

方 策 ＼ 設置場所の種別	一 般	子どもに対する配慮が必要な場合	歩行者の大部分が高齢者、障害者、子どもなどである場合
ガードの設置	◎（×）	◎（×）	◎（×）
防護柵の設置（JIS対応品）	○（×）	○（×）	○（×）
安全距離の確保 ※注①	○（○）	○（○）	×（×）
安全距離の確保ができない部分を低速開作動 ※注②	○（△）	△（△）	×（×）
低エネルギー作動 ※注③	△（△）	△（△）	×（×）
安全距離の確保ができない部分を開保護センサにて低速開作動	▲（▲）	▲（▲）	×（×）
開保護センサにて低速開作動	▲（▲）	▲（▲）	×（×）
開保護センサにて停止	▲（▲）	▲（▲）	▲（▲）

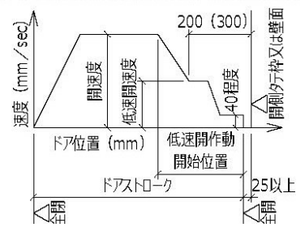
◎ 積極的に選択するべき方策
○ 選択しても良い方策
△ 選択しても良いが設置環境等の条件確認が必要
▲ 選択するには十分な配慮が必要

（ ）内は二重引き戸を示す
優先順位 ◎ > ○ > △ > ▲

注① 開の保護方策、安全距離の確保の代表例

※Y寸法は他の方策と組み合わせる場合でも指挟みを防護するためにY≧25とすること。
（二重引き戸の場合は自動ドア機器の納まりによりY≧60～80となります）
※S>8の場合は指挟みに対する保護として引き残しが必要。
※（ ）寸法は子どもに対する配慮が必要な場合の追加要求事項の一例を示す。

注② 安全距離の確保ができない部分を低速開作動



注③ 低エネルギー作動について

作動中の作動力が67N以下で制限されていること。
作動中の運動エネルギーが1.69J以下で制限されていること。
※本保護方策を採用した場合は、耐風速仕様は適応外となります。

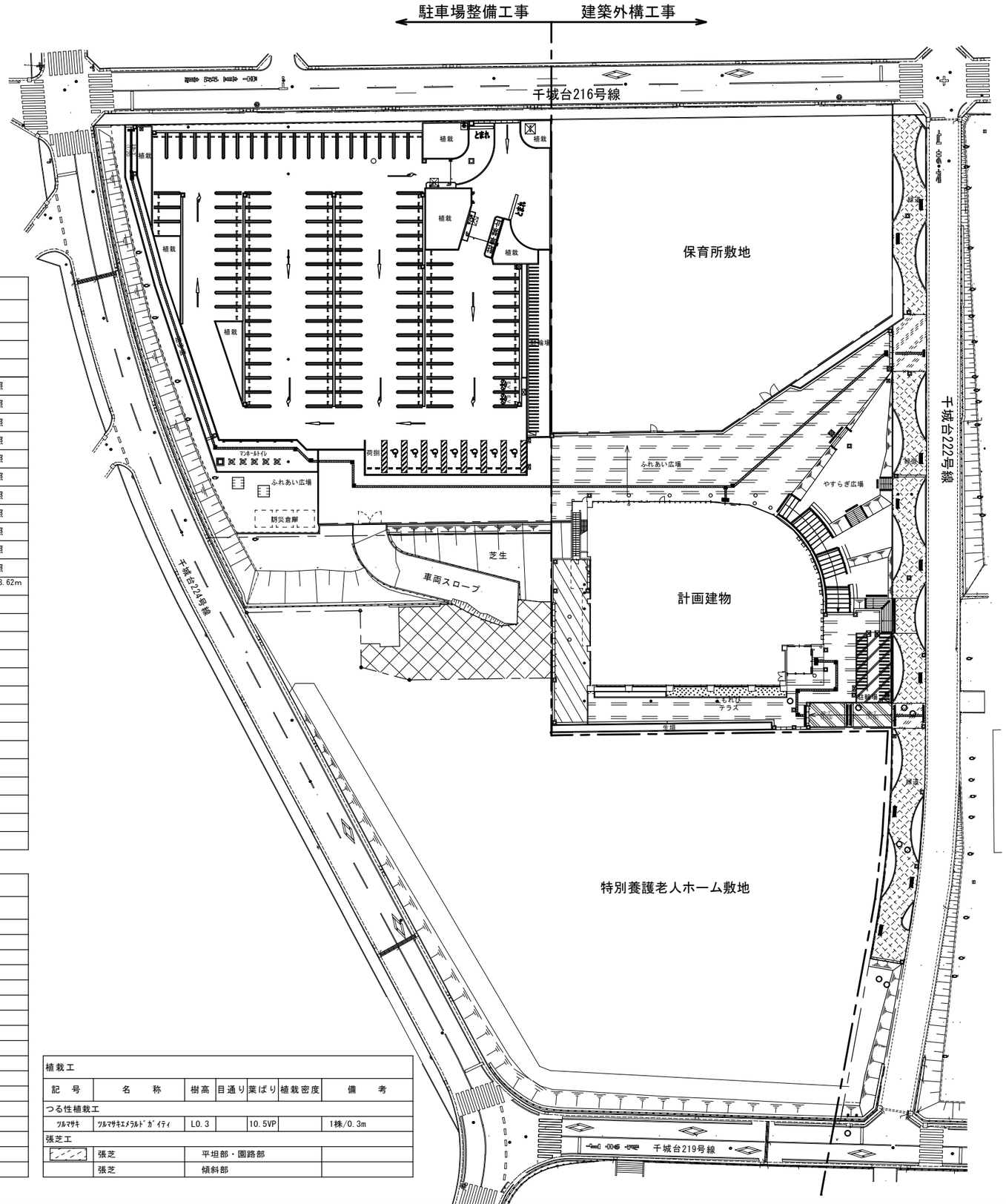
扉一枚当たりのドア質量と
低速開（閉）速度設定の関係

速度 mm/sec	片引き kg	引分け kg
100	--	118~150
120	--	101~117
130	--	87~100
140	--	76~ 86
150	133~150	67~ 75
160	117~132	59~ 66
170	105~116	53~ 58
180	94~104	47~ 52
190	85~ 93	43~ 46
200	77~ 84	39~ 42
210	64~ 76	32~ 38
230	55~ 63	28~ 31
250	54以下	27以下

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	自動ドア仕様書	縮尺 -	図面番号 A－111

全体計画平面図

S=1:400(A1)
S=1:800(A3)



排水工

記号	名称	規格	備考
	長尺U型側溝A	250×250×2000	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-2・細目)
	長尺U型側溝B	250×250×2000	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25・細目)
	長尺U型側溝C	250×300×2000	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-2・細目)
	長尺U型側溝D	250×400×2000	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-2・細目)
	横断側溝A	250×290×2000	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25・細目)
	横断側溝B	250×440×2000	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25・細目)
	硬質塩化ビニル管(VUφ100)	VUφ100	
	硬質塩化ビニル管(VUφ150)	VUφ150	
	硬質塩化ビニル管(VUφ200)	VUφ200	
	硬質塩化ビニル管(VUφ250)	VUφ250	
	取付管(VUφ100)	VUφ100	
	集水桝A	□400	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-2・細目)
	集水桝B	□400	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25・細目)
	集水桝C	□600	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25・細目)
	塩ビ桝A	φ200	塩ビ製蓋(T-2)
	塩ビ桝B	φ300	塩ビ製蓋(T-2)
	塩ビ桝C	φ300	鋳鉄製防護蓋(T-25)
	雨水貯留槽B	74.32m3	
	雨水貯留槽C	110.57m3	

舗装工

記号	名称	規格	備考
	アスファルト舗装	50/150	
	透水性アスファルト舗装	50/150/50	
	透水性カラーアスファルト舗装A	40/100/50	
	透水性カラーアスファルト舗装B	40/60/300/50	
	透水性平板ブロック舗装	80/20/50/70/100	
	コンクリート舗装A	100/150	
	コンクリート舗装B	150/300 刷毛引き仕上	
	耐久型セメント系木質舗装	50/150	
	視覚障害者誘導ブロックA	(歩道部)t=60	
	視覚障害者誘導ブロックB	(車道部)t=80	
	区画線(W=150)	実線 W=150	

縁石・囲障工

記号	名称	規格	備考
	地先境界ブロックA	120×120×600(歩道用)	
	地先境界ブロックB	120×120×600(車道用)	
	歩車道境界ブロック	150/170×200×600	
	メッシュフェンス	H=1800	
	片開き門扉	W=1000	

付帯工

記号	名称	規格	備考
	転落防止柵A	H=1100 ｺﾝｸﾘｰﾄ建込用	スロープ部
	転落防止柵B	H=1100	緑道部
	手摺り	ⅢⅢ段100	スロープ部
	プレキャストL型擁壁	H=1000	擁壁詳細図 参照
	プレキャストL型擁壁	H=1250	擁壁詳細図 参照
	プレキャストL型擁壁	H=1500	擁壁詳細図 参照
	プレキャストL型擁壁	H=1750	擁壁詳細図 参照
	プレキャストL型擁壁	H=2250	擁壁詳細図 参照
	プレキャスト逆L型擁壁	H=1000	擁壁詳細図 参照
	プレキャスト逆L型擁壁	H=1250	擁壁詳細図 参照
	プレキャスト逆L型擁壁	H=1500	擁壁詳細図 参照
	プレキャスト逆L型擁壁	H=2000	擁壁詳細図 参照
	プレキャスト逆L型擁壁	H=2500	擁壁詳細図 参照
	プレキャスト逆L型擁壁	H=2750	擁壁詳細図 参照
	階段A	幅4.00m 23段	手摺り L=20.26m+18.62m 階段詳細図 参照
	階段B	幅3.00m 7段	手摺り L=2.73m×2 階段詳細図 参照
	階段C	幅2.00m 6段	手摺り L=2.39m×2 階段詳細図 参照
	階段D	幅4.00m 2段	手摺り L=1.33m×2 階段詳細図 参照
	階段E	幅10.70m 6段	手摺り L=2.01m×3 階段詳細図 参照
	階段F	幅1.25m 20段	階段詳細図 参照
	背付きベンチ	W=1800	
	かまどベンチ	W=1690	
	自転車柵	W=2000	
	車止めA	H=690 埋込式(鎖付き部)	
	車止めB	H=690 埋込式(最終端部)	
	自立型ポスターケース	基礎600×1000×H400	
	自立型誘導・名称サイン	基礎900×600×H400	
	小道名称サイン	基礎600×600×H400	
	分電盤	基礎1600×450×H300	

植栽工

記号	名称	樹高	目通り	葉ぱり	植栽密度	備考
高 木（針葉樹）						
㋐	アカマツ	3.0	0.18	1.5		二脚鳥居支柱（添木付）
高 木（常緑樹）						
㋶	シラカシ	2.5	—	0.6		二脚鳥居支柱（添木付）
㋷	シマネトリコ	2.5	0.10	0.6		二脚鳥居支柱（添木付）
移植工						
㋟	タギョウショウ	—	—	—		
高 木（落葉樹）						
㋕	カツラ	3.0	0.10	0.8		
㋩	ハナカイドウ	1.5	—	0.4		
㋚	クヌギ	2.5	0.10	0.6		
㋛	コハウチワカエデ	2.5	0.12	0.8		
㋜	ジンダイアケボノ	4.0	0.21	1.8		
㋞	モミジバフウ	2.5	0.12	0.8		
㋝	ハナモモ					

植栽工

記号	名称	樹高	目通り	葉ぱり	植栽密度	備考
低 木（常緑樹）						
ﾊｸﾁｮｳｹﾞ	ハクチョウゲ	0.5	—	0.4	7株/㎡	
ｼﾞﾝﾁｮｳｹﾞ	ジンチョウゲ	0.4	—	0.3	7株/㎡	
ｺｸﾁﾅｼ	コクチナシ	0.2	—	0.2	7株/㎡	
ｻﾂｷｽﾞｽﾞｼﾞ	サツキツヅジ	0.3	—	0.4	6株/㎡	
ﾋｲﾗｷﾞﾅﾝﾃﾝ	ヒイラギナンテン	0.4	—	2本立	6株/㎡	
ｵｶﾒﾅﾝﾃﾝ	オカメナンテン	0.4	—	2本立	25株/㎡	
ﾋﾗﾄﾞﾂﾂｼﾞ	ヒラドツツジ	0.5	—	0.25	6株/㎡	
低 木（落葉樹）						
ﾄﾞｳﾀﾞﾝﾂﾂｼﾞ	ドウダンツツジ	0.4	—	0.2	10株/㎡	
地被・草花						
ﾌｨﾘﾌｪﾗｵｰﾚｱ	フィリフェラオーレア	0.2	—	10.5VP	25鉢/㎡	
ﾔﾌﾞﾗﾝ	ヤブラン	—	3芽立	10.5VP	16鉢/㎡	
ｼｬｶﾞ	シャガ	—	3芽立	10.5VP	25鉢/㎡	
ﾋﾍﾞﾘｶﾑ・ｶﾘｼﾅﾑ	ヒベリカム・カリシナム	—	3芽立	10.5VP	25鉢/㎡	
ﾌｲﾘﾔﾌﾞﾗﾝ	フイリヤブラン	—	3芽立	10.5VP	25鉢/㎡	
ｼｬｽﾀｰﾃﾞｰｼﾞｰ	シャスターデージー	—	3芽立	9.0VP	25鉢/㎡	

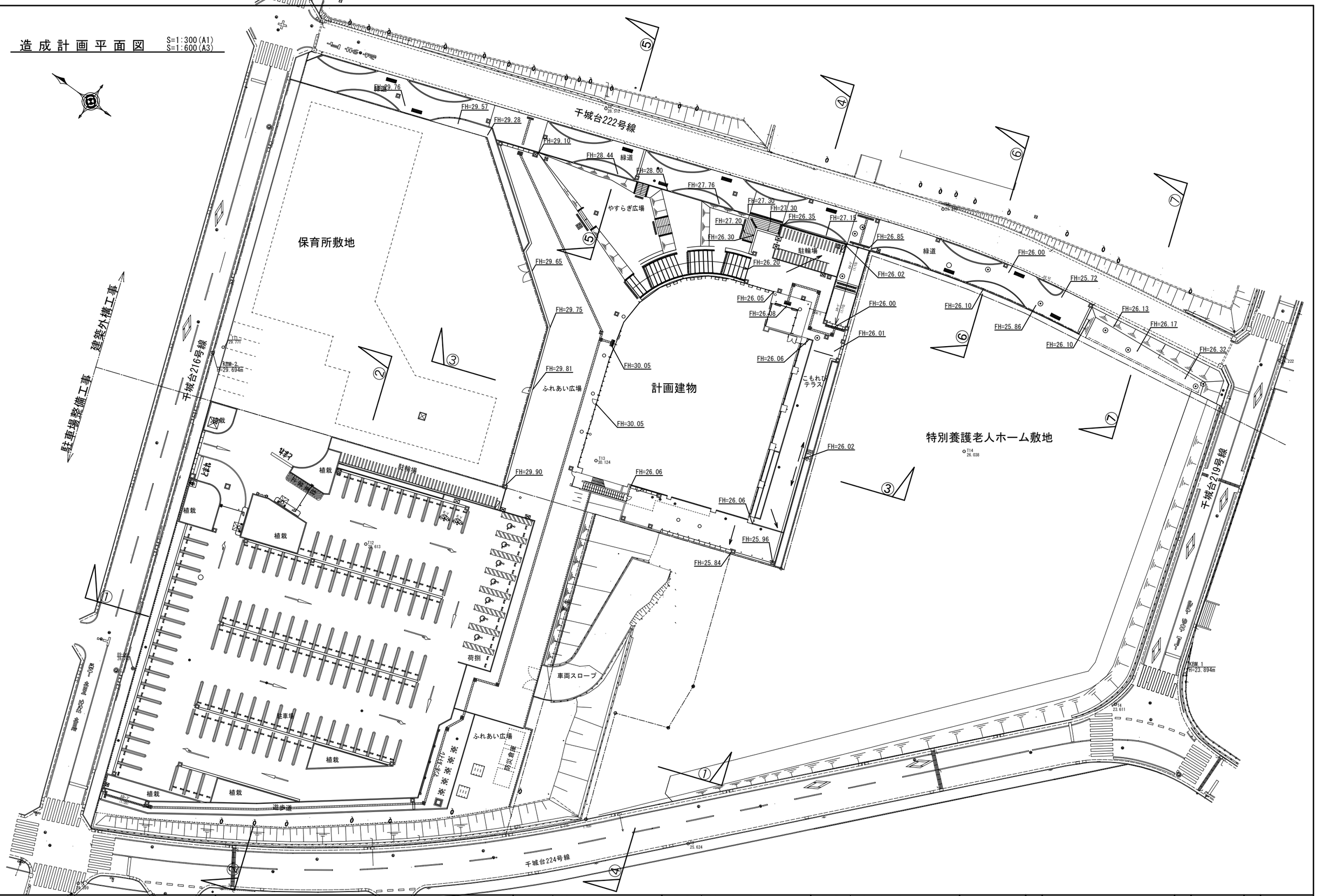
植栽工

記号	名称	樹高	目通り	葉ぱり	植栽密度	備考
つる性植栽工						
ﾂﾙﾏｻｷ	ﾂﾙﾏｻｷｴﾒﾗﾙﾄﾞｶﾞｲﾃｨ	L0.3		10.5VP		1株/0.3m
張芝工						
	張芝	平坦部・園路部				
	張芝	傾斜部				

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計	設計年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項
変更年月日 令和 / 特記事項	図面名 全体計画平面図	縮尺 S=1:400(A1) S=1:800(A3)	図面番号 A－201

造成計画平面図

S=1:300(A1)
S=1:600(A3)



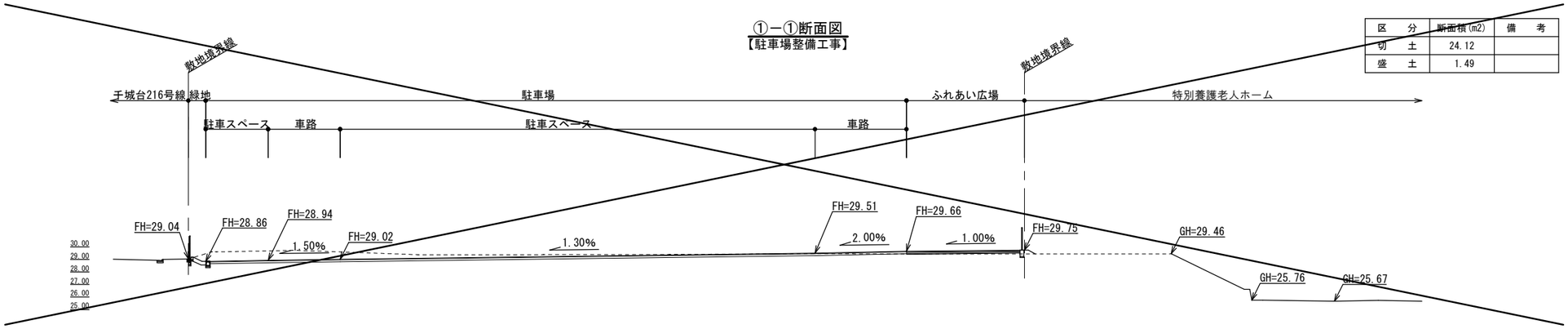
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	造成計画平面図	縮尺	S=1:300(A1) S=1:600(A3)	図面番号	A－202
			特記事項		特記事項		特記事項							

造成計画断面図-1

S=1:200(A1)
S=1:400(A3)

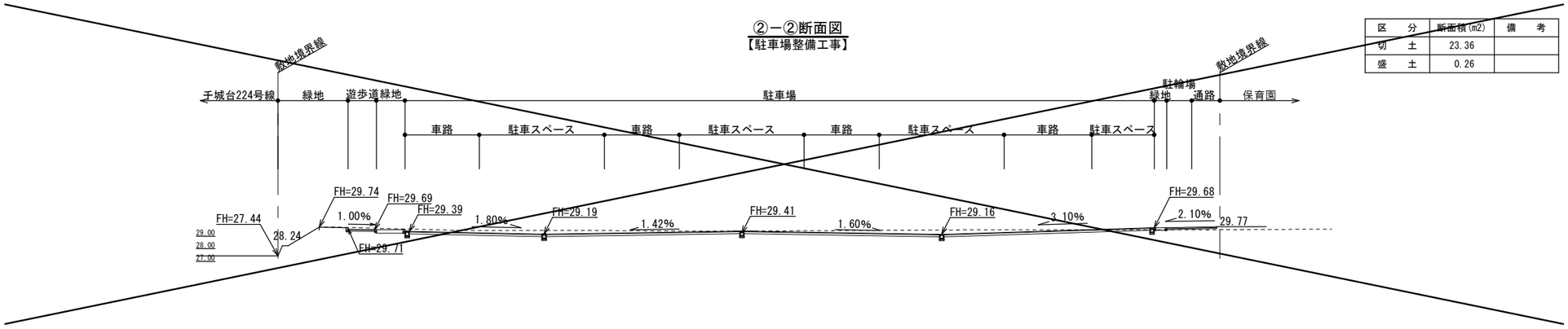
①－①断面図
【駐車場整備工事】

区　分	断面積(m2)	備　考
切　土	24.12	
盛　土	1.49	



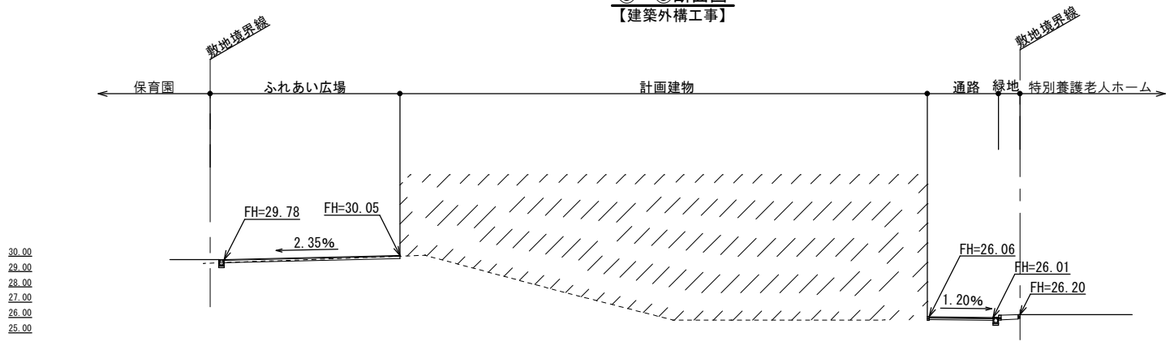
②－②断面図
【駐車場整備工事】

区　分	断面積(m2)	備　考
切　土	23.36	
盛　土	0.26	



③－③断面図
【建築外構工事】

区　分	断面積(m2)	備　考
切　土	0.94	
盛　土	—	



- - - - - 現　況
―――― 計　画

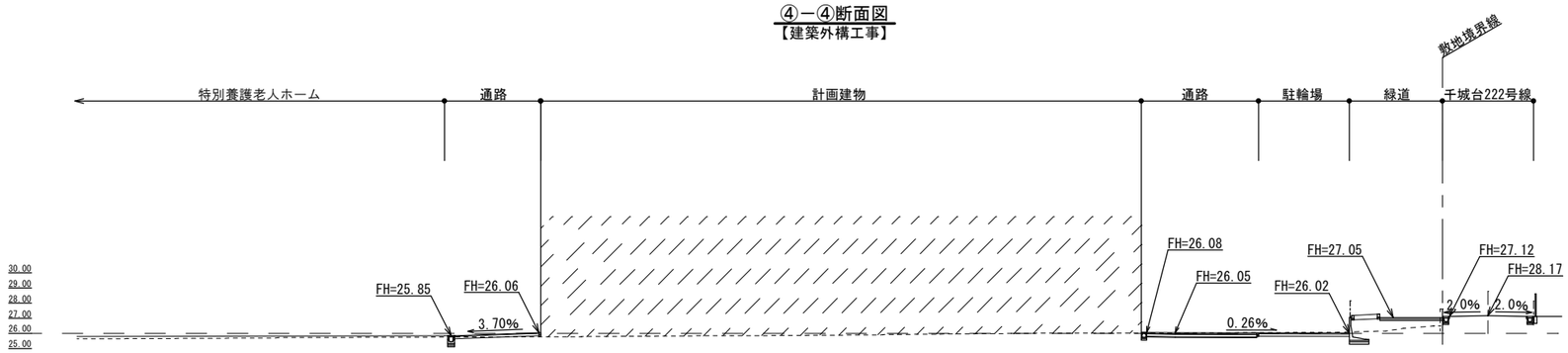
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設（仮称）新築工事	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	造成計画断面図-1	縮尺	S=1:200(A1) S=1:400(A3)	図面番号	A－203
			特記事項		特記事項		特記事項							

造成計画断面図-2

S=1:200(A1)
S=1:400(A3)

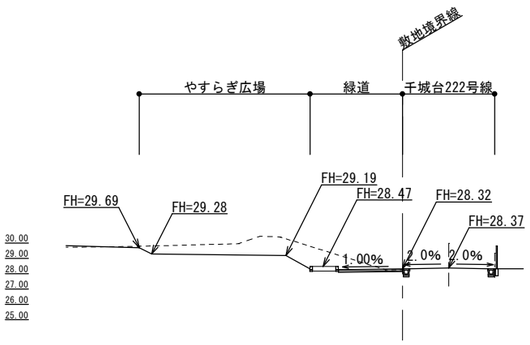
④ー④断面図
【建築外構工事】

区　分	断面積(m2)	備　考
切　土	0.81	
盛　土	3.72	



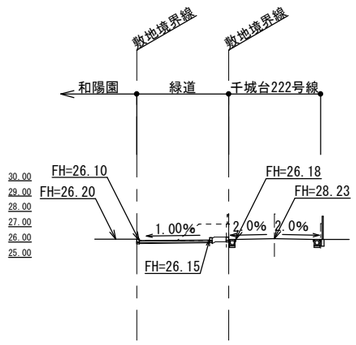
⑤ー⑤断面図
【建築外構工事】

区　分	断面積(m2)	備　考
切　土	4.08	
盛　土	—	



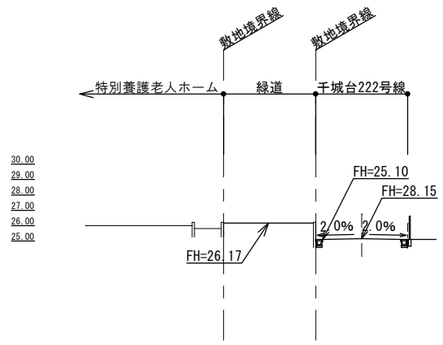
⑥ー⑥断面図
【建築外構工事】

区　分	断面積(m2)	備　考
切　土	3.57	
盛　土	—	



⑦ー⑦断面図
【建築外構工事】

区　分	断面積(m2)	備　考
切　土	—	
盛　土	—	

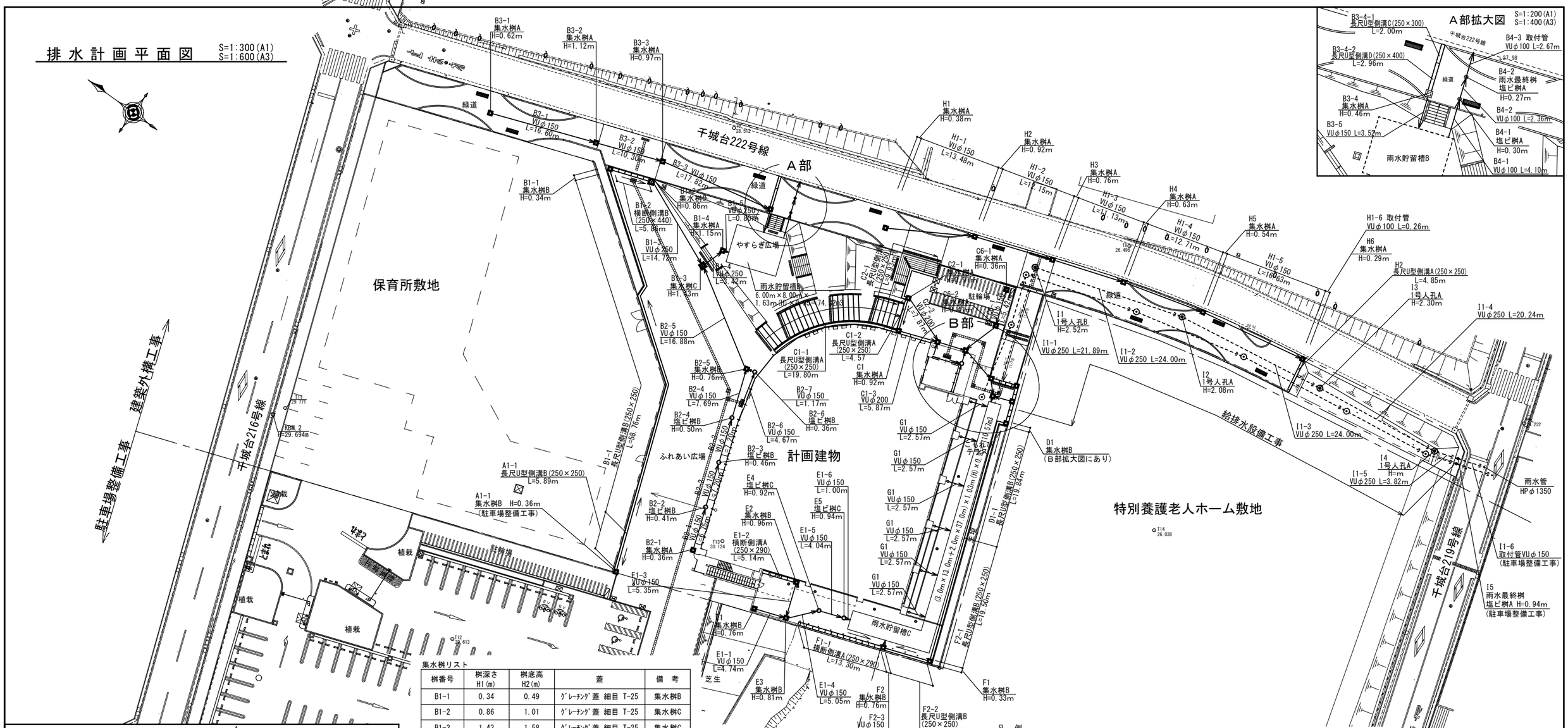


現　況
計　画

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設（仮称）新築工事	設計年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項		図面名	造成計画断面図-2	縮尺 S=1:200(A1) S=1:400(A3)	図面番号 A－204

排水計画平面図

S=1:300(A1)
S=1:600(A3)



集水桝リスト

桝番号	桝深さ H1(m)	桝底高 H2(m)	蓋	備考
B1-1	0.34	0.49	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
B1-2	0.86	1.01	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝C
B1-3	1.43	1.58	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝C
B1-4	1.15	1.30	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
B2-1	0.36	0.51	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
B2-2	0.41	—	塩ビ製蓋 T-2	塩ビ桝B
B2-3	0.46	—	塩ビ製蓋 T-2	塩ビ桝B
B2-4	0.50	—	塩ビ製蓋 T-2	塩ビ桝B
B2-5	0.76	0.91	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
B2-6	0.36	—	塩ビ製蓋 T-2	塩ビ桝B
B3-1	0.62	0.77	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
B3-2	1.12	1.27	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
B3-3	0.97	1.12	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
B3-4	0.46	0.61	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
B4-1	0.30	—	塩ビ製蓋 T-2	塩ビ桝A
B4-2	0.27	—	塩ビ製蓋 T-2(最終桝)	塩ビ桝A
C1	0.92	1.07	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
C2-1	0.91	1.06	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
C2-2	0.81	0.96	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
C2-3	0.84	0.99	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
C3-1	0.29	0.44	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
C3-2	0.83	0.98	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
C3-3	0.85	1.00	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B

集水桝リスト

桝番号	桝深さ H1(m)	桝底高 H2(m)	蓋	備考
C4	0.39	—	塩ビ製蓋 T-2	塩ビ桝B
C6-1	0.36	0.51	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
C6-2	0.41	0.56	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
D1	0.28	0.43	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
D2	0.76	0.91	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
E1	0.76	0.91	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
E2	0.96	1.11	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
E3	0.81	0.96	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
E4	0.92	—	鋳鉄製防護蓋 T-25	塩ビ桝C
E5	0.94	—	鋳鉄製防護蓋 T-25	塩ビ桝C
F1	0.33	0.48	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
F2	0.76	0.91	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
H1	0.38	0.53	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
H2	0.92	1.07	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
H3	0.76	0.91	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
H4	0.63	0.78	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
H5	0.54	0.69	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
H6	0.29	0.44	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A

凡例

記号	名称	規格	数量	単位	備考
	長尺U型側溝A	250×250×2000	39.15	m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-2・細目)
	長尺U型側溝B	250×250×2000	110.78	m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25・細目)
	長尺U型側溝C	250×300×2000	2.00	m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-2・細目)
	長尺U型側溝D	250×400×2000	2.96	m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-2・細目)
	横断側溝A	250×290×2000	26.41	m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25・細目)
	横断側溝B	250×440×2000	5.86	m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25・細目)
	硬質塩化ビニル管(VUφ100)	VUφ100	6.46	m	
	硬質塩化ビニル管(VUφ150)	VUφ150	226.56	m	
	硬質塩化ビニル管(VUφ200)	VUφ200	26.48	m	
	硬質塩化ビニル管(VUφ250)	VUφ250	18.94	m	
	取付管(VUφ100)	VUφ100	2.93	m	
	集水桝A	□400	16	箇所	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-2・細目)
	集水桝B	□400	14	箇所	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25・細目)
	集水桝C	□600	2	箇所	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋(T-25・細目)
	塩ビ桝A	φ200	2	箇所	塩ビ製蓋(T-2)
	塩ビ桝B	φ300	5	箇所	塩ビ製蓋(T-2)
	塩ビ桝C	φ300	2	箇所	鋳鉄製防護蓋(T-25)
	雨水貯留槽B	74.32m3	1	箇所	
	雨水貯留槽C	110.57m3	1	箇所	

千葉市都市局建築部営繕課

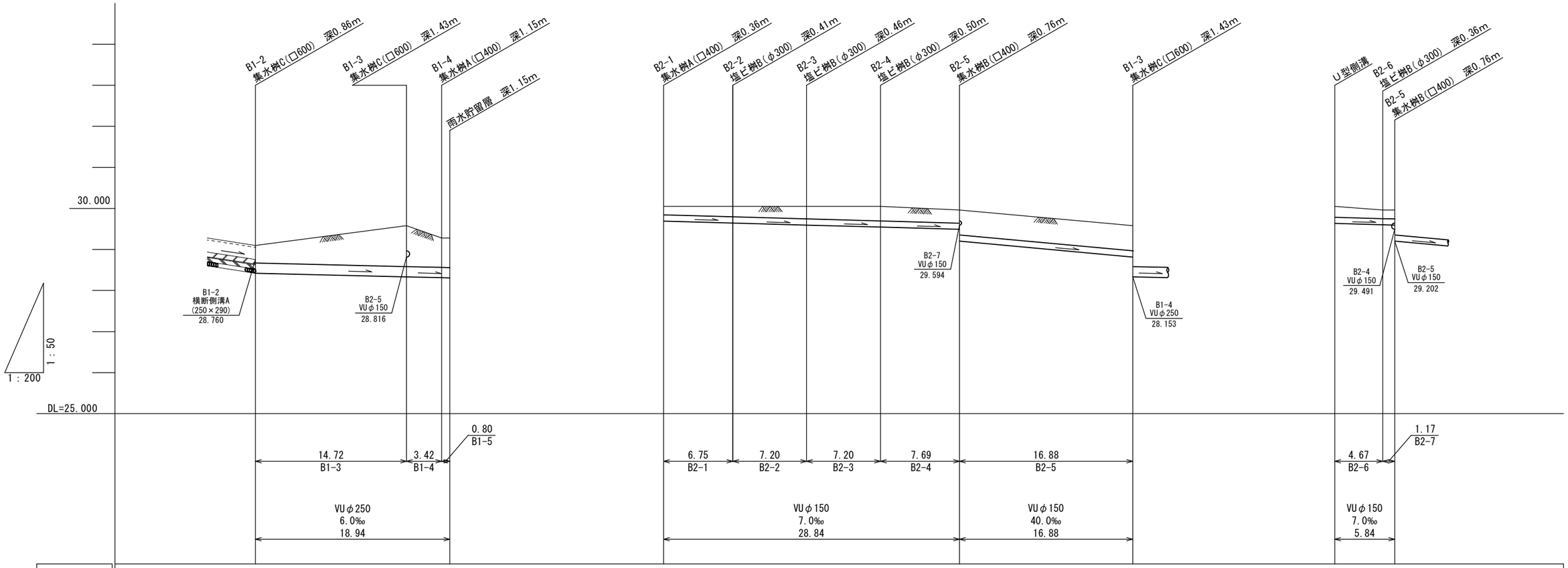
工事名称
千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計

設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日
特記事項		特記事項		特記事項	

図面名	排水計画平面図	縮尺	S=1:300(A1) S=1:600(A3)	図面番号	A－205

排水計画縦断面図-1

V=1:50 (A1)
H=1:200(A1)
V=1:100(A3)
H=1:400(A3)

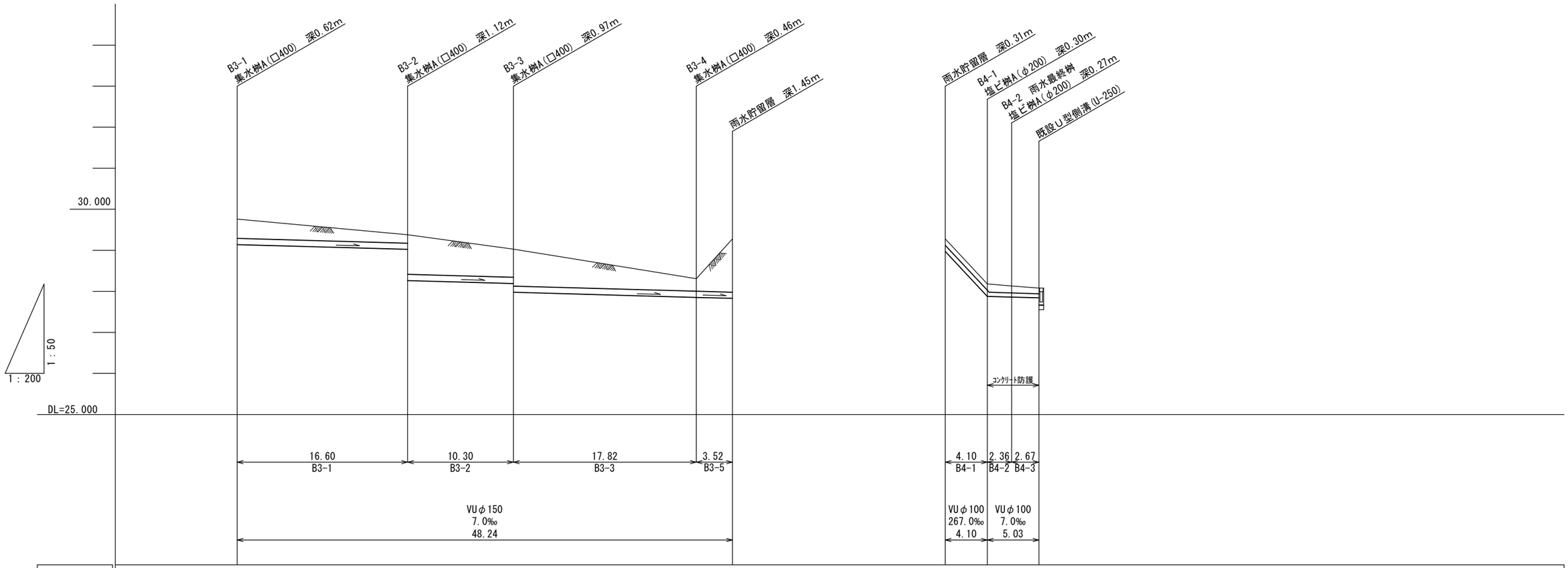


地盤高	29.10	29.58	29.28	29.28	30.05	30.05	30.05	30.05	29.96	29.58	30.05	29.96	29.96
土被り	0.60	1.17	0.89	0.89	0.20	0.25	0.30	0.35	0.31	0.60	0.61	0.26	0.20	0.21
管底高	28.241	28.153	28.132	28.127	29.692	29.645	29.595	29.545	29.491	29.202	28.816	29.635	29.602	29.594
掘削深	0.97	1.54	1.26	1.26	0.47	0.51	0.56	0.61	0.58	0.87	0.87	0.52	0.47	0.47
追加距離	0.00	14.72	18.14	18.94	0.00	6.75	13.95	21.15	28.84		45.72	0.00	4.67	5.84
単距離	0.00	14.72	3.42	0.80	0.00	6.75	7.20	7.20	7.69		16.88	0.00	4.67	1.17

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	排水計画縦断面図-1	縮尺	S=図示(A1) S=図示(A3)	図面番号	A－206

排水計画縦断面図-2

V=1:50 (A1)
H=1:200(A1)
V=1:100(A3)
H=1:400(A3)

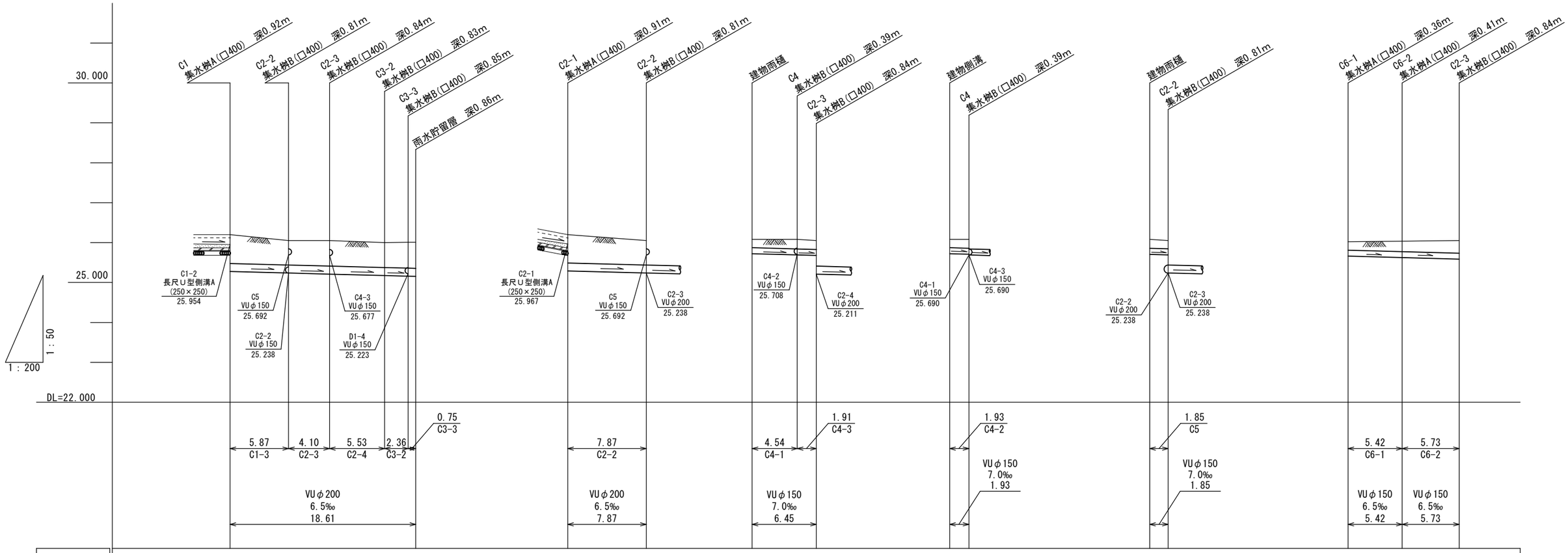


地盤高	29.76	29.38	28.95	28.31	29.28	29.28	28.18	28.13	28.08
土被り	0.46	0.20 0.96	0.60 0.81	0.30	1.29	0.20	0.20	0.16	0.13
管底高	29.139	29.023 28.264	28.192 27.978	27.853	27.828	28.973	27.878	27.861	27.842
掘削深	0.73	0.46 1.22	0.87 1.08	0.56	1.56	0.41	0.41	0.38	0.35
追加距離	0.00	16.60	26.90	44.72	48.28	0.00	4.10	6.46	9.13
単距離	0.00	16.60	10.30	17.82	3.52	0.00	4.10	2.36	2.67

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	排水計画縦断面図-2	縮尺	S=図示(A1) S=図示(A3)	図面番号	A－207

排水計画縦断面図-3

V=1:50 (A1)
H=1:200(A1)
V=1:100(A3)
H=1:400(A3)



地盤高	26.20	26.05	26.05	26.00	26.01	26.01	26.20	26.05	26.08	26.08	26.05	26.08	26.08	26.08	26.05	26.02	26.03	26.05
土被り	0.72	0.60	0.63	0.62	0.64	0.65	0.70	0.60	0.20	0.23	0.22	0.20	0.21	0.22	0.20	0.20	0.25	0.30
管底高	25.276	25.238	25.211	25.175	25.160	25.155	25.289	25.238	25.722	25.690	25.677	25.722	25.708	25.705	25.692	25.662	25.627	25.590
掘削深	1.03	0.92	0.95	0.93	0.96	0.96	1.02	0.92	0.47	0.50	0.48	0.47	0.48	0.48	0.47	0.47	0.51	0.57
追加距離	0.00	5.87	9.97	15.50	17.86	18.61	0.00	7.87	0.00	4.54	6.45	0.00	1.93	0.00	1.85	0.00	5.42	11.15
単距離	0.00	5.87	4.10	5.53	2.36	0.75	0.00	7.87	0.00	4.54	1.91	0.00	1.93	0.00	1.85	0.00	5.42	5.73

千葉市都市局建築部営繕課

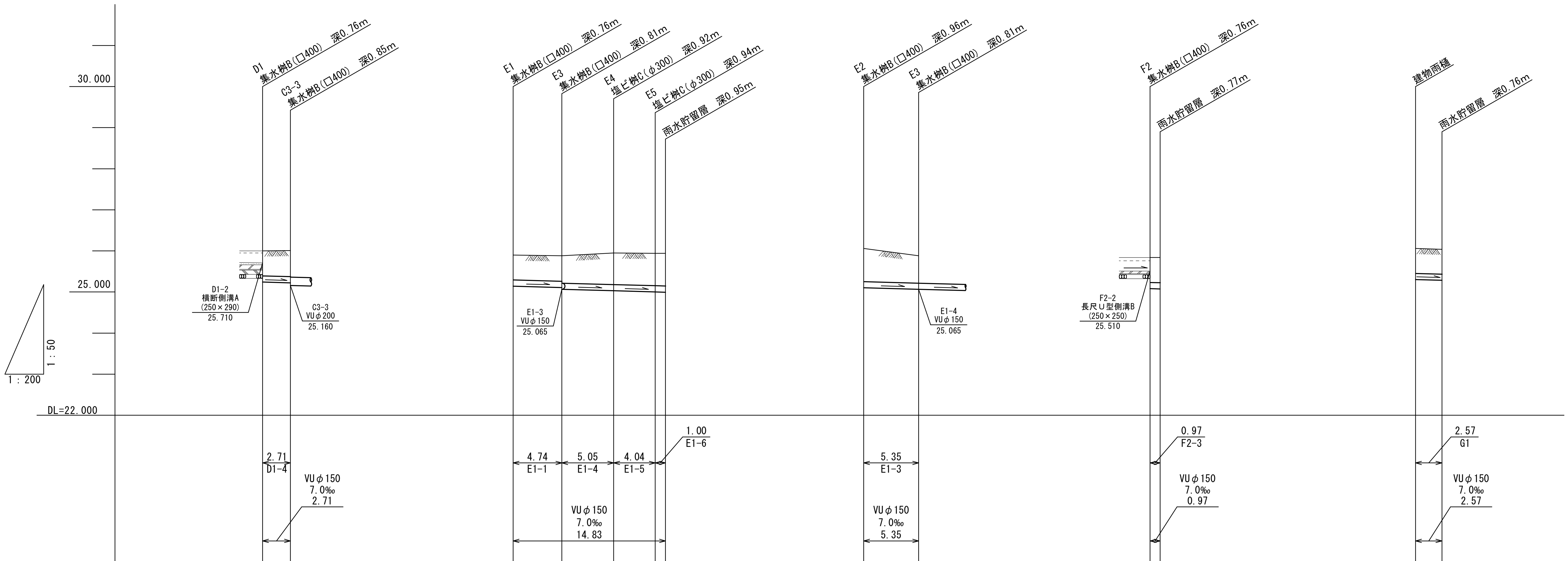
工事名称
千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計

設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日
特記事項		特記事項		特記事項	

図面名：排水計画縦断面図-3
縮尺：S=図示(A1) S=図示(A3)
図面番号：A－208

排水計画縦断面図-4

V=1:50 (A1)
H=1:200 (A1)
V=1:100 (A3)
H=1:400 (A3)

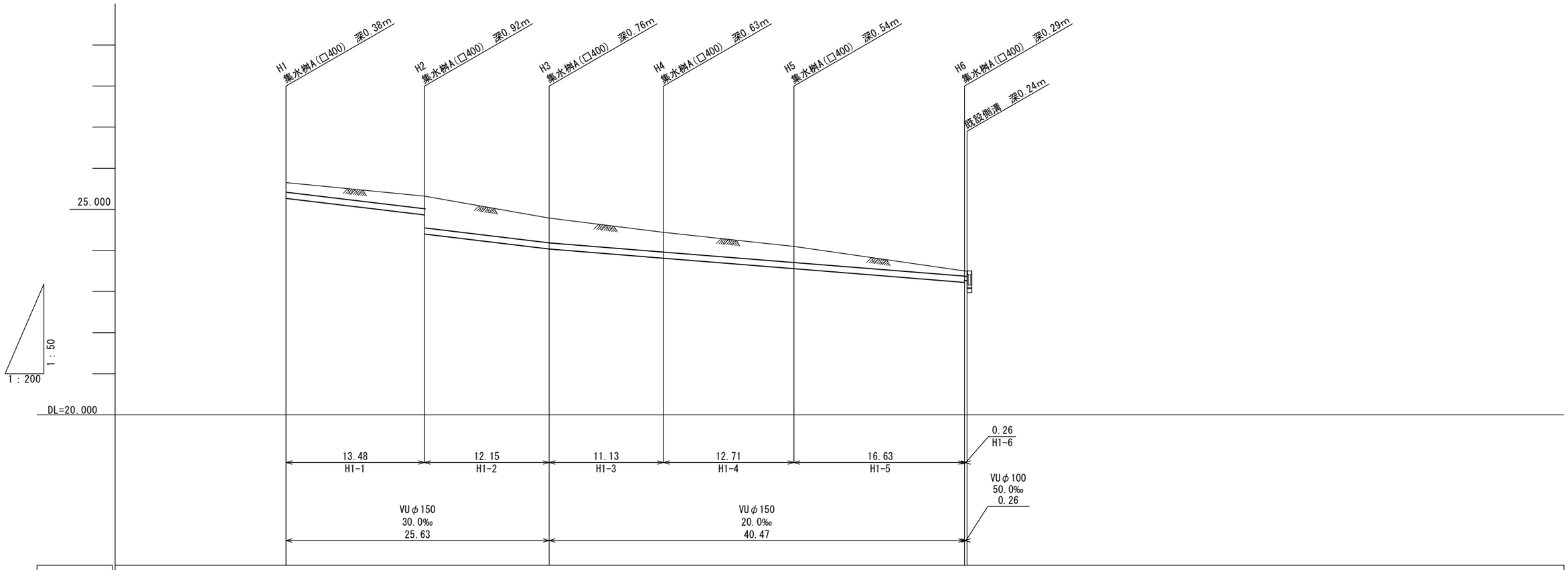


地盤高	26.00	26.01	25.90	25.88	25.95	25.94	25.94	26.06	25.88	25.84	25.84	26.06	26.04
土被り	0.60	0.63	0.60	0.61 0.66	0.76	0.78	0.79	0.80	0.66	0.60	0.61	0.60	0.60
管底高	25.242	25.223	25.142	25.109 25.065	25.030	25.002	24.995	25.102	25.065	25.082	25.075	25.302	25.284
掘削深	0.87	0.89	0.87	0.88 0.92	1.03	1.05	1.05	1.07	0.92	0.87	0.87	0.87	0.86
追加距離	0.00	2.71	0.00	4.74	9.79	13.83	14.83	0.00	5.35	0.00	0.97	0.00	2.57
単距離	0.00	2.71	0.00	4.74	5.05	4.04	1.00	0.00	5.35	0.00	0.97	0.00	2.57

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	排水計画縦断面図-4	縮尺 S=図示(A1) S=図示(A3)	図面番号 A－209

排水計画縦断面図-5

V=1:50 (A1)
H=1:200(A1)
V=1:100(A3)
H=1:400(A3)



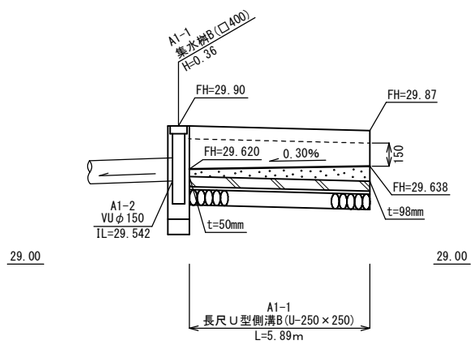
地盤高	27.65	27.32	26.79	26.44	26.10	25.51	25.51
土被り	0.23	0.30 0.77	0.60	0.47	0.39	0.13	0.14
管底高	27.267	26.863 26.397	26.033	25.810	25.556	25.223 25.273	25.260
掘削深	0.49	0.56 1.03	0.86	0.74	0.65	0.39 0.34	0.36
追加距離	0.00	13.48	25.63	36.76	49.47	66.10	66.36
単距離	0.00	13.48	12.15	11.13	12.71	16.63	0.26

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	排水計画縦断面図-5	縮尺	S=図示(A1) S=図示(A3)	図面番号	A－210

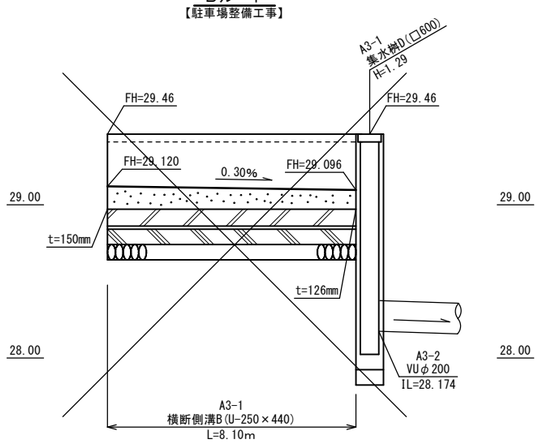
深溝側溝展開図

V=1:20 (A1)
H=1:100(A1)
V=1:40 (A3)
H=1:200(A3)

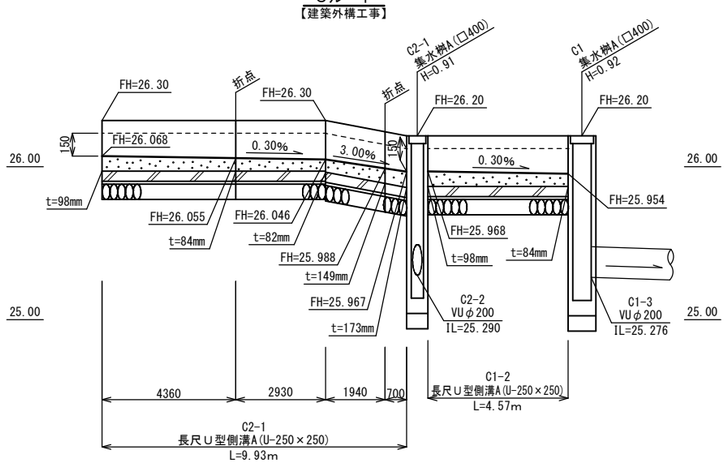
Aルート
【建築外構工事】



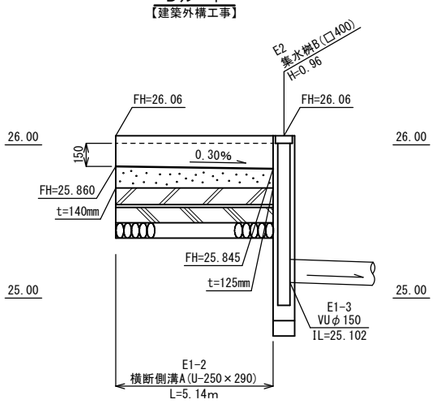
Bルート
【駐車場整備工事】



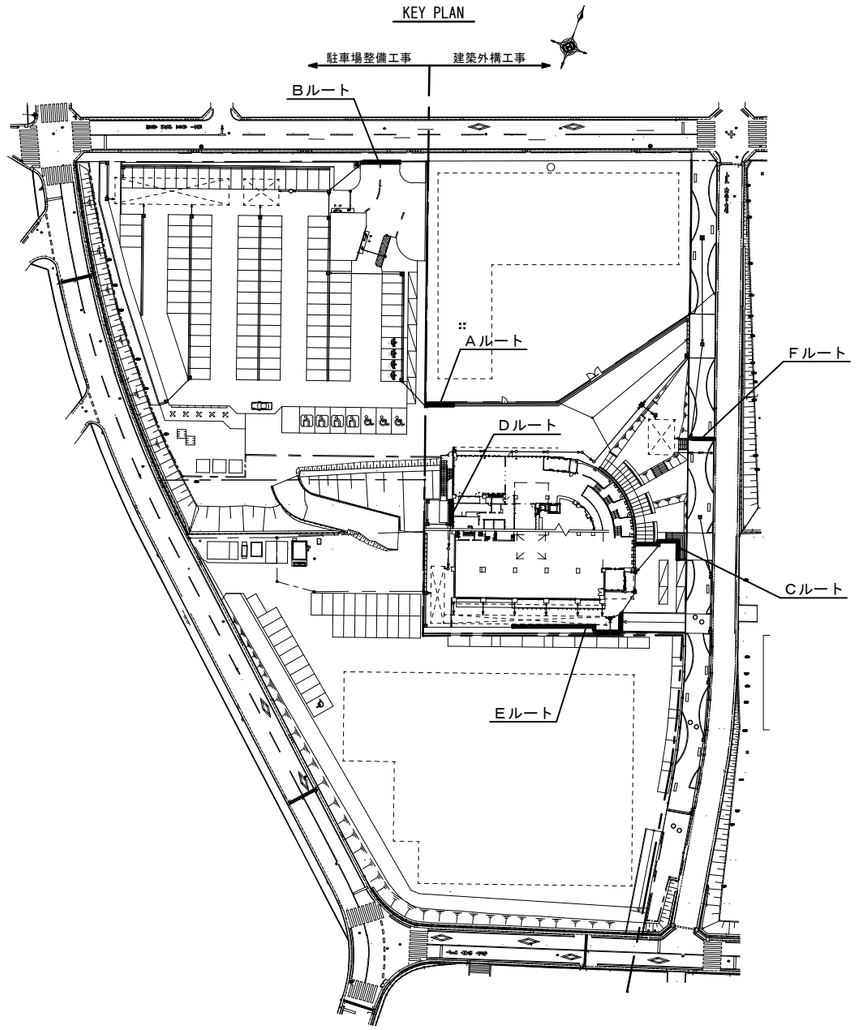
Cルート
【建築外構工事】



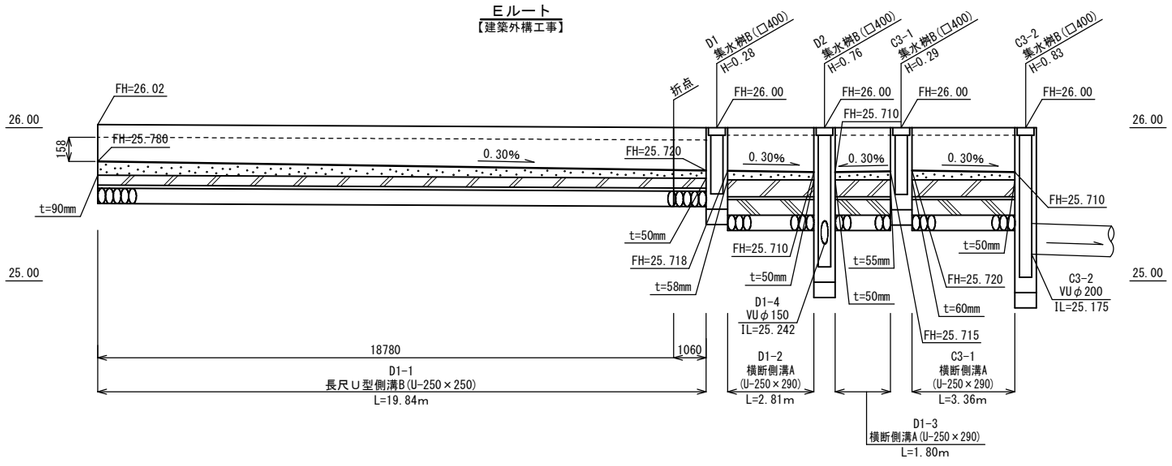
Dルート
【建築外構工事】



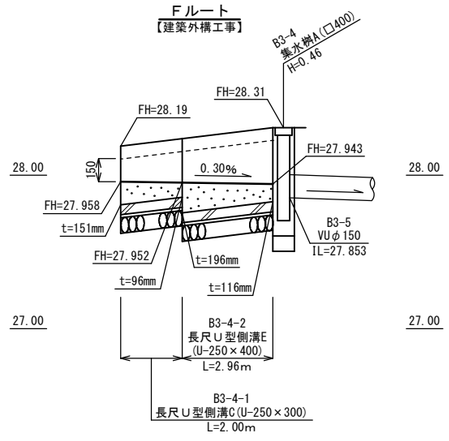
KEY PLAN



Eルート
【建築外構工事】



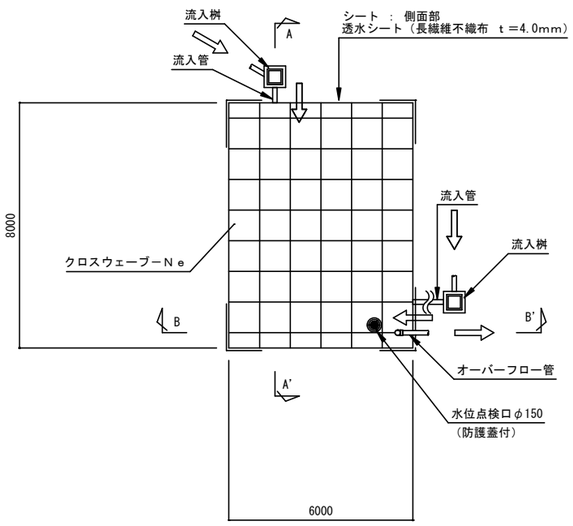
Fルート
【建築外構工事】



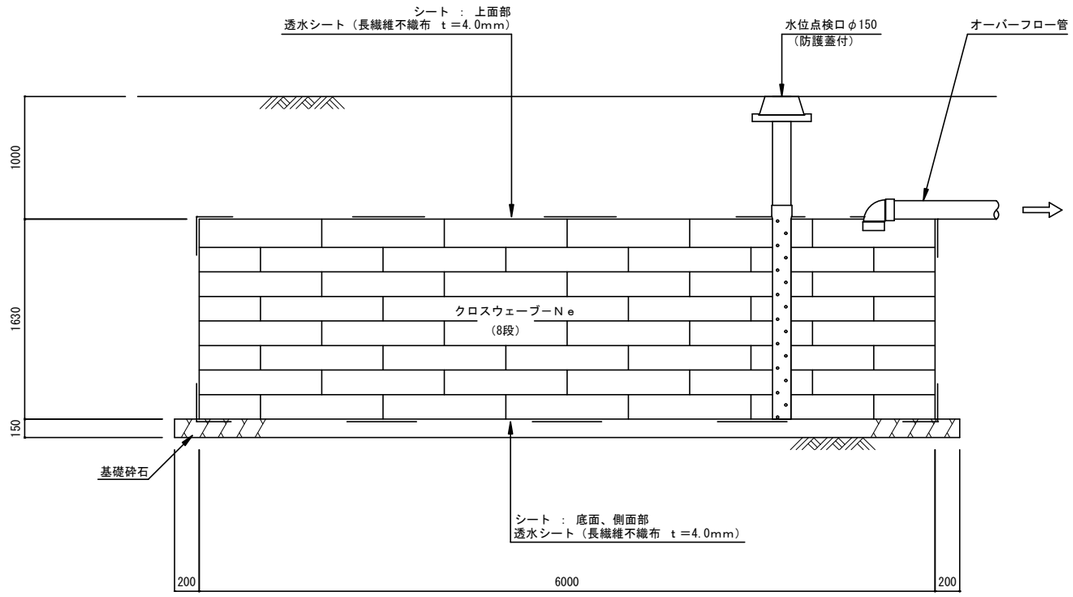
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項		図面名	深溝側溝展開図	縮尺	図示	図面番号	A－211

雨水浸透貯留槽B詳細図

平面図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)

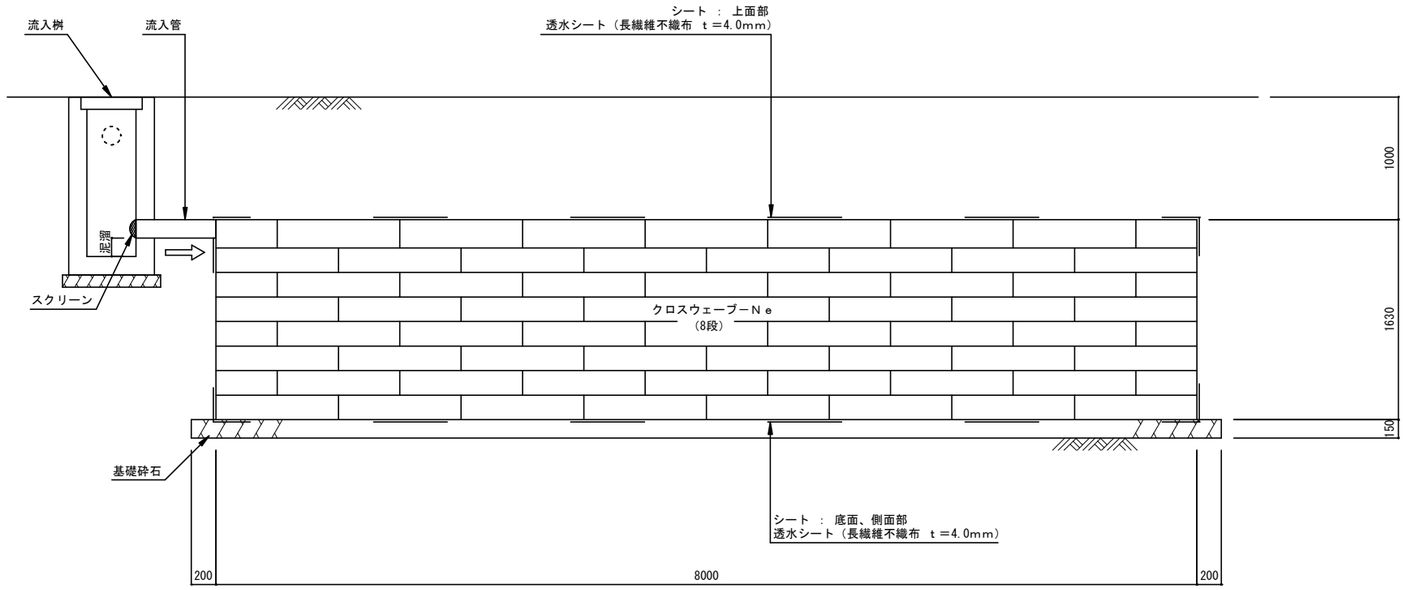


Ｂ－Ｂ’ 断面図 S=1:25(A1) S=1:50(A3)



浸透槽B貯留量　8.0m × 6.0m × 1630m（8 段 ） × 95%（ 空隙率 ） ＝ 74.32m3

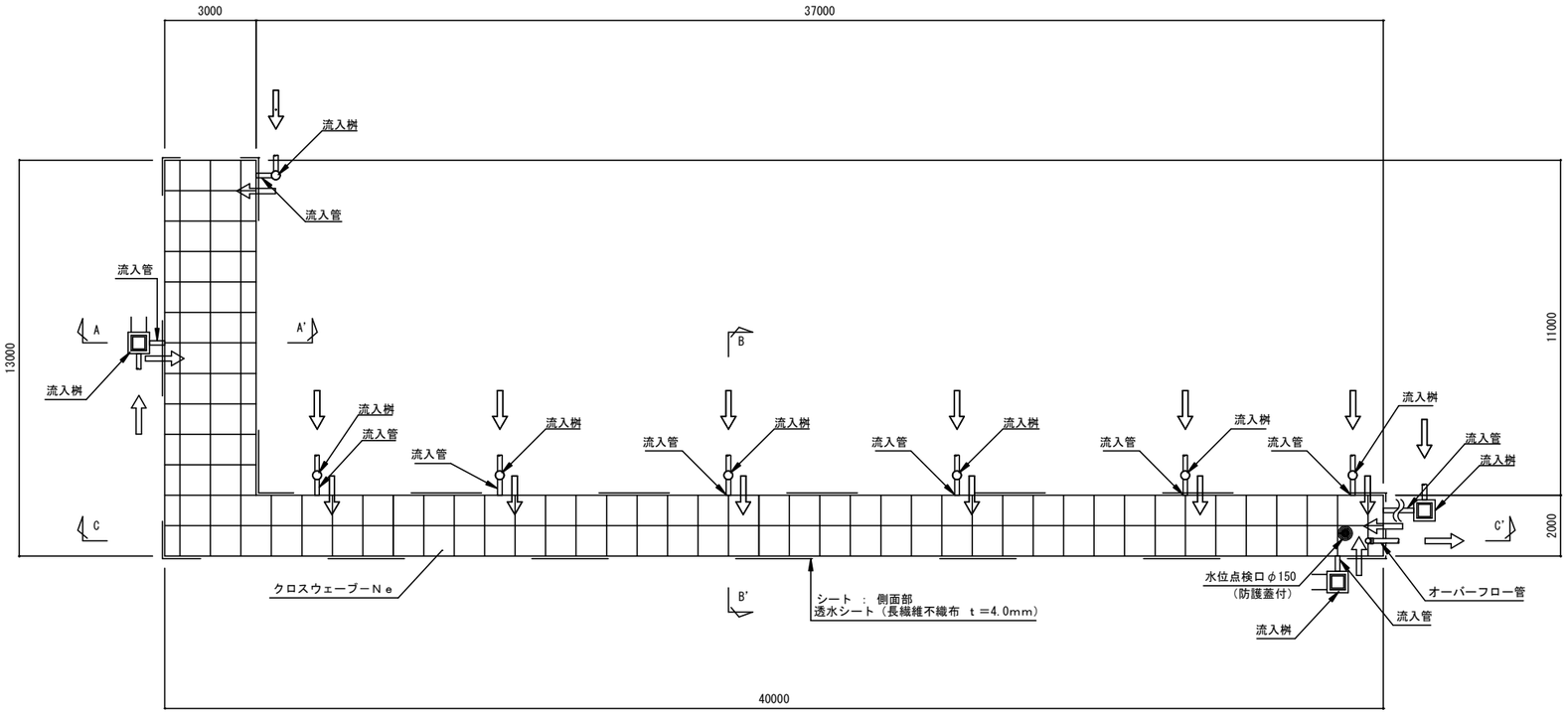
Ａ－Ａ’ 断面図 S=1:25(A1) S=1:50(A3)



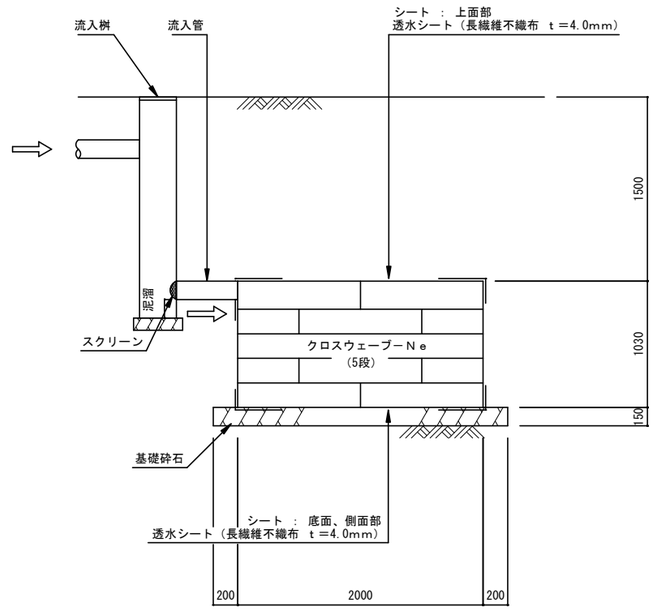
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設（仮称）新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項		図面名	雨水貯留槽Ｂ詳細図	縮尺	図示	図面番号	Ａ－212

雨水浸透貯留槽C詳細図

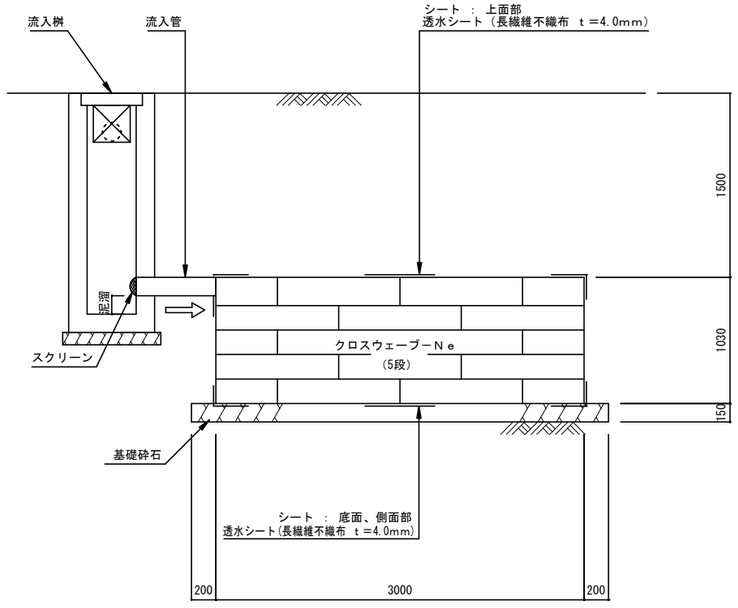
平面図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)



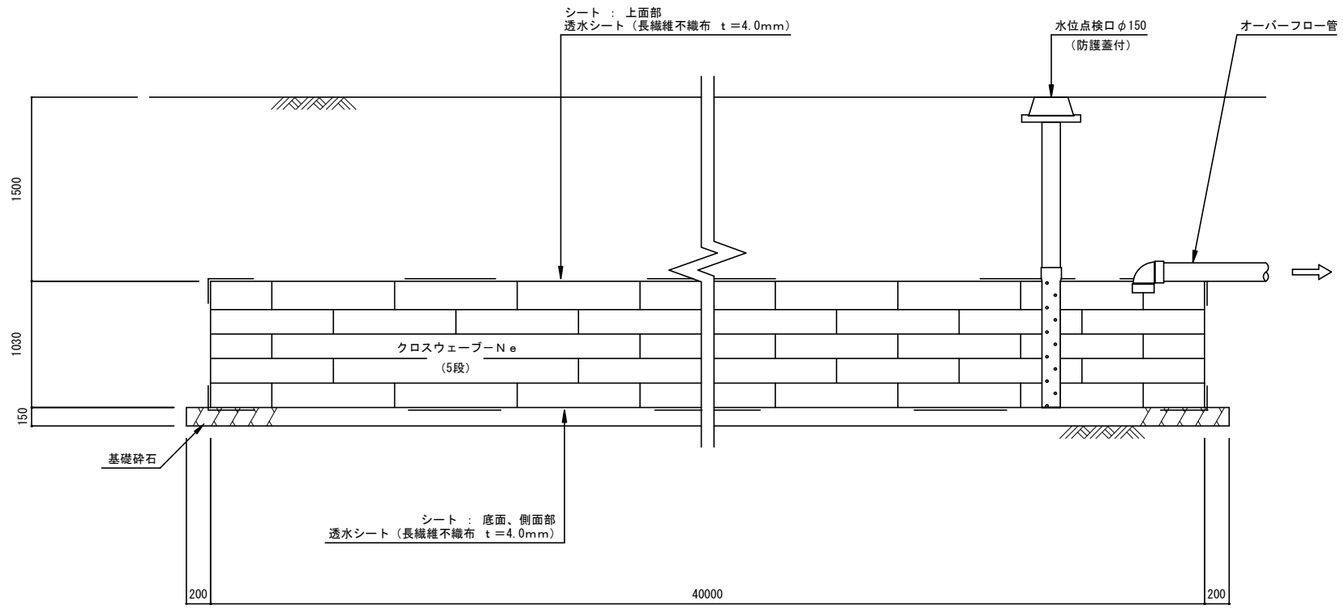
Ｂ－Ｂ’ 断面図 S=1:25(A1) S=1:50(A3)



Ａ－Ａ’ 断面図 S=1:25(A1) S=1:50(A3)



Ｃ－Ｃ’ 断面図 S=1:25(A1) S=1:50(A3)



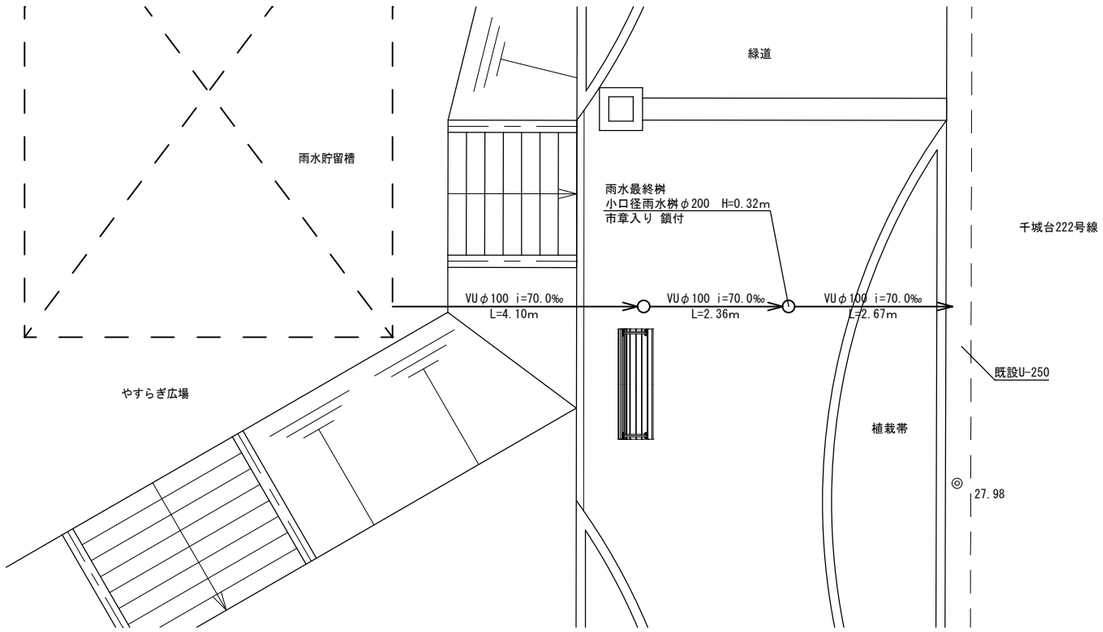
浸透槽C貯留量 （ 3.0m × 13.0m ＋ 2.0m × 37.0m ） × 1.030m（ 5段 ） × 95%（ 空隙率 ） ＝ 110.57m3

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設（仮称）新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	雨水貯留槽Ｃ詳細図	縮尺	図示	図面番号	A－213

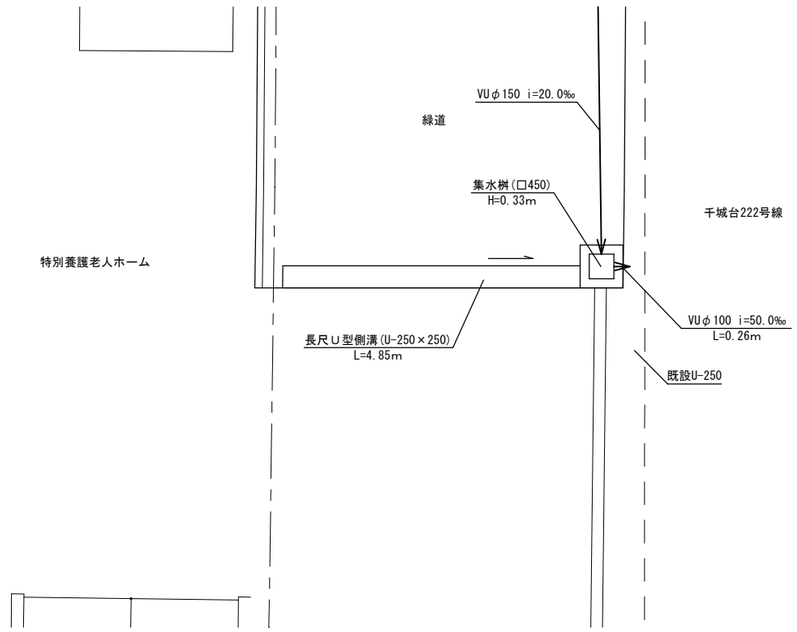
# 取付管詳細図
S=1: 50(A1)
S=1:100(A3)

（東側緑道部）

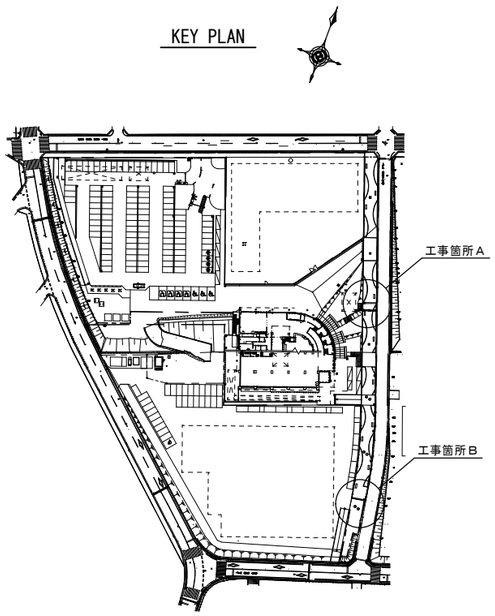
計画平面図Ａ



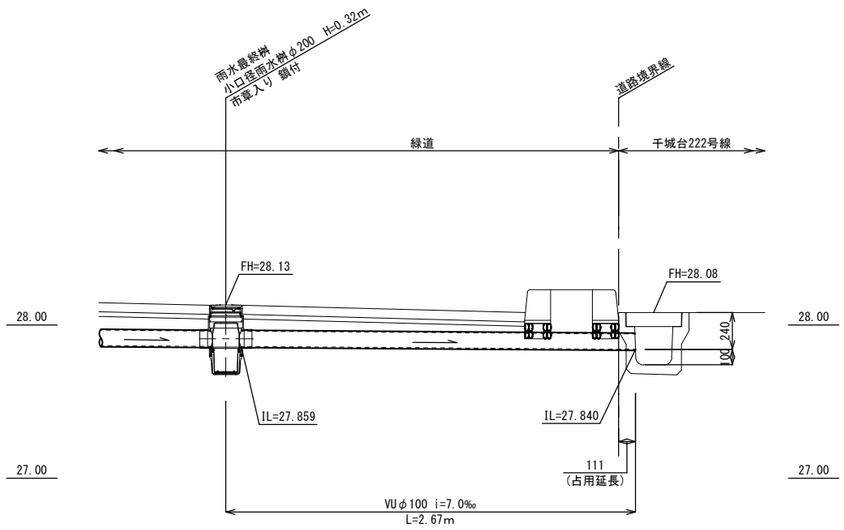
計画平面図Ｂ



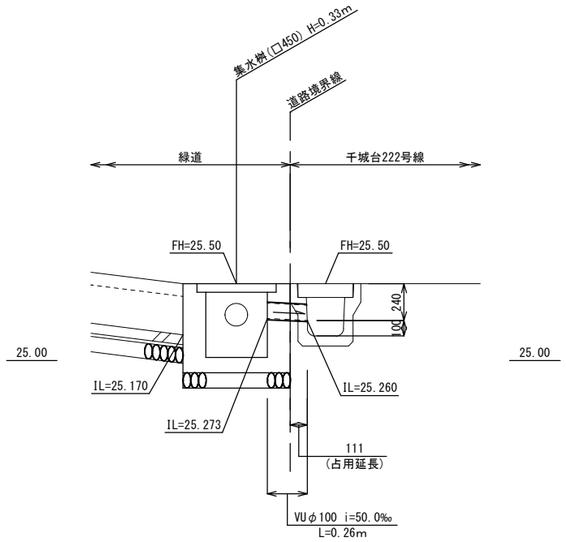
KEY PLAN



東側取付断面図Ａ
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



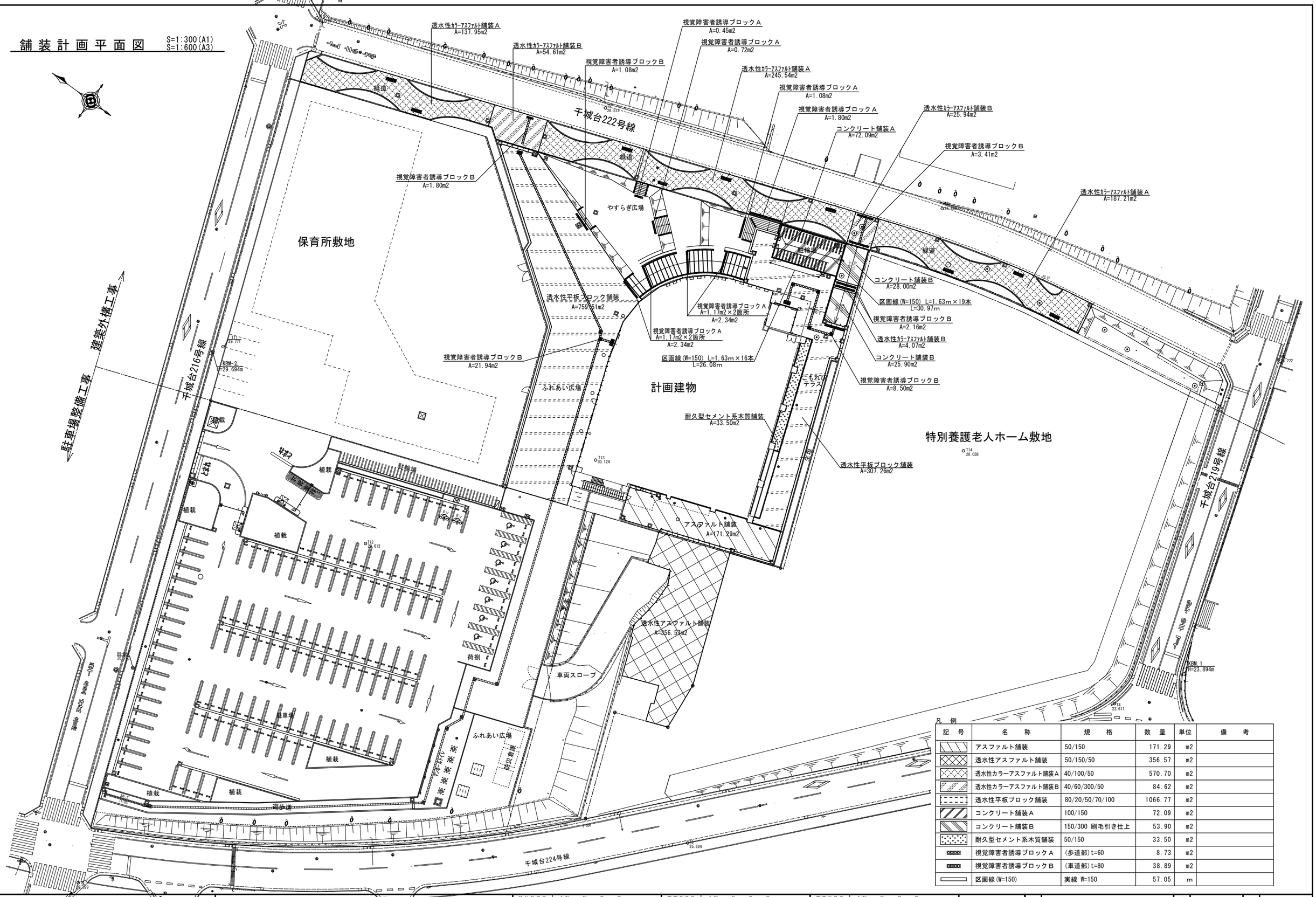
東側取付断面図Ｂ
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項		図面名	取付管詳細図	縮尺	図示	図面番号	A－214

舗装計画平面図

S=1:300(A1)
S=1:600(A3)



凡例

記号	名称	規格	数量	単位	備考
	アスファルト舗装	50/150	171.29	m2	
	透水性アスファルト舗装	50/150/50	356.57	m2	
	透水性カラーアスファルト舗装A	40/100/50	570.70	m2	
	透水性カラーアスファルト舗装B	40/60/300/50	84.62	m2	
	透水性平板ブロック舗装	80/20/50/70/100	1066.77	m2	
	コンクリート舗装A	100/150	72.09	m2	
	コンクリート舗装B	150/300 刷毛引き仕上	53.90	m2	
	耐久型セメント系木質舗装	50/150	33.50	m2	
	視覚障害者誘導ブロックA	(歩道部)t=60	8.73	m2	
	視覚障害者誘導ブロックB	(車道部)t=80	38.89	m2	
	区画線(W=150)	実線 W=150	57.05	m	

千葉市都市局建築部営繕課

工事名称　千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計

設計年月日	令和　年　月　日
特記事項	

変更年月日	令和　年　月　日
特記事項	

変更年月日	令和　年　月　日
特記事項	

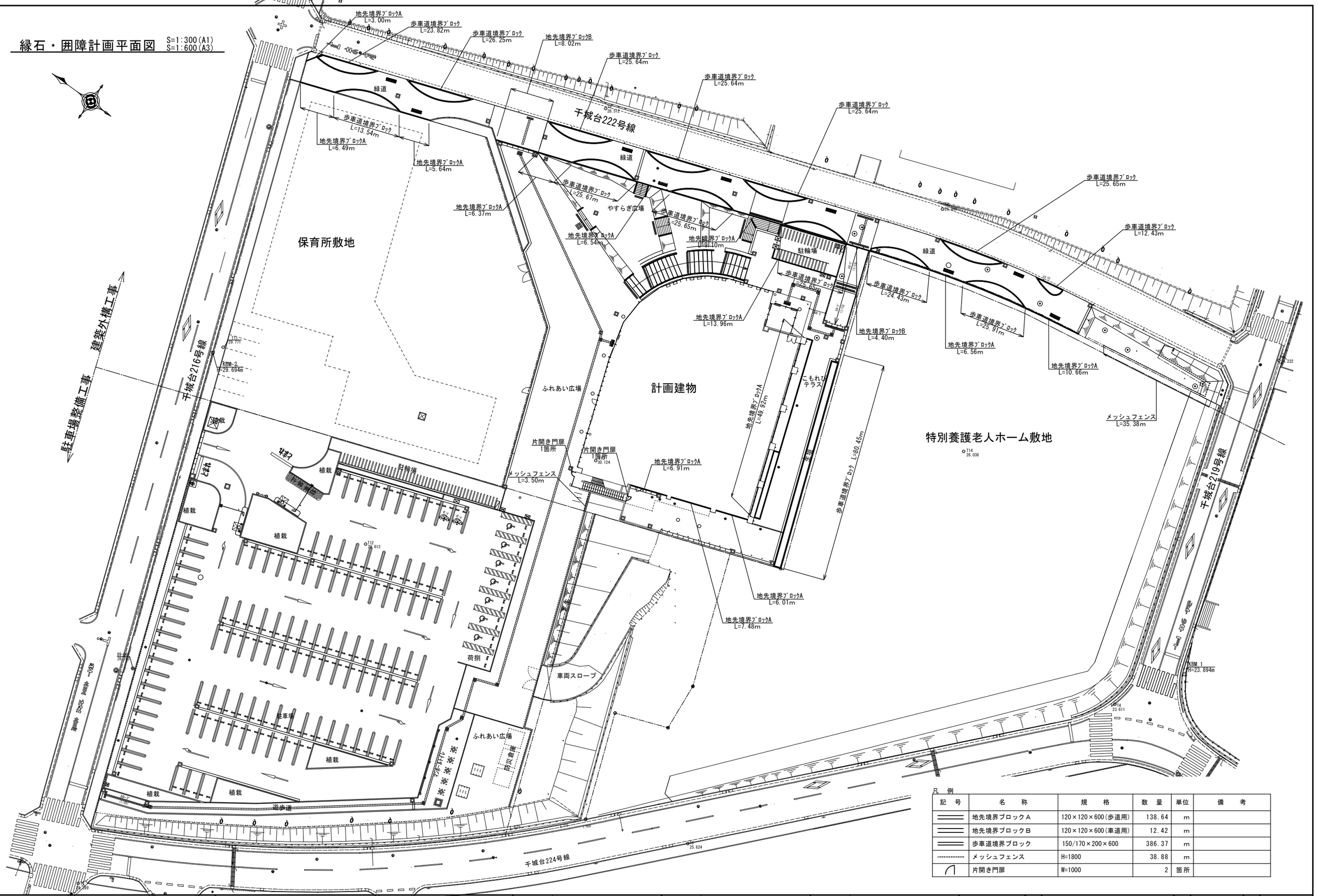
図面名：舗装計画平面図

縮尺：S=1:300(A1)　S=1:600(A3)

図面番号：A－215

縁石・囲障計画平面図

S=1:300(A1)
S=1:600(A3)



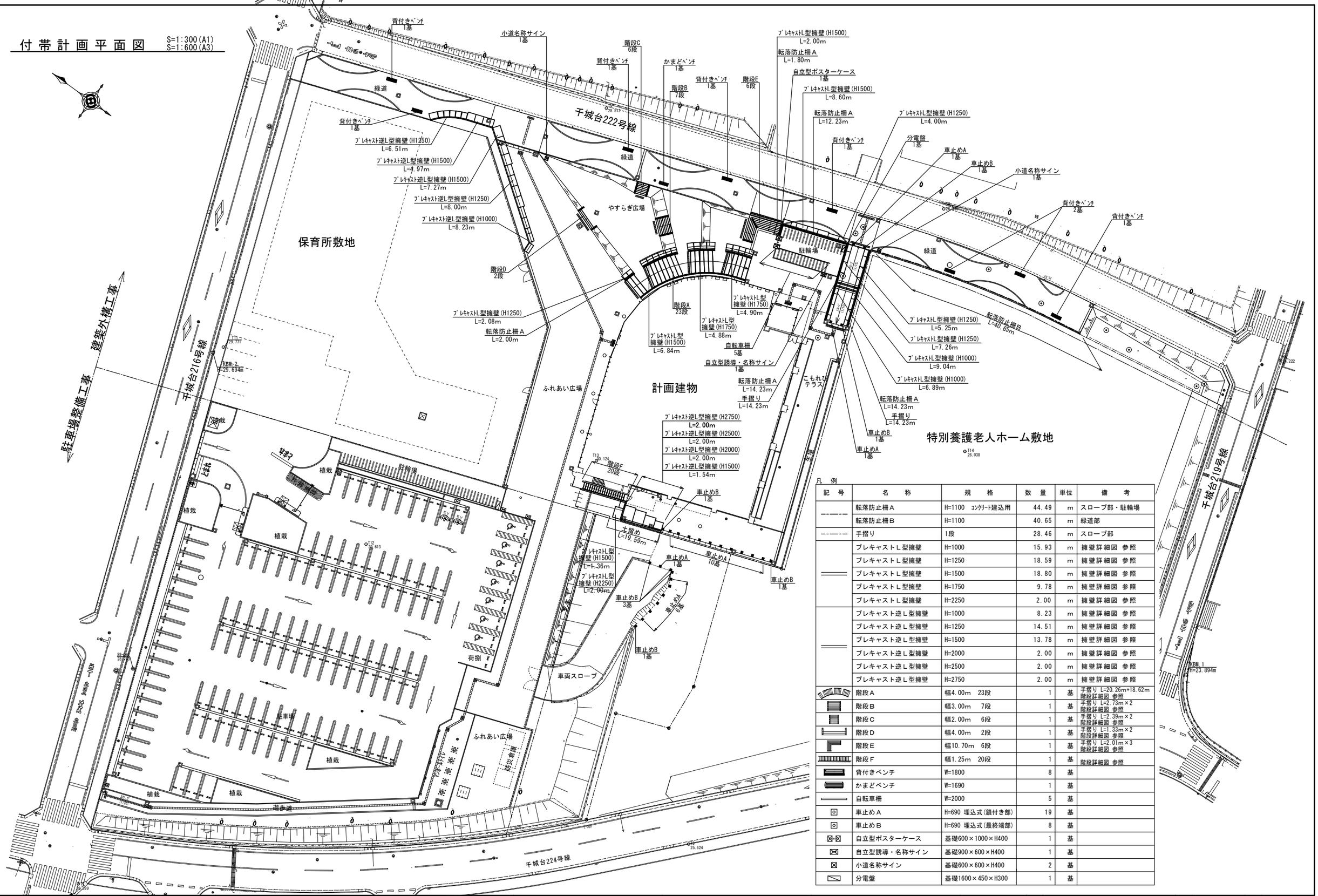
凡例

記号	名称	規格	数量	単位	備考
	地先境界ブロックA	120×120×600(歩道用)	138.64	m	
	地先境界ブロックB	120×120×600(車道用)	12.42	m	
	歩車道境界ブロック	150/170×200×600	386.37	m	
	メッシュフェンス	H=1800	38.88	m	
	片開き門扉	W=1000	2	箇所	

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	縁石・囲障計画平面図	縮尺 S=1:300(A1) S=1:600(A3)	図面番号 A－216

付帯計画平面図

S=1:300(A1)
S=1:600(A3)



凡　例

記　号	名　　称	規　　格	数　量	単位	備　　考
	転落防止柵A	H=1100　ｺﾝｸﾘｰﾄ建込用	44.49	m	スロープ部・駐輪場
	転落防止柵B	H=1100	40.65	m	緑道部
	手摺り	1段	28.46	m	スロープ部
	プレキャストL型擁壁	H=1000	15.93	m	擁壁詳細図　参照
	プレキャストL型擁壁	H=1250	18.59	m	擁壁詳細図　参照
	プレキャストL型擁壁	H=1500	18.80	m	擁壁詳細図　参照
	プレキャストL型擁壁	H=1750	9.78	m	擁壁詳細図　参照
	プレキャストL型擁壁	H=2250	2.00	m	擁壁詳細図　参照
	プレキャスト逆L型擁壁	H=1000	8.23	m	擁壁詳細図　参照
	プレキャスト逆L型擁壁	H=1250	14.51	m	擁壁詳細図　参照
	プレキャスト逆L型擁壁	H=1500	13.78	m	擁壁詳細図　参照
	プレキャスト逆L型擁壁	H=2000	2.00	m	擁壁詳細図　参照
	プレキャスト逆L型擁壁	H=2500	2.00	m	擁壁詳細図　参照
	プレキャスト逆L型擁壁	H=2750	2.00	m	擁壁詳細図　参照
	階段A	幅4.00m　23段	1	基	手摺り L=20.26m+18.62m 階段詳細図 参照
	階段B	幅3.00m　7段	1	基	手摺り L=2.73m×2 階段詳細図 参照
	階段C	幅2.00m　6段	1	基	手摺り L=2.39m×2 階段詳細図 参照
	階段D	幅4.00m　2段	1	基	手摺り L=1.33m×2 階段詳細図 参照
	階段E	幅10.70m　6段	1	基	手摺り L=2.01m×3 階段詳細図 参照
	階段F	幅1.25m　20段	1	基	階段詳細図 参照
	背付きベンチ	W=1800	8	基	
	かまどベンチ	W=1690	1	基	
	自転車柵	W=2000	5	基	
	車止めA	H=690　埋込式(鎖付き部)	19	基	
	車止めB	H=690　埋込式(最終端部)	8	基	
	自立型ポスターケース	基礎600×1000×H400	1	基	
	自立型誘導・名称サイン	基礎900×600×H400	1	基	
	小道名称サイン	基礎600×600×H400	2	基	
	分電盤	基礎1600×450×H300	1	基	

千葉市都市局建築部営繕課

工事名称　千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計

設計年月日	令和　年　月　日
特記事項	

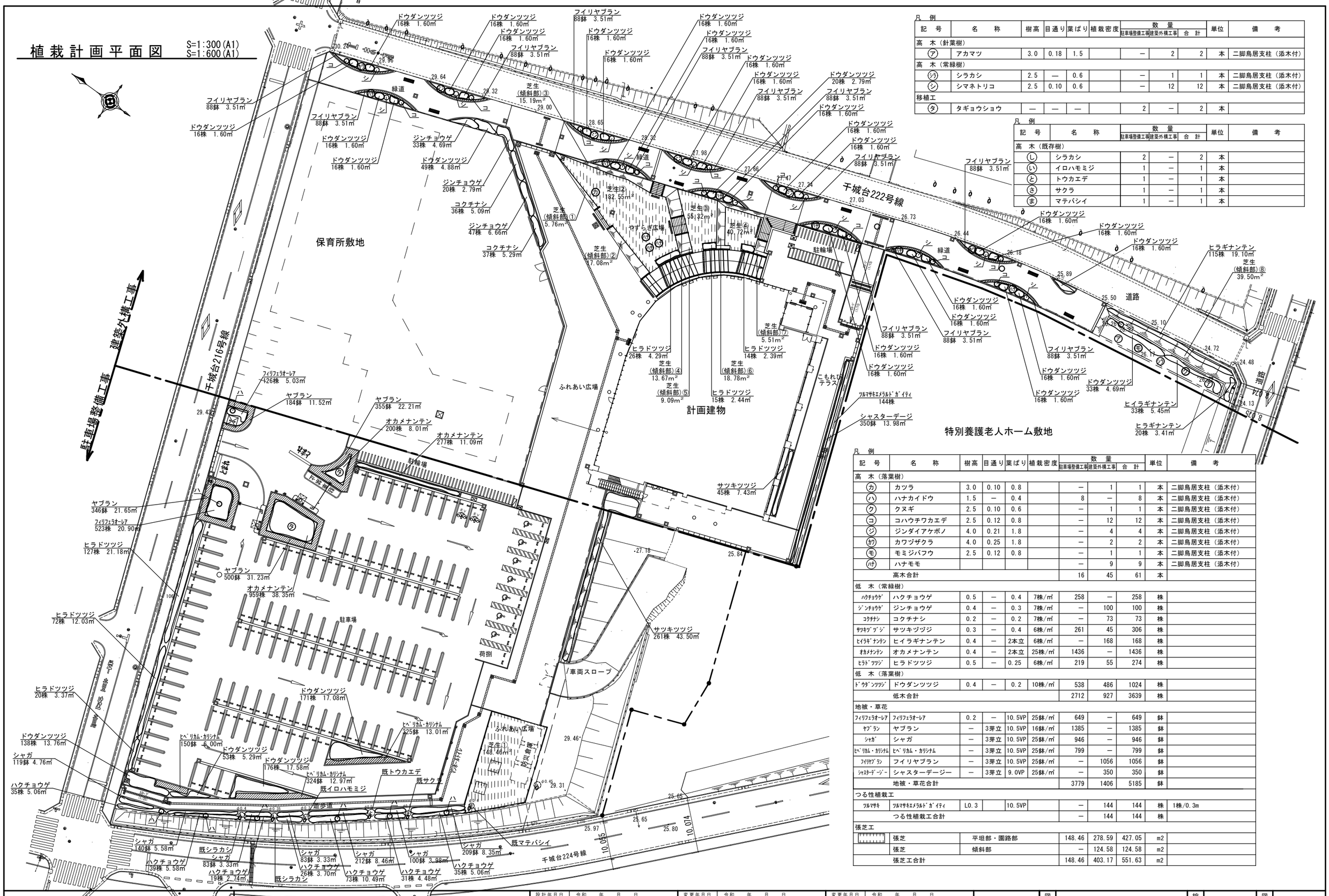
変更年月日	令和　年　月　日
特記事項	

変更年月日	令和　年　月　日
特記事項	

図面名	付帯計画平面図
縮尺	S=1:300(A1) S=1:600(A3)
図面番号	A－ 217

植栽計画平面図

S=1:300(A1)
S=1:600(A1)



凡例

記号	名称	樹高	目通り	葉ばり	植栽密度	数量 駐車場整備工事	建築外構工事	合計	単位	備考
高木（針葉樹）										
ア	アカマツ	3.0	0.18	1.5		—	2	2	本	二脚鳥居支柱（添木付）
高木（常緑樹）										
シラ	シラカシ	2.5	—	0.6		—	1	1	本	二脚鳥居支柱（添木付）
シ	シマネトリコ	2.5	0.10	0.6		—	12	12	本	二脚鳥居支柱（添木付）
移植工										
タ	タギョウショウ	—	—	—		2	—	2	本	

凡例

記号	名称	数量 駐車場整備工事	建築外構工事	合計	単位	備考
高木（既存樹）						
し	シラカシ	2	—	2	本	
い	イロハモミジ	1	—	1	本	
と	トウカエデ	1	—	1	本	
さ	サクラ	1	—	1	本	
ま	マテバシイ	1	—	1	本	

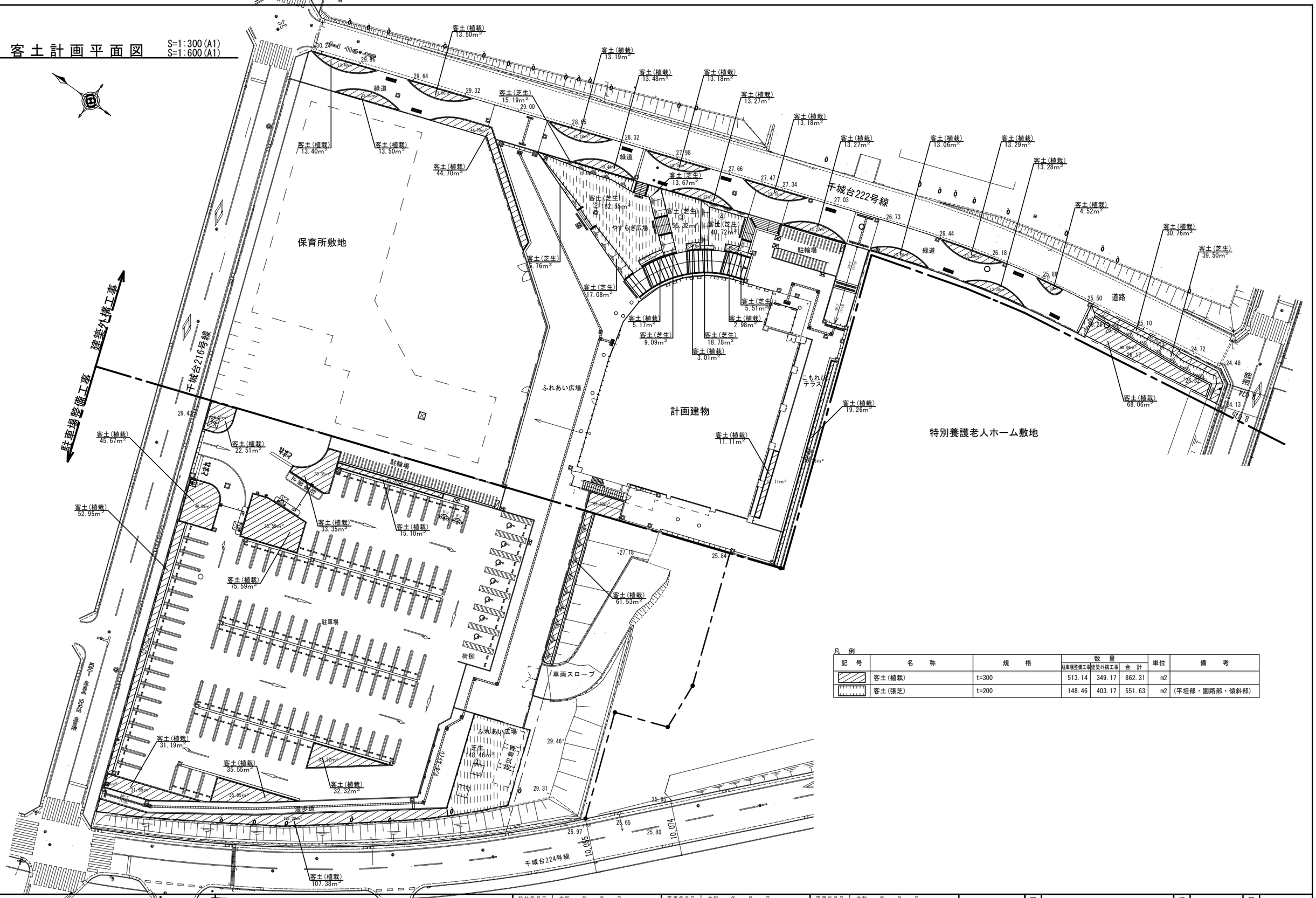
凡例

記号	名称	樹高	目通り	葉ばり	植栽密度	数量 駐車場整備工事	建築外構工事	合計	単位	備考
高木（落葉樹）										
カ	カツラ	3.0	0.10	0.8		—	1	1	本	二脚鳥居支柱（添木付）
ハ	ハナカイドウ	1.5	—	0.4		8	—	8	本	二脚鳥居支柱（添木付）
ク	クヌギ	2.5	0.10	0.6		—	1	1	本	二脚鳥居支柱（添木付）
コ	コハウチワカエデ	2.5	0.12	0.8		—	12	12	本	二脚鳥居支柱（添木付）
ジ	ジンダイアケボノ	4.0	0.21	1.8		—	4	4	本	二脚鳥居支柱（添木付）
カワ	カワヅザクラ	4.0	0.25	1.8		—	2	2	本	二脚鳥居支柱（添木付）
モ	モミジバフウ	2.5	0.12	0.8		—	1	1	本	二脚鳥居支柱（添木付）
ハナ	ハナモモ					—	9	9	本	二脚鳥居支柱（添木付）
	高木合計					16	45	61	本	
低木（常緑樹）										
ﾊｸﾁｮｳｹﾞ	ハクチョウゲ	0.5	—	0.4	7株/㎡	258	—	258	株	
ｼﾞﾝﾁｮｳｹﾞ	ジンチョウゲ	0.4	—	0.3	7株/㎡	—	100	100	株	
ｺｸﾁﾅｼ	コクチナシ	0.2	—	0.2	7株/㎡	—	73	73	株	
ｻﾂｷｸﾞﾂﾞｼﾞ	サツキツヅジ	0.3	—	0.4	6株/㎡	261	45	306	株	
ﾋｲﾗｷﾞﾅﾝﾃﾝ	ヒイラギナンテン	0.4	—	2本立	6株/㎡	—	168	168	株	
ｵｶﾒﾅﾝﾃﾝ	オカメナンテン	0.4	—	2本立	25株/㎡	1436	—	1436	株	
ﾋﾗﾄﾞﾂﾂｼﾞ	ヒラドツツジ	0.5	—	0.25	6株/㎡	219	55	274	株	
低木（落葉樹）										
ﾄﾞｳﾀﾞﾝﾂﾂｼﾞ	ドウダンツツジ	0.4	—	0.2	10株/㎡	538	486	1024	株	
	低木合計					2712	927	3639	株	
地被・草花										
ﾌｨﾘﾌｪﾗｵｰﾚｱ	フィリフェラオーレア	0.2	—	10.5VP	25鉢/㎡	649	—	649	鉢	
ﾔﾌﾞﾗﾝ	ヤブラン	—	3芽立	10.5VP	16鉢/㎡	1385	—	1385	鉢	
ｼｬｶﾞ	シャガ	—	3芽立	10.5VP	25鉢/㎡	946	—	946	鉢	
ﾋﾍﾞﾘｶﾑ・ｶﾘｼﾅﾑ	ヒベリカム・カリシナム	—	3芽立	10.5VP	25鉢/㎡	799	—	799	鉢	
ﾌｲﾘﾔﾌﾞﾗﾝ	フイリヤブラン	—	3芽立	10.5VP	25鉢/㎡	—	1056	1056	鉢	
ｼｬｽﾀｰﾃﾞｰｼﾞｰ	シャスターデージー	—	3芽立	9.0VP	25鉢/㎡	—	350	350	鉢	
	地被・草花合計					3779	1406	5185	鉢	
つる性植栽工										
ﾂﾙﾏｻｷ	ﾂﾙﾏｻｷｴﾒﾗﾙﾄﾞｶﾞｲﾃｨ	L0.3		10.5VP		—	144	144	株	1株/0.3m
	つる性植栽工合計					—	144	144	株	
張芝工										
	張芝	平坦部・園路部				148.46	278.59	427.05	m2	
	張芝	傾斜部				—	124.58	124.58	m2	
	張芝工合計					148.46	403.17	551.63	m2	

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名 植栽計画平面図	縮尺 S=1:300(A1) S=1:600(A3)	図面番号 A－218

客土計画平面図

S=1:300(A1)
S=1:600(A1)



凡 例

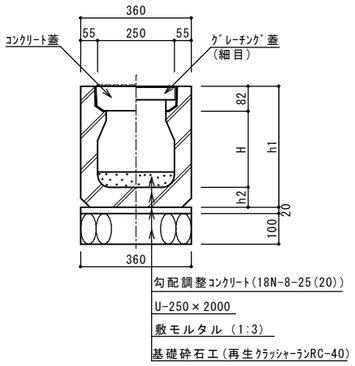
記 号	名 称	規 格	数 量 駐車場整備工事	数 量 建築外構工事	数 量 合 計	単位	備 考
	客土(植栽)	t=300	513.14	349.17	862.31	m2	
	客土(張芝)	t=200	148.46	403.17	551.63	m2	(平坦部・園路部・傾斜部)

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項		図面名	客土計画平面図	縮尺	S=1:300(A1) S=1:600(A3)	図面番号	A－ 219

長尺U型側溝A～D(U-250)

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

省スペース型

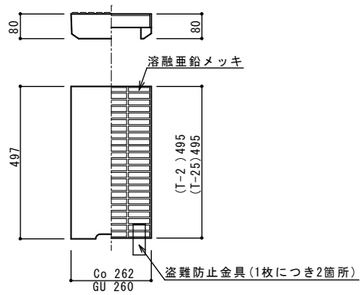


コンクリート蓋

A(歩道用)
B(車道用)
C(歩道用)
D(歩道用)

鋼鉄製

A(T-2)
B(T-25)
C(T-2)
D(T-2)



寸法表

	H	h1	h2	摘　要
250×250(A)(B)	248	395	65	参考重量 299kg
250×300(C)	298	445	65	参考重量 325kg
250×400(D)	398	545	65	参考重量 388kg

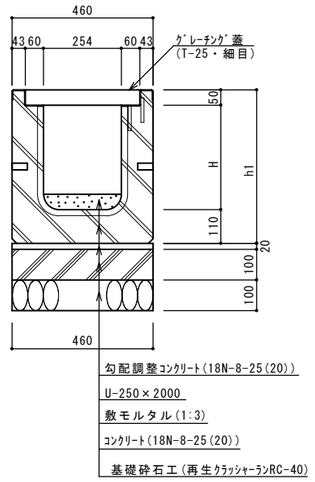
※グレーチング蓋は10mに1箇所設置

※鋼製蓋は、「C」刻印及び盗難防止金具２個付きとする。
「C」刻印サイズは8mm×8mm、
刻印位置は縦リブ右端から100mm位置。
盗難防止金具は、対角に設置。

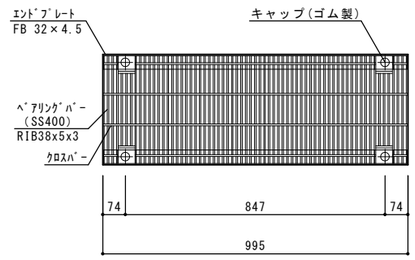
横断側溝A・B(U-250)

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

横断側溝
(ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ式)



グレーチング蓋



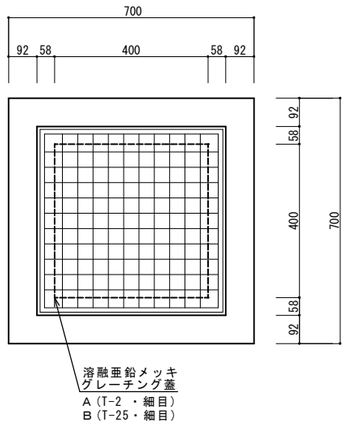
寸法表

	H	h1	摘　要
250×290(A)	290	450	参考重量 572kg
250×440(B)	440	600	参考重量 704kg

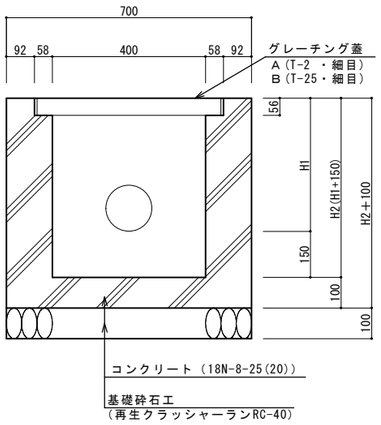
集水桝A・B(□400)

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

平面図



断面図



※H1 は排水断面図の深さを示す。

集水桝Aリスト

桝番号	桝深さ H1(m)	桝底高 H2(m)	蓋	備 考
B1-4	1.15	1.30	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
B2-1	0.36	0.51	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
B3-1	0.62	0.77	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
B3-2	1.12	1.27	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
B3-3	0.97	1.12	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
B3-4	0.46	0.61	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
C1	0.92	1.07	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
C2-1	0.91	1.06	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
C6-1	0.36	0.51	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
C6-2	0.41	0.56	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
H1	0.38	0.53	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
H2	0.92	1.07	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
H3	0.76	0.91	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
H4	0.63	0.78	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
H5	0.54	0.69	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A
H6	0.29	0.44	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-2	集水桝A

集水桝Bリスト

桝番号	桝深さ H1(m)	桝底高 H2(m)	蓋	備 考
B1-1	0.34	0.49	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
B2-5	0.76	0.91	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
C2-2	0.81	0.96	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
C2-3	0.84	0.99	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
C3-1	0.29	0.44	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
C3-2	0.83	0.98	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
C3-3	0.85	1.00	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
D1	0.28	0.43	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
D2	0.76	0.91	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
E1	0.76	0.91	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
E2	0.96	1.11	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
E3	0.81	0.96	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
F1	0.33	0.48	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B
F2	0.76	0.91	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝B

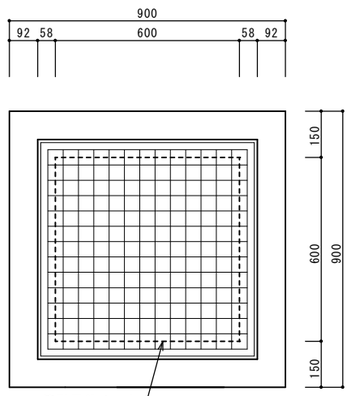
集水桝C(□600)

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

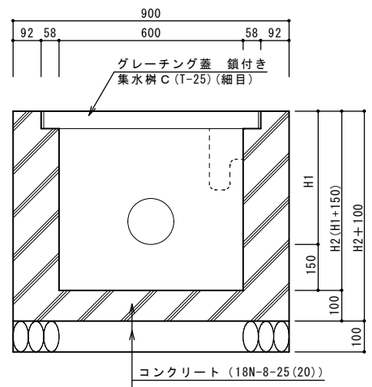
集水桝リスト

桝番号	桝深さ H1(m)	桝底高 H2(m)	蓋	備 考
B1-2	0.86	1.01	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝C
B1-3	1.43	1.58	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 T-25	集水桝C

平面図



断面図



※H1 は排水縦断図の深さを示す。

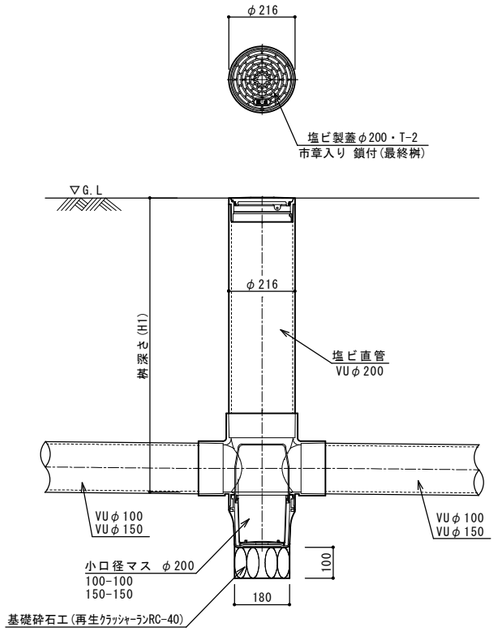
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設（仮称）新築工事	設計年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	図面名	構造図-1	縮尺	図示	図面番号	A－220

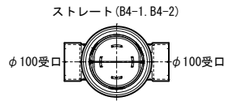
塩ビ桝A（φ200）

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

集水桝リスト

桝番号	桝深さ H1(m)	桝底高 H2(m)	蓋	備考
B4-1	0.30	—	塩ビ製蓋 T-2	塩ビ桝A
B4-2	0.27	—	塩ビ製蓋 T-2(最終桝)	塩ビ桝A



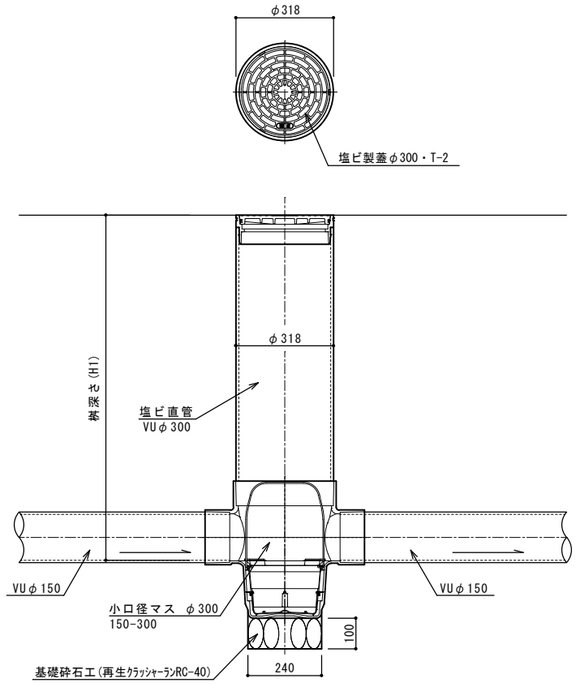


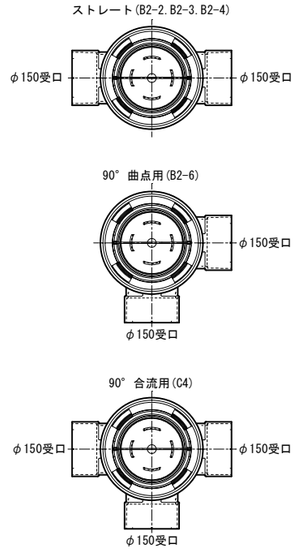
塩ビ桝B（φ300）

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

集水桝リスト

桝番号	桝深さ H1(m)	桝底高 H2(m)	蓋	備考
B2-2	0.41	—	塩ビ製蓋 T-2	塩ビ桝B
B2-3	0.46	—	塩ビ製蓋 T-2	塩ビ桝B
B2-4	0.50	—	塩ビ製蓋 T-2	塩ビ桝B
B2-6	0.36	—	塩ビ製蓋 T-2	塩ビ桝B
C4	0.39	—	塩ビ製蓋 T-2	塩ビ桝B



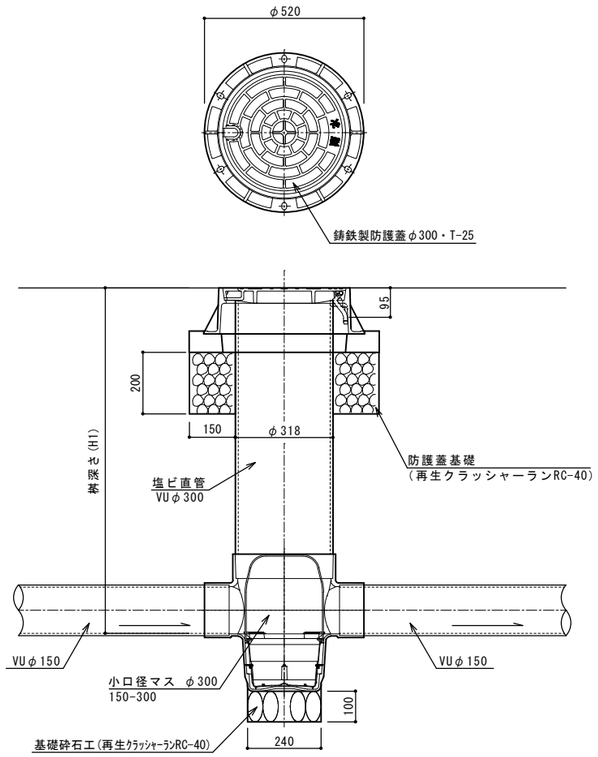


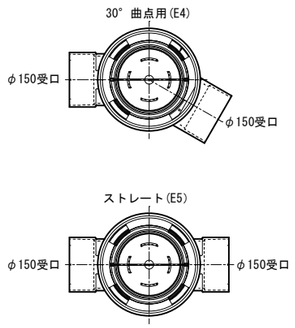
塩ビ桝C（φ300）

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

集水桝リスト

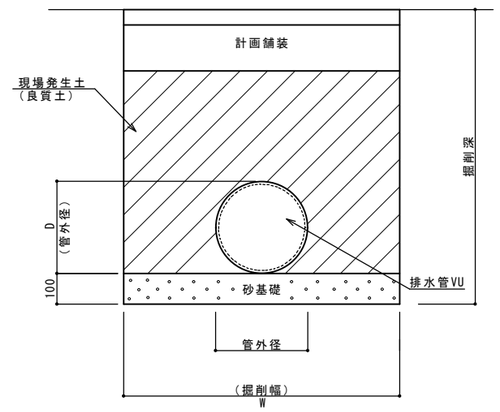
桝番号	桝深さ H1(m)	桝底高 H2(m)	蓋	備考
E4	0.92	—	鋳鉄製防護蓋 T-25	塩ビ桝C
E5	0.94	—	鋳鉄製防護蓋 T-25	塩ビ桝C





管土工

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



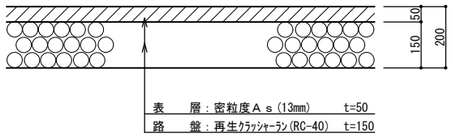
排水管寸法表 (mm)

φ	D	W
100	114	600
150	165	750
200	216	800
250	267	850

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設（仮称）新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	構造図-2	縮尺	図示	図面番号	A－221

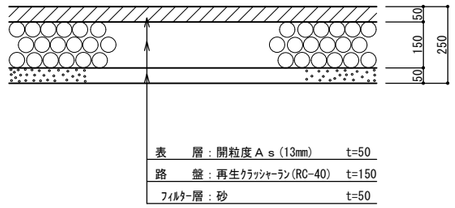
アスファルト舗装

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



透水性アスファルト舗装

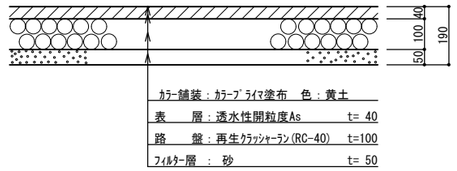
S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



透水性カラーアスファルト舗装Ａ

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

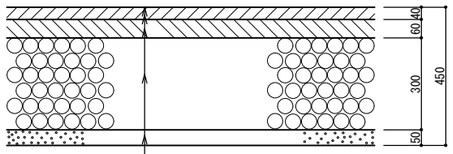
（歩道部）



透水性カラーアスファルト舗装Ｂ

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

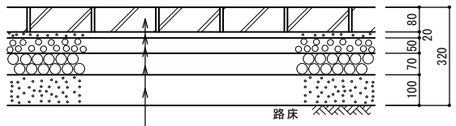
（車道部）



ｶﾗｰ舗装：ｶﾗｰﾌﾞﾗｲﾏ塗布　色：黄土
表　層：透水性開粒度As　t= 40
基　層：透水性開粒度As　t= 60
路　盤：再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(RC-40)　t=300
ﾌｨﾙﾀｰ層：砂　t= 50

透水性平板ブロック舗装(車道部)

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

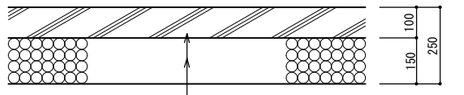


遮熱透水性平板ブロック 300×300×80
(斜めスリット加工・エコセメント含有)
クッション砂　t=20
透水シート(1.0mm)
透水性瀝青安定処理　t=50
(安定度2.45kN以上)
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ (RC-40)　t=70
フィルター層（砂）　t=100

コンクリート舗装Ａ

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

（歩道部）

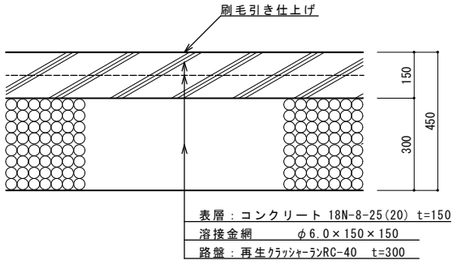


表層：コンクリート 18N-8-25(20)　t=100
路盤：再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40　t=150

コンクリート舗装Ｂ

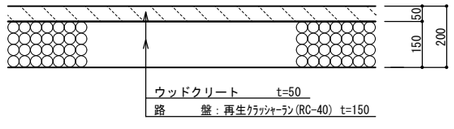
S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

（車道部）



耐久型セメント系木質舗装

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

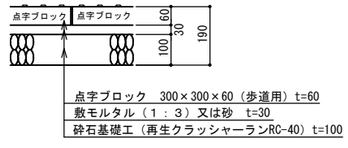


視覚障害者誘導用ブロックＡ・Ｂ

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

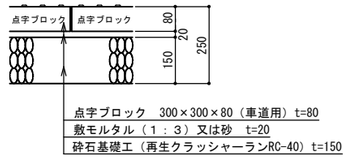
視覚障害者誘導用ブロックＡ

断面図
（歩道部）

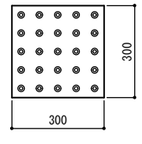


視覚障害者誘導用ブロックＢ

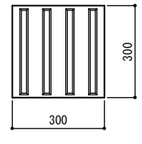
断面図
（車道部）



点状突起



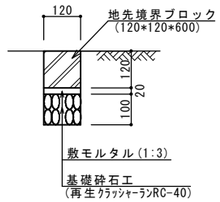
線状突起



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設（仮称）新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 / 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 / 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 / 特記事項	図面名	構造図-3	縮尺　図示	図面番号　A－222

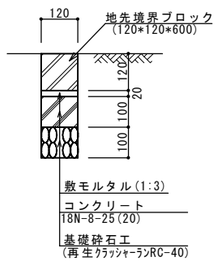
地先境界ブロックＡ

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



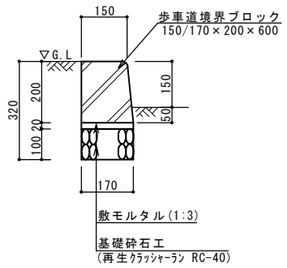
地先境界ブロックＢ

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



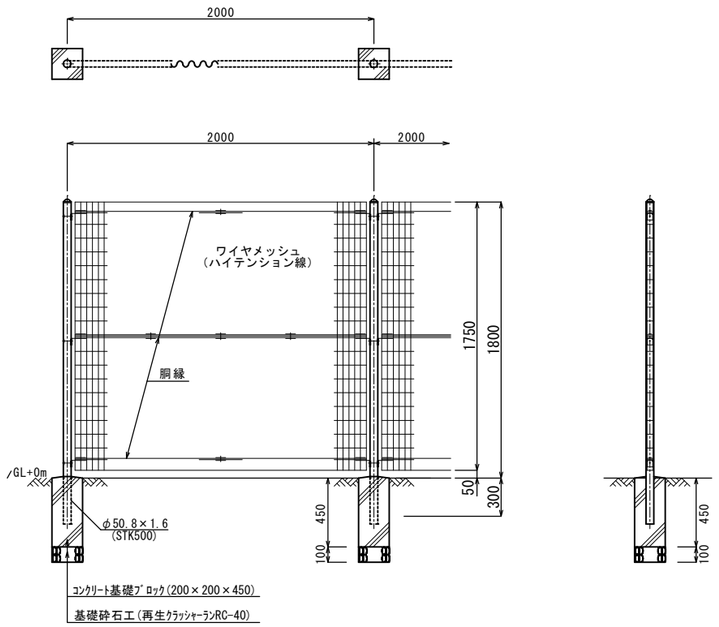
歩車道境界ブロック

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



メッシュフェンス

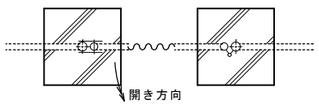
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



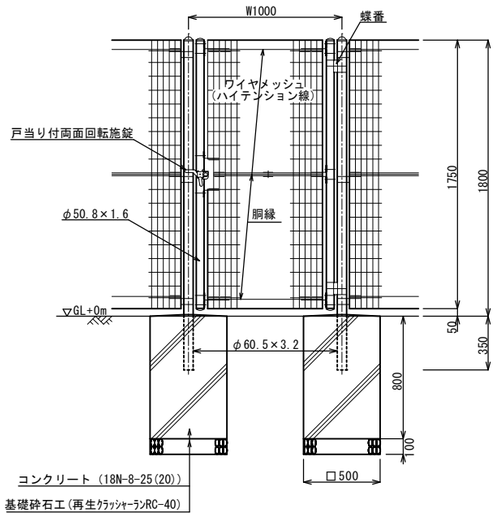
片開き門扉

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

平 面 図



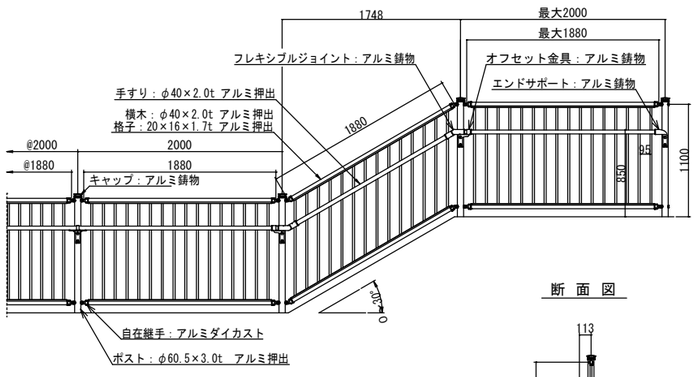
正 面 図



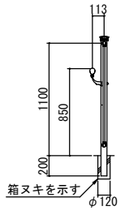
転落防止柵Ａ

S=1:30(A1)
S=1:60(A3)

正 面 図



断 面 図



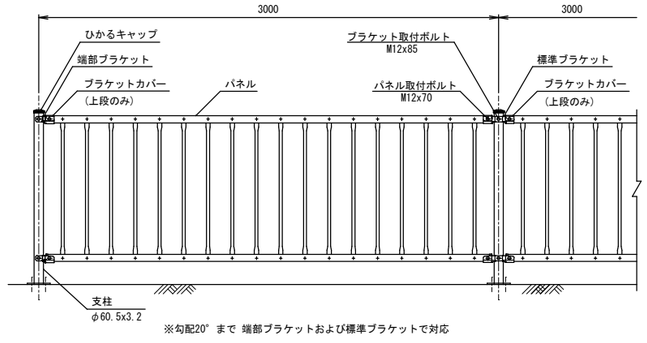
(連続基礎式)

転落防止柵・手すりはアルミ型材とし、アルマイト（メロウブラウン）仕上げとする。
アルミ鋳物はＡＣ３Ａ、もしくはＡＣ４Ｃとし、アクリル樹脂焼付塗装（メロウブラウン）仕上げとする。
アルミダイカストは、ＡＤＣ１２とし、アクリル樹脂焼付塗装（メロウブラウン）仕上げとする。
本製品は、（一社）日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
本製品は、ＩＳＯ９００１認証取得企業製品とする。
基礎寸法は、長期地耐力Ｌｆｅ＝１００ＫＮ／ｍ2　時の参考とする。

転落防止柵Ｂ

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

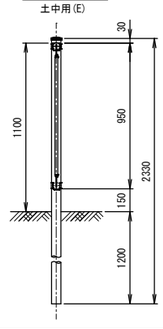
正 面 図



※勾配20°まで 端部ブラケットおよび標準ブラケットで対応

断 面 図

土中用(E)

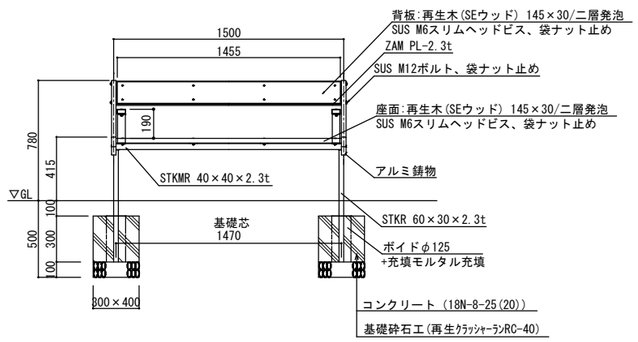


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設（仮称）新築工事	設計年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	図面名	構造図-4	縮尺	図示	図面番号	A－223
			特記事項	特記事項	特記事項						

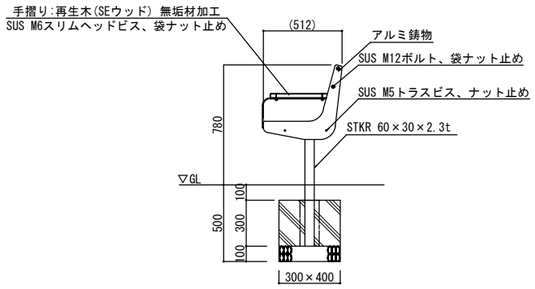
背付きベンチ

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

正 面 図



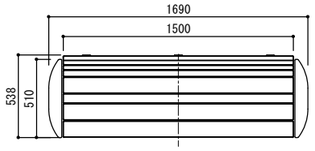
側 面 図



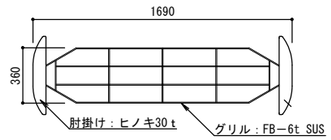
かまどベンチ

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

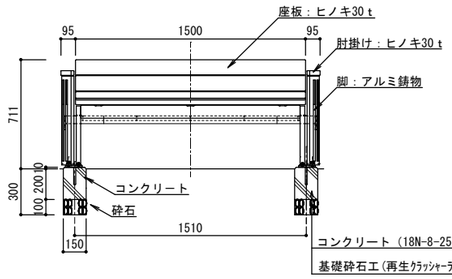
正 面 図



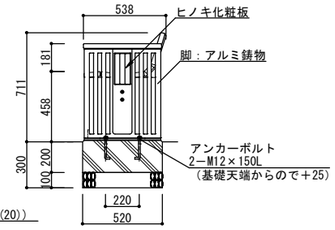
かまど使用時平面図



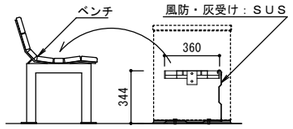
立 面 図



側 面 図



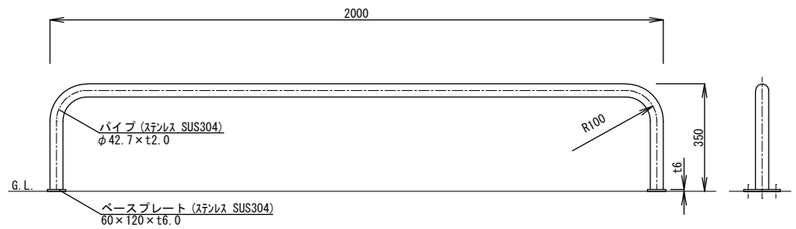
かまど使用時断面図

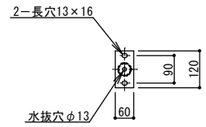


木材は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
木材は、ヒノキ（一等材）とし、カンナ・ペーパーがけの上、
木材保護着色塗料（メイプル）塗装仕上げとする。
鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、ポリエステル樹脂粉体塗装（ダークグレー）仕上げとする。
グリルは、ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）とし、２Ｂ仕上げとする。
アルミ鋳物はＡＣ３Ａとし、ウレタン樹脂塗料塗装（チャコールグレー）仕上げとする。
本製品は、（一社）日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
本製品は、ＩＳＯ９００１認証取得企業製品とする。

自転車柵

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

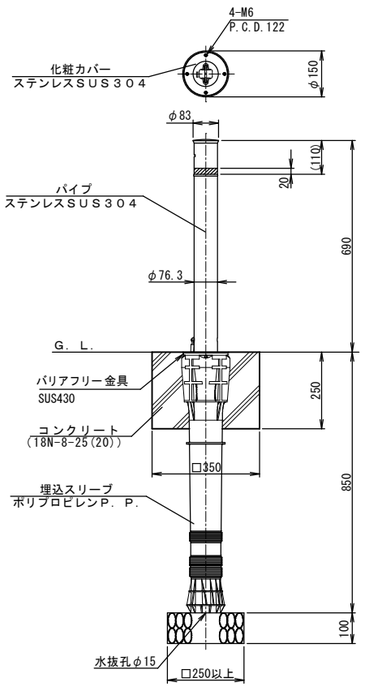




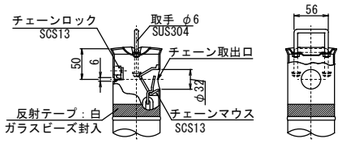
車止めＡ・Ｂ

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

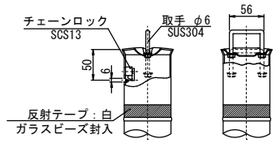
正面図 S=1:10(A1) S=1:20(A3)



車止めＡ(鎖付き部) 頭部取手詳細図 S=1: 5(A1) S=1:10(A3)

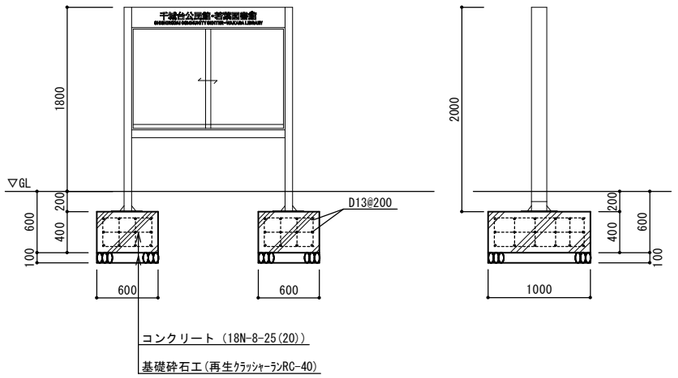


車止めＢ(最終端部) 頭部取手詳細図 S=1: 5(A1) S=1:10(A3)



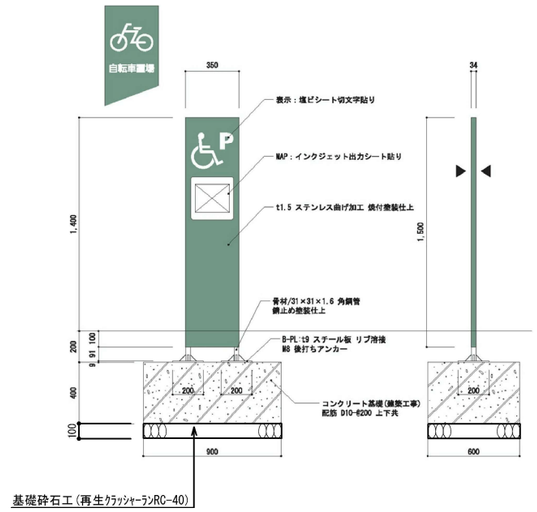
自立型ポスターケース(基礎)

S=1:30(A1)
S=1:60(A3)



自立型誘導・名称サイン(基礎)

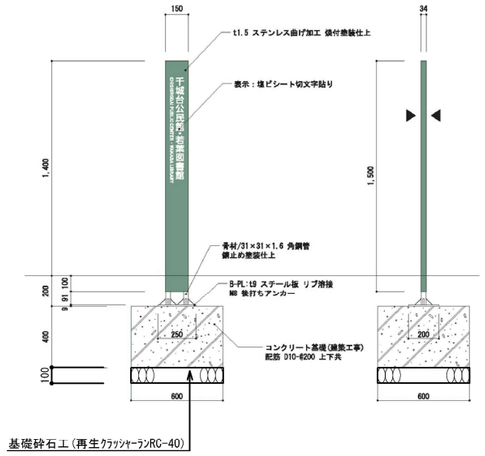
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設（仮称）新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	図面名	構造図-5	縮尺 図示	図面番号 A − 224

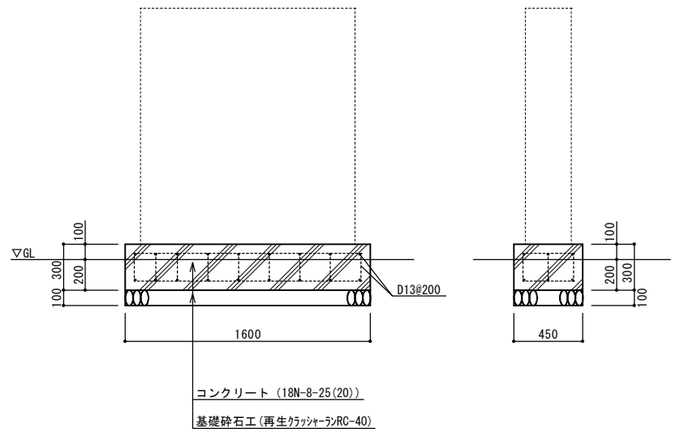
小道名称サイン（基礎）

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



分電盤（基礎）

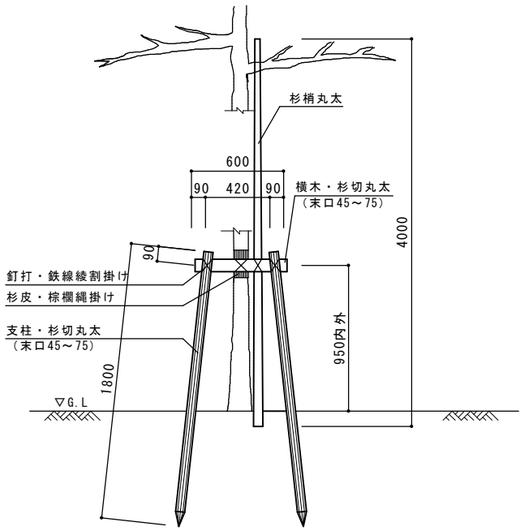
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



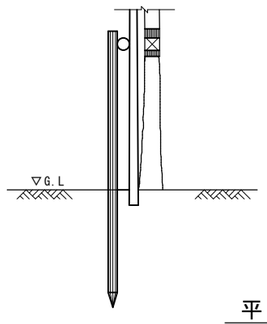
二脚鳥居支柱（添木付）

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

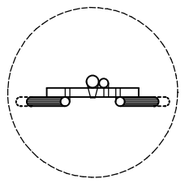
側面図



側面図



平面図



１０組当り

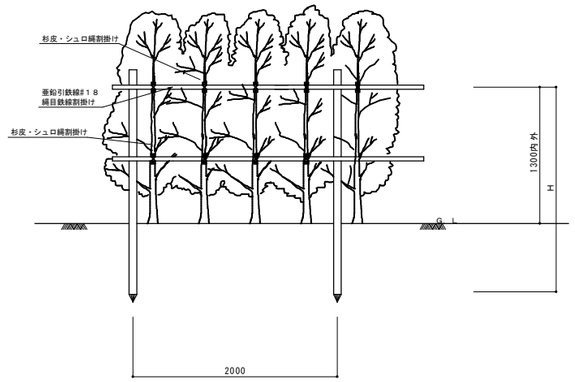
名　　称	規　　格	単位	数　量	備　考
支柱用丸太･ｸﾚｵｿｰﾄ加工品	末口径6.0cm長さ1.8m	本	20.0	支柱・杉切丸太
支柱用丸太･ｸﾚｵｿｰﾄ加工品	末口径6.0cm長さ0.6m	本	10.0	横木・杉切丸太
添柱	末口径3.0cm長さ4.0m	本	10.0	杉梢丸太･元口径6.0cm長さ4.0m

※　雑材料：杉皮・シュロ縄・釘・鉄線（なまし鉄線#10）など

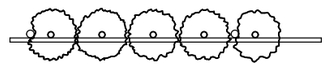
生垣支柱工

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

背面図



平面図



生　垣　支　柱　工　　統単Ｌ０１３　　１０組当り

名　　称	規　　格	単位	生垣タイプ ３本植栽/m	備　考
支　　柱	真竹１２本束	本	6.0	
横　　木	真竹１２本束	本	0.42	
結　束　材	鉄．鉄線．杉皮 シュロ縄など	本	1	

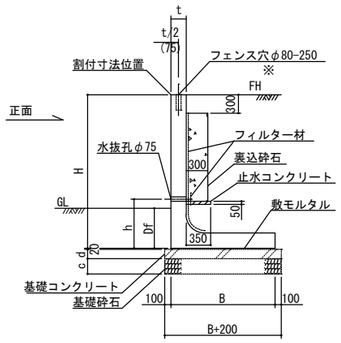
Ｈ＝0.5m以上3.0m未満

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設（仮称）新築工事	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	構造図-6	縮尺	図示	図面番号	A－225
			特記事項		特記事項		特記事項							

擁壁詳細図－1

L型擁壁詳細図

S=1: 50(A1)
S=1:100(A3)



Vタッチウォール

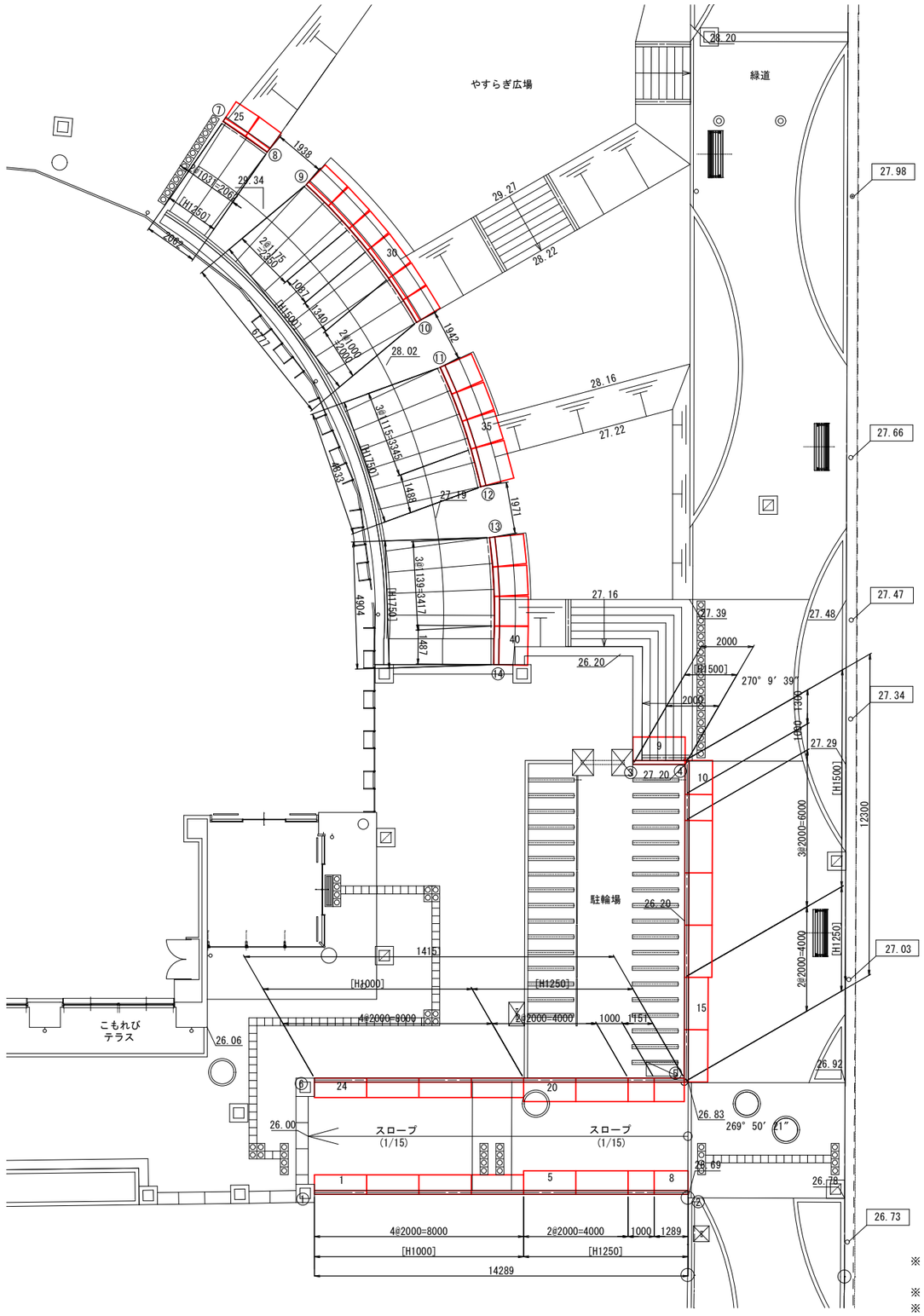
Vタッチウォール

H	B	t	c	d	h	必要地耐力 (KN/m2)
1000	750	150	200	100	550	62.59
1250	900	150	200	100	750	75.82
1500	1050	150	200	100	750	143.73
1750	1300	200	200	100	850	141.42

※ h:標準位置
※ 記載する必要地耐力を上回るものとする。

平　面　図

S=1:100(A1)
S=1:200(A3)



設計条件（宅造）

項	目	単 位	数 値
裏込め土	内部摩擦角 φ	°	25
	単位体積重量 γ	kN/m3	18
基礎地盤	滑動摩擦係数 μ	－	tanφ = 0.466
常　時	載荷重 q	kN/m2	10 (固定荷重)
地 震 時	設計水平震度 kh	－	大地震：0.25
防護柵荷重	水平推力 P	kN/m	ﾌｪﾝｽ荷重：1.0
	天端からの作用高さ	m	1.1
嵩上げ盛土	勾配1:n,盛土高ho	m	なし
設計基準「宅地防災ﾏﾆｭｱﾙの解説[第三次改訂版]」(R4)ぎょうせい			

※ 岩盤に接着して設置する場合を除き、根入れ深さDfは、前壁高さの15/100(その値が35cmに満たないときは35cm)以上とすること。ただし、擁壁の設置される基礎地盤の内部摩擦角が30度未満であるときは、前壁高さの20/100(その値が45cmに満たないときは45cm)以上とすること。
※ 基礎地盤の許容応力度は必要地耐力以上(標準構造図或いは構造計算書参照)とすること。

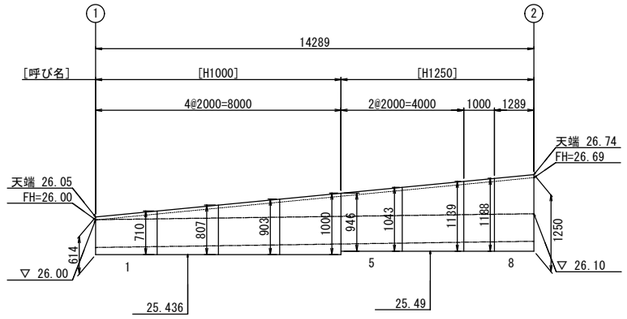
※ [　]内は製品呼び名、(　)内寸法は製品寸法を示す。
特記なき場合の製品寸法は割付寸法-3mmとする。
※ 水抜穴高hは擁壁高が確定後に位置を決めることとする。
※ 民民境界等で水抜穴が配置出来ない場合は、別途暗渠排水等の排水処理を要する。

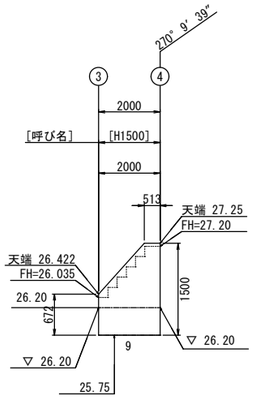
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設（仮称）新築工事	設計年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	図面名	擁壁詳細図-1	縮尺	図示	図面番号	A－226

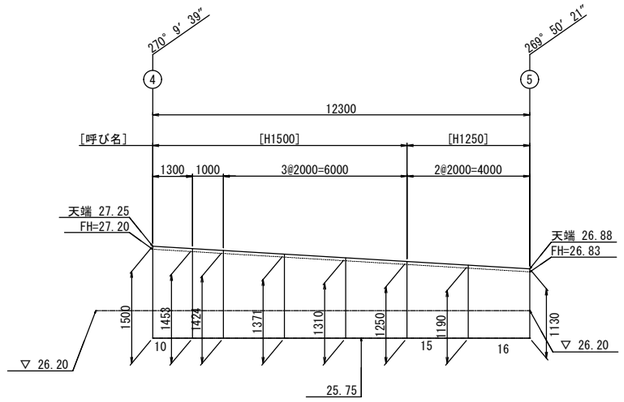
擁壁詳細図－２

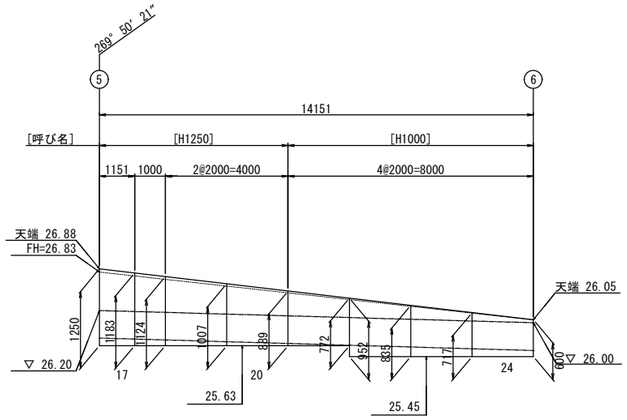
正 面 展 開 図(1)

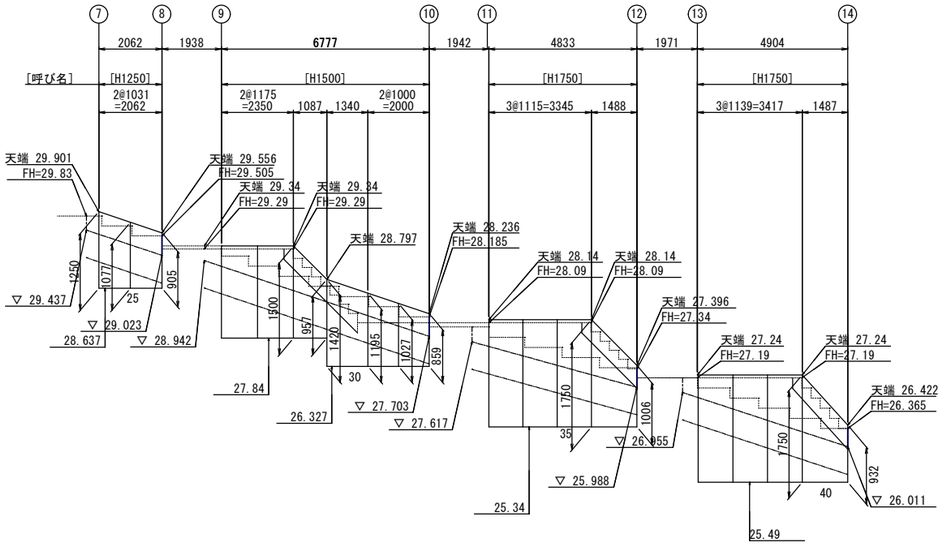
V=1: 50(A1)
H=1:100(A1)
V=1:100(A3)
H=1:200(A3)





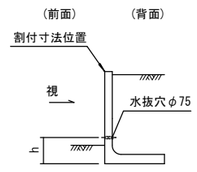






数 量 表	Vタッチウォール									
呼び名	寸 法			直 線 部					延長	必要地耐力
[ ]	H(mm)	B(mm)	t(mm)	L-2000	L-1500	L-1000	短 尺	底版斜切	L(mm)	(kN/m2)
H1000	1000	750	150	8					16000	62.59
H1250	1250	900	150	6		2	4		18502	75.85
H1500	1500	1050	150	4		3	5		17077	88.28
H1750	1750	1300	200				8		9737	91.65
									61316	

凡 例



背面地盤線

前面地盤線

必要根入線

※ [ ]内は製品呼び名、( )内寸法は製品寸法を示す。
特記なき場合の製品寸法は割付寸法-3mmとする。
※ 水抜穴高hは擁壁高が確定後に位置を決めることとする。
※ 民民境界等で水抜穴が配置出来ない場合は、別途暗渠排水等の排水処理を要する。

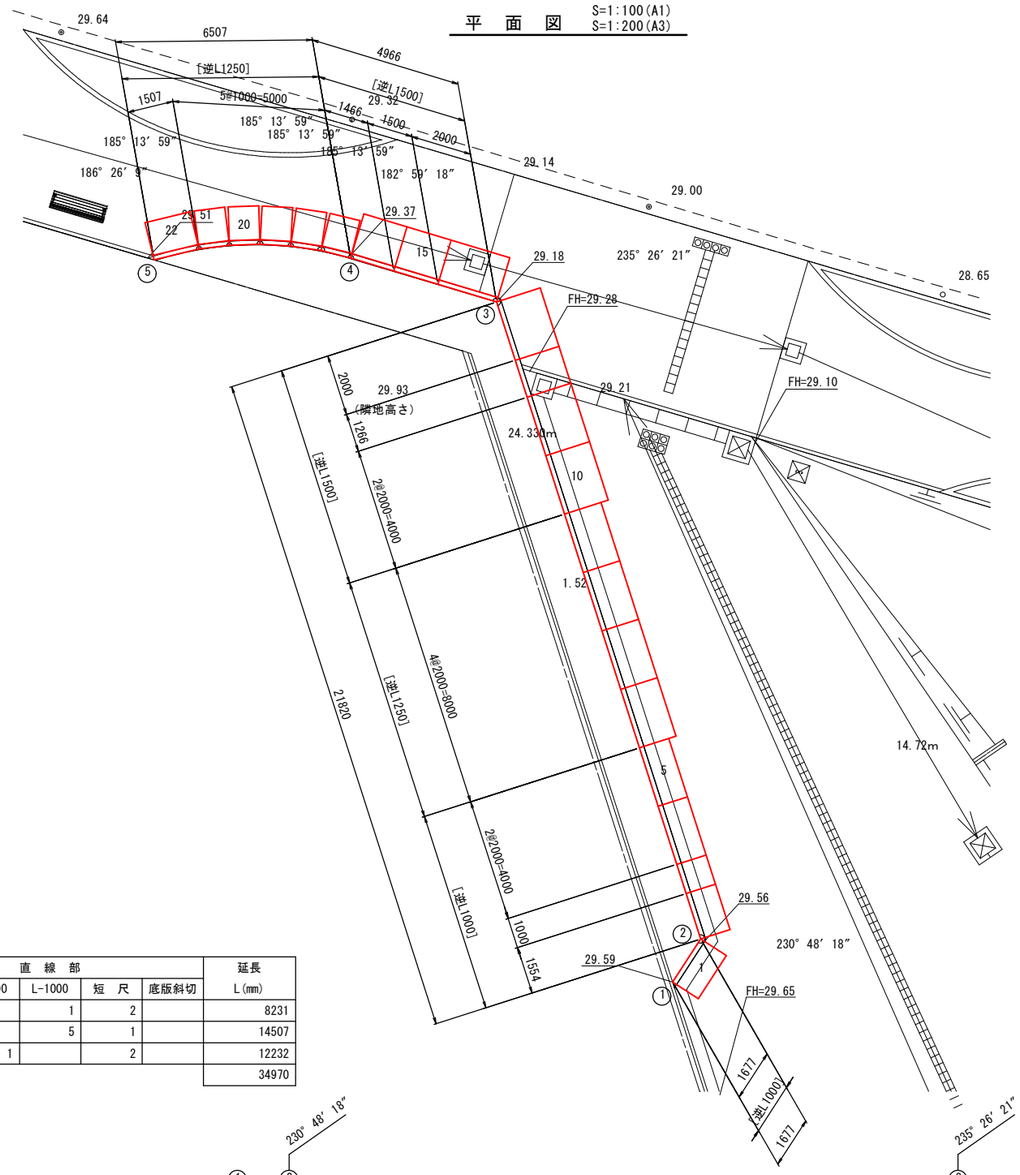
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設（仮称）新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	擁壁詳細図-2	縮尺	図示	図面番号 A－227

擁壁詳細図－3

逆Ｌ型擁壁割付図

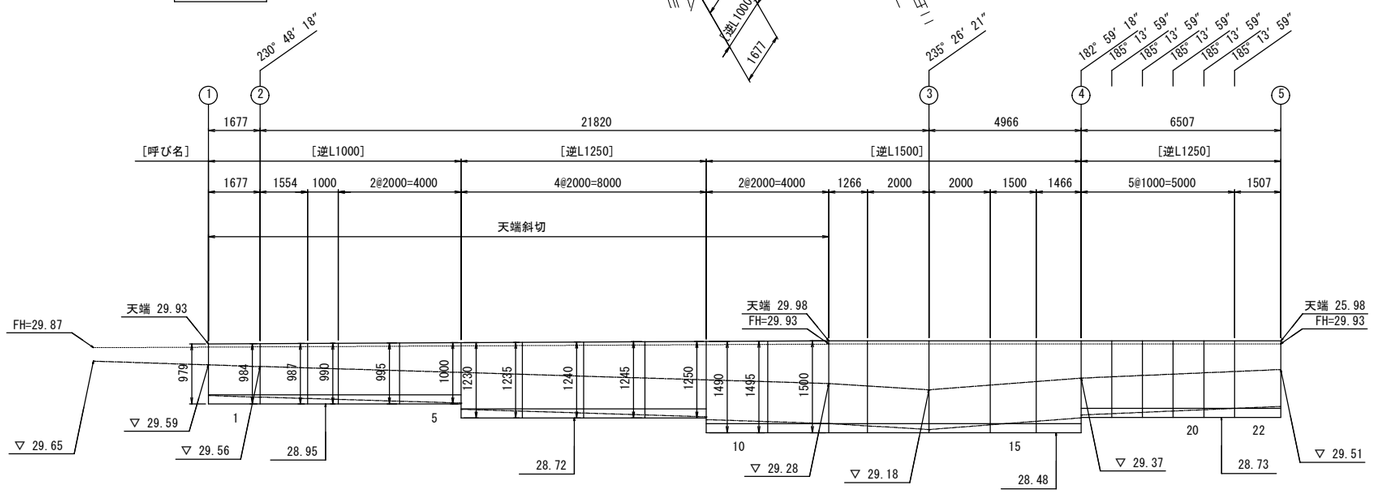
平面図

S=1:100(A1)
S=1:200(A3)



展開図

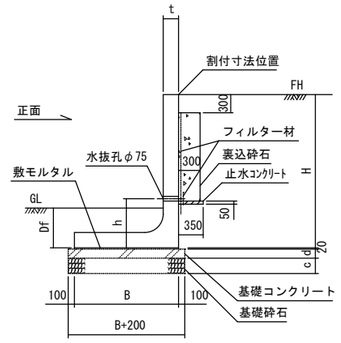
V=1: 50(A1)
H=1:100(A1)
V=1:100(A3)
H=1:200(A3)



設計条件（宅造）

項目		単位	数値
裏込め土	内部摩擦角 φ	°	30
	単位体積重量 γ	kN/m3	18
基礎地盤	滑動摩擦係数 μ	－	tanφ = 0.466
常時	載荷重 q	kN/m2	10（固定荷重）
地震時	設計水平震度 kh	－	なし
防護柵荷重	水平推力 P	kN/m	なし
	天端からの作用高さ	m	なし
嵩上げ盛土	勾配1:n,盛土高ho	m	なし
設計基準「宅地防災ﾏﾆｭｱﾙの解説[第三次改訂版]」(R4)ぎょうせい			

※ 岩盤に接着して設置する場合を除き、根入れ深さDfは、前壁高さの15/100(その値が35cmに満たないときは35cm)以上とすること。ただし、擁壁の設置される基礎地盤の内部摩擦角が30度未満であるときは、前壁高さの20/100(その値が45cmに満たないときは45cm)以上とすること。
※ 基礎地盤の許容応力度は必要地耐力以上(標準構造図或いは構造計算書参照)とすること。



逆Ｌ型Ｖタッチウォール

Ｖタッチウォール

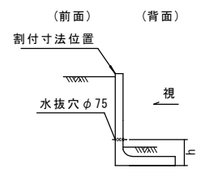
H	B	t	c	d	h	必要地耐力 (KN/m2)
1000	1000	150	200	100	550	16.11
1250	1250	150	200	100	750	18.29
1500	1500	150	200	100	750	19.60

※ h:標準位置
※ 記載する必要地耐力を上回るものとする。

数量表　逆L型Vタッチウォール

呼び名	寸法			直線部					延長
[　]	H(mm)	B(mm)	t(mm)	L-2000	L-1500	L-1000	短尺	底版斜切	L(mm)
逆LH1000	1000	1000	150	2		1	2		8231
逆LH1250	1250	1250	150	4		5	1		14507
逆LH1500	1500	1500	150	4	1		2		12232
									34970

凡例



背面地盤線
前面地盤線
必要根入線

※ [　]内は製品呼び名、(　)内寸法は製品寸法を示す。
特記なき場合の製品寸法は割付寸法-3mmとする。
※ 水抜穴高hは擁壁高が確定後に位置を決めることとする。
※ 民民境界等で水抜穴が配置出来ない場合は、別途暗渠排水等の排水処理を要する。

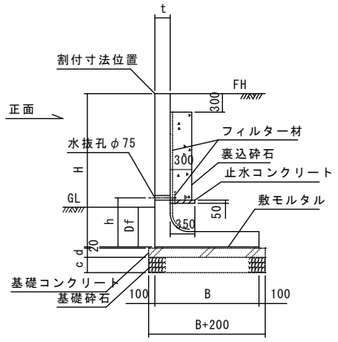
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設（仮称）新築工事	設計年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	1級建築士登録 第217273 田中明夫 一級建築士 第 296650 構造設計一級建築士 第 1034 向後裕司	図面名	擁壁詳細図-3	縮尺 図示	図面番号 A－228

擁壁詳細図－4

L型・逆L型擁壁割付図

L 型擁壁詳細図

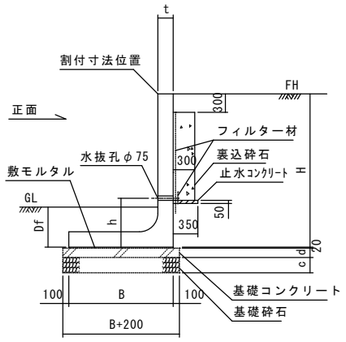
S=1: 50(A1)
S=1:100(A3)



Vタッチウォール

Vタッチウォール						
H	B	t	c	d	h	必要地耐力 (KN/m2)
1500	1050	150	200	100	750	143.73
2250	1650	200	250	150	850	169.92

※ h:標準位置
※ 記載する必要地耐力を上回るものとする。



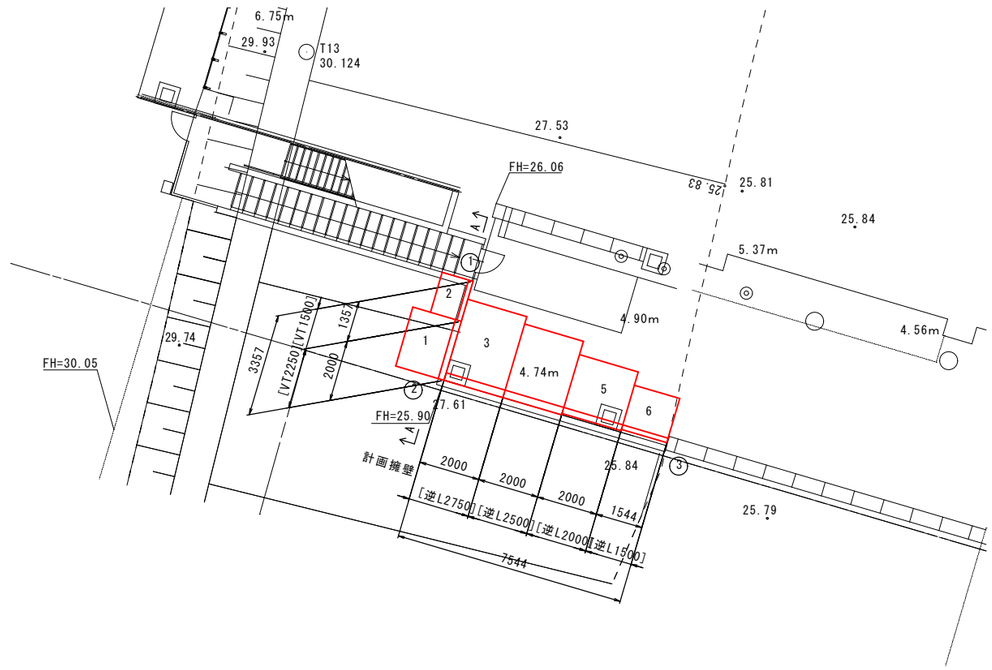
逆L型Vタッチウォール

Vタッチウォール						
H	B	t	c	d	h	必要地耐力 (KN/m2)
1500	1500	150	200	100	750	19.60
2000	2000	200	250	150	850	21.65
2500	2500	250	250	150	1050	26.34
2750	2750	250	250	150	1100	27.25

※ h:標準位置
※ 記載する必要地耐力を上回るものとする。

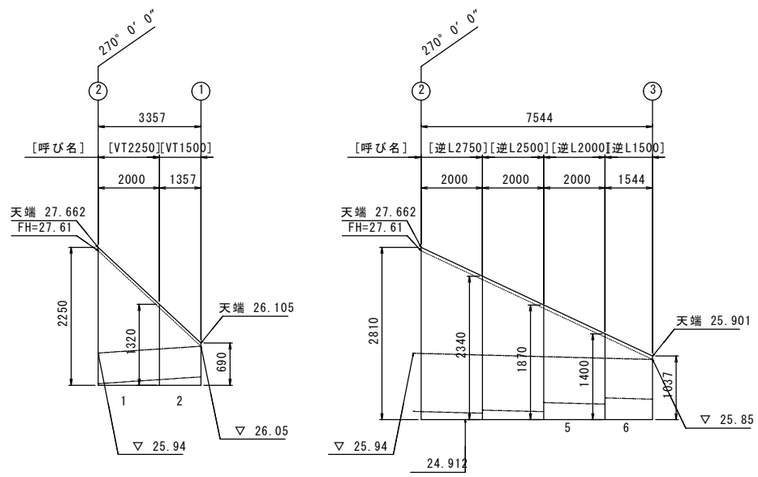
平　面　図

S=1:100(A1)
S=1:200(A3)



展　開　図

V=1: 50(A1)
H=1:100(A1)
V=1:100(A3)
H=1:200(A3)



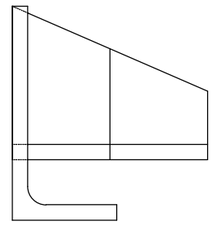
設計条件（宅造）

項目		単位	数値
裏込め土	内部摩擦角 φ	°	25
	単位体積重量 γ	kN/m3	18
基礎地盤	滑動摩擦係数 μ	-	tanφ = 0.466
常　時	載荷重 q	kN/m2	10 (固定荷重)
地　震　時	設計水平震度 kh	-	大地震：0.25
防護柵荷重	水平推力 P	kN/m	なし
	天端からの作用高さ	m	なし
嵩上げ盛土	勾配1:n,盛土高ho	m	なし
設計基準「宅地防災ﾏﾆｭｱﾙの解説[第三次改訂版]」(R4)ぎょうせい			

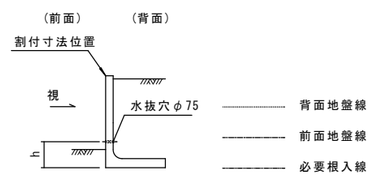
※ 岩盤に接着して設置する場合を除き、根入れ深さDfは、前壁高さの15/100(その値が35cmに満たないときは35cm)以上とすること。ただし、擁壁の設置される基礎地盤の内部摩擦角が30度未満であるときは、前壁高さの20/100(その値が45cmに満たないときは45cm)以上とすること。
※ 基礎地盤の許容応力度は必要地耐力以上(標準構造図或いは構造計算書参照)とすること。

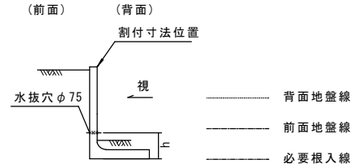
折れ点部分の天端はこのような
形状になります。

(A-A)



凡 例





数量表	Vタッチウォール								
呼び名	寸　法			直　線　部					延長
[　]	H(mm)	B(mm)	t(mm)	L-2000	L-1500	L-1000	短　尺	底版斜切	L(mm)
H1500	1500	1050	150				1		1354
H2250	2250	1650	200				1		2000
									3354

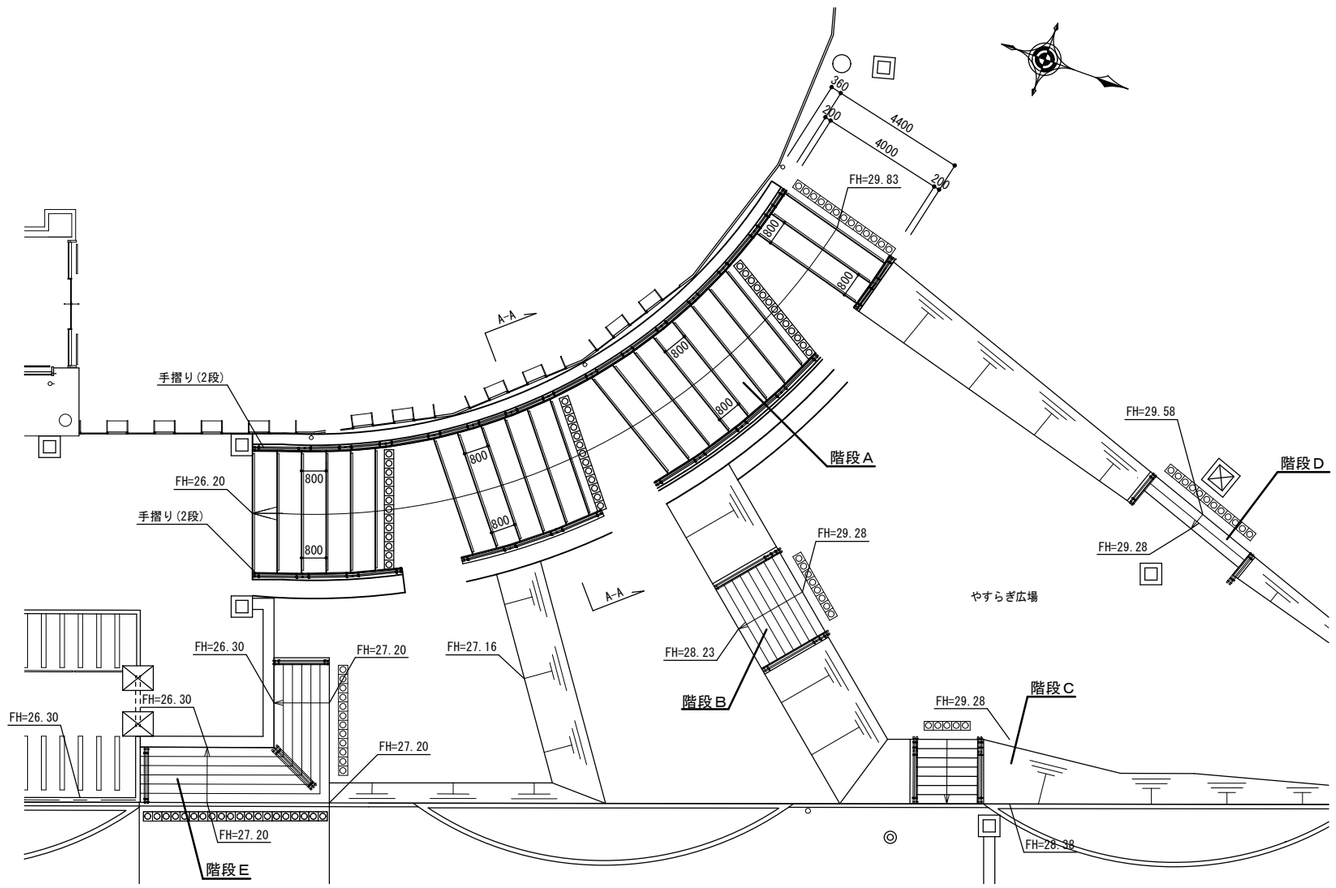
数量表	逆L型Vタッチウォール								
呼び名	寸　法			直　線　部					延長
[　]	H(mm)	B(mm)	t(mm)	L-2000	L-1500	L-1000	短　尺	底版斜切	L(mm)
逆LH1500	1500	1500	150				1		1544
逆LH2000	2000	2000	200	1					2000
逆LH2500	2500	2500	250	1					2000
逆LH2750	2750	2750	250	1					2000
									7544

※ [　]内は製品呼び名、(　)内寸法は製品寸法を示す。
特記なき場合の製品寸法は割付寸法-3mmとする。
※ 水抜穴高hは擁壁高が確定後に位置を決めることとする。
※ 民民境界等で水抜穴が配置出来ない場合は、別途暗渠排水等の排水処理を要する。

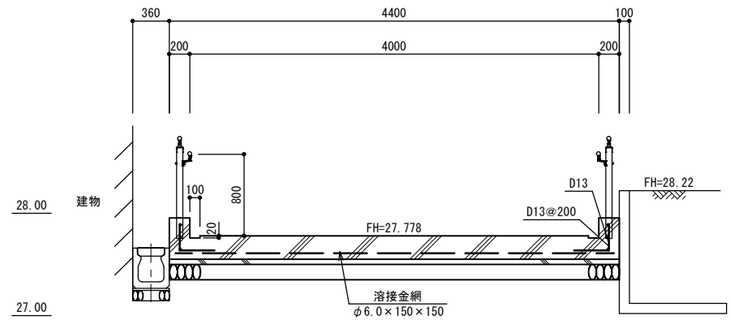
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設（仮称）新築工事	設計年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	1級建築士登録 第217273 田中明夫 一級建築士 第296650 構造設計一級建築士 第1034 向後裕司	図面名	擁壁詳細図-4	縮尺 図示	図面番号 A－229

階段詳細図-1
（階段Ａ）

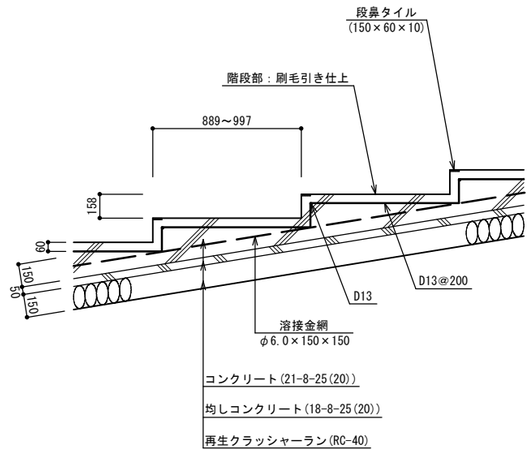
平面図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)



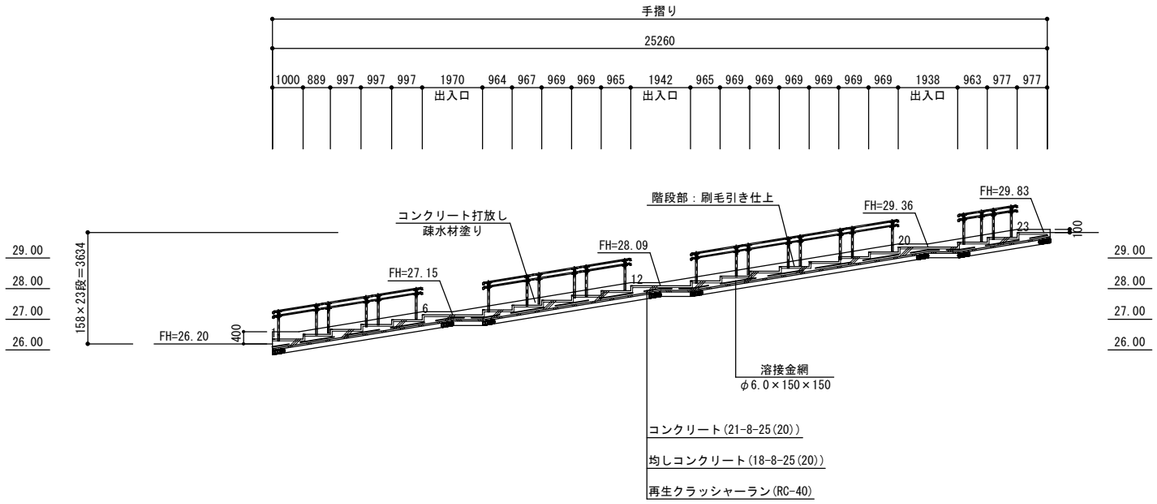
Ａ－Ａ断面図 S=1:30(A1) S=1:60(A3)



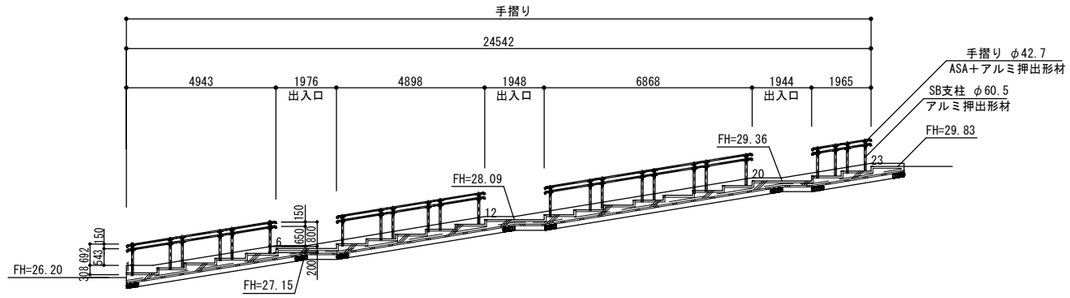
詳細図 S=1:20(A1) S=1:20(A3)



階段Ａ　側面図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)



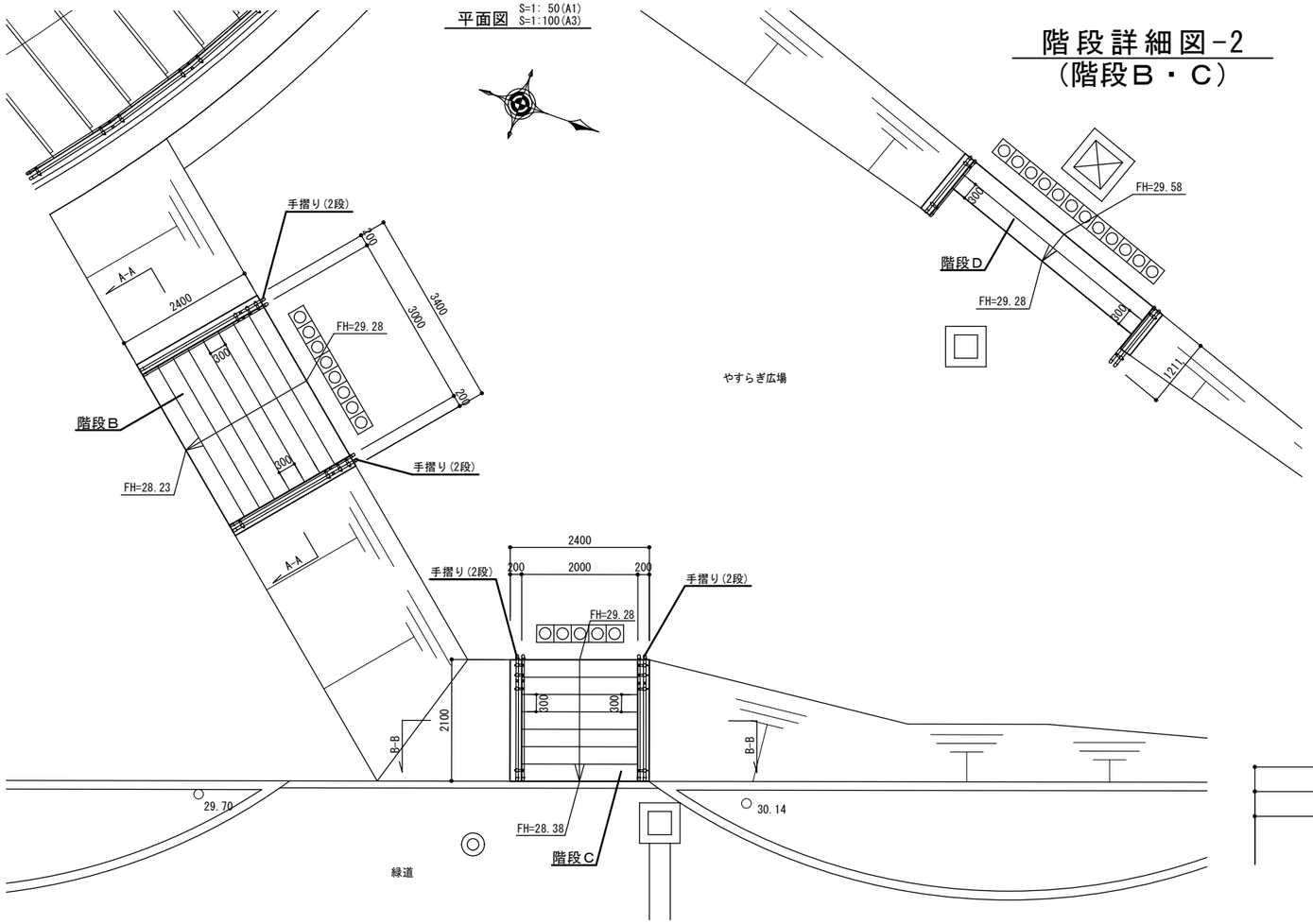
手摺り詳細図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)
階段Ａ



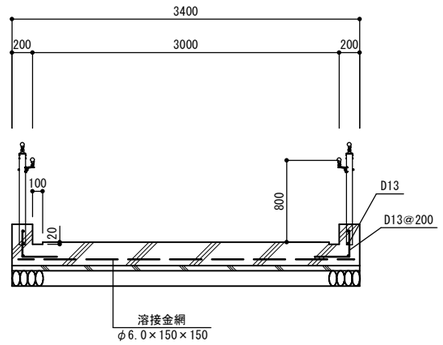
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計	設計年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	図面名	階段詳細図-1	縮尺 図示	図面番号 A－230

階段詳細図-2
（階段Ｂ・Ｃ）

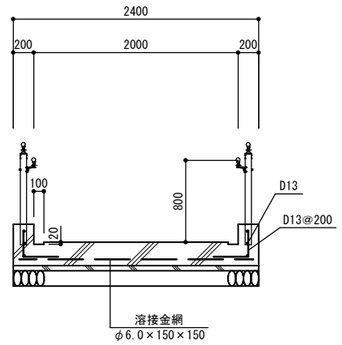
平面図 S=1: 50(A1) S=1:100(A3)



Ａ－Ａ断面図 S=1:30(A1) S=1:60(A3)

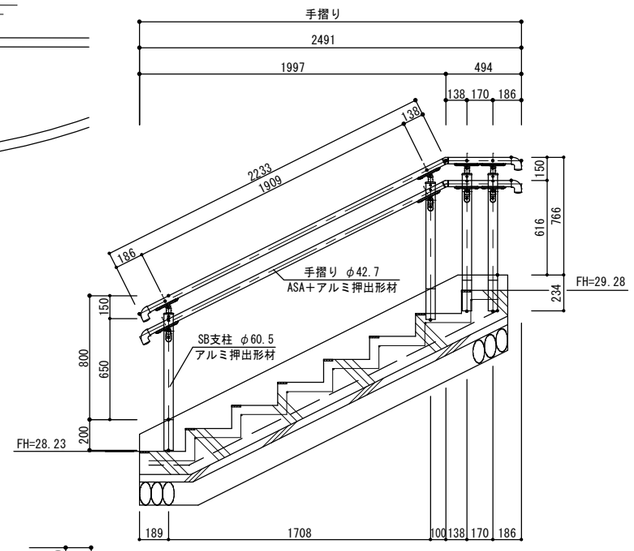


Ｂ－Ｂ断面図 S=1:30(A1) S=1:60(A3)

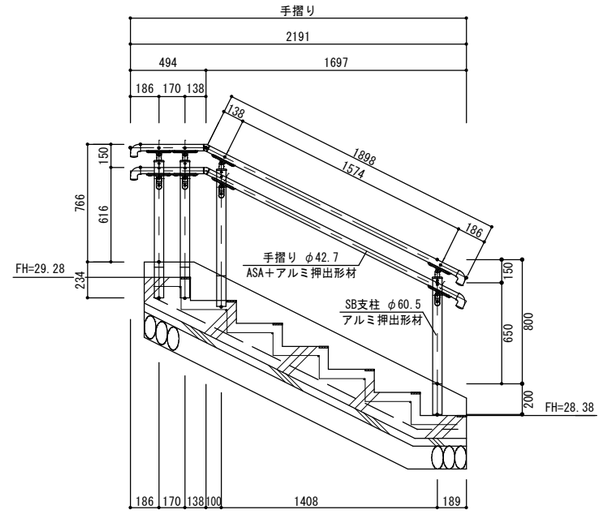


手摺り詳細図 S=1:20(A1) S=1:40(A3)

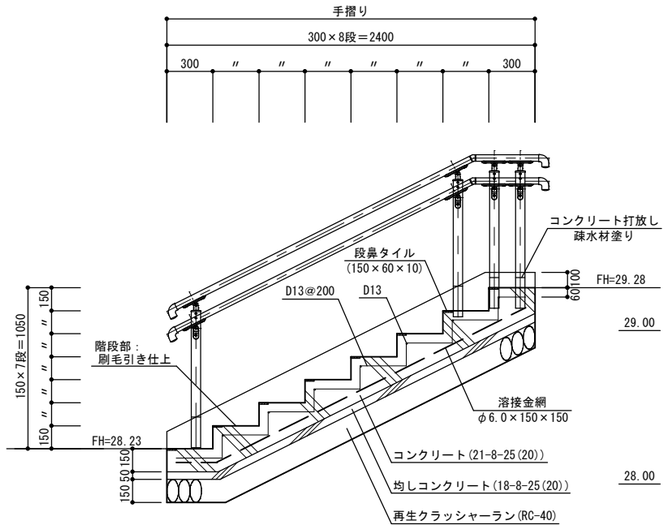
階段Ｂ



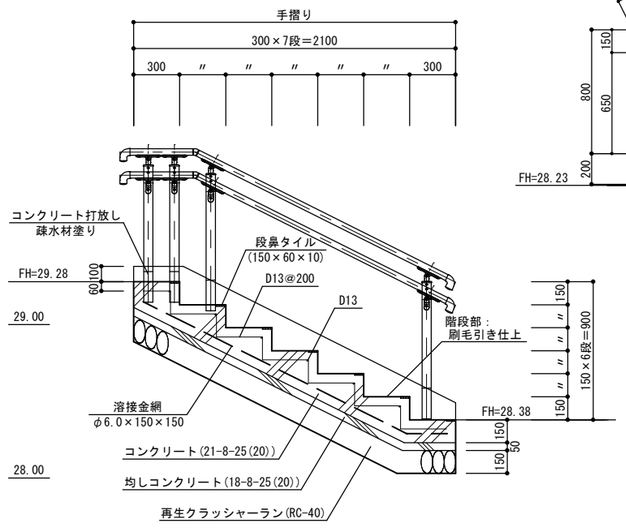
階段Ｃ



階段Ｂ 側面図 S=1:20(A1) S=1:40(A3)



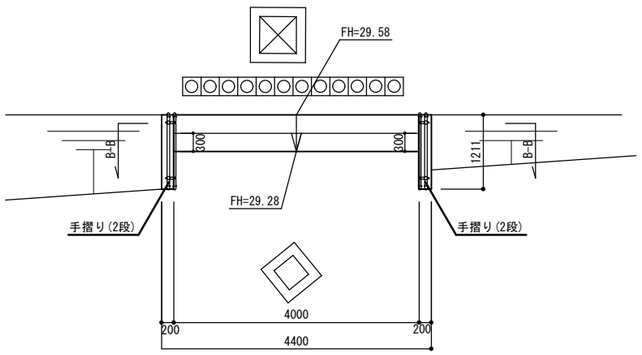
階段Ｃ 側面図 S=1:20(A1) S=1:40(A3)



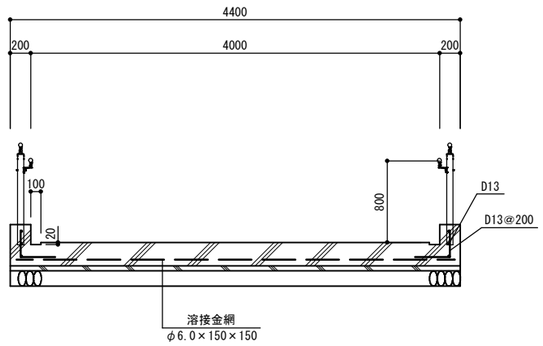
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計	設計年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	図面名	階段詳細図-2	縮尺 図示	図面番号 A－231

階段詳細図-3
（階段Ｄ・Ｅ）

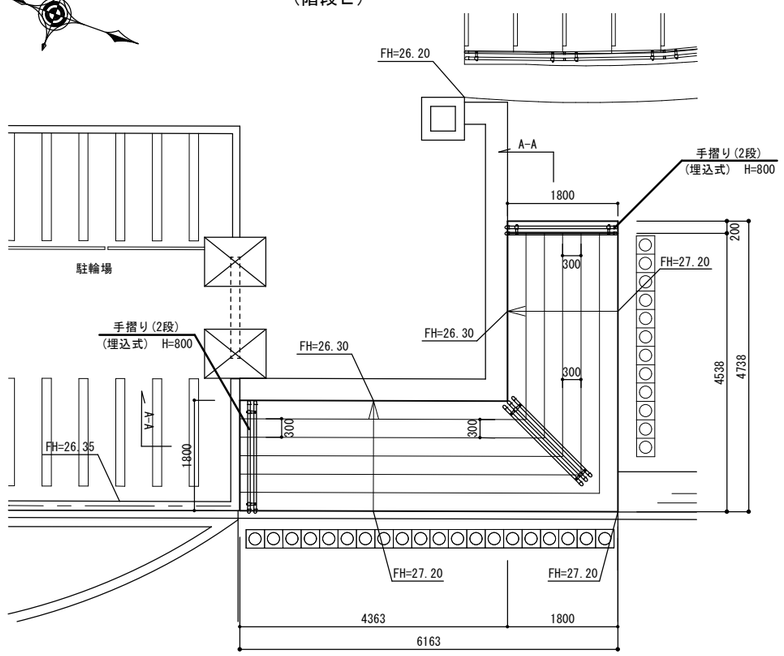
平面図 S=1: 50(A1) S=1:100(A3)
（階段Ｄ）



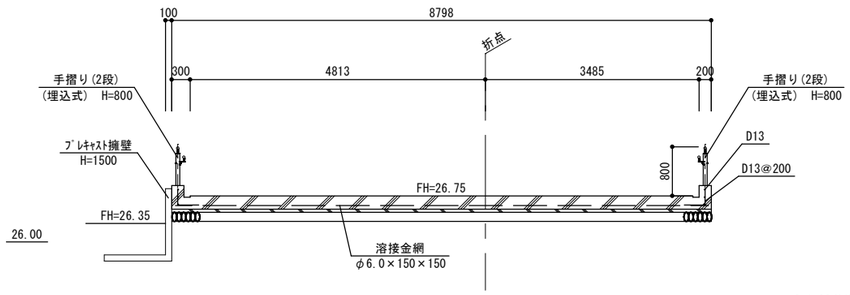
Ｂ－Ｂ断面図 S=1:30(A1) S=1:60(A3)



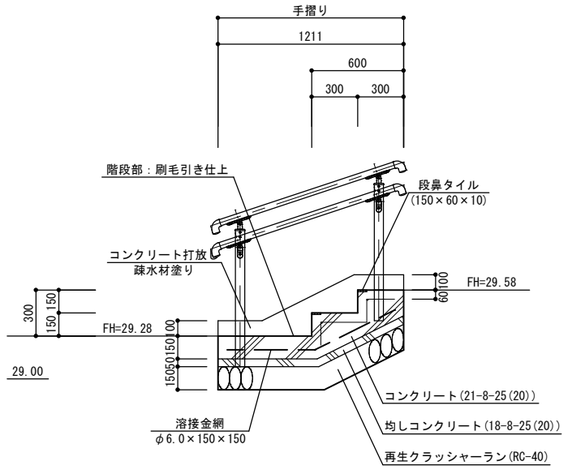
平面図 S=1: 50(A1) S=1:100(A3)
（階段Ｅ）



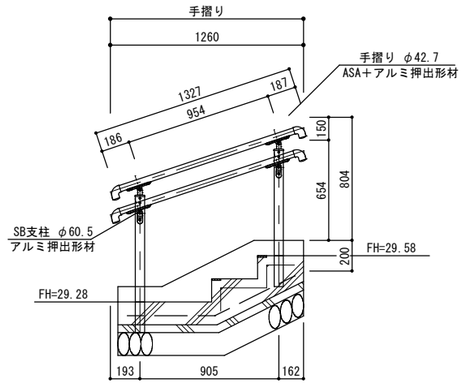
Ａ－Ａ断面図 S=1: 50(A1) S=1:100(A3)



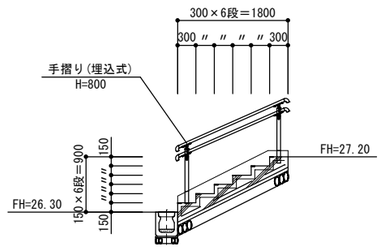
階段Ｄ 側面図 S=1:20(A1) S=1:40(A3)



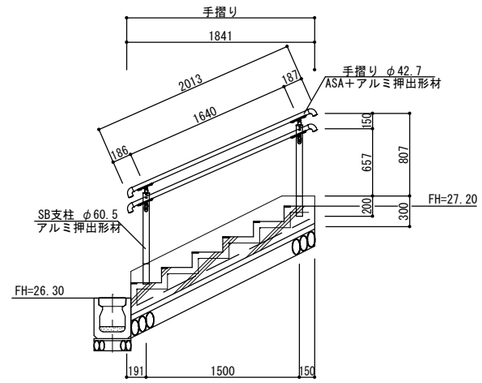
手摺り詳細図 S=1:20(A1) S=1:40(A3)
階段Ｄ



階段Ｅ 側面図 S=1: 50(A1) S=1:100(A3)



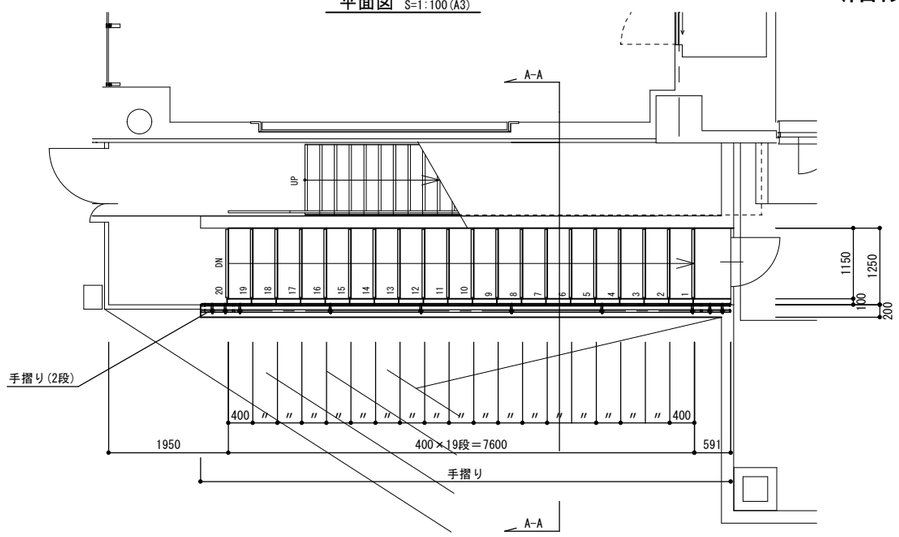
手摺り詳細図 S=1:30(A1) S=1:60(A3)
階段Ｅ



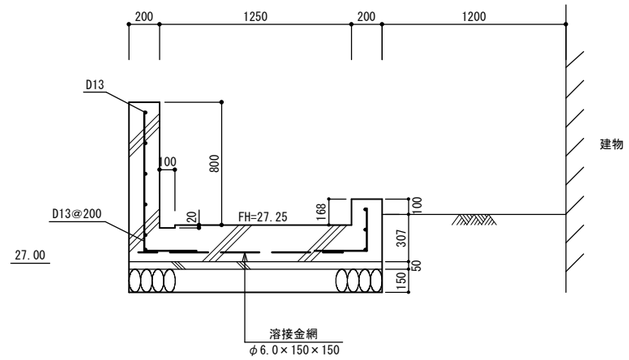
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項		図面名	階段詳細図-3	縮尺	図示	図面番号	A－232

階段詳細図-4
（階段Ｆ）

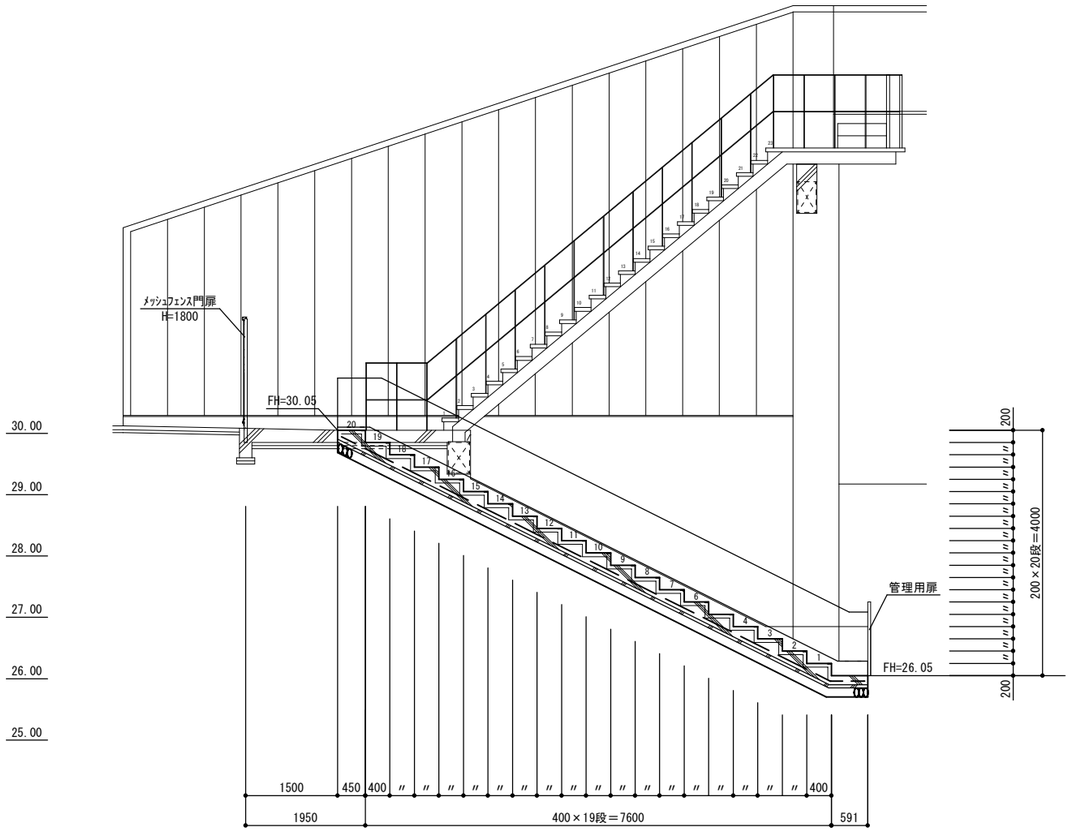
平面図 S=1: 50(A1) S=1:100(A3)



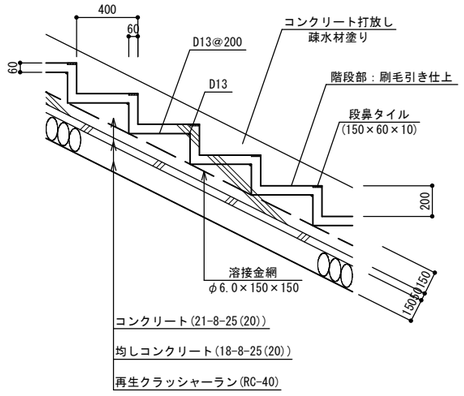
Ａ－Ａ断面図 S=1:20(A1) S=1:10(A3)



側面図 S=1: 50(A1) S=1:100(A3)



詳細図 S=1:20(A1) S=1:20(A3)



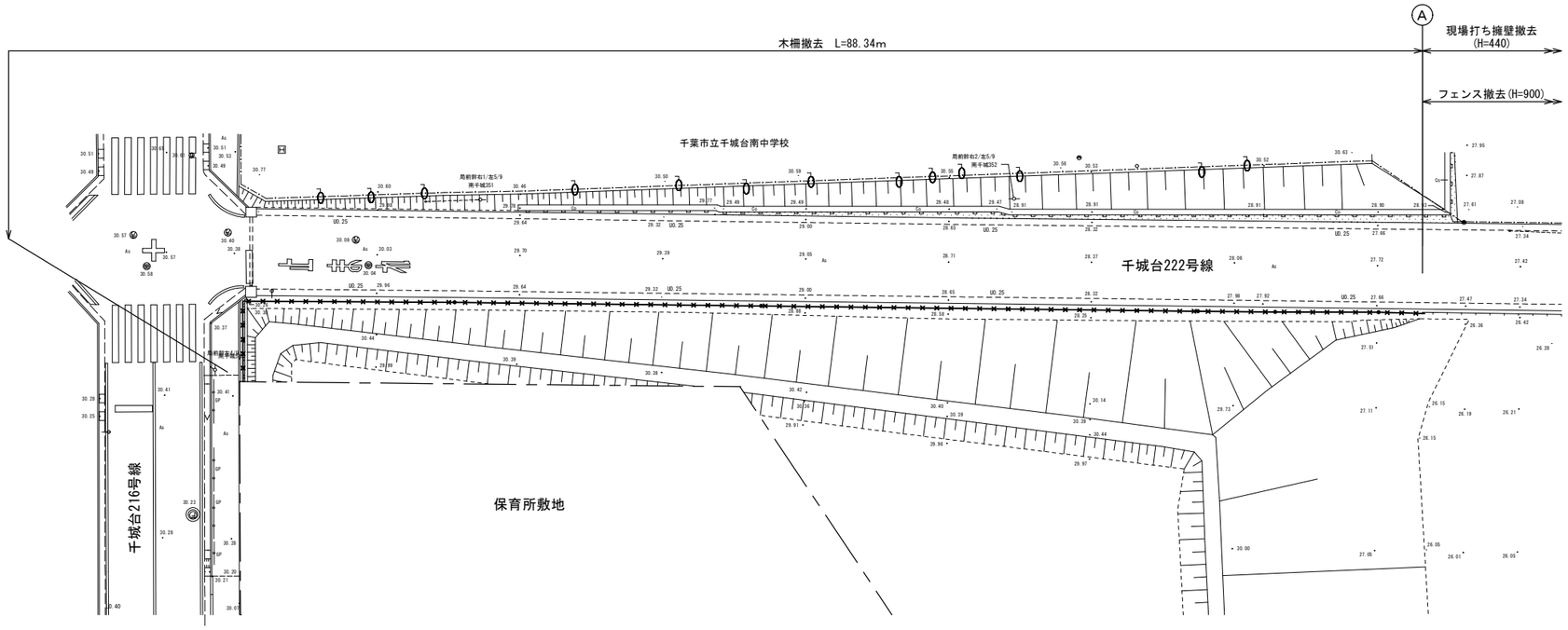
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項		図面名	階段詳細図-4	縮尺	図示	図面番号	A－233

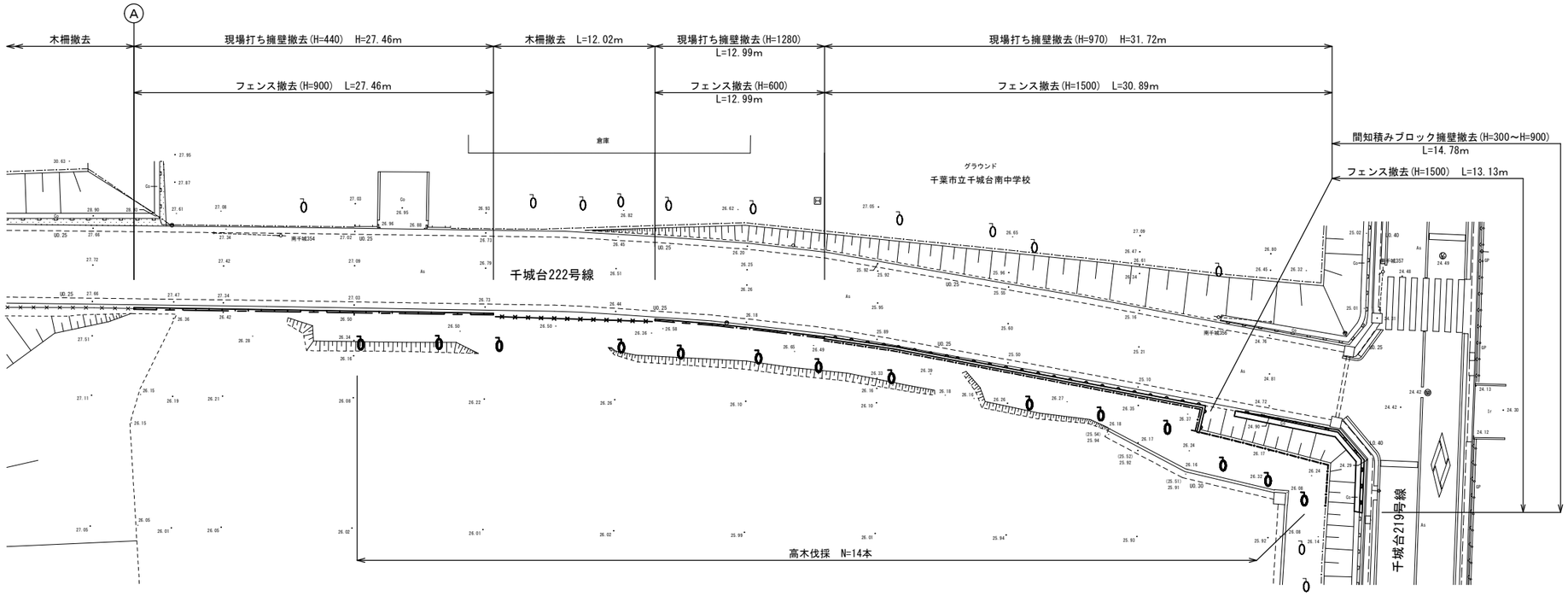
撤去平面図
（建築外構工事）

S=1:200(A1)
S=1:400(A3)

凡　例

記　号	名　　称	規　　格	数　量	単位	備　　考
	現場打ち擁壁撤去	H=440	27.46	m	
	現場打ち擁壁撤去	H=970	31.72	m	
	現場打ち擁壁撤去	H=1280	12.99	m	
	間知積みブロック擁壁	H=300～H=900	14.78	m	
	フェンス撤去	H=600	12.99	m	
	フェンス撤去	H=900	27.46	m	
	フェンス撤去	H=1500	44.02	m	
	木柵撤去	H=600	100.36	m	
	高木伐採	H=1500	14	本	





千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設実施設計	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	撤去平面図	縮尺	S=1:200(A1) S=1:400(A3)	図面番号　A－234

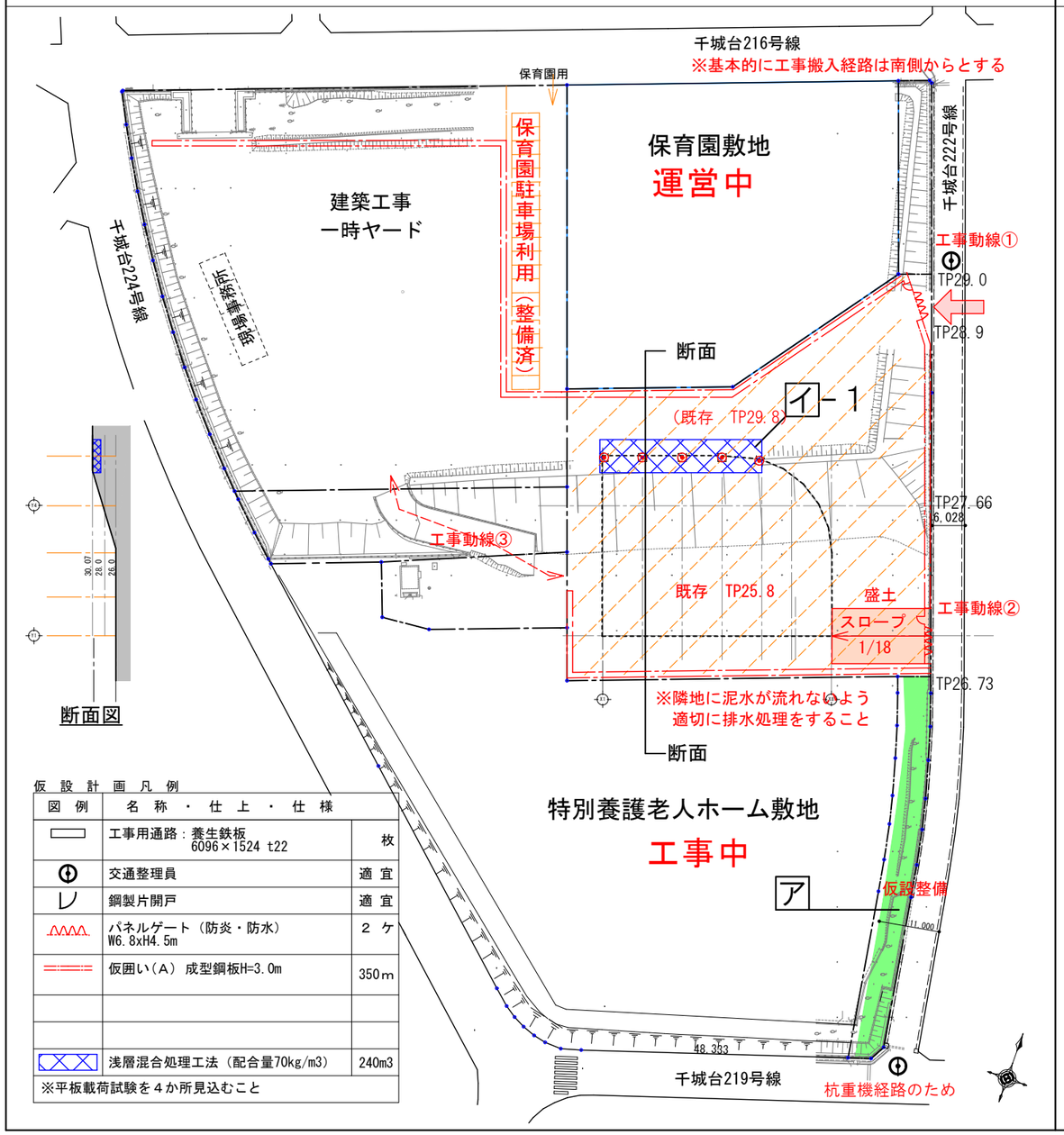
・本図は、公告日時点の見込みにより想定したものです。

工事概略工程表（参考）		1 2 3 4	5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	17 18 19 20 21 22 23 24
工事内容		①	② ③ ④ ⑤	⑥ ⑦
建築工事	建築工事	準備 杭製作（4カ月）	杭打設（2カ月） 躯体工事 製作 鉄骨工事	外装・サッシ工事 完了検査▼ 検査期間①
	（建築外構工事）	準備 仮設造成・土留め	地盤改良 ③ ④ ⑤	内装・雑工事
			準備 制作 雨水貯留槽工事 西側擁壁造成	和陽園敷地舗装工事 建築外構工事
関連工事（別途）	緑道下雨水・汚水配管敷設工事			敷設工事
	土木外構工事		外構撤去・保育園仮設駐車場工事	

新築工事範囲

土木外構工事範囲

① ア－1 222号線　仮設造成（杭重機経路のため222号線拡幅・スロープ増設）（5カ月）
イ－1 Y5通り表層改良→杭打設→杭芯確認

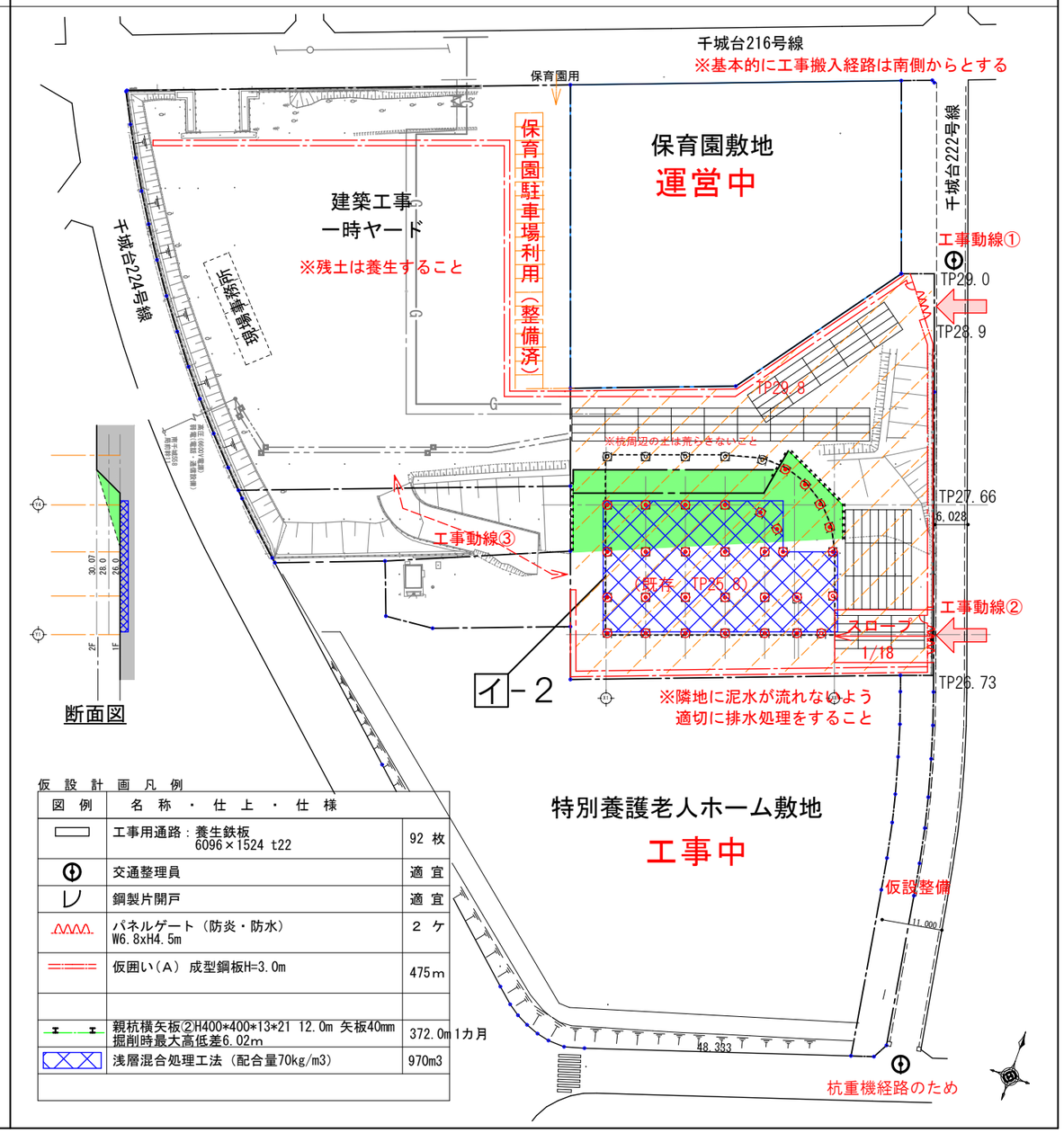


仮設計画凡例

図例	名称・仕上・仕様	
	工事用通路：養生鉄板 6096×1524 t22	枚
	交通整理員	適宜
	鋼製片開戸	適宜
	パネルゲート（防炎・防水） W6.8xH4.5m	2 ケ
	仮囲い（A） 成型鋼板H=3.0m	350m
	浅層混合処理工法（配合量70kg/m3）	240m3

※平板載荷試験を4か所見込むこと

② ア－2 仮設造成（切土・仮設スロープなど）（2カ月）
イ－2 表層改良→杭打設→杭芯確認



仮設計画凡例

図例	名称・仕上・仕様	
	工事用通路：養生鉄板 6096×1524 t22	92 枚
	交通整理員	適宜
	鋼製片開戸	適宜
	パネルゲート（防炎・防水） W6.8xH4.5m	2 ケ
	仮囲い（A） 成型鋼板H=3.0m	475m
	親杭横矢板②H400*400*13*21 12.0m 矢板40mm 掘削時最大高低差6.02m	372.0m 1カ月
	浅層混合処理工法（配合量70kg/m3）	970m3

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 8 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	工事工程・仮設計画図－1（参考）	縮尺	1：1500	図面番号	A－ 300

・本図は、公告日時点の見込みにより想定したものです。

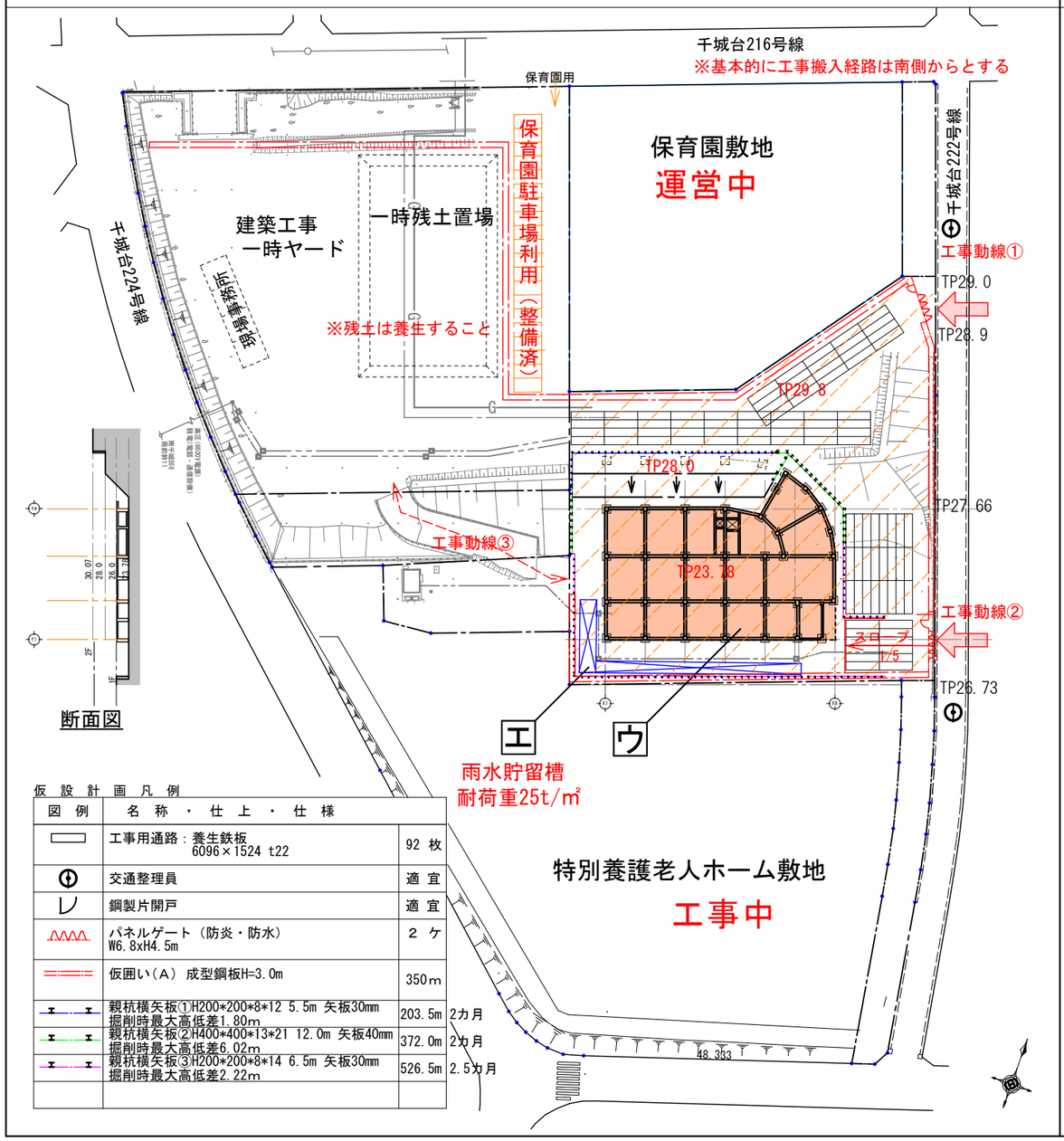
工事概略工程表（参考）		1 2 3 4	5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	17 18 19 20 21 22 23 24
工事内容		①	② ③ ④ ⑤	⑥ ⑦
建築工事	建築工事 （建築外構工事）	準備 杭製作（４カ月） 準備 仮設造成・土留め	杭打設（2カ月） 地盤改良 躯体工事 製作 鉄骨工事 ③ ④ ⑤ 準備 制作 雨水貯留槽工事 西側擁壁造成 和陽園敷地舗装工事 建築外構工事	外装・サッシ工事 内装・雑工事 完了検査▼ 検査期間①
関連工事 （別途）	緑道下雨水・汚水配管敷設工事			敷設工事
	土木外構工事		外構撤去・保育園仮設駐車場工事	

新築工事範囲

土木外構工事範囲

③ ウ 1Ｆピット耐圧盤・基礎スラブ・基礎梁・埋戻し・１Ｆスラブ
エ 雨水貯留槽工事①

（３カ月）

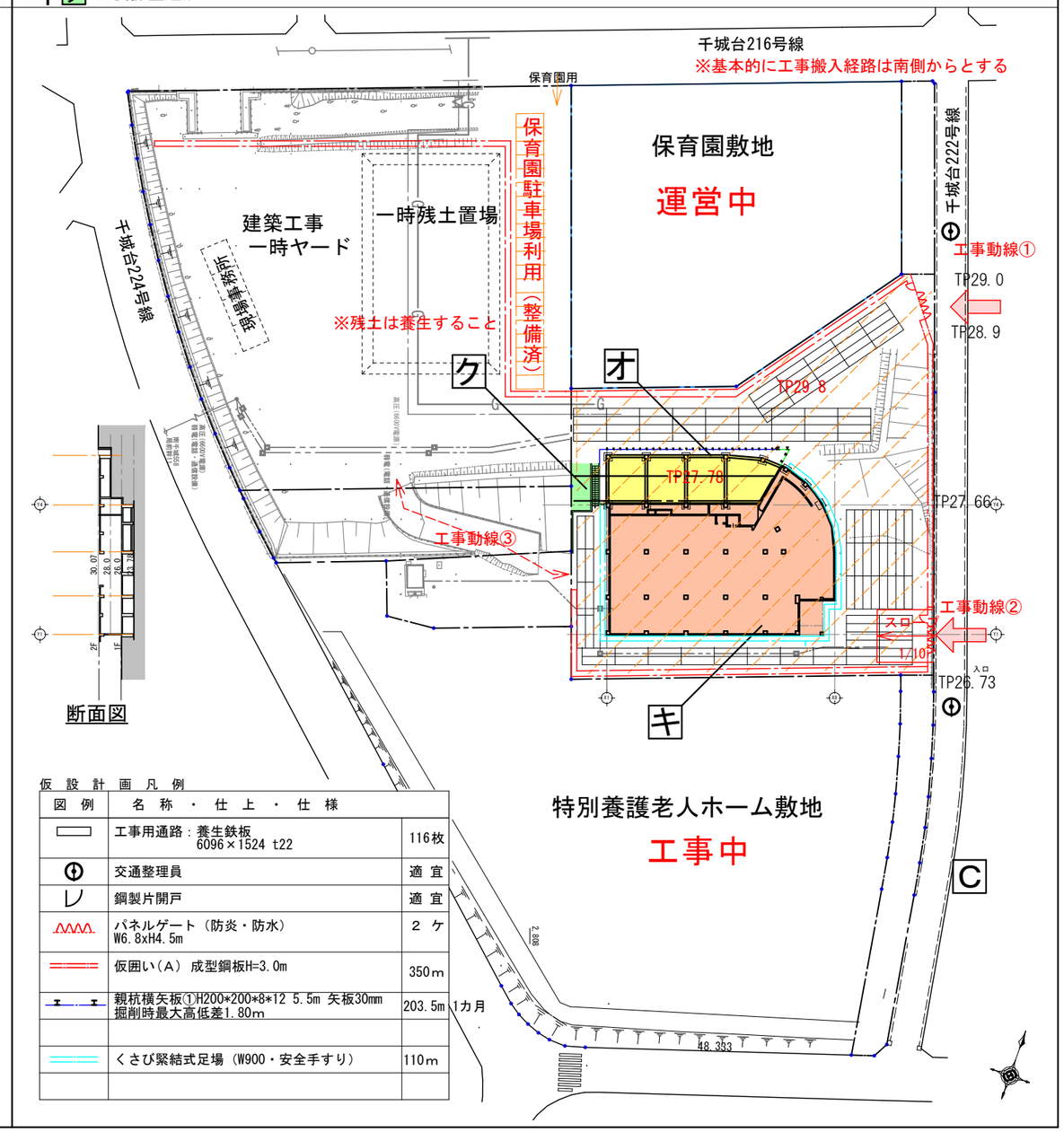


仮設計画凡例

図例	名称・仕上・仕様	
	工事用通路：養生鉄板 6096×1524 t22	92 枚
	交通整理員	適 宜
	鋼製片開戸	適 宜
	パネルゲート（防災・防水） W6.8xH4.5m	２ ケ
	仮囲い（Ａ） 成型鋼板H=3.0m	350ｍ
	親杭横矢板①H200*200*8*12 5.5m 矢板30mm 掘削時最大高低差1.80m	203.5m 2カ月
	親杭横矢板②H400*400*13*21 12.0m 矢板40mm 掘削時最大高低差6.02m	372.0m 2カ月
	親杭横矢板③H200*200*8*14 6.5m 矢板30mm 掘削時最大高低差2.22m	526.5m 2.5カ月

④ キ １Ｆ柱壁配筋打設
オ ２Ｆピット(Y4-Y5)耐圧盤・基礎・基礎梁・埋戻し
−1 ク 西側擁壁造成

（1カ月）

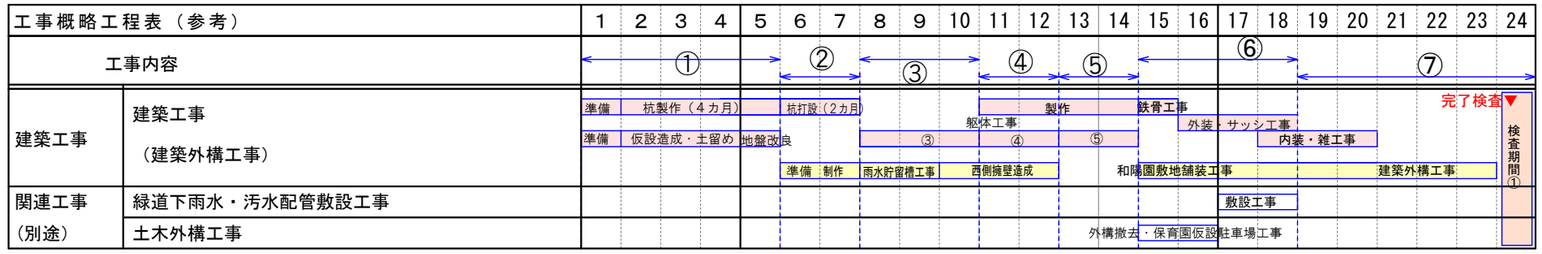


仮設計画凡例

図例	名称・仕上・仕様	
	工事用通路：養生鉄板 6096×1524 t22	116枚
	交通整理員	適 宜
	鋼製片開戸	適 宜
	パネルゲート（防災・防水） W6.8xH4.5m	２ ケ
	仮囲い（Ａ） 成型鋼板H=3.0m	350ｍ
	親杭横矢板①H200*200*8*12 5.5m 矢板30mm 掘削時最大高低差1.80m	203.5m 1カ月
	くさび緊結式足場（W900・安全手すり）	110ｍ

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和８年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	工事工程・仮設計画図-2（参考）	縮尺	1：1500	図面番号	A－ 301

・本図は、公告日時点の見込みにより想定したものです。

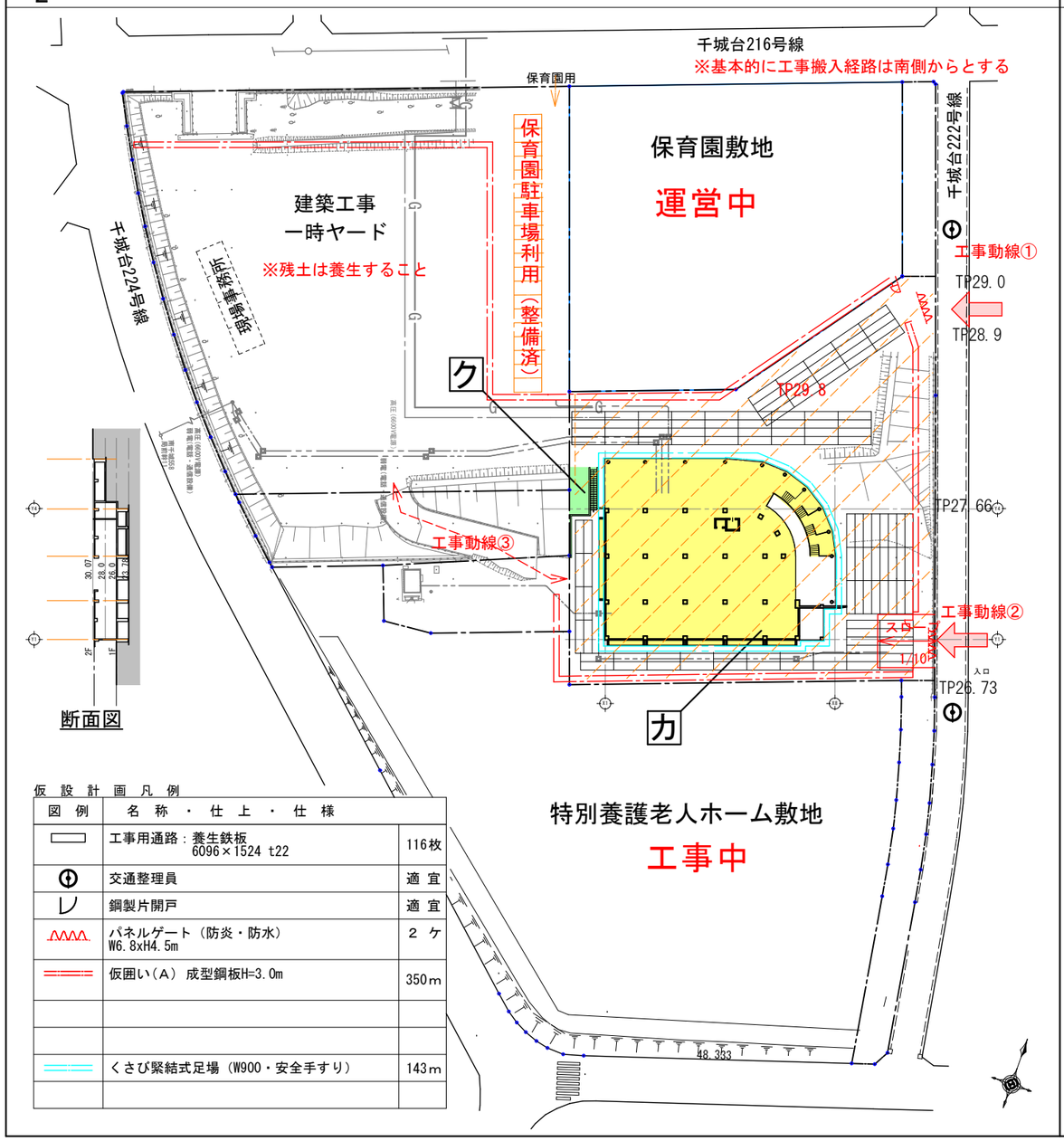


新築工事範囲

土木外構工事範囲

④-2 カ ２Ｆスラブ配筋打設
ク 西側擁壁造成

（１カ月）

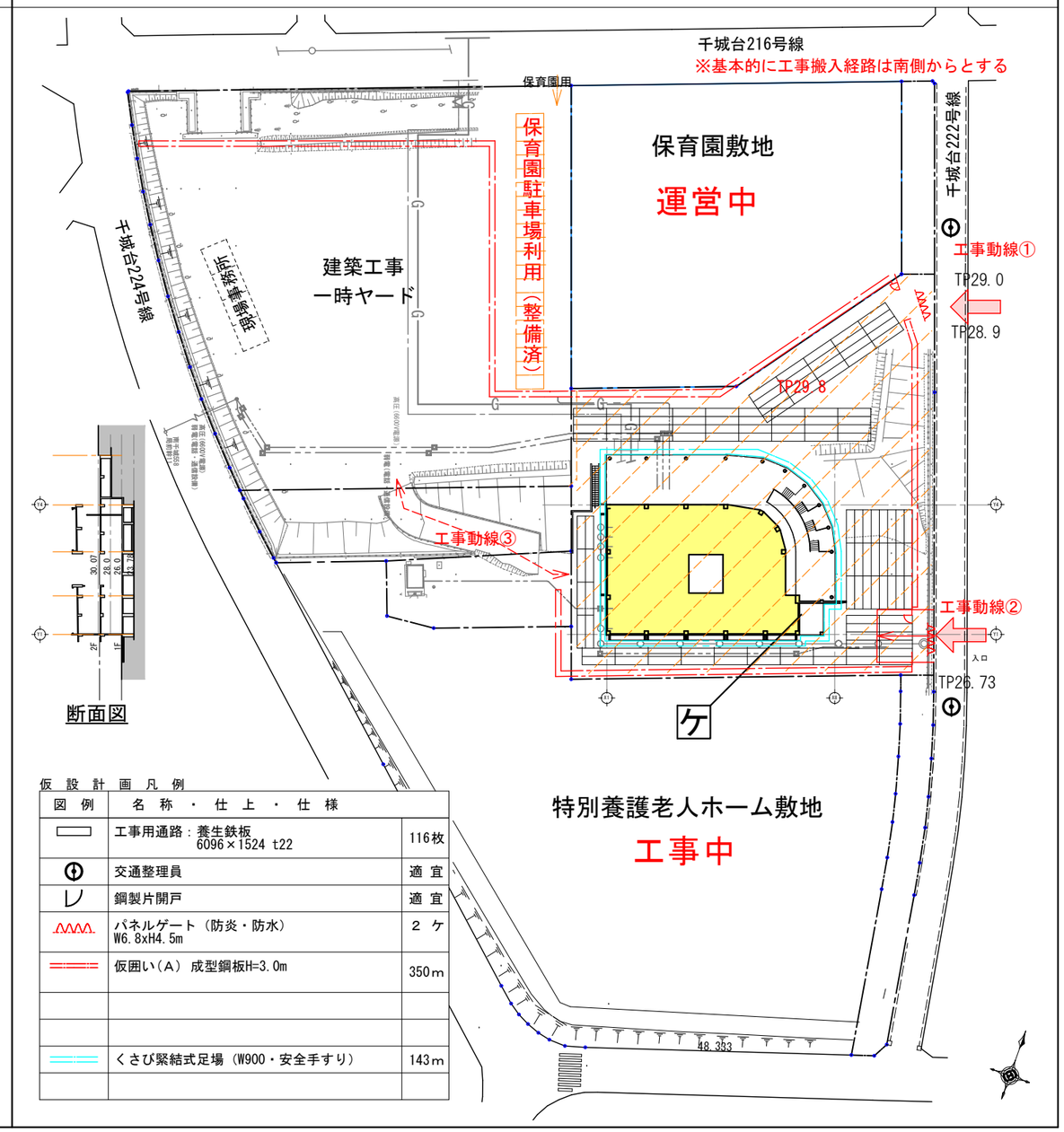


仮設計画凡例

図例	名称・仕上・仕様	
	工事用通路：養生鉄板 6096×1524 t22	116枚
	交通整理員	適宜
	鋼製片開戸	適宜
	パネルゲート（防炎・防水） W6.8xH4.5m	２ケ
	仮囲い（Ａ） 成型鋼板H=3.0m	350m
	くさび緊結式足場（W900・安全手すり）	143m

⑤ ケ ２Ｆ柱壁配筋・RF梁とスラブ

（２カ月）



仮設計画凡例

図例	名称・仕上・仕様	
	工事用通路：養生鉄板 6096×1524 t22	116枚
	交通整理員	適宜
	鋼製片開戸	適宜
	パネルゲート（防炎・防水） W6.8xH4.5m	２ケ
	仮囲い（Ａ） 成型鋼板H=3.0m	350m
	くさび緊結式足場（W900・安全手すり）	143m

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和８年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	工事工程・仮設計画図-３（参考）	縮尺 1：1500	図面番号 A－ 302

・本図は、公告日時点の見込みにより想定したものです。

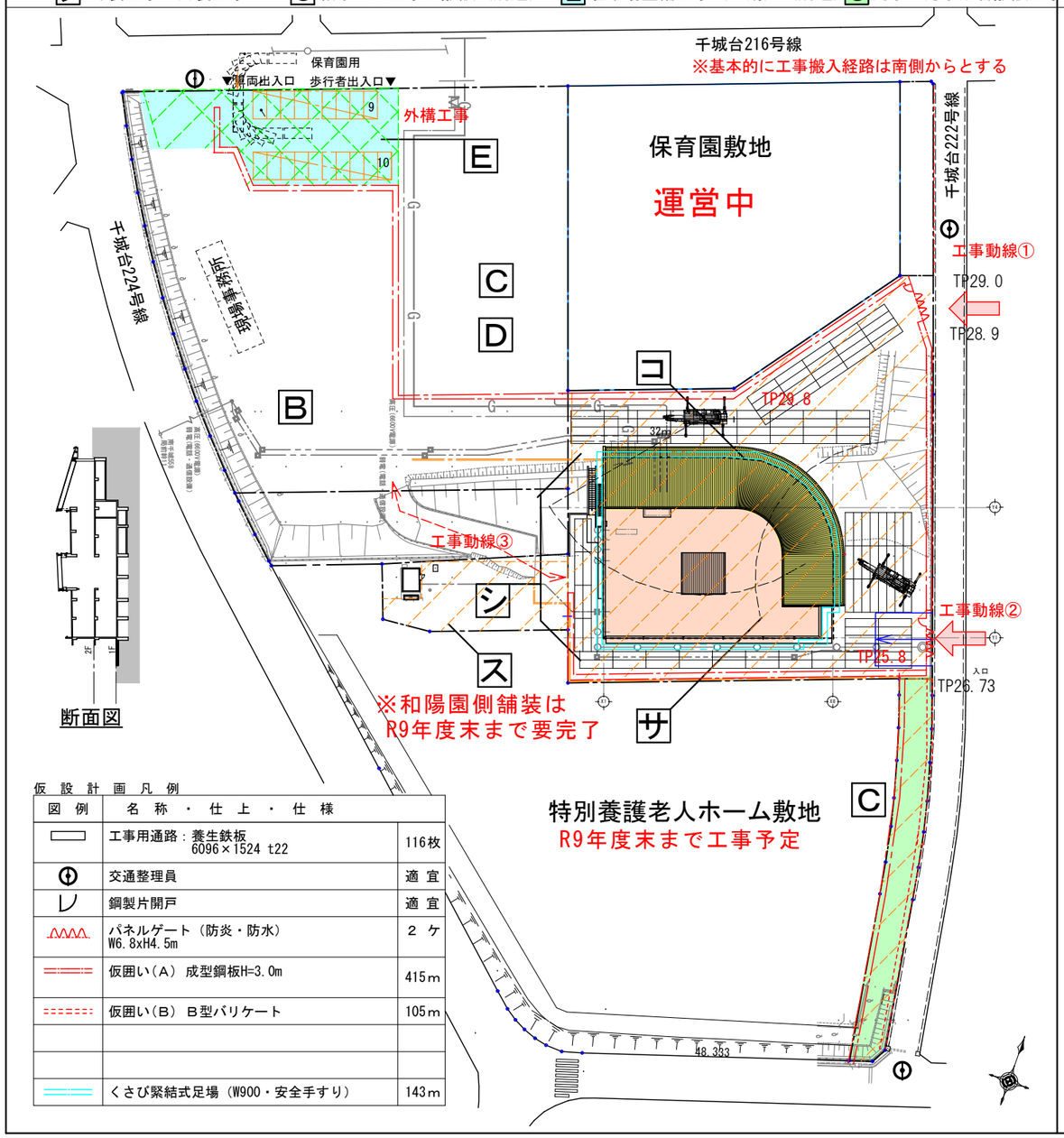
工事概略工程表（参考）		1 2 3 4	5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	17 18 19 20 21 22 23 24
工事内容		①	② ③ ④ ⑤	⑥ ⑦
建築工事	建築工事	準備 杭製作（４カ月）	杭打設（２カ月） 製作 躯体工事 鉄骨工事	外装・サッシ工事 完了検査▼ 検査期間①
	（建築外構工事）	準備 仮設造成・土留め	地盤改良 ③ ④ ⑤	内装・雑工事
			準備 制作 雨水貯留槽工事 西側擁壁造成 和陽園敷地舗装工事	建築外構工事
関連工事（別途）	緑道下雨水・汚水配管敷設工事			敷設工事
	土木外構工事		外構撤去・保育園仮設駐車場工事	

新築工事範囲

土木外構工事範囲

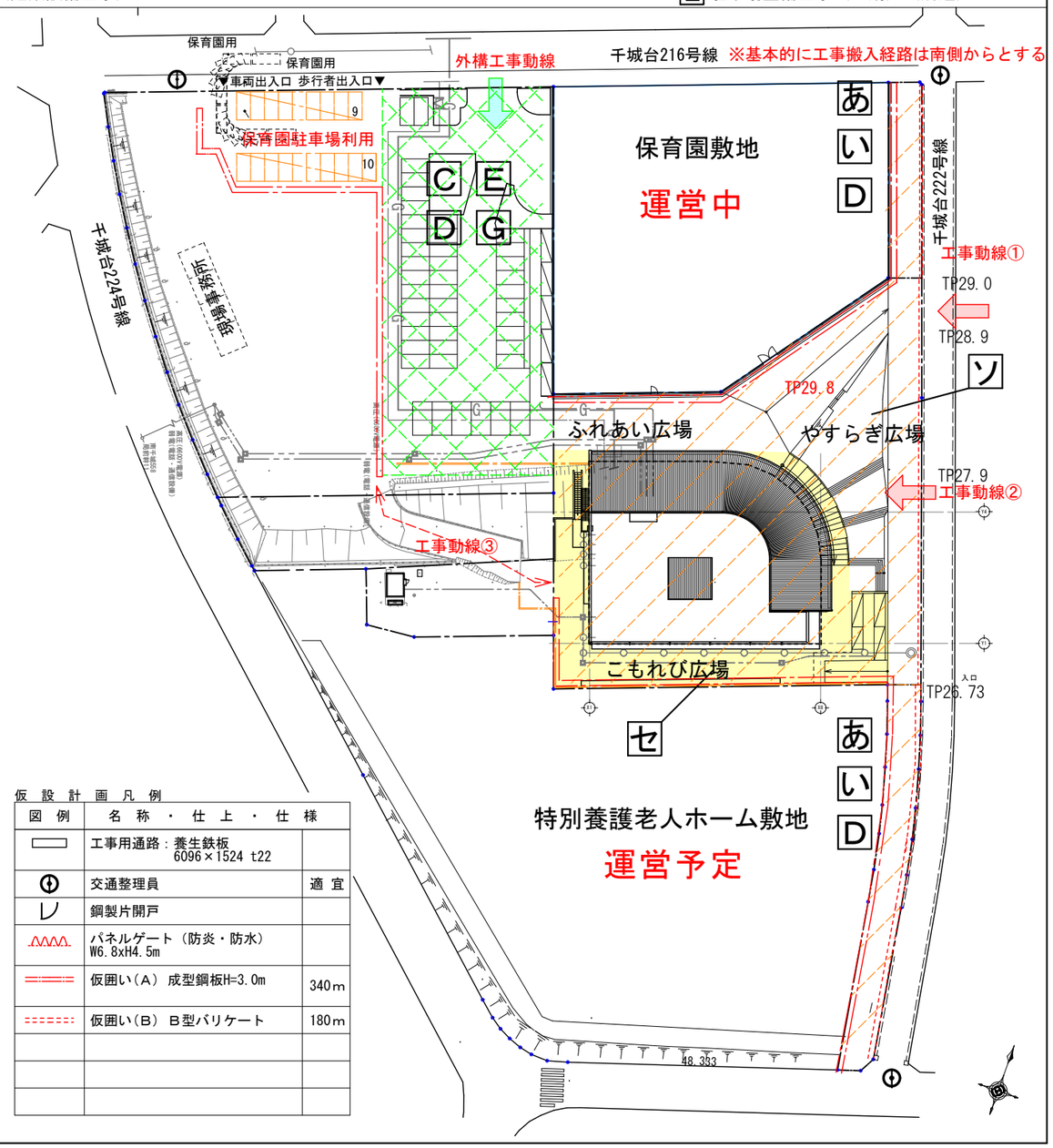
⑥ コ ２Ｆ鉄骨建方・屋根工事　ス 建築外構：和陽園敷地舗装工事　（４カ月）
サ ＲＦ　防水工事　Ｂ 電気工事：引き込み（別途）　Ｄ 外灯・散水整備工事（別途）
シ 外装工事・内装工事　Ｃ 給水ガス工事：敷設（別途）　Ｅ 駐車場整備工事（一期）（別途）Ｃ 雨水・汚水配管敷設工事（建築設備工事）

⑦ セ こもれびテラス・スロープ・廻り階段・緑道側擁壁造成　あ 緑道整備　Ｃ 給水ガス：敷設工事（別途）　（５カ月）
ソ ふれあい広場・やすらぎ広場・緑道造成　い 植栽整備　Ｄ 外灯・散水整備工事（別途）
Ｅ 駐車場整備工事（一期）（別途）



仮設計画凡例

図例	名称・仕上・仕様	
	工事用通路：養生鉄板 6096×1524 t22	116枚
	交通整理員	適宜
	鋼製片開戸	適宜
	パネルゲート（防災・防水） W6.8xH4.5m	２ケ
	仮囲い（Ａ） 成型鋼板H=3.0m	415m
	仮囲い（Ｂ） Ｂ型バリケート	105m
	くさび緊結式足場（W900・安全手すり）	143m



仮設計画凡例

図例	名称・仕上・仕様	
	工事用通路：養生鉄板 6096×1524 t22	
	交通整理員	適宜
	鋼製片開戸	
	パネルゲート（防災・防水） W6.8xH4.5m	
	仮囲い（Ａ） 成型鋼板H=3.0m	340m
	仮囲い（Ｂ） Ｂ型バリケート	180m

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和８年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	図面名	工事工程・仮設計画図-４（参考）
縮尺	1：1500	図面番号	Ａ－ 303				

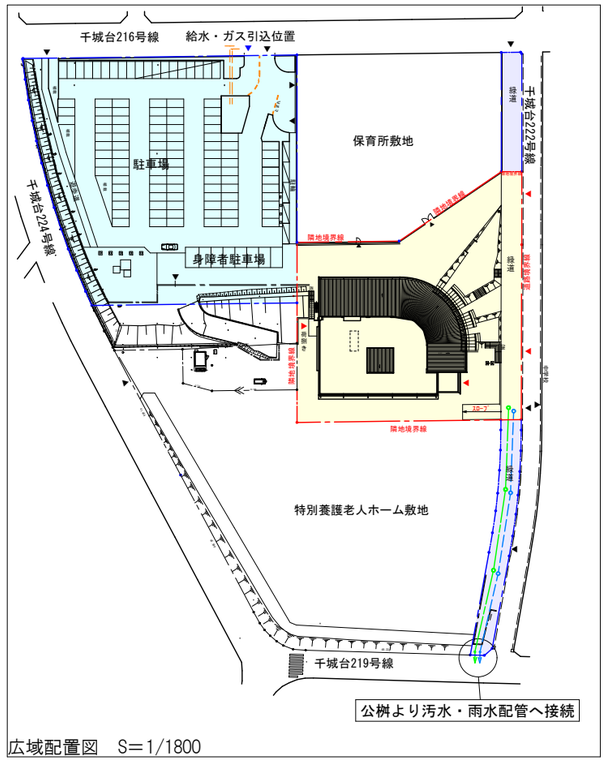
■凡例（法令）

● ● ● ●	令128：敷地内通路　1.8m
00.00 / 00.00	計画レベル 現状レベル
00.00	現状レベル
00.00	隣地レベル
9,000	建物高さ
------	汚水配管
———	雨水配管
	計画通知用敷地
	建築外構工事
	駐車場整備工事

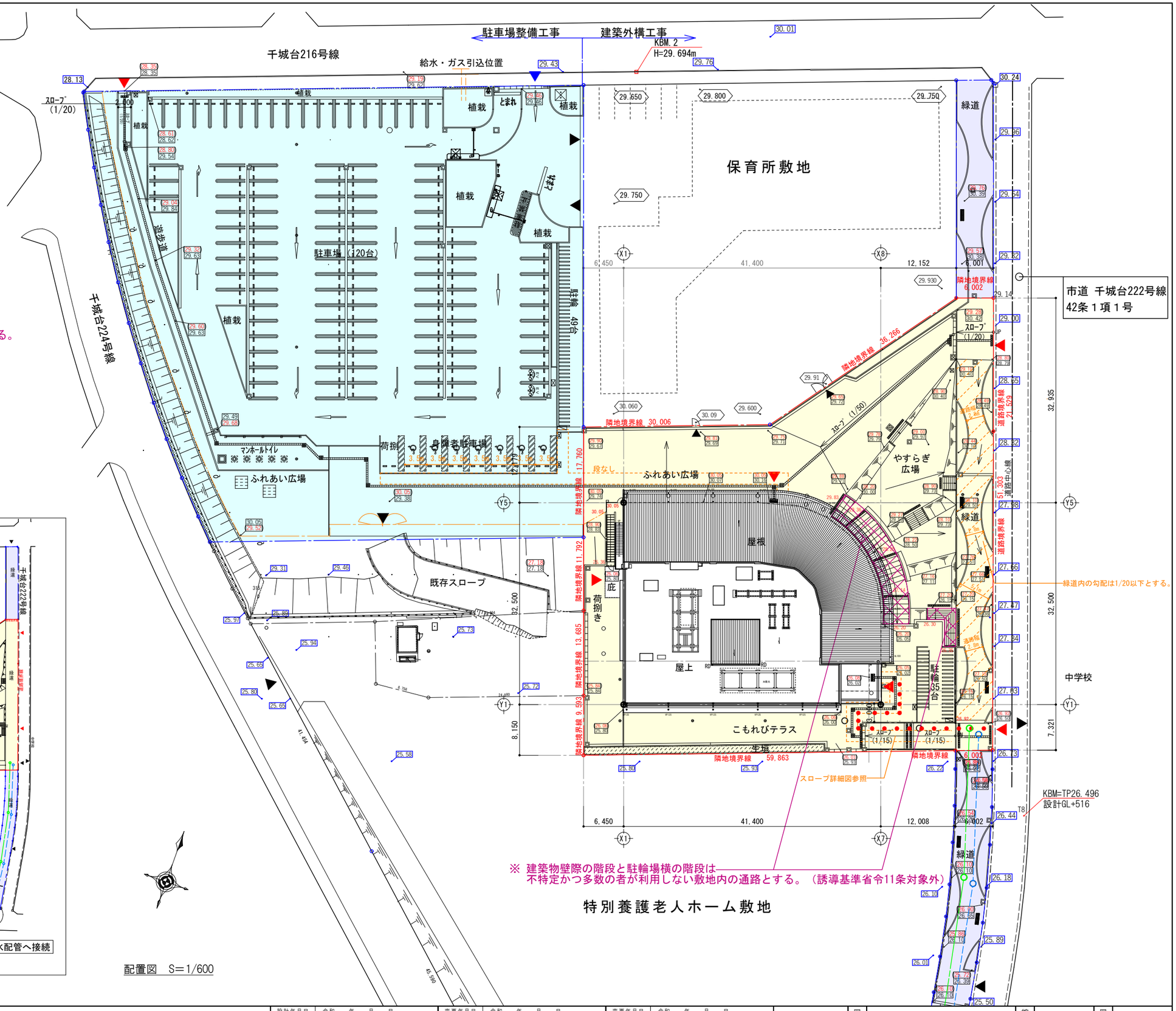
※ 敷地内通路の表面は粗面とする。
※ 敷地内通路にある排水溝の構造は
　車椅子の通過に支障が無く、
　車椅子のｷｬｽﾀｰやつえ等が落ち込まない
　溝蓋を設置する。
※ 敷地内通路は段を設けない。なお、傾斜路は
　中間部分を水勾配程度とする。
※スロープの前後の色は明度、色相または明度差が
　大きいことにより容易に識別できるものとする。
※敷地内通路のグレーチングと桝はノンスリップ細目とする。
　（網目の大きさ：長さ10cm、幅1.5cm以下）

各仕上別滑り抵抗値

	エリア	舗装	C.S.R値
外部	階段	コンクリート刷毛引き仕上	0.5以上
	ふれあい広場	インターロッキング舗装	0.4以上
	スロープ	コンクリート刷毛引き仕上	0.5以上
	こもれびテラス 緑道	透水性平板ブロック舗装	0.4以上
内部	廊下、ロビー	複層ビニル床タイル	0.5以上0.9未満
	階段	複層ビニル床タイル	0.5以上0.9未満
	一般開架室	タイルカーペット	0.7以上0.9未満
	風除室	磁器質タイル	0.4以上0.9未満



広域配置図　S＝1/1800



配置図　S＝1/600

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	配置図 （バリアフリー法認定図）	縮尺　1：600・1800	図面番号　A－310

（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設　新築工事

図面番号	図面名称	縮　尺	
		A1版	A3版
S- 001	構造関係特記仕様書（１）	——	——
S- 002	構造関係特記仕様書（２）	——	——
S- 003	構造関係特記仕様書（３）	——	——
S- 004	構造設計標準仕様	——	——
S- 005	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）	——	——
S- 006	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）	——	——
S- 007	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（３）	——	——
S- 008	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（４）	——	——
S- 009	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（５）	——	——
S- 010	鉄骨構造標準図（１）	——	——
S- 011	鉄骨構造標準図（２）	——	——
S- 012	ハイベースＮＥＯ工法設計施工標準	——	——
S- 013	ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準	——	——
S- 014	ボーリング調査位置図、土質柱状図（１）	——	——
S- 015	土質柱状図（２）	——	——
S- 016	杭伏図	1/100	1/200
S- 017	１階下部基礎・ピット伏図	1/100	1/200
S- 018	１階床梁伏図	1/100	1/200
S- 019	２階下部基礎・ピット伏図	1/100	1/200
S- 020	２階床梁伏図	1/100	1/200
S- 021	Ｒ階床梁伏図	1/100	1/200
S- 022	RSL+2,560床梁伏図	1/100	1/200
S- 023	軸組図（１）	1/125	1/250
S- 024	軸組図（２）	1/125	1/250
S- 025	軸組図（３）	1/125	1/250
S- 026	軸組図（４）	1/125	1/250
S- 027	軸組図（５）	1/125	1/250
S- 028	杭リスト、基礎リスト	——	——
S- 029	ＭＡＧＮＵＭ－ＢＡＳＩＣ工法　特記仕様書	——	——
S- 030	Ｆ．Ｔ．Ｐｉｌｅ構法標準図（１）	——	——
S- 031	Ｆ．Ｔ．Ｐｉｌｅ構法標準図（２）	——	——
S- 032	１階基礎梁リスト（１）	1/30	1/60
S- 033	１階基礎梁リスト（２）、２階基礎梁リスト	1/30	1/60

図面番号	図面名称	縮　尺	
		A1版	A3版
S- 034	１階基礎小梁リスト、２階基礎小梁リスト	1/30	1/60
S- 035	柱梁芯線図（１）	1/25	1/50
S- 036	柱梁芯線図（２）	1/25	1/50
S- 037	柱リスト共通事項、各種要領図	——	——
S- 038	柱リスト	1/30	1/60
S- 039	大梁リスト（１）	1/30	1/60
S- 040	大梁リスト（２）	1/30	1/60
S- 041	小梁リスト	1/30	1/60
S- 042	スラブリスト、片持ちスラブリスト	——	——
S- 043	壁リスト	1/30	1/60
S- 044	鉄骨部材リスト	——	——
S- 045	雑詳細図（１）	——	——
S- 046	雑詳細図（２）	——	——
S- 047	Ｙ４通り架構配筋詳細図	1/30	1/60

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和８　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	図面リスト	縮尺	－	図面番号	Ｓ－ 000
			特記事項		特記事項		特記事項							

工事名称：

Ⅰ．建物構造概要等

1．建物概要

工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設　新築工事
工事場所	千葉市若葉区千城台南１丁目19番1号
主要用途	公民館、図書館
延べ面積	意匠図による
階数	地上　２ 階
建物高さ	9.980m（意匠図地盤面からの高さ）
軒高	－
工事種別	● 新築、 ○ 増築、○　改築、○　移転
増築計画	○ 有り、 ● 無し
構造種別	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
架構形式	ラーメン構造（ＸＹ方向共に）
耐震構造方式	● 耐震構造、 ○ 免震構造、 ○ 制震構造　（各棟共通）
耐震安全性の分類	○ Ⅰ類（Ｉ＝１．５０）、● Ⅱ類（Ｉ＝１．２５）、○ Ⅲ類（Ｉ＝１．００）

2．構造計算条件

ａ．耐震設計条件

地震荷重	建物一次固有周期		0.235秒
	地盤種別		第２種地盤
	地域係数		Z=1.0
計算ルート	Ｘ方向		保有耐力（ルート３）
	Ｙ方向		保有耐力（ルート３）
設計層間変形角	Ｘ方向	一次設計	1/200
		二次設計	1/200
	Ｙ方向	一次設計	1/200
		二次設計	1/200

ｂ．耐風設計条件

基準風速　（V_0）	36m／秒
地表面粗度区分	○ Ⅰ、 ○ Ⅱ、● Ⅲ、 ○ Ⅳ

ｃ．耐積雪設計条件

建設地の標高	25.98m
多雪区域の指定	○ 有り、 ● 無し
設計垂直積雪量	30ｃｍ

Ⅱ．建築工事仕様（構造関係）

1．共通仕様書

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」（以下、「標準仕様書」という）および、Ｓ－００４図に記載する各躯体工事の仕様書による。
上記の仕様書の内、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」の記載内容を優先する。

2．特記仕様

1）項目は、●のついたものを適用する。
2）特記事項は、●のついたものを適用する。（●印が付かない場合は　⊠印のついたものを適用する。）
3）特記事項に記載の（　　）内表示番号は標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4）[G] 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成１２　年法律第１００　号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和４年２月２５日変更閣議決定）」に定める判断の基準を満たすものとする。

章	項　目	特　記　事　項
4 地業工事	● 1．支持地盤	・杭基礎　：　（4．2．1）（4．3．4～5）（4．5．5～6） 支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端の位置含む） ● 図示（S-014）、○（　　　） ・直接基礎　：　（3．2．1）（4．2．1） 支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む） ○ 図示、 ○（　　　） 試験掘り（根切り底の状態の確認等） ○ 行わない ○ 行う（位置等　○ 図示、 ○（　　　）） ・地盤の載荷試験　：　（4．2．4） 載荷試験の方法 ○ 地盤工学会基準　ＪＩＳ　１５２１による、○（　　　） 試験の位置、載荷荷重 ○ 図示、 ○（　　　）
	● 2．液状化対策	○ 行う ● 行わない
	● 3．杭工事の施工管理	⊠ 施工計画において、杭工事に係る受注者及び下請業者の施工プロセスごとの役割や責任分担を明確にすること。 施工管理に際して、事前に管理項目及び管理内容について監督職員の承諾を得た上で、杭一本ごとに施工管理チェックシートを作成し、施工時に全数分を記録して監督職員に提出すること。 受注者は、杭一本ごとの支持層への到達状況について責任を負うものとする。 ○（　　　）

章	項　目	特　記　事　項
4 地業工事	● 4．既製コンクリート杭地業	（下記）

・種類　：　（4．3．3）
● 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（ＰＨＣ杭）
○ プレストレスト鉄筋コンクリート杭（ＰＲＣ杭）
● 外殻鋼管付きコンクリート杭（ＳＣ杭）
　ＳＣ杭の鋼管材料　○ＳＫＫ４００、●ＳＫＫ４９０

・寸法、継手、性能等　（種別：種類、性能及び曲げ強度区分）　：　（4．2．2）（4．3．3）

		種類	コンクリート強度 (N/mm²)	鋼管厚 (mm)	杭径 (mm)	杭長 (mm)	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考
○ 試験杭	上杭 下杭				図示による(S-016,028)					
○ 本杭	上杭 下杭									
○										

・杭先端部形状　：　（4．4．3）
● 開放形、 ○ 半開放形、 ○ 閉そく形、 ○（　　　）
・施工方法　：　（4．3．1）
○ セメントミルク工法　（4．2．2）（4．3．4）
　試験杭の位置　○ 図示による、○（　　　）
　掘削深さ　○ 図示による、○（　　　）
　杭の支持地盤への根入れ深さ　○ 図示による、○（　　　）
　杭の精度　水平方向の位置ずれ　○ 杭径の１／４かつ１００mm以下、○（　　　）
　　杭の傾斜　○ １／１００以内、 ○（　　　）
○ 特定埋込杭工法　（4．2．2）（4．3．5）
　○Ｈ１３国土交通省告示第１１１３号第６　による地盤の許容支持力式でα＝２５０を採用できる工法
　● Ｈ１３国土交通省告示第１１１３号第６　による地盤の許容支持力式の内、α、β、γが下記の値を採用できる工法
　　$\alpha = 200+135\eta$　（ $\alpha \leqq 350\text{kN/m}^2$ ）
　　ストレート杭 β =（5.0）、γ =（0.7）
　工法
　　● プレボーリング拡大根固め工法
　　○ 中堀り拡大根固め工法
　　○（　　　）
　杭周固定液　● 使用する、 ○ 使用しない
　試験杭の位置　○図示による、●（ボーリング調査位置に近接した位置）
　杭の支持地盤への根入れ深さ　● 図示による、○（　　　）
　杭の精度　水平方向の位置ずれ　⊠ 評定等の評価内容による、 ○（　　　）
　　杭の傾斜　⊠ 評定等の評価内容による、 ○（　　　）
・杭の継手の工法　：　（4．3．3）（4．3．6）（7．2．5）
○ アーク溶接継手
　溶接材料　○標準仕様書　７．２．５（１）（２）による、 ○（　　　）
● 無溶接継手
　工法　⊠　評定等を受けた工法
　検査　⊠　評定等により定められた項目
　施工　⊠　評定等をされた施工管理基準による
・杭頭の処理等　：　（4．3．8）
● 処理しない
○ 処理する
　処理方法（切断にともなう補強方法含む）
　○図示による、 ○（　　　）
・杭頭の中詰め材料　：　（4．3．8）
○ 基礎のコンクリートと同調合のもの、 ○（　　　）

章	項　目	特　記　事　項
4 地業工事	○ 5．鋼杭地業	（下記）

・材料、寸法、継手等　：　（4．2．2）（4．4．3）（4．4．5）

		種類	厚さ (mm)	杭径 (mm)	杭長 (mm)	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考
○ 試験杭	上杭 下杭								
○ 本杭	上杭 下杭								
○									

・施工方法　：　（4．4．1）
○ 特定埋込杭工法　（4．2．2）（4．3．5）
　○Ｈ１３国土交通省告示第１１１３号第６　による地盤の許容支持力式でα＝２５０を採用できる工法
　○Ｈ１３国土交通省告示第１１１３号第６　による地盤の許容支持力式の内、α、β、γが下記の値を採用できる工法
　　α＝（　　　）、β＝（　　　）、γ＝（　　　）
　工法
　　○ 中堀り拡大根固め工法
　　○（　　　）
　試験杭の位置　○図示による、○（　　　）
　杭の精度　水平方向の位置ずれ　⊠評定等の評価内容による、 ○（　　　）
　　杭の傾斜　⊠評定等の評価内容による、 ○（　　　）
・杭の継手の工法　：　（4．3．3）（4．4．5）（7．2．5）
○ 溶接継手
　形状　○ ＪＩＳ　Ａ　５５２５による、　○（　　　）
　溶接材料　○ 標準仕様書　７．２．５（１）（２）による、○（　　　）
○ 機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
　工法　⊠ 評定等を受けた工法
　検査　⊠ 評定等により定められた項目
　施工　⊠ 評定等をされた施工管理基準による
・杭頭の処理等：　（4．3．8）（4．4．6）
○ 処理しない
○ 処理する
　処理方法（切断にともなう補強方法含む）
　○ 図示による、 ○（　　　）
・杭頭の中詰め材料　：　（4．3．8）
○ 基礎のコンクリートと同調合のもの、 ○（　　　）

章	項　目	特　記　事　項
4 地業工事	○ 6．場所打ちコンクリート杭地業	（下記）

・工法　：　（4．5．1）（4．5．5）
○ アースドリル工法（安定液　○使用する、○　使用しない）
○ リバース工法
○ オールケーシング工法（孔内の水張り ○ 行う、 ○ 行わない）
・併用する工法　：　（4．5．1）（4．5．6）
○ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法（鋼管の種類 ○ＳＫＫ４００、 ○ＳＫＫ４９０、○　　　）
○ 拡底杭工法　（安定液　○使用する、 ○使用しない）
○（　　　）
・寸法等　：　（4．2．2）

	鋼管厚 (mm)	鋼管径 (mm)	軸径 (mm)	拡底径 (mm)	杭長 (mm)	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考
○ 試験杭								
○ 本杭								

・試験杭の位置　：　○ 図示による、 ○（　　　）
・孔壁の保持状況の測定箇所　：　○ 試験杭（　　）箇所及び本杭（　　）箇所
　○（　　　）
・杭の支持層への根入れ深さ　：　○ 図示による、○（　　　）
・杭の精度　：　水平方向の位置ずれ　○ 杭径の１／４かつ１００mm以下、○（　　　）
　　○ 評定等の内容による
　杭の傾斜　○ １／１００以内、 ○（　　　）
　　○ 評定等の内容による
・鉄筋の種類　：　（4．5．4）

種類の記号	呼び径（mm）	備考
○ SD295		
○ SD345		
○		

・帯筋　：　（4．5．4）
○ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）６．２帯筋（２）（ウ）⑥（ロ））
○（　　　）
・鉄筋の最小かぶり厚さ　：　（4．5．4）
○ １００mm、 ○（　　　）
・鉄筋かごの補強　：　（4．5．4）
○ 図示による
○ 杭径１．５m以下の場合は鋼板６×５０（mm）、１．５mを超える場合は鋼板９×５０～７５（mm）の補強リングを３m以下の間隔で、かつ１節につき３箇所以上入れ、リングと主筋の接触部を溶接する。溶接長さは、補強材の幅とする。
・組み立てた鉄筋の節ごとの継手　：　（4．5．4）（5．3．4）
⊠ 重ね継手（重ね継手の長さ　○図示による、○　　　）
・主筋の基礎定着への定着長さ　：　（4．5．4）（5．3．4）
○ 図示による、○（　　　）
・セメントの種類　：　（4．5．4）
⊠ 高炉セメントＢ種 [G] 、○（　　　）
・コンクリートの設計基準強度　：　（4．5．4）
○ 図示による、○（　　　）
・コンクリートの種別　：　（4．5．4）
○ Ａ種、○　Ｂ種、 ○ 評定等の内容による
・スランプ　：　（4．5．4）
⊠ １８ｃｍ、○（　　　）
・構造体強度補正値　：　（4．5．4）
⊠3Ｎ／mm²、 ○ 図示による、 ○ 評定等の内容による

章	項　目	特　記　事　項
4 地業工事	● 7．砂利地業	・材料　：　（4．6．2） ● 再生クラッシャラン [G] 、○　切込砂利又は切込砕石 ・砂利厚さ　：　（4．6．3） ○ ６０mm、● 図示による(S-004 4.(3)) ・施工範囲　：　（4．6．3） ● 基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ○ 図示による
	● 8．捨コンクリート地業	・捨コンクリートの厚さ　：　（4．6．4） ● ５０mm、○ 図示による ・施工範囲　：　（4．6．4）（6．14．1） ● 基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下 ○ 図示による ・設計基準強度　：　（4．6．4）（6．14．1） ⊠１８Ｎ／mm²、● 図示による ・スランプ　：　（4．6．4）（6．14．1） ○ １５cm又は１８cm、● 図示による(S-004 2.(1))
	● 9．床下防湿層	・材料　：　（4．6．2） ⊠ ポリエチレンフィルム厚さ０．１５mm以上、○（　　　） ・施工範囲　：　（4．6．5） ○ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） ● 図示による（意匠図）
	○ 10．地盤改良工法	・種類及び施工方法等　： ○ 図示による、○（　　　） ・六価クロム溶出試験　： ⊠ 図示による、○（　　　）
5 鉄筋工事	● 1．鉄筋	・鉄筋の種類等　：　図示による S-004 2.(3)　（5．2．1）
	● 2．溶接金網	・鉄線の形状等　：　（5．2．2）
	● 3．鉄筋の継手及び定着	・継手方法等　：　図示による S-004 2.(3)　（5．3．4）（5．5．2）（5．6．3）

鉄筋の種類等：

種類の記号	呼び径（mm）	備考
○ SD295	○ Ｄ１６以下	
○ SD345	○ Ｄ１９～Ｄ２５	
○ SD390	○ Ｄ２９以上	
○		

鉄線の形状等：

種類	種類の記号	網目寸法、鉄線の経　(mm)	使用部位
● 溶接金網	6Φ	75mm,6mm	一般壁開口部補強筋(S-043)
○ 鉄筋格子			

継手方法等：

部位	継手方法	呼び径（mm）
○ 柱、梁の主筋	○ ガス圧接、 ○ 機械式継手 ○ 溶接継手	○ Ｄ１９以上 ○
○ 耐力壁の鉄筋	○ 重ね継手、 ○	
○ 基礎、耐圧スラブ、土圧壁	○ 重ね継手、 ○ ガス圧接	
○ 上記以外（　　　）	○ 重ね継手、 ○	

・継手位置　：　（5．3．4）
○ 図示による
　基礎梁主筋の継手位置図　○ 図５．２、 ○ 図５．３、 ○ 図５．４
● 図示による（ S-005～S-009, S-023～S-027 ）
・柱及び梁主筋の重ね継手の長さ　：　（5．3．4）
● 図示による（ S-006 9.　　）
・耐力壁の重ね継手の長さ　：　（5．3．4）
○ 図示による
○ 図示による
・鉄筋の定着長さ　：　（5．3．4）
○ 図示による
● 図示による（ S-005 ）
・機械式定着工法　：　（5．3．4）
● 適用場所、種類：図示
● 第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ、補強筋形状、かぶり厚さ、品質確認、検査
● 評定等の評価内容による

章	項　目	特　記　事　項
5 鉄筋工事	● 4．鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）	・最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う）　：　（5．3．5） ○ 図示による ● 図示による（ S-005 2.表1 ） ・柱及び梁の主筋にＤ２９以上の使用の有無　： ● あり（主筋のかぶり厚さを径の１．５倍以上確保する） 使用箇所（ S-032～S-034, S-037～S-040 ） ・耐久性上不利な箇所（塩害等を受けるおそれのある部分等）　： ○ あり 適用箇所（　　　） 最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　　）mm
	● 5．各部配筋	（5．3．7） ・各部配筋　： ● 図示による
	● 6．圧接完了後の試験	（5．4．10）（5．4．11） ・外観試験　： ● 行う（全ての圧接部） ・抜取試験　： ⊠ 超音波探傷試験 試験ロット　１組の作業班が１日に行った圧接箇所とする 試験の箇所数　１ロットに対して３０箇所とし、ロットから無作為に抜き取る ● 引張試験 試験ロット　１組の作業班が１日に行った圧接箇所とする なお、２００箇所を超えるときは２００箇所ごととする 試験の箇所数　１ロットに対して（ ○３本、 ● ５本）とする。
	○ 7．機械式継手	・適用箇所　：　（5．5．3）（5．5．5） ○ 図示による、○（　　　） ・Ｈ１２建告第１４６３号に適合する性能　： ○ Ａ級、　○（　　　） ・機械式継手の種類　： ○ 図示による、○（　　　） ・工法 ⊠ 第三者機関の評定等を取得している工法 ○ ・鉄筋相互のあき、品質の確認、検査　： ⊠ 評定等の評価内容による ○ ・施工完了後の継手部の試験　： 外観試験 試験対象：　⊠ 全数 試験項目、試験方法　： ○ 評定等の評価内容による、 ○（　　　） 超音波測定試験 試験対象： ○ 抜き取り ロット　○1組の作業班が１日に行った継手箇所で、最大２００箇所程度とする。 ○（　　　） 試験の箇所数　１ロットに対して（　　）箇所 ○ 全数 試験項目：　⊠ 挿入長さ 試験方法：　⊠ ＪＩＳ　Ｚ　３０６４（鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準）による ・不合格となった場合の措置　： ○（　　　）
	○ 8．溶接継手	・適用箇所　：　（5．6．3）（5．6．5） ○ 図示による、○（　　　） ・Ｈ１２建告第１４６３号に適合する性能　： ○ Ａ級、　○（　　　） ・溶接継手の工法　： ○ 図示による、○（　　　） ・鉄筋相互のあき　： ○標準仕様書５．３．５（４）による ○ 評定等の評価内容による ○ 図示 ・施工完了後の溶接部の試験　： 外観試験 試験対象：　⊠ 全数 試験項目、試験方法　： ○ 評定等の評価内容による、 ○（　　　） 超音波探傷試験 試験対象： ○ 抜き取り ロット　○1組の作業班が１日に行った継手箇所で、最大２００箇所程度とする。 ○（　　　） 試験の箇所数　１ロットに対して（　　）箇所 ○ 全数 試験項目：　⊠ 内部欠陥の検出 試験方法：　⊠ ＪＩＳ　Ｚ　３０６３（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準）による ・不合格となった場合の措置　： ○（　　　）

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	図面名	構造関係特記仕様書（１）	縮尺	-	図面番号	Ｓ－ 001
			特記事項	特記事項	特記事項						

章	項目	特記事項
6 コンクリート工事	● 1．コンクリートの種類等	・コンクリートの類別 ：（6．2．1） ☒ Ⅰ類（ＪＩＳ Ａ ５３０８への適合を認証されたコンクリート） ○ Ⅱ類（ＪＩＳ Ａ ５３０８に適合したコンクリート） ・普通コンクリート ：（6．2．1～6．2．4） 設計基準強度（N/mm²）／スランプ質量（cm）／気乾単位容積（t/m³）／適用箇所 ○ ○ 図示による(S-004 2.(1)) ○ ・構造体強度補正値 ：（6．3．2） ☒ ・別表「コンクリートの構造体強度補正値（Ｓ） 一覧」による(S-003) ○ （ ）
	● 2．セメント	・種類 ：（6．3．1） ☒ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントＡ種、シリカセメントＡ種又はフライアッシュセメントＡ種 適用個所（ ☒ 下記以外全て、 ○ ） 普通ポルトランドセメントの品質は、ＪＩＳ Ｒ ５２１０ に示された規定の他、水和熱が７日目で３５２Ｊ／ｇ以下、かつ２８日目で ４０２Ｊ／ｇ以下のものとする ○ 高炉セメントＢ種 G 適用個所（ ○ １ＦＬより下部（立上り部含む）、○ ） ○ フライアッシュセメントＢ種 G 適用個所（ ） ○ （ ） 適用個所（ ）
	● 3．骨材	・アルカリシリカ反応性による区分 ：（6．3．1） ☒ Ａ、 ○Ｂ（コンクリート中のアルカリ総量 Ｒｔ＝３．０ｋｇ／m³ 以下）
	● 4．混和材料	・混和剤の種類 ：（6．3．1） ☒標準仕様書 6．3．1（4）(a) による ○ （ ） ・混和材の種類 ：（6．3．1） ☒標準仕様書 6．3．1（4）(b) による ○ （ ）
	● 5．打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地	・打継の位置 ：（6．6．4） 梁及びスラブ ☒ スパンの中央又は端から１／４の付近、 ○ 図示による ○ （ ） 柱及び壁 ☒ スラブ、壁梁又は基礎の上端、 ○ 図示による ○ （ ） ・目地寸法 ：（6．6．4）（6．8．1）（9．7．3） ☒標準仕様書 9．7．3（1）(ア) による （ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打ち増し厚さ部で処理する） ○ 図示による（ ） ○ （ ） ・ひび割れ誘発目地の位置 ：（6．8．1） ● 図示による（ S-004 9.､S-042,043 共通事項 ） ○ （ ）
	● 6．コンクリートの仕上り	● 図示による（意匠図） ・合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ ：（6．2．5）（6．8．2） 種別／☒ 図示による（ ）、○ ○ A種／☒ 図示による（ ）、○ ○ B種／☒ 図示による（ ）、○ ○ C種／☒ 図示による（ ）、○ ・コンクリートの仕上がりの平坦さ ：（6．2．5）（6．8．2） 種別／☒ 図示による（ ）、○ ○ a種／☒ 図示による（ ）、○ ○ b種／☒ 図示による（ ）、○ ○ c種／☒ 図示による（ ）、○
	● 7．打増し厚さ（打放し仕上げ部）	・打増し厚さ ：（6．8．1） 打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る） ● ２０mm、○（ ） 打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る） ○ １０mm、○ ２０mm、○（ ） 外装タイル後張り面の打増し処理 ○ ２０mm、○（ ） ・打増し範囲 ： ○ 図示による（ ）、○（ ）
	● 8．型枠	・せき板の材料及び厚さ ：（6．8．2） ○ 合板 G （☒ １２mm、○ ）、○（ ） ・断熱材を兼用した型枠 ： 使用箇所 ○ 図示による（ ）、○（ ） ・MCR工法用シート ： 使用箇所 ○ 図示による（ ）、○（ ） 打増し厚さ ○ ２０mm、○（ ） 打増し範囲 ○ 図示による（ ）、○（ ） ・スリーブの材種、規格等 ： ○ 図示による（ ）、○（ ）
	● 9．無筋コンクリート	・コンクリートの種類 ：（6．2．1）（6．14．1） ☒ 普通コンクリート、○（ ） ・セメントの種類 ：（6．3．1） ☒ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントＡ種、シリカセメントＡ種又はフライアッシュセメントＡ種 ○ 高炉セメントＢ種 G ○ フライアッシュセメントＢ種 G ・設計基準強度 ：（6．14．1） ☒１８N/mm²、○（ ） ・スランプ ：（6．14．1） ☒ １５cm又は１８cm、○（ ） ・適用箇所 ：（6．14．1） ○標準仕様書 6．14．1（4）(ア)～(カ) による箇所 ○ 図示による（ ）

章	項目	特記事項
6 コンクリート工事	○ 10．コンクリートの単位水量測定	・実施要領 ： （1）単位水量の測定は、１５０m³に１回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 （2）単位水量の上限値は、標準仕様書6．3．2（イ）（c）による。 （3）単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1）測定した単位水量が、計画調合書の設計値（以下、「設計値」という。）±１５ｋｇ／m³の範囲にある場合はそのまま施工する。 2）測定した単位水量が、設計値±１５を超え±２０ｋｇ／m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±１５ｋｇ／m³以内で安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。 3）設計値±２０ｋｇ／m³を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±２０ｋｇ／m³以内であることを確認する。更に、設計値±１５ｋｇ／m³以内で安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。 4）「3）」の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 （4）単位水量管理についての記録を書面（計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等）と写真により提出する。 （5）単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法（電子レンジ法）、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

章	項目	特記事項
7 鉄骨工事	● 1．鉄骨製作工場	・鉄骨製作工場の加工能力 ：（7．1．3） 建築基準法第６８条の２５に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場、または、同等以上の能力のある工場 評価の区分 ☒（ Ｒ ）グレード、 ○ グレードの指定はしない
	● 2．鉄骨製作工場における施工管理技術者	・施工管理技術者 ：（7．1．3）（7．1．4） ☒ 配置する
	● 3．鋼材	・種類等 ：（7．2．1） 種類の記号／適用箇所（主要な部分）／規格 ● SM400B／大梁、小梁／● ＪＩＳ規格による、○ ● SS400、STKR400／大梁、小梁、間柱／● ＪＩＳ規格による、○ ● SN490B、SN490C／ダイアフラム／● ＪＩＳ規格による、○ ● STKN400B／柱／● ＪＩＳ規格による、○ ● BCR295／柱／○ ＪＩＳ規格による、● 大臣認定 ・溶融亜鉛めっき工法の適用個所 ： ●（ 屋外階段 ）
	● 4．高力ボルト	・高力ボルトの種類 ：（7．2．2） ● トルシア形高力ボルト ● ＪＩＳ形高力ボルト ○ 溶融亜鉛めっき高力ボルト ○ （ ） ・ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ：（7．3．2） ☒ 図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図） １－１ 縁端距離及びボルト間隔） ● （鉄骨構造標準図（２）） ・摩擦面の処理方法等 ： 溶融亜鉛めっき面以外 ：（7．4．2） ☒ 標準仕様書７．４．２（１）による、○（ ） 溶融亜鉛めっき面 ：（7．12．5） ● ブラスト処理（表面粗度５０μmＲｚ以上） ○ ブラスト処理以外の特別な処理方法 ○ 図示による、 ○ （ ） ・すべり試験 ： ☒ すべり係数試験、 ○ すべり耐力試験 試験の方法等 ：（7．4．2） ○ 図示による、●（規格品証明書の確認により省略）
	● 5．普通ボルト	・ボルト及びナットの材料 ：（7．2．3） ● 標準仕様書 表７．２．３（ＪＩＳ附属書品）又は次による ボルトの規格はＪＩＳ Ｂ １１８０とする （ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、４．６又は４．８とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。） ナットの規格はＪＩＳ Ｂ １１８１とする （ナットの種類を六角ナット－Ｏの鋼製とする。） ○ （ ） ・座金 ：（7．2．3） ☒ ＪＩＳ Ｂ １２５６による、○（ ） ・戻り止め ：（7．5．2） ☒ 二重ナット、○（ ） ・ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ：（7．3．2） ☒ 図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図） １－１ 縁端距離及びボルト間隔） ○ （ ）
	● 6．アンカーボルト	・構造用アンカーボルトの種類 ：（7．2．4）（7．10．3） ○ ＡＢＲ４００、○ ＡＢＲ４９０、●（ハイベースＮＥＯ工法設計施工標準） ・建方（及び付属鉄骨）用アンカーボルトの種類 ： ○ ＳＳ４００、 ○（ ） アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ○ 標準仕様書 表７．２．３による、●（ハイベースＮＥＯ工法設計施工標準） ・ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ：（7．3．2） ☒ 図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図） １－１ 縁端距離及びボルト間隔） ● （ハイベースＮＥＯ工法設計施工標準）
	● 7．溶接材料	・溶接材料 ：（7．2．5） ☒標準仕様書 7．2．5（1）（2）による ○標準仕様書 7．2．5（1）（2）以外による 材料及び使用箇所 ○ 図示による、 ○（ ）
	○ 8．ターンバックル	・種類 ：（7．2．6） 建築用ターンバックルボルト ☒ 羽子板ボルト、○（ ） 建築用ターンバックル胴 ☒ 割枠式、○（ ） ・ねじの呼び ：（7．2．6） ○ 図示による、○（ ）
	● 9．床構造用のデッキプレート	・材質、形状及び寸法 ：（7．2．7） 構法／適用箇所／材質・形状・寸法／備考 ○ デッキプレート単独の構法／／／ ● デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法／１階風除室屋根／QL99-50-12／ ○／／／ ・開口部補強要領（補強筋の定着長さ等を含む） ： ○ 図示による、○（ ） ・鉄骨部材への溶接方法 ：（7．7．8） ○ 図示による、●（焼抜き栓溶接 ） ・耐火認定 ： ● あり（耐火時間 ● 図示による、○ ）、 ○ なし
	~~○ 10．スタッド~~	~~・種類等 ：（7．2．8）~~ ~~呼び名／呼び長さ（mm）／適用箇所~~ ~~○ 16~~ ~~○ 19~~ ~~○ 22~~
	● 11．柱底均しモルタル	・無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 ：（7．2．9） ☒ 標準仕様書 7．2．9（2）（ア）～（エ）による、●（ハイベースＮＥＯ工法設計施工標準）

章	項目	特記事項
7 鉄骨工事	● 12．製作精度	・鉄骨の製作精度 ：（7．3．3） ＪＡＳＳ６付則６「鉄骨精度検査基準」に加えて次による通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ☒ Ｈ１２建告第１４６４号第二号イ（２）による、○（ ） ・アンダーカットの寸法 ： ☒ Ｈ１２建告第１４６４号第二号イ（３）による、○（ ） ・食い違い、仕口のずれの検査方法及び補強方法 ： ☒ 「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ○ （ ）
	○ 13．溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験	・試験の要領 ：（7．6．3） ○ 図示による、○（ ）
	● 14．溶接接合	・開先の形状 ：（7．6．4） ○ 図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図） １－２） ●（鉄骨構造標準図（１）） ・エンドタブの切除する部分 ：（7．6．7） ● 図示による、○（ ） 切断範囲 ● エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から５mm以下残して直線状に切断する なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する ○（ ） 切断面の仕上げ ○標準仕様書7．6．7（1）(カ) (b) ②による ●（鉄骨構造標準図（１）） ・スカラップの形状 ：（7．6．7） ○ 図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図） １－４（ｄ）改良型スカラップ） ●（鉄骨構造標準図（１））
	● 15．入熱、パス間温度の管理	・適用箇所 ： ○ 図示による ● 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部
	● 16．溶接部の試験	・Ｈ１２建告第１４６４号第二号に関する外観試験方法等 ：（7．6．12） 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」３．５．２受入検査による ○ 抜き取り検査① ☒ 抜き取り検査② ・ＪＡＳＳ ６ 付則６「鉄骨精度検査基準」の付表３「溶接」に関する試験方法等 ： ☒ ＪＡＳＳ６ １０．４「受入検査」ｅ．溶接部の外観検査（１）から（５）までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験個所と同一とする。 外観試験の不合格個所は、すべて標準仕様書７．６．１３による補修を行い、再試験する。 ・完全溶込み部の超音波探傷試験 ： 工場溶接の場合 ●AQQL（%）（☒４．０、○２．５） 節／○ 全て、○（ ） 検査水準／☒ 第６水準、○（ ） ○ 全数 工事現場溶接の場合 ☒ 全数
	● 17．錆止め塗装	・塗料の範囲 ：（7．8．2） 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ○ 図示による、●（ 塗装なし ） 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ○ 図示による、○（ ） ・塗料の種別 ：（7．8．4）（18．3．2） 下記以外の鉄鋼面は、「１８章 塗装工事」による。 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別 ☒ Ａ種、○（ ） 耐火被覆が接着する面の塗料の種別 ○ （ ）
	● 18．耐火被覆	・種類、材料、構法等 ：（7．9．2～7．9．8） 種類／材料・工法／性能（耐火時間）／適用箇所（部位・部分） ● 耐火材吹付け／○ 乾式吹付けロックウール／／ ／● 半乾式吹付けロックウール／１時間／柱・梁 ／○ 湿式ロックウール／／ ／○／／ ／○／／ ○ 耐火板張り／○ 繊維混入けい酸カルシウム板／／ ／○／／ ○ 耐火材巻付け／○ 高断熱ロックウール／／ ／○／／ ○ ラス張りモルタル塗り／－／／ ○ 耐火塗料／○／／
	● 19．建方精度	☒ ＪＡＳＳ６ 付則６［鉄骨精度基準］付表５［工事現場］による（7．10．2）
	● 20．アンカーボルトの設置等	・構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ：（7．10．3） ● 図示による、○（ ） ・構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ：（7．10．3） ● 図示による、○（ ） ・建方（及び付属鉄骨）用アンカーボルトの形状及び寸法 ：（7．10．3） ● 図示による、○（ ） ・建方（及び付属鉄骨）の保持及び埋込み工法 ：（7．10．3） 種別 ● Ａ種、 ○Ｂ種 ・柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 ：（7．10．3） 厚さ ●（ 50 ） 種別 ☒ Ａ種、 ○Ｂ種

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	構造関係特記仕様書（２）	縮尺	－	図面番号 S－002
		特記事項	特記事項	特記事項					

章	項目	特記事項
その他	○ 1．軽微な変更の対応（あらかじめ検討）	・施工の関係上やむを得ず発生する可能性の高い変更事項への対応方法について、 **あらかじめの検討を行っている部分** ： 本検討は、計画通知の変更を要しない範囲及び対応方法を定めるものであり、品質管理上の施工誤差を許容するものではない。 ・杭の芯ずれを考慮した検討 あらかじめ検討の範囲及び対応方法 ☒ 図示、○（　　） ・杭の長さの変更を見込んだ検討 ： あらかじめ検討の範囲及び対応方法 ☒ 図示、○（　　） ・梁貫通孔の大きさと位置の変更を見込んだ検討 ： あらかじめ検討の範囲及び対応方法 ☒ 図示、○（　　）

・別表「コンクリートの構造体強度補正値（S） 一覧」

令和４年１２月現在（表6．3．2）

今回対象地区	地区	市町村名	セメントの種類	普通ポルトランドセメント			早強ポルトランドセメント		
			材齢２８日間の平均気温	暑中におけるコンクリート	８以上	０以上 ８未満	暑中におけるコンクリート	５以上	０以上 ５未満
			補正値（S）	6(N/mm²)	3(N/mm²)	6(N/mm²)	6(N/mm²)	3(N/mm²)	6(N/mm²)
●	千葉中央地区	千葉市・市原市・四街道市		7/ 6 ～ 9/ 9	2/10 ～ 7/ 5 9/10 ～ 12/ 8	12/ 9 ～ 2/ 9	7/ 6 ～ 9/ 9	9/10 ～ 7/ 5	該当なし
○	千葉北部地区	我孫子市・柏市・鎌ケ谷市・野田市・松戸市・流山市		7/15 ～ 8/28	2/24 ～ 7/14 8/29 ～ 11/19	11/20 ～ 2/23	7/15 ～ 8/28	2/ 3 ～ 7/14 8/29 ～ 12/ 8	12/ 9 ～ 2/ 2
○	千葉西部地区	市川市・印西市・浦安市・習志野市・八千代市・船橋市・白井市		7/10 ～ 9/ 3	2/17 ～ 7/ 9 9/ 4 ～ 11/28	11/29 ～ 2/16	7/10 ～ 9/ 3	1/ 7 ～ 7/ 9 9/ 4 ～ 12/28	12/29 ～ 1/ 6
○	北総地区	成田市・佐倉市・八街市・神崎町・栄町・酒々井町・芝山町・多古町・富里市		7/10 ～ 8/31	2/21 ～ 7/ 9 9/ 1 ～ 11/22	11/23 ～ 2/20	7/10 ～ 8/31	1/29 ～ 7/ 9 9/ 1 ～ 12/10	12/11 ～ 1/28
○	東総地区	旭市・香取市・銚子市・東庄町		7/24 ～ 9/ 2	2/ 7 ～ 7/23 9/ 3 ～ 12/12	12/13 ～ 2/ 6	7/24 ～ 9/ 2	9/ 3 ～ 7/23	該当なし
○	九十九里地区	東金市・山武市・茂原市・匝瑳市・いすみ市・大網白里市・一宮町・御宿町 九十九里町・白子町・長南町・長柄町・横芝光町・睦沢町・長生村		7/ 8 ～ 9/ 6	2/13 ～ 7/ 7 9/ 7 ～ 12/ 2	12/ 3 ～ 2/12	7/ 8 ～ 9/ 6	9/ 7 ～ 7/ 7	該当なし
○	君津・木更津地区	木更津市・君津市・袖ケ浦市・富津市		7/12 ～ 8/30	2/15 ～ 7/11 8/31 ～ 12/ 3	12/ 4 ～ 2/14	7/12 ～ 8/30	8/31 ～ 7/11	該当なし
○	館山地区	館山市・鋸南町・南房総市		7/10 ～ 9/ 9	2/ 6 ～ 7/ 9 9/10 ～ 12/11	12/12 ～ 2/ 5	7/10 ～ 9/ 9	9/10 ～ 7/ 9	該当なし
○	勝浦・鴨川地区	勝浦市・鴨川市・大多喜町		7/23 ～ 9/ 5	2/ 5 ～ 7/22 9/ 6 ～ 12/15	12/16 ～ 2/ 4	7/23 ～ 9/ 5	9/ 6 ～ 7/22	該当なし

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	図面名	構造関係特記仕様書（３）	縮尺	－	図面番号	S－003

構造設計標準仕様

適用は◉印を記入する。

1．建築物の構造内容

建物概要はS-001図による。

（1）屋上付属物

◉アンテナ基礎　◉外気処理機基礎　◉空調室外機基礎
◉受変電設備基礎　◉蓄電池基礎　◉ハト小屋
◉太陽光パネル基礎　◉ガス給湯器基礎　□

（2）特別な荷重

◉エレベータ　13人乗（ロープ式　~~油圧式~~）　□雨水貯留槽　㎥　□消火水槽　㎥
□倉庫積載床用　□受水槽　㎥　□防火水槽　㎥

2．使用構造材料

（1）コンクリート

調合管理強度Ｆｍは、品質基準強度Ｆｑ（ｍａｘ［Ｆｃ，Ｆｄ］）にＳ値（３Ｎ／mm² 以上）を加えた値で配合計画を行うこと。
（但し、捨てコン・土間コン・押えコンは除く）
※スランプは、調合管理強度が３３Ｎ／mm² 以上の場合２１ｃｍ以下、３３Ｎ／mm² 未満の場合は１８ｃｍ以下とする。

適用箇所	種　類	設計基準強度（Fc=N/mm²）	スランプ（cm）	スランプフロー(cm)	比　重	備　考
捨てコンクリート	◉普通	◉15　□18	18 以下			
土間コンクリート	◉普通	◉18　□21	18 以下			
基礎、基礎梁	◉普通　□軽量	□21　◉24　□27	※		2.3	
柱、梁、床、壁	◉普通　□軽量	◉30　□33　□36	※		2.3	
	□普通　□軽量	□39　□42　□				
	□普通　□軽量	□45　□48　□				
押えコンクリート	◉普通　□軽量	□13.5　◉18　□	18 以下		2.3	
外　構	◉普通　□軽量	◉21　□24	18 以下		2.3	
合成スラブ	◉普通　□軽量	□18　□21　◉24	18 以下		2.3	

（2）コンクリートブロック（ＣＢ）

□Ａ種　◉Ｂ種　□Ｃ種　　厚 □100　◉120　□150　□190

（3）鉄　筋

	種　類	径	使用箇所	継手工法・定着工法
異形鉄筋	◉SD295	D10 ～ D16	躯体全般	◉重ね継手　D10 ～ D16
	◉SD345	D19 ～ D25	躯体全般	◉ガス圧接継手　D19 ～ D29　（杭主筋を除く） ◉Ａ級継手（一部）
	◉SD390	D29 以上	躯体全般	□機械式継手　D38 以上　（杭主筋を除く）
	□			□溶接継手
高強度剪断補強筋	◉SHD685 （UHY685フープ） MSRB-9004 OT685 （OT685フープ） MSRB-0073 KH685 （スーパーフープ685） MSRB-0087 SPR685 （パワーリング685） MSRB-0094 GSD685 （GIS フープ685） MSRB-0092 ※上記のいずれかを使用すること。	U13	剪断補強筋	◉機械式定着 ※使用する場合には工事監理者に確認すること。 ※工法によって使用できない場合や補強が必要になる場合があるあ、留意すること。

ガス圧接継手の施工前試験は（公社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書　ガス圧接継手工事」に倣うこと。

（4）鉄　骨

	種　類	使用箇所	現場溶接	設計溶接強度
鋼　材	◉SS400　◉SN400B　□SN490B	大梁・小梁 ベースプレート	□有　◉無	□0.9F　◉1.0F
	□SM400B　□SM490B　□		□有　□無	□0.9F　□1.0F
	◉BCR295　◉STKN400B　◉STKR400	柱 屋外階段	□有　◉無	□0.9F　◉1.0F
	□STKR400　□STKR490　□		□有　□無	□0.9F　□1.0F
	◉SN490B　◉SN490C　□	ダイアフラム	□有　◉無	□0.9F　◉1.0F
	□SSC400　□　□		□有　□無	□0.9F　□1.0F

（5）ボルト

◉高力ボルト　◉F10T　□F8T　◉S10T　　認定品（□M12　◉M16　◉M20　◉M22 ）
◉中ボルト　φ＝　φ＝　　高力ボルトすべり係数試験　□要　◉否
◉アンカーボルト S-044,045図参照　　ナット（~~シングル~~、ダブル）
□頭付スタッド

（6）屋根、床、壁

鋼　材	型式、厚さ、その他	使用箇所	仕様・構法
□ALC	厚：	□壁　□床版	□ロッキング　□スライド
◉押出し成形セメント版	厚：60	◉壁　□床版	◉ロッキング
◉デッキスラブ	厚：80	◉屋根	◉QLデッキ
◉折版		◉屋根	◉完全嵌合式平滑葺き

3．地　盤

（1）地盤調査資料

◉有（◉敷地内　□近隣）　◉ボーリング調査　◉標準貫入試験　□水平地盤反力係数の測定
◉土質試験　□平板載荷試験　液状化の可能性　高◉低□（350 gal）
□無（調査予定　□有　□無）　□現場透水試験

（2）地盤調査計画

□ボーリング調査　□静的貫入試験　□標準貫入試験　□水平地盤反力係数の測定
□土質試験　□物理探査　□平板載荷試験　□試験掘（支持層の確認）

（3）地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

（4）ボーリング標準貫入値、土質構成　（ S-014,015図参照）

4．地業工事

JASS4による。但しコンクリートはJASS5による。

（1）直接基礎

□ベタ基礎　□布基礎　□独立基礎　試験掘　□有　□無
深さGL=　■支持層=　長期許容支持力度　kN/㎡　載荷試験　□有　□無

（2）杭基礎　支持層＝　細砂層　（杭先端 GL-15.2 m,GL-11.2 m,GL-9.2 m以深）

杭　種	材　料	施工法	備　考
◉HSC　□PC ◉PHC　□H 鋼 □鋼管　□摩擦杭 □	PC　（□Ａ種　□Ｂ種　□Ｃ種） PHC　（□Ａ種　□Ｂ種　◉Ｃ種） 鋼材　□SS400　◉SKK490 □	□打ち込み □埋込み　（セメントミルクエ法） ◉プレボーリング拡大根固め工法 MAGNUM-BASIC工法	認定番号 TACP-0507,0508,0509
□場所打ち コンクリート杭	コンクリート　：　Fc＝ 水セメント比　：　%　以下 スランプ　：　cm　以下 単位水量　：　kg/m³ 以下 単位セメント量：　kg/m³ 以上 空気量　：　% 鉄筋　：主筋 HOOP	□オールケーシング　□拡頭杭　□拡底杭 □リバースサーキュレーション □アースドリル　□ミニアース □深礎　□手掘　□機械掘（無水掘）	拡底杭 日本建築センター評定 第　号 年　月　日

※調合管理強度Fmは、拡底杭の評定書による。

杭仕様　◉施工計画書承認　◉杭施工結果報告書

試験杭　（◉有・□無）　（□打ち込み　・□載荷）　1 本

杭径 (mm)	設計支持力 （ kN/本）	杭の先端の深さ　(m)	本数	特記事項
S-016,028図参照				

（3）砕石・割栗・捨てコンクリート地業

地業厚さ (mm)

施工箇所	砕　石	割　栗	捨てコン	備　考
基礎下	50	――	50	
基礎梁下・基礎スラブ下	50	――	50	
外構基礎下	100	――	50	
土間コンクリート下	100	――	――	

5．鉄筋コンクリート工事

（1）コンクリート

◉　コンクリートは JIS 認定工場の製品とし施工に関しては JASS5-2018 による。
◉　計画供用期間の級 □短期 (Fd18) ◉標準 (Fd24) □長期 (Fd30) □超長期 (Fd36) とする。
（Fd：耐久設計基準強度）
◉　本設計図書内に於けるコンクリート強度は設計基準強度を示す。
◉　セメントは、JIS R5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
◉　調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
◉　水セメント比 65 %以下、単位水量 185 kg/m³ 以下、単位セメント量 270 kg/m³ 以上、空気量 4.5 %とする。
◉　寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
◉　フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を１回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
◉　構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5T-603) の採取は、打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。
また、打込み量が 150 m³ をこえる場合は 150 m³ 以下にほぼ均等に分割した単位ごとに１回を標準とする。１回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、現場封かん養生の場合は、供試体の数量は特別な指示なき場合は、１回当たり９本以上とし、そのうち１週用、型枠解体用のXdayとしてそれぞれ３本を使用する。
◉　標準養生とした場合
３個の供試体の圧縮強度の平均値が調合管理強度（Ｆｍ）以上であれば合格とする。
現場水中養生とした場合
材齢２８日までの平均気温２０℃以上：
３個の供試体の圧縮強度の平均値が調合管理強度（Ｆｍ）以上であれば合格とする。
材齢２８日までの平均気温２０℃未満：
３個の供試体の圧縮強度の平均値から３Ｎ／ｍｍ２を減じた値が品質基準強度（Ｆｑ）以上であれば合格とする。
現場封かん養生とした場合、材齢２８日～９１日以内のｎ日において３個の供試体の圧縮強度の平均値から３Ｎ／ｍｍ２減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。
◉　ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能の有る者が従事すること。
なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は 150 分、25 ℃以上の場合は 120 分以内とする。
□　Fc36N/mm² を超える高強度コンクリートを使用する場合は、ＪＩＳ認定工場が取得している大臣認定条件及び、高強度コンクリート施工指針・同解説の基準に従う事。

（2）鉄　筋

◉　鉄筋は JIS G3112の規格品を標準とする。施工は JASS5-2018 による。
◉　高強度せん断補強筋は、大臣認定品、評定取得品とする。
◉　鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) ～ (5)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)(2) 」による。
◉　D19 未満は、すべて重ね継手とする。継手（D19 以上）をガス圧接とする場合は、（公社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書　ガス圧接継手工事」による。
◉　圧接工事施工者は（公社）日本鉄筋継手協会「優良圧接会社認定制度」による優良圧接会社から選定していること。
◉　ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（200 箇所を越えるときには、200 箇所ごと）に１回行い、１回の試験は５本以上とする。
外観検査　◉有　□無、引張試験　◉有　□無、超音波探傷試験（A級圧接時）◉有　□無
◉　柱の帯筋（HOOP）の加工方法は、◉Ｈ型（タガ型）　□Ｗ型（溶接型）　□Ｓ型（スパイラル型）とする。 但し、図面表示のある場合はそれに従うこと。
◉　コンクリート及び鉄筋の試験は公的試験機関で行うこと。
試験機関名 ｝ 工事監理者の指定する第３者機関
代行業者名 ｝
代行業者名とは、試験、検査に伴なう業務を代行する者をいう。

（3）型　枠

◉　材料　合板厚 12 mm を標準とする。　◉　施工は JASS5- 2018 による。
◉　型枠存置期間

種類 / 部位			せき板				支　柱		
			基礎、はり側、柱、壁		スラブ下、はり下		スラブ下		はり下
セメントの種類			早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
存置期間の平均気温									
短期標準	コンクリートの材令（日）	20℃以上	2	4	設計基準強度の 100 %		設計基準強度の 100 %		
		0℃~20℃	3	6					
長期 超長期	コンクリートの圧縮強度		5 N/mm²（10 N/mm²）						
			15 N/mm²						

※（ ）内の数値はせき板取り外し後に（ ）内の数値に達するまで湿潤養生しない場合とする。

注）１　片持ばり、庇、スパン 9.0 m 以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注）２　盛りかえは原則として行わない。やむを得ず盛りかえを行う必要が生じた場合は、その範囲と方法を定めて、工事監理者の承認を得ること。
注）３　上表より早く支保工を取り外す場合は、対象とする部材が取り外し直後、その部材に加わる荷重を安全に支持できるだけの強度を適切な計算方法から求め、その圧縮強度を実際のコンクリートの圧縮強度が上回ることを確認しなければならない。
ただし、取外し可能な圧縮強度は、計算結果に関わらず最低 12 N/mm² 以上としなければならない。
注）４　上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6．鉄骨工事

（1）鉄骨工事は指示のない限り下記による

◉日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
◉社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
◉鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕ロずれの　検査・補強マニュアル」

（2）工事監理者の承認を必要とするもの

◉製作工場　◉製作要領書　◉工作図　◉施工計画書
◉認定または登録工場（大臣認定　Ｒ　グレード　都登録　ランク）
◉材料規格証明書または試験成績書
◉鋼材　◉高力ボルト　□特殊ボルト　□スタッドボルト
◉社内検査表　□　□

（3）工事監理者が行う検査項目

（◉印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
◉現寸検査　◉組立・開先検査　◉製品検査
◉建方検査　□　□

（4）接合部の溶接は下記によること

◉鉄骨構造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱（建築構造設計指針第12章
◉日本建築学会　「溶接工作規準、同解説 I, II, III, IV, V, VI, VII, VIII, IX 」
◉日本建築学会　「鉄骨工事技術指針、工事現場施工編」

（5）接合部の検査

◉溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）　S-002 7章16項による

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数 社内	第三者	工事監理者	
□完全溶込み溶接部	超音波探傷試験	◉ 重	◉ 重	◉ 重	
□	外観（目視）検査	%	%	%	
□	マクロ試験・その他	箇	箇	箇	
第三者検査機関名	認定機関				
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注１）現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。
注２）現場溶接は、超音波深傷試験を１００%行う事。

◉高力ボルトは「JIS B1186 の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径２倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが 50S 以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。
◉高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは一次、二次締めとする。
締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行なわれているか検査する。

（6）防錆塗装

◉防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K5674 、２回塗りを標準とする。
◉現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、２回塗りを標準とする。

（7）耐火被覆の材料

□

7．施工計画

◉　打込・締め固め方法
JASS5, 7 節に準拠。
◉　打継ぎ部の処理方法
JASS5, 7 節7. 8 に準拠。
◉　養生方法
JASS5, 8 節に準拠。

8．建築物に設ける建築設備について

建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

◉建築設備（昇降機を除く）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。
◉屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に緊結すること。
□煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き90cm以下とすること。
□煙突で屋内にある部分は鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cmの無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること
◉建築物に設ける給水、排水その他配管設備は、
◉風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障ない構造とすること。
◉建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
◉管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
◉管を支持し、または固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和の為の措置を講ずること。
◉法20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。
◉給湯設備は、支持構造部及び緊結金物を腐食または腐朽の恐れのないものとするほか、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。

9．その他

◉諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
◉各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
◉必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
◉外壁、パラペット、外部廊下の床・手摺、バルコニーの床・手摺は、@3,000 前後毎にひび割れ誘発目地を設けること。（位置は、意匠図による。）
◉床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの１／３以下とし管の間隔を管径の３倍以上かつ５ｃｍ以上を原則とする。（デッキ等を除く）
□日本住宅性能表示基準
耐震等級　等級　（構造躯体の倒壊防止・損傷防止共）
耐風等級　等級
劣化対策等級　等級

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	構造設計標準仕様	縮尺	-	図面番号	S－ 004

鉄筋コンクリート構造配筋標準図　（１）

１．一般事項

a. 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
b. 「特記による」とあるものは構造図を参照する事。該当項目がない場合は監理者に相談する事。
c. 丸鋼・溶接金網は原則使用しない。使用する場合は監理者に相談する事。

２．かぶり厚さ

a. 設計かぶり厚さは表１による。
b. ひび割れ誘発目地部などかぶり厚さが部分的に減少する箇所は、防錆鉄筋を使用するなどの防錆処置を講ずることもあるが、目地底から設計かぶり厚さを確保する。

表１　設計かぶり厚さ　（単位：mm）

部材の種類		短期	標準・長期		超長期	
		屋内・屋外	屋内	屋外	屋内	屋外
構造部材	柱・梁・耐力壁	40	40	50	40	50
	スラブ	30	30	40	40	50
非構造部材	構造部材と同等の耐久性を要求する部材	30	30	40	40	50
	計画供用期間中に維持保全を行う部材	30	30	40	(30)	(30)
直接土に接する柱・梁・壁・床および布基礎の立上り部分		50				
基礎		70				

［注］(1) ビット内のかぶり厚は屋外を適用とする。
(2) スペーサー及び施工計画については設計かぶり厚により行う。
(3) 耐久性上有効な仕上げがあっても表より10mm減じてはならない。
(4) 最小かぶりは設計かぶり-10mmとする。
(5) D29以上の主筋（柱及び梁）の最小かぶり厚さは、呼び径 d の 1.5 倍以上確保すること。

３．鉄筋間隔と鉄筋のあき

鉄筋間隔と鉄筋のあきの最小値は表２による。

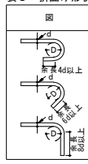
表２　鉄筋間隔・鉄筋のあきの最小値

異形鉄筋	鉄筋間隔	鉄筋のあき
	・呼び名の数値の 1.5 倍＋最外径 ・粗骨材最大寸法の 1.25 倍＋最外径 ・25mm ＋最外径 のうち大きいほうの数値	・呼び名の数値の 1.5 倍 ・粗骨材最大寸法の 1.25 倍 ・25mm のうち大きいほうの数値

［注］D：鉄筋の最外径　d：鉄筋径

４．加工形状

表３　折曲げ形状・寸法

図	折曲げ角度	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法直径（D）
	180°	SD 295	D16以下	3d以上
	135°	SD 345	D19～D41	4d以上
	90°	SD 390	D41以下	5d以上
	90°	SD 490	D25以下	5d以上
			D29～D41	6d以上

［注］(1) d は、異形鉄筋の呼び名に用いた数値とする。
(2) スパイラル筋の重ね継手部に 90°フックを用いる場合は、余長は 12d 以上とする。
(3) 片持スラブの上端筋の先端、壁筋の自由端側の先端で 90°フックまたは 135°フックを用いる場合は、余長は 4d 以上とする。
(4) 折曲げ内法直径を上表の数値よりも小さくする場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い、支障の無いことを確認した上で工事監理者の承認を得る事。
(5) SD490の鉄筋を90°を超える曲げ角度で折曲げ加工する場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い、支障の無いことを確認した上で工事監理者の承認を得る事。
(6) 高強度せん断補強筋は大臣認定方法による。

５．加工

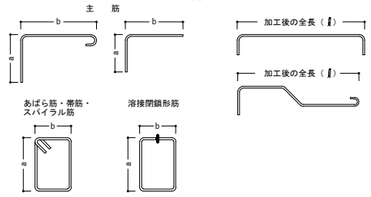
a. 有害な曲がりあるいは損傷のある鉄筋は用いない。
b. コイル状の鉄筋は直線器にかけて用いる。この際鉄筋に損傷を与えてはならない。
c. 鉄筋は鉄筋加工図に従い、所定の寸法に切断する。切断は、シヤカッターまたは電動カッターなどによって行う。鉄筋の折曲げは冷間加工とし、手動鉄筋折曲げ機または自動鉄筋折曲げ機などによって行う。
d. 鉄筋の加工は、設計図書および鉄筋加工図に従い、下記（１）および（２）により行う。

(1)　加工寸法の許容差は、表４による。

表４　加工寸法の許容差　（単位：mm）

項目			符号	許容差
各加工寸法	主筋	D25以下	a, b	±15
		D29以上 D41以下	a, b	±20
	あばら筋・帯筋・スパイラル筋		a, b	± 5
加工後の全長			ℓ	±20

［注］各加工寸法および加工後の全長の測り方の例を下図に示す。



(2)　折曲げは冷間加工とし、その形状・寸法は表３による。

e. 下記（１）～（３）に示す鉄筋の末端部には、フックを付ける。あばら筋および帯筋のフック折曲げ角度は各規定による。
(1)　あばら筋および帯筋
(2)　柱および梁（基礎梁を除く）の出隅部の鉄筋
(3)　煙突の鉄筋

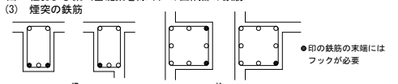


図１　異形鉄筋でも建築基準法によって末端にフックを必要とする出隅部の鉄筋

６．組立て

鉄筋は施工図に基づき、所定の位置に正しく配筋し、コンクリートの打込み完了まで移動しないよう堅固に組み立てる。

７．バーサポート・スペーサー

a. バーサポート・スペーサーの種類は下記による。
(1)　コンクリート製
(2)　鋼製（かぶり部分は防錆塗装を施すこと）
(3)　プラスチック製
(4)　ステンレス製

表５　バーサポートおよびスペーサーなどの種類および数量・配置の標準

部位	スラブ	梁	柱
種類	鋼製・コンクリート製	鋼製・コンクリート製	鋼製・コンクリート製
数値または配置	上端筋、下端筋それぞれ 1.3個／m²程度	間隔は1.5m程度 端部は1.5m以内	上段は梁より0.5m程度 中段は柱脚と上段の中間 柱幅方向は1.0mまで2個 1.0m以上3個
備考	端部上端筋および中央部下端筋には必ず設置	側梁以外の梁は上又は下に設置、側梁は側面の両側へ対称に設置	同一平面に点対称となるように設置
部位	基礎	基礎梁	壁・地下外壁
種類	鋼製・コンクリート製	鋼製・コンクリート製	鋼製・コンクリート製
数値または配置	面積 4m²程度　8個 16m²程度 20個	間隔は1.5m程度 端部は1.5m以内	上段は梁下より0.5m程度 中段は上段より1.5m間隔程度 横間隔は1.5m程度 端部は　1.5m以内
備考		上または下と側面の両側へ対称に設置	

［注］スペーサーの種類は、側面に限りプラスチック製でも良い。
それ以外の箇所でプラスチック製を使用する場合には剛性・強度・安定性・耐火性など十分に確認し用いること。

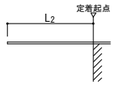
８．定着

(1)　定着長さ
a. 特記のない場合、小梁・スラブの下端筋を除く異形鉄筋の、直線定着長さL2は表６（ａ）の数値以上とし、フック付き定着の長さL2hは同表（ｂ）の数値以上とする。

表６　鉄筋の定着の長さ

（ａ）直線定着の長さL2

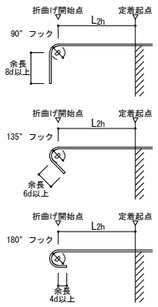
コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	SD295	SD345	SD390	SD490
18	40d	40d	－	－
21	35d	35d	40d	－
24～27	30d	35d	40d	45d
30～36	30d	30d	35d	40d
39～45	25d	30d	35d	40d
48～60	25d	25d	30d	35d



直線定着の長さL2

（ｂ）フック付き定着の長さL2h

コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	SD295	SD345	SD390	SD490
18	30d	30d	－	－
21	25d	25d	30d	－
24～27	20d	25d	30d	35d
30～36	20d	20d	25d	30d
39～45	15d	20d	25d	30d
48～60	15d	15d	20d	25d



フック付き定着の長さL2h

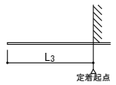
［注］(1) d は、異形鉄筋の呼び名に用いた数値とする。
(2) フック付き鉄筋の定着長さL2h は定着起点から鉄筋の折曲げ開始点までの距離とし、折曲げ開始点以降のフック部は定着長さに含まない。
(3) フックの折曲げ内法寸法直径 D および余長は表３による。
(4) 軽量コンクリートを使用する場合は、Fc≦36N/mm² の軽量コンクリートとSD490以外の異形鉄筋を対象として、表６の数値に5d以上を加算した数値とし、工事監理者の承認を得ること。

b. 特記の無い場合の小梁・スラブの下端筋の定着長さL3は、表７（ａ）の数値以上とし、フック付き定着長さL3h は同表（ｂ）の数値以上とする。

表７　小梁・スラブの下端筋の定着の長さ

（ａ）直線定着の長さL3

コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	鉄筋の種類	下端筋 小梁	下端筋 スラブ
18～60	SD295 SD345 SD390	20d*	10d*かつ 150mm以上

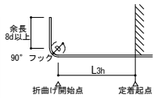


下端筋の直線定着の長さL3

［注］＊：片持ち小梁・片持ちスラブの下端筋を直線定着する場合は、25d以上とする。

（ｂ）フック付き定着の長さL3h

コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	鉄筋の種類	下端筋 小梁	下端筋 スラブ
18～60	SD295 SD345 SD390	10d	－



下端筋のフック付き定着長さL3h

［注］(1) d は、異形鉄筋の呼び名に用いた数値とする。
(2) 耐圧スラブの下端筋の定着長さは表６による。
(3) フック付き鉄筋の定着長さL3h は定着起点から鉄筋の折曲げ開始点までの距離とし、折曲げ開始点以降のフック部は定着長さに含まない。
(4) フックの折曲げ内法寸法直径 D および余長は表３による。
(5) 軽量コンクリートを使用する場合は、Fc≦36N/mm² の軽量コンクリートとSD490以外の異形鉄筋を対象として、表６の数値に5d以上を加算した数値とし、工事監理者の承認を得ること。

c. 仕口内に90°折曲げ定着する鉄筋の定着長さが、表６（ｂ）のフック付き定着長さL2h を満足しない場合の定着方法は下記の(1)～(2)による。

(1)　仕口内に90°折曲げ定着する鉄筋の定着長さは、図２に示すように定着起点（仕口面）から鉄筋先端までの全長を直線定着の長さL2 以上かつ余長を8d以上とし、定着起点から鉄筋外面までの定着投影長さをLaまたはLbとする。

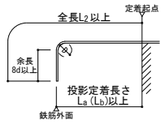


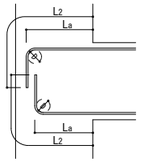
図２　仕口内に90°折曲げ定着する鉄筋の投影定着長さ（LaまたはLb）

(2)　特記がない場合の投影定着長さは、大梁（基礎梁や片持ち梁を含む）の主筋の柱内定着については、表８（ａ）のLaの数値以上、小梁やスラブの上端筋の梁内定着については、同表（ｂ）のLbの数値以上とする。なお、片持形式の小梁やスラブの上端筋は、同表（ａ）のLaの数値以上とする。

表８　異形鉄筋の仕口内の折曲げ定着の投影定着長さ

（ａ）大梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さLa

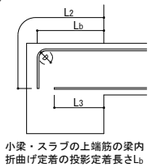
コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	SD295	SD345	SD390	SD490
18	20d	20d	－	－
21	15d	20d	20d	－
24～27	15d	20d	20d	25d
30～36	15d	15d	20d	25d
39～45	15d	15d	15d	20d
48～60	15d	15d	15d	20d



大梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さLa

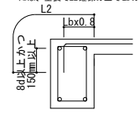
（ｂ）小梁やスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さLb（片持ち小梁・スラブを除く）

コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	SD295	SD345	SD390	SD490
18	15d	20d	－	－
21	15d	20d	20d	－
24～27	15d	15d	20d	－
30～36	15d	15d	15d	－
39～45	15d	15d	15d	－
48～60	15d	15d	15d	－

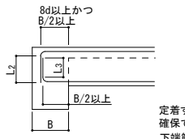


小梁・スラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さLb

［注］(1) d は、異形鉄筋の呼び名に用いた数値とする。
(2) フックの折曲げ内法寸法直径 D および余長は表３による。
(3) 軽量コンクリートを使用する場合は、Fc≦36N/mm² の軽量コンクリートとSD490以外の異形鉄筋を対象として、表８の数値に5d以上を加算した数値とし、工事監理者の承認を得ること。
(4) 梁主筋を柱へ定着する場合、La の数値は原則として柱せいの3/4倍以上とする。
(5) 上端筋末端の余長部が、横補強筋で囲まれたコア内に8d以上かつ150mm以上入っている場合には、全長でL2確保の上でLbの数値の0.8倍としてよい（片持ち形式を除く）



(3)　定着する梁幅Bが、投影定着長さLbを満足出来ないほど小さい場合は、上端筋は余長部でL2、下端筋はL3とする。
このとき投影定着長さを8d以上かつB/2以上とすること。



定着する梁せいが小さく垂直に余長が確保できない場合は、上端筋は斜め定着、下端筋は斜めあるいは水平定着としてよい。

d. 機械式定着による場合は、メーカー仕様による。

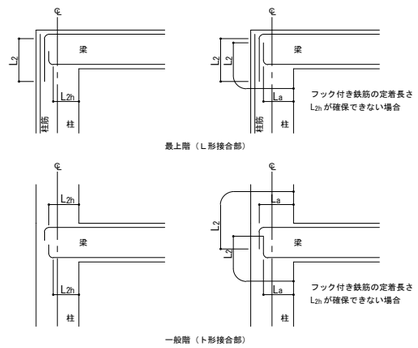


図３　梁の定着長さの取り方

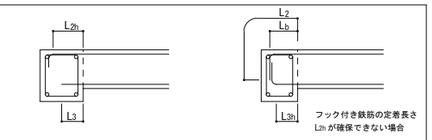


図４　小梁の定着長さの取り方

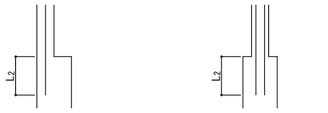


図５　壁の定着長さの取り方

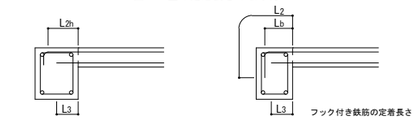


図６　スラブの定着長さの取り方

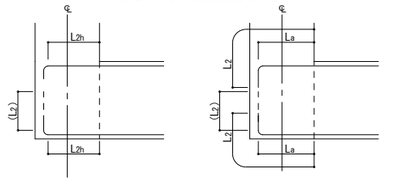


図７　基礎梁の定着長さの取り方

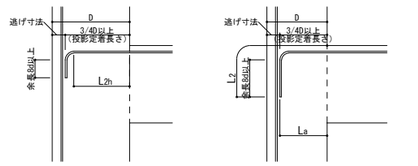


図８　梁筋柱内への折曲げ定着

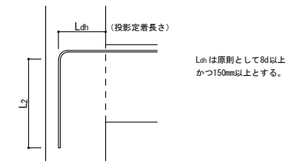


図９　仕口せいが小さい場合の鉄筋の折曲げ定着

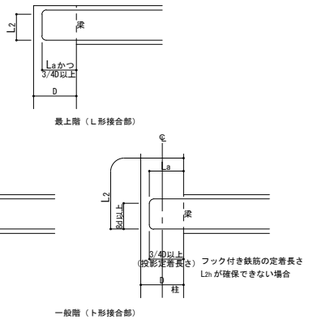


図１０　梁筋のＵ型折曲げ定着

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 / 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 / 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 / 特記事項	図面名	鉄筋コンクリート構造 配筋標準図（１）	縮尺 -	図面番号 S－005

鉄筋コンクリート構造配筋標準図　（２）

９．ガス圧接継手・重ね継手及び特殊継手

a. ガス圧接の仕様は、（公社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書 ガス圧接継手工事」（２０１７年度版）による。
b. 特記の無い場合の重ね継手長さは、柱・梁主筋以外のその他の鉄筋を対象として、直線重ね継手の長さL_1は表９（ａ）の数値以上とし、フック付き重ね継手L_{1h}は同表（ｂ）の数値以上とする。但し、杭主筋を除きD35以上の異形鉄筋には、原則として重ね継手は用いない。
c. 機械式継手を用いる場合は、機械式継手標準図を参照すること。
d. 継手は、１か所に集中することなく、相互にずらして設けること。
（壁筋、及びスラブ筋でD16以下の場合は除く。）

表９　異形鉄筋の重ね継手の長さ

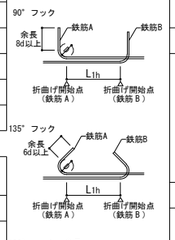
（ａ）直線重ね継手長さL_1

コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	SD295	SD345	SD390	SD490
18	45d	50d	－	－
21	40d	45d	50d	－
24～27	35d	40d	45d	55d
30～36	35d	35d	40d	50d
39～45	30d	35d	40d	45d
48～60	30d	30d	35d	40d

直線重ね継手の長さL_1

（ｂ）フック付き重ね継手長さL_{1h}

コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	SD295	SD345	SD390	SD490
18	35d	35d	－	－
21	30d	30d	35d	－
24～27	25d	30d	35d	40d
30～36	25d	25d	30d	35d
39～45	20d	25d	30d	35d
48～60	20d	20d	25d	30d



フック付き重ね継手の長さL_{1h}

［注］(1) dは、異形鉄筋の呼び名に用いた数値とする。
(2) 直径の異なる重ね継手の長さは、細いほうのdによる。
(3) フック付き重ね継手の長さは、鉄筋相互の折曲げ開始点間の距離とし、折曲げ開始点以降のフック部は継手長さに含まない。
(4) フックの折曲げ内法直径および余長は、特記のない場合は表３による。
(5) 軽量コンクリートを使用する場合は、Fc≦36N/mm² の軽量コンクリートとSD490以外の異形鉄筋を対象として、表９の数値に5d以上を加算した数値とし、工事監理者の承認を得ること。

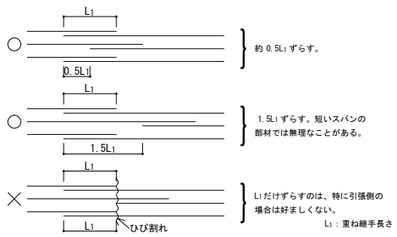


図１１　重ね継手のずらし方

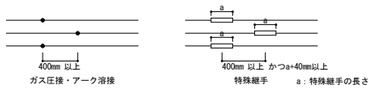


図１２　ガス圧接継手・アーク溶接継手・特殊継手のずらし方

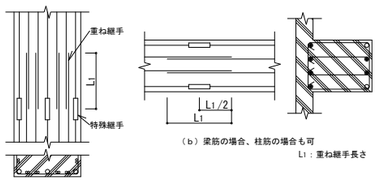


図１３　特殊継手と重ね継手併用の場合のずらし方

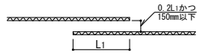


図１４　あき重ね継手

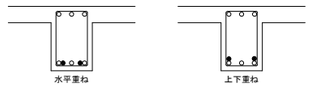


図１５　水平重ね・上下重ね

１０．フレアーグルーブ溶接

本建物の施工において、原則フレアーグルーブ溶接は行わない事。
（場所打ちコンクリート杭のフープ筋を除く）

１１．基礎

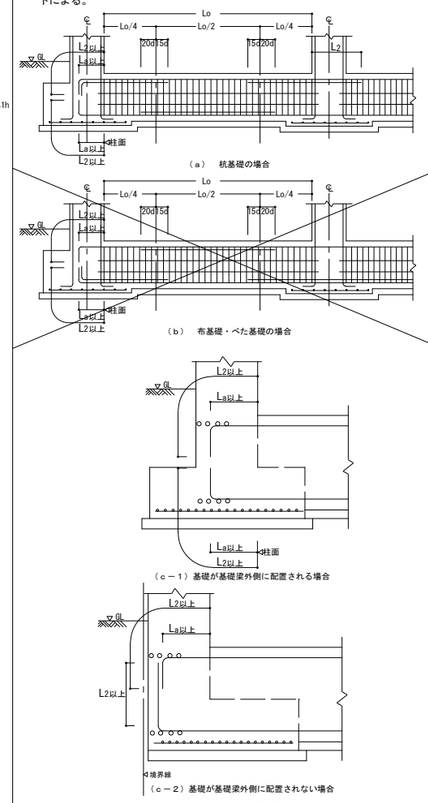
a. 独立基礎
特記による。

b. 連続基礎
特記による。

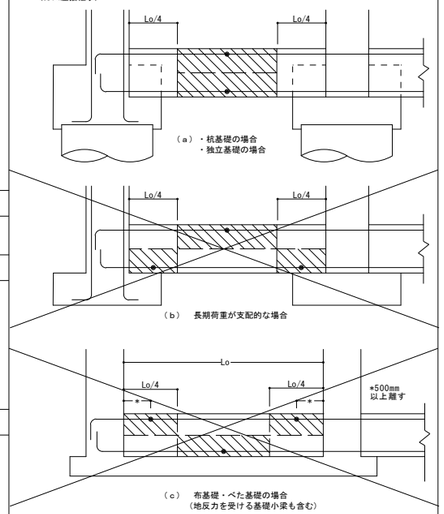
c. べた基礎
特記による。

１２．基礎梁

a. 基礎梁筋の定着と配置
基礎梁内の主筋カットオフ位置は設計図書の特記による。特記のない場合は以下による。



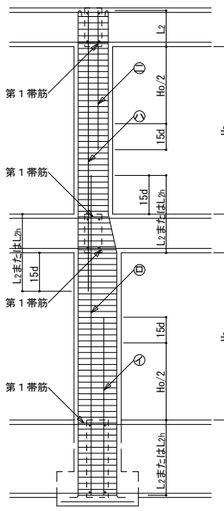
b. 基礎梁筋の継手位置（基礎小梁は「１５．小梁・片持梁」に倣う）
（ガス圧接継手）



c. あばら筋・幅止め筋
１４．梁　ｅ・あばら筋・副あばら筋形状参照

１３．柱

a. 柱　筋

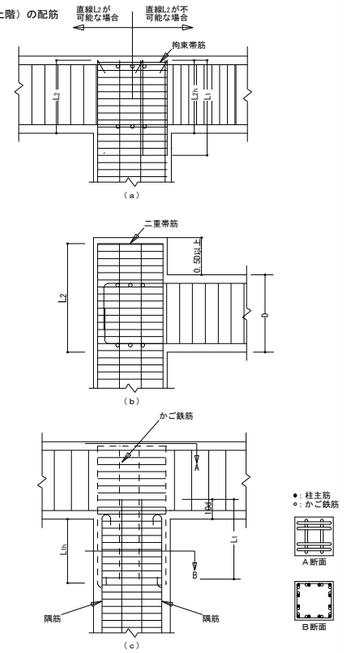


鉄筋のフックは柱頭の四隅の鉄筋及び定着長さが不足する箇所に設けること。

第１帯筋は梁主筋の直上直下に配置すること。梁天端とスラブ天端にレベル差が無い場合は、スラブ配筋後、スラブ筋直上に配筋すること。又、第２帯筋はSLより30程度上げた位置に配置すること。

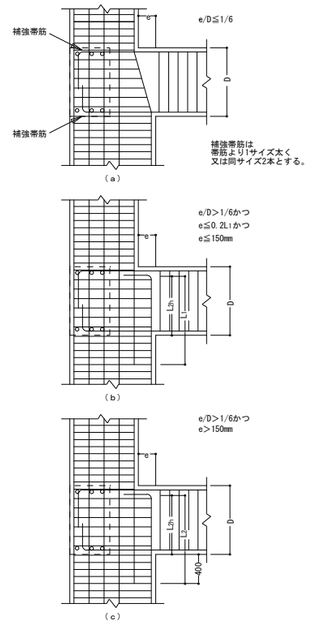
［注］㋑と㋥の鉄筋のカットオフ長さは設計図書の特記による。特記のない場合はHo/2+15dとする。

(1) 柱頭（最上階）の配筋

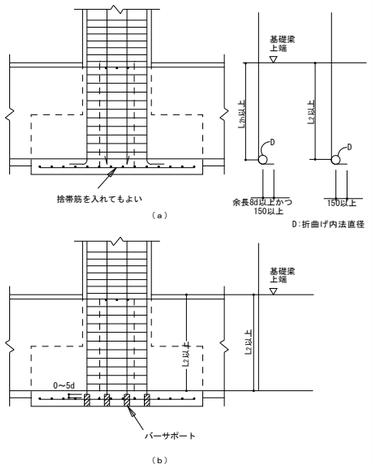


［注］拘束帯筋は梁上端筋の上に設ける帯筋で、柱頭部の帯筋と同径かつD13以上とし、同形状のものを１組以上配置する。

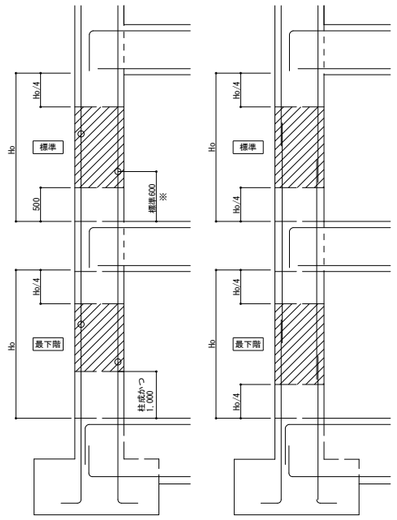
(2) 接合部（一般階）の配筋



(3) 柱脚（最下階）の配筋



b. 柱筋の継手位置



※上段圧接位置が ▨ 継手の好ましい位置に納まらない場合を除く

［注］・継手のずらしを 400mm 以上とすると▨ 内に納まらない場合は、全数（いも）継手可能なＡ級継手を用いて、▨ 内に納めること。

・柱・基礎梁仕口内で継手を用いる場合はＡ級継手とすること。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名	鉄筋コンクリート構造 配筋標準図（２）	縮尺	－	図面番号	S－006
		特記事項	特記事項	特記事項						

鉄筋コンクリート構造配筋標準図　（３）

c. 帯筋

(1)　帯筋・副帯筋の形状　高強度せん断補強筋は大臣認定方法による。

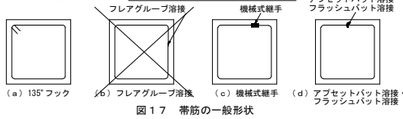


図１７　帯筋の一般形状

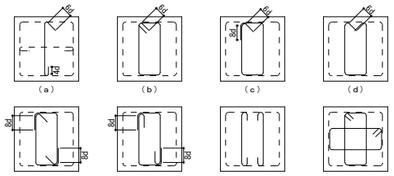


図１８　副帯筋の一般形状

(2)　スパイラル筋の形状　高強度せん断補強筋は大臣認定方法による。

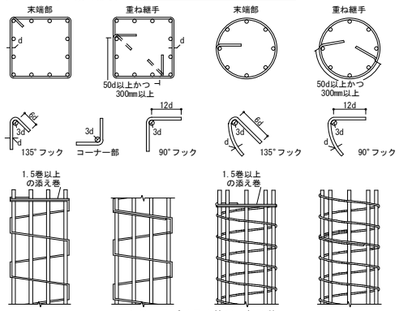
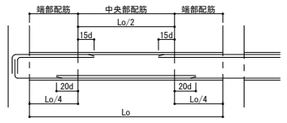


図１９　スパイラル筋の一般形状

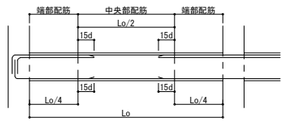
１４．梁

a. 梁　筋

(1)　梁端部・中央部の範囲とカットオフ筋のカットオフ位置



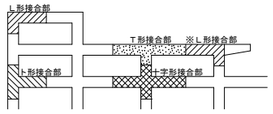
（a）中央下端筋が端部下端筋よりも本数が多い場合



（b）端部下端筋が中央下端筋よりも本数が多い場合

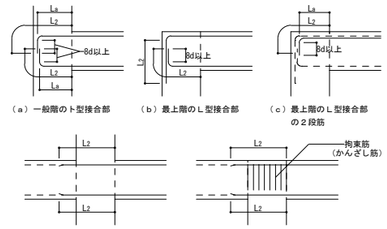
(2)　定着

接合部形状



※片持ち梁が取り付く接合部で、引き通せる主筋は通し配筋とする。

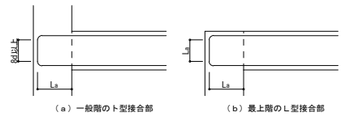
（ⅰ）一般



（a）一般階のト型接合部　（b）最上階のL型接合部　（c）最上階のL型接合部の２段筋

（d）一般階の十型接合部　（e）最上階のT型接合部

（ⅱ）U字型定着

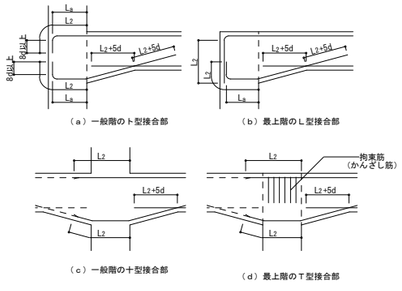


（a）一般階のト型接合部　（b）最上階のL型接合部

（ⅲ）機械式定着

機械式定着による場合は、メーカー仕様による。

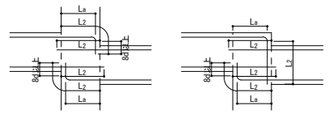
（ⅳ）ハンチがある場合



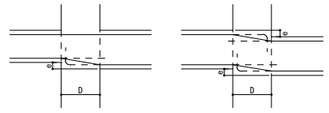
（a）一般階のト型接合部　（b）最上階のL型接合部

（c）一般階の十型接合部　（d）最上階のT型接合部

（ⅴ）段差がある場合

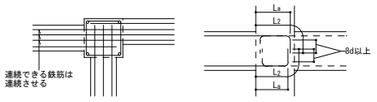


（a）一般階のト型接合部　（b）最上階のL型接合部

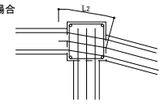


段差eが柱せいDの1/6以下の場合は、左右の梁筋を緩やかに折曲げ連続させても良い。
但し直交の梁筋と干渉しないことを確認する。
（c）e≦D/6

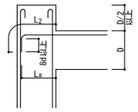
（ⅵ）左右の梁がずれている場合



（ⅶ）斜め定着する場合

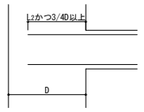


（ⅷ）柱頭が突出している場合



最上階の柱を梁せいの1/2以上突出させた場合、梁の上端筋は一般階と同じ定着としてよい。

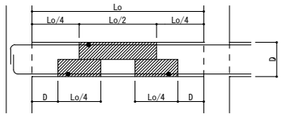
（ⅸ）柱せいが梁せいの２倍以上ある場合



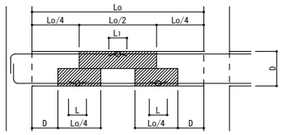
柱せいが梁せいの２倍以上ある場合は直線定着として良い。

b. 梁筋の継手位置

(1)　ガス圧接継手の場合



(2)　重ね継手の場合

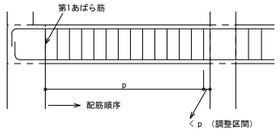


圧接・継手中心位置の好ましい範囲
圧接・継手中心位置の好ましくない範囲
○　印は継手中心位置を示す

c. あばら筋・腹筋

(1) あばら筋

（ⅰ）　ハンチなしの場合

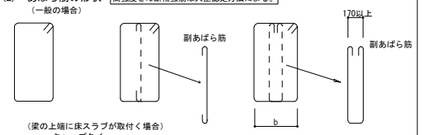


（ⅱ）　ハンチ付きの場合

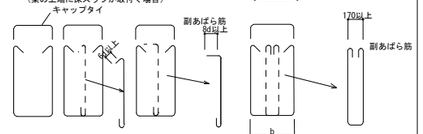
特記による

(2)　あばら筋の形状　高強度せん断補強筋は大臣認定方法による。

（一般の場合）

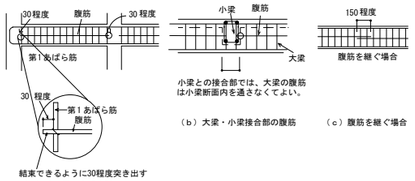


（梁の上端に床スラブが取付く場合）



［注］副あばら筋末端部の180°もしくは 135°フックは、スラブ°が取り付く側（一般的には梁の上側）に限り90°フックとしてもよい。ただし、梁の端部で主筋の降伏が予期される領域では 135°または180°に限りフックを原則とする。また、キャップタイはスラブが取り付く側のみ 90°フックとできる。ただし、梁とスラブに段差がある場合は135°フックとする。

(3)　腹　筋



結束できるように30程度突き出す

（a）柱・梁接合部の腹筋

小梁との接合部では、大梁の腹筋は小梁断面内を通さなくてよい。

（b）大梁・小梁接合部の腹筋　（c）腹筋を継ぐ場合

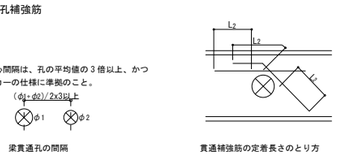
［注］梁に弱軸曲げやねじれが作用しない場合に限る。弱軸曲げやねじれが作用する場合は定着や継手長さを設計図書に特記する。

(4)　幅止め筋

幅止め筋の加工

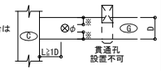
d. 梁貫通孔補強筋

孔の中心間隔は、孔の平均値の３倍以上、かつ各メーカーの仕様に準拠のこと。

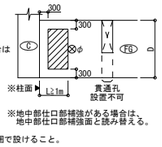


梁貫通孔の間隔　　貫通補強筋の定着長さのとり方

一般階
・梁貫通孔は、柱面から1D（梁成）以内に設けてはならない。
・※寸法は各メーカーの仕様に準拠のこと。
・孔径が梁成の1/10以上、もしくは 80mm以上の場合は全て補強すること。
・既製品（評定取得品）を使用するときには監理者に確認すること。
（リング型またはプレート型とする）
・貫通孔は直交梁下部に設けてはならない。
・直交梁際の貫通孔補強筋は直交梁と干渉しない範囲で設けること。

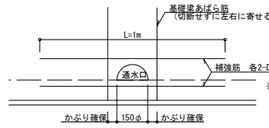


基礎階
・梁貫通孔は、柱面から1m以内に設けてはならない。ただし、▨の範囲は、貫通孔の径が0/10以下かつ 120mm以下であれば設けてもよい。
・孔径が梁成の 1/10以上、もしくは150mm以上の場合は全て補強すること。ただし▨の範囲に設けた場合は孔径に関わらず全て補強すること。
・既製品（評定取得品）を使用するときには監理者に確認すること。
（リング型またはプレート型とする）
・貫通孔は直交梁下部に設けてはならない。
・直交梁際の貫通孔補強筋は直交梁と干渉しない範囲で設けること。



※地中部住口部補強がある場合は、地中部住口部補強面と読み替える。

配管ピット通水孔補強筋



※FS,FGSがある場合は補強筋の下端は不要とする。

e. あばら筋・副あばら筋形状

（ⅰ）　あばら筋の一般形状は図２０の（a）～（h）とする。ただし（e）～（g）はスラブが取り付くT型およびL型の梁の場合に用いる。
（イ）原則として、（a）のフック先曲げとする。片側床付（L型）梁で（f）又は（g）、両側床版付（T型）梁で（e）又は（f）とすることができる。
（ロ）フックの位置は、（a）は交互、（f）及び（g）は９０°フック付をスラブ側とする。
（ハ）スラブレベルが梁レベルより５０以上下がる場合および、スラブレベルが梁レベルより上がる場合はスラブが無いものとして考える。
両側床版付梁で片側が上記の場合は（f）及び（g）とする。
両側床版付梁で両側が上記の場合及び、片側床版付き梁で上記の場合は（a）及び（h）とする。
また、最上階の全ての梁（小梁を含む）は（a）及び（h）とする。
（ニ）逆梁の場合は、（a）としてフックは交互とすること。又（h）も可とする。
（ホ）高強度せん断補強筋を使用する場合は、各メーカーの仕様を参照すること。
（ⅱ）　副あばら筋の一般形状は図２１の（a）～（f）とする。ただし（d）～（f）はスラブが取り付くT型およびL型の梁の場合に用い、一端を90°フックとして良い。
（ⅲ）　基礎梁に打継ぎを設ける場合は図２２の（b）（c）および（e）（f）の形状の組合せで、継手を設けてもよい。

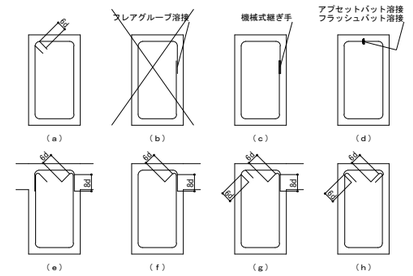
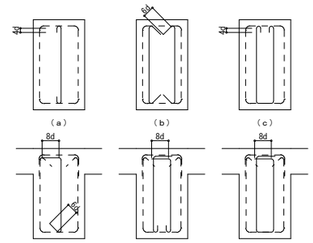
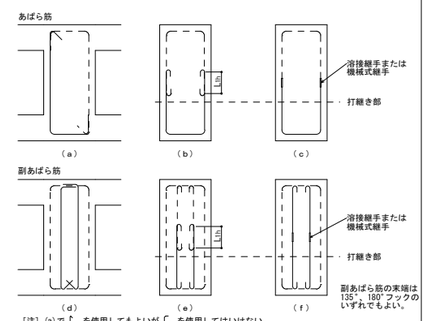


図２０　あばら筋の一般形状



［注］フックを180°で図示しているところは 135°フックとしてもよい。

図２１　副あばら筋の一般形状



［注］(a)で ⌊ を使用してもよいが ⌊ を使用してはいけない。
(b)では、あばら筋の継手は90°、135°フックとしてよい。
(d)では、副あばら筋の末端は上下とも90°フックとしてよい。
(e)では、副あばら筋の継手は90°、135°フックとしてよい。
(e)(f) では、末端のフックを 180°で図示しているところは、135°フックとしてよい。

図２２　基礎梁に用いるあばら筋・副あばら筋の一般形状

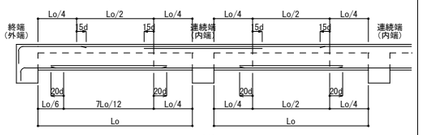
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名	鉄筋コンクリート構造 配筋標準図（３）	縮尺	-	図面番号	S－007
		特記事項	特記事項	特記事項						

鉄筋コンクリート構造配筋標準図　（４）

１５．小梁・片持梁

a. 小　梁　筋（基礎小梁も含む）

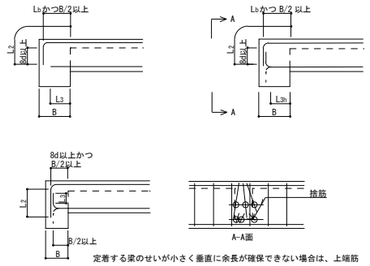
(1)　小梁端部・中央部の範囲とカットオフ筋のカットオフ位置



（ａ）連続小梁

（ｂ）単独小梁

(2)　定　着



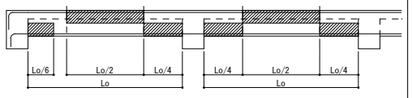
定着する梁のせいが小さく垂直に余長が確保できない場合は、上端筋は斜め定着、下端筋は斜めあるいは水平定着としてよい。

（ａ）小梁終端部の定着

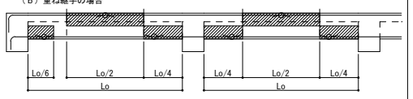
・ 上端筋が仕口内で 90°フック付き定着の L_2 を確保できない場合の定着長さは設計図書の特記による。特記のない場合は余長部で直線定着L_2を確保する。
・ 定着する梁幅Bが、投影定着長さLbを満足出来ないほど小さい場合は、上端筋は余長部でL_2、下端筋はL_3とする。このとき投影定着長さを8d以上かつB/2以上とすること。

(3)　小梁筋の継手位置

（ａ）ガス圧接継手の場合



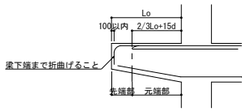
（ｂ）重ね継手の場合



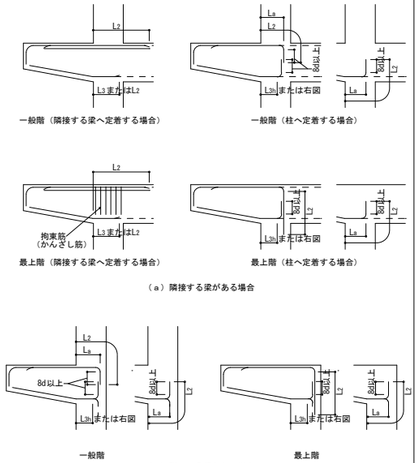
圧接・継手中心位置の好ましい範囲
圧接・継手中心位置の好ましくない範囲
○　印は継手中心位置を示す

b. 片持梁筋（基礎片持梁も含む）

(1)　片持梁元端部・先端部の範囲とカットオフ筋のカットオフ位置



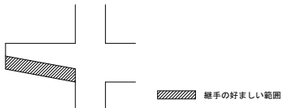
(2)　定　着



（ａ）隣接する梁がある場合

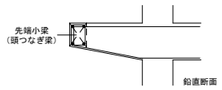
（ｂ）隣接する梁がない場合

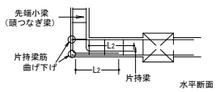
(3)　片持梁筋の継手位置



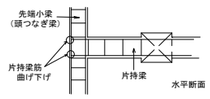
［注］・片持梁筋のカットオフ位置は設計図書の特記による。特記のない場合は上図による。
・最上階は通し配筋として、一般梁へ定着する場合は設計図書の特記により、柱頭部に拘束筋を配筋する。

(4)　片持梁と先端小梁の納まり





（ａ）先端小梁終端部

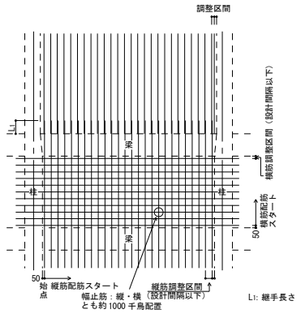


（ｂ）先端小梁連続端部

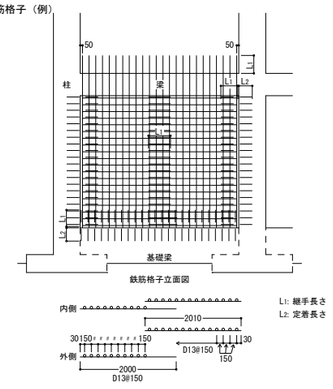
１６．壁

a. 配筋

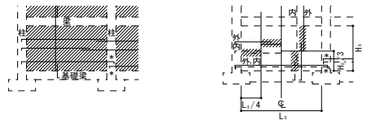
(1)　一般



(2)　鉄筋格子（例）



b. 壁筋の継手位置



継手の好ましい範囲
継手の好ましくない範囲

（ａ）壁筋の継手位置

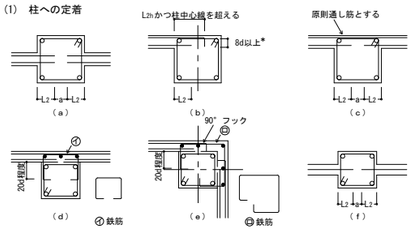
継手の好ましい範囲
外側（土に接する側）の鉄筋
内側（室内側）の鉄筋

（ｂ）土圧を受ける地下壁の壁筋の継手位置

［注］・横筋を１スパン毎に定着させても良いが、柱と同一面に壁がある場合には、外側の鉄筋は直線定着できる長さ確保できる場合でも90°に折り曲げ8d程度柱内にのみ込ませる。（＊印）

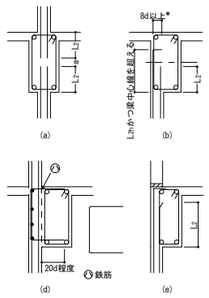
c. 定着

(1)　柱への定着



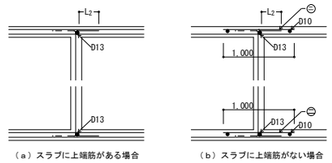
［注］・ａ区間の部分は通し配筋でもよい。
・ⓓ、ⓔ鉄筋の径および間隔は標準図（５）１８．柱、梁増打コンクリート補強による。
・(d)、(e) は打増しコンクリートのある非耐力壁の場合。耐力壁の場合は設計図書の特記による。
・(b)で耐震壁の壁筋を定着する場合は、コア内定着長さを8dかつ150mm以上とすること(*)。

(2)　梁への定着



［注］・ａ区間の部分は通し配筋でもよい。
・(a)、(c)で耐震壁縦筋は通し配筋とし、梁天端よりL1重ね継手とする。
・(d)の増打コンクリートは標準図（５）１８．柱、梁増打コンクリート補強による。
・Ⓐ鉄筋の径および間隔は設計図書の特記による。
・(b)で耐震壁の壁筋を定着する場合は、コア内定着長さを8dかつ150mm以上とすること(*)。

(3)　スラブへの定着（非耐力壁とスラブが取り合う場合）

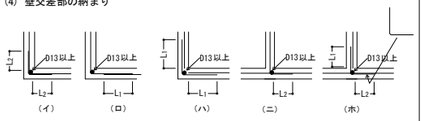


（ａ）スラブに上端筋がある場合

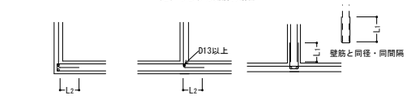
（ｂ）スラブに上端筋がない場合

［注］・㊀の補強筋は設計図書の特記による。一般に、D10を壁縦筋と同間隔に配筋すればよい。

(4)　壁交差部の納まり

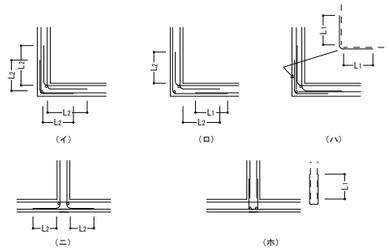


（ａ）シングル配筋の場合



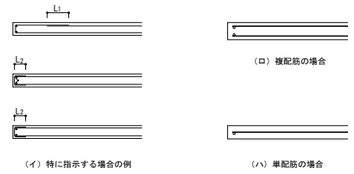
［注］・○印鉄筋（コーナー筋）は設計図書の特記による。特記なき限り、Ｄ１３とする。

（ｂ）ダブル配筋とシングル配筋



［注］・○印鉄筋（コーナー筋）は設計図書の特記による。特記なき限り、Ｄ１３とする。

（ｃ）ダブル配筋とダブル配筋



（ロ）複配筋の場合

（イ）特に指示する場合の例

（ハ）単配筋の場合

［注］・○印鉄筋（コーナー筋）は設計図書の特記による。

（ｄ）壁端部の納まり

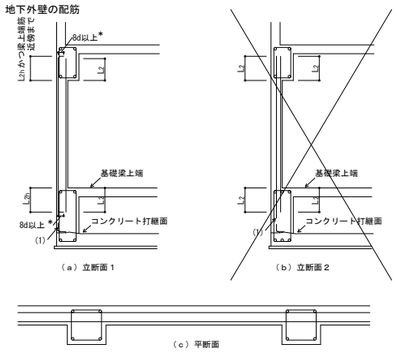
d. 開口補強

特記による。

e. スリット

特記による。

f. 地下外壁の配筋



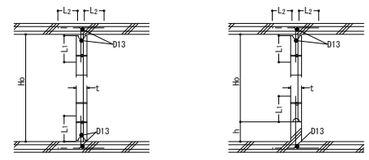
（ａ）立断面１

（ｂ）立断面２

（ｃ）平断面

［注］（１）地下外壁の外側鉄筋を基礎梁に定着する場合、定着長さは規定長さでよいが、１本おき程度に耐圧スラブの上端まで下げると鉄筋位置の確保が容易である。
（２）地下外壁と連続する基礎梁の応力に対処するために、地下外壁筋を基礎スラブまで下げる必要のある場合は、設計図書に明示する。同様に上部スラブ位置まで地下外壁筋を立ち上げる場合もある。
（３）(a)で耐震壁の壁筋を定着する場合は、コア内定着長さを8dかつ150mm以上とすること(*)。

g. コンクリートブロック帳壁



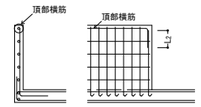
（ａ）一般の場合

（ｂ）下部立上りの有る場合

［注］・Ho≦25tかつ3,500以下とする。但し直交方向25t以内に壁又は柱がある場合は除く。
・hはコンクリートブロック段数調整寸法とする。但し200 ≦ h ≦ 400
・継ぎ手部は必ずモルタルを充てんすること。

h. 手摺壁

手摺壁の配筋は特記による。
但し、頂部横筋の端部は折り曲げL₂定着とする。

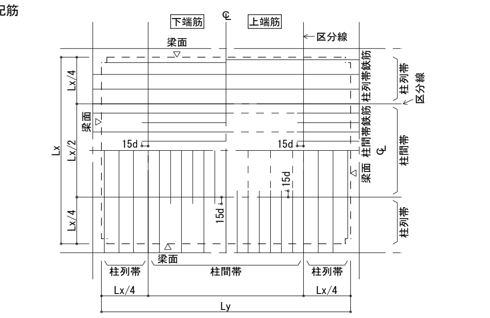


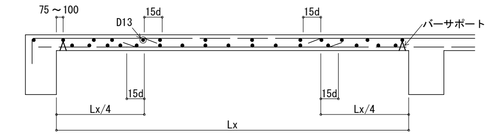
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	鉄筋コンクリート構造 配筋標準図（４）
		特記事項		特記事項		特記事項		縮尺	－
								図面番号	Ｓ－ 008

鉄筋コンクリート構造配筋標準図　（５）

１７．床スラブ

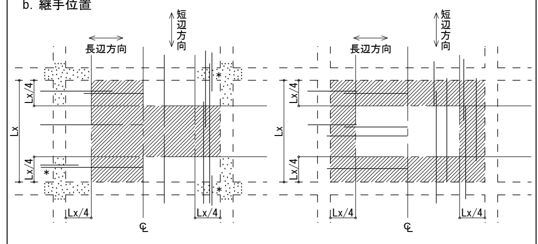
a. 配筋



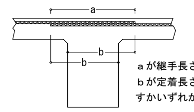


［注］ Lx：短辺有効スパン長さ　　短辺方向断面図
Ly：長辺有効スパン長さ

b. 継手位置



（ａ）上端筋の継手　　（ｂ）下端筋の継手



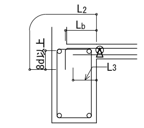
ａが継手長さを満たすか、
ｂが定着長さ（一般）を満た
すかいずれかでよい。

＊印の部分

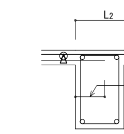
- 継手の好ましい位置
- やむを得ず継手を設けてもよい位置
- 継手の好ましくない位置

［注］・スラブ筋の継手は、梁幅内に設けないことが望ましい。（ａ）図の＊印の定着は隣接するスラブ配筋が異なる場合など、やむを得ない場合とする。
・べた基礎（耐圧スラブ）のスラブ筋の継手位置は、（ａ）（ｂ）の図で上端筋→下端筋、下端筋→上端筋として扱えばよい。
・片持ちスラブ上端筋には原則継ぎ手を設けないこと。

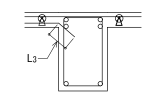
c. 定着



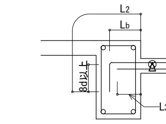
（ａ）片側スラブの場合



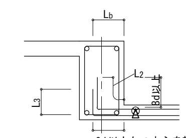
（ｂ）両側スラブの場合



（ｃ）スラブ下筋が梁筋に当たる場合

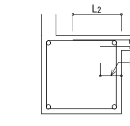


（ｄ）梁の中間にスラブが付く場合



8d以上かつ中心を越える

（ｅ）逆スラブの場合

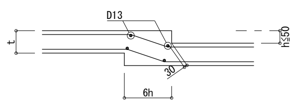


Δ：バーサポート
⊗：D13以上

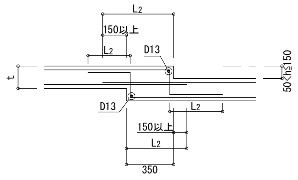
（ｆ）梁幅が広い場合

d. 片持スラブ
特記による。

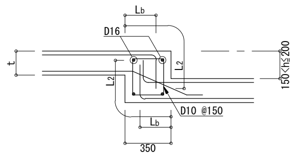
e. 段　差



（ａ）段差 h≦50

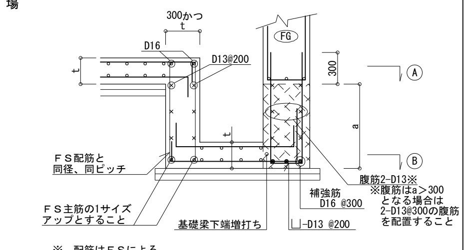


（ｂ）段差 50<h≦150

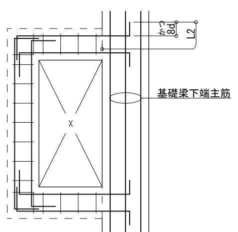


（ｃ）段差 150<h≦200

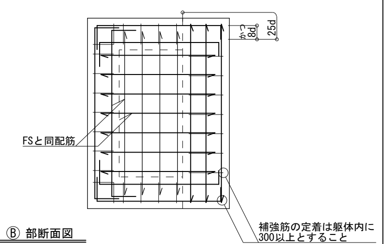
f. 釜　場



※　配筋はＦＳによる。

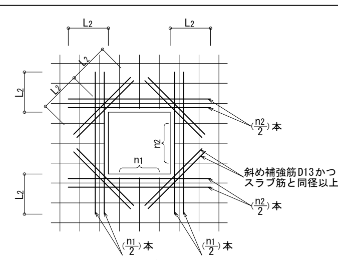


Ⓐ 部断面図

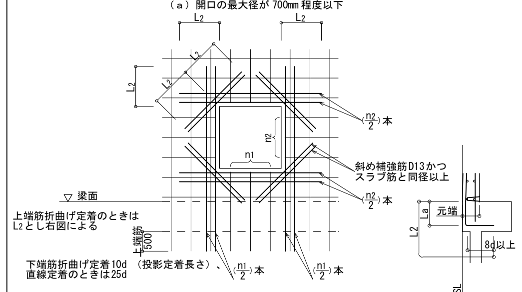


Ⓑ 部断面図

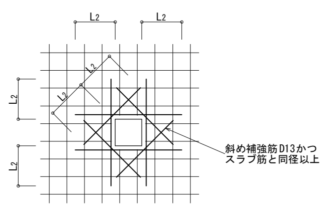
g.　開口補強



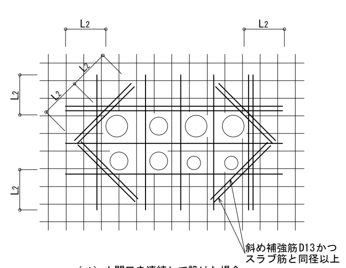
（ａ）開口の最大径が 700mm 程度以下



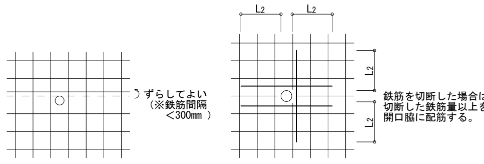
（ｂ）片持ちスラブの開口補強



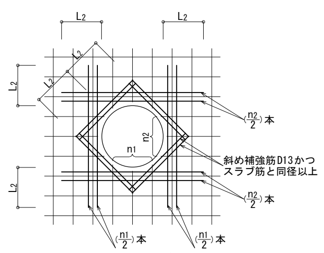
（ｃ）開口の最大径が 200mm を超え、 300mm 程度以下



（ｄ）小開口を連続して設けた場合



（ｅ）単独円形小開口



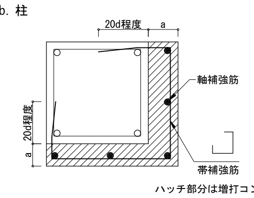
（ｆ）開口（円形）の最大径が 700φ程度以下

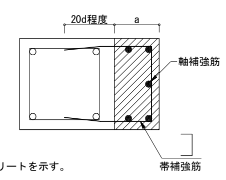
［注］（1）開口によって切断される鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強する（上下筋とも）。
（2）補強筋は鉄筋の間隔を50mm程度あけて配筋する。
（3）斜め補強筋は上下筋の内側に配筋する。
又、開口隅（縁）から設計かぶりの位置に配筋すること。
（4）開口が梁に接している場合は、補強筋の定着長さは梁面からの長さとする。

１８．柱、梁増打コンクリート補強

a. 特記なき部位に増打をする場合は事前に設計者および工事監理者と打ち合わせする事。

b. 柱

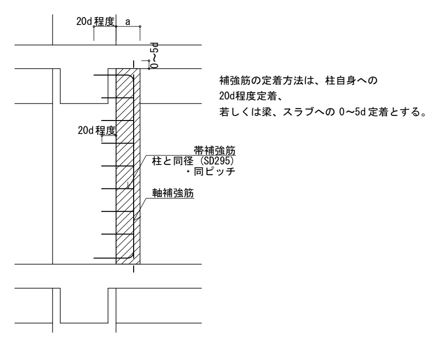




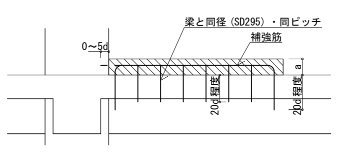
ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

軸補強筋、帯補強筋は下表による。

	70 ≦a＜ 300 程度
軸補強筋	D16 @300
帯補強筋	柱フープと同径（SD295）同ピッチ

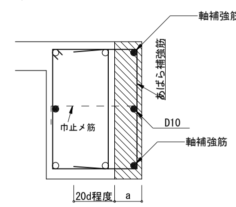


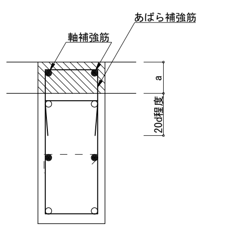
補強筋の定着方法は、柱自身への
20d程度定着、
若しくは梁、スラブへの 0～5d 定着とする。



補強筋の定着方法は、梁自身への20d程度定着
若しくは柱への 0～5d 定着とする。

c. 梁



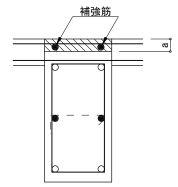


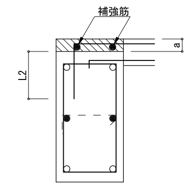
(1) 軸補強筋、あばら補強筋は下表による。

	70 ≦a＜ 100	100 ≦a＜ 300 程度
軸補強筋	D13 @300	D16 @300
あばら補強筋	D10 @250	梁スターラップと同径（SD295)同ピッチ

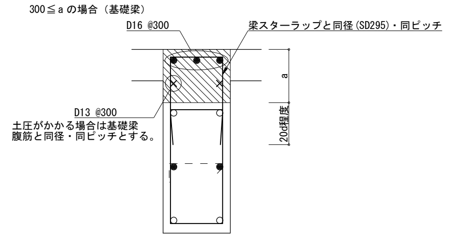
(2) 軸補強筋の定着は、梁自身へは20d程度定着、若しくは柱へ　0～5d 定着とする。
(3) あばら補強筋の定着は、躯体内に20d程度とし内側に折り曲げる。
(4) 腹筋D10 （土に接する場合はD13 ）ピッチは、梁の腹筋と合せる。
(5) 梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
(6) ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

ａ＜ 70 の場合でも梁主筋とスラブ筋にレベル差がある場合は
補強筋としてD13 @300を設け、スラブ筋と結束すること。



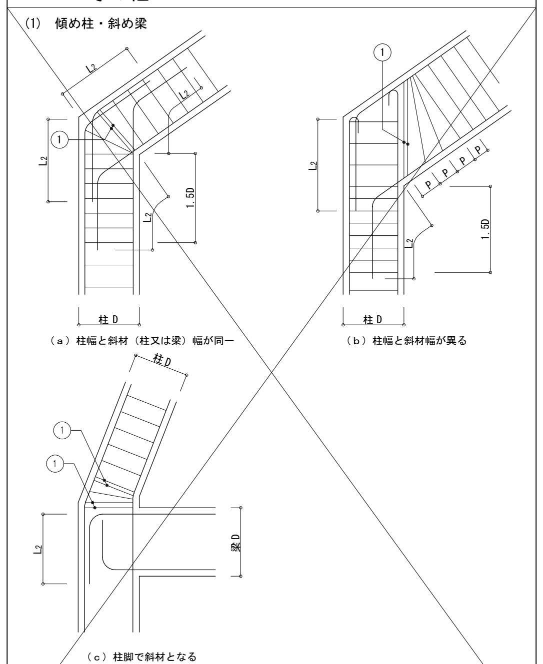


300≦ａの場合（基礎梁）



１９．その他

(1)　傾め柱・斜め梁

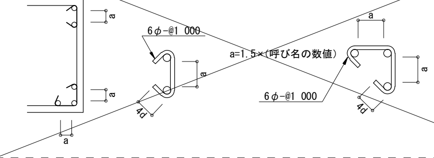


（ａ）柱幅と斜材（柱又は梁）幅が同一　　（ｂ）柱幅と斜材幅が異る

（ｃ）柱脚で斜材となる

［注］・1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、又はダブル巻きとし@100以下とする。
・①の鉄筋は2-D13かつ、2本の一段太い鉄筋とする

(2)　柱の二段筋と寄筋の保持



鉄　骨　構　造　標　準　図　（1）

1.　一般事項

(1)　材料及び検査

(a)　構造設計仕様による。

(b)　適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが 40mm 以下のものとする。

(c)　社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する。

(2)　工作一般

(a)　鉄骨制作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る。

(b)　鋼管部材の分岐継ぎ手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による。

(c)　高張力鋼の歪矯正は、冷間矯正とする。

(3)　高力ボルト接合

(a)　本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない。

(4)　溶接接合

(a)　溶接工

溶接工は施工する溶接に適応する JIS Z3801（手溶接）又は JIS Z3841（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする。

(b)　溶接機器

（イ）　交流アーク溶接機　300A ～ 500A　　（ニ）　炭酸ガスアーク半自動溶接機

（ロ）　アークエアーガウジング機（直流）　　（ホ）　溶接電流を測定する電流計

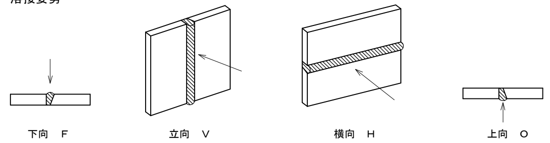
（ハ）　サブマージアーク溶接機１式　　（ヘ）　溶接棒乾燥機

(c)　溶接方法

アーク手溶接　（ＭＣ）　　ガスシールドアーク半自動溶接　（ＧＣ）

セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接　（ＮＧＣ）　　アークエアーガウジング　（ＡＡＧ）

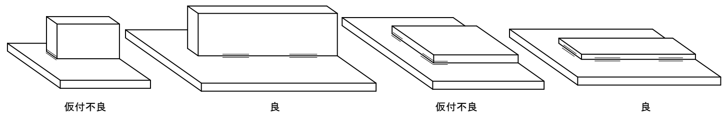
(d)　溶接姿勢



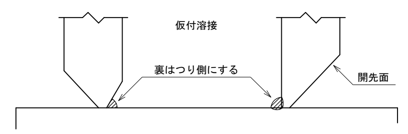
(e)　仮付溶接工は、原則として本工事に従事する者が行う。

（イ）　仮付位置

仮付溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける。



（ロ）　突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する。



(f)　溶接施工

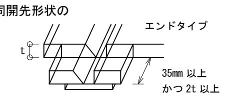
（イ）　エンドタイプ

1)　突合溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける。

2)　エンドタブの材質は、母材と同質とする。

3)　エンドタブの長さは、MC:35mm 以上 NGC,GC:40mm 以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする。

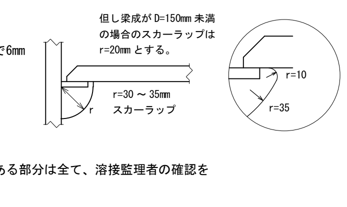
4)　プレス鋼版タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る。



（ロ）　裏あて金

材質母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm 半自動溶接で 9mm 以上とする。

（ハ）　スカーラップ　半径は 30 ～ 35mm と 10mm のダブルアールとする。



（ニ）　裏はつり

規準図の溶接においてＡＡＧと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける。

（ホ）　現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためないように、養生を行う。

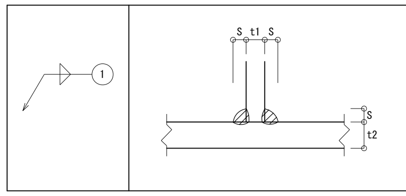
(5)　塗装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

2.　溶接規準図

（注）　f：余盛　G：ルート間隔　R：フェース　S：脚長　（単位mm）

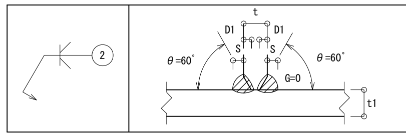
(1)　スミ肉溶接



t≦16mm				
t	7以下	8～10	11～13	14～16
S	6	7	10	12

- 但し片面溶接の場合は S=t とする。
- t は t1,t2 の小さな方とする。余盛は(1+0.1S)mm以下とする。
- 軸力が加わる場合の S は母材と同厚とすることが望ましい。
- 端部は回し溶接とする。

(2)　部分溶け込み溶接　（使用箇所に注意）

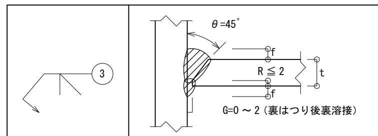


D1 ≧ t/3　　t/4 ≦ S ≦ 10mm
t ≦ t1

t	t＞16mm
溶接姿勢	F，V

- 両側に補強すみ肉溶接を付加する。

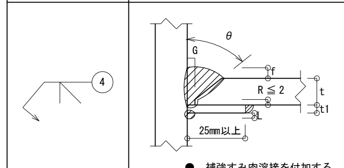
(3)　突合せ溶接　（平継手　Ｔ形継手）



f=t/4

t	6＜t＜19mm
溶接姿勢	F，V

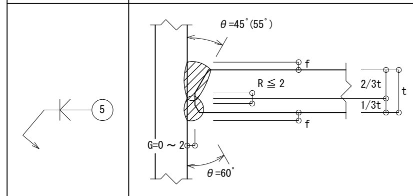
- 両側に補強すみ肉溶接を付加する。　ＡＡＧ



f=t/4

	MC NGC				GC			
tmm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6≦t＜12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t＜16	35°	9	9	8	45°	6	9	8
16≦t	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F，V							

- 補強すみ肉溶接を付加する。



f=t/4

Ｔ形突合せ継手余盛

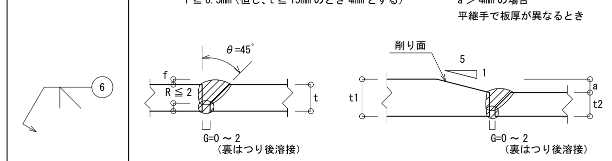
のど厚 tmm	余盛りの高さ mm
t≦4	1
4＜t≦12	2
12＜t≦19	3
19＜t	4

t	t≧19mm
溶接姿勢	F，V

- AAG（　）内は GC で F,H の場合
- 両側に補強すみ肉溶接を付加する。

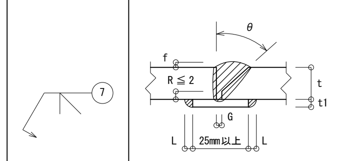
f ≧ 0.5mm（但し、t ≧ 15mm のとき 4mm とする）

a ＞ 4mm の場合
平継手で板厚が異なるとき



t	t≧19mm
溶接姿勢	F，V

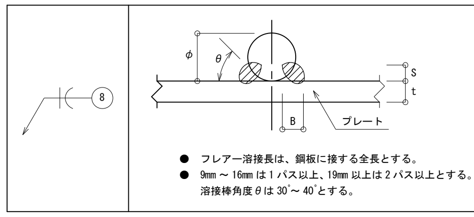
- 両側に補強すみ肉溶接を付加する。



f=t/4

	MC NGC				GC			
tmm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6＜t＜12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t≦19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
19＜t	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F，V							

(4)　フレアー溶接

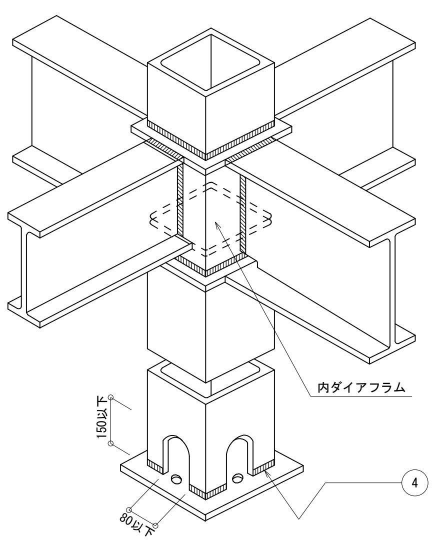


寸法(mm)		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

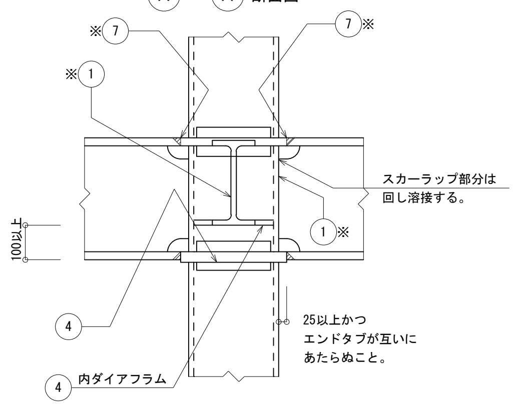
- フレアー溶接長は、鋼板に接する全長とする。
- 9mm ～ 16mm は１パス以上、19mm 以上は２パス以上とする。溶接棒角度 θ は 30°～ 40°とする。

○　溶接記号番号を　○中に記入のこと

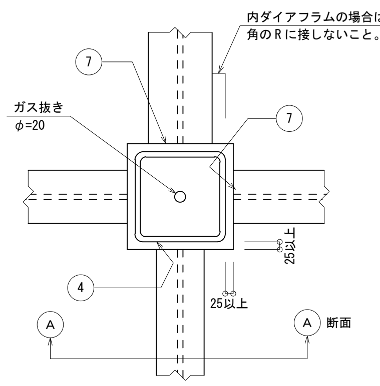
● ＢＯＸ型　（通しダイアフラムの場合）



Ⓐ － Ⓐ　断面図

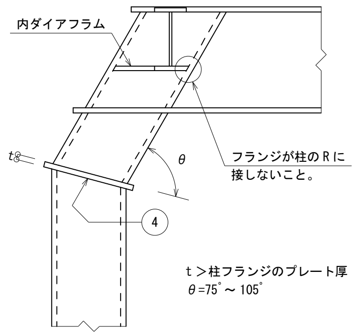


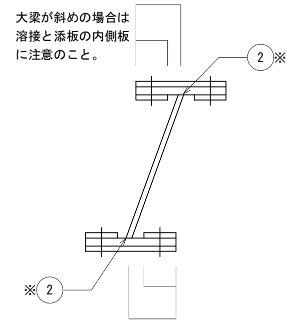
平面詳細



<柱材料:BCR295,BCP325を使用する場合>
ダイアフラムは、SN490B･SN490C同等以上の鋼材を使用すること。
ダイアフラム厚は、接合する柱、梁の最大厚の2サイズアップとすること。

● 柱が途中で折れる場合
及び梁成が異なる場合

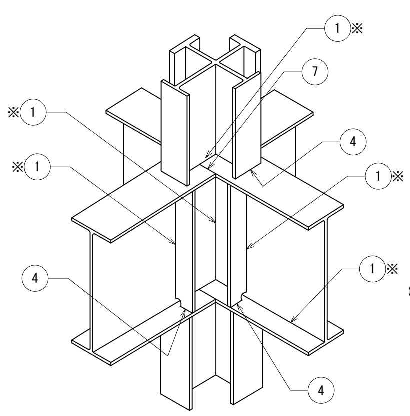


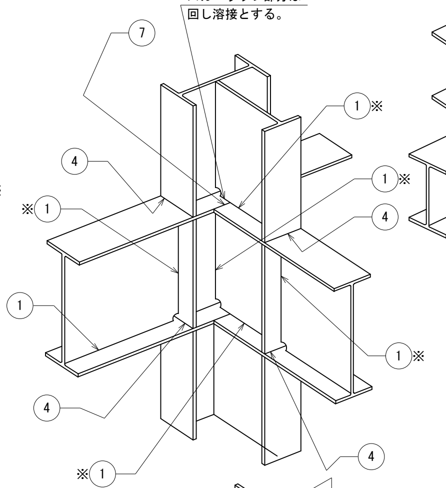


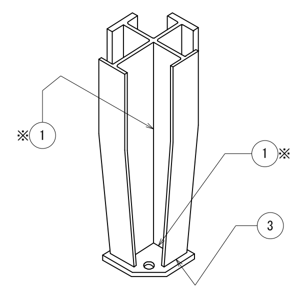
●鋼材種別による溶接条件

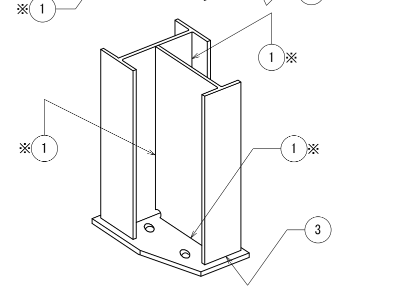
鋼材の種類	溶接材料	入熱(KJ/cm)	パス温度差(°C)
400N級鋼	JIS Z 3211,3212,3214	40以下	350以下
	YGW-11,15		
	YGW-18,19		
	YGA-50W,50P		
490N級鋼	JIS Z 3212,3214	40以下	350以下
	YGW-11,15	30以下	250以下
	YGW-18,19	40以下	350以下
	YGA-50W,50P		

● ╪　├　├┤型

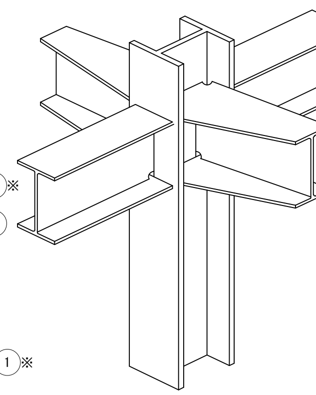


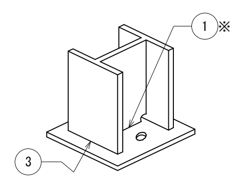




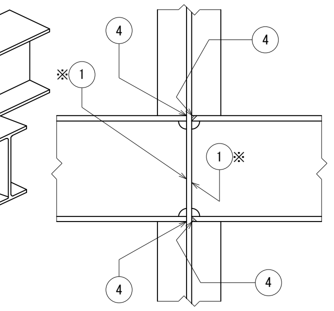


●Ｂ．Ｈ方式

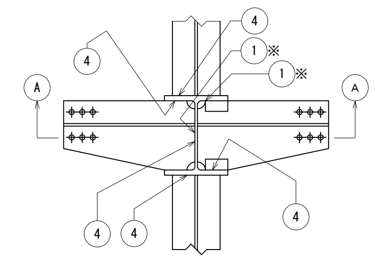




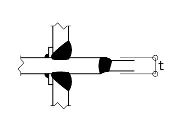
Ⓐ － Ⓐ　断面図



平面詳細



※　全周すみ肉溶接又は突合せ（裏あて金付）



①※　t ＞ 30mm の場合の溶接は、③～⑤とする。

②※　t ＞ 30mm の場合の溶接は、③～⑤とする。

⑦※　はりフランジは、通しダイアフラムの厚み (t) の内部で溶接すること。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日 / 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 / 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 / 特記事項	図面名	鉄骨構造標準図（1）	縮尺	-	図面番号	S－ 010

鉄 骨 構 造 標 準 図 （2）

3. 継手規準図、その他

(1) ボルトピッチ(P)

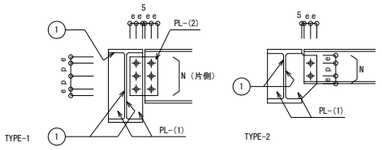
ボルト穴径・最小縁端距離

(mm)

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離(e) (1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	ピッチ(P) 最小	標準
M16	17.0	40	28	22	40	40	60
M20	21.5	50	34	26	40	50	60
M22	23.5	55	38	28	40	55	60
M24	25.5	60	44	30	45	60	70

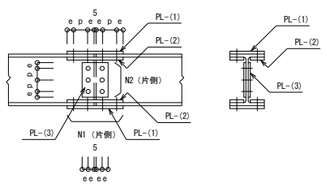
［注］（1） 引張材の接合部で応力方向にボルトが３本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
（2） せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
（3） 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

(2) ピン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N－径
		鉄骨部材リストによる			

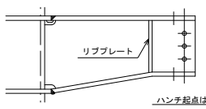
(3) 剛接合継手リスト



注）端部をＢＨとする場合の部材は設計図による。

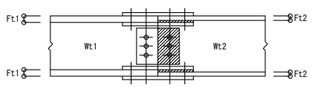
符号	部材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N1－径	ウェブ PL-(3)	N2－径
	鉄骨部材リストによる					

(4) ハンチ部の継手



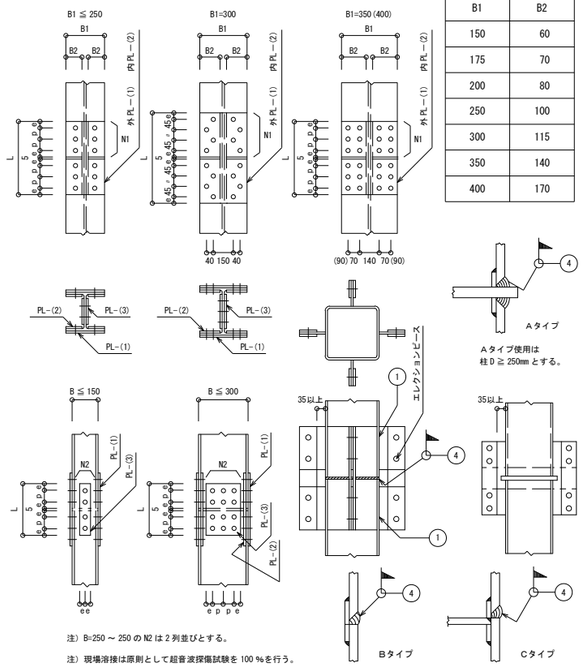
ハンチ起点は避けた方がよい。
ハンチ勾配は普通 1 ： 4 程度であるが構造図による。

フランジ及ウェブ厚の差のある場合



Ft1 － Ft2
Wt1 － Wt2 ≧ 1mm フィラプレート併用のこと。

(5) 柱継手リスト



B1	B2
150	60
175	70
200	80
250	100
300	115
350	140
400	170

注）B=250 ～ 250 の N2 は２列並びとする。
注）現場溶接は原則として超音波探傷試験を 100 %を行う。

符号	部材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N1－径	ウェブ PL-(3)	N2－径

(6) 鉄筋ブレース

(JIS 規格品とする… JISA5540 ～ 5542 … 1982)

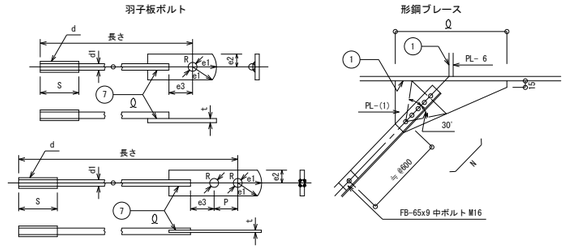
(a) 羽子板ボルト

ねじの呼び		(d)	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径 d1	最大		10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
	最小		10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねじの長さ		S	100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容差0. -0.5mm		R	13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき（最小）(2)		e1	35	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき（最小）(1)	e2	22	28	28	34	34	38	38
	板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
平鋼製	へりあき（最小）(1)	e2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5
	板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴芯のあき（最小）		e3	47	52	59	66	66	73	70
溶接長さ（最小）		ℓ	40	50	55	60	75	85	85
取付ボルト (2)	種類		JIS B 1186 2種高力ボルト(F10T)又は JIS B 1180 中 8g 10.9						
	ねじの呼び		M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本数		1	1	1	1	1	1	2

注 (1) e1,e2 が確保されていれば形状は自由でよい。
(2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断（支圧）接合とする。

(b) 形鋼ブレース

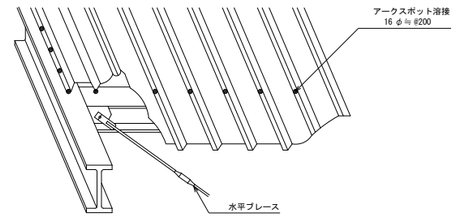
符号	部材	PL-(1)	N－径	ℓ



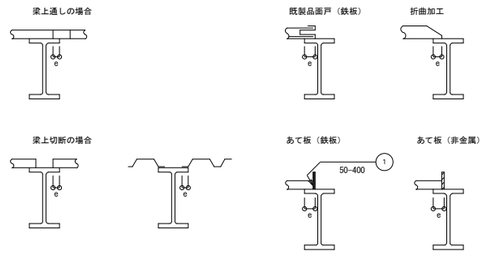
(7) デッキプレート

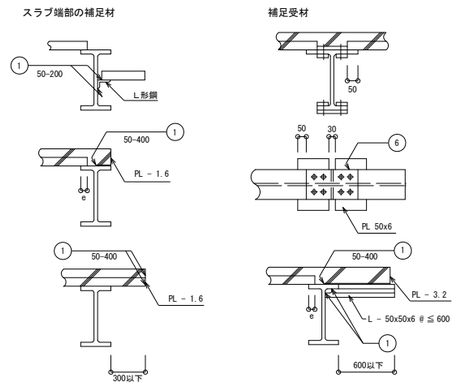
（床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照）

梁との溶接およびコネクター



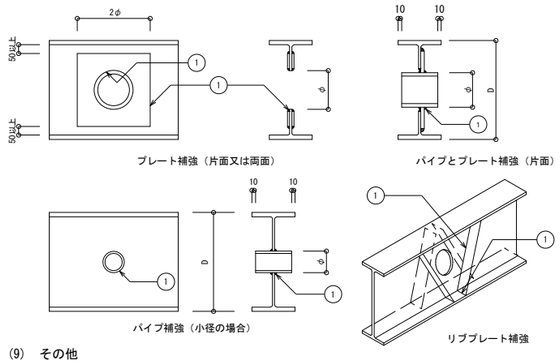
受梁へのかかり寸法および端部処理 e ≧ 35mm





(8) 梁貫通補強

- 計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらなくて良い。
- 梁端部（スパンの ℓ/10 以内かつ 2D 以内）は避ける。
- φ ≦ 0.4D



(9) その他

・プレート補強については、プレート厚を下式により算出する。（単位 mm）
t = Φ x tw /(D-2tf-140-Φ)
tw ： ウェブ厚　　tf ： フランジ厚
・但し下記１～５に該当する場合は係員の指示による。
1. 貫通孔の径が 0.4D を越える場合
2. Ｈ型鋼広幅系列の場合
3. Ｈ型鋼中幅系列でスパンが 5m 以下の場合
4. 貫通孔の中心間隔が径の３倍以上とれない場合
5. 梁端部（スパンの 1/10 かつ 2D 以内）の場合

(10) ＡＬＣ版取り付け方法

ロッキング構法とする。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	図面名	鉄骨構造標準図（２）	縮尺	-	図面番号	S－011

ハイベースＮＥＯ工法設計施工標準 （ハイベースＮＥＯ工法は、Ｓ造及びＣＦＴ造に適用）

2025/10

大臣認定 ＭＳＴＬ－０５６６ （Ｇタイプ用ベースプレート）
ＭＢＬＴ－００４２～００４４，００４６，０２２８～０２３０ （アンカー用ボルトセット）

ＢＣＪ評定 ＢＣＪ評定－ＳＴ００５８（Ｇタイプ）
ＢＣＪ評定－ＳＴ００５９（エコタイプ、高強度柱適用タイプ）

本工法の設計・施工は、鋼構造設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書 ＪＡＳＳ ６ 鉄骨工事、建築工事標準仕様書・同解説 ＪＡＳＳ ５ 鉄筋コンクリート工事、およびハイベースＮＥＯ工法設計ハンドブックに準拠する。

設 計

１． 材質

（１） ベースプレート・アンカーボルト・ナット・座金・定着板

エコタイプ（ＥＢ型式、ＥＭ型式、ＥＨ型式），高強度柱適用タイプ（ＫＢ型式）

	ベースプレート エコタイプ	ベースプレート 高強度柱適用タイプ	アンカーボルト※2	エコナット※2	ナット※2	座 金※2	定着板
規 格	JIS G3136※5 又はTMCP鋼※4	TMCP鋼※4	HAB（大臣認定取得材）	大臣認定取得材	JIS B1181（六角ナット）	JIS G3106	JIS G3101（一般構造用圧延鋼材）
ねじの種類	—	—	メートル並目	メートル並目	メートル並目	—	—
備 考	板厚４０mm以下の場合 SN490B 板厚４０mm超の場合 TMCP325B, C	TMCP385B, C	降伏比 70%以下	－	強度区分5	ＳＭ４９０Ａ	ＳＳ４００

エコタイプ、高強度柱適用タイプのベースプレート上ナットはエコナットを使用する。

Ｇタイプ（ＧＢ型式、ＧＭ型式、ＧＨ型式）

	ベースプレート※1	アンカーボルト※2	ナット※2	座 金※2	定着板
規 格	HCW490B（大臣認定取得材）	HAB（大臣認定取得材）	JIS B1181（六角ナット）	JIS G3106	JIS G3101（一般構造用圧延鋼材）
ねじの種類	—	メートル並目※3	メートル並目※3	—	—
備 考	SN490B同等	降伏比 70%以下	強度区分5 （二重ナット時） 強度区分8 （一重ナット時）	ＳＭ４９０Ａ	ＳＳ４００

※1 国土交通大臣認定（ＭＳＴＬ－０５６６） ※2 国土交通大臣認定（ＭＢＬＴ－００４２～００４４，００４６，０２２８～０２３０）
※3 Ｍ７２は細目ねじ ※4 建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定を取得した材料を使用 ※5 電炉材を使用する場合があります

（２）ベースプレート下面のモルタル

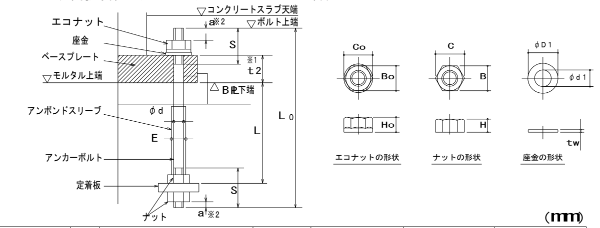
後詰め モルタル	ハイベース工法無収縮モルタルＮＸ－２０００、又はクイック３およびこれと同等以上の無収縮性モルタル※ ※ センクシアが供給するものに限る
中心塗 部分モルタル	○無収縮モルタルパッド用又は普通モルタル （ＮＸ－２０００及びクイック３は使用不可。） ○強度はこれに接するコンクリートの強度以上

（３）基礎・基礎ばり

コンクリート	○日本建築学会「ＪＡＳＳ ５ 鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリート ○設計基準強度は、Ｆｃ＝１８～３６Ｎ／ mm²
鉄 筋	ＪＩＳ Ｇ ３１１２「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定められる、熱間圧延異形棒鋼
柱 形	へりあき量は、ベースプレート外形寸法の０．１倍以上確保しなければならない。

２． アンカーボルトのセット寸法

エコタイプ、高強度柱適用タイプ用アンカーボルト部品



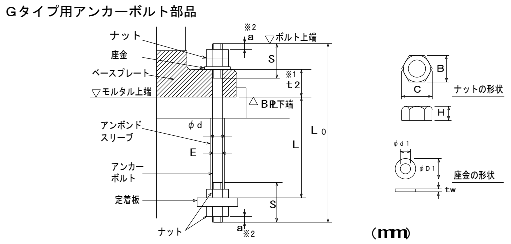
(mm)

	ねじの呼び	アンカーボルト 軸径 φd	ねじ ピッチ P	ねじ 長さ S	余長※2 a	定着長さ L	全長 LO	アンボンドスリーブ 外径 E	エコナット 高さ HO	エコナット 二面幅 BO	エコナット 対角距離 CO	ナット 高さ H	ナット 二面幅 B	ナット 対角距離 C	座金 厚さ tw	座金 内径 φd1	座金 外径 φD1
エコタイプ※3	M24	24	3	95/105	10	400/480	550/645	29	22	46	53	19	36	42	6	25	56
エコタイプ※3	M30	30	3.5	110/130	13	400/600	580/800	35	27	50	58	24	46	53	6	31	60
エコタイプ※3	M36	36	4	130	16	480/720	690/925	41	33	55	64	29	55	64	6	37	66
エコタイプ※3	M42	42	4.5	155	18	840	1080	48	38	65	75	34	65	75	9	43	78
高強度柱適用タイプ	M42	42	4.5	165	18	840	1110	48	38	65	75	34	65	75	9	43	78

※1 t_2 はベースプレート台座厚さを示し、ハイベースＮＥＯ型式によって変わります。
※2 ａ寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。
施工時は、ねじ山が最低３山ナットの外に出るように余長を確保してください。
※3 表中のエコタイプ上段はＥＢ、ＥＭ型式のアンカーボルト４本タイプ、
エコタイプ下段はＥＢ、ＥＭ型式のアンカーボルト８本、１２本タイプ及びＥＨタイプの場合の寸法です。

⚠注意
・エコタイプ、高強度柱適用タイプのアンカーボルトはシングルナットとしておりますので、ゆるみ止め処置としてコンクリートスラブで被覆してください。
・コンクリートによる被覆を行わない場合は、二重ナット等のゆるみ止め処置が必要です。その場合、せん断耐力が変わる可能性がありますのでセンクシアにご相談ください。
・アンカーボルト上部には必ずエコナットを使用してください。通常のナットでは所定の性能が発揮できません。

Ｇタイプ用アンカーボルト部品



(mm)

ねじの呼び	アンカーボルト 軸径 φd	ねじ ピッチ P	ねじ 長さ S	余長※2 a	定着長さ L	全長 LO	アンボンドスリーブ 外径 E	ナット 高さ H	ナット 二面幅 B	ナット 対角距離 C	座金 厚さ tw	座金 内径 φd1	座金 外径 φD1
M24	24	3	105	10	480	645	29	19	36	42	6	25	44
M30	30	3.5	130	13	600	800	35	24	46	53	6	31	56
M36	36	4	130/150	16	720	925/955	41	29	55	64	6	37	66
M42	42	4.5	155/165	18	840	1080/1110	48	34	65	75	9	43	78
M48	48	5	175/190	22	960	1235/1270	54	38	75	87	9	50	92
M56	56	5.5	185/210	24	1120	1420/1470	62	45	85	98	9	58	105
M64	64	6	200/230	28	1280	1610/1660	70	51	95	110	12	66	115
M72	72	6	250	30	1440	1850	79	58	105	121	12	74	125

※1
t_2 はベースプレート台座厚さを示し、ハイベースＮＥＯ型式によって変わります。

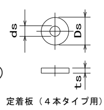
※2
ａ寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。
施工時は、ねじ山が最低３山ナットの外に出るように余長を確保してください。

※3
上段はＧＢ型式及びＧＭ型式の場合、下段はＧＨ型式の場合の寸法です。

⚠注意
・Ｇタイプのアンカーボルトは二重ナットを標準としていますが、一重ナットでも適用可能です。
・一重ナットとする場合は、コンクリートに埋め込む等のゆるみ止め処置が必要です。
（一重ナットとする場合は、センクシアにご相談ください。）

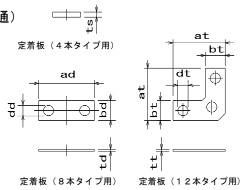
ベースプレートのアンカーボルト孔径 (mm)

ねじの呼び	M24	M30	M36	M42	M48	M56	M64	M72
エコタイプ 高強度柱適用タイプ	38	44	50	57	-	-	-	-
Ｇタイプ孔径	－	38	45	53	61	70	79	87



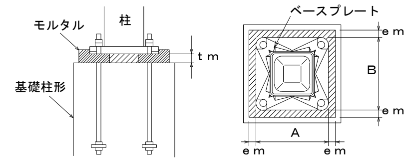
定着板（エコタイプ、高強度柱適用タイプ、Ｇタイプ共通） (mm)

ねじの呼び	４本タイプ用 厚さ ts	４本タイプ用 外径 Ds	４本タイプ用 内径 ds	８本タイプ用 厚さ td	８本タイプ用 長さ ad	８本タイプ用 幅 bd	８本タイプ用 内径 dd	１２本タイプ用 厚さ tt	１２本タイプ用 長さ at	１２本タイプ用 幅 bt	１２本タイプ用 内径 dt
M24	16	70	27	－	－	－	－	－	－	－	－
M30	16	90	33	9	180	65	33	－	－	－	－
M36	19	100	39	9	215	75	39	－	－	－	－
M42	22	120	45	9	240	85	45	9	225	85	45
M48	25	140	52	9	270	95	52	9	260	95	52
M56	28	160	60	9	305	110	60	9	295	110	60
M64	32	180	68	12	330	130	68	12	340	130	68
M72	－	－	－	16	380	145	76	16	375	145	76



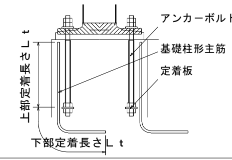
ベースプレートの形状・寸法は、ハイベースＮＥＯ工法設計ハンドブックを参照ください。

３．ベースプレート下面モルタルの標準寸法



各 部 名 称	寸 法	備 考
中心塗り部分モルタルの厚さ（ｔｍ）	標準寸法 ｔｍ＝５０mm	許容範囲 ３０≦ｔｍ≦７０mm
ベースプレート周辺のモルタル幅（ｅｍ）	ｅｍ≧３０mm	許容範囲 ｅｍ≧２５mm

４．基礎柱形主筋の定着長さ（最小値）



基礎柱形主筋の定着長さ（Ｌｔ）は、定着板上面を境にして上下とも確保する必要があります。

工場加工

１． 溶 接 材 料

被覆アーク溶接	ＪＩＳ Ｚ ３２１１（旧ＪＩＳ Ｚ ３２１２）に従い選定する（低水素系）
ガスシールドアーク溶接	ＪＩＳ Ｚ ３３１２ 又は ＪＩＳ Ｚ ３３１３に従い選定する

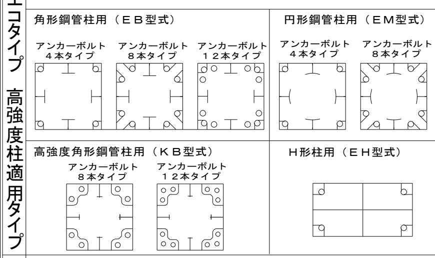
※ベースプレートと柱のＦ値が異なる場合は、ＪＡＳＳ６や各材質毎に定められた指針に従い溶接材料を選定する。

２．ベースプレートの鉄骨柱への取付け（柱端部に開先を設ける）

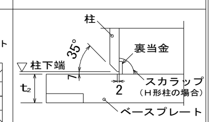
※ 柱とベースプレートの溶接は完全溶込み溶接
開先はＭＣ－ＴＬ－１Ｂ、ＧＣ－ＴＬ－１Ｂによる ※開先形状は参考

エコタイプ 高強度柱適用タイプ

ベースプレート形状



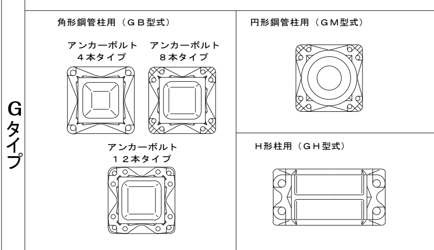
開先形状



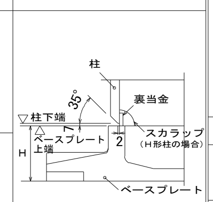
⚠注意
柱はベースプレートのフラット面に取り付けてください。
アンカーボルト孔周辺に凹加工している面はベースプレート裏面であり、無収縮モルタルと接する面となります。

Ｇタイプ

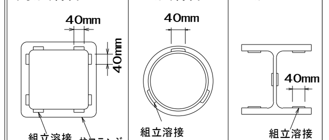
ベースプレート形状



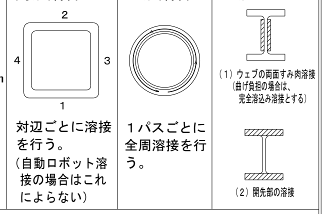
開先形状



３．組 立 溶 接



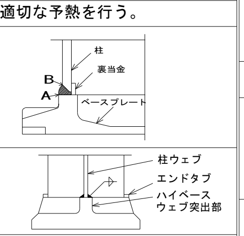
４．本 溶 接 の 手 順



角形鋼管：対辺ごとに溶接を行う。（自動ロボット溶接の場合はこれによらない）
円形鋼管：１パスごとに全周溶接を行う。

５．溶 接 施 工 一 般

予 熱	鋼材の種類、板厚により必要に応じて適切な予熱を行う。
余 盛	溶接余盛はベースプレート側Ａ点から柱側Ｂ点へ向かってなめらかになるように施工する。 余盛高さは、柱接合突出部形状に対応し突き合わせ継手またはＴ継手余盛り高さに準拠する（Ｇタイプ）。
Ｈ形柱の溶接	エンドタブの取付とＨ形柱ウェブのすみ肉溶接



⚠注意 柱の溶接時にベースプレートとの組合せによってはベースプレートが溶接熱歪によって曲がることがあります。

６． 検 査

方 法	溶接部の検査を行う場合は、超音波探傷検査による。 探傷は柱フランジ側から行う。
不良溶接部の補正	（１） 有害な欠陥のある溶接部は削除して再溶接する。 （２） 溶接部に割れの入った場合には、割れの入った両端から５０mm以上、はつり取り再溶接する。

現 場 施 工

（＃）：センクシアの担当範囲

１．捨てコンクリート打設

柱脚部の捨てコンクリートの厚さは９０mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

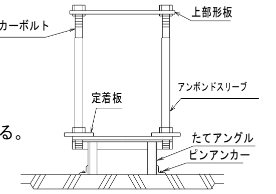
２．墨出し

３．アンカーボルト搬入（＃）

４．アンカーボルト据付（＃）

アンカーボルト設置

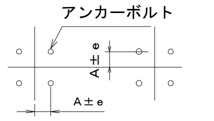
アンカーボルトの設置は自立できる形式とし、捨てコンクリートに固定する。



アンカーボルト設置例
（架台の形状は異なる場合あり）

アンカーボルト設置精度の目標値

平 面	レ ベ ル
ｅ≦３mm（形板芯にて検査）	基準高さよりの誤差ｅｈ －３mm≦ｅｈ≦１０mm

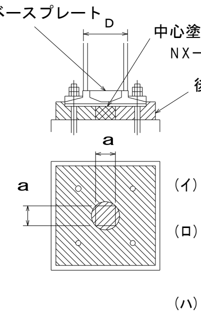


５．鉄筋配筋・型枠の立込み

６．基礎コンクリート打設

基礎柱形上面の目荒らし・水洗いを行ってください。

７．中心塗り部分モルタル施工



中心塗部分モルタル
ＮＸ－２０００、クイック３は使用不可。

後詰めモルタル
ハイベース工法無収縮モルタルＮＸ－２０００、又はクイック３およびこれと同等以上の無収縮性モルタル※
注入方法はヘッド圧工法による。
※ センクシアが供給するものに限る

（イ） □ ２５０以下、φ２６７．４以下、Ｈ２５０以下の場合
１００mm ≦ ａ ≦２００mm かつ柱寸法 Ｄ以下
（ロ） □ ３００以上□７００以下、φ３００以上φ７１１．２以下、および Ｈ２５０以上の場合
１５０mm ≦ ａ ≦３００mm かつ柱寸法 Ｄ以下
（ハ） □ ７５０～□１２００、φ７５０～φ１０１６の場合
３００mm ≦ ａ ≦５００mm

中心塗部分モルタル及び後詰めモルタルの養生
基礎、基礎ばりコンクリートの強度以上となるよう養生期間を確保すること。

ＥＢ，ＧＢ，ＥＭ，ＧＭ，ＥＨ，ＫＢ型式	ＧＨ型式
８．鉄骨建方 アンカーボルト締付 アンカーボルトは隙間がないよう確実に締め付けを行う。	８．鉄骨建方 ９．モルタル注入枠設置（＃） 後詰めモルタル充填（＃）
９～１０．モルタル注入枠設置（＃） 後詰めモルタル充填（＃） アンカーボルト締付確認（＃） ベースプレートと座金とナットが密着していることを確認。	１０．アンカーボルト締付（＃） 予備締め マーキング ナット回転法による本締め （３０°回転、許容差 $^{+10°}_{-0}$ ）

１１．モルタル注入枠取り外し

施工完了後、ハイベースＮＥＯ工法のチェックシートに工事記録を記載する。

センクシア株式会社 ＵＲＬ https://www.senqcia.co.jp/

本社 ＴＥＬ ０３－４２１４－１９３２
札幌 ＴＥＬ ０１１－７０８－１１７７
東北 ＴＥＬ ０２２－２１３－５５９５
関東 ＴＥＬ ０２７－３２２－９４１１
中部 ＴＥＬ ０５２－５８２－３３５６
北陸 ＴＥＬ ０７６－２３３－５２６０
関西 ＴＥＬ ０６－６３９５－２１３３
中四国 ＴＥＬ ０８２－２４０－１６３０
九州 ＴＥＬ ０９２－４５２－０３４１

⚠注意
１．アンカーボルトの設置、無収縮モルタルの充填、これらの施工は、センクシアが定めた認定業者が行うこと。（日本建築センターの評定で義務付けられています。）
２．アンカーボルト及びナットは加熱、溶接、加工は絶対に行わないでください。
３．設置後のアンカーボルトのねじ部は打ちきずやコンクリートが付着しないようにねじ部の保護養生をしてください。
４．建て入れ直し用のワイヤをアンカーボルトにとらないでください。
５．本資料以外の施工方法で行った場合、ハイベースＮＥＯの性能が発揮できなくなります。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名 ハイベースＮＥＯ工法 設計施工標準	縮尺 -	図面番号 Ｓ－ 012

ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準 耐火仕様①
合成スラブ工業会仕様

JFE 建材 株式会社

［耐火認定FP60FL-9095, 9101, FP120FL-9107, 9113用］

ＱＬデッキ合成スラブの設計・施工は、（社）日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説　ＪＡＳＳ５鉄筋コンクリート工事及びＪＡＳＳ６鉄骨工事」、（一社）日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工規準　２０１８」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、ＱＬデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設　　計

材料／デッキプレート

［ＩＳＯ　９００１認証取得］

デッキプレート種類		板厚(mm)	表　面　処　理
■ＱＬ９９－５０ □ＱＬ９９－７５	端部加工 ■エンクロ有り □無し	――	――――――
		■１．２ □１．６	□裏面防錆処理（一次塗装）　ＱＬプライマー（Ｐ）*1 ■亜鉛めっき　［ ■Ｚ１２　□Ｚ２７ ］ □ＪＦＥエコガ゛ル（高耐食溶融めっき鋼板）　［ □Ｙ１８　□Ｙ２７ ］ □その他（　　）　□無し
材　質	ＪＩＳ　Ｇ　３３５２に定めるＳＤＰ１Ｔ、ＳＤＰ２、ＳＤＰ２Ｇ		

＊1　現場搬入までの一次防錆（ＪＩＳ　Ｋ　５６２１　２種または３種相当）

材料／コンクリート

種　　類	■普通コンクリート　□軽量コンクリート［ □1種　□2種 ］
設計基準強度	□１８　□２１　■２４　□（　　）Ｎ／ｍｍ²
厚さ（ＱＬデッキ山上）	□６０　□７０　■８０　□８５　□９０　□９５　□１００　□（　　）ｍｍ

材料／溶接金網・異形鉄筋

■溶接金網	ＪＩＳ Ｇ ３５５１	□φ６－７５×７５　■φ６－１５０×１５０ □φ６－１００×１００　□（　　）*2
□異形鉄筋	ＪＩＳ Ｇ ３１１２、３１１７	□Ｄ１０－１５０×１５０ □Ｄ１０－２００×２００　□（　　）
耐火補強筋	ＪＩＳ Ｇ ３１１２、３１１７　Ｄ１３－@３００	

＊2　線形6mm以上を用いたもの

接　　合

梁との接合	□頭付きスタッド	ＪＩＳ Ｂ １１９８ □φ１３　□φ１６　□φ１９　□φ２２ （各長さ・ピッチは特記による*3）
	■焼抜き栓溶接	下記焼抜き栓溶接の項による
	□打込み鋲	接合箇所には特記による
	□その他	

＊3　最小長さはデッキ高さ＋３０mm以上とする

耐　　火

ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ	耐火区分	支持条件	コンクリート種別	耐火補強筋	認定番号
QL99-50 QL99-75	床１時間	単純	普通／軽量	要	□ＦＰ０６０ＦＬ－９１０１
		連続		不要	■ＦＰ０６０ＦＬ－９０９５
	床２時間	単純		要	□ＦＰ１２０ＦＬ－９１１３
		連続		不要	□ＦＰ１２０ＦＬ－９１０７

注）床２時間は床１時間耐火を含む

その他	□指定なし　□（　　）□（　　）

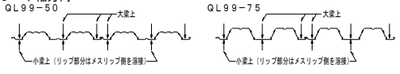
特　　記

支保工有無	その他：
■無　□有	

上欄内の採用項目に ☑ を記して下さい。

焼抜き栓溶接

デッキプレート幅方向



デッキプレートスパン方向

「ＱＬデッキ設計マニュアル」に基づいて決定する。

$$Aw = \frac{1.5Qa}{Qb} \times 1000mm$$ かつ600mm　以下

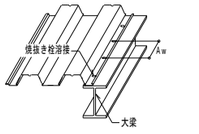
Ｑａ：焼抜き栓溶接１個当たりの長期許容せん断力（Ｎ）

Ｑｂ：設計最大せん断力（Ｎ／ｍ）

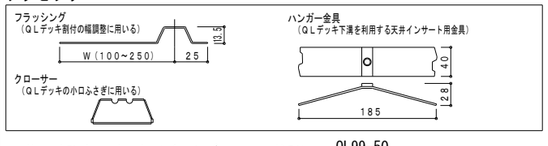
Ａｗ：焼抜き栓溶接ピッチ

板厚	Ｑａ（Ｎ）
１．２	４，９００
１．６	７，３５０（ＳＰＷ），６，８６０（Ａ．Ｐ．Ｗ）

Ａｗ ＝（~~500~~ 600）mm



アクセサリー

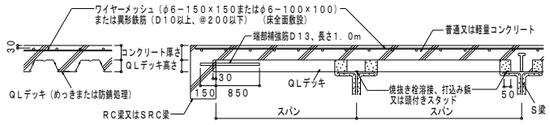


耐　火　仕　様

【連続支持合成スラブ】

支　持　梁　：鉄骨（Ｓ）梁 及び 大梁：鉄筋コンクリート（ＲＣ）梁又は鉄骨鉄筋コンクリート（ＳＲＣ）梁、小梁：鉄骨（Ｓ）梁
コンクリート：設計基準強度１８Ｎ／ｍｍ² 以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート（１種・２種）

耐火時間	コンクリート種類	品名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋（Ｄ１０－@２００）	許容積載荷重
床、１時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	QL99－50	３．０ｍ 以下	８０ｍｍ 以上	φ６－１５０×１５０	算出式 注5）Ａ 参照
		QL99－75	３．４ｍ 以下			算出式 注5）Ｂ 参照
			３．６ｍ 以下	９０ｍｍ 以上	φ６－１００×１００	４，４００Ｎ／ｍ² 以下 注2）
	軽量コンクリート	QL99－50	３．０ｍ 以下	８０ｍｍ 以上	φ６－１５０×１５０	算出式 注5）Ａ 参照
		QL99－75	３．４ｍ 以下			算出式 注5）Ｂ 参照
床、２時間耐火 FP120FL-9107	普通コンクリート	QL99－50	２．７ｍ 以下	９５ｍｍ 以上	φ６－１００×１００	算出式 注5）Ａ 参照
		QL99－75	３．４ｍ 以下	９０ｍｍ 以上		算出式 注5）Ｂ 参照
			３．６ｍ 以下	９５ｍｍ 以上	Ｄ１０－@２００	５，４００Ｎ／ｍ² 以下 注2）
	軽量コンクリート	QL99－50	２．７ｍ 以下	８５ｍｍ 以上	φ６－１００×１００	算出式 注5）Ａ 参照
		QL99－75	３．４ｍ 以下	９０ｍｍ 以上		算出式 注5）Ｂ 参照
			３．６ｍ 以下	９０ｍｍ 以上	Ｄ１０－@２００	５，４００Ｎ／ｍ² 以下 注2）



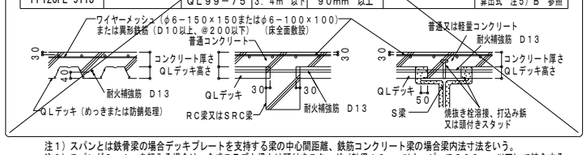
【単純支持合成スラブ】

支　持　梁　：鉄骨（Ｓ）梁　　コンクリート：設計基準強度１８Ｎ／ｍｍ² 以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート（１種・２種）
耐火補強筋　：Ｄ１３（デッキプレート各溝@３００）

耐火時間	コンクリート種類	品名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋（Ｄ１０－@２００）	許容積載荷重
床、１時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99－50	２．７ｍ 以下	８０ｍｍ 以上	φ６－１５０×１５０	算出式 注5）Ａ 参照
		QL99－75	３．４ｍ 以下			算出式 注5）Ｂ 参照
	軽量コンクリート	QL99－50	２．７ｍ 以下			算出式 注5）Ａ 参照
		QL99－75	３．４ｍ 以下			算出式 注5）Ｂ 参照
床、２時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	QL99－50	２．７ｍ 以下	９５ｍｍ 以上	φ６－１００×１００	算出式 注5）Ａ 参照
		QL99－75	３．４ｍ 以下	９０ｍｍ 以上		算出式 注5）Ｂ 参照
	軽量コンクリート	QL99－50	２．７ｍ 以下	８５ｍｍ 以上		算出式 注5）Ａ 参照
		QL99－75	３．４ｍ 以下			算出式 注5）Ｂ 参照

支持梁：鉄筋コンクリート（ＲＣ）梁又は鉄骨鉄筋コンクリート（ＳＲＣ）梁の場合　　コンクリート：設計基準強度１８Ｎ／ｍｍ² 以上の普通コンクリート
耐火補強筋：Ｄ１３（デッキプレート各溝@３００）

耐火時間	コンクリート種類	品名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋（Ｄ１０－@２００）	許容積載荷重
床、１時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99－50	２．７ｍ 以下	８０ｍｍ 以上	φ６－１５０×１５０	算出式 注5）Ａ 参照
		QL99－75	３．４ｍ 以下			算出式 注5）Ｂ 参照
床、２時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	QL99－50	２．７ｍ 以下	９５ｍｍ 以上	φ６－１００×１００	算出式 注5）Ａ 参照
		QL99－75	３．４ｍ 以下	９０ｍｍ 以上		算出式 注5）Ｂ 参照



注１）スパンとは鉄骨梁の場合デッキプレートを支持する梁の中心間距離、鉄筋コンクリート梁の場合梁内法寸法をいう。
注２）スパンが３．４ｍを超える場合は、合成スラブと梁とは頭付きスタッド（軸径１６ｍｍ以上、ピッチ３００ｍｍ以下）で結合する。
注３）鉄骨梁の場合、梁との接合は焼抜き栓溶接、打込み鋲、または頭付きスタッドを用いる。
注４）梁の耐火被覆　　梁に１、２または３時間の耐火性能が要求される場合は、それらに応じ耐火被覆を施す。
注５）許容積載荷重Ｗ　算出式

ℓ：支持スパン（ｍ）

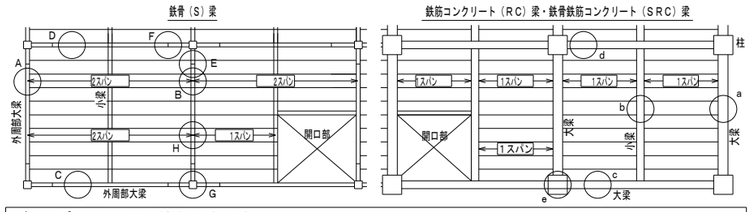
［Ａ］ＱＬ９９－５０	［Ｂ］ＱＬ９９－７５
$W=5,400\times\left(\frac{2.7}{\ell}\right)^2$ かつ９，８００ Ｎ／ｍ² 以下	$W=5,400\times\left(\frac{3.4}{\ell}\right)^2$ かつ９，８００ Ｎ／ｍ² 以下

※許容積載荷重は、床にかかる全荷重（仕上げ荷重も含む）から床荷重（デッキプレートとコンクリートの自重）を差し引いた値を示します。

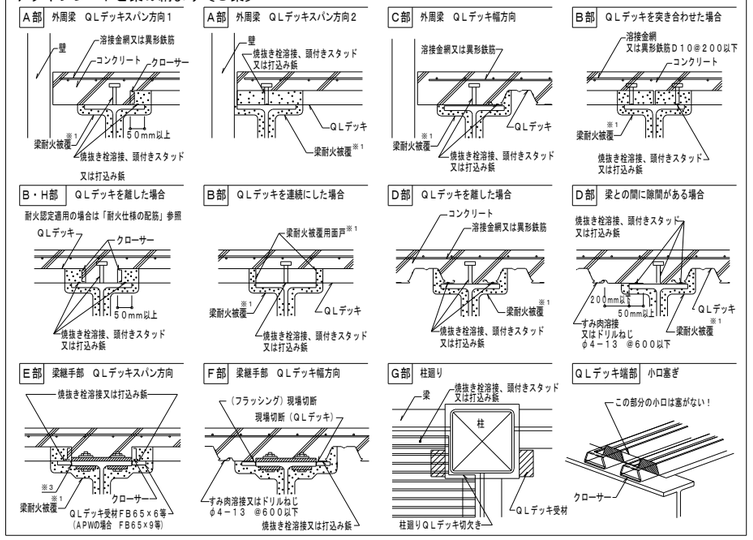
付帯条件
連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは２スパン以上にわたって連続的にかげり等によって、ほぼ等間隔（スパン比３：２を超えない程度 ※）に支持されるものとする。
※合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」参照

標　準　納　まり

図中※１は、梁に１、２または３時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。　※２はＱＬデッキ耐火認定を適用する場合に必要。
※３　溶接方法等は別途検討が必要。（合成スラブ工業会Ｑ＆Ａ参照）

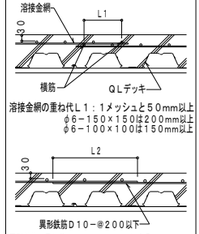


デッキプレートと梁の納まり〔Ｓ梁〕



スラブの配筋

コンクリート表面よりのかぶり厚さが３０ｍｍになるようレベル保持し、全面に配筋する。

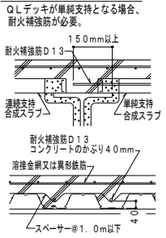


耐火仕様の配筋

・ＱＬデッキが単純支持となる場合、耐火補強筋を配筋する。配筋はＪＡＳＳ５鉄筋コンクリート工事による。
・耐火補強筋・端部補強筋が必要な場合、ＱＬデッキの各溝中央部にかぶり４０ｍｍで配筋する。
・耐火補強筋、端部補強筋共、梁へ１５０ｍｍ以上定着させる。梁上で定着が１５０ｍｍとれない場合は、Ｌ型に曲げて１５０ｍｍ以上を確保する。

Ａ）大梁小梁共にＳ造の場合

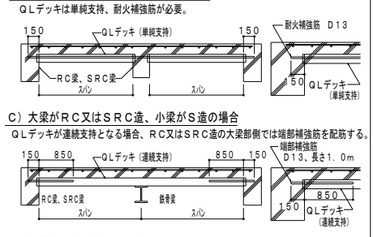
ＱＬデッキが単純支持となる場合、耐火補強筋が必要。



※配筋のスペーサーは φ４．０mm以上鉄線またはセメントブロックを用いて間隔は１．０m以上とする。

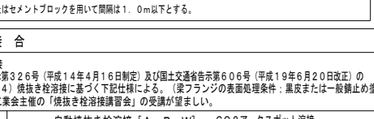
Ｂ）大梁小梁共にＲＣ又はＳＲＣ造の場合

ＱＬデッキは単純支持、耐火補強筋が必要。

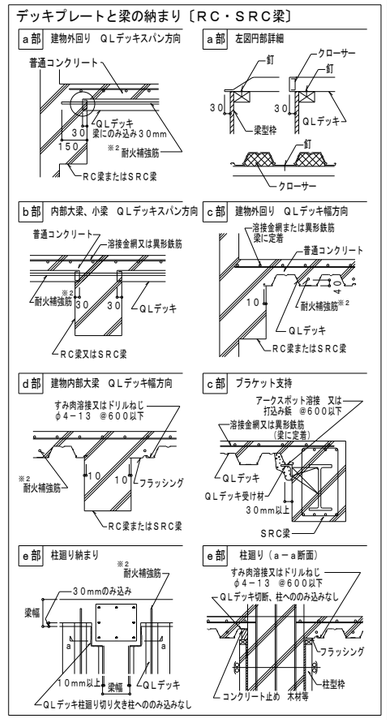


Ｃ）大梁がＲＣ又はＳＲＣ造、小梁がＳ造の場合

ＱＬデッキが連続支持となる場合、ＲＣ又はＳＲＣ造の大梁部側では端部補強筋を配筋する。



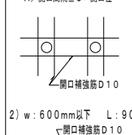
デッキプレートと梁の納まり〔ＲＣ・ＳＲＣ梁〕



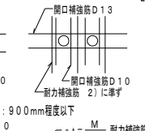
開口部補強案

１）開口がφ１５０程度の場合

Ａ）開口間隔≧３×開口径



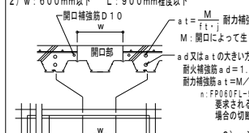
Ｂ）開口間隔＜３×開口径



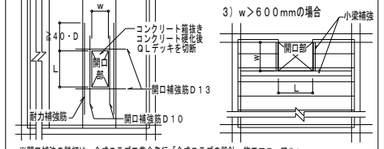
Ｃ）開口が連続している場合

連続する開口の開口部（仮想開口）と見なし、その開口部の大きさにより、２）又は３）に準じて補強を行う

２）ｗ：６００mm以下　Ｌ：９００mm程度以下



３）ｗ＞６００mmの場合



※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」
（１）合成スラブの設計　４．合成スラブの開口補強方法　を参照する。

施　工

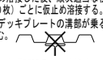
施工順序

墨出し
↓
敷込み仮止め溶接
↓
ＱＬデッキと梁との接合
１）頭付きスタッド
２）打込み鋲
３）焼抜き栓溶接
↓
溶接金網敷込み
↓
検　査
↓
コンクリート打設

敷　込　み

鉄骨梁の場合

１）墨出し線に合わせて１枚目のデッキプレートを仮止め溶接した後、順次適当な枚数（５～１０枚）ごとに仮止め溶接する。
２）各天梁上にデッキプレートの溝部が乗るように敷込む。



デッキプレート幅方向のかかり代は、５０ｍｍ以上とることを確認する。
（頭付きスタッドの場合は３０ｍｍ以上）
３）デッキプレート長手方向の大梁のかかり代は、５０ｍｍ以上あることを確認する。

ＲＣ梁またはＳＲＣ梁の場合

１）デッキプレートは梁受材に釘止めする。
２）デッキプレートの梁受材へのの み込み代が幅方向１０ｍｍ以上、長手方向が３０ｍｍあることを確認する。

デッキプレートと梁との接合

１）頭付きスタッド
施工は、ＪＡＳＳ６「鉄骨工事」による。
デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。

２）打込み鋲
施工は打込み鋲製造業者の施工要領による。
施工の仕様等については別途製造業者へご確認下さい。
日本ヒルティ（株）

３）焼抜き栓溶接
国土交通省告示第３２６号（平成１４年４月１６日制定）及び国土交通省告示第６０６号（平成１９年６月２０日改正）の第２接合ハ（４）焼抜き栓溶接に基づく下記仕様による。（梁フランジの表面処理条件：黒皮または一般鋼止め塗装）
合成スラブ工業会主催の「焼抜き栓溶接講習会」の受講が望ましい。

焼抜き栓溶接［ＳＰＷ］　―アーク手溶接―

（１）溶接機
交流アーク溶接機　ＡＷ２５０Ａ以上　エンジン溶接機　２３０Ａ以上
（２）溶接棒
ＪＩＳ Ｚ ３２１１のＥ４３１６、Ｅ４９１６ に定める低水素系被覆アーク溶接棒で
棒径４ｍｍφのもの
（３）標準溶接条件
梁フランジ板厚：６ｍｍ以上
溶接電流　：１９０～２３０Ａ（標準２１０Ａ）
（４）溶接工の資格
ＪＩＳ Ｚ ３８０１、ＪＩＳ Ｚ ３８４１ における基本級の有資格者
（５）手順・要領
右の１～４の順に行う。

	工　程	手　順・要　領
１	アーク発生	ＱＬデッキを梁になじませ（隙間２ｍｍ以下）溶接棒をＱＬデッキに垂直にしてアークを発生させる。
２	ＱＬデッキ焼抜き	溶接棒を若干引き上げてアークを飛ばし、径１０ｍｍ弱で゛の゛の字を描いてＱＬデッキを焼抜く。
３	押し込み・溶着	溶接棒を梁上まで押し込み、焼抜きの向側をなぞるように円中央へ２～３回転しながら運棒。
４	整　形	溶着金属を整え、中央部でそっと溶接棒を引き上げる。スラグを除去して仕上がりを確認。

溶接時間の目安；電流値２１０Ａ（標準）の場合８秒程度

自動焼抜き栓溶接［Ａ．Ｐ．Ｗ］―ＣＯ２アークスポット溶接 ―

（１）一次側電源の必要容量：仮設電力の場合　１８ＫＶＡ以上　３相　２００Ｖ
発電機の場合　３５ＫＶＡ以上　３相　２００Ｖ
（２）ワイヤの種類と直径　：ＹＧＷ　１１、１２　φ１．２ｍｍ
（３）標準溶接条件：下表

ＱＬデッキ板厚	梁フランジ板厚	電流（Ａ）	電圧（Ｖ）	アークタイム（秒）
１．２ｍｍ	６～９ｍｍ未満	３００～３２０	３３～３５	３．０～４．０×１度打ち
	９ｍｍ以上	３００～３２０	３３～３５	３．０～４．０×２度打ち
１．６ｍｍ	６～９ｍｍ未満	３００～３２０	３４～３６	３．５～４．５×１度打ち
	９ｍｍ以上	３００～３２０	３４～３６	４．０～４．５×２度打ち

注１．デッキプレート　板厚１．２、１．６ｍｍ　表面条件：Ｚ１２、Ｚ２７、裏面塗装
２．ＣＯ２ガス流量：２０ℓ／分以上

検　査

【焼抜き栓溶接（ＳＰＷ）及び自動焼抜き栓溶接（Ａ．Ｐ．Ｗ）】
■事前検査
ＳＰＷ：適正な溶接を行うために下記１）または２）の方法で電流値をチェックする。
１）　検査ドットの計測
２）　溶接棒の消費長さによる確認――　未使用の規定の溶接棒を用いて、アーク長さを約３ｍｍに保持し、１０ｍｍ程度の円を描いて１０秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが４５～５３ｍｍであること。
Ａ．Ｐ．Ｗ：試し溶接を行って溶接径を確認する。
■溶接後の外観検査
１）　溶接箇所の確認　２）　焼き切れ、余盛り不足の有無
３）　標準余盛り径　ＳＰＷ；１８ｍｍ以上　Ａ．Ｐ．Ｗ；２５ｍｍ±３
■不良部の補修
ＳＰＷ　の場合：スラグ除去後、梁にデッキプレートを密着させて再溶接する。
不良合箇所に溶着金属を流し込む要領で補修。
Ａ．Ｐ．Ｗの場合：重ね溶接して補修する。
【その　他】
（１）ＱＬデッキ相互の嵌合状況　（２）ひび割れ拡大防止筋の敷込み状況　（３）開口部の補強状況

施工時許容スパン表（デッキプレートの検討）

注１：普通コンクリート（単位体積重量２４．０ｋＮ／ｍ³）、
表面処理が亜鉛めっきの場合
注２：（　）数値は表面処理がめっきなしまたは塗装品の許容スパンを示す。
注３：表を超える場合は、別途支保工が必要です。

QL99-50　（単位：ｍ）

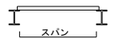
コンクリート厚（mm）		60		70		80		90		100	
板厚（mm）		１．２	１．６	１．２	１．６	１．２	１．６	１．２	１．６	１．２	１．６
支持条件	単純（内法）	2.52 (2.52)	2.75 (2.75)	2.47 (2.47)	2.69 (2.69)	2.42 (2.42)	2.64 (2.64)	2.37 (2.37)	2.59 (2.59)	2.33 (2.33)	2.54 (2.54)
	２連続	3.38 (3.38)	3.67 (3.67)	3.31 (3.31)	3.61 (3.61)	3.24 (3.24)	3.54 (3.54)	3.18 (3.15)	3.47 (3.47)	3.12 (3.07)	3.41 (3.41)
	３連続	3.12 (3.12)	3.40 (3.40)	3.05 (3.05)	3.33 (3.33)	2.99 (2.99)	3.26 (3.26)	2.93 (2.93)	3.20 (3.20)	2.88 (2.88)	3.15 (3.15)

QL99-75　（単位：ｍ）

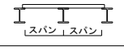
コンクリート厚（mm）		60		70		80		90		100	
板厚（mm）		１．２	１．６	１．２	１．６	１．２	１．６	１．２	１．６	１．２	１．６
支持条件	単純（内法）	3.31 (3.31)	3.61 (3.61)	3.24 (3.24)	3.55 (3.55)	3.18 (3.18)	3.48 (3.48)	3.13 (3.13)	3.42 (3.42)	3.07 (3.07)	3.37 (3.37)
	２連続	4.02 (3.89)	4.30 (4.30)	3.96 (3.78)	4.24 (4.24)	3.91 (3.67)	4.18 (4.18)	3.83 (3.58)	4.13 (4.13)	3.73 (3.49)	4.07 (4.07)
	３連続	3.78 (3.78)	4.05 (4.05)	3.73 (3.73)	3.99 (3.99)	3.68 (3.68)	3.93 (3.93)	3.63 (3.63)	3.88 (3.88)	3.58 (3.58)	3.83 (3.83)

S造・施工時のスパンの取り方

【単純支持】



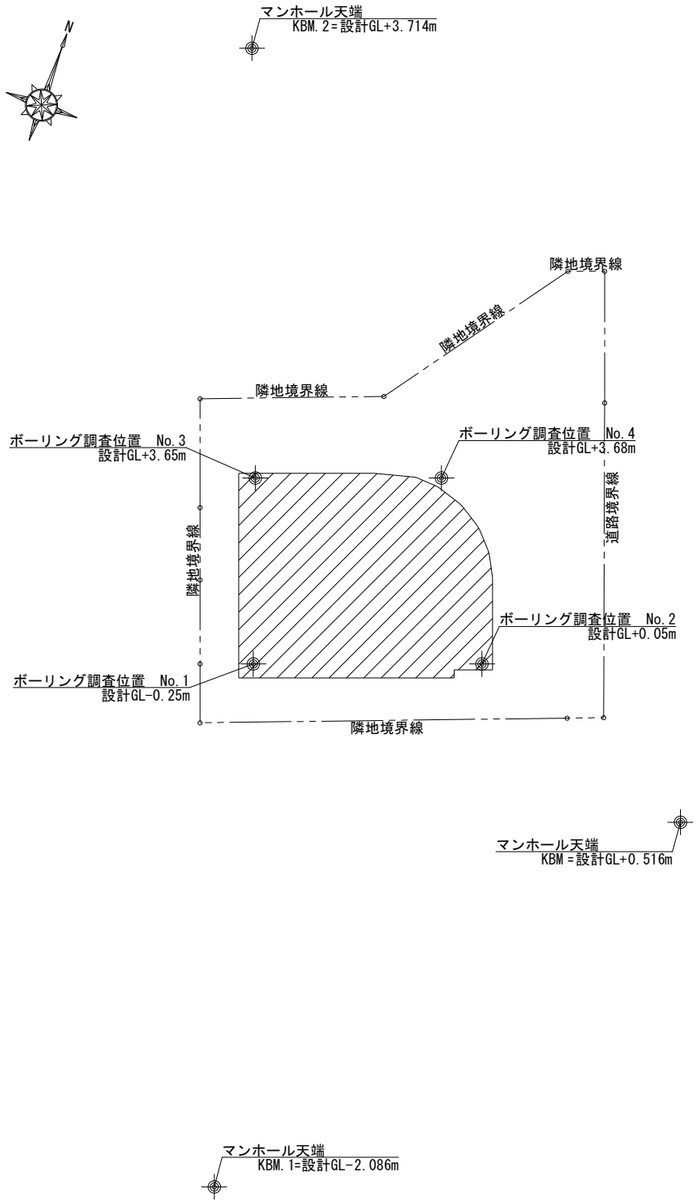
【連続支持】



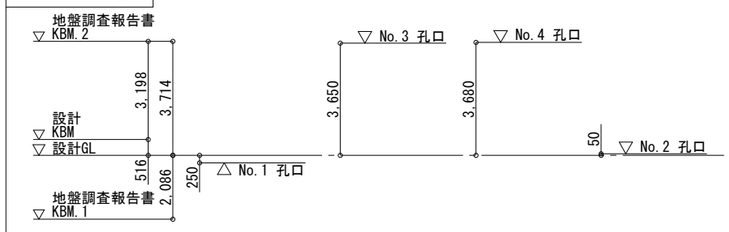
※採用品は上記と同等品も可とする。
変更する場合は構造設計者、監理者の承認を得ること。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	ＱＬデッキ合成スラブ 設計・施工標準	縮尺 －	図面番号 S－013

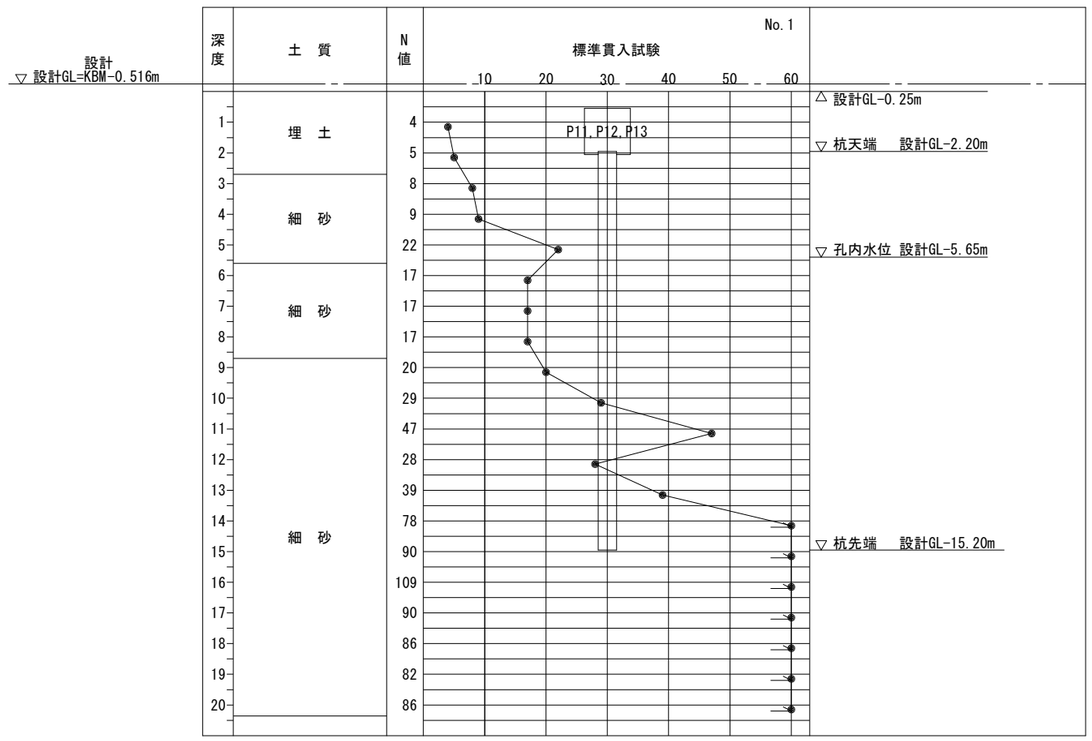
ボーリング調査位置図



レベル関係図



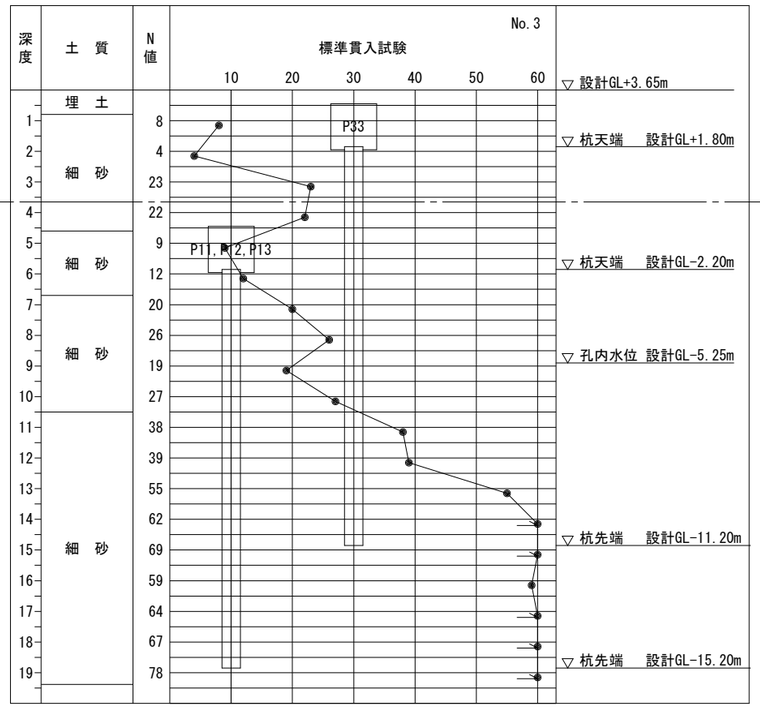
土質柱状図（１）

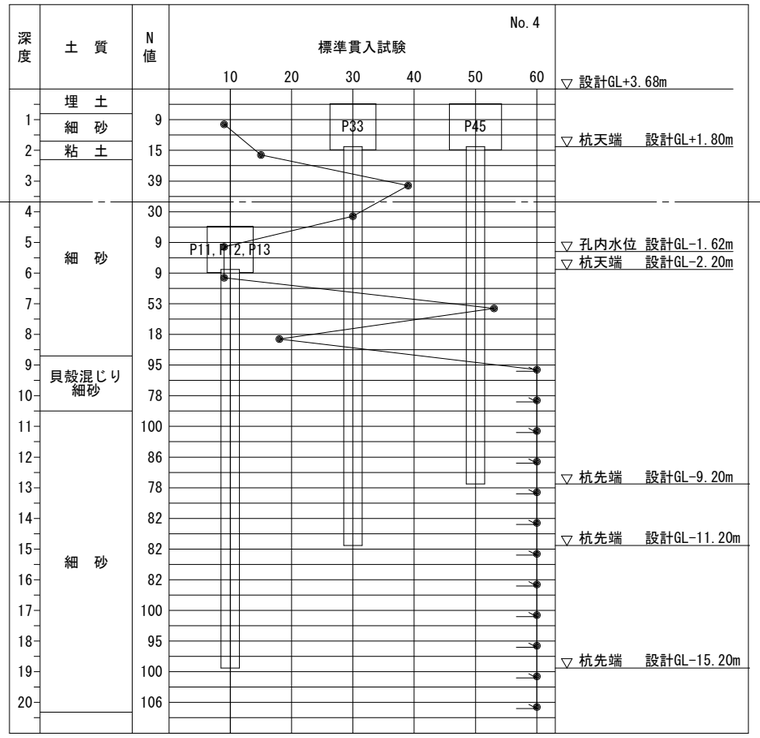


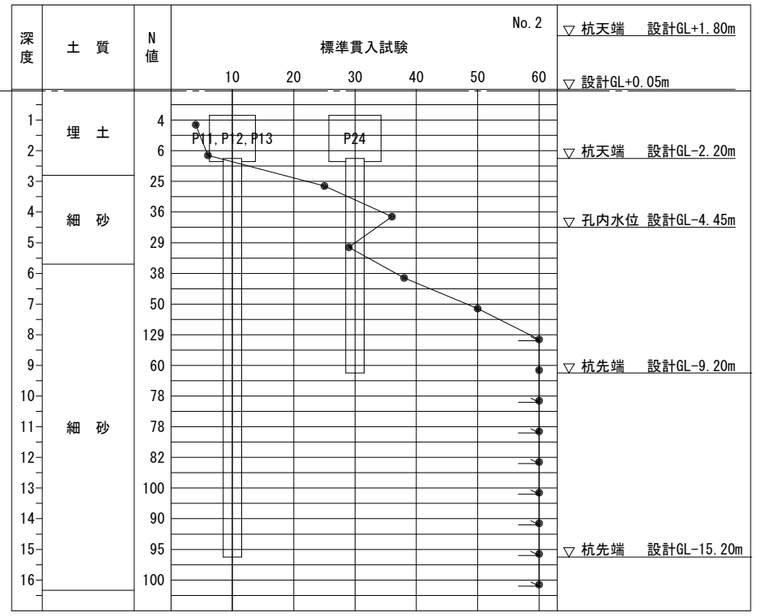
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	図面名	ボーリング調査位置図、土質柱状図（１）	縮尺	－	図面番号	S－014

土質柱状図（２）

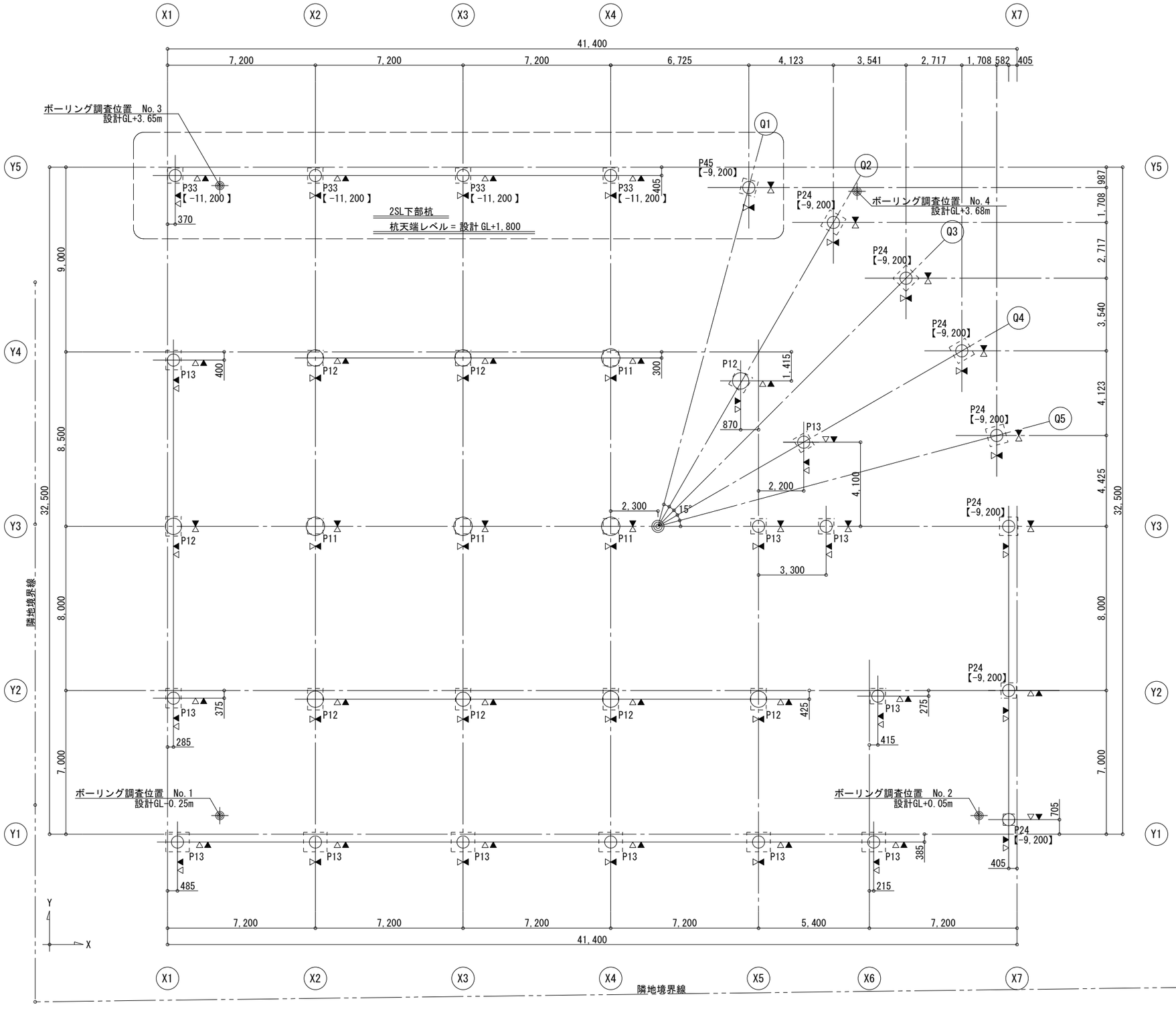
設計
▽ 設計GL=KBM-0.516m







千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	土質柱状図（２）	縮尺	-	図面番号	S－ 015
			特記事項		特記事項		特記事項							



杭伏図　1/200

共通事項

特記なき限り下記とする。

1. 杭天端 設計GL-2,200
2. 杭先端 設計GL-15,200
   【　】内の数値は設計GLからの杭先端を示す。
3. ▽ 印は、杭芯を示す。
4. ▼ 印は、柱芯を示す。
5. 杭施工後、杭芯位置を測定し監理者に報告すること。
6. 1SL ＝ 設計GL±0(25.98)

杭仕様

杭種　── 既製コンクリート杭（PHC杭，HSC杭）
杭工法　── プレボーリング拡大根固め工法（MAGNUM-BASIC工法）
支持層　── 細砂層
杭下根固め長さ杭径比　── η=1.20
杭継手　── T·P JOINT（無溶接継手）

符号	杭　種	杭　長	長期許容支持力(KN/本)	本数
P11	PHC 900φ　肉厚120 C種 105N	杭長13.0m	5,200	4
P12	PHC 800φ　肉厚110 C種 105N	杭長13.0m	4,200	8
P13	PHC 600φ　肉厚90 C種 105N	杭長13.0m	2,500	12
P24	HSC 600φ　肉厚90 SKK490 t=9 105N	杭長 7.0m	2,100	7
P33	上杭 PHC 600φ　肉厚90 C種 105N	杭長 7.0m	2,200	4
	下杭 PHC 600φ　肉厚90 A種 105N	杭長 6.0m		
P45	上杭 HSC 600φ　肉厚90 SKK490 t=12 105N	杭長 6.0m	2,200	1
	下杭 PHC 600φ　肉厚90 C種 105N	杭長 5.0m		

合計 36

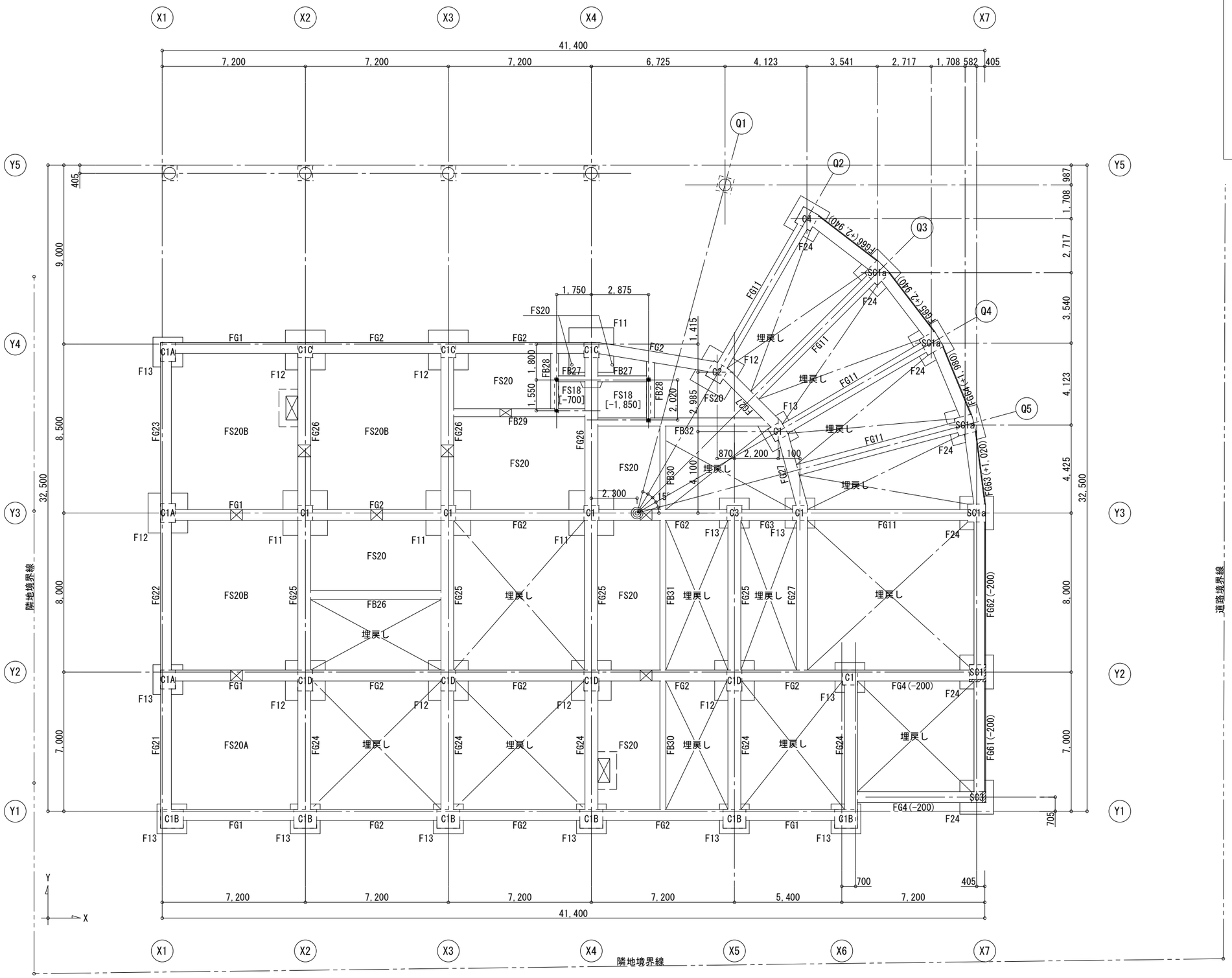
杭頭接合方法　── F.T.Pile 構法　標準タイプ
P45のみ引抜き対応タイプ
φ11-C種 L=700 12本

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	杭伏図	縮尺 1/200	図面番号 S－016

共通事項（ＲＣ造）

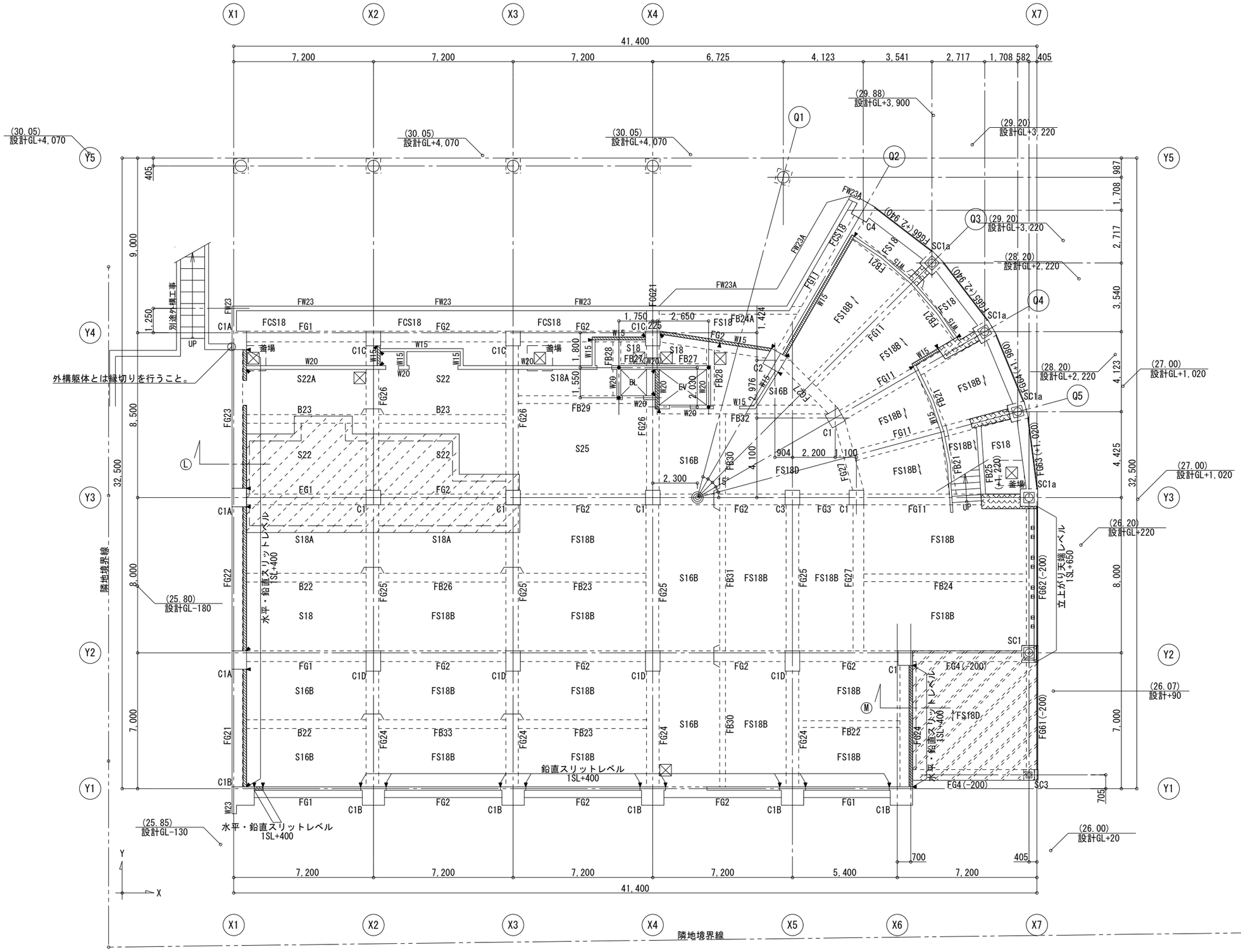
特記なき限り下記とする。

1. 1SL ＝ 設計GL±0(25.98)
2. 基礎下端 1SL -2,300
3. ⊠印は人通孔(600 φ)を示す。(S-032図参照)
4. ピットスラブ天端 1SL -1,700
   [ ]内の数値は1SLからのスラブ天端を示す。
5. ⊠印は釜場を示す。(S-009図参照)
6. ▨印は地中部仕口部補強を示す。(S-037図参照)
7. ▭印は基礎梁側面増打ちを示す。t≦50
8. ● 印は隅部補強筋を示す。(梁天端からL2定着)



1階下部基礎・ピット伏図 1/200

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	1階下部基礎・ピット伏図	縮尺 1/200	図面番号 S－017
			特記事項		特記事項		特記事項					

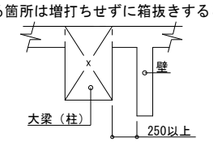


1階床梁伏図　1/200

共通事項（ＲＣ造）

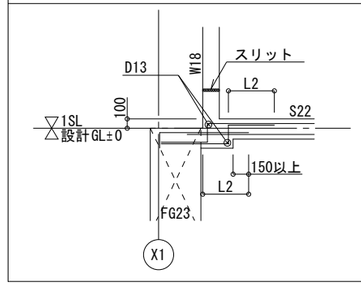
特記なき限り下記とする。

1. 壁符号 W18
2. 1SL = 設計GL±0(25.98)
3. [ ]内の数値はSLからのスラブ天端を示す。
4. ▨印はスラブ天端SL+80を示す。
   ▨印はスラブ天端SL+30を示す。
5. 梁天端 = SL±0
6. ( )内の数値はSLからの梁天端を示す。
7. スラブ天端と梁天端が異なる場合は梁天端を増打ちすること。
8. ⌒ 印は、連続梁を示す。（施工中に小梁位置をを調整し、かかりが梁幅の1/2未満となる場合は監理者に相談すること。）
9. ▼ 印は構造鉛直スリットを示す。
   ▨印は構造水平スリットを示す。
10. ⊠ 印はスラブ開口を示す。(S-009図参照)
11. 同一部材で屋内外となる床スラブ、壁、梁は、全て屋外としてかぶり厚を確保すること。
12. 柱及び梁において、クリアランス250以上確保できる箇所は増打ちせずに箱抜きすること。

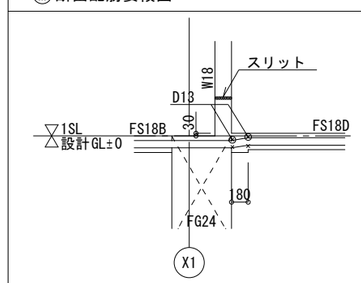


13. ● 印は隅部補強筋を示す。(梁天端からL2定着)
14. ⟶印はスラブの主筋方向を示す。
15. ▨印は基礎梁天端増打ちを示す。
16. ▭印は基礎梁側面増打ちを示す。t≦50
17. 符号の記載が無い ⊞ 印は、鉄骨間柱SP3を示す。
18. 東、北面外周部の立上がりはS-046図参照。

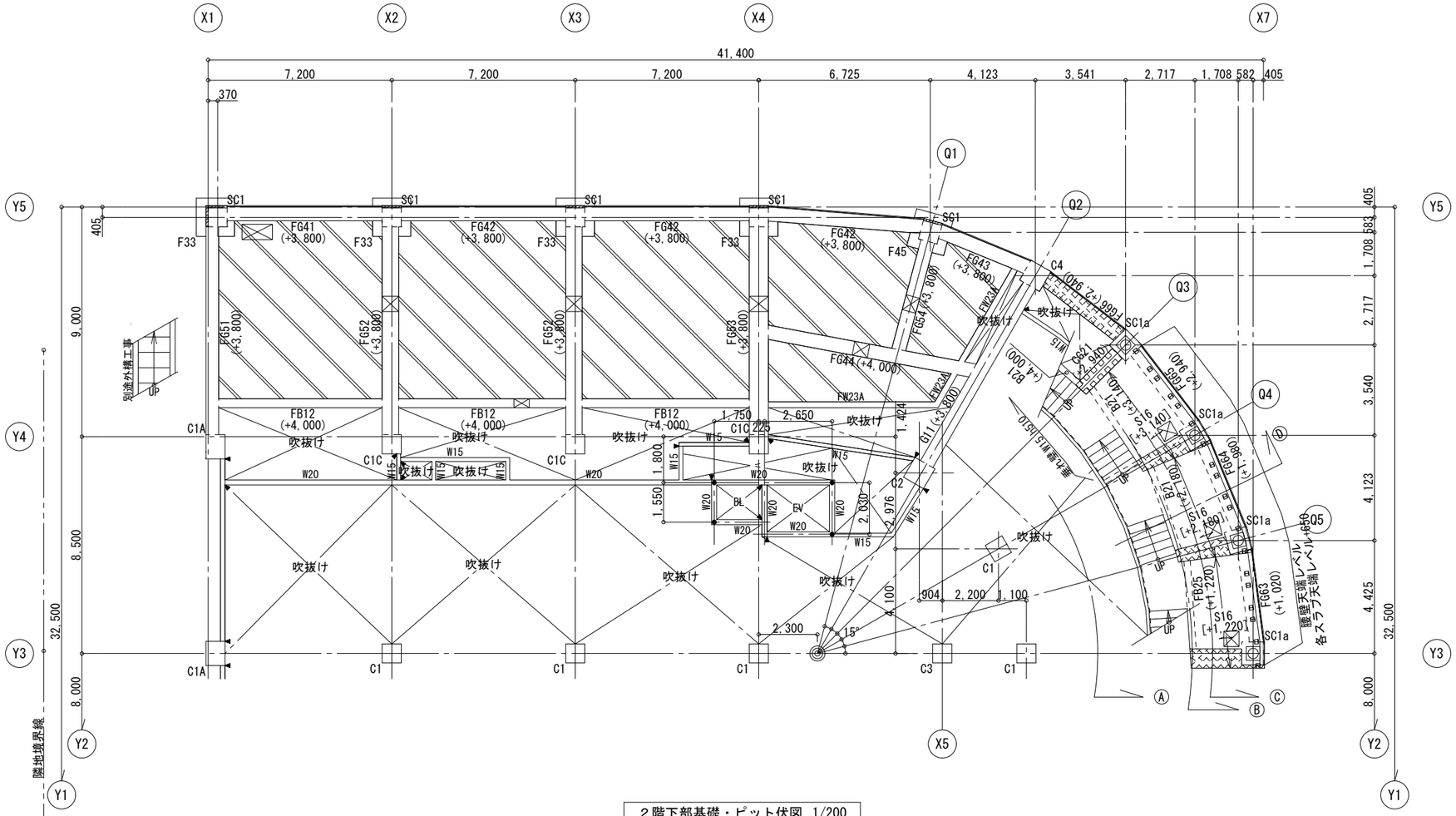
Ⓛ断面配筋要領図



Ⓜ断面配筋要領図



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	1階床梁伏図
			特記事項	特記事項	特記事項	縮尺	1/200
						図面番号	S－018

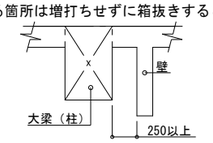


２階下部基礎・ピット伏図 1/200
(1SL+3,000付近伏図)

共通事項（ＲＣ造）

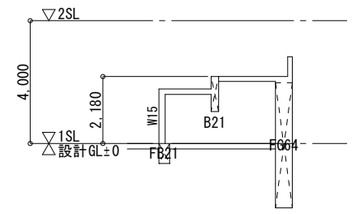
特記なき限り下記とする。

1. 壁符号 W18
2. 1SL = 設計GL±0(25.98)
   2SL = 設計GL+4,000(29.98)
3. [ ]内の数値は1SLからのスラブ天端を示す。
4. ( )内の数値は1SLからの梁天端を示す。
5. スラブ天端と梁天端が異なる場合は梁天端を増打ちすること。
6. ⌒ 印は、連続梁を示す。（施工中に小梁位置を調整し、かかりが梁幅の1/2未満となる場合は監理者に相談すること。）
7. ▼ 印は構造鉛直スリットを示す。
   ▨印は構造水平スリットを示す。
8. ⊠ 印はスラブ開口を示す。(S-009図参照)
9. 同一部材で屋内外となる床スラブ、壁、梁は、全て屋外としてかぶり厚を確保すること。
10. 柱及び梁において、クリアランス250以上確保できる箇所は増打ちせずに箱抜きすること。

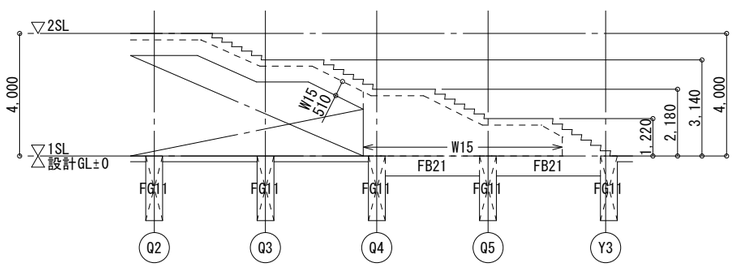


11. ● 印は隅部補強筋を示す。
12. ⟶ 印はスラブの主筋方向を示す。
13. ▨印は基礎梁天端増打ち、
    または小梁側面増打ちを示す。
14. ▭ 印は基礎梁側面増打ちを示す。t≦50
15. 基礎下端 1SL +1,700
16. ▨印は地中部仕口部補強を示す。(S-037図参照)
17. 符号の記載が無い ⊟ 印は、鉄骨間柱SP3を示す。
18. ▧印は土間スラブを示す。(S-042図参照)
    土間スラブ天端1SL +2,200

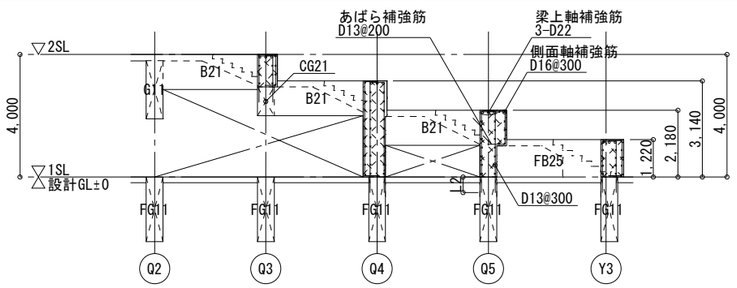
Ⓓ断面図　No Scale



Ⓐ断面図　No Scale

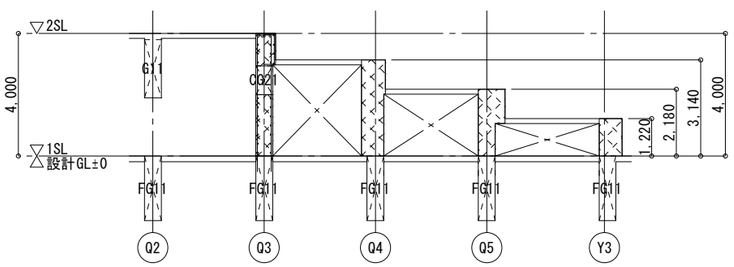


Ⓑ断面図　No Scale



▨印は基礎梁天端増打ちを示す。

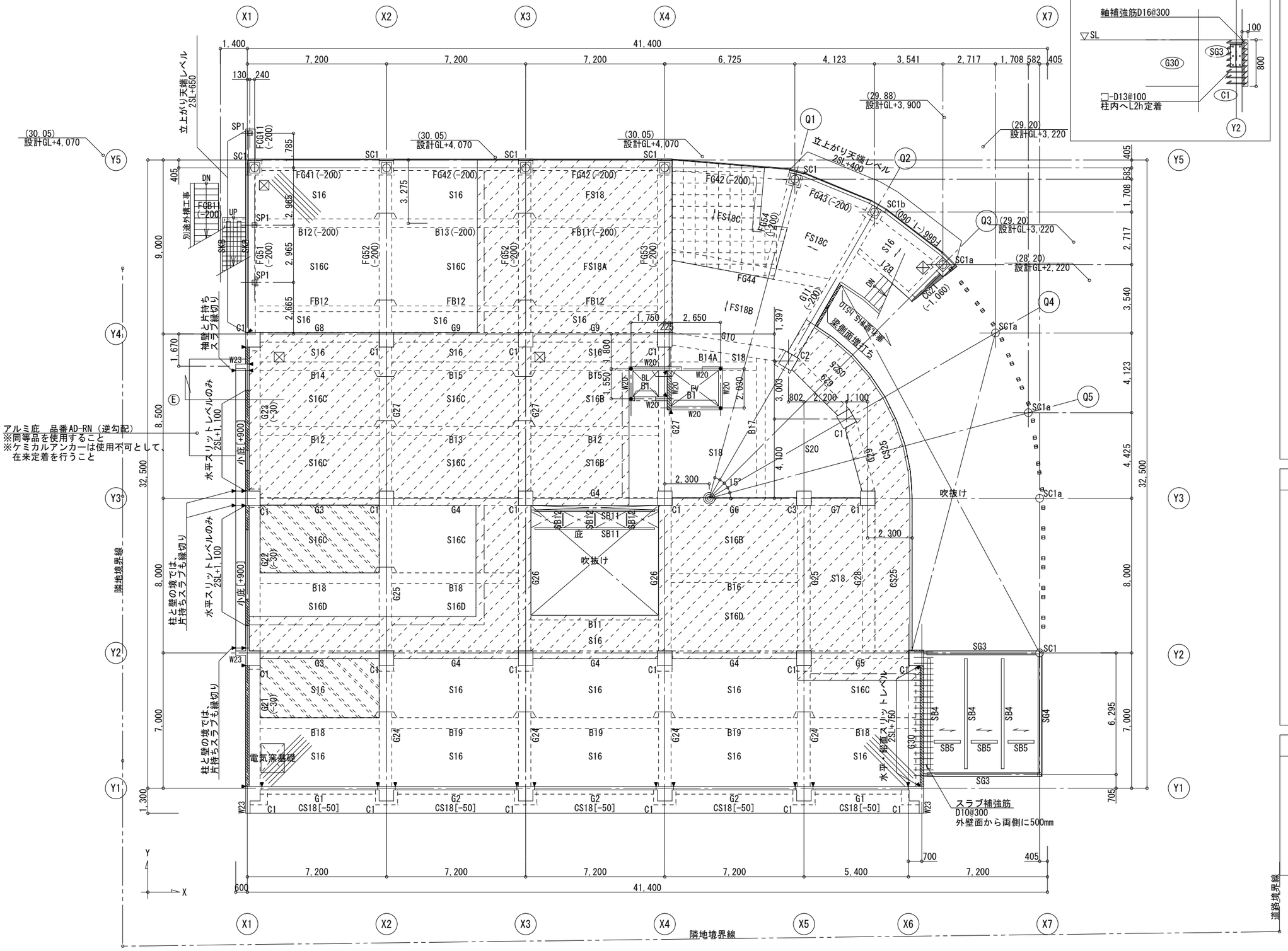
Ⓒ断面図　No Scale



▨印は基礎梁天端増打ちを示す。

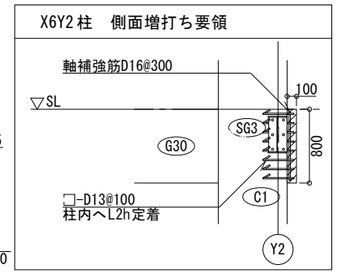
隣地境界線

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	２階下部基礎・ピット伏図	縮尺	1/200	図面番号	S－019
			特記事項	特記事項	特記事項						



２階床梁伏図　1/200

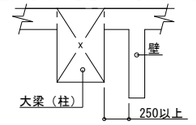
X6Y2柱　側面増打ち要領



共通事項（ＲＣ造）

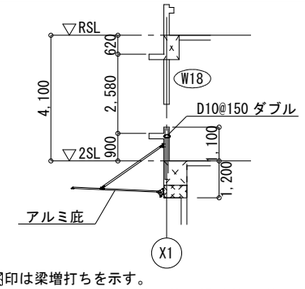
特記なき限り下記とする。

1. 壁符号 W18 ， 手摺種類 金物手摺
2. 2SL = 設計GL+4,000(29.98)
3. [ ]内の数値は2SLからのスラブ天端を示す。
4. ▨印はスラブ天端2SL+80を示す。
   ▨印はスラブ天端2SL-350を示す。
   ▨印はスラブ天端2SL-60を示す。
5. 梁天端 = 2SL±0
6. ( )内の数値は2SLからの梁天端を示す。
7. スラブ天端と梁天端が異なる場合は梁天端を増打ちすること。
8. ⌒印は、連続梁を示す。（施工中に小梁位置を調整し、かかりが梁幅の1/2未満となる場合は監理者に相談すること。）
9. ▼ 印は構造鉛直スリットを示す。
   ▨印は構造水平スリットを示す。
10. ⊠ 印はスラブ開口を示す。(S-009図参照)
11. スラブ補強筋は5-D13 @200(L=3,000) とする。（上端筋の下に配筋すること。）
12. 同一部材で屋内外となる床スラブ、壁、梁は、全て屋外としてかぶり厚を確保すること。
13. 柱及び梁において、クリアランス250以上確保できる箇所は増打ちせずに箱抜きすること。



14. ● 印は隅部補強筋を示す。
15. ⟶印はスラブの主筋方向を示す。
16. 符号の記載が無い ⊟ 印は、鉄骨間柱SP3を示す。
17. ▭印は基礎梁側面増打ちを示す。t≦50

Ⓔ断面図



▨印は梁増打ちを示す。
片持ちスラブの配筋は小庇配筋要領図(S-042)を参照すること。

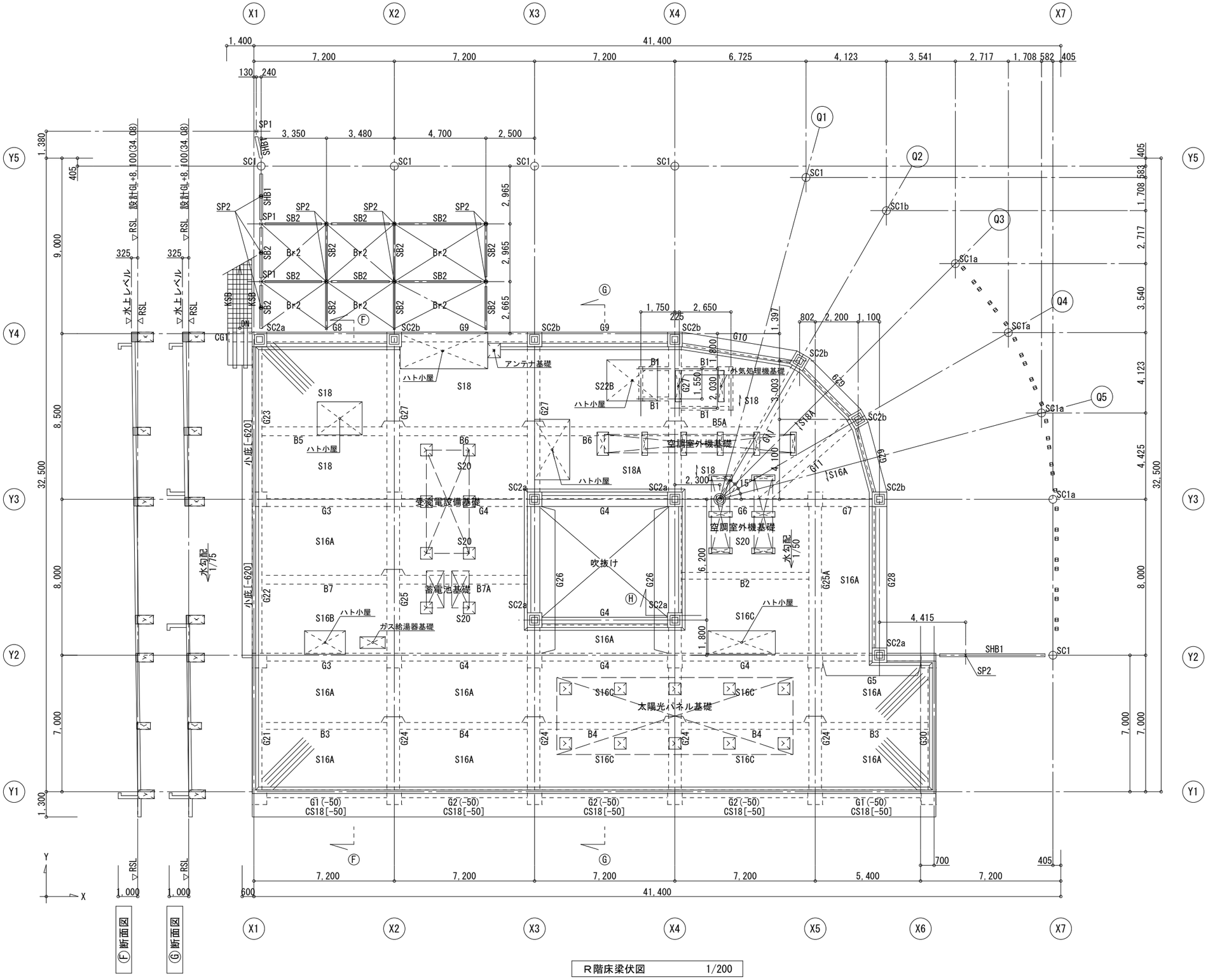
アルミ庇が取りつく腰壁W18の縦筋はD10@150ダブルに変更する。

共通事項（Ｓ造）

特記なき限り下記とする。

1. 風除室上部鉄骨梁天端 = SL-100
2. デッキは QL-99-50-12 山上 80 とする。(Fc24)
   耐火仕様は、S-013 図の認定番号を参照すること。
3. ⟶印はデッキ方向を示す。
4. 梁とデッキスラブの接合は焼抜き栓溶接とする。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	２階床梁伏図	縮尺	1/200	図面番号	S－ 020
			特記事項		特記事項		特記事項							

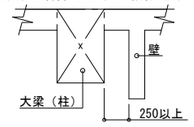


R階床梁伏図　1/200

共通事項（ＲＣ造）

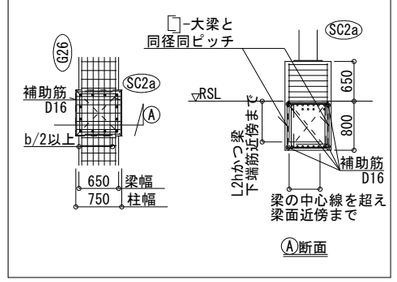
特記なき限り下記とする。

1. RSL = 設計GL+8,100(34.08)
2. [ ]内の数値はSLからのスラブ天端を示す。
3. 梁天端 = SL±0
4. ( )内の数値はSLからの梁天端を示す。
5. スラブ天端と梁天端が異なる場合は梁天端を増打ちすること。
6. ⌒印は、連続梁を示す。（施工中に小梁位置を調整し、かかりが梁幅の1/2未満となる場合は監理者に相談すること。）
7. スラブ補強筋は5-D13 @200(L=3,000)とする。（上端筋の下に配筋すること。）
8. 同一部材で屋内外となる床スラブ、壁、梁は、全て屋外としてかぶり厚を確保すること。
9. 柱及び梁において、クリアランス250以上確保できる箇所は増打ちせずに箱抜きすること。



10. ⟵印は水勾配を示す。(躯体勾配)
11. ⊠ 印は設備基礎を示す。(S-045図参照)
12. ⟶印はスラブの主筋方向を示す。
13. 符号の記載が無い ⊞ 印は、鉄骨間柱SP3を示す。

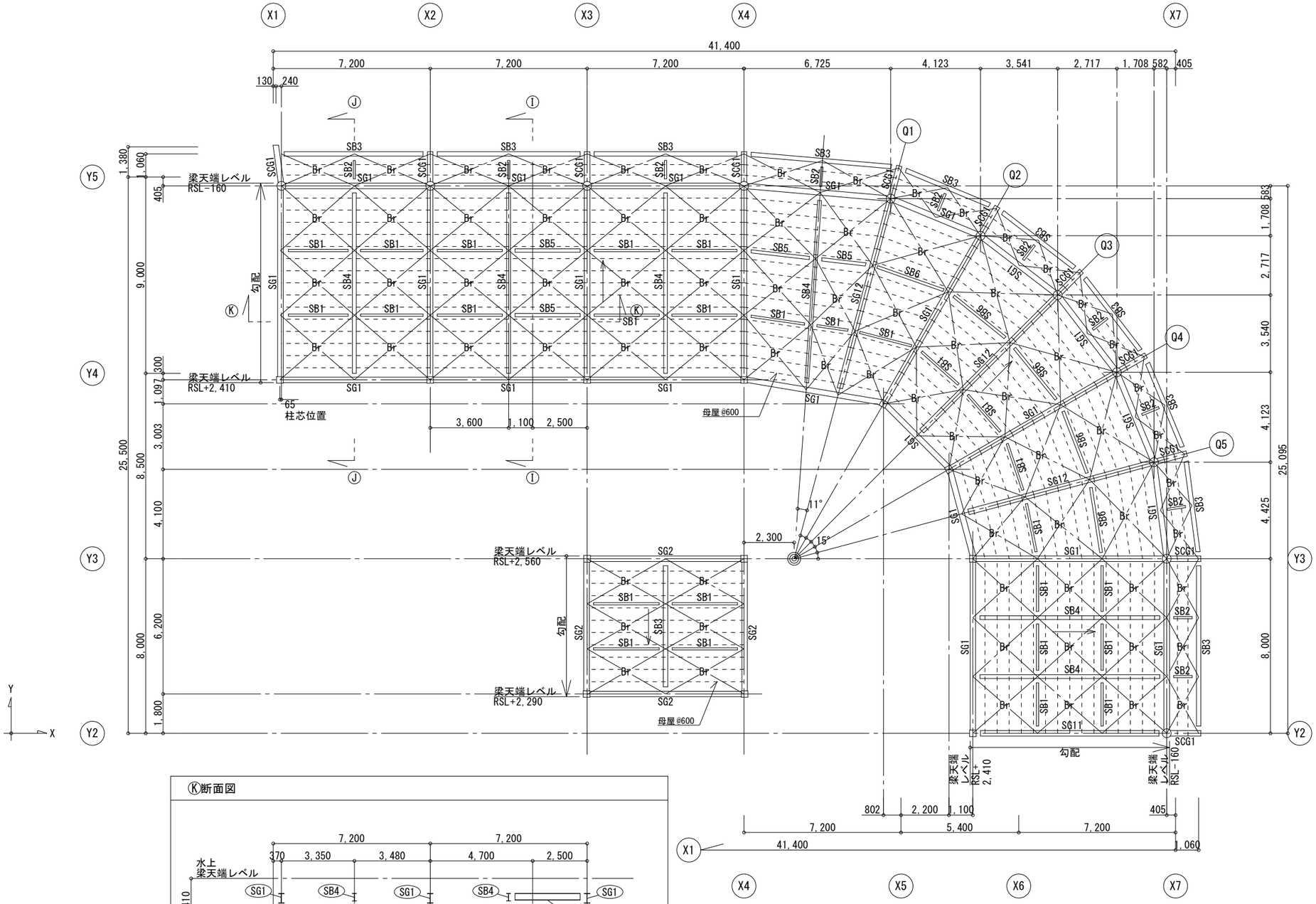
Ⓗ部配筋要領図



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名	R階床梁伏図	縮尺 1/200	図面番号 S－021
			特記事項	特記事項	特記事項				

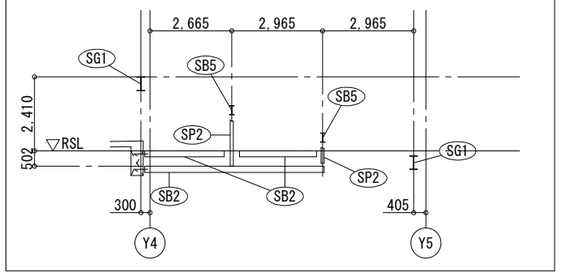
共通事項（S造）

特記なき限り下記とする。
1. 小梁位置の変更は監理者の承認を得ること。
2. 梁継手位置は、S-023 ～ S-027図参照。
3. 架構勾配は水勾配に合わせて、梁天端レベルを調整すること。

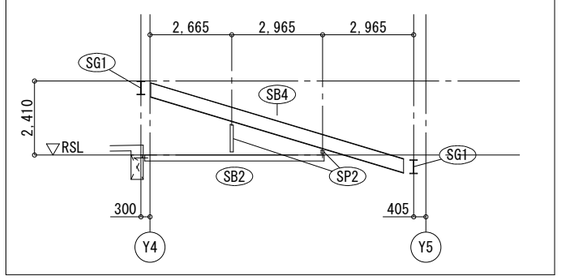


RSL+2,560床梁伏図　1/200

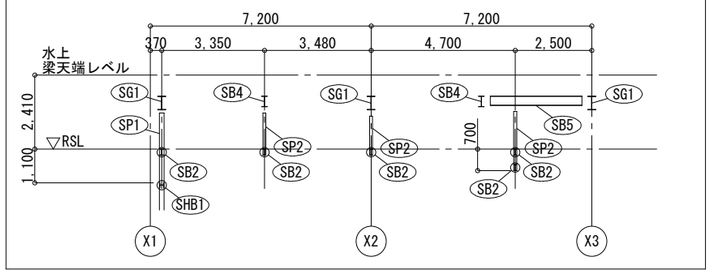
Ⓘ断面図



Ⓙ断面図



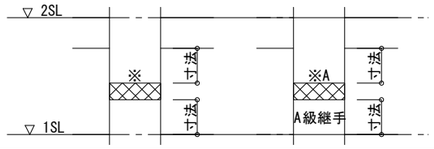
Ⓚ断面図



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	RSL+2,560床梁伏図	縮尺 1/200	図面番号 S－022
			特記事項		特記事項		特記事項					

柱主筋継手位置

・2階柱主筋の継手位置は全て配筋標準図に依らず、上下で柱成を避ける。
・1階で※,※A印を記載する柱は、主筋の継手位置を別途指定する柱を示す。
　継手を設ける場合、継手位置は ▨ 部範囲に設けること。
特記なき柱主筋の継手位置は鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）による。(S-006図参照)

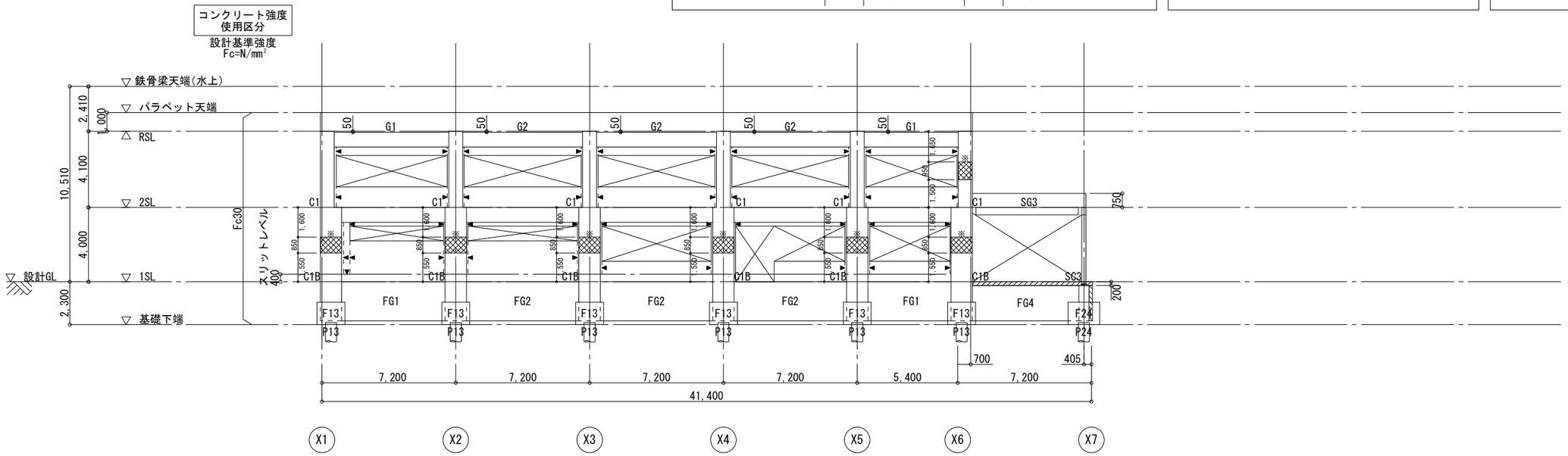


共通事項（ＲＣ造）

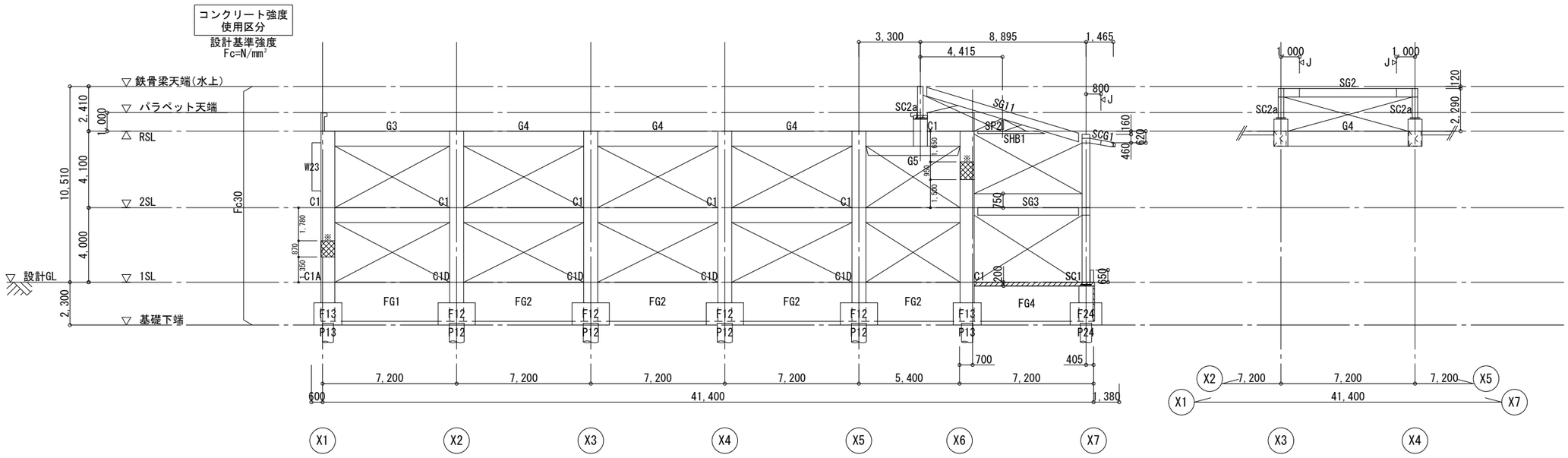
特記なき限り下記とする。
1. 柱符号は、下階に倣う。
2. 梁符号は、上階に倣う。
3. 壁符号 W18
4. ▼ 印は構造スリットを示す。(S-043図参照)
5. ▨ 印は梁天端増打ちを示す。
6. ▧ 印は地中部仕口部補強を示す。(S-037図参照)
7. 梁天端=SL±0

共通事項（Ｓ造）

特記なき限り下記とする。
1. 柱符号は、下階に倣う。
2. 梁符号は、上階に倣う。
3. ▽J 印は梁の鉄骨継手位置を示す。
　柱継手位置は監理者に報告の上、設けて良い。
4. 礎柱天端=RSL+650
5. デッキ合成スラブのみFc24



Y1通り軸組図　1/250



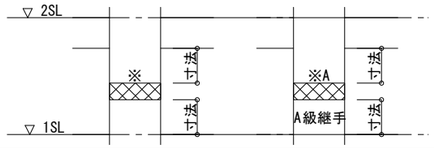
Y2通り軸組図　1/250

Y2+1,800通り軸組図　1/250

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設新築工事	設計年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名	軸組図（１）	縮尺 1/250	図面番号 S－023
		特記事項	特記事項	特記事項				

柱主筋継手位置

・2階柱主筋の継手位置は全て配筋標準図に依らず、上下で柱成を避ける。
・1階で※,※A印を記載する柱は、主筋の継手位置を別途指定する柱を示す。
　継手を設ける場合、継手位置は ▨ 部範囲に設けること。
特記なき柱主筋の継手位置は鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）による。(S-006図参照)

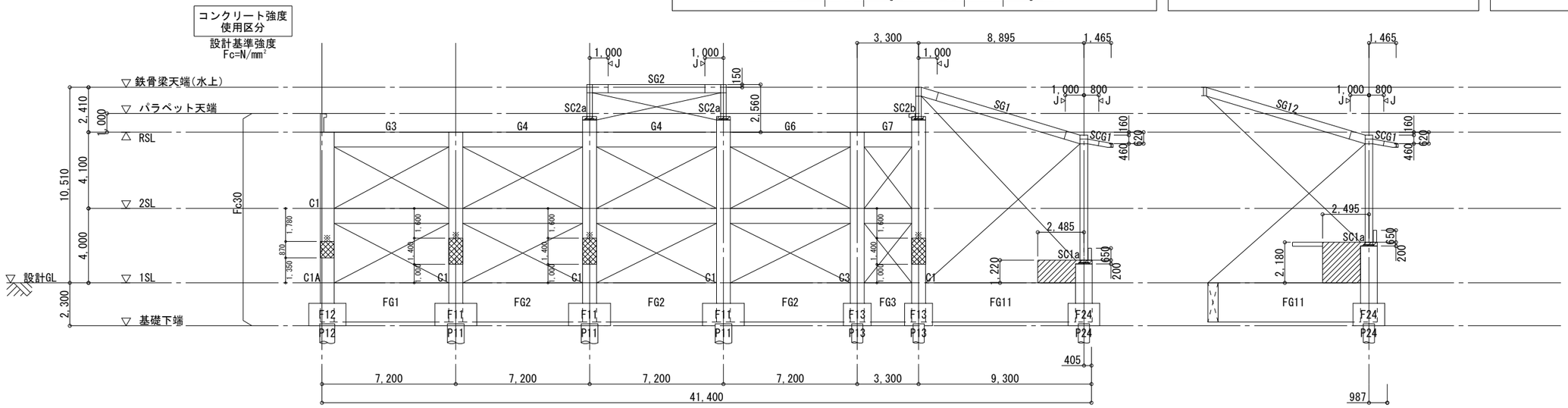


共通事項（ＲＣ造）

特記なき限り下記とする。
1. 柱符号は、下階に倣う。
2. 梁符号は、上階に倣う。
3. 壁符号 W18
4. ▼ 印は構造スリットを示す。(S-043図参照)
5. ▨ 印は梁天端増打ちを示す。
6. 梁天端=SL±0

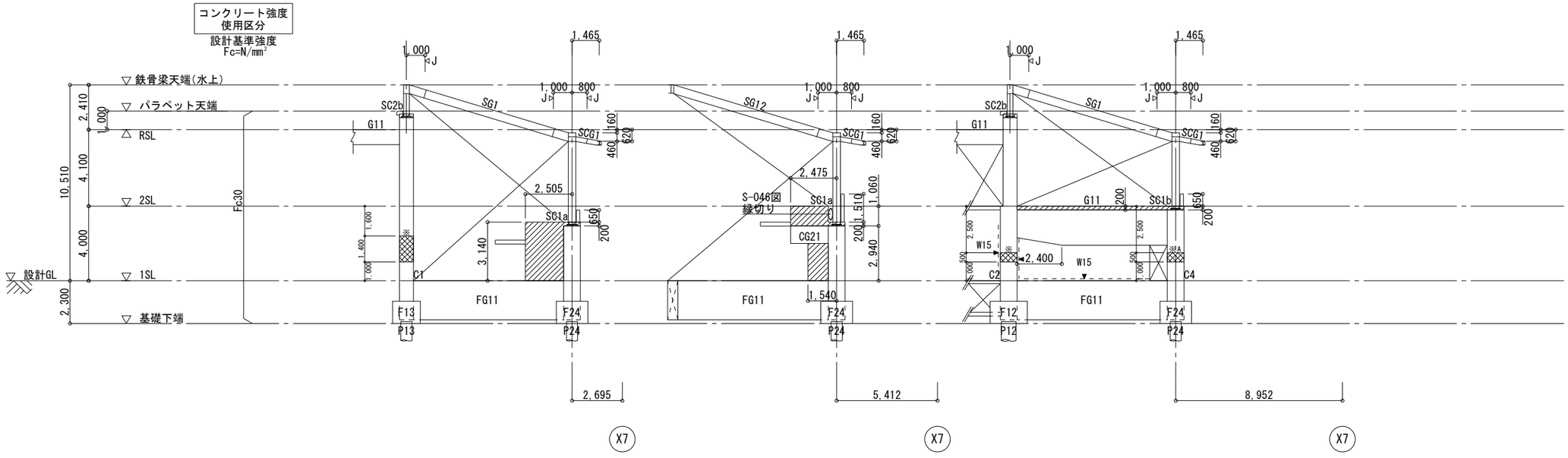
共通事項（Ｓ造）

特記なき限り下記とする。
1. 柱符号は、下階に倣う。
2. 梁符号は、上階に倣う。
3. ▽J 印は梁の鉄骨継手位置を示す。
　柱継手位置は監理者に報告の上、設けて良い。
4. 礎柱天端=RSL+650



Y3通り軸組図　1/250

Q5通り軸組図　1/250
Y3+4,425通り軸組図



Q4通り軸組図　1/250
Y3+8,548通り軸組図

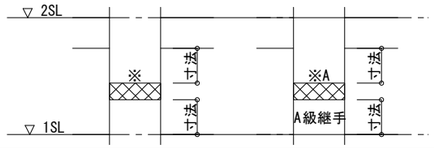
Q3通り軸組図　1/250
Y3+12,088通り軸組図

Q2通り軸組図　1/250
Y3+14,805通り軸組図

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	軸組図（２）	縮尺	1/250	図面番号　S－024

柱主筋継手位置

・2階柱主筋の継手位置は全て配筋標準図に依らず、上下で柱成を避ける。
・1階で※,※A印を記載する柱は、主筋の継手位置を別途指定する柱を示す。
　継手を設ける場合、継手位置は ▨ 部範囲に設けること。
特記なき柱主筋の継手位置は鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）による。(S-006図参照)

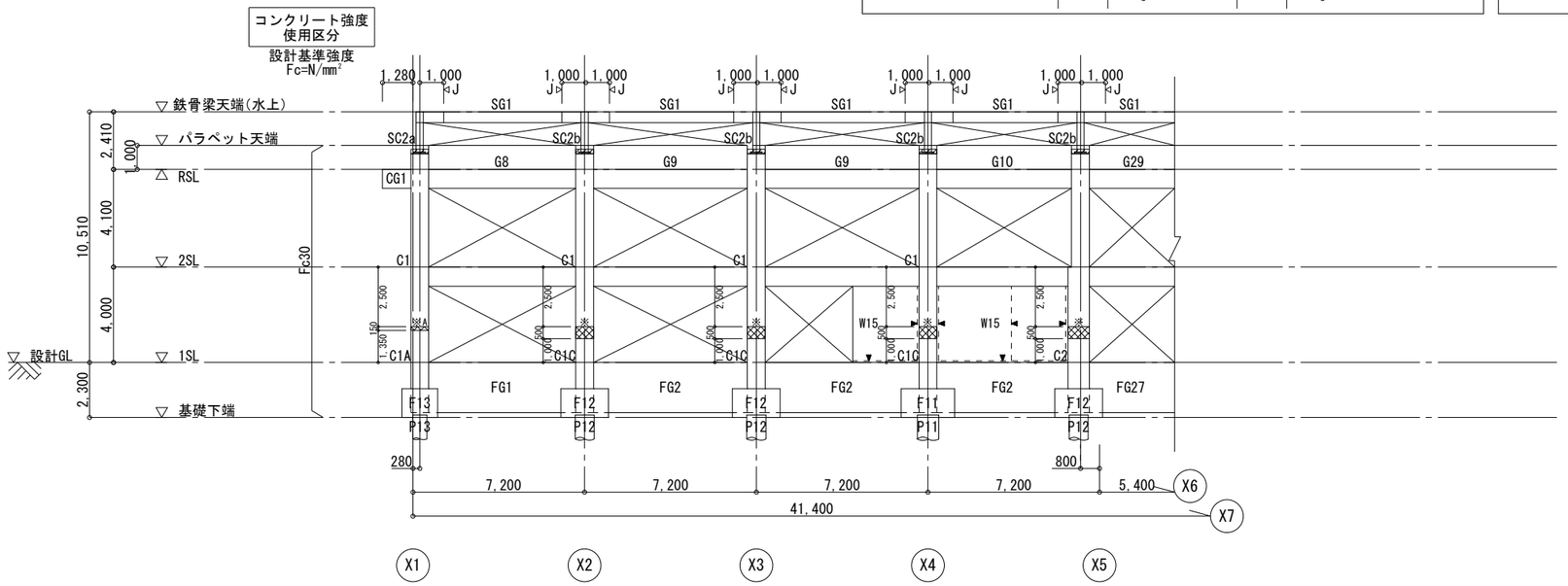


共通事項（ＲＣ造）

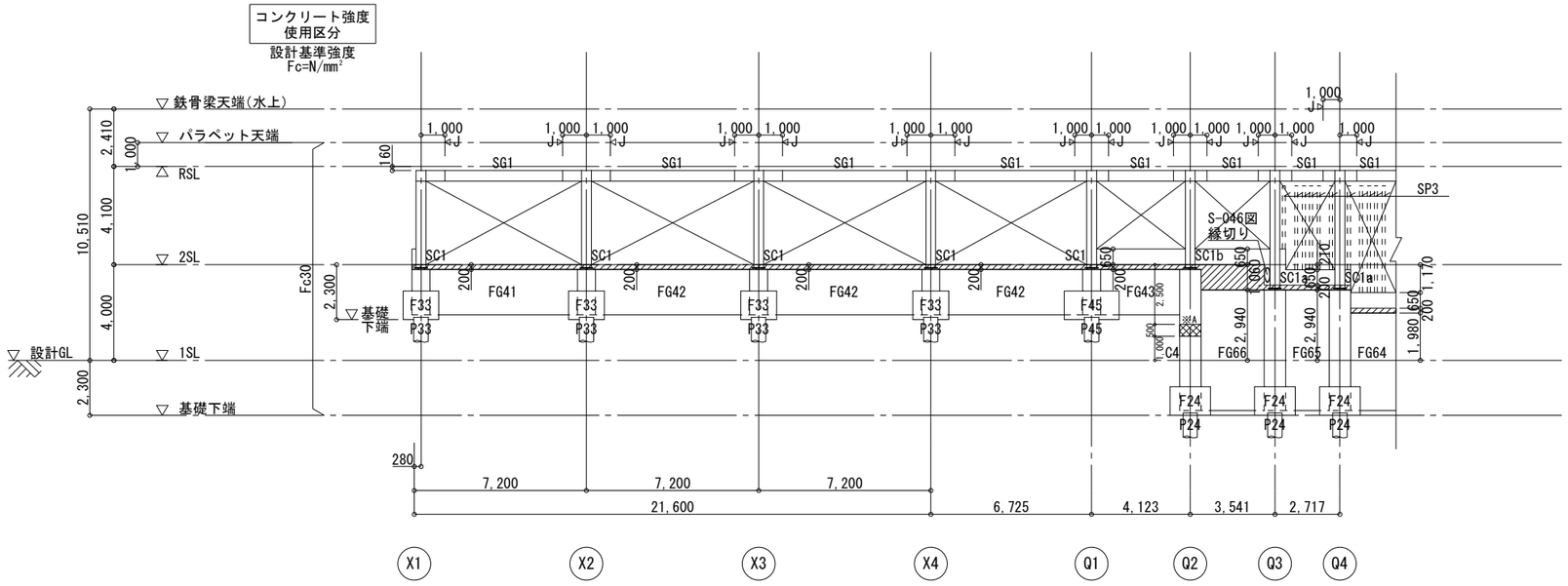
特記なき限り下記とする。
1. 柱符号は、下階に倣う。
2. 梁符号は、上階に倣う。
3. 壁符号 W18
4. ▼ 印は構造スリットを示す。(S-043図参照)
5. ▨ 印は梁天端増打ちを示す。
6. 梁天端=SL±0

共通事項（Ｓ造）

特記なき限り下記とする。
1. 柱符号は、下階に倣う。
2. 梁符号は、上階に倣う。
3. ▽J 印は梁の鉄骨継手位置を示す。
　柱継手位置は監理者に報告の上、設けて良い。
4. 礎柱天端=RSL+650



Y4通り軸組図　1/250

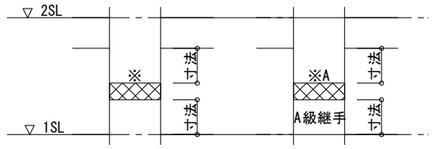


Y5通り軸組図　1/250

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設新築工事	設計年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名	軸組図（３）	縮尺	1/250	図面番号　S－025
		特記事項	特記事項	特記事項					

柱主筋継手位置

・2階柱主筋の継手位置は全て配筋標準図に依らず、上下で柱成を避ける。
・1階で※,※A印を記載する柱は、主筋の継手位置を別途指定する柱を示す。
　継手を設ける場合、継手位置は ▨ 部範囲に設けること。
特記なき柱主筋の継手位置は鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）による。(S-006図参照)

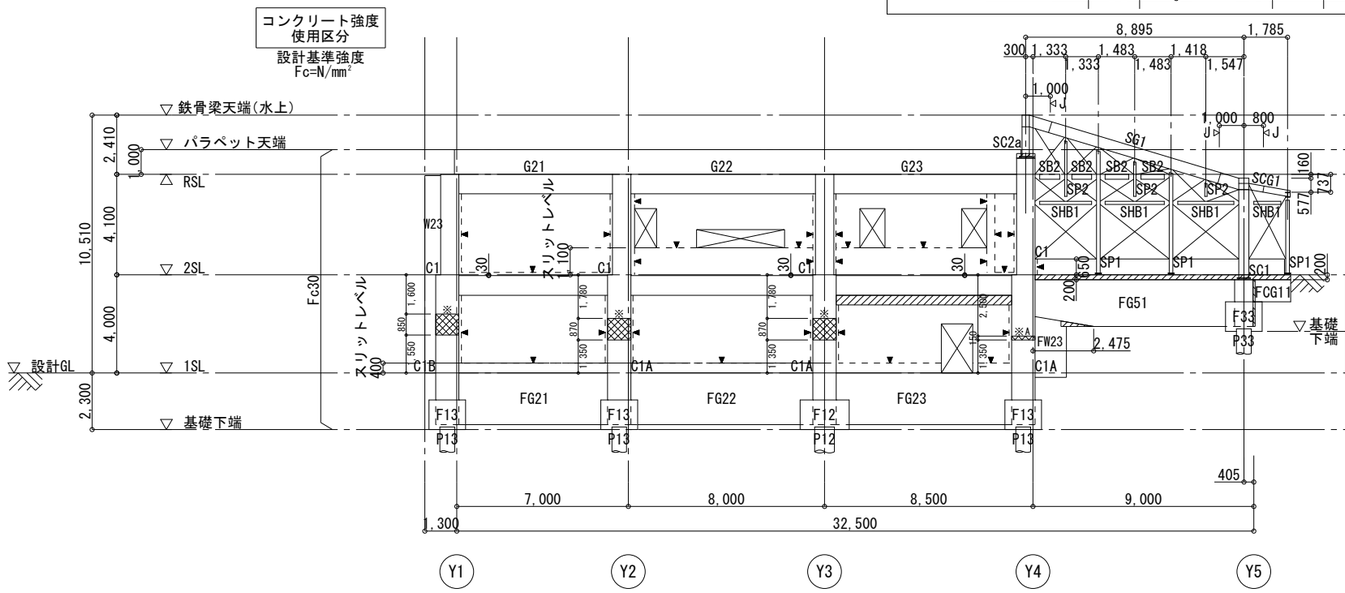


共通事項（ＲＣ造）

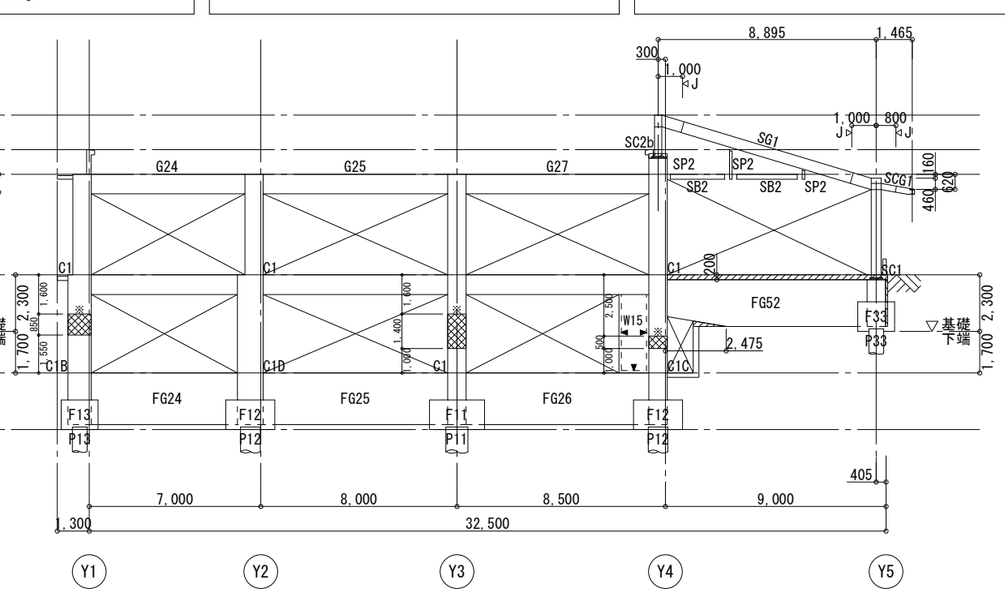
特記なき限り下記とする。
1. 柱符号は、下階に倣う。
2. 梁符号は、上階に倣う。
3. 壁符号 W18
4. ▼ 印は構造スリットを示す。(S-043図参照)
5. ▨ 印は梁天端増打ちを示す。
6. ▧ 印は地中部仕口部補強を示す。(S-037図参照)
7. 梁天端=SL±0

共通事項（Ｓ造）

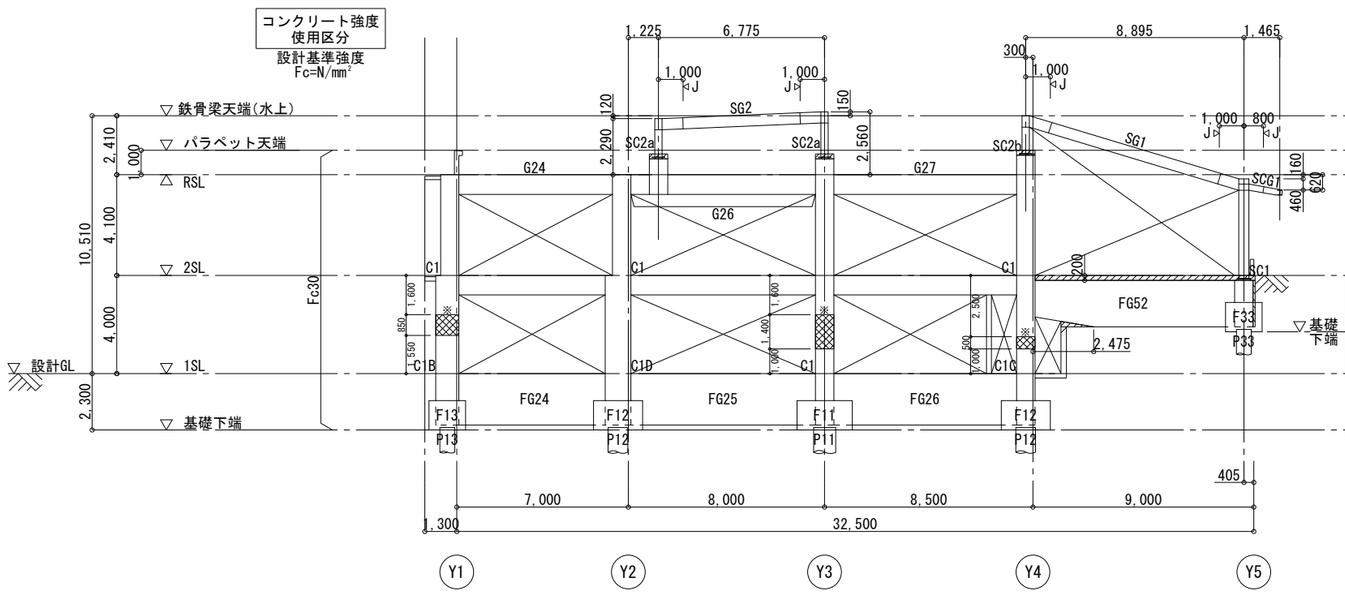
特記なき限り下記とする。
1. 柱符号は、下階に倣う。
2. 梁符号は、上階に倣う。
3. ▽J 印は梁の鉄骨継手位置を示す。
　柱継手位置は監理者に報告の上、設けて良い。
4. 礎柱天端=RSL+650



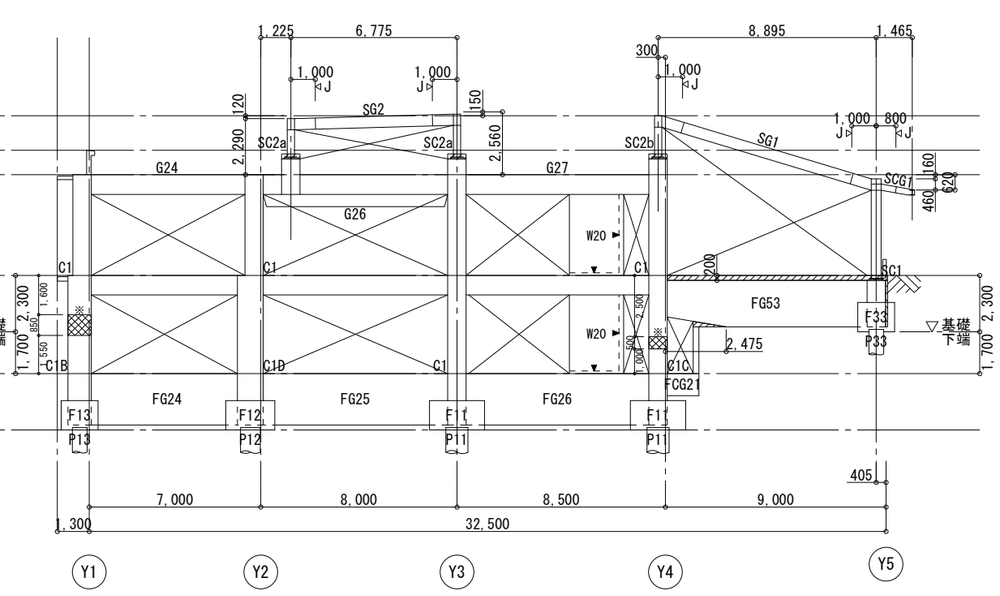
X1通り軸組図　1/250



X2通り軸組図　1/250



X3通り軸組図　1/250

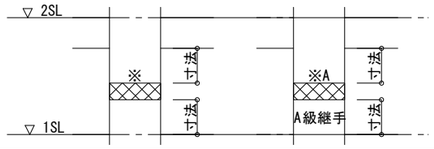


X4通り軸組図　1/250

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	図面名	軸組図（４）	縮尺	1/250	図面番号	S－026

柱主筋継手位置

・2階柱主筋の継手位置は全て配筋標準図に依らず、上下で柱成を避ける。
・1階で※,※A印を記載する柱は、主筋の継手位置を別途指定する柱を示す。
　継手を設ける場合、継手位置は ▨ 部範囲に設けること。
特記なき柱主筋の継手位置は鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）による。(S-006図参照)

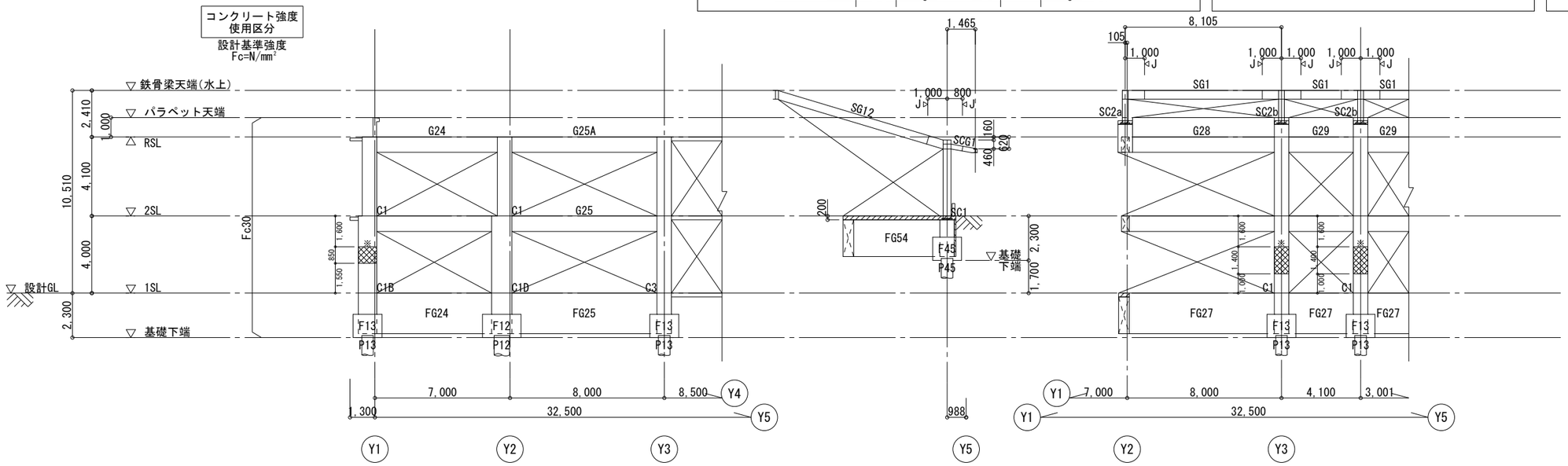


共通事項（ＲＣ造）

特記なき限り下記とする。
1. 柱符号は、下階に倣う。
2. 梁符号は、上階に倣う。
3. 壁符号 W18
4. ▼ 印は構造スリットを示す。(S-043図参照)
5. ▨ 印は梁天端増打ちを示す。
6. ▧ 印は地中部仕口部補強を示す。(S-037図参照)
7. 梁天端=SL±0

共通事項（Ｓ造）

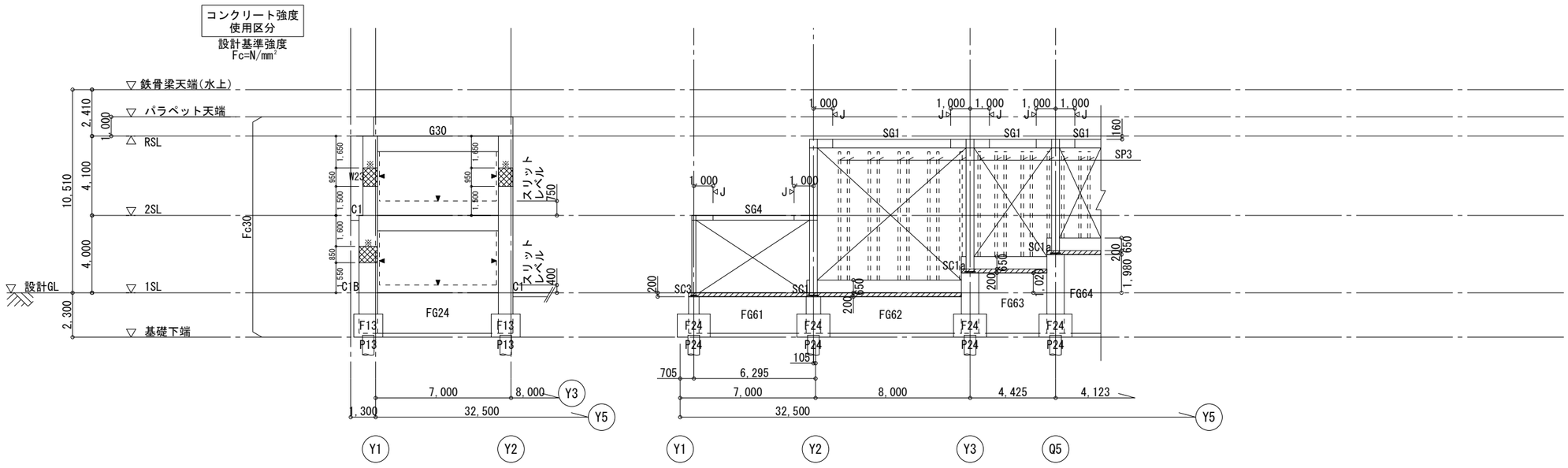
特記なき限り下記とする。
1. 柱符号は、下階に倣う。
2. 梁符号は、上階に倣う。
3. ▽J 印は梁の鉄骨継手位置を示す。
　柱継手位置は監理者に報告の上、設けて良い。
4. 礎柱天端=RSL+650



X5通り軸組図　1/250

Q1通り軸組図　1/250
X4+6,725通り軸組図

X5+3,300通り軸組図　1/250



X6通り軸組図　1/250

X7通り軸組図　1/250

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	軸組図（５）	縮尺	1/250	図面番号　Ｓ－ 027

杭リスト

杭　種 ── 既製コンクリート杭（PHC杭，HSC杭）
杭工法 ── プレボーリング拡大根固め工法（MAGNUM-BASIC工法）
コンクリート強度 ── Fc105
支持層 ── 細砂層
杭継手 ── T·P JOINT（無溶接継手）

符　号	P11	P12	P13	P24	P33		P45	
種　別	PHC C種　105N	PHC C種　105N	PHC C種　105N	HSC SKK490 t=9 105N	上杭 PHC C種　105N	下杭 PHC A種　105N	上杭 HSC SKK490 t=12 105N	下杭 PHC C種　105N
杭　径	900 φ	800 φ	600 φ	600 φ	600 φ		600 φ	
杭　実　長	13.0 m	13.0 m	13.0 m	7.0 m	7.0 m	6.0 m	6.0 m	5.0 m
杭下根固め長さ杭径比	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20		1.20	
杭頭接合方法	F.T.Pile構法 標準タイプ	F.T.Pile構法 標準タイプ	F.T.Pile構法 標準タイプ	F.T.Pile構法 標準タイプ	F.T.Pile構法 標準タイプ		F.T.Pile構法 引抜き対応タイプ φ11-C種 L=700mm 12本	
本　数	4	8	12	7	4		1	

基礎リスト

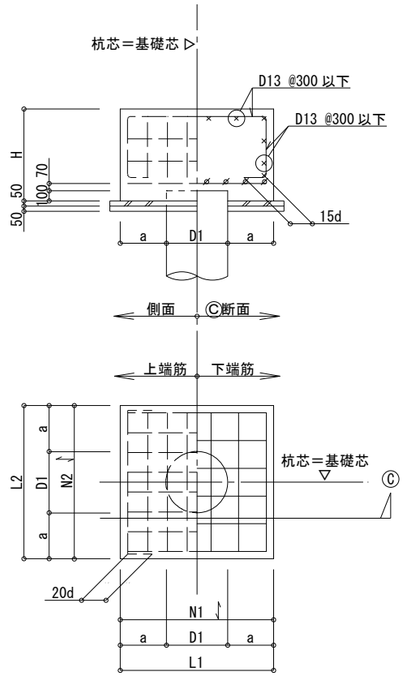
特記なき限り上端筋はカゴ筋とし、D13 @300 とする。

符　号	杭　径D1	へりあきa	H	L1	L2	上端筋		下端筋	
						N1	N2	N1	N2
F11	900	675	1,200	2,250	2,250	－	－	12-D16	12-D16
F12	800	600	1,200	2,000	2,000	－	－	11-D16	11-D16
F13	600	450	1,200	1,500	1,500	－	－	8-D16	8-D16
F24	600	550	1,200	1,700	1,700	－	－	9-D16	9-D16
F33	600	450	1,200	1,500	1,500	－	－	8-D16	8-D16
F45	600	850	1,200	2,300	2,300	－	－	12-D16	12-D16

使用材料

鉄　筋
D10 － D16 ： SD295

基礎要領図



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名	杭リスト、基礎リスト	縮尺	－	図面番号	S－ 028
		特記事項	特記事項	特記事項						

ＭＡＧＮＵＭ－ＢＡＳＩＣ工法　特記仕様書

１．一般事項

１）本工事に採用する工法はＭＡＧＮＵＭ－ＢＡＳＩＣ工法　（認定番号：ＴＡＣＰ－０５０７，０５０８，０５０９）とする。

２）工事着手前に，工事概要・工程・使用するくいの明細・使用機械等を明記した施工計画書を作成し，監督員の承認を得る。

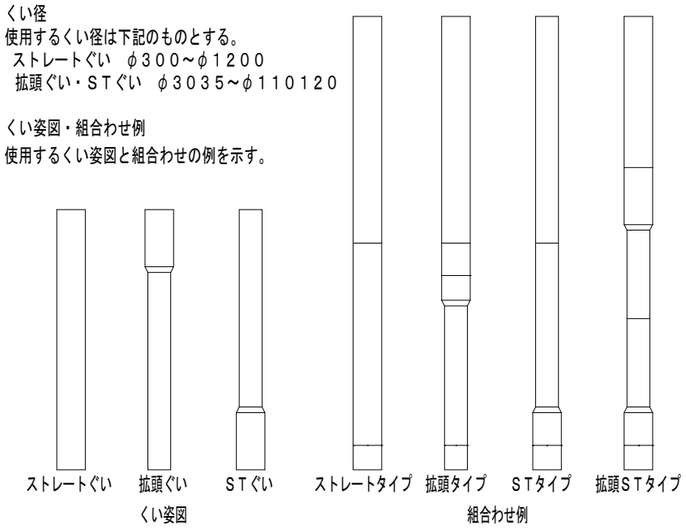
３）工事施工者および管理者は，ジャパンパイル株式会社もしくは前田製管株式会社もしくは両社が承認した施工会社とする。ただし，後者の場合であっても地盤の許容支持力については，ジャパンパイル株式会社，前田製管株式会社が責任を負う。

２．使用くい

１）くいの構造
使用するくいは下記のものとする。
１．平成１３年国土交通省告示第１１１３号第８第１項第二号，第三号，第四号，第五号及び第六号の何れかに基づきコンクリートの許容応力度が規定された既製コンクリートぐいとする。
２．建築基準法施行令第９０条，平成１２年国土交通省告示２４６４号第１，第２に基づき鋼材の許容応力度が規定された鋼管。

２）くい径
使用するくい径は下記のものとする。
ストレートぐい　φ３００～φ１２００
拡頭ぐい・ＳＴぐい　φ３０３５～φ１１０１２０

３）くい姿図・組合わせ例
使用するくい姿図と組合わせの例を示す。



４）最大施工深さ
最大施工深さは，先端地盤種別によって以下の通りとする。
砂質地盤　：くい施工地盤面－５２．０ｍ
礫質地盤　：くい施工地盤面－５５．０ｍ
粘土質地盤　：くい施工地盤面－４３．０ｍ

３．試験ぐい

１）試験ぐいの位置および数量は，地盤調査・敷地状況・建築物の平面計画等を考慮し，設計者・監督員と協議して決定する。

２）試験ぐいは，本工事に先立ち，設計・施工計画の妥当性を確認するために実施する。

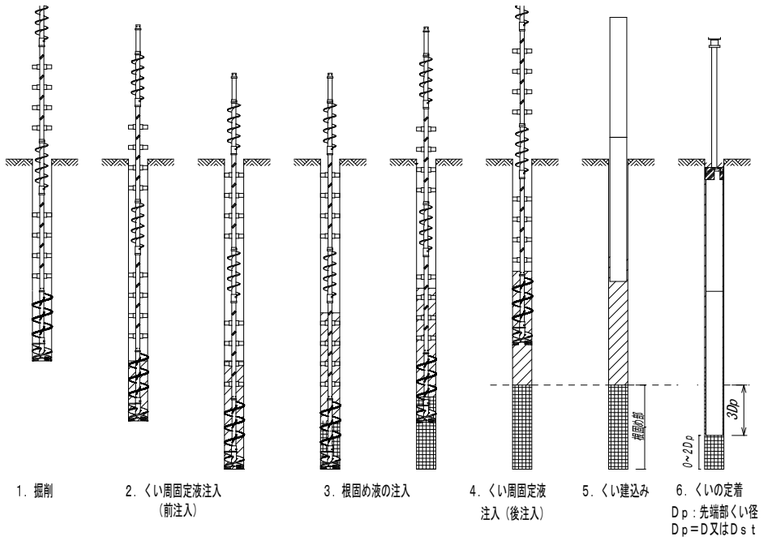
３）試験ぐいでは，本工事と同一寸法のくい，本工事に使用予定の機械器具を用いることを原則とし，次の項目について確認する。

１．施工能率
２．地中障害の有無
３．使用機械の適否
４．注入液の配合・使用量の適否
５．高止まりの有無
６．支持層位置の確認
７．先端地盤の確認

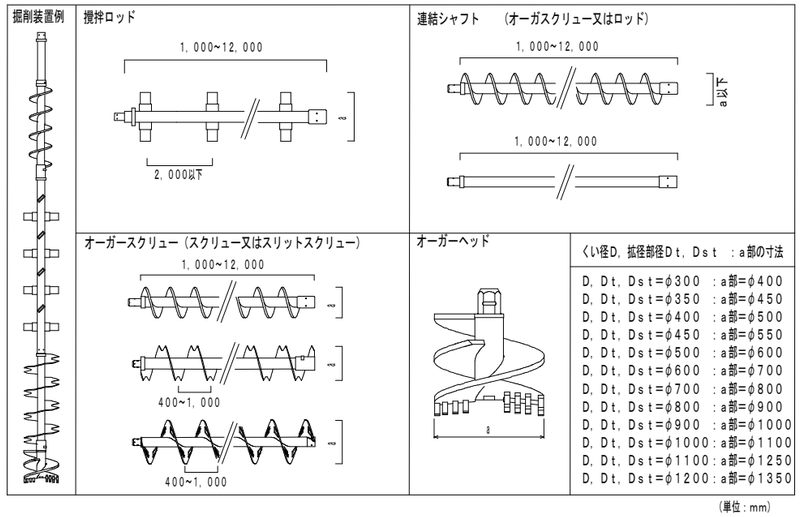
４．施工手順

本工法の標準的な施工手順を下図に示し，その概要を以下に記述する。

１．掘削
鉛直度およびくい心に注意しながらくい周固定液注入開始深度まで掘削する。
２．くい周固定液の注入（前注入）
くい周固定液設計量の５０％以上を注入しながら設計掘削深度まで掘削・混合撹拌する。
３．根固め液の注入
掘削底面で根固め液設計量の５０％以上を注入し，残量は根固め上端部まで引き上げながら注入する。
４．くい周固定液の注入（後注入）
根固め部上端よりくい周固定液の残量を注入しながら，ゆっくりロッドを引き上げる。
５．くい建込み
くいの鉛直性を保ちながら掘削孔を乱さないようにゆっくりと挿入する。
６．くいの定着
くい建込み完了後，回転キャップをくい頭部にセットして自沈または回転圧入しながら定着させる。



５．掘削装置の形状および寸法



６．くい周固定液および根固め液の配合と管理

１）材料
１．セメントは，ポルトランドセメント，高炉セメントおよびエコセメント，シリカセメント，フライアッシュセメントまたは，品質がこれと同等以上のものを用いる。
２．練り混ぜに使用する水は，上水道水またはセメント硬化に悪影響のない水とする。

２）くい周固定液（Ｗ／Ｃ＝１００～１５０％以下，　プラント採取圧縮強度：７Ｎ／ｍｍ^2）
くい周固定液は，掘削土砂と混合撹拌してソイルセメント状にし，くい体と地盤を一体化させるものである。
くい周固定液の標準配合例（１ｍ^3 あたり，セメント密度γｃ＝３．１５の場合）を下表に示す。

水セメント比　Ｗ／Ｃ　（％）	セメント　Ｃ　（ｋｇ）	水　Ｗ　（ｋｇ）
100	760	760
125	639	798
150	551	826

３）根固め液（Ｗ／Ｃ＝６０％以下，　プラント採取圧縮強度：２０Ｎ／ｍｍ^2）
根固め液はくい先端部と根固め部とを一体化させるものである。
根固め液の標準配合（１ｍ^3 あたり，セメント密度γｃ＝３．１５の場合）を下表に示す。

水セメント比　Ｗ／Ｃ（％）	セメント　Ｃ　（ｋｇ）	水　Ｗ　（ｋｇ）
60	1090	654

４）強度管理
強度管理のための試料採取の頻度は下表による。

くいの種別		試験頻度
試験ぐい		１本ごと
本ぐい	継手の無い場合	３０本毎またはその端数につき１回
	継手の有る場合	２０本毎またはその端数につき１回

１．１回の試験における供試体の数は，くい周固定液および根固め液を各３個とする。
２．供試体は，（社）土木学会「ＰＣ設計施工指針」のブリージング率および膨張率試験方法（体積方法）に用いるポリエチレン袋，または同等の袋を用いてプラントより採取し，直径５０ｍｍ，高さ１００ｍｍ程度の円柱形に仕上げる。
３．圧縮試験は，ＪＩＳ　Ａ　１１０８（コンクリートの圧縮試験方法）による。
４．注入液（くい周固定液・根固め液）の圧縮強さは，材齢２８日として管理する。
５．注入液（くい周固定液・根固め液）の配合検証のため，密度測定を１回／日以上行う。

７．施工記録

１．工事概要・組織　２．実施工程表　３．使用ぐいの仕様・諸元
４．くい周固定液・根固め液の配合・使用量・試験結果　５．使用機械器具
６．試験ぐい施工記録　７．本ぐい施工記録　８．その他必要事項

８．安全・公害対策

１）安全対策
災害の防止
１．作業指揮者および作業者は，予め定めた手順に従って規律ある作業を行い，安全活動には全面的・積極的に参加する。
２．各種機械の運転責任者は，機械器具の使用前点検を行い，損傷・変形・機能等不具合について修理，交換等必要な措置を講じ，その記録を残す。
３．くい打機の組立・据え付け・解体は，予め定めた計画に基づき，作業指揮者の指揮のもとに行う。
４．現場内の作業地盤は平坦にし，軟弱地盤の場合は転倒防止のためにサンドマット・敷き鉄板・地盤改良等の補強を行う。
５．くい打機および機械器具等の運転は専任の者が行い，資格を要する作業は有資格者が行う。
６．既存の鉄道，道路，高圧架線，電灯線，通信線，建築物および地下埋設物等に近接して作業を行う場合は，元請業者と打ち合わせを行い，関係者の立ち会いのもとに事故防止につとめる。
７．作業者または第三者への接触，挟まれおよび転落落下等を防ぐための，立入禁止措置や監視，誘導を行う。
８．作業開始前に，作業員全員による打ち合わせを行い，作業者の配置（役割分担）と作業確認を定め，元請業者への届け出を行う。

２）公害対策
本工法の施工に伴って発生する可能性のある公害は，騒音，振動，粉塵，地盤沈下，地下水汚染および泥土・泥水の場外流出による汚染・土砂の飛散等がある。これらが発生して，近隣環境や第三者に影響を及ぼすことのないよう留意して施工する。

Ｆ．Ｔ．Ｐｉｌｅ構法　既製コンクリート杭（標準タイプ、各種既製コンクリート杭）　　BCJ認定-FD0141-06

■構法概要

１．本構法は、地震時の杭基礎の損傷低減を目的とした杭頭接合方法であり、既製コンクリート杭に用いる。

２．杭頭を基礎（パイルキャップ）へ５０～１５０mmの範囲で埋め込み、埋め込み部分において杭外周部とパイルキャップの界面にテーパー状のクリアランスを設ける。

３．杭頭接合方法は、地震時に杭頭に引抜き力が作用しない箇所に適用する標準タイプと、引抜き力が作用する箇所にも適用できる引抜き対応タイプの２タイプがある。

■使用材料（適用範囲）

・杭　：　各種の既製コンクリート杭（ＰＨＣ杭、ＳＣ杭、ＰＲＣ杭、ＲＣ杭　等）

・杭径　：　３００mm～１２００mm

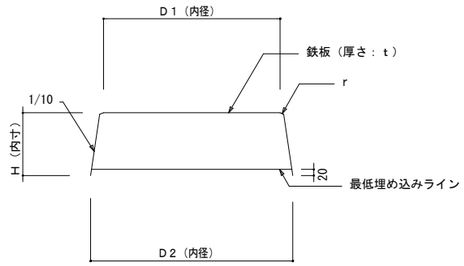
・コンクリート（基礎（パイルキャップ）部）　：　普通コンクリート　設計基準強度：１８～６０　Ｎ／mm^2

（法第３７条第一号もしくは第二号に該当するコンクリート）

■施工手順

既製コンクリート杭の施工
（各種工法による）
↓
掘　　削
↓
基礎底地盤の整地
↓
杭芯・杭頭レベルの確認
↓
ＦＴキャップの設置
（仮止めボルトによる固定）
↓
レベルコンクリートの打設
↓
仮止めボルトの撤去
↓
基礎の配筋・型枠
↓
基礎コンクリートの打設

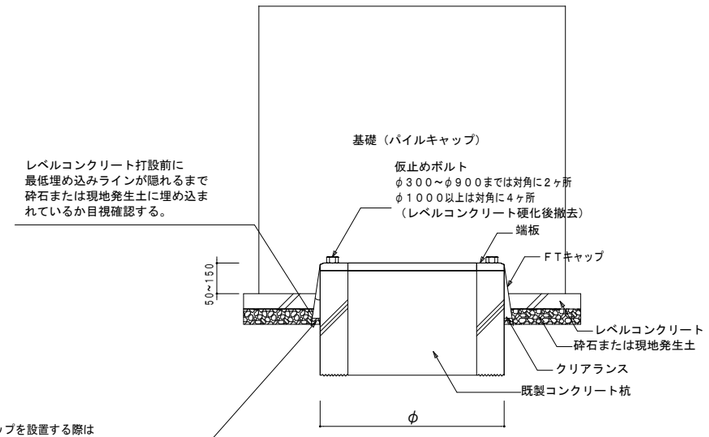
■ＦＴキャップ（テーパー型枠）仕様



杭径：φ	鉄板厚さ：ｔ（mm）	D1(mm)	D2(mm)	H（mm）	r(mm)	W(kg)
300	1.2	301	345	201	2.0	1.8
350	1.2	351	395	201	2.0	2.3
400	1.2	401	445	201	2.0	2.7
450	1.2	451	495	201	2.0	3.2
500	1.2	501	545	201	2.0	3.8
600	1.6	601	645	201	2.0	7.2
700	1.6	701	745	201	2.0	9.0
800	2.0	801	845	201	2.0	13.8
900	2.0	901	945	201	2.0	17.4
1000	2.3	1001	1045	201	2.0	23.9
1100	3.2	1101	1145	201	2.0	38.6
1200	3.2	1201	1245	201	2.0	44.3

＊ＦＴキャップの品質管理は製作工場で行われているため、施工時には下記の確認を行う。
・ＦＴキャップに「ＦＴＰ」の刻印があること。
・ＦＴキャップに変形や損傷がないこと。

■杭頭部詳細図



＊杭頭の基礎への埋込み深さは杭リストによる。

＊留意事項

・施工開始前に施工計画書を作成し、工事監理者の承認を得ること。
・Ｆ．Ｔ．Ｐｉｌｅ構法の施工は、ＦＴキャップ設置前にパイルメーカーによる施工説明・指導を受けた後、実施する。
・ＦＴＰの刻印があるＦＴキャップ（テーパー型枠）を使用すること。
・ＦＴキャップの受入時にはＦＴＰの刻印と変形や損傷の有無を確認する。
・既製コンクリート杭の設置に先立ち、杭頭の端板のボルト孔に泥土が入らないように養生を行う。
・杭頭レベルの誤差が品質管理許容差を超えた場合には、工事監理者・設計者と協議のこと。
・ＦＴキャップを設置する際は、杭周囲の砕石等のレベルが周辺よりも高くなっていないことを確認する。
・ＦＴキャップ設置後に木槌等でＦＴキャップを軽打し、端板との間に小石・砂等により、浮き・隙間が生じていないか確認する。
・レベルコンクリート打設前にＦＴキャップの最低埋め込みラインが隠れるまで砕石または現地発生土に埋め込まれているか目視確認する。
・仮止めボルトは、レベルコンクリート硬化後に撤去する。
・ＦＴキャップの上には原則として基礎配筋用のスペーサー等を置かないこと。
・施工完了後、施工結果を「施工チェックシート」に記録し、工事監理者に提出すること。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	Ｆ．Ｔ．Ｐｉｌｅ構法 標準図（１）	縮尺	－	図面番号	Ｓ－ 030

Ｆ．Ｔ．Ｐｉｌｅ構法　既製コンクリート杭（引抜き対応タイプ、ＳＣ杭）　　BCJ評定-FD0141-06

■構法概要

１．本構法は、地震時の杭基礎の損傷低減を目的とした杭頭接合方法であり、既製コンクリート杭に用いる。

２．杭頭を基礎（パイルキャップ）へ５０～１５０mmの範囲で埋め込み、埋め込み部分において杭外周部とパイルキャップの界面にテーパー状のクリアランスを設ける。

３．杭頭接合方法は、地震時に杭頭に引抜き力が作用しない箇所に適用する標準タイプと、引抜き力が作用する箇所にも適用できる引抜き対応タイプの２タイプがある。

４．引抜き対応タイプでは、引抜き抵抗用鋼棒を杭頭にカプラーを用いて設置し、基礎側端部には定着板を取り付ける。

■使用材料（適用範囲）

・杭　：　ＳＣ杭

・杭径　：　４００mm～１２００mm

・コンクリート（基礎（パイルキャップ）部）　：　普通コンクリート　設計基準強度：１８～６０　Ｎ／mm²

（法第３７条第一号もしくは第二号に該当するコンクリート）

・鋼材

・引抜き抵抗用鋼棒

・Ｆ．Ｔ．Ｐｉｌｅ構法用アンカー鋼棒　大臣認定：MSRB－００２６

・SBPR 785/1030（φ11－A種PC鋼棒），F=785 N/mm²

・SBPR 1080/1230（φ11－C種PC鋼棒），F=1080 N/mm²

・カプラー

・S45C，SNCM490B

・定着板

・SS400，SM490A

・ナット

・S45C，SNCM490B

・杭体内アンカー鉄筋

・SD345，SD390

■施工手順

既製コンクリート杭の設置
（各種工法による）
↓
掘　　削
↓
基礎底地盤の整地
↓
杭芯・杭頭レベルの確認
↓
ＦＴキャップの設置
↓
レベルコンクリートの打設
↓
仮止めボルトの撤去
↓
引抜き抵抗用鋼棒の取り付け
（引抜き対応タイプ）
↓
基礎の配筋・型枠
↓
基礎コンクリートの打設

＊留意事項

・施工開始前に施工計画書を作成し、工事監理者の承認を得ること。

・Ｆ．Ｔ．Ｐｉｌｅ構法の施工は、ＦＴキャップ設置前にパイルメーカーによる施工説明・指導を受けた後、実施する。

・ＦＴＰの刻印があるＦＴキャップ（テーパー型枠）を使用すること。

・ＦＴキャップの受入時にはＦＴＰの刻印と変形や損傷の有無を確認する。

・既製コンクリート杭の設置に先立ち、杭頭の端板のボルト孔に泥土が入らないように養生を行う。

・杭頭レベルの誤差が品質管理許容差を超えた場合には、工事監理者・設計者と協議のこと。

・ＦＴキャップを設置する際は、杭周囲の砕石等のレベルが周辺よりも高くなっていないことを確認する。

・ＦＴキャップ設置後に木槌等でＦＴキャップを軽打し、端板との間に小石・砂等により、浮き・隙間が生じていないか確認する。

・レベルコンクリート打設前にＦＴキャップの最低埋め込みラインが隠れるまで砕石または現地発生土に埋め込まれているか目視確認する。

・仮止めボルトは、レベルコンクリート硬化後に撤去する。

・ＦＴキャップの上には原則として基礎配筋用のスペーサー等を置かないこと。

・施工完了後、施工結果を「施工チェックシート」に記録し、工事監理者に提出すること。

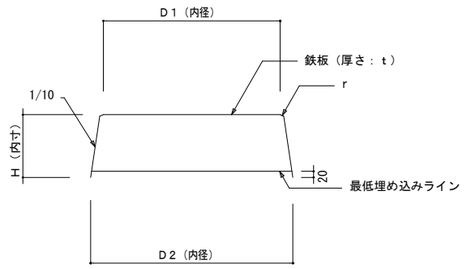
（引抜き対応タイプ）

・杭頭の端板の厚さ、ボルト孔の規格、カプラーの規格を確認する。＊１，＊２，＊３

・引抜き抵抗用鋼棒の先端を定着板及び杭頭の底面までねじ込んだ状態で所定のねじかかり代を確保すること。＊４，＊５

・必要に応じ段取り筋等を用いて、引抜き抵抗用鋼棒の直立性を確保する。

■ＦＴキャップ（テーパー型枠）仕様



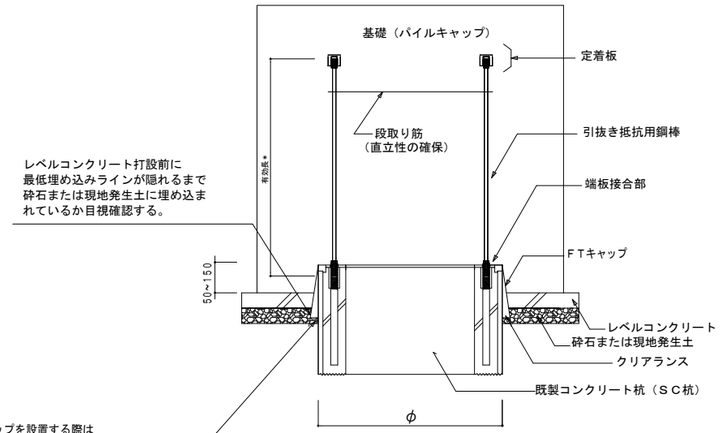
杭径：φ	鉄板厚さ：ｔ（mm）	D1(mm)	D2(mm)	H(mm)	r(mm)	W(kg)
400	1.2	401	445	201	2.0	2.7
450	1.2	451	495	201	2.0	3.2
500	1.2	501	545	201	2.0	3.8
600	1.6	601	645	201	2.0	7.2
700	1.6	701	745	201	2.0	9.0
800	2.0	801	845	201	2.0	13.8
900	2.0	901	945	201	2.0	17.4
1000	2.3	1001	1045	201	2.0	23.9
1100	3.2	1101	1145	201	2.0	38.6
1200	3.2	1201	1245	201	2.0	44.3

＊ＦＴキャップの品質管理は製作工場で行われているため、施工時には下記の確認を行う。

・ＦＴキャップに「ＦＴＰ」の刻印があること。

・ＦＴキャップに変形や損傷がないこと。

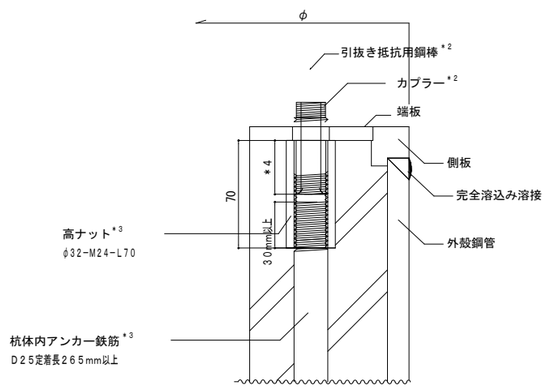
■杭頭部詳細図



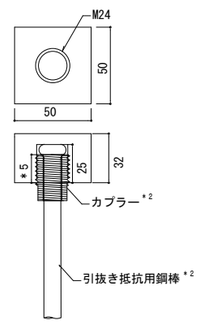
＊図中の有効長は、ボタンヘッドの首下間の距離を表し、アンカー鋼棒の全長とは異なる。＊２

＊杭頭の基礎への埋込み深さ、および引抜き抵抗用鋼棒の本数、有効長さは、杭リストによる。

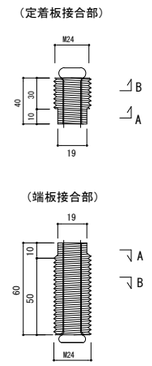
端板接合部詳細図＊１



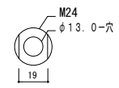
定着板詳細図



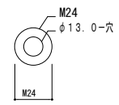
カプラー詳細図



断面詳細図



A断面



B断面

＊１　施工時は、納入された杭材が引抜き対応タイプであることを、杭体の表示で確認すること。

＊２　施工時は、引抜き抵抗用鋼棒及び、カプラー、定着板の仕様（材質、寸法、数量）を「引抜き抵抗用鋼棒検査書」で確認すること。

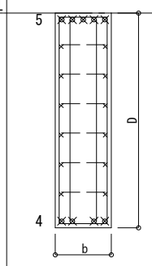
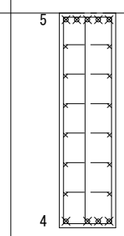
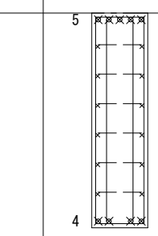
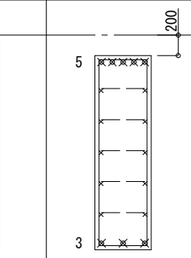
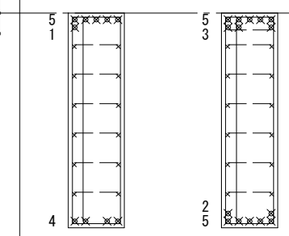
＊３　ＳＣ杭引抜き対応タイプにおけるＳＣ杭の製造及び高ナットと杭体内アンカー鉄筋の定着長の仕様は、「Ｆ．Ｔ．Ｐｉｌｅ構法　引抜き対応タイプＳＣ杭　製品検査表」および「同　杭頭金物検査表」を確認すること。

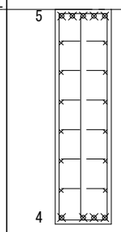
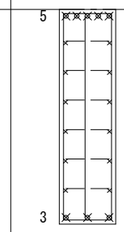
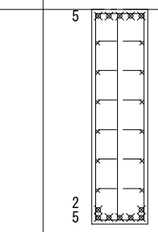
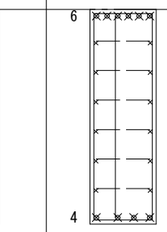
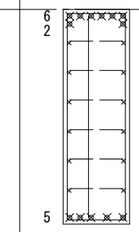
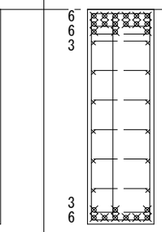
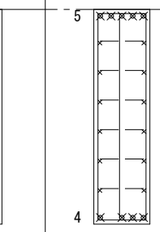
＊４　端板側のカプラーのネジのかかり代は、２５mm以上とする。（専用の検査ゲージで計測すること）

＊５　定着板側のカプラーのネジのかかり代は、１８mm以上とする。（専用の検査ゲージで計測すること）

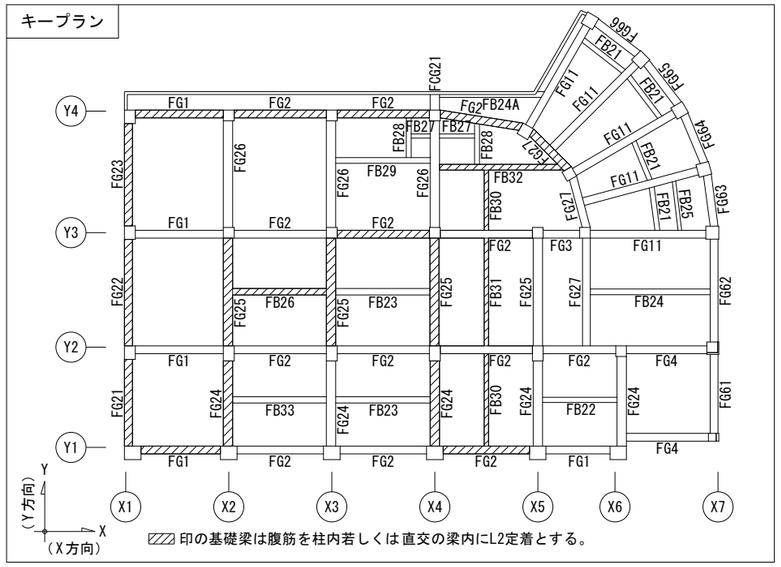
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 特記事項	図面名	Ｆ．Ｔ．Ｐｉｌｅ構法 標準図（２）	縮尺 －	図面番号 Ｓ－031

1階基礎梁リスト(1)　1/60

符号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG11	
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	他端	中央・X7端
▽1SL=設計GL				200		
断面						
b×D	550x2,100	550x2,100	550x2,100	550x1,900	550x2,100	
上端筋	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29	6-D29	8-D29
下端筋	4-D29	4-D29	4-D29	3-D29	4-D29	7-D29
スターラップ	4-D13 @150	3-D13 @200	4-D13 @200	2-D13 @200	3-D13 @200	
腹筋	12-D13	12-D13	12-D13	10-D13	12-D13	

符号	FG21	FG22	FG23	FG24	FG25	FG26	FG27
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
▽1SL=設計GL							
断面							
b×D	550x2,100	550x2,100	550x2,100	650x2,100	650x2,100	650x2,100	550x2,100
上端筋	5-D29	5-D29	5-D29	6-D29	8-D29	15-D29	5-D29
下端筋	4-D29	3-D29	7-D29	4-D29	5-D29	9-D29	4-D29
スターラップ	3-D13 @200	3-D13 @200	3-D13 @200	3-D13 @200	3-D13 @200	3-D13 @200	3-D13 @200
腹筋	12-D13	12-D13	12-D13	12-D13	12-D13	12-D13	12-D13

キープラン



▨ 印の基礎梁は腹筋を柱内若しくは直交の梁内にL2定着とする。

使用材料

鉄　筋	U13 : SHD685(UHY685フープ)
D10 - D16 : SD295	OT685 (OT685フープ)
D19 - D25 : SD345	KH685 (スーパーフープ685)
D29 : SD390	SPR685(パワーリング685)
	GSD685(GTSフープ685)

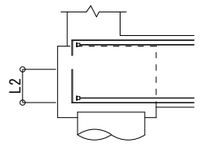
共通事項

特記なき限り下記とする。

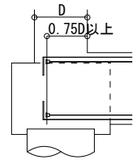
1. 巾止筋 D10 @1,000 以内とする。

2. 地業：土に接する梁の地業は下記とする。
   捨コンクリート　㋐50
   砕石　㋐50

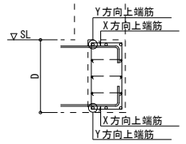
3. D29 以上の2段筋、3段筋の定着は機械式定着工法を使用すること。
   （1段筋、及び D29 以下も使用可。）
   適用範囲は各メーカーの仕様に準拠のこと。
   工法決定後、監理者の承認を得ること。
   （工法によっては補強が必要となる場合がある。）
   ただし、下記に該当する箇所はそれぞれ各要領図に倣い、在来定着とする。
   ○柱地中部仕口部補強内に定着する上端1段筋（S-037図参照）



4. 基礎梁主筋定着位置は下記による。

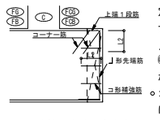


5. Y方向の梁主筋を外側に配置すること。
   但し、上端筋はレベルを考慮して配筋すること。



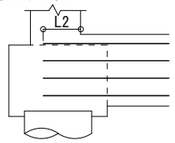
主筋のレベルについては、S-040図に記載している梁主筋配置要領図を参照すること。

6. 片持梁先端の配筋は下記の通りとする。

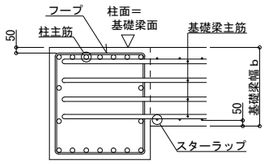


○上端１段筋は折曲げ点よりL2定着、または梁下端まで下ろすこと。L2 定着の場合は、J形先端筋D16を2本以上かつ@300以下の本数にて下端筋から配筋すること。
○コ形補強筋を腹筋と同ピッチにて配筋すること。
○片持梁先端に直交する梁がある場合には、直交する梁のコーナー筋を斜めに片持梁内に定着させること。

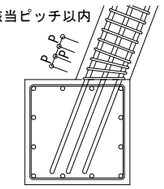
7. 土圧・水圧を受ける梁の腹筋は柱内、もしくは、直交の梁内にL2定着とし、継手を設ける場合はL1継手とする。
   （キープラン内 ▨ 印の基礎梁の腹筋を対象とする。）



8. 柱と同面に納まる場合、スターラップの加工形状に注意すること。

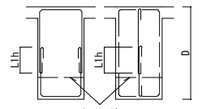


9. 柱、基礎梁斜め取り合い部
   スターラップ配筋要領図



10. スターラップ ▭ 印は、高強度せん断補強筋を示す。（UHY685フープ、OT685フープ、スーパーフープ685、パワーリング685、GTSフープ685）

11. 高強度せん断補強筋の基礎梁スターラップの加工は、梁せい D=1,500 以上、又は打ち継ぎのある場合、下記の重ね継手も可とする。

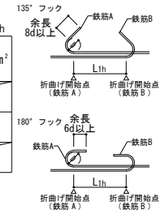


※キャップタイとの組合せは不可

打継ぎ

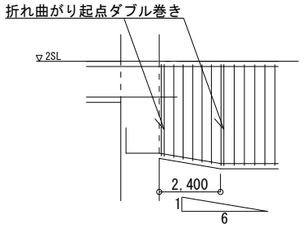
フック付重ね継手長さ L1h

コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	685N/mm²
27～30	50d
33～39	45d
42以上	40d

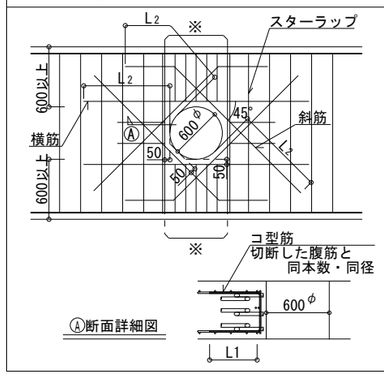


12. 基礎梁端部で梁せいを絞る際は主筋を 1/6以下の勾配で折り曲げて、折り曲げ位置にはスターラップをダブル巻きとすること。

折れ曲がり起点ダブル巻き



人通孔補強要領



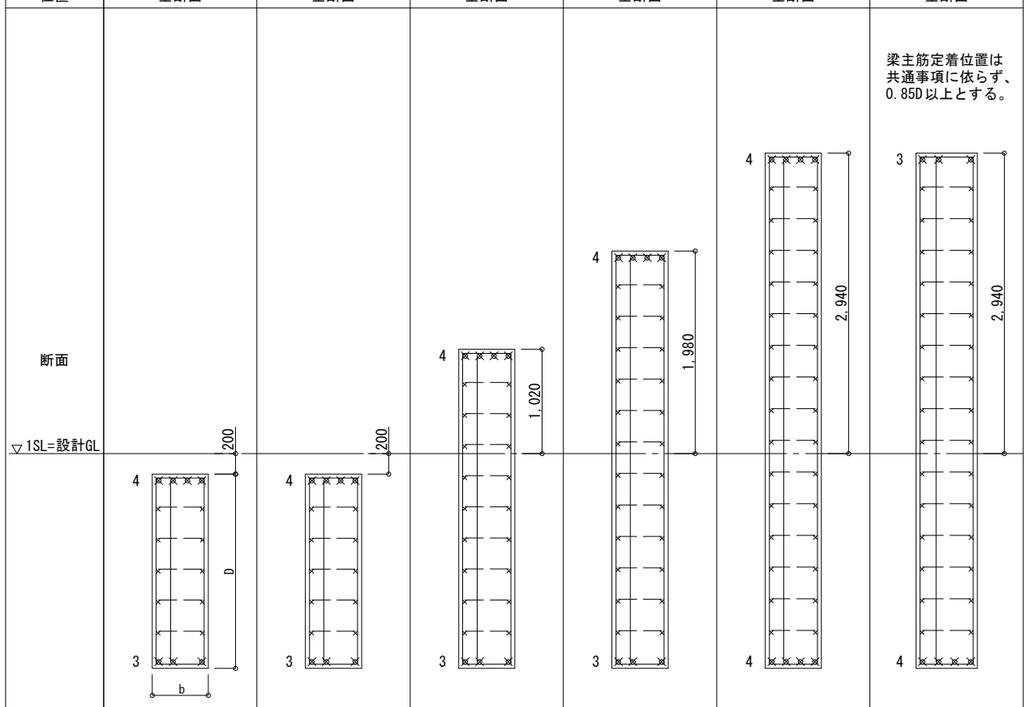
符　号	斜　筋	横　筋	備　考	符　号	斜　筋	横　筋	備　考
FG1	4x(3-D19)	2x(4-D16)		FG52	4x(3-D19)	2x(3-D16)	
FG2	4x(3-D19)	2x(3-D16)		FG53	4x(3-D19)	2x(3-D16)	
FG26	4x(3-D19)	2x(3-D16)		FG54	4x(3-D19)	2x(3-D16)	
FG44	4x(3-D19)	2x(3-D16)		FB29	4x(8-D22)	2x(3-D16)	
				FB12	4x(3-D19)	2x(3-D16)	

備　考

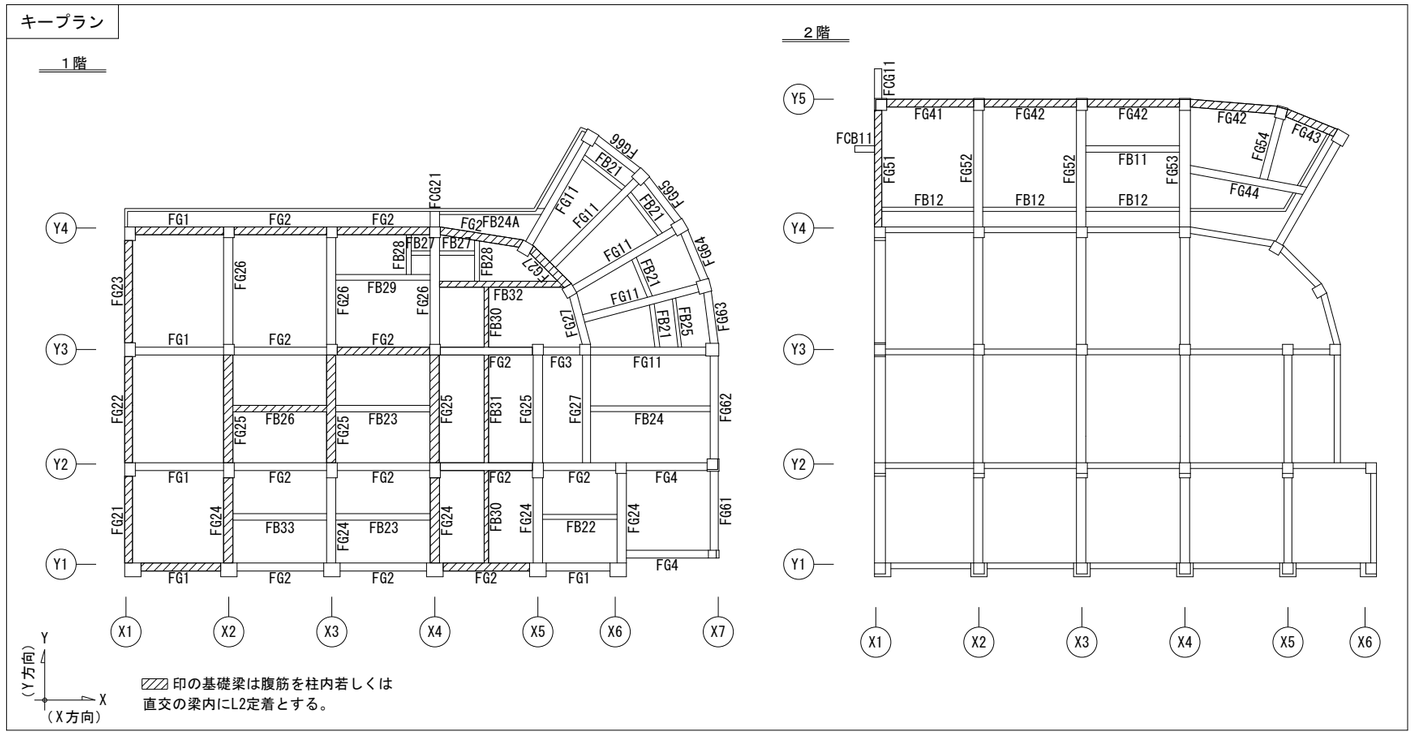
1. 人通孔からの鉄筋かぶり厚さを確保する。
2. 補強筋は、基礎梁主筋からの必要あき間隔を確保する。
   ※印部、上下スターラップは、一般部と同材種、同径、同本数@100とする。(135° フック)
3. 人通孔は 600 φとし、梁断面中央部に設けること。
   尚、人通孔の上下に通気管・通水管などを設けてはならない。
4. 孔際スターラップは、ダブル巻きとする。
5. 斜筋は、二段配筋も可とする。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	図面名	1階基礎梁リスト（1）	縮尺	1/60	図面番号	S－032

1階基礎梁リスト(2)　1/60

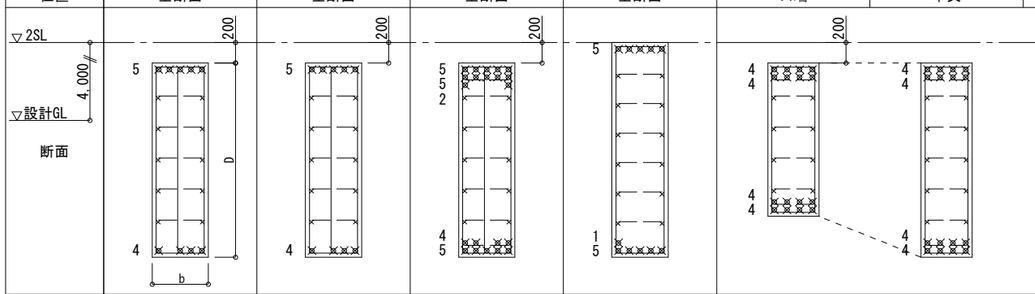
符号	FG61	FG62	FG63	FG64	FG65	FG66
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面						梁主筋定着位置は共通事項に依らず、0.85D以上とする。
b×D	550x1,900	550x1,900	550x3,120	550x4,080	550x5,040	600x5,040
上端筋	4-D29	4-D29	4-D29	4-D29	4-D29	3-D29
下端筋	3-D29	3-D29	3-D29	3-D29	4-D29	4-D29
スターラップ	3-D13 @200	3-D13 @200	3-D13 @200	3-D13 @200	3-D13 @200	3-D13 @200
腹筋	10-D13	10-D13	18-D13	24-D13	30-D13	30-D13

キープラン



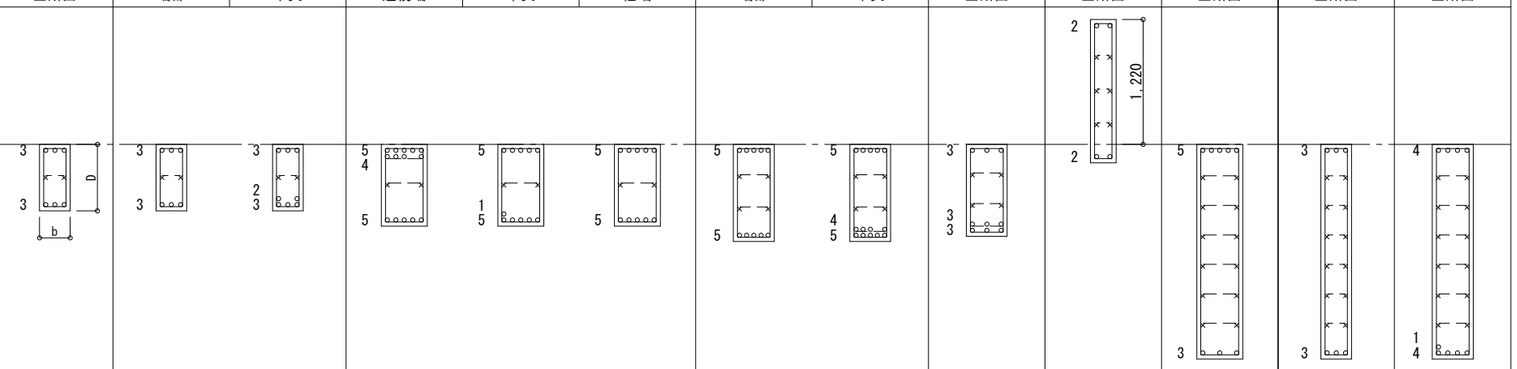
印の基礎梁は腹筋を柱内若しくは直交の梁内にL2定着とする。

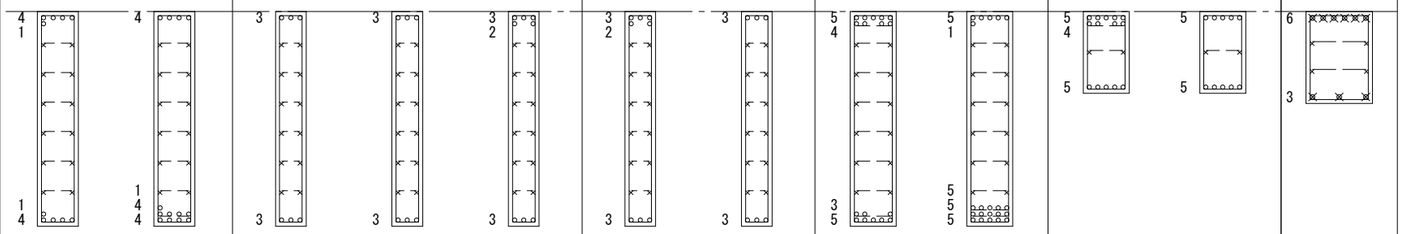
2階基礎梁リスト　1/60

符号	FG41	FG42	FG43	FG44	FG51			FG52			FG53			FG54
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	Y4端	中央	Y5端	Y4端	中央	Y5端	Y4端	中央	Y5端	全断面
断面														
b×D	550x1,900	550x1,900	550x1,900	550x2,100	500x1,500~1,900			650x1,500~1,900			750x1,500~1,900			550x1,900
上端筋	5-D29	5-D29	12-D29	5-D29	8-D29			8-D29			8-D29			5-D29
下端筋	4-D29	4-D29	9-D29	6-D29	8-D29			8-D29			10-D29			3-D29
スターラップ	3-D13 @200	3-D13 @200	3-U13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200			3-D13 @200			3-D13 @200			3-D13 @150
腹筋	10-D13	10-D13	10-D13	10-D13	8-D13,10-D13			8-D13,10-D13			8-D13,10-D13			10-D13

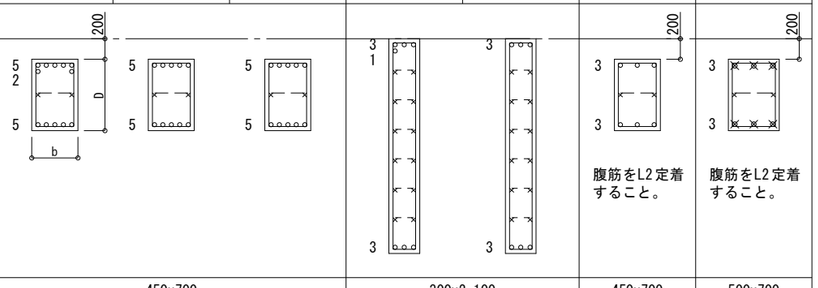
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日 / 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 / 特記事項	変更年月日　令和　年　月　日 / 特記事項	図面名	1階基礎梁リスト（2）、2階基礎梁リスト	縮尺 1/60	図面番号 S－033

1階基礎小梁リスト　1/60

符号	FB21	FB22		FB23			FB24		FB24A	FB25	FB26	FB27	FB28
位置	全断面	端部	中央	連続端	中央	他端	端部	中央	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
▽1SL=設計GL 断面													
b×D	300x650	300x650		450x800			400x950		400x900	250x1,400	450x2,100	300x2,100	400x2,100
上端筋	3-D22	3-D22	3-D22	9-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	3-D22	2-D22	5-D22	3-D22	4-D22
下端筋	3-D22	3-D22	5-D22	5-D22	6-D22	5-D22	5-D22	9-D22	6-D22	2-D22	3-D22	3-D22	5-D22
スターラップ	2-D13 @250	2-D13 @250		2-D13 @250			2-D13 @250		2-D13 @250	2-D13 @250	2-D13 @250	2-D13 @250	2-D13 @250
腹筋	2-D13	2-D13		2-D13			4-D13		4-D13	6-D13	12-D13	12-D13	12-D13

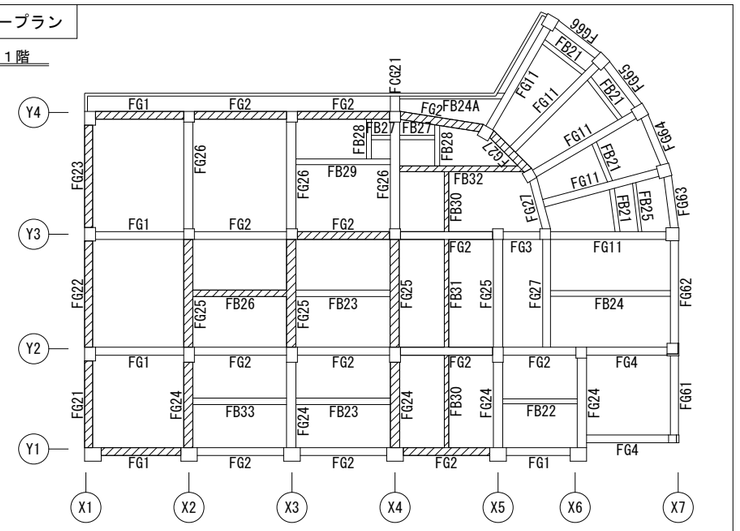
符号	FB29		FB30			FB31		FB32		FB33		FCG21
位置	端部	中央	他端	中央	連続端	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面
▽1SL=設計GL 断面												
b×D	400x2,100		300x2,100			300x2,100		450x2,100		450x800		650x900
上端筋	5-D22	4-D22	3-D22	3-D22	5-D22	5-D22	3-D22	9-D22	6-D22	9-D22	5-D22	6-D29
下端筋	5-D22	9-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	8-D22	15-D22	5-D22	5-D22	3-D29
スターラップ	2-D13 @250		2-D13 @250			2-D13 @250		2-D13 @250		2-D13 @250		2-D13 @150
腹筋	12-D13		12-D13			12-D13		12-D13		2-D13		4-D13

2階基礎小梁リスト　1/60

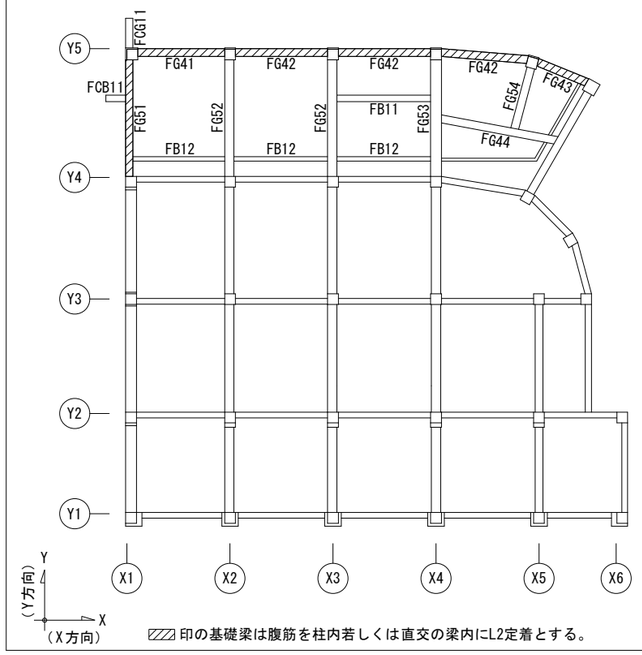
符号	FB11			FB12		FCB11	FCG11
位置	連続端	中央	他端	端部	中央	全断面	全断面
▽2SL ▽設計GL 断面						腹筋をL2定着すること。	腹筋をL2定着すること。
b×D	450x700			300x2,100		450x700	500x700
上端筋	7-D22	5-D22	5-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D29
下端筋	5-D22	5-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D29
スターラップ	2-D13 @250			2-D13 @250		2-D13 @250	2-D13 @250
腹筋	2-D13			12-D13		2-D13	2-D13

キープラン

1階

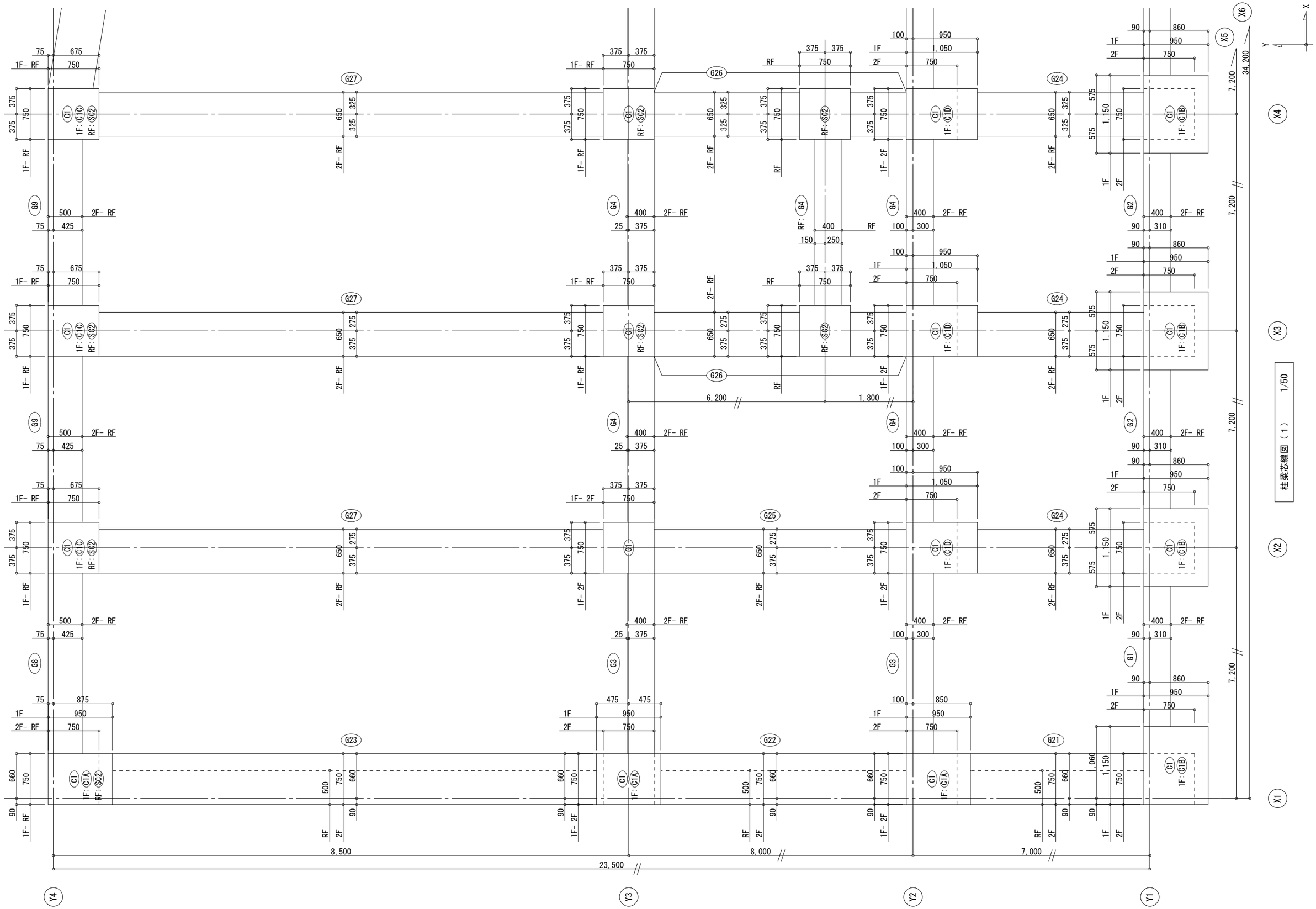


2階

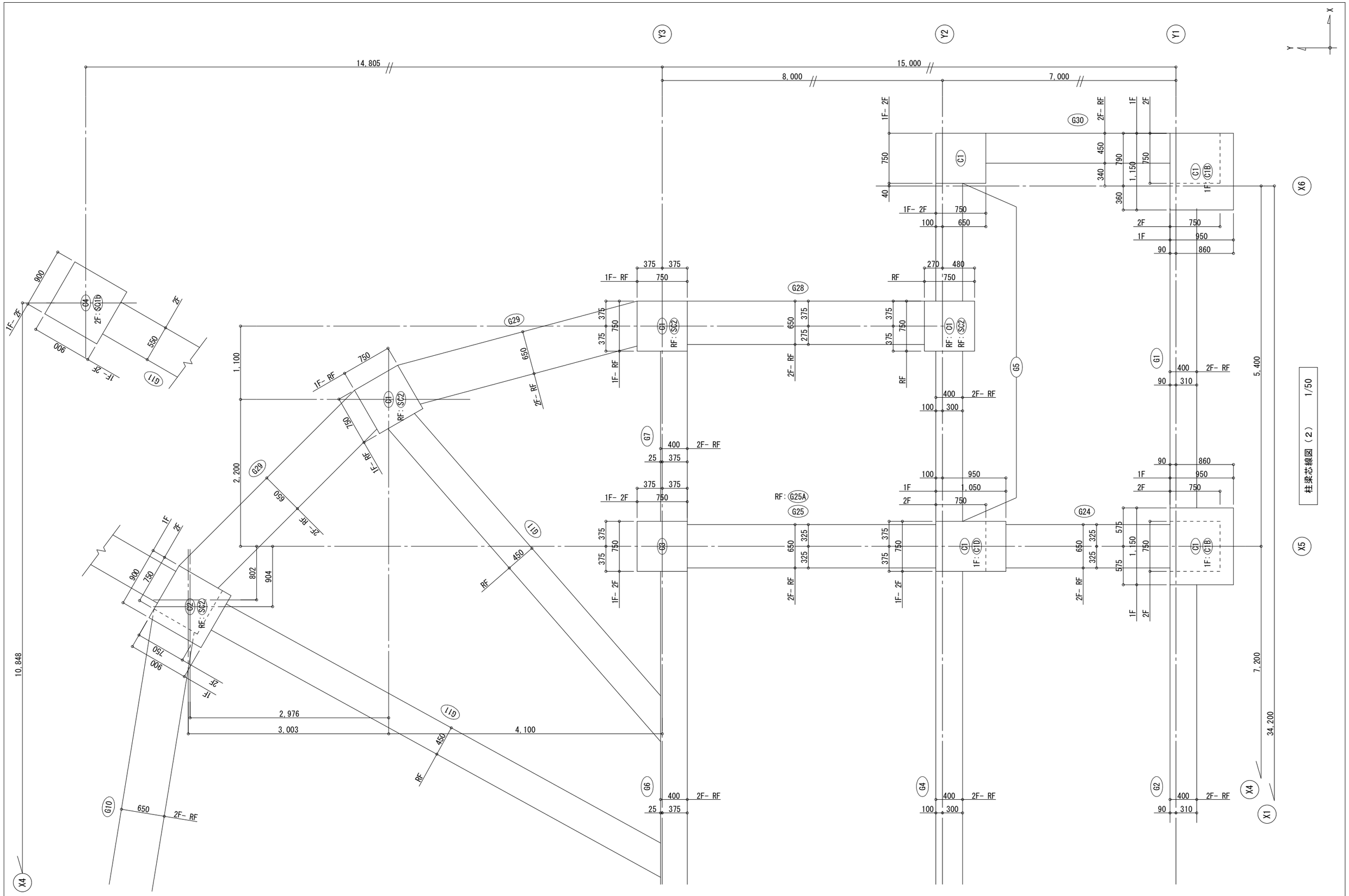


▨ 印の基礎梁は腹筋を柱内若しくは直交の梁内にL2定着とする。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名	1階基礎小梁リスト、2階基礎小梁リスト	縮尺	1/60	図面番号	S－034



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 特記事項	図面名	柱梁芯線図（1）	縮尺	1/50	図面番号	S－035



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	柱梁芯線図（2）	縮尺 1/50	図面番号 S－036
			特記事項		特記事項		特記事項					

共通事項

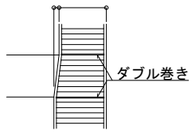
特記なき限り下記とする。

1. 上階の主筋が下階より径が太い場合、
   または本数が多い場合は差筋すること。

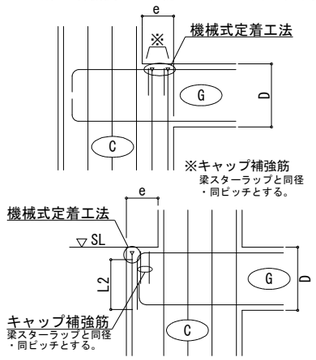
2. フープ筋は全階タガ型とする。
   （高強度せん断補強筋の加工形状は
   溶接閉鎖型とすること。）

3. フープ ▭ 印は、高強度せん断補強筋を
   示す。（UHY685フープ、OT685フープ、
   スーパーフープ685、パワーリング685、
   GTSフープ685）

4. 柱絞り部の仕口フープ寸法に注意すること。



5. 断面を大きく絞る場合(e>D/6)は、柱頭にて
   配置可能な機械式定着工法を使用すること。
   （第三者機関により認められた工法とする。）



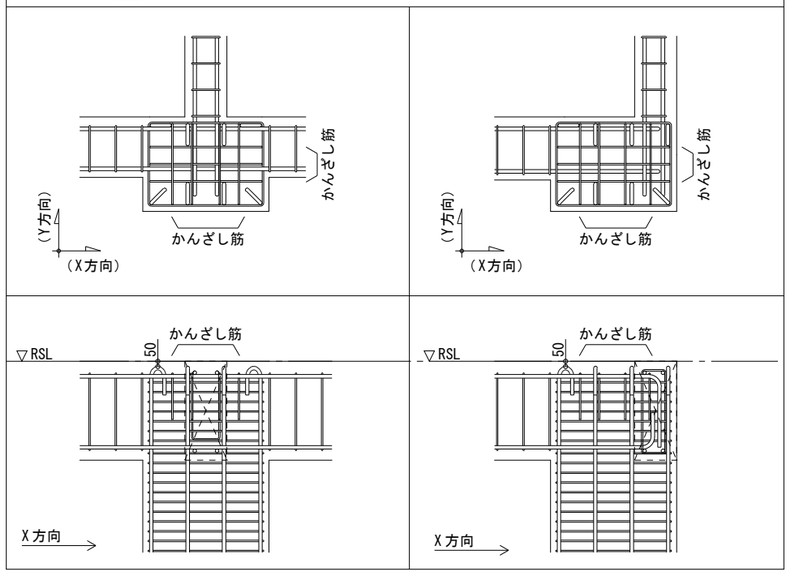
使用材料

鉄　筋

D10 － D16 ： SD295
D19 － D25 ： SD345
D29　　： SD390
U13　　： SHD685(UHY685フープ)
　　OT685（OT685フープ）
　　KH685（スーパーフープ685）
　　SPR685(パワーリング685)
　　GSD685(GTSフープ685)

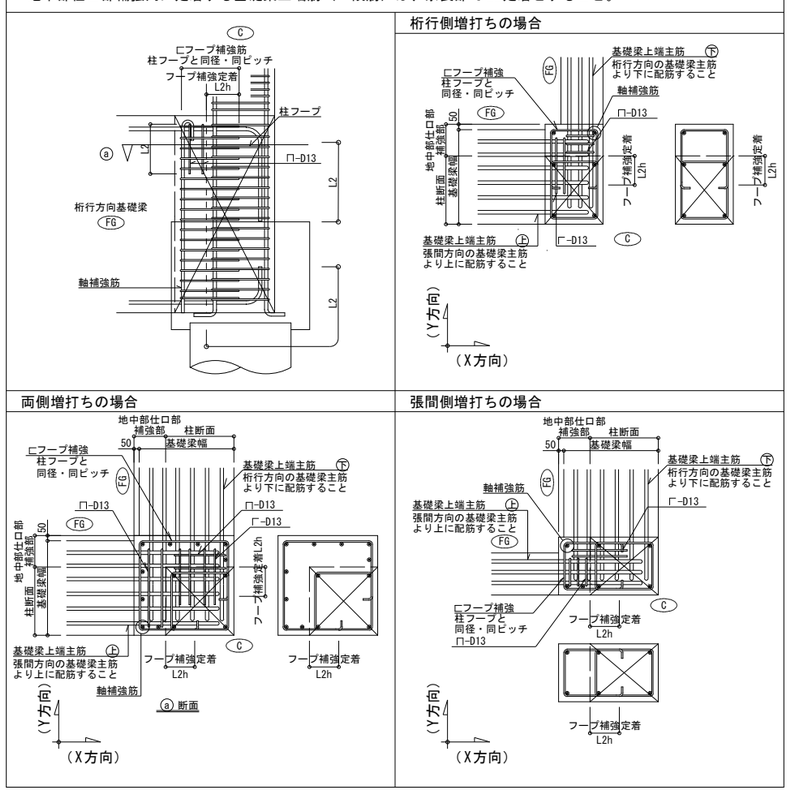
かんざし筋要領図

両方向共、D13@200 で配置すること。
定着板を使用した場合は、その仕様によること。



地中部仕口部補強要領図

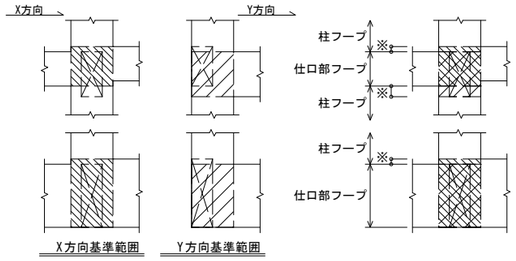
軸補強筋は柱主筋の３サイズダウンかつ D22 以上として@300で配置する。
フープ補強筋は柱と同径（SD295）同ピッチとする。（柱内にL2h定着とする。）
フープ補強筋を重ね継手とする場合はL1h継手とする。
⊓-D13、⊓-D13は基礎梁のスターラップと同ピッチとする。通し配筋部にも配置すること。
地中部仕口部補強内に定着する基礎梁上端筋（一段筋）は、余長部でL2定着とすること。



柱梁仕口部範囲要領図

柱梁仕口部範囲は各方向毎に梁・耐震壁が取り付く全範囲を基準範囲とし、
双方の基準範囲が重複する部分を柱梁仕口部範囲（▨部）とする。

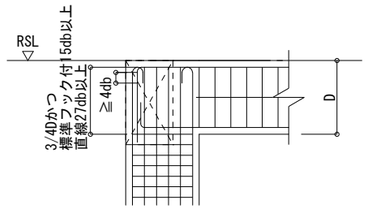
① 両方向純ラーメンの場合



※印範囲の柱フープは、仕口部フープ以上となるよう中子を追加する。
例）仕口部フープ (3-3) ⊞-D13
　　柱フープ (5-2) ⊟-U13　の場合 → (5-2) ⊟-U13 ＋ ⊥ -D13（中子追加）

柱梁接合部に対する柱主筋定着要領図(RSL)

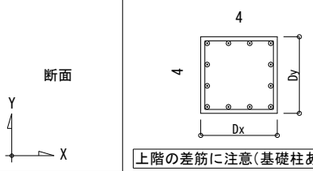
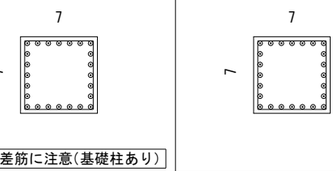
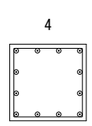
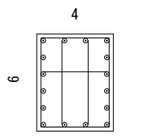
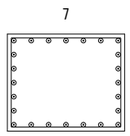
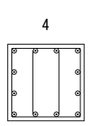
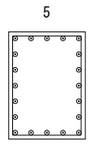
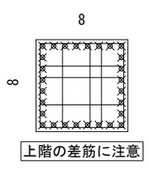
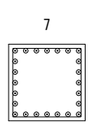
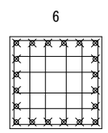
※ RC規準2018年版　17条定着に基づく
・ 標準フック:180°折曲げ余長4db以上
　梁せいDは､X・Y両方向のうち小さい方を基準とする。
　但し、耐震壁付きを除く。
・ db：異形鉄筋の呼び名に用いた数値（mm）
・ 下記寸法かつ上端1段目主筋程度まで到達させること。



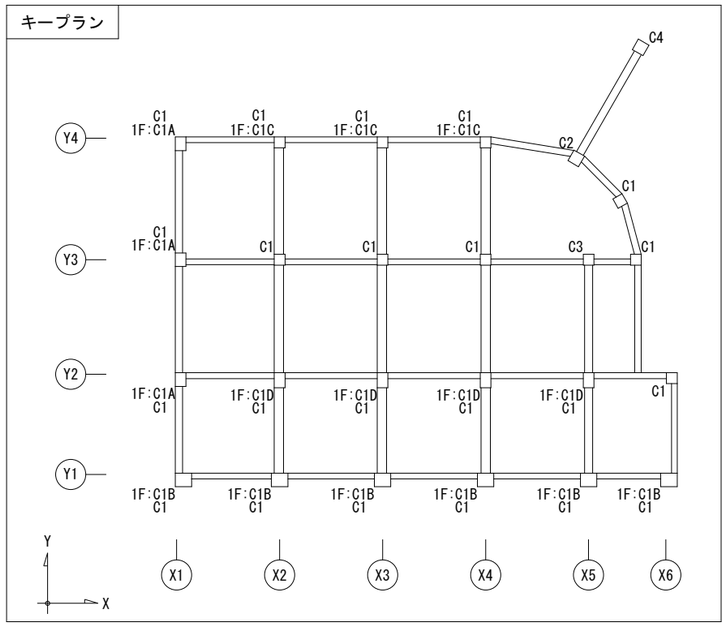
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	柱リスト共通事項、各種要領図	縮尺	－	図面番号	S－037
			特記事項		特記事項		特記事項							

柱リスト　1/60

※共通事項および使用材料はS-037図を参照すること。

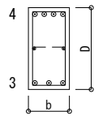
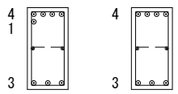
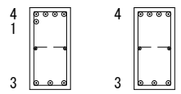
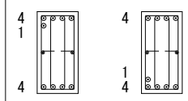
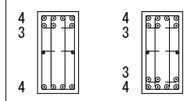
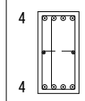
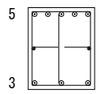
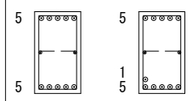
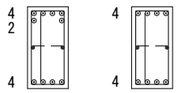
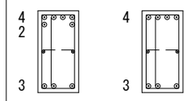
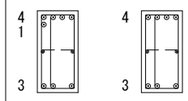
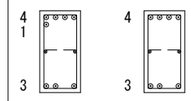
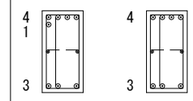
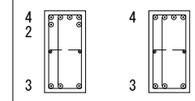
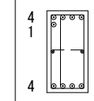
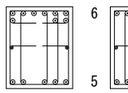
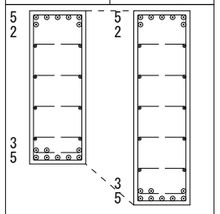
	符号	C1	C1A	C1B	C1C	C1D	C2	C3	C4
2階	柱頭仕口部フープ	(2-2) □-D13 @100					(2-2) □-D13 @100	(2-2) □-D13 @100	
	断面								
	Dx×Dy	750x750					750x750	750x750	
	主筋	12-D25					24-D25	24-D25	
	フープ	(2-2) □-D13 @100					(2-2) □-D13 @100	(2-2) □-D13 @100	
1階	柱頭仕口部フープ	(2-2) □-D13 @100	(3-2) ⊟-D13 @100	(3-4) ⊞-D13 @100	(2-2) □-D13 @100	(3-2) ⊟-D13 @100	(3-3) ⊞-D13 @100	(2-2) □-D13 @100	(3-3) ⊞-D13 @100
	断面								
	Dx×Dy	750x750	750x950	1,150x950	750x750	750x1,050	900x900	750x750	900x900
	主筋	12-D25	16-D25	24-D25	12-D25	20-D25	28-D29	24-D25	20-D29
	フープ	(2-2) □-D13 @100	(3-4) ⊞-D13 @100	(2-2) □-D13 @100	(2-4) ⫼-U13 @100	(2-2) □-D13 @100	(5-5) ▦-D13 @100	(2-2) □-D13 @100	(6-6) ▦-U13 @100
	柱脚仕口部フープ	(2-2) □-D13 @100	(3-2) ⊟-D13 @100	(3-4) ⊞-D13 @100	(2-2) □-D13 @100	(3-2) ⊟-D13 @100	(3-3) ⊞-D13 @100	(2-2) □-D13 @100	(3-3) ⊞-D13 @100

キープラン



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	図面名	柱リスト	縮尺 1/60	図面番号 S－038

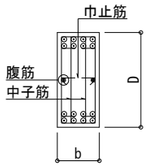
大梁リスト（1）　1/60

	符号	G1		G2		G3		G4		G5		G6		G7	G8	G9	G10		G11	
	位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面	全断面	全断面	端部	中央	端部	中央
R階	断面																			
	b×D	400x800		400x800		400x800		400x800		400x800		400x800		400x800	500x800	500x800	650x800		450x800	
	上端筋	4-D25		4-D25		5-D25	4-D25	5-D25	4-D25	5-D25	4-D25	7-D25	7-D25	4-D25	5-D25	5-D25	5-D25		5-D25	5-D25
	下端筋	3-D25		3-D25		3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	4-D25	5-D25	4-D25	7-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25		5-D25	6-D25
	スターラップ	2-D13 @200		2-D13 @200		2-D13 @200		2-D13 @200		4-D13 @150		4-D13 @200		3-U13 @150	2-D13 @200	2-D13 @200	3-D13 @200		2-D13 @200	
	腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10	
2階	断面																		Y4端 	中央・他端
	b×D	400x800		400x800		400x800		400x800		400x800		400x800		400x800	500x800	500x800	650x800		550x1,500~1,900	
	上端筋	6-D25	4-D25	6-D25	4-D25	5-D25	4-D25	5-D25	4-D25	5-D25	4-D25	6-D25	4-D25	5-D25	5-D25	4-D25	9-D25	6-D25	7-D25	
	下端筋	4-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	4-D25	3-D25	3-D25	5-D25	5-D25	8-D25	
	スターラップ	3-D13 @150		3-D13 @200		3-D13 @200		2-D13 @200		3-D13 @150		3-D13 @150		3-U13 @150	2-D13 @200	2-D13 @200	5-D13 @150		2-D13 @200	
	腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	2-D10	2-D10	2-D10		8-D10,10-D10	

共通事項

特記なき限り下記とする。

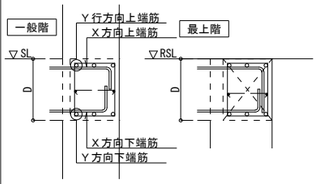
1. 巾止筋 D10 @1,000 以内とする。



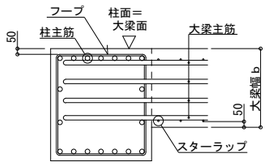
2. 側柱仕口部の大梁下端筋の定着は、原則として上向き定着とする。

3. スターラップ ▭ 印は、高強度せん断補強筋を示す。（UHY685フープ、OT685フープ、スーパーフープ685、パワーリング685、GTSフープ685）

4. Y方向の梁主筋を外側に配置すること。
   - スターラップ形状に注意すること。
   - 但し逆梁等、直交の梁主筋と干渉しない時はこの限りではない。

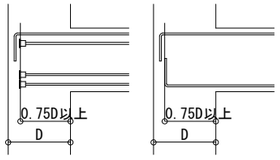


5. 柱と同面に納まる場合、スターラップの加工形状に注意すること。

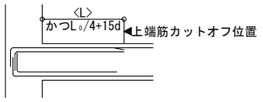


6. D29 以上の下端筋及び上端 2 段筋の定着は、機械式定着工法を使用すること。
   （上端 1 段筋、及び D29 以下も使用可。）
   適用範囲は各メーカーの仕様に準拠のこと。
   工法決定後、監理者の承認を得ること。
   （工法によっては補強が必要な場合あり。）

7. 大梁主筋定着位置は下記による。

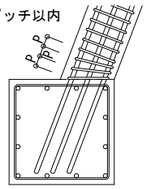


8. 大梁主筋のカットオフ位置は、下記とする。
   〈　〉内の数値は上端筋を示し、
   かつ $L_0/4+15d$ とする。
   表示が無い部材は $L_0/4+15d$ とする。

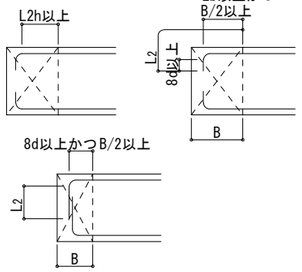


9. 柱、大梁斜め取り合い部スターラップ配筋要領図

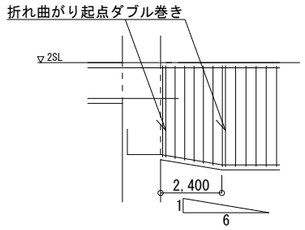
P：大梁該当ピッチ以内



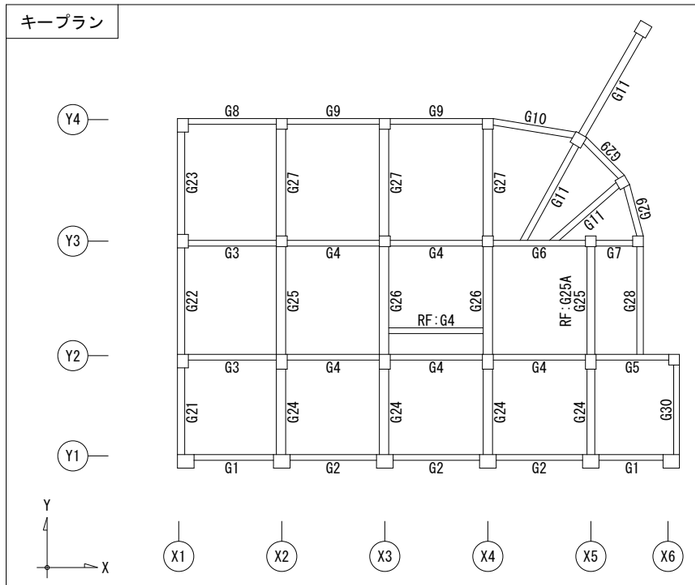
10. 大梁への定着は下図のいずれかとする。
    定着する梁幅Bが、投影定着長さLbを満足出来ないほど小さい場合は、余長部で L_2 とする。このとき投影定着長さを 8d 以上かつ B/2以上とすること。



11. 基礎梁端部で梁せいを絞る際は主筋を 1/6 以下の勾配で折り曲げて、折り曲げ位置にはスターラップをダブル巻きとすること。



キープラン



使用材料

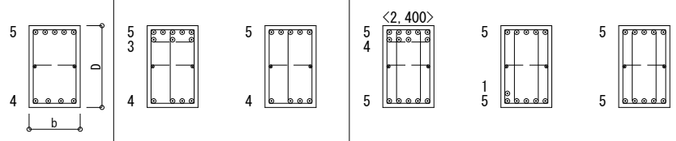
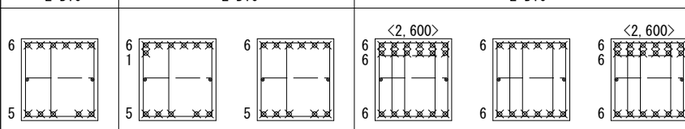
鉄　筋

D10 － D16 ： SD295
D19 － D25 ： SD345
D29 ： SD390
U13 ： SHD685(UHY685フープ)
OT685 (OT685フープ)
KH685 (スーパーフープ685)
SPR685(パワーリング685)
GSD685(GTSフープ685)

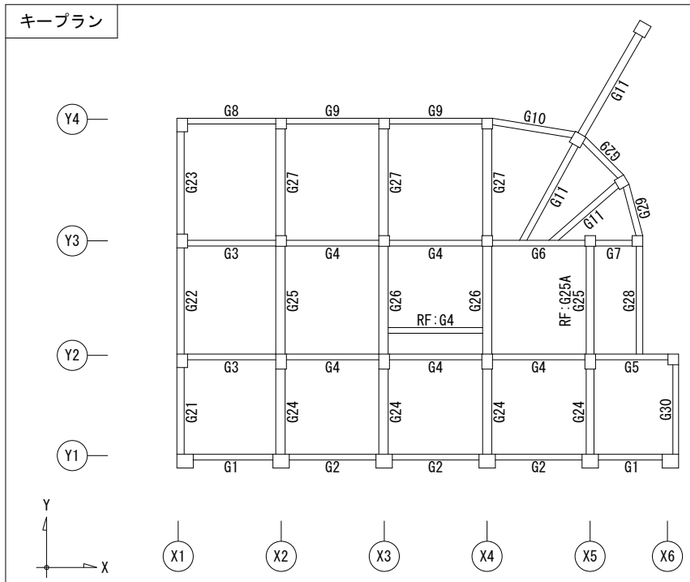
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	図面名	大梁リスト（1）	縮尺 1/60	図面番号 S－039
			特記事項	特記事項	特記事項				

大梁リスト（2）　1/60

※共通事項および使用材料はS-039図を参照すること。

	符号	G21	G22		G23			G24	G25		G25A	G26	G27			G28	G29	G30	
	位置	全断面	端部	中央	Y3端	中央	Y4端	全断面	端部	中央	全断面	全断面	Y3端	中央	Y4端	全断面	全断面	端部	中央
R階	断面																		
	b×D	500x800	500x800		500x800			650x800	650x800		650x800	650x800	650x800			650x800	650x800	450x800	
	上端筋	5-D25	8-D25	5-D25	9-D25	5-D25	5-D25	7-D25	9-D25	7-D25	7-D25	12-D25	14-D25	7-D25	7-D25	5-D25	4-D25	5-D25	4-D25
	下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	6-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	7-D25	7-D25	8-D25	7-D25	4-D25	4-D25	3-D25	3-D25
	スターラップ	2-D13 @200	3-D13 @200		4-D13 @200			3-D13 @200	3-D13 @200		3-D13 @200	3-D13 @150	4-D13 @150			3-D13 @200	3-D13 @200	2-D13 @200	
	腹筋	2-D10	2-D10		2-D10			2-D10	2-D10		2-D10	2-D10	2-D10			2-D10	2-D10	2-D10	
2階	断面																	梁主筋定着位置は共通事項に依らず、0.80D以上とする。	
	b×D	750x800	750x800		750x800			650x800	650x800			650x800	650x800			650x800	650x800	450x800	
	上端筋	6-D29	7-D29	6-D29	12-D29	6-D29	12-D29	6-D29	7-D29	6-D29		6-D29	12-D29	6-D29	12-D29	6-D29	4-D29	6-D29	4-D29
	下端筋	5-D29	5-D29	5-D29	6-D29	6-D29	6-D29	4-D29	5-D29	5-D29		4-D29	6-D29	6-D29	6-D29	5-D29	4-D29	4-D29	4-D29
	スターラップ	3-D13 @200	3-D13 @200		5-D13 @200			3-D13 @200	3-D13 @200			3-D13 @200	6-D13 @200			3-D13 @200	3-D13 @200	3-U13 @200	
	腹筋	2-D10	2-D10		2-D10			2-D10	2-D10			2-D10	2-D10			2-D10	2-D10	2-D10	

キープラン



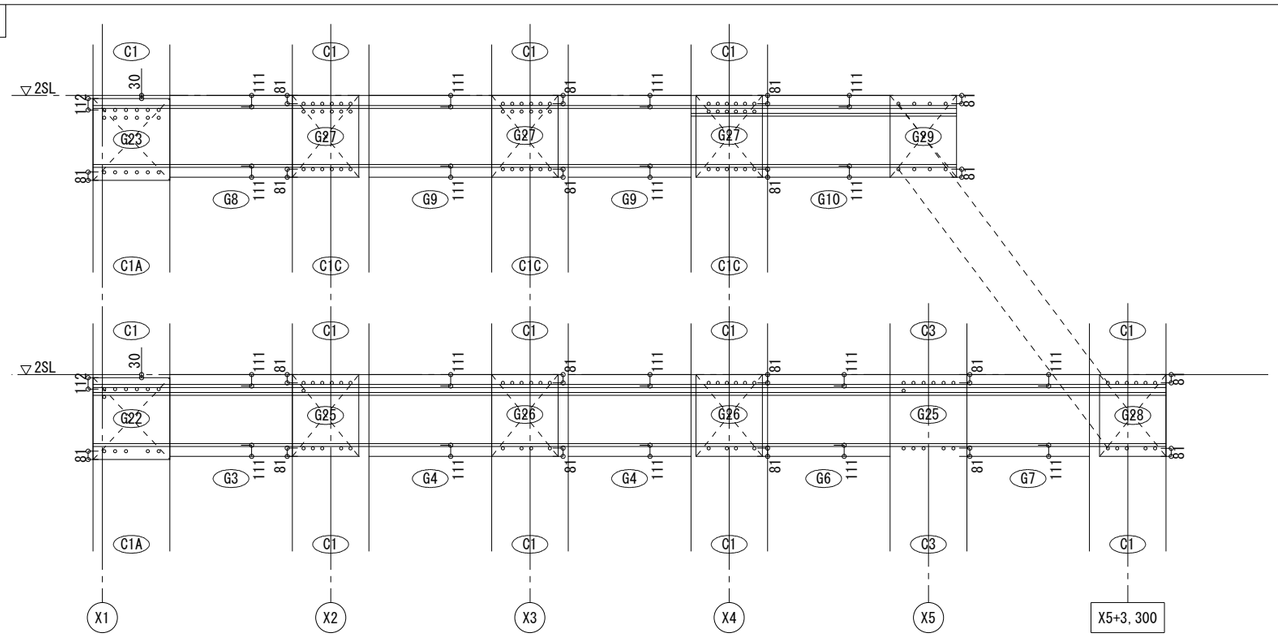
梁主筋配置要領図

Y4通り

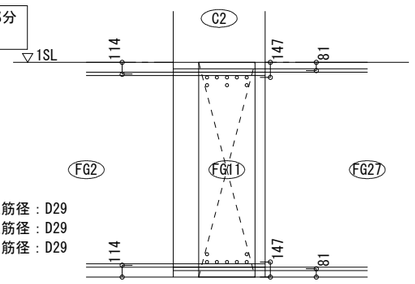
X方向主筋径：D25
Y方向主筋径：D29

Y3通り

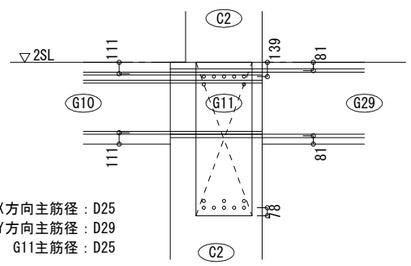
X方向主筋径：D25
Y方向主筋径：D29



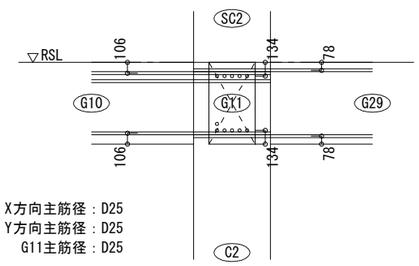
Y4通り大梁斜め取りつき部分
（G11納まり）



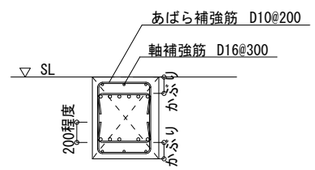
X方向主筋径：D29
Y方向主筋径：D29
FG11主筋径：D29



X方向主筋径：D25
Y方向主筋径：D29
G11主筋径：D25



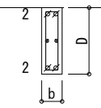
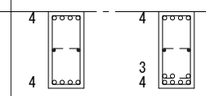
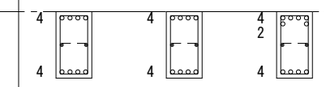
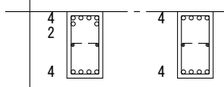
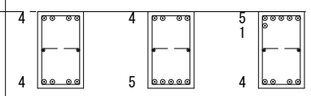
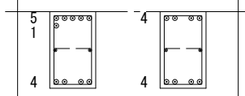
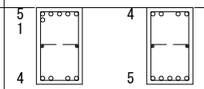
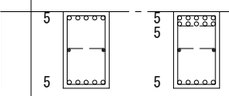
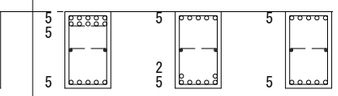
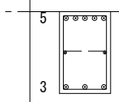
X方向主筋径：D25
Y方向主筋径：D25
G11主筋径：D25

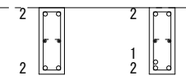
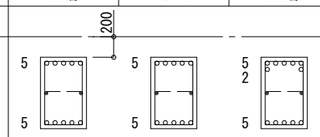
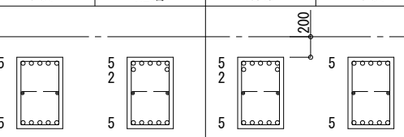
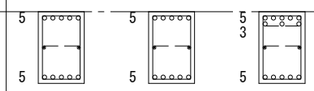
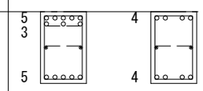
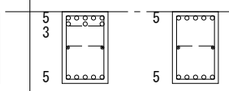
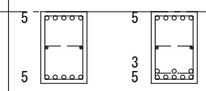
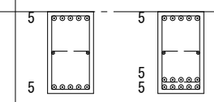


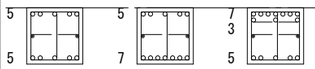
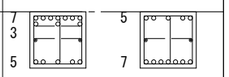
G11主筋1段目のレベルは、
X方向主筋1段目の内側に合わせること。
スターラップの加工形状に注意すること。
かぶりが大きくなる為、補強筋を配置する。
軸補強筋は柱へ0～5d定着とする。

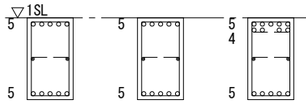
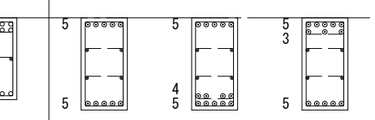
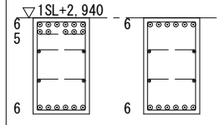
千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	変更年月日 令和　年　月　日	図面名	大梁リスト（2）	縮尺 1/60	図面番号 S－040
			特記事項	特記事項	特記事項				

小梁リスト　1/60

符号	B1	B2		B3			B4		B5			B5A		B6		B7		B7A			CG1
位置	全断面	端部	中央	他端	中央	連続端	端部	中央	他端	中央	連続端	連続端	中央・他端	端部	中央	他端・中央	連続端	連続端	中央	他端	全断面
▽RSL 断面																					 腹筋をL2定着すること。
b×D	200x650	350x750		350x650			350x650		450x750			450x750		450x750		450x750		450x750			500x800
上端筋	2-D16	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	6-D22	6-D22	4-D22	4-D25	4-D25	6-D25	6-D25	4-D25	6-D22	4-D22	5-D22	10-D22	10-D22	5-D22	5-D22	5-D25
下端筋	2-D16	4-D22	7-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	7-D22	5-D22	3-D25
スターラップ	2-D10 @250	2-D10 @200		2-D10 @200			2-D10 @200		2-D10 @150			2-D10 @150		2-D10 @150		2-D10 @150		2-D10 @150			2-D13 @250
腹筋	2-D10	2-D10		2-D10			2-D10		2-D10			2-D10		2-D10		2-D10		2-D10			2-D10

符号	B11		B12			B13		B14			B14A		B15		B16		B17	
位置	端部	中央	X1端	中央	X2端	端部	中央	他端	中央	連続端	連続端	中央・他端	端部	中央	端部	中央	端部	中央
▽2SL 断面																		
b×D	250x650		450x700			450x700		450x700			450x700		450x700		450x700		450x800	
上端筋	2-D22	2-D22	5-D22	5-D22	7-D22	7-D22	5-D22	5-D22	5-D22	8-D22	8-D22	4-D22	8-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D25	5-D25
下端筋	2-D22	3-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	4-D22	5-D22	5-D22	5-D22	8-D22	5-D25	10-D25
スターラップ	2-D10 @250		2-D10 @150			2-D10 @150		2-D10 @150			2-D10 @150		2-D10 @150		2-D10 @150		2-D10 @150	
腹筋	2-D10		2-D10			2-D10		2-D10			2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	

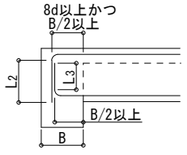
符号	B18			B19	
位置	他端	中央	連続端	端部	中央
▽2SL 断面					
b×D	550x550			550x550	
上端筋	5-D22	5-D22	10-D22	10-D22	5-D22
下端筋	5-D22	7-D22	5-D22	5-D22	7-D22
スターラップ	3-D10 @150			3-D10 @150	
腹筋	2-D10			2-D10	

符号	B21	B22			B23			CG21	
位置	全断面	他端	中央	連続端	他端	中央	連続端	元端	先端
断面	▽各階段天端 	▽1SL 						▽1SL+2,940 	
b×D	250x1,140	450x800			450x900			550x940	
上端筋	2-D19	5-D22	5-D22	9-D22	5-D25	5-D25	8-D25	11-D25	6-D25
下端筋	2-D19	5-D22	5-D22	5-D22	5-D25	9-D25	5-D25	6-D25	6-D25
スターラップ	2-D10 @250	2-D10 @150			2-D10 @150			2-D13 @200	
腹筋	4-D10	2-D10			4-D10			4-D10	

共通事項

特記なき限り下記とする。

1. 巾止筋 D10 @1,000 以内とする。
2. 土に接する場合は、かぶり厚50を確保してスターラップを加工すること。
3. 定着する梁幅 Bで投影定着長さLbを満足出来ない場合は、
   上端筋は余長部で L2、下端筋は余長部でL3とする。
   この時の投影定着長さは、8d以上かつB/2以上とすること。



使用材料

鉄　筋
D10 - D16 : SD295
D19 - D25 : SD345

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	小梁リスト	縮尺	1/60	図面番号	S－ 041

スラブリスト

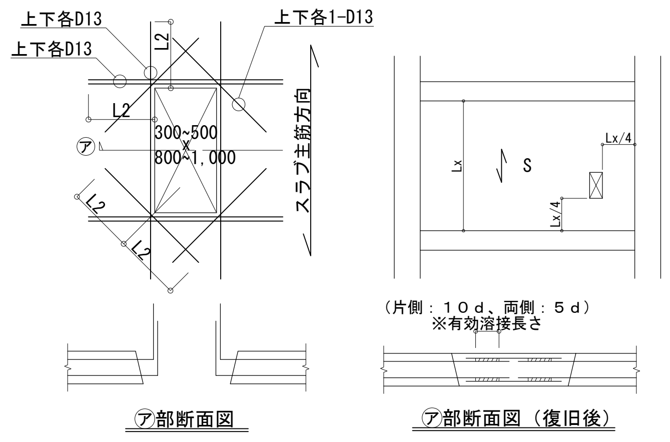
符号	版厚t	位置	短辺方向（主筋）	長辺方向（配力筋）
S16	160	上端筋	D10D13 @200	D10 @250
		下端筋	D10 @200	D10 @250
S16A	160	上端筋	D10D13 @200	D10 @200
		下端筋	D10 @200	D10 @200
S16B	160	上端筋	D13 @200	D10D13 @200
		下端筋	D10D13 @200	D10 @200
S16C	160	上端筋	D13 @150	D10D13 @200
		下端筋	D10D13 @150	D10 @200
S16D	160	上端筋	D13 @100	D13 @200
		下端筋	D10 @100	D10D13 @200
S18	180	上端筋	D13 @150	D10D13 @200
		下端筋	D10 @150	D10 @200
S18A	180	上端筋	D13 @100	D13 @200
		下端筋	D10D13 @100	D13 @200
S20	200	上端筋	D13 @100	D13 @200
		下端筋	D13 @100	D13 @200
S22	220	上端筋	D13 @100	D13 @200
		下端筋	D10D13 @100	D10D13 @200
S22A	220	上端筋	D16 @150	D13 @200
		下端筋	D16 @150	D13 @200
S22B	220	上端筋	D16 @100	D13 @150
		下端筋	D13 @100	D13 @150
S25	250	上端筋	D13 @100	D13 @150
		下端筋	D10D13 @100	D10D13 @150
FS18	180	上端筋	D10D13 @200	D10D13 @250
		下端筋	D10 @200	D10 @250
FS18A	180	上端筋	D13 @200	D10D13 @250
		下端筋	D10D13 @200	D10 @250
FS18B	180	上端筋	D13 @150	D10D13 @200
		下端筋	D10D13 @150	D10 @200
FS18C	180	上端筋	D13 @150	D13 @200
		下端筋	D10D13 @150	D13 @200
FS18D	180	上端筋	D13 @100	D13 @100
		下端筋	D10D13 @100	D10D13 @100
FS20	200	上端筋	D13 @200	D10D13 @250
		下端筋	D10D13 @200	D10 @250
FS20A	200	上端筋	D13D16 @200	D13D16 @200
		下端筋	D13 @200	D13 @200
FS20B	200	上端筋	D16 @200	D13D16 @200
		下端筋	D13 @200	D13 @200

共通事項

特記なき限り下記とする。
1. スラブには、設備配管を埋め込まない。やむを得ず一般階のスラブに埋め込む場合は、配管類をスラブ上下配筋の中間に納め、配管類間のあきは 50㎜以上とする。
2. 土に接する場合は、かぶり厚50を確保すること。

仮設開口補強筋要領図

◎ 仮設開口はないものとして通常のスラブ配筋を行い、その上に開口補強筋を設け開口内部の主筋は中央部で切断し折り曲げる。復旧する場合は、切断した主筋を曲げ戻し、添え筋（母材と同径、同強度）で溶接接合のこと。
◎ 原則として開口により除外される鉄筋量の1/2を各々両側に補強 (D13) すること。
◎ 斜め補強筋位置は開口縁から設計かぶりの位置に配筋すること。
◎ Lx/4付近の、目立たない位置とする。（押入、クローゼット等）
◎ 水回りは避けること。

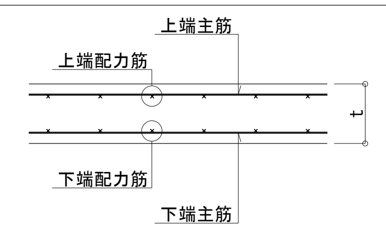


ア部断面図

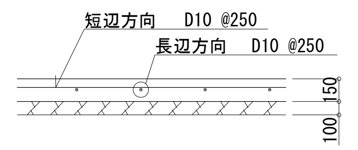
ア部断面図（復旧後）

※機械式継手としても良い。

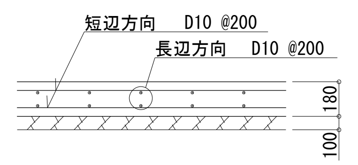
スラブ配筋要領図



土間スラブ配筋要領図

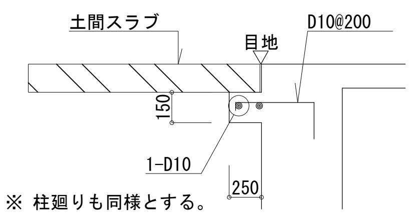


※ 状況に応じて、下図を採用すること。（車路等）



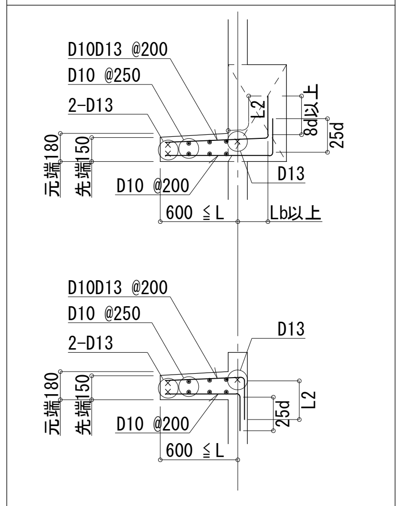
※ 充分に転圧した後施工すること

土間スラブ受け要領図



※ 柱廻りも同様とする。

小庇配筋要領図



※ 充分に転圧した後施工すること

片持ちスラブリスト

符号	版厚 元端	版厚 先端	位置	主筋	配力筋
CS18	180		上端筋	D10D13 @200	D10 @250
			下端筋	D10 @200	D10 @250
CS25	250		上端筋	D13 @100	D10 @250
			下端筋	D10D13 @200	D10 @250
FCS18	180		上端筋	D13 @100	D10 @250
			下端筋	D10D13 @200	D10 @250

共通事項

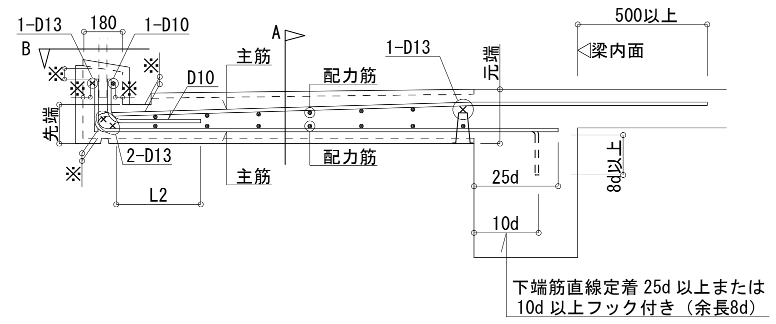
特記なき限り下記とする。
1. 外部廊下の手摺及びバルコニーの床・スラブは、@ 3,000 前後毎にひび割れ誘発目地を設けること。
2. 下端筋のかぶり厚さは40を確保すること。（誘発目地共）
3. 土に接する場合は、かぶり厚50を確保すること。
4. 片持ちスラブのスラブ厚は、目地厚込みの断面とする。

使用材料

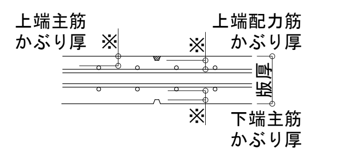
鉄 筋
D10 − D16 : SD295

片持ちスラブ配筋要領図

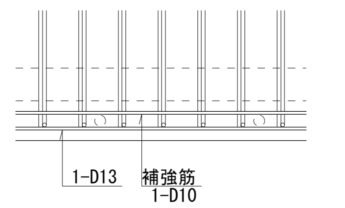
○ 上端主筋定着長さは、梁内面より500以上とする。
○ 先端の版厚は溝下とする。
○ ※印部分のかぶり厚に注意すること。



（A 部断面詳細）



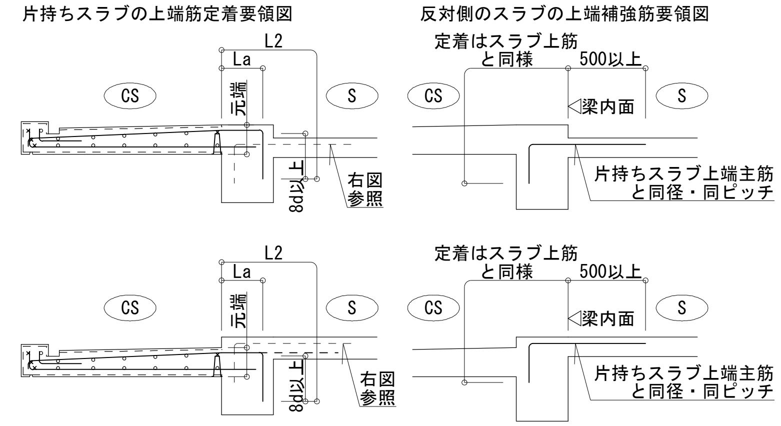
（B 部断面詳細）



片持ちスラブの反対側にスラブ段差がある場合

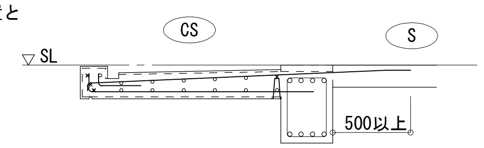
片持ちスラブの上端筋定着要領図

反対側のスラブの上端補強筋要領図



※片持ちスラブと反対側のスラブにレベル差があったとしても、片持ちスラブ上端主筋が大梁主筋の上を通過し、スラブ上端筋と同位置となる場合は除く。

補強筋不要とする場合の例



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	
設計年月日	令和　年　月　日	特記事項	
変更年月日	令和　年　月　日	特記事項	
変更年月日	令和　年　月　日	特記事項	
図面名	スラブリスト、片持ちスラブリスト	縮尺	-
図面番号	S－ 042		

壁リスト　1/60

符　号		W15	W18	W20	W23		FW23	FW23A
立断面		150	180	200	230		230	230
縦　筋		D10　@250 C	D10　@200 D	D13　@200 D	D13　@200 D		D13　@200 D	D16　@100 D
横　筋		D10　@250 D	D10　@200 D	D10　@150 D	D10　@150 D		D13　@200 D	D13　@200 D
開　口 補強筋	縦	2x(1-D13)	2x(1-D13)	2x(1-D13)	2x(1-D13)		-	-
	横	2x(1-D13)	2x(1-D13)	2x(1-D13)	2x(1-D13)		-	-
	斜メ	4x(1-D13)	4x(1-D13)	4x(1-D13)	4x(1-D13)		-	-

共通事項

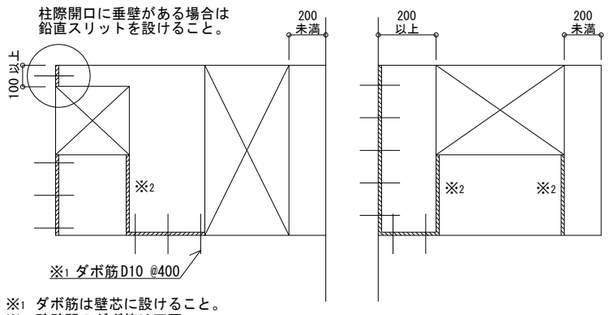
特記なき限り下記とする。

1. 巾止め筋は D10 @1,000 とする。
2. D :　ダブル配筋
   C :　ダブルチドリ配筋
   S :　シングル配筋
3. 外壁、パラペットは、@ 3,000前後毎に
   ひび割れ誘発目地を設けること。
4. 土に接する壁のかぶり厚さに注意すること。

使用材料

鉄　筋
D10 - D16 : SD295

構造スリット要領図　（防水・耐火・遮音等の性能確保に充分留意すること。）

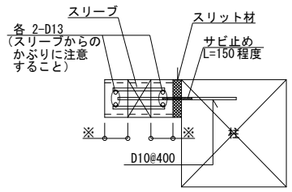


※1 ダボ筋は壁芯に設けること。
※2 壁壁間のダボ筋は不要

袖壁部スリット設置留意事項

＜袖壁にスリーブを設ける場合＞

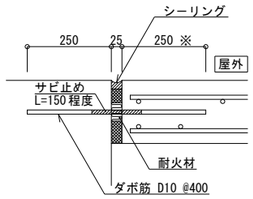
下図のようにスリーブから構造スリット際及び開口際まで、それぞれ 100 の躯体を確保すること。



※=100以上確保すること。

・袖壁長さが200mm以上となるが、図面上に構造スリットの表示がない場合、監理者及び構造設計者に構造スリットの有無を確認のこと。

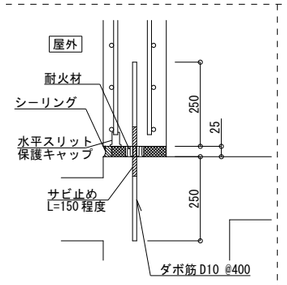
鉛直スリット（完全スリット型）

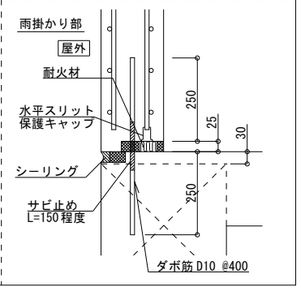


※ 袖壁長さが200～300の場合は
ダボ筋の壁内定着長を袖壁先端から
かぶり厚さが確保できる長さまで
短くしても良い。

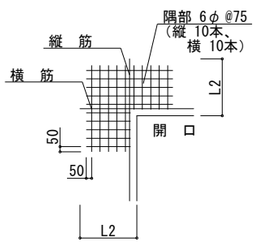
水平スリット（完全スリット型）

注）水平スリット保護キャップを取り付ける場合は、かぶりを確保出来るものを使用すること。
水平スリット保護キャップを取り付けない場合は、スリットからかぶりを確保すること。





開口部補強筋　（一般壁）

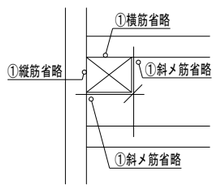


隅部筋 6φ@75 は、縦10本、横10本とする。開口際に誘発目地を設ける場合は、開口上下の隅部筋は省略しても良い。
（開口横の隅部筋は省略不可。）

開口補強筋要領図

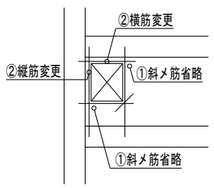
梁際迄もしくは柱際まで開口が開いている場合（50mm未満を含む）

① 補強筋を省略する。



梁下もしくは柱際から開口迄が50-100mm以内の場合

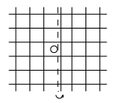
① 補強筋を省略する。
② 補強筋を 2-D13に変更する。



※ 特記無き補強筋は、壁リストの補強筋に倣い配筋すること。

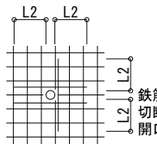
壁円形小開口部の補強

円形小開口（200φ以下）がある場合は、下記要領とする。
また、小開口を連続して設ける場合は監理者に相談すること。



ずらしてよい

（※鉄筋間隔＜300mm）



鉄筋を切断した場合は
切断した鉄筋量以上を
開口脇に配筋する。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名	壁リスト	縮尺	1/60	図面番号	S－ 043
		特記事項	特記事項	特記事項						

柱リスト

符号		部材	柱脚	柱頭
SC1	1,2F	○-406.4x16 STKN400B	ハイベースNEO EM400-8-30	
SC1a	1F	○-406.4x16 STKN400B	ハイベースNEO EM400-8-30	
SC1b	2F	○-406.4x16 STKN400B	ハイベースNEO EM400-8-30	
SC2a	RF	□-300x300x12 BCR295	ハイベースNEO EB300-4-30	
SC2b	RF	□-300x300x12 BCR295	ハイベースNEO EB300-8-30	
SC3	1F	○-216.3x12.7 STKN400B	ハイベースNEO EM216-4-24	
SP1	2F	H-150x150x7 x10 SS400	BPL-16 x 200 x 200 A.BOLT 2-M16(SS400)L=20d フック付ダブルナット締め	GPL-9 HTB 2(1x2)-M16
SP2	-	H-100x100x6 x8 SS400		GPL-9 HTB 2(1x2)-M16
SP3	1F	H-125x125x6.5x9.0 SS400	BPL-16 x 175 x 175 A.BOLT 2-M16(SS400)L=20d フック付ダブルナット締め	GPL-9 HTB 2(2x1)-M16

大梁リスト

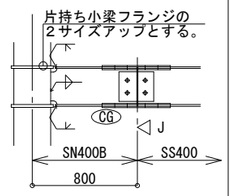
符号		部材・鋼種		接合部フランジ添板部材（片側）			接合部ウェブ添板部材（片側）	備考
SG1	RF	端部	HY-450 x 250 x 9 x 16 SN400B	外添板	PL-12 x250 x410	HTB 3 x 2 -M22	2PL-12 x 260 x 170 HTB 4 x 1 -M22	
		中央	HY-450 x 250 x 9 x 16 SS400	内添板	PL-12 x100 x410			
SG2	RF	端部	HY-450 x 250 x 9 x 16 SN400B	外添板	PL-12 x250 x410	HTB 3 x 2 -M22	2PL-12 x 260 x 170 HTB 4 x 1 -M22	
		中央	HY-450 x 250 x 9 x 16 SS400	内添板	PL-12 x100 x410			
SG3	2F	全断面	H-400 x 200 x 8 x 13 SS400	------	----------			ピン接端 フック付ダブルナット締め BPL-21 x 200 x 400 A.BOLT 6-M20(SS400)L=20d GPL-9 x 260 x 170 HTB 4 x 1 -M22
SG4	2F	端部	H-244 x 175 x 7 x 11 SN400B	外添板	PL-9 x175 x290	HTB 2 x 2 -M22	2PL-9 x 140 x 170 HTB 2 x 1 -M22	
		中央	H-244 x 175 x 7 x 11 SS400	内添板	PL-9 x 70 x290			
SG11	RF	全断面	HY-450 x 250 x 9 x 16 SS400	------	----------			ピン接端 GPL-12 x 260 x 170 HTB 4 x 1 -M22
SG12	RF	Y5,X7端 中央 他端	HY-450 x 250 x 9 x 16 SN400B	外添板	PL-12 x250 x410	HTB 3 x 2 -M22	2PL-12 x 260 x 170 HTB 4 x 1 -M22	ピン接端 GPL-12 x 260 x 170 HTB 4 x 1 -M22
			HY-450 x 250 x 9 x 16 SS400	内添板	PL-12 x100 x410			
				------	----------			

鉄骨二次部材リスト

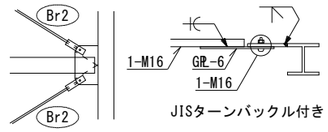
符号	部材・材質	接合部	備考
SB1	2[- 100 x 50 x 5x7.5 SS400	GPL-6 HTB 3(1x3)-M20	
SB2	H-198 x 99 x4.5x 7 SS400	GPL-6 HTB 2(1x2)-M16	RC定着端はS-046図参照
SB3	H-200 x 200 x 8x 12 SS400	GPL-9 HTB 2(1x2)-M20	
SB4	H-350 x 175 x 7 x 11 SS400	GPL-9 HTB 4(4x1)-M20	
SB5	H-300 x 150 x6.5x 9 SS400	GPL-9 HTB 4(2x2)-M20	
SB6	H-125 x 125 x6.5x 9 SS400	GPL-9 HTB 3(1x3)-M20	
SHB1	H-150 x 150 x 7x 10 SS400	GPL-9 HTB 2(1x2)-M16	ヨコ使い、RC定着端はS-046図参照
SCG1	H-250 x 250 x 9x 14 SS400		剛接端のみSN400B 継手を設ける場合は※SCSS-H97による

符号	部材・材質	接合部	備考
SB11	H-150 x 150 x 7x 10 SS400	BPL-6 x 160 x 150 A.BOLT 2-M16(SS400)L=20d	RC定着端はS-045図参照
SB12	[- 75 x 40 x 5x 7 SS400	GPL-6 HTB 2(1x2)-M16	
母屋	2[-125 x 50 x 20x3.2 SSC400	GPL-6 2(1x2)-M12	中ボルト
Br	L-65x65x6 SS400	GPL-9x90 HTB 5(1x5)-M16	必要溶接長L=170 S=8
Br2	1-M16	GPL-9x75 HTB 1(1x1)-M16	ターンバックル付き、必要溶接長L=80 S=8
デッキプレート	QL- 99-50-12		t=1.2 山上 80 (Fc24)
KSB	□-200x200x9 STKR400	BPL-16 x 360 x360 (SS400) A.BOLT 4-M16(SS400)L=20d	RC定着端はS-045図参照

片持ち小梁の剛接端要領図



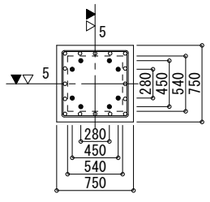
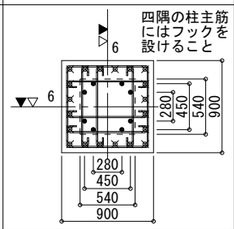
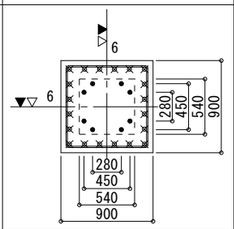
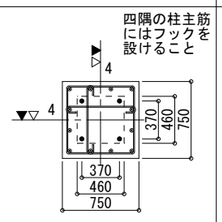
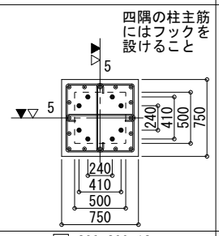
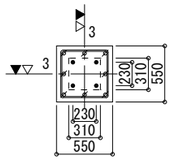
2階ホール　天井ブレース要領図



基礎柱リスト

※フープ筋はタガ型とする。

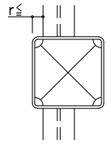
▽印は、鉄骨柱芯を示す。
▼印は、礎柱芯を示す。

符号	SC1	SC1a	SC1b	SC2a	SC2b	SC3
断面						
鉄骨柱	○-406.4x16	○-406.4x16	○-406.4x16	□-300x300x12	□-300x300x12	○-216.3x12.7
Dx×Dy	750x750	900x900	900x900	750x750	750x750	550x550
主筋	16(5x5)-D22	20(6x6)-D29	20(6x6)-D29	12(4x4)-D25	16(5x5)-D25	8(3x3)-D16
フープ	(2-2) □-D13 @150	(5-5) ⊞-D16 @100	(2-2) □-D13 @100	(3-3) ⊞-D16 @100	(3-3) ⊞-D16 @100	(2-2) □-D13 @150
柱脚型式	EM400-8-30	EM400-8-30	EM400-8-30	EB300-4-30	EB300-8-30	EM216-4-24
主筋定着長さ	430以上	410以上	450以上	270以上	360以上	180以上

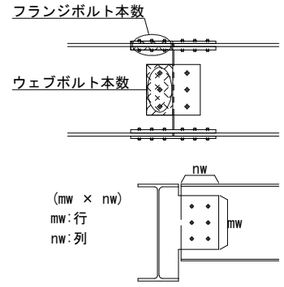
共通事項

特記なき限り下記とする。

1. 梁、柱接合部のダイアフラムは集まる部材のFPLで最も厚いものの２サイズアップとする。
2. 添板は取り合う部材の低い方と同強度・同材種とする。
3. G.PL は梁部材と同強度・同材種とする。
4. 特記なき限り、継手部材はSCSS-H97による。
5. 内ダイアフラムに取付く梁接合部は柱のＲ部分を避けること。



6. 梁部材リストの表記は下記による。



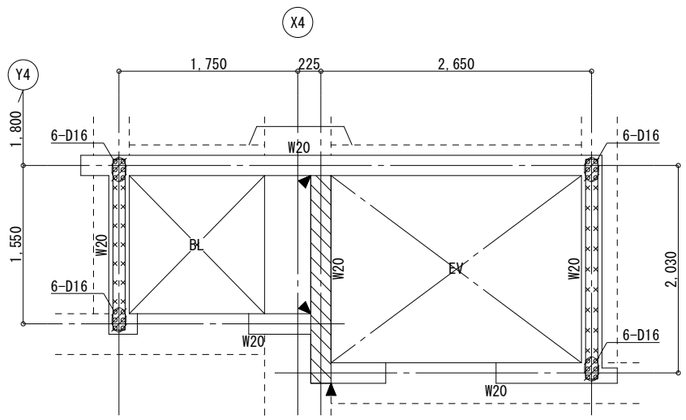
使用材料

一般形鋼	—	SS400,SN400B
角形鋼管	—	BCR295,STKR400
鋼管	—	STKN400B
ダイアフラム	—	SN490C
内ダイアフラム	—	SN490B
高力ボルト	—	F10T,S10T
アンカーボルト（切削ねじ加工）	—	SS400
ベースプレート	—	SS400
軽量形鋼	—	SSC400

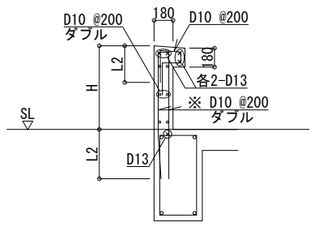
勾配屋根の納まりを検討した結果、
勾ダイヤフラムの必要厚さが40mmを超えた場合は、
TMCP鋼を使用すること。

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 （仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	変更年月日 令和 年 月 日 / 特記事項	図面名	鉄骨部材リスト	縮尺 -	図面番号 S－044

EV壁配筋要領図

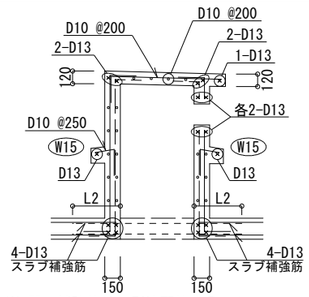


パラペット配筋要領図



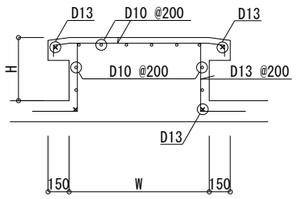
※ 丸環のつく場合は、縦筋 D10 @100 とする。
（範囲は丸環を中心に1,000）

ハト小屋配筋要領図



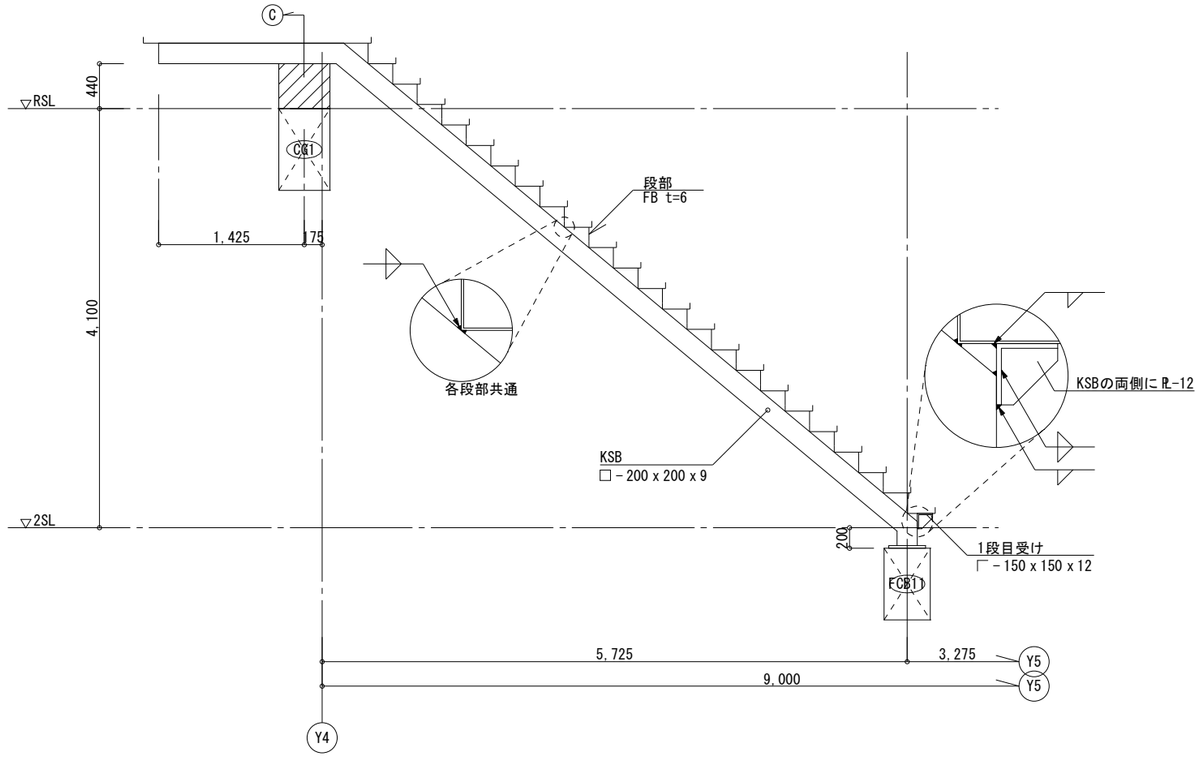
※ 開口補強筋は、別途配筋すること。

設備基礎配筋要領図

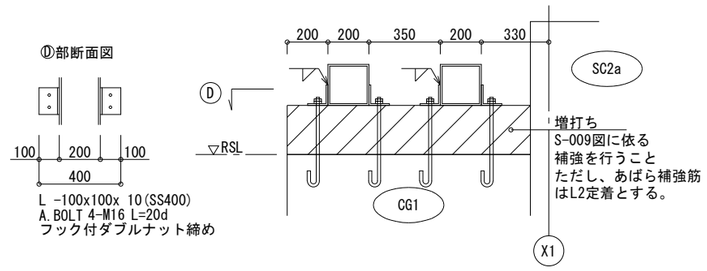


※ W,Hは意匠図による。

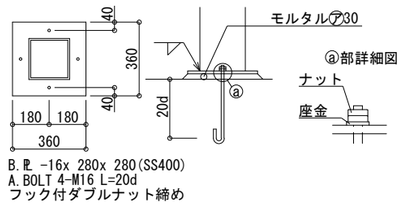
屋外鉄骨階段要領図　※亜鉛メッキ



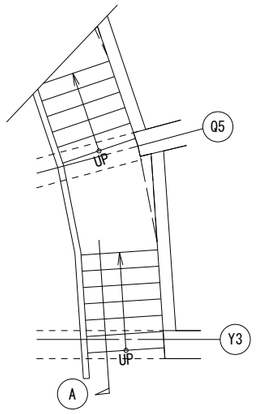
Ⓒ断面図

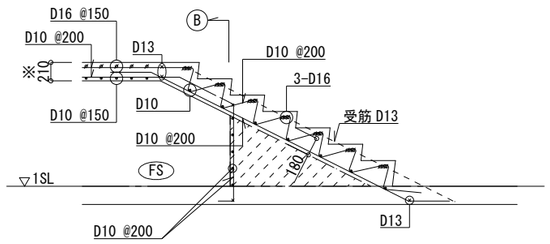


2SL接合部要領

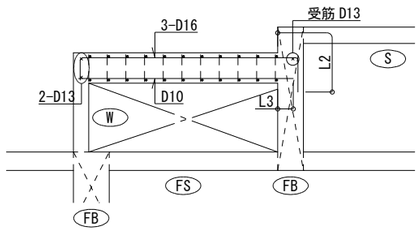


屋内階段要領図





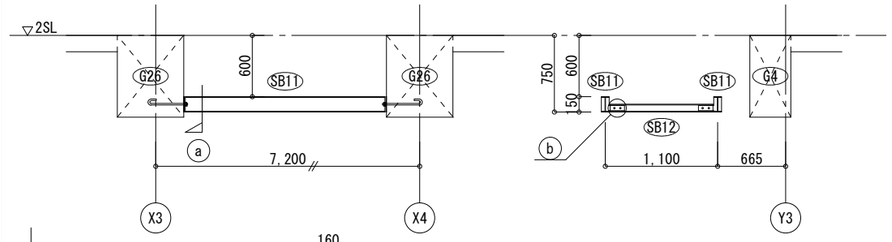
Ⓐ 断面

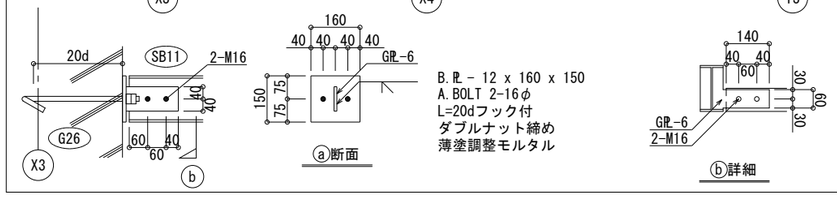


Ⓑ 断面

※踊り場のスラブ厚は、目地厚込みの断面とする。（片持ちスラブ配筋要領図参照）

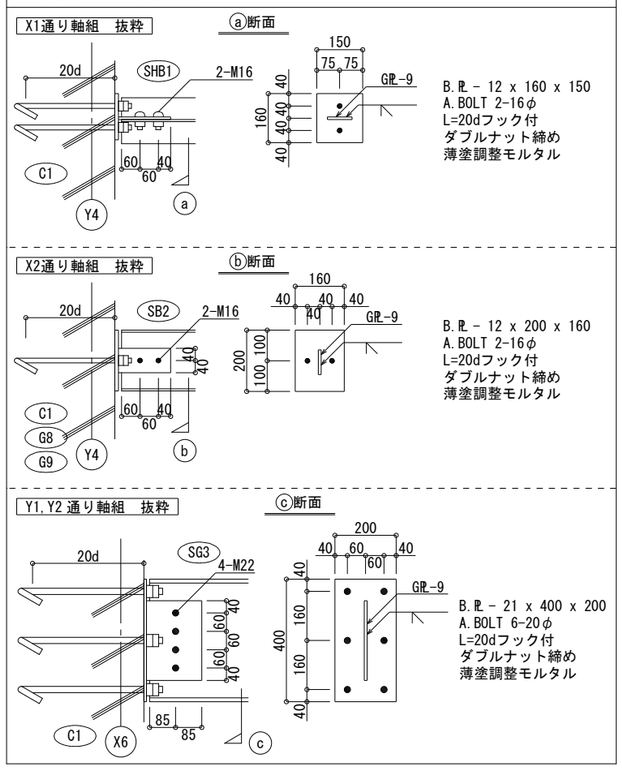
2階 X3-X4, Y2-Y3 吹抜け部　庇要領



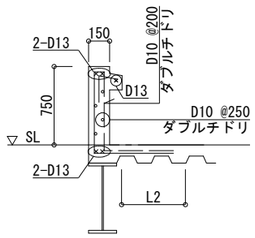


千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	変更年月日 令和　年　月　日 特記事項	図面名	雑詳細図（1）	縮尺	-	図面番号	S－045

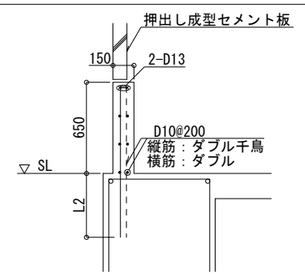
鉄骨梁－ＲＣ柱接合部



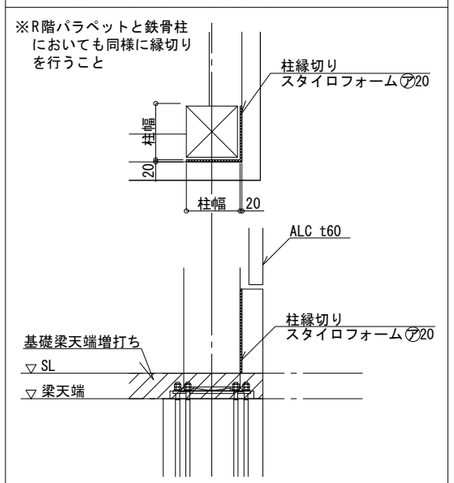
パラペット配筋要領図



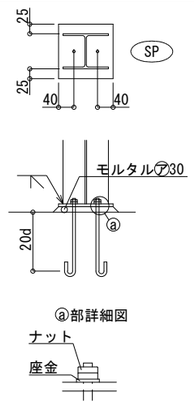
押出し成型セメント板立上り　腰壁配筋図



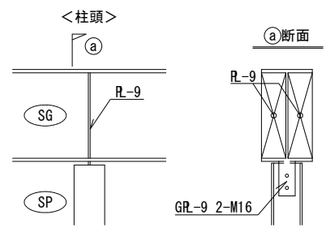
立上り壁・柱脚廻り縁切り要領図



柱脚要領図

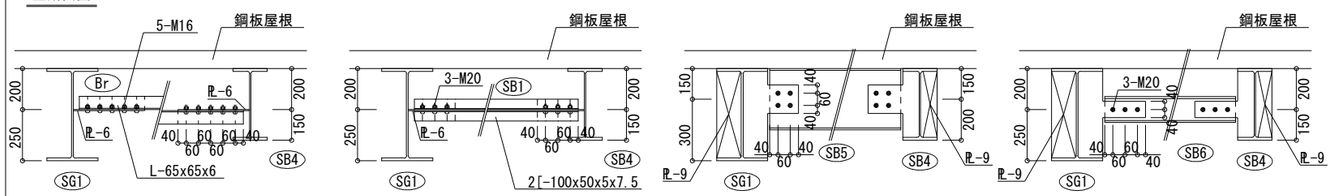


柱頭要領図

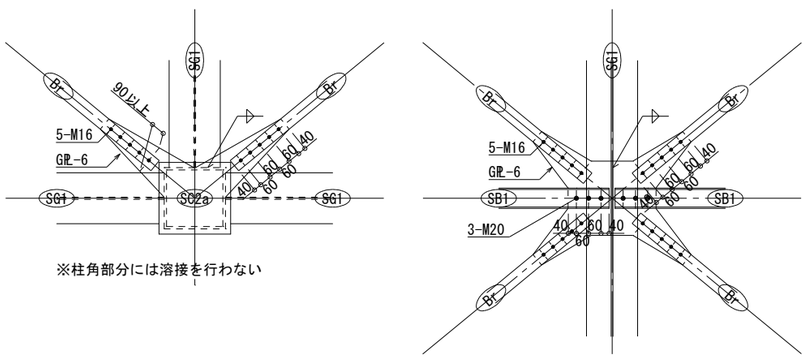


屋根ブレースBr・座屈止め要領

立断面図

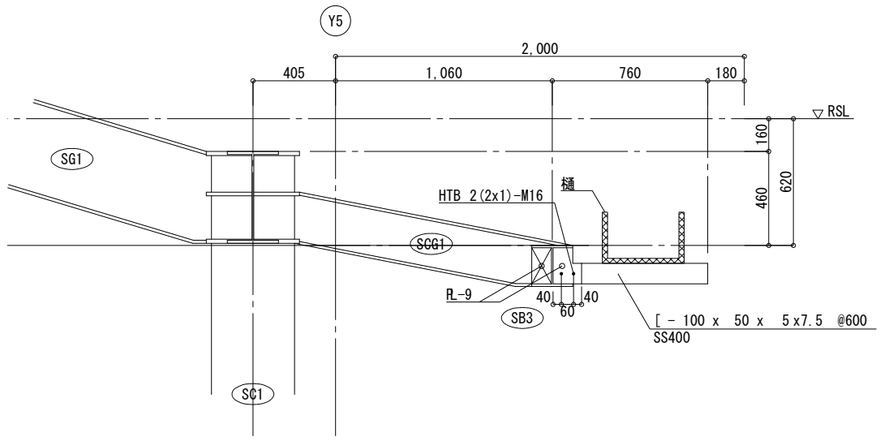


伏図

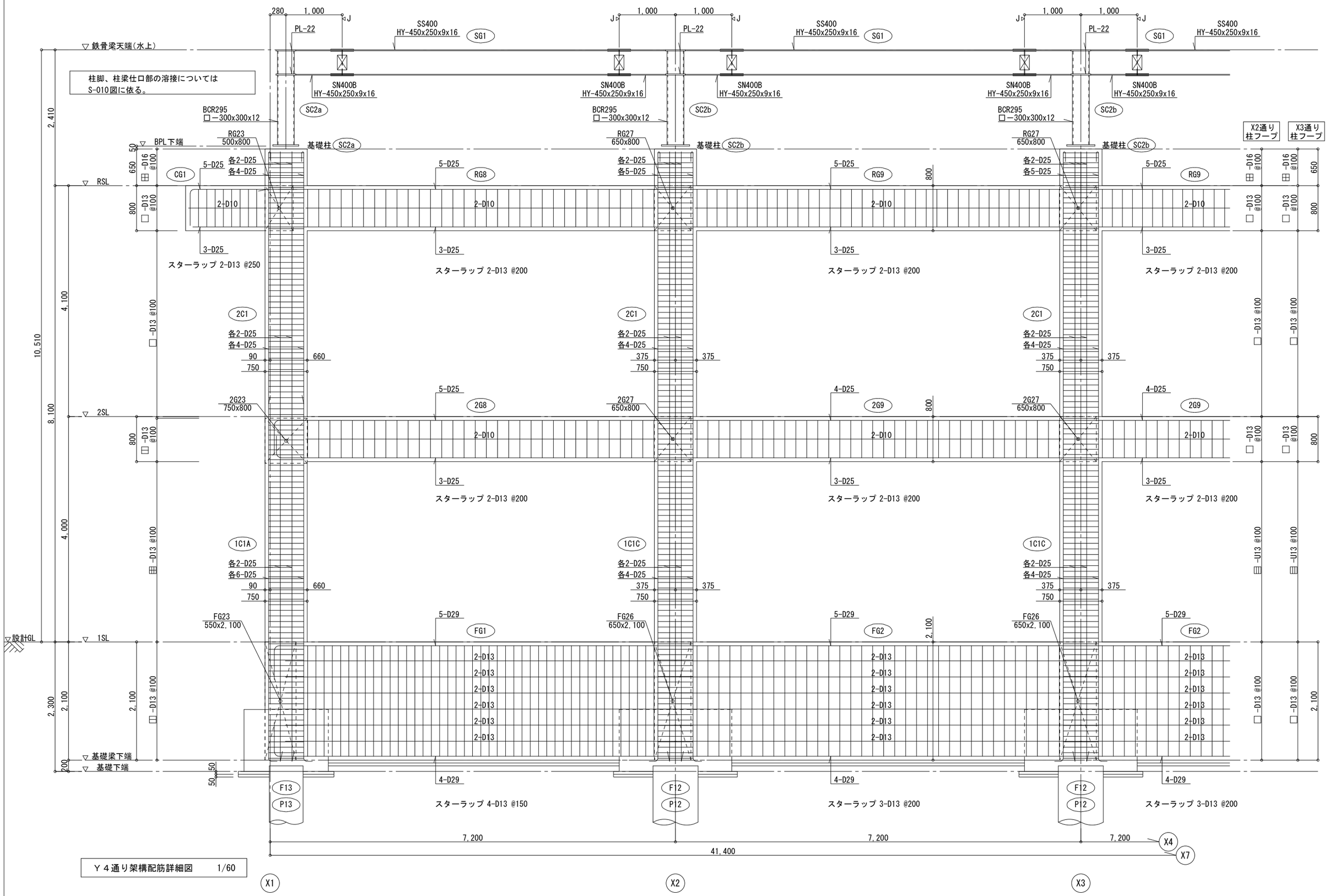


※柱角部分には溶接を行わない

樋受け部分詳細図



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	変更年月日	令和　年　月　日	図面名	雑詳細図（２）	縮尺	-	図面番号	S－046
			特記事項		特記事項		特記事項							



Ｙ４通り架構配筋詳細図　1/60

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称　（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設 新築工事	設計年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	変更年月日　令和　年　月　日	図面名	Ｙ４通り架構配筋詳細図	縮尺	1/60	図面番号　Ｓ－ 047
		特記事項	特記事項	特記事項					